

長町駅東遺跡第3次調査

—仙台市あすと長町土地区画整理事業関係遺跡発掘調査報告書Ⅲ—

[第1分冊]

2009年3月

仙 台 市 教 育 委 員 会
国 土 交 通 省 東 北 地 方 整 備 局



3B区全景



3B区全景



SI87全景



SI87炉



SI123カマド周辺遺物出土状況



SD66区画溝跡・SA1～5材木列



弥生E区 SI1 整穴住居跡



弥生D区 SK7(奥)・8(中)・9(手前)土器埋設遺構



弥生D区 SK7土器埋設遺構



弥生D区 SK8土器埋設遺構



弥生D区 SK9土器埋設遺構



弥生C区 SK31土器埋設遺構



3B区出土 土師器 1



3B区出土 土師器 2



3B区出土 土器3



3B区出土 土器(関東系)



3B区出土 須恵器



SD66 上層出土土器



SD66 4層出土土器



SD66 下層出土土器



弥生調査区出土埋設土器



弥生調査区出土土器

序 文

仙台市の文化財保護行政に対しまして、日ごろからご理解、ご協力を賜り感謝申し上げます。

市内には、旧石器時代から近世にいたるまで数多くの埋蔵文化財が残っております。当教育委員会といたしましても、先人たちの残した貴重な文化遺産を保護し、保存・活用を図りながら次の世代に継承していくよう努めているところであります。

本報告書は、国史跡指定を受けた多賀城造営以前の陸奥国府と考えられる郡山遺跡官衙の西側で、平成10年から進められている「仙台市あすと長町土地区画整理事業」に伴う、長町駅東遺跡の第3次調査の成果をまとめたものです。

長町駅東遺跡からは、これまでの調査により総数300軒以上の堅穴住居跡と、大溝と材木列による区画施設等の造構が発見されています。隣接する西台畠遺跡の調査でも130軒以上の堅穴住居跡が見つかっており、飛鳥～奈良時代の集落としては、東北地方でも最大級の集落がこの事業地内にあったことが明らかになってきました。しかもこの二つの集落は、郡山遺跡の官衙の造営や運営に携わった人々の計画的に造られた集落であり、出土遺物の内容からは、関東地方との人的・物的交流があったことなども考えられております。調査の開始から10年を経て、これまで未解明であった郡山遺跡官衙の周辺での人々の生活が、我々の目の前に姿を現してきております。

当教育委員会といたしましても、発掘調査状況の公開・活用を進めるため、調査の概要を紹介する広報板の掲示や遺跡見学会の開催など、今後もより多くの市民の皆様に興味を持っていただけるような活動を行っていきたいと考えております。そのためにも、今回の調査成果が、地域の歴史を解き明かしていくための貴重な資料となり、多くの方々に活用されれば幸いです。

最後になりましたが、発掘調査から本報告書の刊行に際しまして、ご指導、ご協力くださいました皆様に深く感謝申し上げる次第です。

平成21年3月

仙台市教育委員会

教育長 荒井 崇

例　　言

1. 本書は、仙台市教育委員会が実施した、「仙台市あすと長町土地区画整理事業」に伴う長町駅東遺跡第3次調査(3B区)の発掘調査成果についてまとめたものである。
2. 報告書刊行にあたっては、仙台市教育委員会文化財課工藤信一郎、荒井 格の監督の下、遺物実測およびトレース、遺構図トレース、遺物写真撮影、執筆、編集に至るまでの作業を国際文化財株式会社が担当した。
3. 本書の執筆については、第1章・第3章を工藤信一郎、第2章を佐藤 洋(国際文化財株式会社、以下同じ)、第4章を皆川貴史が担当した。第5章については、第1節・第2節を工藤 司が担当し、利屋 魁・佐藤・渡邊香織がその一部を、第3節・第4節を皆川、鶴久森彬が担当した。石器事実記載については鶴久森が担当した。第7章については、第1節を工藤 司、第2節～第4節を工藤信一郎が執筆した。遺物写真撮影については、利屋が担当した。
4. 自然科学分析については、下記のとおり依頼して分析、執筆をしていただいた。

第6章1. 仙台市長町副都心土地区画整理事業関係遺跡発掘調査に伴う自然科学分析(火山灰分析)

株式会社 古環境研究所

2. 長町駅東遺跡出土鉄器の科学組成に基づく分類 東北大学大学院国際文化研究科 関 博光
5. 発掘調査及び資料の整理に際し、の方々から多くの指導・助言を賜った。記して感謝の意を表する次第である。(敬称略)
今泉 隆雄、岡田 茂弘、工藤 雅樹、桑原 滋郎、進藤 秋輝、須藤 隆、早坂 春一、松本 秀明
6. 本書の調査成果については、すでに現地説明会資料や古代城柵官衙遺跡検討会などに内容の一部が紹介されているが、本書の記載内容がそれらに優先する。
7. 調査・整理に関する全ての資料は仙台市教育委員会が保管している。

凡　　例

1. 遺構図中の座標系は、「平面直角座標第X系」を基準としている。図中及び本文記載の方位北は、全て座標北を基準としている。
2. 本書中の土色の記述には、原則として『新版標準土色帖』(小山正忠・竹原秀雄 1997)を使用している。
3. 調査において検出された遺構については以下の遺構記号を使用し、遺構ごとに番号を付した。

SA	材木列・一本柱列	SB	掘立柱建物跡	SD	溝跡	SI	竪穴住居跡・竪穴遺構
SK	土坑	SM	小溝状遺構	SX	性格不明遺構	P	ピット
4. 遺構図版に使用したスクリーントーンの凡例は下記の通りである。それ以外のものについては、その都度図中に説明している



5. 出土遺物の登録には以下の遺物記号を使用し、遺物ごとに番号を付した。

A 縄文土器 B 弥生土器 C 土師器(非クロロ調整) D 土師器(クロロ調整) E 須恵器
G 平瓦 K 石器・石製品 N 金属製品 P 土製品

6. 遺物実測図の縮尺は、下記の通りである。但し、その縮尺では掲載が困難なものについては、適宜縮尺を変えている。各図にはそれぞれスケールを付した。

土器・金属製品・土製品 1/3 瓦 1/6 刺片石器 2/3 磬石器・石製品 1/2

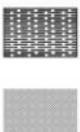
7. 土師器および土製品実測図に使用したスクリーントーンは以下の通りである。



黒色処理



溶解範囲



節理面



磨痕



敲打痕



火はね



被熱範囲

8. 石器・石製品に使用したスクリーントーンは以下の通りである。

磨痕面数：面数と磨痕の形状を示した。形状については凹面、凸面、平坦面を、それぞれ「凹」・「凸」・「平」で示した。

凹痕面数：凹痕のみられる面数を示した。

凹痕形態：各面に一つのまとまりをもった凹痕が単独で存在するものを「単」、複数存在するものを「複」とし、二面以上にみられる場合は「+」で連結した。

凹痕深さ：凹痕の深さを「深」「浅」「微」で表し、二面以上にみられる場合は「+」で連結した。

敲打痕箇所：蹠形状の長軸側の端面を「端」、短軸側の側面を「側」で表し、数字は箇所数を示した。

敲打痕程度：全体を通してみた敲打による破損の程度を「強」・「弱」で示した。

10. 掲載した遺物写真的縮尺は、原則として遺物実測図と同じ縮尺とした。但し、その縮尺で掲載が困難なものについては、適宜縮尺を変えた。

第1分冊 目 次

巻頭カラー写真

序文

例言

凡例

第1章 調査に至る経過.....	1
1. 調査事由.....	1
2. 調査要項.....	1
3. 遺構確認調査.....	3
(1) 遺構確認調査に至る経過.....	3
(2) 調査の方法.....	3
(3) 北半部の確認調査.....	3
(4) 南半部の調査	6
(5) 街区(事業用地)を対象とした確認調査.....	7
(6) 調査計画の策定.....	7
第2章 遺跡の立地と環境.....	10
1. 長町駅東遺跡の立地と環境.....	10
2. 周辺の遺跡と歴史的環境.....	11
第3章 調査の方法と概要.....	15
1. 調査の方法.....	15
(1) 調査区の設定.....	15
2. 調査概要.....	15
(1) 調査経過.....	15
(2) 測量基準・図面の作成	16
(3) 遺物の取り上げ・調査記録の作成	16
(4) 遺構登録番号.....	16
(5) 調査報告書作成作業.....	16
第4章 基本層序.....	17
第5章 3B調査区の検出遺構と出土遺物.....	21
1. 古代～中世の遺構と遺物.....	21
(1) 小溝状遺構群.....	21
(2) 溝跡.....	22
(3) 土坑.....	48

(4) ピット	52
2. 古代の遺構と遺物	88
(1) 壁穴住居跡	88
(2) 掘立柱建物跡	277
(3) 溝跡	286
(4) 区画施設	296
(5) 一本柱列	334
(6) 土坑	340
(7) ピット	349
(8) 性格不明遺構	352
(9) 遺構外出土遺物	353

第2分冊 目 次

第5章 検出遺構と出土遺物

3. 弥生時代の遺構と遺物

- (1) 壁穴住居跡
 - (2) 性格不明遺構
 - (3) 土器埋設遺構
 - (4) 土坑
 - (5) ピット
 - (6) IV層・V層出土遺物
 - (7) その他の出土遺物
 - (8) 接合資料
4. 3A区下層調査
- (1) 基本層序
 - (2) 下層調査出土遺物

第6章 自然科学分析

1. 仙台市、長町副都心土地地区画整理事業関係遺跡発掘調査に伴う自然科学分析(火山灰分析)
2. 長町駅東遺跡出土鉄器の科学組成に基づく分類

第7章 まとめ

1. 調査成果の基礎整理
2. 長町駅東遺跡と西台畠遺跡の集落について
3. 長町駅東遺跡の区画施設について
4. 弥生時代の遺構について

第3分冊 目 次

写真図版

報告書抄録

付図

第1分冊 挿図目次

第1図 調査区位置図	2	第28図 SD46出土遺物	40
第2図 確認調査北半部トレンド配置図	4	第29図 SD49出土遺物	41
第3図 確認調査南半部トレンド配置図	8	第30図 SD50出土遺物	41
第4図 仙台市あすと長町 土地区画整理事業施工区域	9	第31図 SD51出土遺物	42
第5図 長町駅東遺跡と周辺の遺跡	10	第32図 SD56出土遺物	42
第6図 旧石器・縄文時代の主な遺跡	12	第33図 SD59出土遺物	43
第7図 弥生時代の主な遺跡	13	第34図 SD60出土遺物(1)	44
第8図 古墳時代の主な遺跡	13	第35図 SD60出土遺物(2)	45
第9図 奈良・平安時代の主な遺跡	14	第36図 SD60出土遺物(3)	46
第10図 中・近世の主な遺跡	15	第37図 SD61出土遺物	46
第11図 グリッド配置図 及び基本土層断面位置図	17	第38図 SD62出土遺物	47
第12図 3B区基本土層図	19・20	第39図 SD64出土遺物	48
第13図 小溝状造構群	23・24	第40図 土坑(1)	49
第14図 小溝状造構A群断面図	25	第41図 土坑(2)	50
第15図 小溝状造構A群出土遺物	26	第42図 SK57出土遺物	51
第16図 小溝状造構B群断面図	27	第43図 SK59出土遺物	52
第17図 小溝状造構B群出土遺物	27	第44図 ピット(1)	53
第18図 小溝状造構C群断面図	28	第45図 ピット(2)	54
第19図 小溝状造構D群断面図	29	第46図 ピット(3)	55
第20図 小溝状造構D群出土遺物	30	第47図 ピット(4)	56
第21図 溝跡	31・32	第48図 ピット(5)	57
第22図 溝跡断面図(1)	33	第49図 ピット(6)	58
第23図 溝跡断面図(2)	34	第50図 ピット(7)	59
第24図 SD42出土遺物(1)	36	第51図 ピット(8)	60
第25図 SD42出土遺物(2)	37	第52図 ピット(9)	61
第26図 SD42出土遺物(3)	38	第53図 ピット出土遺物(1)	86
第27図 SD44出土遺物	39	第54図 ピット出土遺物(2)	87
		第55図 竪穴住居跡配置図	89・90
		第56図 SI69竪穴住居跡	91

第57図	SI71A 竪穴住居跡	92
第58図	SI71A 竪穴住居跡出土遺物	94
第59図	SI71B 竪穴住居跡	95
第60図	SI73 竪穴住居跡	97
第61図	SI73 竪穴住居跡出土遺物	98
第62図	SI75 竪穴住居跡	99
第63図	SI75 竪穴住居跡出土遺物	99
第64図	SI78 竪穴住居跡	101
第65図	SI78 竪穴住居跡出土遺物	102
第66図	SI79 竪穴住居跡	103
第67図	SI79 竪穴住居跡出土遺物	104
第68図	SI80 竪穴住居跡	106
第69図	SI80 竪穴住居跡出土遺物	108
第70図	SI81 竪穴遺構	109
第71図	SI81 竪穴遺構出土遺物	109
第72図	SI82 竪穴住居跡	110
第73図	SI82 竪穴住居跡出土遺物	112
第74図	SI83 竪穴住居跡	114
第75図	SI83 竪穴住居跡出土遺物	115
第76図	SI84 竪穴住居跡	116
第77図	SI84 竪穴住居跡出土遺物(1)	117
第78図	SI84 竪穴住居跡出土遺物(2)	118
第79図	SI85A 竪穴住居跡	120
第80図	SI85A 竪穴住居跡出土遺物	120
第81図	SI85B 竪穴住居跡	121
第82図	SI86 竪穴住居跡	121
第83図	SI87 竪穴住居跡(1)	123
第84図	SI87 竪穴住居跡(2)	123
第85図	SI87 竪穴住居跡出土遺物	124
第86図	SI88 竪穴住居跡	126
第87図	SI88 竪穴住居跡出土遺物	128
第88図	SI89 竪穴住居跡・SK74土坑	129
第89図	SI89 竪穴住居跡出土遺物	130
第90図	SK74土坑出土遺物	131
第91図	SI90A 竪穴住居跡(1)	133
第92図	SI90A 竪穴住居跡(2)	134
第93図	SI90A 竪穴住居跡出土遺物(1)	136
第94図	SI90A 竪穴住居跡出土遺物(2)	137
第95図	SI90A 竪穴住居跡出土遺物(3)	138
第96図	SI90B 竪穴住居跡	139
第97図	SI90B 竪穴住居跡出土遺物	140
第98図	SI91 竪穴住居跡	142
第99図	SI91 竪穴住居跡出土遺物	142
第100図	SI92A 竪穴住居跡	143
第101図	SI92A 竪穴住居跡出土遺物(1)	144
第102図	SI92A 竪穴住居跡出土遺物(2)	145
第103図	SI92B 竪穴住居跡	146
第104図	SI93 竪穴住居跡(1)	148
第105図	SI93 竪穴住居跡(2)	149
第106図	SI93 竪穴住居跡出土遺物(1)	150
第107図	SI93 竪穴住居跡出土遺物(2)	151
第108図	SI94 竪穴住居跡	152
第109図	SI95A 竪穴住居跡	153
第110図	SI95B 竪穴住居跡	154
第111図	SI95B 竪穴住居跡出土遺物	156
第112図	SI96 竪穴住居跡(1)	157
第113図	SI96 竪穴住居跡(2)	158
第114図	SI96 竪穴住居跡出土遺物(1)	159
第115図	SI96 竪穴住居跡出土遺物(2)	160
第116図	SI96 竪穴住居跡出土遺物(3)	161
第117図	SI97A 竪穴住居跡	163
第118図	SI97A 竪穴住居跡出土遺物	164
第119図	SI97B 竪穴住居跡	165
第120図	SI98 竪穴住居跡(1)	166
第121図	SI98 竪穴住居跡(2)	166
第122図	SI98 竪穴住居跡出土遺物	167
第123図	SI99 竪穴住居跡	168
第124図	SI99 竪穴住居跡出土遺物(1)	169
第125図	SI99 竪穴住居跡出土遺物(2)	170
第126図	SI99 住居跡出土遺物(3)	171
第127図	SI100 竪穴住居跡(1)	172
第128図	SI100 竪穴住居跡(2)	173
第129図	SI100 竪穴住居跡出土遺物(1)	175
第130図	SI100 竪穴住居跡出土遺物(2)	176
第131図	SI100 竪穴住居跡出土遺物(3)	177
第132図	SI101 竪穴住居跡	179
第133図	SI101 竪穴住居跡出土遺物(1)	180
第134図	SI101 竪穴住居跡出土遺物(2)	181

第135図	SI102堅穴住居跡	182	第174図	SI114堅穴住居跡出土遺物	223
第136図	SI102堅穴住居跡出土遺物	183	第175図	SI115A堅穴住居跡(1)	225
第137図	SI103A堅穴住居跡	184	第176図	SI115A堅穴住居跡(2)	226
第138図	SI103A堅穴住居跡出土遺物(1)	185	第177図	SI115A堅穴住居跡出土遺物(1)	227
第139図	SI103A堅穴住居跡出土遺物(2)	186	第178図	SI115A堅穴住居跡出土遺物(2)	228
第140図	SI103A堅穴住居跡出土遺物(3)	187	第179図	SI115B堅穴住居跡	229
第141図	SI103B堅穴住居跡(1)	188	第180図	SI116堅穴住居跡	230
第142図	SI103B堅穴住居跡(2)	189	第181図	SI117堅穴住居跡	231
第143図	SI103B堅穴住居跡出土遺物	190	第182図	SI117堅穴住居跡出土遺物(1)	232
第144図	SI104堅穴住居跡	191	第183図	SI117堅穴住居跡出土遺物(2)	233
第145図	SI104堅穴住居跡出土遺物(1)	192	第184図	SI118堅穴住居跡	234
第146図	SI104堅穴住居跡出土遺物(2)	193	第185図	SI118堅穴住居跡出土遺物	235
第147図	SI105堅穴住居跡	193	第186図	SI119堅穴住居跡(1)	237
第148図	SI106堅穴住居跡(1)	195	第187図	SI119堅穴住居跡(2)	238
第149図	SI106堅穴住居跡(2)	196	第188図	SI119堅穴住居跡出土遺物	239
第150図	SI106堅穴住居跡出土遺物(1)	198	第189図	SI120堅穴住居跡(1)	241
第151図	SI106堅穴住居跡出土遺物(2)	199	第190図	SI120堅穴住居跡(2)	242
第152図	SI106堅穴住居跡出土遺物(3)	200	第191図	SI120堅穴住居跡出土遺物(1)	243
第153図	SI107堅穴住居跡	201	第192図	SI120堅穴住居跡出土遺物(2)	244
第154図	SI107堅穴住居跡出土遺物	202	第193図	SI120堅穴住居跡出土遺物(3)	245
第155図	SI108堅穴住居跡	203	第194図	SI120堅穴住居跡出土遺物(4)	246
第156図	SI108堅穴住居跡出土遺物(1)	204	第195図	SI121堅穴住居跡(1)	248
第157図	SI108堅穴住居跡出土遺物(2)	205	第196図	SI121堅穴住居跡(2)	249
第158図	SI109堅穴住居跡	207	第197図	SI121堅穴住居跡出土遺物(1)	250
第159図	SI109堅穴住居跡出土遺物(1)	208	第198図	SI121堅穴住居跡出土遺物(2)	251
第160図	SI109堅穴住居跡出土遺物(2)	209	第199図	SI122堅穴住居跡(1)	253
第161図	SI109堅穴住居跡出土遺物(3)	210	第200図	SI122堅穴住居跡(2)	254
第162図	SI109堅穴住居跡出土遺物(4)	211	第201図	SI122堅穴住居跡出土遺物	254
第163図	SI109堅穴住居跡出土遺物(5)	212	第202図	SI123堅穴住居跡	256
第164図	SI109堅穴住居跡出土遺物(6)	213	第203図	SI123堅穴住居跡出土遺物(1)	257
第165図	SI109堅穴住居跡出土遺物(7)	214	第204図	SI123堅穴住居跡出土遺物(2)	258
第166図	SI110堅穴住居跡	216	第205図	SI124堅穴住居跡	260
第167図	SI111堅穴住居跡	217	第206図	SI124堅穴住居跡出土遺物(1)	261
第168図	SI111堅穴住居跡出土遺物	218	第207図	SI124堅穴住居跡出土遺物(2)	262
第169図	SI112堅穴住居跡	219	第208図	SI125堅穴住居跡	263
第170図	SI112堅穴住居跡出土遺物	219	第209図	SI125堅穴住居跡出土遺物	263
第171図	SI113堅穴住居跡	221	第210図	SI126堅穴住居跡	264
第172図	SI113堅穴住居跡出土遺物	222	第211図	SI127堅穴住居跡	265
第173図	SI114堅穴住居跡	223	第212図	SI128堅穴住居跡	267

第213図	SI129A 竪穴住居跡(1)	268	第252図	SD66出土遺物(4層③)	314
第214図	SI129A 竪穴住居跡(2)	269	第253図	SD66出土遺物(4層④)	315
第215図	SI129A 竪穴住居跡出土遺物(1)	269	第254図	SD66出土遺物(4層⑤)	316
第216図	SI129A 竪穴住居跡出土遺物(2)	270	第255図	SD66出土遺物(4層⑥)	317
第217図	SI129B 竪穴住居跡	272	第256図	SD66出土遺物(4層⑦)	318
第218図	SI130 竪穴住居跡	273	第257図	SD66出土遺物(4層⑧)	319
第219図	SI130 竪穴住居跡出土遺物	274	第258図	SD66出土遺物(4層⑨)	320
第220図	SI131 竪穴住居跡	276	第259図	SD66出土遺物(4層⑩)	321
第221図	SI131 竪穴住居跡出土遺物	276	第260図	SD66出土遺物(4層⑪)	322
第222図	SI132 竪穴住居跡	277	第261図	SD66出土遺物(4層⑫)	323
第223図	SB6 挖立柱建物跡(1)	278	第262図	SD66出土遺物(4層⑬)	324
第224図	SB6 挖立柱建物跡(2)	279	第263図	SD66出土遺物(4層⑭)	325
第225図	SB6 挖立柱建物跡出土遺物	279	第264図	SD66出土遺物(4層⑮)	326
第226図	SB7 挖立柱建物跡	280	第265図	SD66出土遺物(下層①)	328
第227図	SB8 挖立柱建物跡	281	第266図	SD66出土遺物(下層②)	329
第228図	SB8 挖立柱建物跡出土遺物	282	第267図	SD66出土遺物(下層③)	330
第229図	SB9 挖立柱建物跡	283·284	第268図	SD66出土遺物(下層④)	331
第230図	SB9 挖立柱建物跡出土遺物	285	第269図	SD66出土遺物(下層⑤)	332
第231図	SB10 挖立柱建物跡	286	第270図	SD66出土遺物(その他①)	333
第232図	古代溝跡遺構配置図	287·288	第271図	SD66出土遺物(その他②)	334
第233図	溝跡断面図	290	第272図	S A 2·3·4·5一本柱列(1)	335·336
第234図	SD63·65溝跡	291	第273図	S A 2·3·4·5一本柱列(2)	338
第235図	SD63溝跡出土遺物(1)	292	第274図	土坑(1)	342
第236図	SD63溝跡出土遺物(2)	293	第275図	土坑(2)	343
第237図	SD63溝跡出土遺物(3)	294	第276図	土坑(3)	344
第238図	SD65溝跡出土遺物	295	第277図	土坑(4)	345
第239図	SD66溝跡·SA1材木列(1)	297·298	第278図	土坑出土遺物(1)	347
第240図	SD66溝跡·SA1材木列(2)	299	第279図	土坑出土遺物(2)	348
第241図	SD66溝跡·SA1材木列(3)	300	第280図	土坑出土遺物(3)	349
第242図	SD66出土遺物(上層①)	302	第281図	ピット	350
第243図	SD66出土遺物(上層②)	303	第282図	ピット出土遺物	351
第244図	SD66出土遺物(上層③)	304	第283図	S X 5性格不明遺構	352
第245図	SD66出土遺物(上層④)	305	第284図	S X 5性格不明遺構出土遺物	353
第246図	SD66出土遺物(上層⑤)	306	第285図	遺構外出土遺物(1)	354
第247図	SD66出土遺物(上層⑥)	307	第286図	遺構外出土遺物(2)	355
第248図	SD66出土遺物(上層⑦)	308	第287図	遺構外出土遺物(3)	356
第249図	SD66出土遺物(上層⑧)	309	第288図	遺構外出土遺物(4)	357
第250図	SD66出土遺物(4層①)	312	第289図	遺構外出土遺物(5)	358
第251図	SD66出土遺物(4層②)	313			

第1章 調査にいたる経過

1. 調査事由

「仙台市あすと長町土地区画整理事業」は、仙台市太白区長町に計画された「長町地区新都市整備計画」に伴い実施されることになった事業である。事業計画地内には、周知の遺跡として西台畠遺跡・郡山遺跡が所在していたが、長町駅東遺跡は、計画区域の大半を占める旧国鉄貨物ヤード跡地における遺跡の存在の有無、範囲等を把握するために平成3年及び4年に実施された試掘調査によって発見された遺跡である。

その後仙台市教育委員会と事業主体者である住宅・都市整備公團(現 独立行政法人都市再生機構)は本事業の施行に伴う埋蔵文化財の取り扱いについて協議を行い、事業地内の計画路線にかかる西台畠遺跡・長町駅東遺跡及び郡山遺跡の一部について発掘調査を実施することになった。

発掘調査は事業計画の進行に合わせて実施することとし、平成10年の西台畠遺跡の調査から開始した。長町駅東遺跡については、平成13年から区画整理事業の幹線道路となる副都心大通り線(あすと長町大通り線)を対象として、計画路線の南側から調査を開始し、平成16年度まで調査を実施した。

その間、副都心大通り線整備事業については、一部区間が一般国道4号線拡幅事業として国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所が直接施工することになり、平成13年度から15年度調査については、国土交通省東北地方整備局と委託契約を締結し調査を実施した。

長町駅東遺跡年度別調査成果一覧

調査年度	調査次数	調査区	調査成果
平成13年	1次調査	1区・2A区・2B区	住居跡24軒・掘立柱建物跡2棟・溝跡・土坑
平成14年	2次調査	2B区下層調査・3A区	住居跡53軒・掘立柱建物跡3棟・溝跡・土坑
平成15年	3次調査	3A区下層調査・3B区	住居跡68軒・掘立柱建物跡5棟・区画施設
平成16年	4次調査	4区	住居跡78軒・掘立柱建物跡18棟・区画施設
平成17年	5次調査	5区(40街区・道路)	住居跡11軒・溝跡11条・土坑・河川跡
平成18年	6次調査	5区(40街区・道路)	住居跡21軒・溝跡42条・土坑・河川跡
平成19年	7次調査	5区(40街区・道路)	土坑23基・井戸跡・溝跡・河川跡
	8次調査	41街区・マンション建設	溝跡6条・河川跡
平成20年	9次調査	40街区民有換地(宅地造成)	住居跡49軒・掘立柱建物跡3棟・木材列・河川跡
	10次調査	37街区(保留地)	住居跡18軒・掘立柱建物跡7棟・区画施設
	11次調査	環状線	住居跡1軒・溝跡・土坑・弥生時代遺物包含層

2. 調査要項

遺跡名：長町駅東遺跡(仙台市文化財登録番号C-317)

所在地：仙台市太白区長町六丁目

(1) 平成15年度調査体制

調査期間：2003年(平成15年)4月14日～2004年(平成16年)1月30日

調査主体：仙台市教育委員会

調査担当：仙台市教育委員会文化財課調査係

主事 工藤信一郎 文化財教諭 村上 秀樹

文化財教諭 女川 征延

派遣調査員 国際航業株式会社 竹内俊之 前川雅夫 長林 大

調査対象面積：2,100m²

本調査面積 3 B 区 1,800m² 3 B 区下層調査(弥生時代遺物包含層) 780m²

3 A 区下層調査(縄文時代遺物包含層) 630m²

(2) 調査報告書作成体制

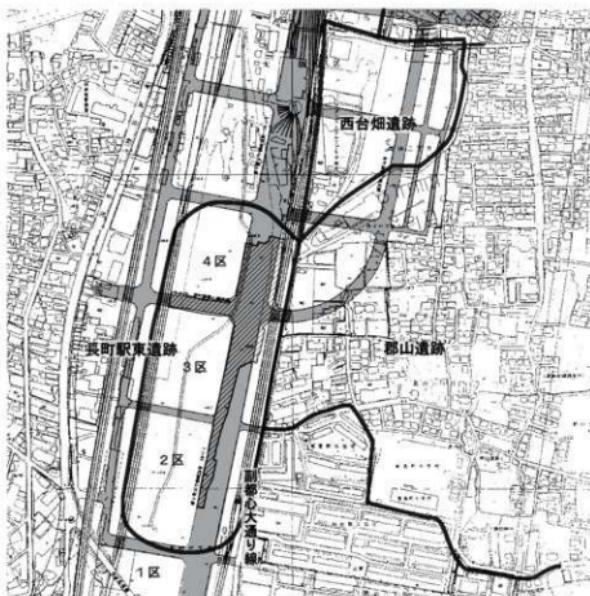
平成 20 年度

整理担当：仙台市教育委員会文化財課調査係 主任 工藤信一郎 主査 荒井 格

整理体制：国際文化財株式会社

統括責任者 前川雅夫 主任調査員 替川貴史 調査員 利屋 勉 調査補助員 工藤 司

調査補助員 鵜久森 樊 佐藤 洋 計測員 岩井雅彦 計測補助員 佐藤 寛



第1図 調査区位置図

3. 遺構確認調査

(1) 遺構確認調査に至る経過

区画整理事業の中心となる長町貨物ヤード跡地内は、平成3年・4年に実施された試掘調査や平成10年以来の調査成果により、旧国鉄時代に貨物ヤード造成に伴う擾乱を広範囲に受けていることが明らかになった。さらに事業区域内の北部及び南部では、それぞれ広瀬川あるいは名取川と考えられる大規模な河川の浸食により遺構面が影響を受けていることが想定された^(注1)。

しかし、区画整理事業に伴う調査を開始してから5年が経過し、西台畠遺跡でも約140軒の豊穴住居跡が確認されるなど、長町駅東遺跡の調査成果と合わせて、多賀城以前の陸奥国府と考えられる郡山遺跡官衙の西側に、官衙に関係する大規模な集落が存在することも明らかになってきた。そこで出来るだけ早い時期に、区画整理事業区域の全域を対象とした遺構確認調査を実施し、遺跡範囲の広がりや遺構の密度・遺存状況を確認し、今後の発掘調査計画を策定する必要性について事業者側との協議を重ねていた。

また平成18年度にはあすと長町土地区画整理事業の「街開き宣言」が予定されるなど、一部街区や道路の供用開始にむけた道路建設などの基盤整備を進めるため、工事施工計画と文化財調査の調整も必要になってきていた。

平成14年度の後半に入ると、区域内でも鉄道関連施設の移転や用地買収等が進み文化財調査が可能となる範囲が広がってきたことから、都市基盤整備公團・東北地方整備局仙台河川国道事務所・仙台市文化財課の3者で今後の調査計画について協議を行い、平成15年度に区画整理事業区域全体を対象とした遺構確認調査を実施し、その成果を受けて今後の発掘調査計画を協議していくことになった。ただし、西部については東北線があり、JR東日本管理地であることから今回の調査対象からは除外し、この区域については東北線の高架事業完成後に遺構確認調査を実施することとなった^(注2)。

(2) 調査の方法

調査対象となる事業区域が南北に長いことから、概ね平成18年度に計画されている「街開き宣言」エリアを北半部とし、すでに本調査を終了した範囲を含むエリアを南半部とし調査を開始した。基本的には道路計画部分を調査対象としたが、一部先行して供用開始が予定されている街区部分(事業用地)についても可能な範囲の中で調査を実施することにした。

幹線道路である副都心大通り線を対象とした調査は、計画路線内のセンターラインを基準として、直交するよう3×20mの東西トレントを15m間隔で設定し調査を行った。その他の調査トレントについては、周辺の状況等を考慮しながら調査区を設定した。調査トレントの位置については、調査終了後基準点測量を実施し、「平面直角座標系第X系」に位置づけ、1/1000現況事業計画図に重ね合わせた位置図を作成している。

調査は、重機により遺構確認面まで掘り下げを行い、その後人力により遺構検出作業を行った。古代の遺構面が残存しないと判断された地点については、調査区の拡張を行い安全を確保した上で、下層調査を行い弥生～繩文時代の遺構面・遺物包含層の確認を行った。

調査記録としては、遺構検出状況写真の撮影、調査区平面図・断面図の作成、レベル記入を行った。

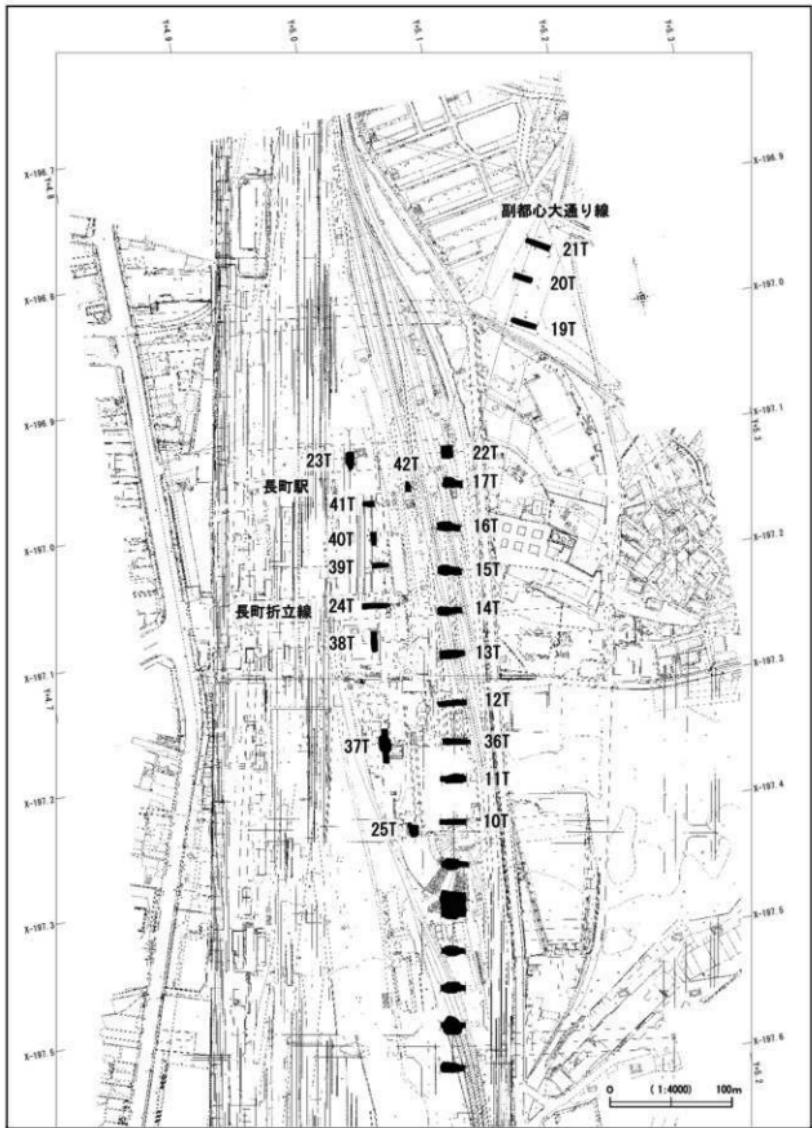
(3) 北半部の確認調査

①調査要項

調査期間 平成15年5月～7月・9月

調査地点 大通り線北部 10～21・36トレント JR長町駅前広場線 22・23トレント

都市計画道路長町折立線(現長町八木山線) 24トレント 街区区画道路 25トレント



第2図 確認調査北半部トレンチ配置図

調査地点	トレンチ名称	規 模	調査面積	調査結果	備 考
大通り線 6区	10トレンチ	4.5m × 18m	80m ²	遺構・遺物無	河川跡・灰白火山灰
	11トレンチ	7m × 14m	98m ²	遺構・遺物無	河川跡・灰白火山灰
	12トレンチ	4m × 17m	68m ²	遺構・遺物無	河川跡・灰白火山灰
	36トレンチ	5m × 19m	95m ²	遺構・遺物無	河川跡・灰白火山灰
大通り線 7区	13トレンチ	7m × 21m	140m ²	遺構・遺物無	河川跡
	14トレンチ	5m × 20m	100m ²	遺構・遺物無	河川跡
	15トレンチ	6m × 20m	100m ²	遺構・遺物無	河川跡
	16トレンチ	6m × 19m	100m ²	遺構・遺物無	河川跡
	17トレンチ	5.5m × 16.5m	90m ²	遺構・遺物無	河川跡
大通り線 9区	19トレンチ	5m × 21.5m	100m ²	遺構・遺物無	河川跡
	20トレンチ	3.5m × 12m	40m ²	遺構・遺物無	河川跡
	21トレンチ	4m × 16m	60m ²	遺構・遺物無	河川跡
長町駅前広場 線	22トレンチ	10m × 9.5m	90m ²	遺構・遺物無	
	23トレンチ	13m × 6m	75m ²	遺構・遺物無	
長町折立線	24トレンチ	4m × 18.5m	70m ²	遺構・遺物無	石炭ガラ
区画道路	25トレンチ	8.5m × 7m	55m ²	遺構・遺物無	灰白火山灰
16街区	37トレンチ	3m × 5m	15m ²	遺構・遺物無	
	38トレンチ	12m × 5m	60m ²	遺構・遺物無	
14街区	39トレンチ	5m × 10m	50m ²	遺構・遺物無	石炭ガラ
	40トレンチ	7.5m × 5m	35m ²	遺構・遺物無	石炭ガラ
	41トレンチ	5m × 7.5m	35m ²	遺構・遺物無	石炭ガラ
	42トレンチ	6.5m × 5m	30m ²	遺構・遺物無	石炭ガラ

○大通り線8区に設定した18トレンチについては、市道に接していて大型の重機の搬入が難しい上に調査可能な範囲が狭かったことや、周辺の確認調査結果や調査以前の土地の利用状況から遺構面が残存している可能性は低いと判断されたことから調査対象から除外した。

○区画道路25トレンチ西側に設定した26トレンチについては、都市基盤整備公團・JR東日本・文化財課による現地協議により、JR東北線管理施設に近接していることから調査対象から除外した。

○14街区に設定した43トレンチについては、周辺の確認調査結果及び都市基盤整備公團が実施した石炭ガラ埋蔵量調査のポーリングデータから、遺構面が残存している可能性は低いと判断されたことから調査対象から除外した。

②北半部の調査成果

○ほとんどの調査区から河川跡に伴う堆積土(砂疊層)が確認された。また長町折立線南側の調査区では、河川堆積土中に10世紀前半に降下した灰白色火山灰を含む層が確認された⁽²³⁾。このことから、北半部については古代の遺構面は存在しないと判断される。確認された河川堆積の状況や範囲などから、この河川跡については現

- 在事業計画区域の北を流れている広瀬川が一時期この周辺まで南下していた可能性が考えられる^(註4)。
- 長町折立線(現長町八木山線)用地及びその北側の14街区、南側の16街区については、国鉄時代に現地表面から2~4mにおよぶ広範囲の土取りを受け、その後大量の石炭ガラが投棄され整地されている状況が確認されたことから遺構面が存在しないと判断される。
 - 大規模な河川による侵食の痕跡や広範囲の土取り工事が確認されたことから、北半部については現時点では調査対象から除外できると判断できる。

(4) 南半部の調査

①調査要項

調査期間 平成15年6月~8月

調査地点 大通り線南部 1~9・35トレンチ 環状線 29・30トレンチ

JR新駅前広場線(現太子堂駅)33・34トレンチ 区画道路 31・32トレンチ

調査地点	トレンチ名称	規 模	調査面積	調査結果	備 考
大通り線 4区	1トレンチ	4m × 41m	163nf	豊穴住居跡	
	2トレンチ	4m × 26m	104nf	豊穴住居跡・土坑	
	2トレンチ拡張	4m × 32m	128nf	溝跡	
	3トレンチ	4m × 17m	68nf	遺構無	
	4トレンチ	4.5m × 19m	85nf	遺構無	
	5トレンチ東 5トレンチ西	7m × 14m 8m × 14m	98nf 110nf	遺構・遺物無	河川跡
大通り線 5区	6トレンチ	8.5m × 12m	100nf	遺構・遺物無	河川跡
	7トレンチ	9.3m × 17.5m	160nf	遺構・遺物無	河川跡
	8トレンチ	8.5m × 16m	136nf	遺構・遺物無	河川跡
	9トレンチ	21.5m × 20m	430nf	遺構・遺物無	河川跡
	35トレンチ	9m × 13m	117nf	遺構・遺物無	河川跡・灰白火山灰
区画道路	27トレンチ	9.5m × 7.5m	70nf	遺構・遺物無	
	28トレンチ	10m × 15m	150nf	遺構・遺物無	井戸跡
環状線	29トレンチ	4.5m × 17.5m	78nf	豊穴住居跡・溝跡	
	30トレンチ	9m × 8.5m	75nf	豊穴住居跡・溝跡	
区画道路	31トレンチ	4.5m × 13m	58nf	豊穴住居跡・溝跡	
	32トレンチ	5m × 17.5m	87nf		
新駅前広場線	33トレンチ	18m × 11m	198nf		
	34トレンチ	7.5m × 8m	60nf		

②南半部の調査成果

○大通り線路線内5区より北側は、北半部同様に河川跡に伴う堆積土が確認され、遺構面が存在しないと判断される。北半部10トレンチ南側の35トレンチでは河川堆積土中に10世紀前半に降下した灰白色火山灰を含む層がある。

○遺構面の確認された大通り線4区および環状線部分、40街区北側の区画道路については、これまでに調査を実施した調査区同様に密集した状態での住居跡の検出が想定される。

○新駅前広場線周辺については、国鉄時代に広範囲な土取り工事を受けている。また大通り線1区や2区の調査では、河川跡に伴う堆積土(砂礫層)が確認されたことから、この周辺に大規模な河川跡(名取川?)の存在が考えられることから^(註5)、現時点では調査対象から除外できると判断できる。

(5) 街区(事業用地)を対象とした確認調査

①調査要項

調査期間 平成15年8月～9月

調査地点 37街区 50～52トレンチ・41街区 44～49トレンチ

調査地点	トレンチ名称	規 模	調査面積	調査 結 果	備 考
41街区	44トレンチ	9.5m × 10.5m	97m ²	溝跡・土坑	
	45トレンチ	10.5m × 9.5m	97m ²	溝跡・土坑	
	46トレンチ	10.5m × 10m	100m ²	溝跡・土坑	
	47トレンチ	10m × 9.8m	90m ²	溝跡・土坑	
	48トレンチ	10.8m × 10m	100m ²	遺構・遺物無	河川跡
	49トレンチ	18.7m × 8.7m	150m ²	遺構・遺物無	
37街区	50トレンチ	24.5m × 8m	190m ²	遺構・遺物無	

②事業街区の調査成果

○48～50トレンチについては、現地表面から2～3mにおよぶ搅乱を受け、その後石炭ガラ等により整地されている状況などから調査対象から除外できると判断できる。

○41街区については堅穴住居跡は確認されなかったが、溝跡や土坑などの遺構の確認されたことから今後本調査が必要と判断される。

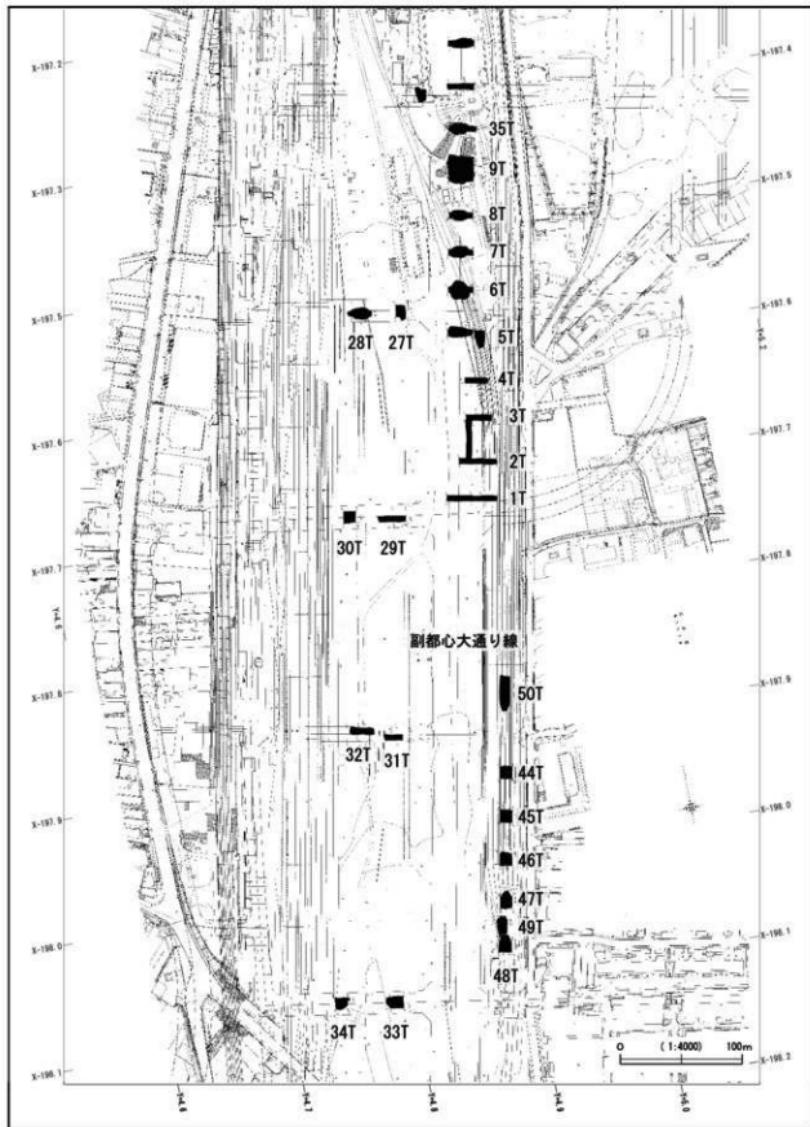
○37街区南側については、50トレンチ南側の区画道路を対象とした調査時に河川跡を確認していることから、調査対象から除外できると判断できるが、北側については3B区の遺構面の拡がりが想定されることから今後本調査が必要と判断される。

(6) 調査計画の策定

遺構確認調査の結果を受け、平成18年度に予定されている「街開き宣言」に向け道路整備が急がれる副都心大通り線を対象にした調査については、3B区よりも北の区域については、4区部分のみであると判断された。その結果、調査対象面積は約7000m²となることが確定した。そこで、都市基盤整備公団と本調査の実施について協議し、平成16年度内に大通り線4区全域及び交差する環状線の一部を対象に調査を実施することとなった。

4区調査については既報告のとおり、調査面積の広さだけでなく、堅穴住居跡を中心に遺構密度が高いことが想定されたことから、仙台市文化財課による調査体制では平成16年度内の調査終了は難しいと判断されたことから調査委託により実施することになった。

また今回の遺構確認調査により、現時点では調査の必要がないと判断された区域についても、今後調査が進み新



第3図 確認調査南半部トレンチ配置図

たな知見が得られ、調査対象範囲の見直しが必要となることも想定されることから、工事施工時に改めて協議を行い、必要に応じて試掘調査の実施や工事立会いなどにより対応していくことにした。

註1：東北学院大学教授 松本秀明先生のご教示による。

註2：高架事業用地を対象とした確認調査については、平成13年度に実施し、遺構面が残存していないことを確認していた。事業地西半部（JR東日本管理地）を対象とした確認調査は、その後平成19年に実施し、対象となる範囲の大部分が複数の河川により繰り返し侵食を受けていることが明らかになった。その調査成果については別途報告したい。

註3：試掘調査トレンチから採取された資料の火山灰分析による（第6章1参照）。

註4・5：東北学院大学教授 松本秀明先生のご教示による。

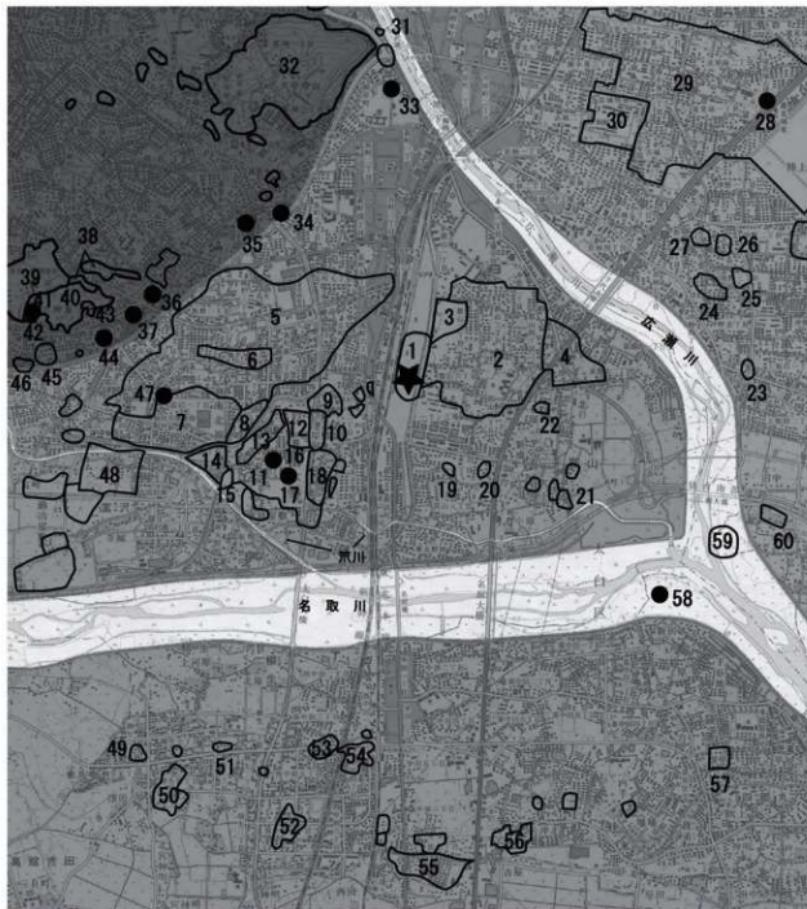


第4図 仙台市あすと長町地区画整理事業施行区域(平成8年10月30日撮影)

第2章 遺跡の立地と環境

1. 長町駅東遺跡の立地と環境

長町駅東遺跡は仙台市の南東部、太白区長町六丁目付近に広がる遺跡である。JR東北本線の東側に位置し、遺跡の範囲は南北480m、東西200mで総面積は約90,000m²に及んでいる。遺跡から北に約1.5kmに広瀬川、南へ1.5kmに名取川が流れおり、南東2.5kmの地点で合流している。長町駅東遺跡は両河川と、西を青葉山丘陵に



第5図 長町駅東遺跡と周辺の遺跡(●は古墳)

(註:現在の地形に道路の分布を当てはめた図であり、旧地形ではない。)

- 丘陵地
- 後背湿地・自然堤防
- 河川・河川敷

長町駅東遺跡と周辺の遺跡

No	遺跡名	種別	立地	時代・時期
1	長町駅東遺跡	集落跡・水田跡	自然堤防・後背湿地	弥生～中世
2	郡山遺跡	官衙・寺院	自然堤防・後背湿地	繩文～中世
3	西台畠遺跡	聚落跡	自然堤防	弥生～古代
4	北日城跡	城郭	自然堤防	中世
5	宮沢遺跡	埋蔵林・集落跡・水田跡・城郭	後背湿地	旧石器～近世
6	皇崎通遺跡	盆地地	自然堤防	繩文・奈良・平安
7	山口遺跡	盆地地・水田跡	自然堤防	繩文・弥生・奈良・平安
8	下ノ内浦遺跡	集落跡	自然堤防	繩文・平安
9	元登遺跡	集落跡	自然堤防	奈良・平安
10	大野川遺跡	盆地	自然堤防	繩文～中世
11	大野川古墳群	盆地・集落跡・官衙	自然堤防	繩文～中世
12	袋前遺跡	集落跡・官衙	自然堤防	繩文～平安
13	六反田遺跡	集落跡・官衙	自然堤防	繩文～平安
14	下ノ内浦遺跡	集落跡	自然堤防	繩文～平安
15	伊古田遺跡	集落跡	自然堤防	繩文～平安
16	春日古墳	古墳	自然堤防	古墳
17	鳥居塚古墳	古墳	自然堤防	古墳
18	王ノ池遺跡	盆地	自然堤防・後背湿地	繩文～中世
19	の場遺跡	集落跡	自然堤防	奈良・平安
20	龍ノ瀬遺跡	集落跡	自然堤防	古墳・平安
21	矢ノ上遺跡	集落跡・水田跡	自然堤防	古墳～中世
22	矢来遺跡	散布地	自然堤防	古墳～平安
23	河原越遺跡	盆地地	自然堤防	古墳～平安
24	砂押Ⅱ遺跡	盆地地	自然堤防	古墳～平安
25	中横西遺跡	盆地地	自然堤防	弥生～平安
26	神柳遺跡	盆地地	自然堤防	繩文～平安
27	砂押Ⅰ遺跡	盆地地	自然堤防	古墳～平安
28	邊見塚古墳	古墳	自然堤防	古墳
29	南小泉遺跡	集落跡	自然堤防	弥生～中世
30	若林城跡	城郭	自然堤防	中世～近世

No	道路名	種別	立地	時代・時期
31	宗神寺横穴群	横穴古墳	丘陵斜面	古墳・奈良
32	茂ヶ崎城跡	城塹	丘陵	中世
33	更塙古墳	古墳	丘陵斜面	古墳
34	一塙古墳	古墳	丘陵斜面	古墳
35	二塙古墳	古墳	丘陵斜面	古墳
36	砂押古墳	古墳	丘陵斜面	古墳
37	金丸沢古墳	古墳	丘陵斜面	古墳
38	土手内浦穴群	横穴古墳・室跡	丘陵斜面	古墳
39	戸ノ口遺跡	集落跡	段丘	平安
40	三神峯遺跡	集落跡	段丘	繩文
41	三神峯古墳群	古墳	段丘	古墳
42	宮沢宮跡	室跡	丘陵斜面	古墳～平安
43	金山堂跡	室跡	丘陵斜面	古墳
44	武田古墳	古墳	丘陵斜面	古墳
45	原遺跡	集落跡・古墳	段丘	繩文～平安
46	西台壁跡	室跡	丘陵斜面	奈良
47	教導古墳	古墳	自然堤防	古墳
48	笠置館跡	城塹	自然堤防	中世
49	松木遺跡	集落跡	自然堤防	平安・中世
50	開場遺跡	盆地地	自然堤防	平安
51	前東遺跡	盆地地	自然堤防	平安
52	栗遺跡	集落跡	自然堤防	古墳
53	安久遺跡	集落跡	自然堤防	弥生・平安・中世
54	安久東遺跡	集落跡・墓域	自然堤防	弥生～近世
55	中田南遺跡	集落跡	自然堤防	繩文～中世
56	後河原遺跡	水田跡	自然堤防・後背湿地	弥生～近世
57	中田側小遺跡	集落跡	自然堤防	古墳～平安
58	大塚山古墳	円墳	自然堤防	古墳
59	日這遺跡	集落跡	河川敷	古墳
60	日這館跡	城塹	自然堤防	中世

よって画された郡山低地内の標高10m前後の後背湿地と自然堤防上に立地している。遺跡の東側には多賀城以前、古代陸奥國の官衙である郡山遺跡が位置する。また、遺跡の北側には長町駅東遺跡とほぼ同時期の豊穴住居跡を100軒以上検出している西台畠遺跡があり、合わせて総数400軒を超える一連の大集落と考えられる。出土遺物の年代等から郡山官衙との密接な関係が推測されている。

2. 周辺の遺跡と歴史的環境

長町駅東遺跡の位置する郡山低地は、名取川と広瀬川の両河川によって形成された。両河川は古くより氾濫を繰り返し、低地内には複雑に入り組んだ自然堤防と後背湿地が形成され、旧河川なども多く見ることができる。豊かな自然環境は古くから人々に利用され、低地内、段丘上から多くの遺跡が発見されている。遺跡の分布と発掘調査の成果などから低地内の歴史的環境と土地利用の変遷を概観していく。

旧石器時代

旧石器時代の遺跡としては後背湿地に位置する富沢遺跡が知られている。第30次調査において、地下5mの地点から2万年前の氷河期の様相を示す湿地林が発見された。当時の環境を復元することのできる植物遺体、昆虫遺

体、シカの糞など他の他に、人類の生活跡である焚火跡とその周囲から石器を製作した跡などが検出された。氷河時代の自然環境と人類の生活跡が同時に発見された遺跡は世界的にもあまり例がなく、現在は仙台市富沢遺跡保存館(地底の森ミュージアム)として保存公開されている。また段丘上に位置する芦ノ口遺跡からは、3万年以前とされる泥炭層から森林の跡が発見され、富沢遺跡と並び氷河期の自然環境を今に伝えている。

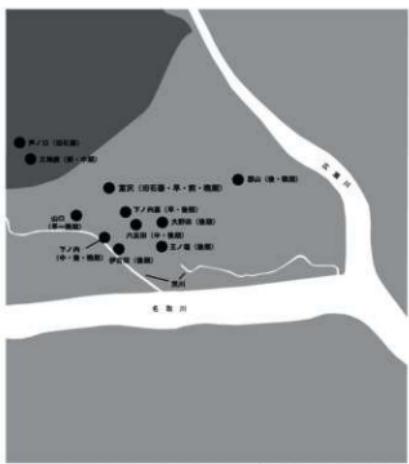
縄文時代

縄文時代になると、名取川の支流である笊川によって形成された自然堤防上に多くの遺跡が立地している。草創期の遺跡は市内で唯一、広瀬川上流域の丘陵上に野川遺跡が位置しているが、郡山低地付近では発見されていない。

早期には低地の利用が始まり、山口遺跡では早期末頃の遺物包含層、下ノ内浦遺跡では堅穴住居跡や陥し穴などが検出されている。

前期の遺跡としては丘陵上の三神峯遺跡があり、前期前葉の堅穴住居跡8軒が発見されている。調査箇所はごく一部であるが、丘陵上の広範囲に大規模な集落が広がっていると推測されている。名取川右岸の段丘上にも同時期の大規模な集落が位置することから、同時期には丘陵上の土地利用が盛んにおこなわれていたことがわかる。また低地内では富沢遺跡や山口遺跡で遺物包含層が発見されており、低地の利用も行われていたと推測されている。

中期になると遺跡数の増加が見られ、丘陵上、低地内共に多くの遺跡が位置する。下ノ内浦遺跡などからは復式炉を伴う敷石住居跡が検出され、宮城県南部から福島県の北部に限定して見られる特徴的な住居形態として、地域的な特色をよく表している。



■ 丘陵地 ■ 後背湿地・自然堤防 □ 河川・河川敷

第6図 旧石器・縄文時代の主な遺跡

弥生時代

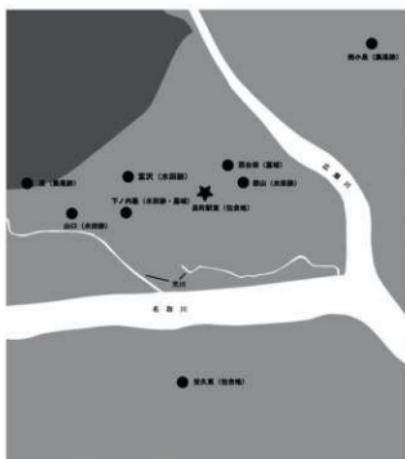
弥生時代になると低地の利用が活発化する。丘陵上の遺跡としては、土手内遺跡、八木山緑町遺跡から後期の堅穴住居跡などが検出されている。一方、湿润な低地が耕作をはじめとする農耕に適していることに起因し、低地内では中期以降、富沢遺跡をはじめとした多くの遺跡から水田跡などが検出されている。富沢遺跡での中期前半の水

後期になると丘陵上の遺跡は減り、低地内に多くの集落が作られるようになる。六反田遺跡では後期初頭の集落、下ノ内浦遺跡では後期前半の墓と考えられる配石遺構が検出されている。大野田遺跡では後期前半の祭祀の場と考えられる配石遺構の他、270点を超える土偶、漁撈の存在を示す骨角器なども発見されており、この地域で安定した生活が営まれていたことを示している。

晩期は調査事例が少なく遺構は検出されていないが、遺物の分布から見ると、後期から継続して土地利用がなされていたと推測される。山口遺跡で検出された河川跡からはクルミやトチノミ、ドングリなどが大量に見つかり、花粉分析の結果から、湿地帯にはササ・ヨシ・シダ・ヨモギなど、自然堤防上にはナラやマツの木が見られ、後期から晩期にかけての自然環境が復元されている。

田跡の発見は、東北地方では青森県垂柳遺跡に次ぐ発見でもあった。富沢遺跡では8期に渡る水田跡が検出されている。また木製農耕具が出土しており、当時の農耕技術、生活の様子を窺い知ることができる。同時期の水田跡は長町駅東遺跡、郡山遺跡、山口遺跡などでも検出されており、郡山低地が盛んに水田として利用されていたことが明らかとなっている。

また、自然堤防上に位置する南小泉遺跡からは中期中頃の多量の土器・石器、長町駅東遺跡、西台畠遺跡や下ノ内浦遺跡からは副葬品を伴う墓壙が見つかっている。



第7図 弥生時代の主な遺跡



第8図 古墳時代の主な遺跡

古墳時代

古墳時代になると、富沢遺跡や下ノ内浦遺跡、郡山遺跡などで弥生時代から継続して水田が営まれている。また、低地内の集落遺跡としては、弥生時代から継続的に大規模な集落が営まれている南小泉遺跡、「栗圓式土器」の標式遺跡である栗跡遺跡などが知られている。

仙台市内では前期の古墳は多くないが、安久東遺跡などから弥生時代の系譜を引く前期前半の方形周溝墓が見つかっている。前期末になると東北地方で3番目の規模の遠見塚古墳が築造される。全長110mの前方後円墳で、墳頂部からは粘土郭を持つ埋葬施設が検出されている。

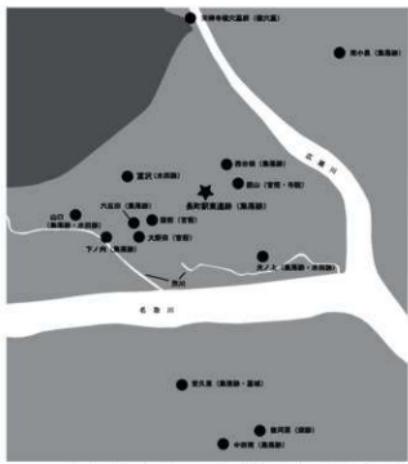
中期の後半から後期にかけては、丘陵の裾部に直径30m前後の円墳が点在して築かれ、裏町古墳からは鏡や刀子、一塚古墳からは鏡やガラス玉など豊富な副葬品が出土している。これらの古墳は首長墓であると考えられており、段丘の裾部に意識的に築かれたと推測されている。また、大野田周辺には大野田古墳群が形成され、40基を超える古墳が発見されている。その多くは全長が10~20m程の小規模な円墳であるが、その中でも唯一の前方後円墳である鳥居塚古墳と、直径30mを超える円墳で東北地方で初めて革盾が出土した春日社古墳が特筆され、ヤマト政権との関連性が指摘されている。また、三神峰遺跡の東斜面には東北地方唯一の埴輪窯である富沢窯跡が位

置する。富沢窯跡から出土した埴輪は、これらの古墳から出土した埴輪と同じ特徴を持つことが確認されている。同じ丘陵上の斜面からは須恵器窯である金山窯跡、土手内窯跡も発見されており、埴輪だけでなく須恵器の生産もおこなわれていたと考えられている。

終末期になると丘陵の斜面を利用した横穴墓が築かれるようになり、宗禅寺横穴墓群など大年寺山の周辺には多くの横穴墓群が存在している。

奈良・平安時代

古墳時代の終わり、7世紀の中頃になると東北地方にも律令体制の支配が及び、郡山の地に多賀城以前の東北支配の拠点が置かれる。郡山遺跡の官衙遺構は2時期にわたり、7世紀中頃に東北地方の蝦夷対策の拠点的な城柵としてのⅠ期官衙が造営される。7世紀の末頃になると、陸奥国衙と考えられているⅡ期官衙が造営される。Ⅱ期官衙は真北を基準に一辺が約430m(方四町)の規模で造営され、中枢部からは正殿などの他に、蝦夷の服属儀礼に使用されたと考えられる石組池などが検出されている。また、最近の調査において、方四町Ⅱ期官衙外溝が、条坊制の一坊(約530m)と同じ規模で構築されていることが明らかとなってきている。日本で条坊制が初めて導入されたのは藤原京であり、官衙域が正方形であることや官衙の外側に溝で区画された帶状の外周帯がめぐる形状と併せ、藤原京の設計思想が郡山遺跡の官衙の造営にも反映されていたと推測されている。



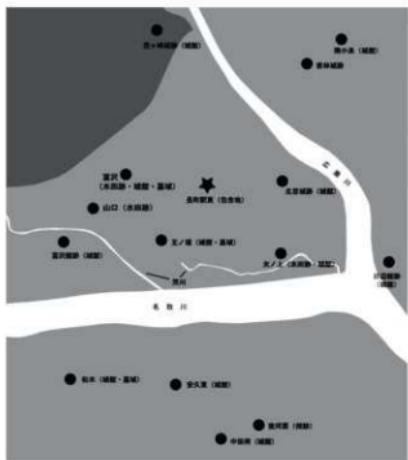
第9図 奈良・平安時代の主な遺跡

また、官衙政庁の南には官衙の付属寺院である郡山庵寺が位置し、基壇や僧房の跡などが検出されている。さらに、郡山遺跡の西側に隣接する長町駅東遺跡と西台寺遺跡からは総数400軒を超える竪穴住居跡が検出されており、郡山官衙の造営に伴い集落が形成され、国府が多賀城に移される8世紀前半まで継続したと考えられている。

国府が多賀城に移された後は、この周辺に名取郡衙が置かれていたと推測されているが、位置の特定には至っていない。袋前遺跡や大野田遺跡から真北を基準とした掘立柱建物跡などが検出されており、官衙跡である可能性が指摘されている。また、名取川右岸に位置する中田南遺跡からは総柱式の建物跡や銅製品の铸造を行ったと考えられる工房跡の他、円面鏡や灰釉陶器など官衙との関連を示す遺物が発見されている。低内地ではこれらの他に、山口遺跡や富沢遺跡などからは真北を基準とした水田跡が検出されている。

中世・近世

10世紀に入り律令制による支配が崩壊すると、寺社などによる荘園支配が広まっていく。その後12世紀頃になると次第に武家が台頭してくるようになり、各地に城館が築かれるようになる。丘陵上からは名取郡の旗頭栗野大膳の居城である茂ヶ崎城跡、平地には富沢を支配していた山岸氏の居城といわれる富沢館跡などが位置している。また、富沢遺跡からは有力農民層の屋敷跡と考えられる遺構の他、水田跡も検出されており、低内地では引き続



第10図 中・近世の主な遺跡

第3章 調査の方法と概要

1. 調査の方法

(1) 調査区の設定

長町駅東遺跡の調査は、区画整理事業地内を南北に縦断する計画道路幅40～50mという副都心大通り線(あすと長町大通り線)から実施することとなった。対象となる大通り線に直行する道路の交差点部分を調査区境とし、南側から1区・2区・3区・4区と呼称することとした。調査対象となる旧国鉄長町貨物ヤード跡地内は、平成3年・4年に実施した確認調査から、貨物ヤード造成に伴う大規模な搅乱を受け遺構面に大きな影響を受けていることが想定された。本調査区の設定にあたっては、事前に試掘調査を行い遺構面の遺存状況を確認し、調査計画をたてることにした。

2. 調査概要

(1) 調査経過

平成14年度に、3区を対象に試掘トレンチによる確認調査を行い、その結果対象区域のうち東半部については、大規模な搅乱が確認され古代の遺構面は存在しないと判断されたが、西半部については遺構面が残存しており、平成13年度に調査を実施した2B区同様に住居跡が密集していることが想定された。

そこで、3区のうち西半部での遺構の残存が確認された南側を3A区とし、調査については平成14年度に実施することにした。路線幅全域に遺構面が広がる北側は3B区として、3A区の下層調査(縄文時代遺物包含層)と併せて平成15年度に実施することになった。

3B区の調査は、前年度の成果を受けて重機による本調査区の表土除去作業を開始したが、調査区域の南東部の一部のみが削平を受けていただけであり、当初想定していたよりも遺構面の残存状況も良好であることが分かっ

水田が営まれていたことが明らかとなっている。

近世の城館としては、伊達政宗の仙台城入城以前の居城である北目城、政宗の隠居城である若林城跡などが知られている。若林城跡は一国一城令が施行されている状況下において屋敷跡として幕府の認可を受け築造されているが、実際は堀と土塁を四方に巡らせた平城である。政宗の死後廃城となり、間もなく仙台城二の丸が造営されている。

また、江戸初期には丘陵の裾部に沿って農産物や木材を運ぶために作られたといわれる木流堀が造られ、現在までその姿を残している。

た。古代の遺構面調査終了後に弥生面調査のための下層調査区(A～F区)を設定し、弥生時代中期樹形圓式期の遺物包含層及び理設土器などの遺構を検出した。また、前年度調査区である3A区内に2箇所(北区・南区)の下層調査区を設定し、縄文時代の遺物包含層の調査を実施した。

仙台市では、発掘調査の円滑な進行を図るため、民間発掘会社による委託調査の導入について調査・検討を行い、平成16年度から文化財課職員の指導監督によりこれまでの調査精度を維持することを前提として、発掘調査対象事業の一部を委託業務として民間発掘会社に委託している。

今回の長町駅東遺跡3B区調査については、豊穴住居跡等の遺構密度が高いことが想定され、さらに事業計画地域全域を対象とした遺構確認調査も計画していたことから、調査体制を強化するため国際航業株式会社と調査員派遣業務委託契約を締結し、調査員2名(その後1名増員)を加えた調査体制とした。

(2) 測量基準・図面の作成

測量は、「平面直角座標系第X系」を基準としている。5×10mを単位とする平面区配図を作成し、調査区南西端を1とし、北東端の51までの番号を付し遺構図面の作成を行った(第11図)。本文中で遺構の所在位置を示す場合は、この番号をグリッド番号として使用している。

(3) 遺物の取り上げ・調査記録の作成

遺物の取り上げにあたっては、測量基準とした平面区配図の番号をグリッド名として利用した。原則として、5×10m単位で取り上げている。特に必要と認められた遺物については、出土状態とレベルを記録している。

整理作業の段階で、主な遺構については遺構観察カードを作成し、事実記載及び調査時の所見を記録している。

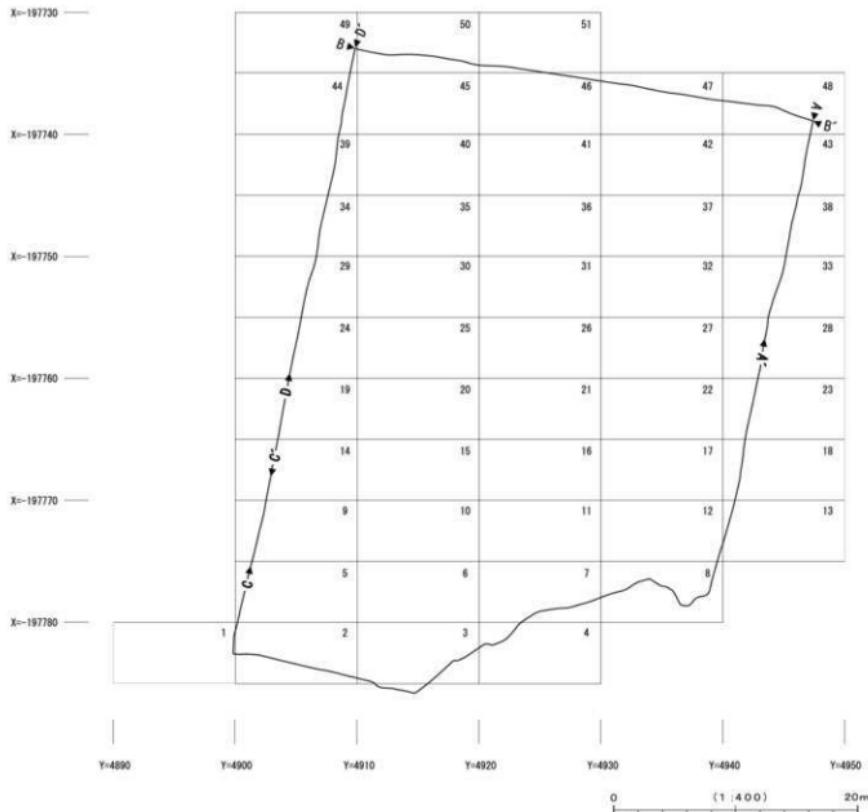
(4) 遺構登録番号

遺構登録番号については、長町駅東遺跡調査開始時からの通し番号とし、平成14年度に検出された遺構と同一遺構と判断された場合は前年度の遺構番号とした。

(5) 調査報告書作成作業

調査報告書作成に伴う整理作業について、委託業務により実施することとした。整理作業は、出土遺物の基礎整理(水洗・注記・接合・修復)、弥生土器の拓本・断面実測、遺構図面基礎整理、記録写真整理までを仙台市が行い、その後、国際文化財株式会社に作業を引き継いだ。

整理作業は仙台市内に所在する国際文化財株式会社東北支店で行った。出土遺物の登録・実測図作成、遺構・遺物図版の作成及び原稿執筆を行ったが、その間必要に応じて整理作業内容の確認・協議を行っている。特に、石器・弥生土器・土師器の実測図については、仙台市西台畠遺跡調査事務所において実測図の点検を行った。



第11図 グリッド配置図及び基本土層断面位置図

第4章 基本層序(第11・12図)

長町駅東遺跡の存在する場所は、旧国鉄貨物ヤードとして利用されていた経緯があり、大規模な土取りによる削平を受け、その後大量の炭ガラなどにより3mもの整地が行われていたことが確認されている。本遺跡での発掘調査前における現地表面の標高は10.6mを測り、以下80~140cm程の深さまで削平を受けているため、場所によっては遺構の掘り込み面が破壊されている箇所も見受けられた。

基本層序は調査区の北・東・西壁で図化を行った(第11・12図)。これを元に基本層を概観すると、今までの試掘調査及び本調査の所見から、Ⅰ層は、近世～現代にかけての盛土および整地層で、Ⅱ層は土層中より一部の小溝状遺構群やピットの掘り込みが認められるものの、古代末～中・近世の耕作土の可能性がある。Ⅲ層は古代の遺構掘り込み面、Ⅳ層は古代の遺構検出面および弥生時代の遺物包含層、V層は弥生時代の遺構検出面である。以下、基本層序の詳細を記述する。なお、Ⅶ層以下は第6章1節の3A区下層調査で述べる。

I層：近世から近代の盛土整地層と考えられる。混入物および土色から、I a層、I b層、I' 層およびI'' 層とI層の間層と、最大5層に細分が可能である。この盛土・整地層は、現地表面より80～140cmのレベルで削平された後堆積した土層である。径2～3mmの炭化物を少量含む褐色シルトであり、北壁、東壁で確認できる。上面は旧国鉄操車場に関する整地により削平を受けることにより、土層の残存状況に差があるが、最大で30cm程堆積する。西壁面土層ではi・ii層が確認された。両土層は焼土粒の混入量の差と土色の違いから区別されるものであるが、3B区西側中央部に位置するSI 101がii層から掘り込まれていることから、i層はIないしII層、ii層はIII層に包括される土層と考えられる。

II層：暗褐色ないし灰黄褐色シルトを主体とし、古代末～中・近世までの耕作土の可能性がある。壁面上土層からは、北壁西側、西壁北側、西壁中央部からやや南側に堆積する。上層のI層により削平を受けていたため判然としないが、古代～中世に帰属すると考えられる小溝状遺構群およびピットの一部がこの土層中から掘り込まれている。層厚は最大40cmを測る。

III層：炭化物を微量に含み、しまりの強いにぶい黄褐色シルトである。調査区のほぼ全域で確認され、層厚は10～50cmを測る。堅穴住居跡を中心とした古代の遺構が掘り込まれている。

IV層：2層に細分される。IV層は黒褐色シルトブロックを斑状に含むにぶい黄褐色土であり、調査区全域で確認された。層厚は10～40cmを測る。IV' 層は西壁の一部に確認されるもので、IV層に包括される。古代の遺構検出面、弥生時代の遺物包含層である。

V層：弥生時代の堆積層で、黒褐色ないし黄褐色シルトである。調査区全域で確認され、層厚は5～20cmである。

VI層：にぶい黄褐色の粘土質シルトあるいは砂質シルトで、マンガン斑が目立ちグライ化が認められる。

基本層序記録表(SPA-A', SPA-B')

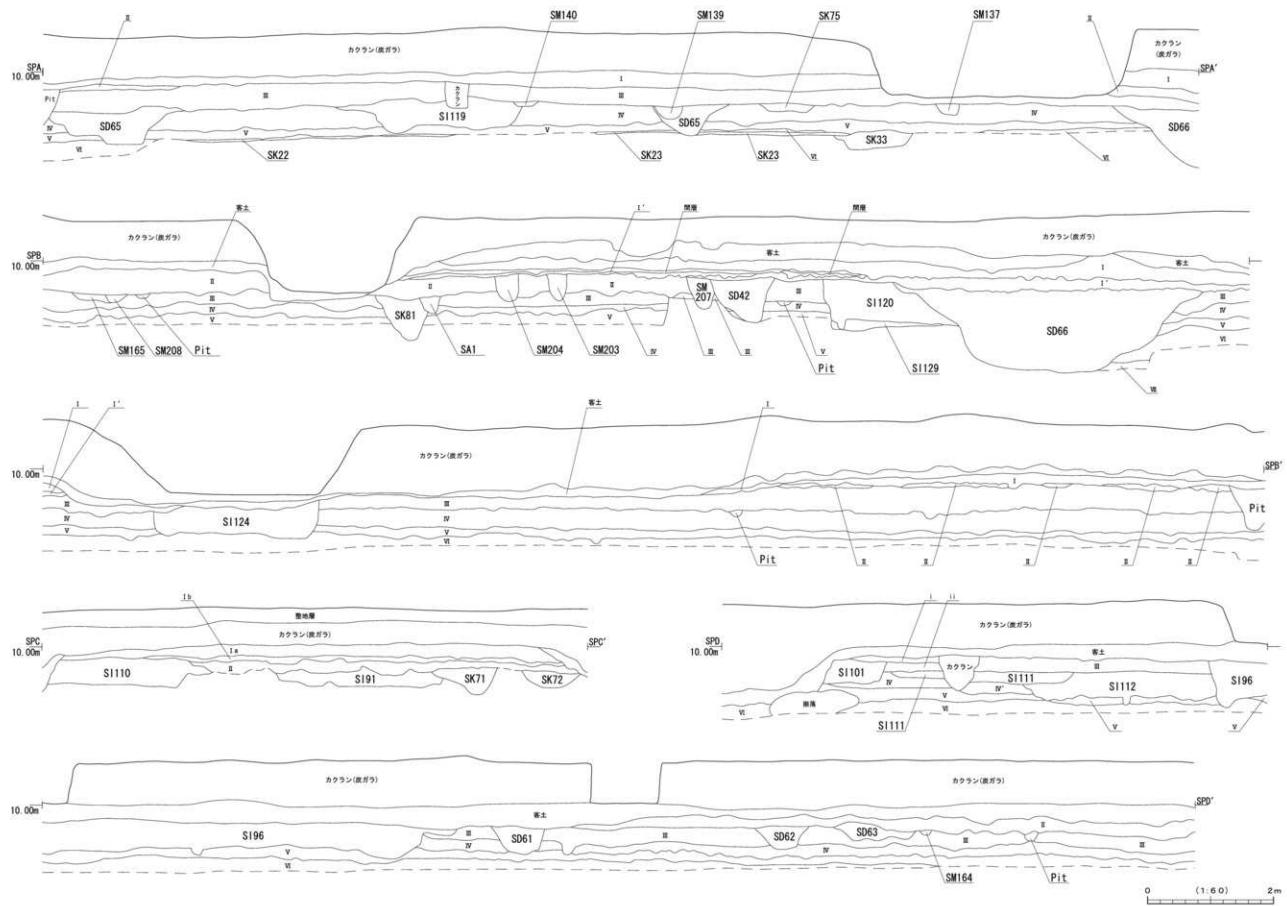
層段	土色	土性	備考	
I	褐色	シルト	径1.5～2.5mmの炭化物を少量含む	
閑層	にぶい黄褐色	シルト	1割の土を10mmに含む。径1～5mmの炭化物を少量含む	
I'	10YR4-2	灰黃褐色	シルト	径5～10mmの褐色土(10YR6-4)を多く含む
B	7.5YR3-1	黒褐色	シルト	径5～20mmの褐色土(2.5YR3-2)を多く含む
II	10YR4-3	にぶい黄褐色	シルト	炭化物を微量含む。しりょう
N'	10YR5-6	黄褐色	シルト	径5～10mmのグリーン化した灰白色ブロックを多く含む
V	7.5YR3-2	黒褐色	シルト	径2～5mmの炭化物を多く含む。径5～30mmの黄褐色土を斑状に含む
VI	10YR5-4	にぶい黄褐色	砂質シルト	径5～10mmの赤褐色ブロック(2.5YR8-1)を多く含む。全体的にグリーン化する

基本層序記録表(SPC-C)

層段	土色	土性	備考
Ia	10YR3-3	暗褐色	シルト にぶい黄褐色シルト(10YR5-3)を粒状に少量。炭化物を少量含む
lb	10YR3-3	暗褐色	シルト しまり強。粘性なし
II	10YR3-3	暗褐色	シルト にぶい黄褐色シルト(10YR5-3)および黒褐色シルト(10YR3-2)をブロック状に少量含む しまり強。粘性ややあり

基本層序記録表(SPC-D)

層段	土色	土性	備考
I	10YR4-2	灰黃褐色	砂質シルト 径2mmの炭化物粒、焼土粒を微量含む
II	10YR3-2	黒褐色	シルト 径2mmの炭化物粒、焼土粒を微量含む
III	10YR3-3	暗褐色	シルト にぶい(10YR4-1)よりやや深く。にぶい黄褐色シルト(10YR3-2)をブロック状に少量含む しまり強。粘性ややあり
IV	10YR4-3	にぶい黄褐色	シルト 炭化物を微量含む。しりょう
V	10YR5-6	黄褐色	シルト 黒褐色シルトブロック(10YR3-1～2)を斑状に含む
VI	10YR5-4	にぶい黄褐色	砂質シルト が層の土に径5mm以上の大粒の炭化物、焼土粒を微量含む 径5～10mmの赤褐色土(2.5YR8-1)を散在する 20～30mmの黒褐色土(2.5YR3-2)を散在する 鉄分を微量に含む



第12図 3B区基本土層図

第5章 3B調査区の検出遺構と出土遺物

1. 古代～中世の遺構と遺物

今回の調査は、基本層IV層上面を遺構検出面として調査を開始した。遺構の検出状況を概観すると、小溝状遺構・溝跡・土坑・多くのピットがIV層上面で検出され、それらに切られる形で竪穴住居跡群・掘立柱建物跡・区画施設・木材列等が検出されるという傾向があった。そのため、調査段階から遺構検出面を古代上面・古代下面とに区別し、上面の遺構は古代から中世前半に、下面の遺構は郡山官衛が造営される7世紀半ば前後から8世紀代に帰属する遺構とみなし、調査を行った。

本節においても両者を区別する形で報告したが、溝跡・土坑・ピットなどから出土した遺物などを詳細にみていくと、これらの遺構の帰属時期の厳密な区別は困難であることが判明したため、殆どの遺構を一括記載することとした。ただし、重複関係などから明らかに古代に帰属すると考えられる遺構については古代下面検出遺構とし、次項に記載した。

(1) 小溝状遺構群(第13～20図)

調査成果が既に報告されている3A区および4区の調査で耕作の痕跡と考えられた小溝状遺構は、今次調査区において63条が検出された。3B区北半に多く検出されたものの、近現代の耕作や土盛りなどの影響を考慮すると、実際は検出された数よりも多くの小溝状遺構が存在していたことが推定される。

これら小溝状遺構は軸方位を基準として、A群(N-0～20°-E)、B群(N-10～55°-W)、C群(N-70～90°-W)、D群(N-40～90°-E)に四大別される。これら各群の重複関係については、B→C→A→D群という変遷の傾向が認められる。B群を除くA・C・D群については群としての明確な重複の傾向が認められないものの、3A区および4区の調査成果から、概ねC→A→D群の順に変遷するものと考えられ、A・C・D群は、それぞれ検出位置に偏りがみられることから、軸方位を変えながら3B区の西側から東側へと耕作区域が変わっていたことが考えられる。これら小溝状遺構は、A群のSM122・130・131・135・136、D群のSM137～145がSD66を切っていることと、SD66の堆積土上層からは10世紀第2四半期の降灰とされる十和田a火山灰(To-a)が確認されていることから、構築時期の上限が10世紀中頃と考えられる。

A群(第13～15図)

調査区北半に集中する。SM122・123・124・128・129・130・131・133・134・135・136・147・148・149・150・162・173・182・183・186・203・204・207・208の24条で構成される。軸方位は概ねN-0～20°-Eを指し、検出長1.09～16.06m、上端幅22～46cm、深さ4～18cmを測る。堆積土は暗褐色土を主体とする。

B群(第13・16・17図)

調査区北半部と南半部に分かれて検出された。SM146・155・159・164・165・166・181の7条で構成される。軸方位は概ねN-10～55°-Wを指し、検出長1.43～2.94m、上端幅22cm～43cm、深さ3～17cmを測る。堆積土は暗褐色土もしくは灰黄褐色土を主体とする。

C群(第13・18図)

調査区中央部に位置し、A群と直交するように延びる。SM119・120・152・154・158・169・170・171・172・176・179・184・185・187・188の15条で構成され、2～3条が等間隔に並列する傾向がみられる。軸方向は概ねN-70～90°-Wを指し、検出長72cm～9.64m、上端幅18～55cm、深さ4～21cmを測る。堆積土は暗褐色土もしくは黒褐色土を主体とする。

D群(第13・19・20図)

大部分が調査区東側に集中する。SM121・125・126・132・137・138・139・140・141・142・143・144・145・160・167・174・177の17条で構成される。軸方位は概ねN-40°～85°-Eを指し、検出長1.12～13.04m、上端幅24～50cm、深さ5～19cmを測る。堆積土は暗褐色土を主体とする。

掲載遺物(第15・17・20図)

出土遺物は破片が多く、掲載に足るものは少ない。第20図-2は、擬宝珠状ツマミを有する須恵器坏である。

(2) 溝跡(第21～39図)

古代上面からは21条の溝を検出した。平面形状は直線的なものから弧状を呈するもの、分岐するものなど数種類あり、規模もまた様々である。主な溝跡を概観すると、調査区西側のSD60、調査区東側のSD64が南北方向に延び、北半部西側で2～3m離れて並走するSD61・62、南半部中央部に検出されたSD46・49・50・53などが、それらと直交するように東西方向に延びる。以下、10条の溝跡について個別に記述する。その他の溝跡および各溝跡の重複関係については、観察表に纏めて示した。

SD42・55 溝跡(第21・22・24～26図)

5・8・9・10・12・15～17・21・22・26・31・36・41・64・51グリッドに位置し北側の4区まで延びている。この2条の溝跡は、調査当初は重複する別の溝跡と考えていたが、堆積土の観察結果や全体の構造から、SD55はSD42の部分的な掘り直しと考えられたことから、同一構造として報告する。全体の平面形状はT字形を呈し、南北方向ではN-18°-Wの方向に延び、3B区中央部において西にはほぼ90°の角度で分岐する。この部分の方向はN-65°-Eである。分岐した部分から南側では溝の掘り直しと考えたSD55と重複している。T字形を呈する平面形状や規模から、区画溝として機能した可能性が高い。規模は、3B区内での検出長が、南北方向62.24m（4区から検出された分も含めると76.96m）、東西方向が23.84m、上端幅48～137cm、下端幅16～73cm、深さ3～57cmを測る。断面形状は逆台形を基調とし、部分的に底面中央が深く掘り込まれる。堆積土は最大5層に分層され、黒褐色砂質シルトを主体とする。出土遺物は、土師器坏6点、須恵器高台付坏1点、蓋2点、壺2点、敲石1点、台石1点、石製紡錘車1点、砥石1点を掲載した。第24図-2・3は、いずれも口唇部が外反し、底部形状が平底状となる土師器坏、同図-6は口縁部の器形がS字状を呈し、いわゆる関東系に属する土師器坏である。

SD44 溝跡(第21・22・27図)

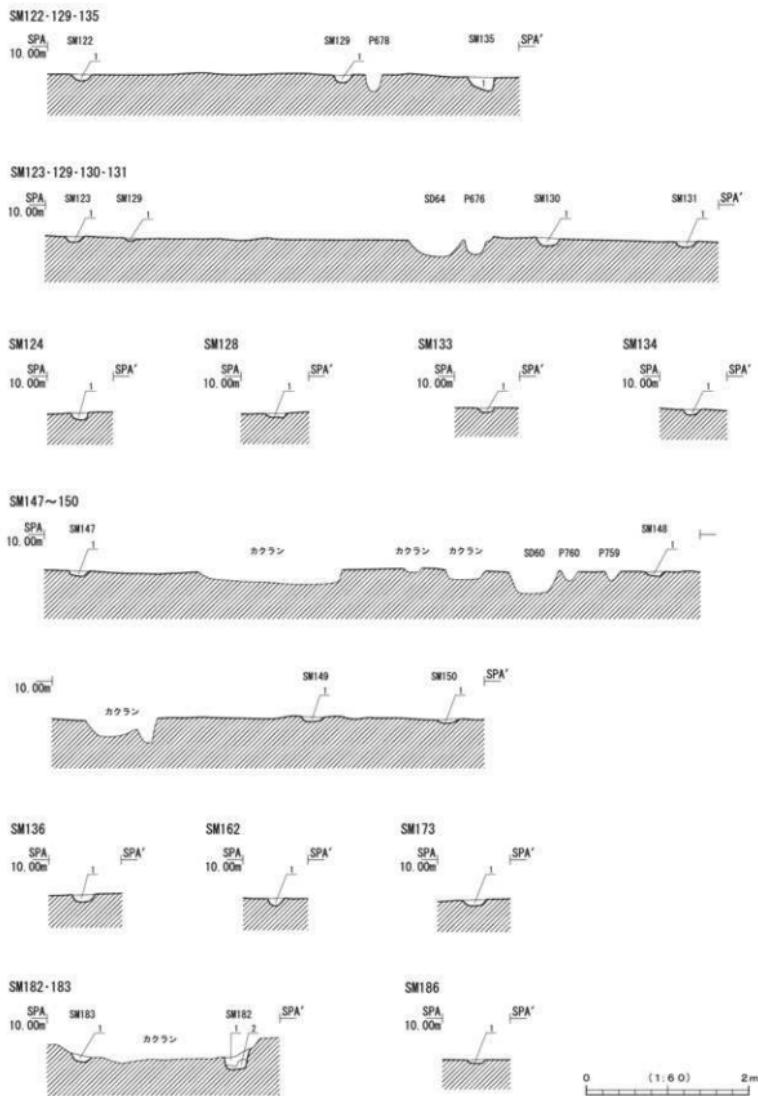
調査区南西部隅、2・5・9グリッドに位置する。規模は、検出長11.10m、上端幅36～63cm、下端幅25～48cm、深さ16cmを測る。平面形状は、N-10°-Wの方向に延び、北側末端が西側に緩く湾曲し、弧状を呈する。断面形状は逆台形を呈し、堆積土は黒褐色土の単層である。出土遺物は、土師器坏2点・壺1点、礫石器1点を掲載した。第27図-2の土師器坏は、口縁部が直立気味となる器形を呈する。

SD46 溝跡(第21・22・28図)

調査区南側端部、3～6グリッドに位置する。規模は、検出長13.87m、上端幅41～84cm、下端幅30～65cm、深さ13cmを測る。中央部西側の一部は擾乱によって失われ、平面形状は、N-70°～98°-Wの方向に延びる緩い弧状を呈し、SD50を切るが、SD50と並走するように延びる。断面形状は逆台形を呈し、堆積土は暗褐色砂質シルトの単層である。出土遺物は、土師器高坏、壺、須恵器鉢、壺を各1点掲載した。



第13図 小規模湧構群



第14図 小溝状遺構A群断面図

小溝状遺構A群 鋼査表

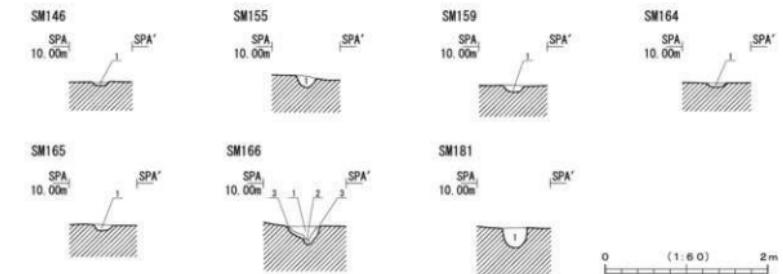
遺構名	アリヤ	方向	幅 高(cm)		層位	土 色	土 性	著 者	重 量
			既定員・幅	深さ					
SM122	27-32-37	N13° E	1230×32	18	1	10YR3-3	暗褐色	シホト	10YR3/4暗褐色シホトプロック少量含む P517に切られる SH9-SD6を切る P517に切られる
SM123	27	N15° E	147×22	4	1	10YR3-3	暗褐色	シホト	10YR2/3黒褐色シホトプロック 10YR4/4暗色シホトプロック少量含む SAIを切る
SM124	26	N16° E	212×31	8	1	10YR3-3	暗褐色	シホト	10YR3/4暗褐色シホトプロック少量含む SD4を切る
SM128	26-31	N13° E	450×33	6	1	10YR3-4	暗褐色	シホト	10YR3/2暗褐色シホトプロック 10YR4/4暗色砂利シホトプロック少量含む SI10-SB9を切る P487-587に切られる
SM129	27-32	N10° E	750×24	12	1	10YR3-4	暗褐色	シホト	10YR2/3暗褐色シホトプロック 10YR4/4暗色シホトプロック少量含む SI22-S-5-SD5を切る P579-679-671-674に切られる
SM130	27-28	N10° E	310×20	6	1	10YR3-3	暗褐色	シホト	10YR3/2暗褐色シホトプロック少量含む SI63-S-64-S-65を切る SM179を切る
SM131	23-28	N12° E	328×36	6	1	10YR3-4	暗褐色	シホト	10YR3/1暗褐色シホトプロック 10YR4/4暗色シホトプロック少量含む SD6を切る PS569に切られる
SM132	22	N4° E	396×(24)	7	1	10YR3-4	暗褐色	シホト	酸化物、鐵土鉱微量含む SD7-B-103Aを切る SM126, P265に切られる
SM134	17-22	N4° E	(396)×(24)	7	1	10YR3-4	暗褐色	シホト	酸化物、鐵土鉱微量含む SD9-97D-103AB, SD56を切る SM133に切られる
SM135	27-32	N9° E	268×86	6	1	10YR3-3	暗褐色	シホト	10YR4/1暗褐色シホトプロック少量含む SM127, SP7B, SD96, SA5を切る
SM136	17-22	N9° E N54° W	768×(35)	15	1	10YR3-4	暗褐色	シホト	酸化物少量含む SP97-A-103AB, SK99を切る SM126, PS22, P166に切られる
SM147	24-29-34	N8° E	870×66	17	1	10YR2-3	黒褐色	シホト	10YR4/4暗褐色シホトプロック少量含む SM132-188, SH9-111-112を切る P371-1-123に切れる
SM148	30	N15° E	1606×23	7	1	10YR3-3	暗褐色	シホト	10YR4/4暗褐色シホトプロック含む SD9-118を切る
SM149	30	N10° E	800×31	7	1	10YR3-3	暗褐色	シホト	10YR4/4暗褐色シホトプロック含む SP89を切る P755-780-1015-1020に切られる
SM150	39-31-36	N15° E	596×30	6	1	10YR3-3	暗褐色	シホト	10YR4/4暗褐色シホトプロック含む SM184, SD63, SP9-N-1を切る R103-104に切られる
SM162	35-40	N4° E	328×(23)	8	1	10YR3-3	暗褐色	シホト	10YR4/4暗褐色シホトプロック含む SD66, P600-820-878-1098に切られる
SM173	15-20	N4° E	(300)×(30)	10	1	10YR3-3	暗褐色	シホト	10YR4/4暗褐色シホトプロック微量含む SM171, SD42, P1349に切られる
SM182	31	N16° E	446×38	10	1	10YR3-2	黒褐色	シホト	黄褐色土プロック少量含む SM184-185, SI100-128, SD63を切る
				2	10YR3-3	暗褐色	シホト	黄褐色土プロック(φ20~30mm)との混合土 SM184-185, SI100を切る	
SM183	31	N12° E	247×36	8	1	2.5Y4-3	オリーブ褐色	砂質シホト	暗褐色土プロック微量、 鐵土鉱微量含む SM184-185, SI100を切る
SM186	21-26	N24° E	(309)×(25)	6	1	10YR3-3	暗褐色	砂質シホト	黃褐色土プロック微量、 鐵化物微量含む SD88-132を切る
SM203	45	N2° E	(531)×30	-	-	-	-	-	平面アーチルハ根拠。 4区に延びる。全長合計665mm SAIを切る
SM204	45	N1° E	(532)×28	-	-	-	-	-	平面アーチルハ根拠。 4区に延びる。全長合計600cm SAIを切る
SM207	45-46	N1° E	(454)×40	-	-	-	-	-	平面アーチルハ根拠。 4区に延びる。全長合計720cm SD42を切る(4区内)
SM208	45	N1° W	(511)×46	-	-	-	-	-	平面アーチルハ根拠。 4区に延びる。全長合計680cm SM65を切る



0 (1 : 3) 10cm

回数 番号	登録番号	出土遺構	部位	種別	器 標	口径×底径×高さ(cm)	外 壁 調 整	内 壁 調 整	備 考	写真 図版
1	C-001	SM126	上層	土師器	环	(33.2)××(2.9)	口縁部一体泥モナフ、瓶底へラギ	口縁部へ瓶底へラギ		64
2	C-002	SM182	堆積土	土師器	环	(11.5)××(5.0)	口縁部一体泥へラギ、瓶底下端へラギ	口縁部へ瓶底へラギ	体部下端斜化、内面 黒色處理	64

第15図 小溝跡状遺構A群出土遺物



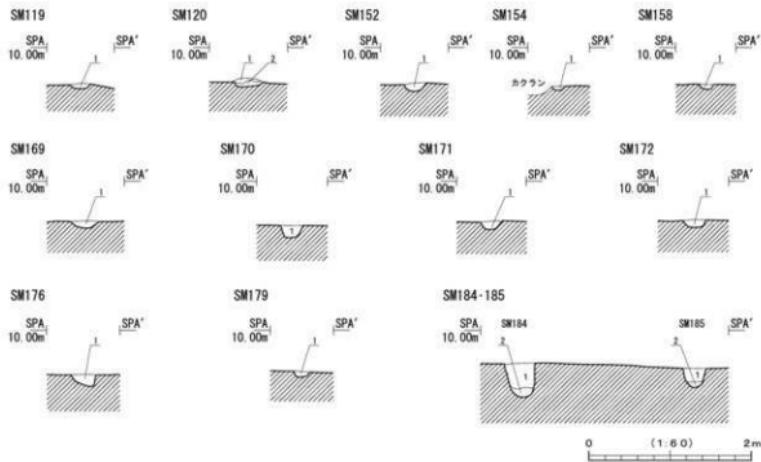
小溝状遺構B群 調査表								
遺構名	グリッド	方 向	風 呉(cm) 全長×幅 奥さ	層位	土 色	土 性	備 考	重 観
SM146	37	N 9° W	294×22	5	1 10YR3/3	暗褐色	シルト 10YR3/2 黒褐色シルトブロック、 10YR4/4 黒褐色シルトブロック含む	SASを切る
SM155	2-5	N 22° W	(192)×(22)	10	1 10YR3/3	暗褐色	砂質シルト 地山アプロック層、 炭化物粒、焼土粒微量含む	SD79, SH6, SK57を切る P123に切られる
SM159	45-49-50	N 57° W	(348)×(26)	8	1 10YR3/3	暗褐色	シルト 10YR3/2 黒褐色シルトブロック、 10YR4/4 黑褐色シルトブロック含む	なし
SM164	44-45	N 66° W	(174)×(22)	3	1 10YR3/3	暗褐色	シルト 10YR4/4 黑褐色シルトブロック含む	P123に切られる
SM165	50	N 37° W	(149)×(26)	8	1 10YR3/3	暗褐色	シルト 10YR3/2 黑褐色シルトブロック、 10YR4/4 黑褐色シルトブロック含む	SM208, P1227に切られる
SM166	6-9-10	N 55° W	(360)×(43)	12	1 10YR4/2 2 10YR3/2 3 10YR3/4	灰褐色 暗褐色 灰褐色	- 地山アプロック層含む 地山アプロック層含む 地山アプロック層含む	P16-27+1125-1260に切られる
SM181	11	N 65° W	(143)×(32)	17	1 2.5Y4/2	暗灰褐色	シルト 地山アプロック多見、 灰褐色シルトブロック(1mm)、 焼土ブロック含む	S99-115 Aを切る

第16図 小溝状遺構B群断面図



図版 番号	登録番号	出土遺構	層位	種 別	器 形	口径×底径×高さ(cm)	外 面 調 整		内 面 調 整	備 考	写真 回数
							上部調整	下部調整			
I	D-001	SM164	1層	C270 土器	环	×(9.6)×(1.8)	体部ヘラケズ	コロコロ調整	周縁各切削端面縁へ ナット	64	

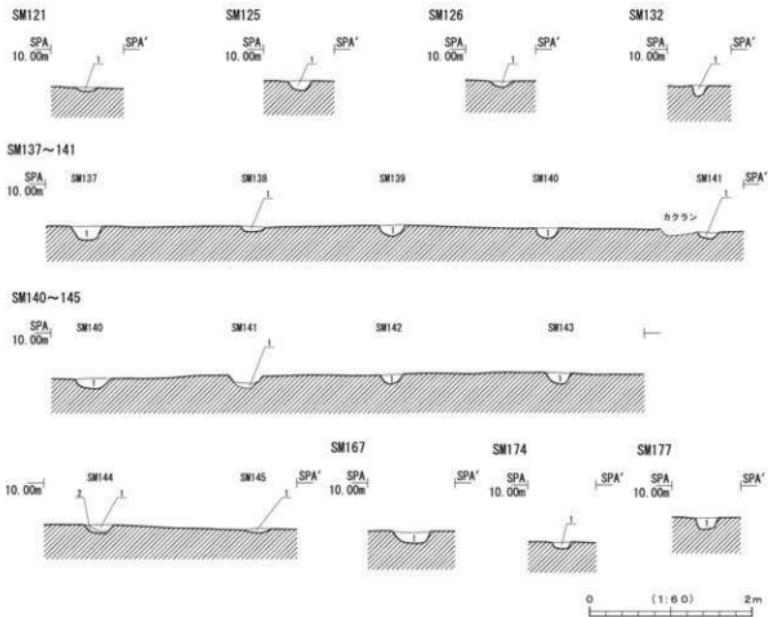
第17図 小溝状遺構B群出土遺物



小溝状遺構C群 組成表

遺構名	アリーダ	方向	範囲 (cm)	層位	土色	土性	備考	重複
SM119	24:25	N 86° W	(120) × (28)	5	1 10YR3-4 1 10YR3-2 2 10YR4-4	暗褐色 黒褐色 褐色	シルト シルト シルト	SM120に切る SM169に切る SM119に切られる
SM120	24:25	N 71° W	(284) × (35)	9	1 10YR3-3	暗褐色	シルト	SM120に切る SM169に切る SM119に切られる
SM152	29	N 87° W	(244) × (28)	12	1 10YR3-3	暗褐色	シルト	10YR4-4 暗色砂質シルトブロック少量含む SM112に切る SM147に切られる
SM154	35	N 83° W	(259) × (18)	4	1 10YR3-3	暗褐色	シルト	10YR4-4 暗色砂質シルトブロック含む P103に切られる
SM158	35	N 90° W	(264) × (27)	5	1 10YR3-3	暗褐色	シルト	10YR4-4 暗色砂質シルトブロック含む P106に切られる
SM169	19:20	N 80° W	(608) × (42)	8	1 10YR3-3	暗褐色	シルト	10YR4-2 黒褐色シルトブロック少量含む SD69に切られる
SM170	29:24:25	N 86° W	(922) × (38)	10	1 10YR3-3	暗褐色	シルト	10YR4-1 暗色砂質シルトブロック微量含む SD69に切られる
SM171	15:16	N 90° W	(660) × (31)	11	1 2.5Y3-3	暗オーリーブ褐色	シルト	過山ブロック多量、 SD47に切る SD48-64-115 Aを切る P207に切られる
SM172	15	N 90° W	(146) × (38)	10	1 10YR3-3	暗褐色	シルト	10YR4-1 暗色砂質シルトブロック、 炭化物少量、地土粒微量含む SD8-121を切る SD69に切られる
SM176	29:21	N 90° W	(964) × (34)	12	1 2.5Y3-2	黒褐色	シルト	過山ブロック、地土粒微量含む SD69に切る SD42-52に切られる
SM179	22:23	N 94° W	(72) × (20)	8	1 10YR4-3 にぶい黃褐色	シルト	過山ブロック含む SD69を切る SM130に切られる	
SM184	31	N 88° W	(520) × (40)	17	1 10YR3-3 2 2.5Y3-2	暗褐色 黒褐色	シルト シルト	青褐色、シルトブロック多量、 炭化物、地土ブロック所含む 過山ブロック、 SD100-128, SD162を切る SM159-182-183に切られる P79の前田不明
SM185	31	N 81° W	(342) × (33)	10	1 10YR3-3 2 2.5Y3-2	暗褐色 黒褐色	シルト シルト	青褐色、シルトブロック多量、 炭化物、地土ブロック少量含む 過山ブロック、 SD100-128, SD162を切る SM159-182-183に切られる P79の前田不明
SM187	40	N 87° W	(180) × (55)	21	-	-	-	断面開なし SD69に切れる
SM188	34	N 90° W	(220) × (34)	9	-	-	-	断面開なし SM147に切れる

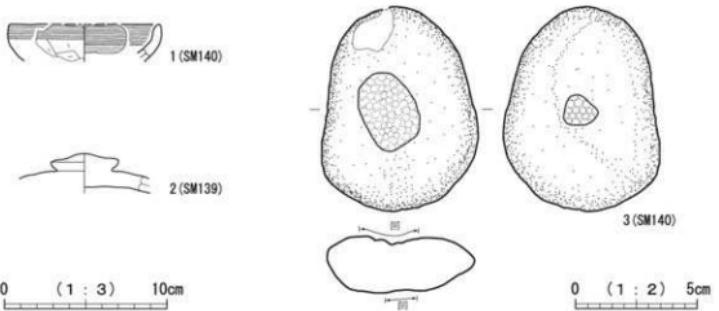
第18図 小溝状遺構C群断面図



小溝状遺構D群 断面表

遺構名	グリッド	方 向	幅 領(cm)		層位	土 色	土 性	備 考	重 量
			全長×幅	深さ					
SM121	25	N 75° E	(226) × (29)	5	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 変化物少量含む	10YR3/2 黒褐色シルトブロック、 10YR4/4褐色シルトブロック。 SAIを切る
SM125	27	N 70° E	112×28	12	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 褐色シルトブロック少量含む	SD60を切る P242との削り合ひ
SM126	22	N 81° E	466×30	18	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 地山ブロック(高さ5mm)微量含む	SM133-134-136、 SM135-P103AB,P1351を切る
SM132	23	N 76° E	(220) × (24)	18	1	10YR3/4	暗褐色	シルト 10YR4/3に近い黄褐色シルトブロック少量含む	GL
SM137	32-33	N 82° E	(790) × 45	16	1	10YR3/4	暗褐色	シルト 10YR4/3 黒褐色シルトブロック、 10YR4/4褐色シルトブロック少量含む	S897A、SD66を切る SM135-P087-697-699に切られる
SM138	32-33	N 84° E	(632) × 35	6	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 10YR4/4 黑褐色シルトブロック、 10YR4/4褐色シルトブロック微量含む	S897B、SD66を切る P089-689-699-692-711に切られる
SM139	32-37-38	N 82° E	(1170) × 44	8	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 10YR4/2 黑褐色シルトブロック、 10YR4/4褐色シルトブロック微量含む	SK55、SD65を切る P729-1931に切られる
SM140	37-38	N 82° E	(1304) × 40	15	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 10YR4/2 黑褐色シルトブロック、 10YR4/4褐色シルトブロック微量含む	S819、SD65-66を切る P729-1238に切られる
SM141	37-38-43	N 77° E	968×31	18	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 10YR4/2 黑褐色シルトブロック、 10YR4/4褐色シルトブロック微量含む	S819、SD65-66を切る P729-747-900に切られる
SM142	42-43	N 73° E	1366×44	17	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 10YR4/4 黄褐色シルトブロック微量含む	S819、SD65-66を切る P729-905-1081に切られる
SM143	42	N 77° E	524×30	19	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 10YR4/4 黄褐色シルトブロック少量含む	SK55、SD65を切る P729-7331に切られる
SM144	42	N 74° E	790×44	12	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 10YR4/4 黄褐色シルトブロック少量含む	SD60を切る P732-7331に切られる
SM145	47	N 73° E	966×42	12	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 10YR4/4 黄褐色シルトブロック少量含む	SD66、P732を切る P734に切られる
SM160	50	N 75° E	135×25	11	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 褐色シルトブロック微量含む	10YR4/4 黄褐色シルトブロック少量含む
SM167	11	N 82° E	(1781) × (30)	14	1	10YR3/3	暗褐色	砂質シルト 褐色土ブロック微量含む	S892 AB-113 AHを切る
SM174	7-11-12	N 49° E	340×24	14	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 褐色土ブロック微量含む	GL
SM177	22	N 75° E	(224) × 34	14	1	10YR3/2	黒褐色	シルト 褐色土ブロック微量含む	S103 AHを切る P705に切られる

第19図 小溝状遺構D群断面図



第20図 小溝状遺構D群出土遺物

SD50 溝跡(第21・22・30図)

調査区南側端部、3・4・6グリッドに位置する。規模は、検出長9.94m、上端幅48～64cm、下端幅24～52cm、深さ17cmを測る。平面形状は、N-70°～88°-Wの方向に延びる緩い弧状を呈し、SD46に一部切られるものの、SD46と並走するよう延びる。断面形状は逆台形を呈し、堆積土は、黒褐色土の単層である。出土遺物は、土師器壺、須恵器壺を各1点掲載した。

SD53 溝跡(第21・22図)

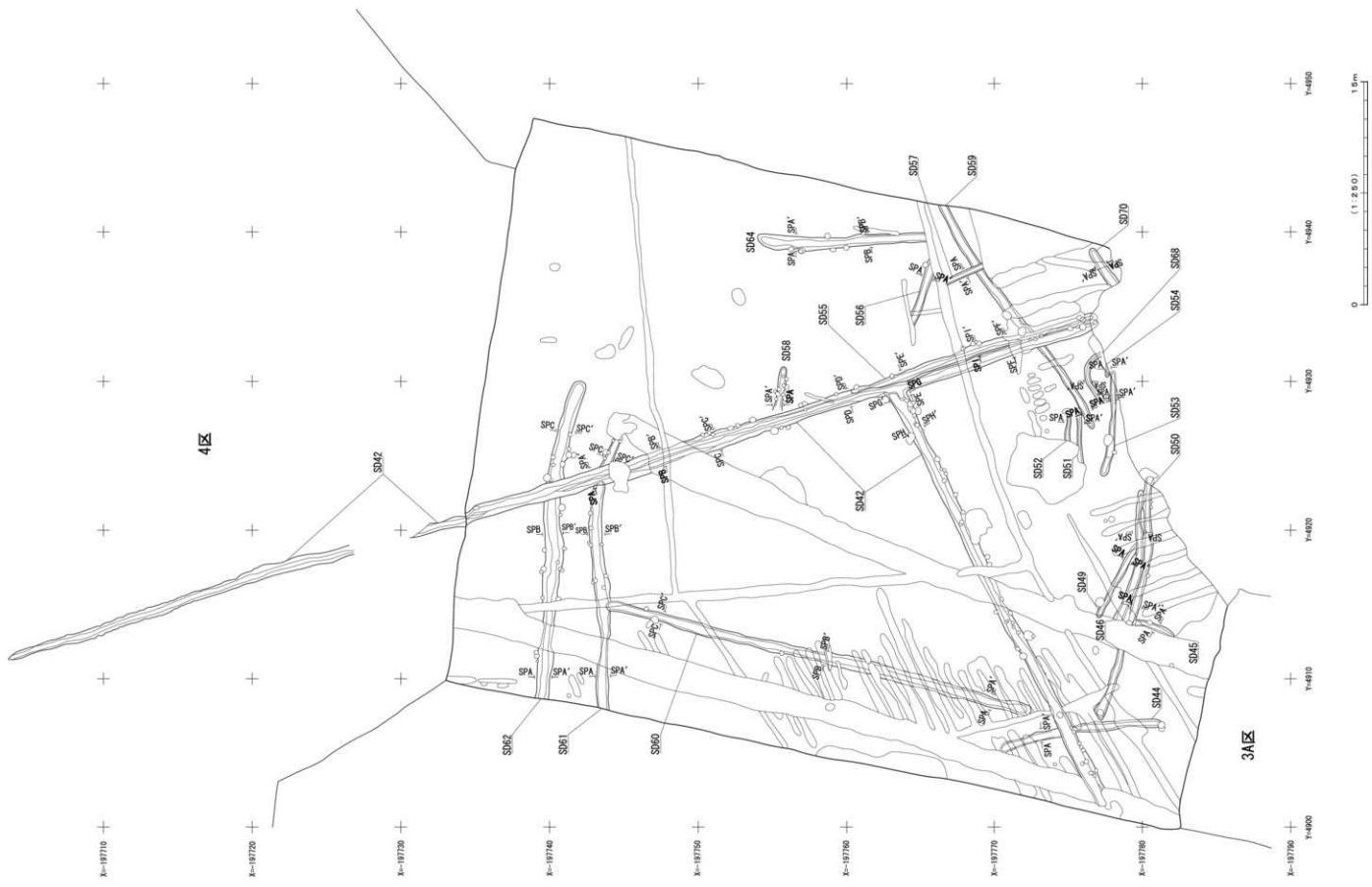
調査区中央部南側端部、7・8グリッドに位置する。平面形状は、N-85°-Wの方向に延びる緩い弧状を呈する。規模は、検出長7.34m、上端幅26～68cm、下端幅16～46cm、深さ16cmを測る。断面形状は逆台形を呈し、堆積土は、暗褐色砂質シルトの単層である。

SD59 溝跡(第21・23・33図)

調査区南東部、7・8・11・12・17・18グリッドに位置する。平面形状は、N-56°-Eの方向にはば直線的に延びる。規模は、検出長18.72m、上端幅38～58cm、下端幅20～52cm、深さ24cmを測る。断面形状は逆台形を呈し、堆積土は、暗褐色土の単層である。出土遺物は、土師器壺、壺を各2点、須恵器壺、壺、砾石を各1点掲載した。

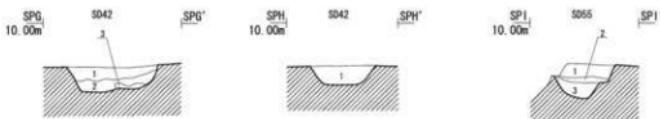
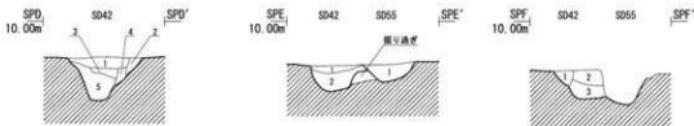
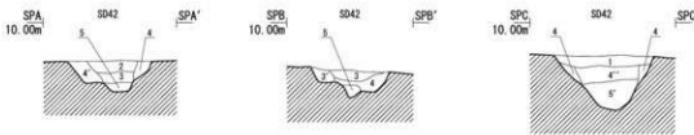
SD60 溝跡(第21・23・34～36図)

調査区西側、9・14・19・20・25・30・35・40・41グリッドに位置する。規模は、検出長30.38m、上端幅63～79cm、下端幅29～59cm、深さ36cmを測る。平面形状は、N-13°-Eの方向に直線的に延び、南半は擾乱の影響が大きい。断面形状は逆台形を呈し、堆積土には微量の炭化物、焼土粒が混入する。出土遺物は、土師器壺3点、塊1点、壺1点、瓶1点、須恵器壺1点、壺1点、砾石1点、台石1点を掲載した。



第21図 溝沿

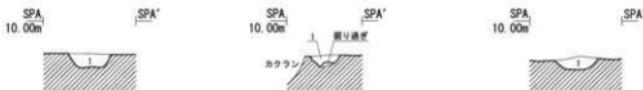
SD42-55



SD44

SD45

SD46



SD49

SD50

SD51-52

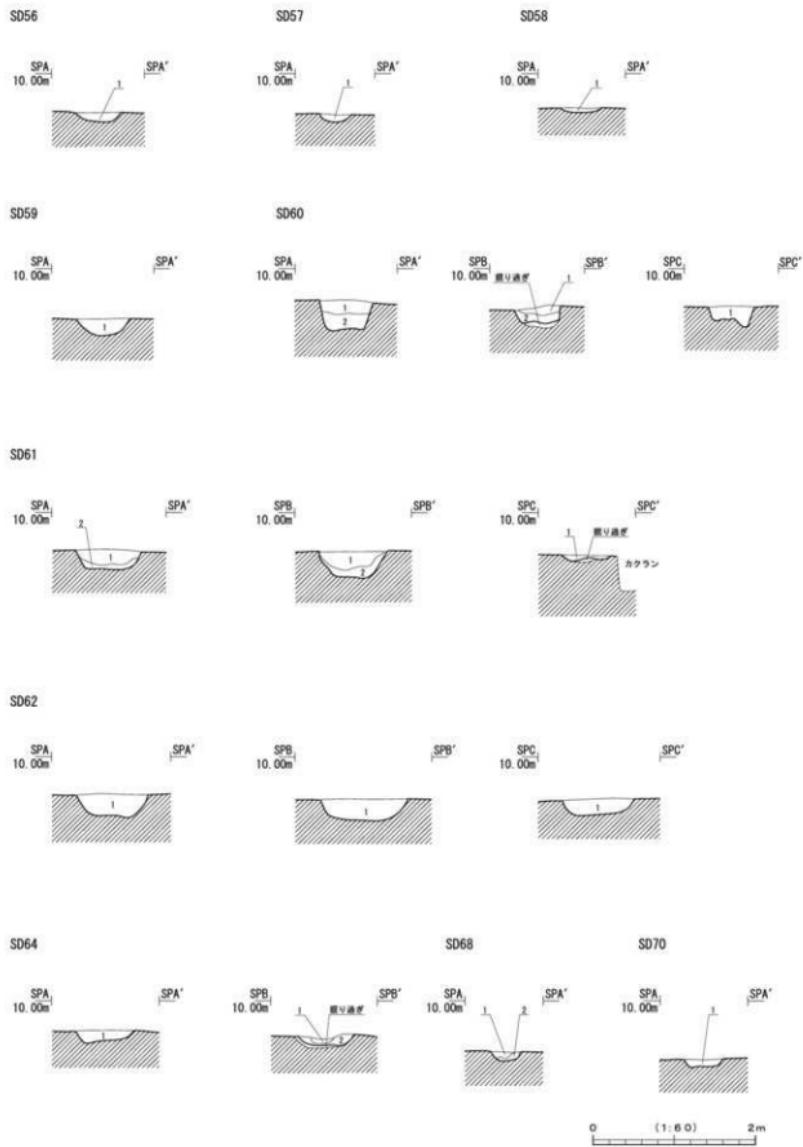


SD53

SD54

0 (1:60) 2m

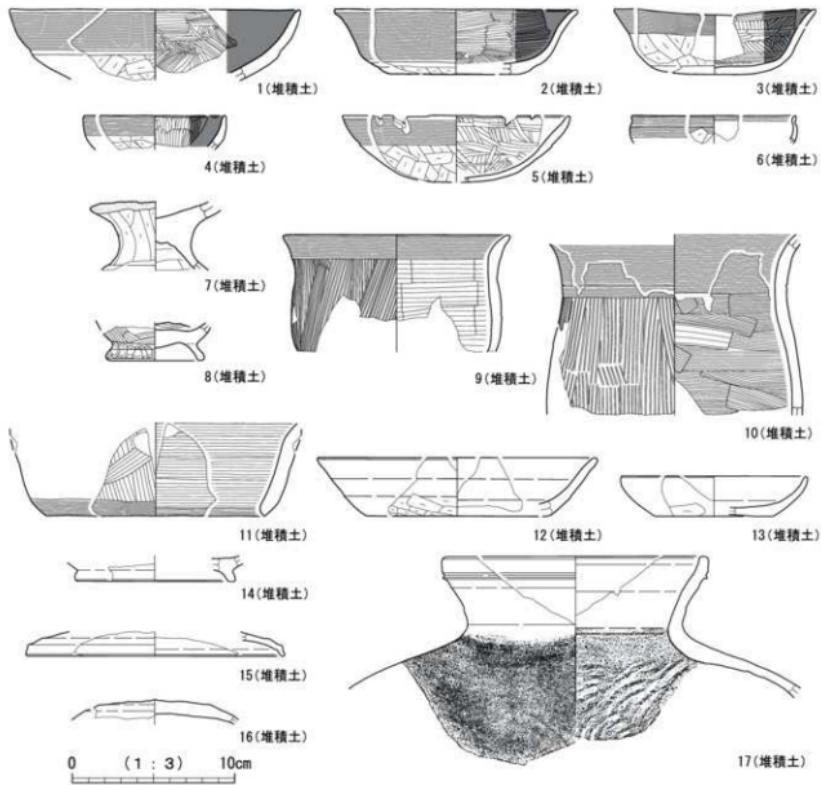
第22図 溝跡断面図(1)



第23図 溝跡断面図(2)

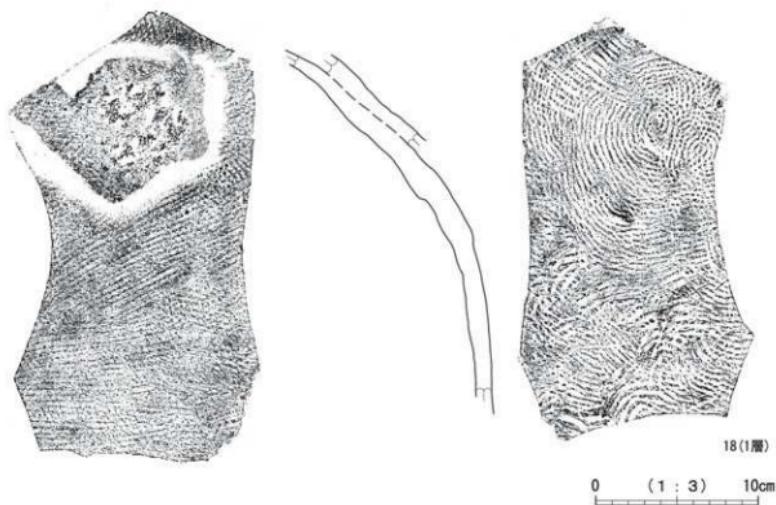
基础·初中数学

遺伝子名	ゲリッド	方 向	規範(cm)				類似	土 色	土性	備 考	重 棚
			株間長	上端幅	下端幅	深さ					
SD42	5-6-2 10-19 15-16 17-21 22-25 31-36 41-46 51	N 63° E N 47° W SW NE (284) + SE NW (4516)	48 ~ 37	16 ~ 73	3 ~ 67		1 10YR3/3	暗褐色	砂質 シルト	炭化物少含む 地山プロック(径5~10mm),炭化 物少含む	文章参照
							2 10YR3/3	暗褐色	砂質 シルト	地山プロック(径5~10mm),炭化 物少含む	
							3 10YR3/2	黒褐色	砂質 シルト	地山プロック,炭化物,塊土粒微量 含む	
							3' 10YR1/1	暗褐色	砂質 シルト	地山プロック無機合む	
							4 10YR3/2	暗褐色	砂質 シルト	炭化物微量含む	
							4' 10YR3/1	黒褐色	砂質 シルト	地山プロック,含む,炭土,炭化物少量 含む	
							4'' 10YR3/1	黒褐色	砂質 シルト	地山プロック微量含む	
							5 10YR2/3	暗褐色	砂質 シルト	地山プロック微量含む	
							5' 10YR2/3	暗褐色	砂質 シルト	地山プロック微量含む	
SD55	N 18° W	(1798)	64	30	24 ~ 44		1 10YR2/3	暗褐色	砂質 シルト	地山プロック微量含む	S79, P1270を切るSD42, P25-5979 305-406-472-4切られる P17-119, 412, 1294, 1418との新田小明 SD79-94, SD7, PS11等も SD45, SD79-114等も
							2 10YR2/3	暗褐色	砂質 シルト	地山プロック微量含む	
							3 10YR2/3	暗褐色	砂質 シルト	地山プロック微量含む	
SD44	2-5-9	N 10° W	(1110)	36 ~ 63	25 ~ 46	16	1 10YR2/2	黒褐色	-	炭化物, 地土粒微量含む	P17-119, 412, 1294, 1418との新田小明 SD79-94, SD7, PS11等も
SD45	3-6	N 20° E	(258)	35 ~ 42	20	12	1 10YR2/2	黒褐色	砂質 シルト	炭化物微量含む(径5~5mm), 燥潤含む	P18, SD10等に切られる SD45, SD79-114等も
SD46	3 ~ 6	N 70 ~ 98° W	(1387)	(41) ~ (84)	(30) ~ (66)	13	1 10YR3/4	暗褐色	砂質 シルト	炭化物微量含む(地土粒(径1~ 2mm), 燥潤含む)	P120-1281-1289-1294-1313との新田小明 SD46, SD79-114等も
SD49	6	N 61° W	(552)	34 ~ 44	25 ~ 34	13	1 10YR3/3	暗褐色	砂質 シルト	炭化物微量含む(地土粒(径1~ 2mm), 燥潤含む)	SD46, P14等に切られる P17-119, 412, 1294, 1418との新田小明 SD79-94, SD7, PS11等も
SD50	3-4-6	N 70 ~ 88° W	(994)	88 ~ (64)	24 ~ 52	17	1 10YR2/2	暗褐色	砂質 シルト	地山プロック微量含む(径2~ 3mm), 燥潤含む	SD45, SD79-114等も SD46, SD79-114等も
SD51	7	N 85° E	(368)	24 ~ 31	13 ~ 22	9	1 10YR3/4	暗褐色	砂質 シルト	炭化物微量含む(地土粒(径2~ 3mm), 燥潤含む)	SD46等に切れる SD79-94等も
SD52	7	N 85° W	(184)	23 ~ 35	13 ~ 19	5	1 10YR3/3	暗褐色	砂質 シルト	炭化物微量含む(地土粒(径2~ 3mm), 燥潤含む)	SD49等に切れる SD79-94等も
SD53	7-8	N 85° W	(724)	26 ~ 68	16 ~ 46	16	1 10YR3/3	暗褐色	砂質 シルト	地山プロック微量含む, 炭化物微量含む	SD45, P120-1281-1289-1294-1313との新田小明 SD79-94等も
SD54	8	N 90° W	(93)	33	20	9	1 10YR3/3	暗褐色	砂質 シルト	10YR1-4(地表), 黒褐色, 地山プロック シルト, 炭化物微量含む	SD45等に切れる SD79-94等も
SD56	17-22	N 70° W	(405)	47 ~ 62	32 ~ 44	12	1 10YR3/3	暗褐色	-	地山プロック(径5~10mm)含む	SD45等に切れる SD79-94等も
SD57	17	N 21° W	(280)	36 ~ 45	31	10	1 10YR3/2	暗褐色	-	炭化物微量含む(径1mm), 燥潤 含む	SD45等に切れる SD79-94等も
SD58	26-27	N 83° W	(301)	44 ~ 65	35 ~ 42	6	1 10YR3/2	暗褐色	砂質 シルト	10YR1-2, 碳化物微量含む(地表) 10YR1-4(地表), 黑褐色, 地山プロック シルト含む	SD45等に切れる SD79-94等も
SD59	7-8 11-12 13-14	N 56° E	(1872)	38 ~ 58	29 ~ 52	24	1 10YR3/3	暗褐色	-	炭化物微量含む(地土粒(径5mm以 下), 燥潤含む)	SD45等に切れる SD79-94等も
SD60	1-11 19-20 25-30 35-49 41	N 13° E	(3038)	53 ~ 79	29 ~ 59	36	1 10YR3/3	暗褐色	砂質 シルト	地山プロック微量含む(地土粒(径2~ 3mm), 燥潤含む)	SK78, SD46, SAI1, SM103, SD63等に切る SD42-48, P120-1281-1289-1294-1313との新田小明 SD79-94, SD7, PS11等も
							2 10YR2/2	暗褐色	砂質 シルト	炭化物微量含む(地土粒(径2~ 3mm), 燥潤含む)	
							3 10YR2/2	暗褐色	砂質 シルト	地山プロック微量含む(地土粒(径2~ 3mm), 燥潤含む)	
SD61	39 ~ 41	N 85 ~ 103° E	(1892)	638 ~ (24) ~ 61	8 ~ 31		1 10YR3/2	暗褐色	砂質 シルト	10YR3/2-暗褐色シルト, 黑褐色 10YR4/4暗褐色シルトプロック含む	SD45, SD79-94等に切れる SD45-51, SD63-67等も P18-19-20-21-22-23-24-25-26-27-28-29-30-31-32-33-34-35-36-37-38-39-40-41-42-43-44-45-46-47-48-49-50-51-52-53-54-55-56-57-58-59-60-61-62-63-64-65-66-67-68-69-70-71-72-73-74-75-76-77-78-79-80-81-82-83-84-85-86-87-88-89-90-91-92-93-94-95-96-97-98-99-100-101-102-103-104-105-106-107-108-109-110-111-112-113-114-115-116-117-118-119-120-121-122-123-124-125-126-127-128-129-130-131-132-133-134-135-136-137-138-139-140-141-142-143-144-145-146-147-148-149-150-151-152-153-154-155-156-157-158-159-160-161-162-163-164-165-166-167-168-169-170-171-172-173-174-175-176-177-178-179-180-181-182-183-184-185-186-187-188-189-190-191-192-193-194-195-196-197-198-199-199-200-201-202-203-204-205-206-207-208-209-210-211-212-213-214-215-216-217-218-219-220-221-222-223-224-225-226-227-228-229-230-231-232-233-234-235-236-237-238-239-240-241-242-243-244-245-246-247-248-249-250-251-252-253-254-255-256-257-258-259-260-261-262-263-264-265-266-267-268-269-270-271-272-273-274-275-276-277-278-279-280-281-282-283-284-285-286-287-288-289-290-291-292-293-294-295-296-297-298-299-299-300-301-302-303-304-305-306-307-308-309-310-311-312-313-314-315-316-317-318-319-320-321-322-323-324-325-326-327-328-329-330-331-332-333-334-335-336-337-338-339-340-341-342-343-344-345-346-347-348-349-350-351-352-353-354-355-356-357-358-359-360-361-362-363-364-365-366-367-368-369-370-371-372-373-374-375-376-377-378-379-380-381-382-383-384-385-386-387-388-389-390-391-392-393-394-395-396-397-398-399-399-400-401-402-403-404-405-406-407-408-409-409-410-411-412-413-414-415-416-417-418-419-419-420-421-422-423-424-425-426-427-428-429-429-430-431-432-433-434-435-436-437-438-439-439-440-441-442-443-444-445-446-447-448-449-449-450-451-452-453-454-455-456-457-458-459-459-460-461-462-463-464-465-466-467-467-468-469-469-470-471-472-472-473-474-475-476-477-477-478-479-479-480-481-482-483-483-484-485-486-487-487-488-489-489-490-491-492-493-493-494-495-496-497-497-498-499-499-500-501-502-503-504-505-506-507-507-508-509-509-510-511-512-513-514-515-515-516-517-517-518-519-519-520-521-522-523-524-525-526-527-527-528-529-529-530-531-532-533-534-535-536-537-537-538-539-539-540-541-542-543-544-545-546-547-547-548-549-549-550-551-552-553-554-555-556-557-557-558-559-559-560-561-562-563-564-565-566-567-567-568-569-569-570-571-572-572-573-573-574-575-575-576-577-577-578-579-579-580-581-582-583-583-584-585-586-586-587-587-588-588-589-589-590-591-592-593-593-594-595-595-596-597-597-598-598-599-599-600-601-602-603-604-605-606-607-607-608-608-609-609-610-611-612-613-614-615-616-617-617-618-618-619-619-620-621-622-623-624-625-626-627-628-629-629-630-631-632-633-634-635-636-637-637-638-639-639-640-641-642-643-644-645-646-647-647-648-649-649-650-651-652-653-654-655-656-657-657-658-659-659-660-661-662-663-664-665-666-667-667-668-669-669-670-671-672-672-673-674-675-675-676-677-677-678-679-679-680-681-682-683-683-684-685-686-686-687-687-688-688-689-689-690-691-692-693-693-694-695-695-696-697-697-698-698-699-699-700-701-702-703-703-704-705-705-706-706-707-707-708-708-709-709-710-711-711-712-712-713-713-714-714-715-715-716-716-717-717-718-718-719-719-720-721-721-722-722-723-723-724-724-725-725-726-726-727-727-728-728-729-729-730-731-731-732-732-733-733-734-734-735-735-736-736-737-737-738-738-739-739-740-741-741-742-742-743-743-744-744-745-745-746-746-747-747-748-748-749-749-750-751-751-752-752-753-753-754-754-755-755-756-756-757-757-758-758-759-759-760-761-761-762-762-763-763-764-764-765-765-766-766-767-767-768-768-769-769-770-771-771-772-772-773-773-774-774-775-775-776-776-777-777-778-778-779-779-780-781-781-782-782-783-783-784-784-785-785-786-786-787-787-788-788-789-789-790-791-791-792-792-793-793-794-794-795-795-796-796-797-797-798-798-799-799-800-801-801-802-802-803-803-804-804-805-805-806-806-807-807-808-808-809-809-810-810-811-811-812-812-813-813-814-814-815-815-816-816-817-817-818-818-819-819-820-820-821-821-822-822-823-823-824-824-825-825-826-826-827-827-828-828-829-829-830-830-831-831-832-832-833-833-834-834-835-835-836-836-837-837-838-838-839-839-840-840-841-841-842-842-843-843-844-844-845-845-846-846-847-847-848-848-849-849-850-850-851-851-852-852-853-853-854-854-855-855-856-856-857-857-858-858-859-859-860-860-861-861-862-862-863-863-864-864-865-865-866-866-867-867-868-868-869-869-870-870-871-871-872-872-873-873-874-874-875-875-876-876-877-877-878-878-879-879-880-880-881-881-882-882-883-883-884-884-885-885-886-886-887-887-888-888-889-889-890-890-891-891-892-892-893-893-894-894-895-895-896-896-897-897-898-898-899-899-900-900-901-901-902-902-903-903-904-904-905-905-906-906-907-907-908-908-909-909-910-910-911-911-912-912-913-913-914-914-915-915-916-916-917-917-918-918-919-919-920-920-921-921-922-922-923-923-924-924-925-925-926-926-927-927-928-928-929-929-930-930-931-931-932-932-933-933-934-934-935-935-936-936-937-937-938-938-939-939-940-940-941-941-942-942-943-943-944-944-945-945-946-946-947-947-948-948-949-949-950-950-951-951-952-952-953-953-954-954-955-955-956-956-957-957-958-958-959-959-960-960-961-961-962-962-963-963-964-964-965-965-966-966-967-967-968-968-969-969-970-970-971-971-972-972-973-973-974-974-975-975-976-976-977-977-978-978-979-979-980-980-981-981-982-982-983-983-984-984-985-985-986-986-987-987-988-988-989-989-990-990-991-991-992-992-993-993-994-994-995-995-996-996-997-997-998-998-999-999-1000-1000-1001-1001-1002-1002-1003-1003-1004-1004-1005-1005-1006-1006-1007-1007-1008-1008-1009-1009-1010-1010-1011-1011-1012-1012-1013-1013-1014-1014-1015-1015-1016-1016-1017-1017-1018-1018-1019-1019-1020-1020-1021-1021-1022-1022-1023-1023-1024-1024-1025-1025-1026-1026-1027-1027-1028-1028-1029-1029-1030-1030-1031-1031-1032-1032-1033-1033-1034-1034-1035-1035-1036-1036-1037-1037-1038-1038-1039-1039-1040-1040-1041-1041-1042-1042-1043-1043-1044-1044-1045-1045-1046-1046-1047-1047-1048-1048-1049-1049-1050-1050-1051-1051-1052-1052-1053-1053-1054-1054-1055-1055-1056-1056-1057-1057-1058-1058-1059-1059-1060-1060-1061-1061-1062-1062-1063-1063-1064-1064-1065-1065-1066-1066-1067-1067-1068-1068-1069-1069-1070-1070-1071-1071-1072-1072-1073-1073-1074-1074-1075-1075-1076-1076-1077-1077-1078-1078-1079-1079-1080-1080-1081-1081-1082-1082-1083-1083-1084-1084-1085-1085-1086-1086-1087-1087-1088-1088-1089-1089-1090-1090-1091-1091-1092-1092-1093-1093-1094-1094-1095-1095-1096-1096-1097-1097-1098-1098-1099-1099-1010-1010-1011-1011-1012-1012-1013-1013-1014-1014-1015-1015-1016-1016-1017-1017-1018-1018-1019-1019-1020-1020-1021-1021-1022-1022-1023-1023-1024-1024-1025-1025-1026-1026-1027-1027-1028-1028-1029-1029-1030-1030-1031-1031-1032-1032-1033-1033-1034-1034-1035-1035-1036-1036-1037-1037-1038-1038-1039-1039-1040-1040-1041-1041-1042-1042-1043-1043-1044-1044-1045-1045-1046-1046-1047-1047-1048-1048-1049-1049-1050-1050-1051-1051-1052-1052-1053-1053-1054-1054-1055-1055-1056-1056-1057-1057-1058-1058-1059-1059-1060-1060-1061-1061-1062-1062-1063-1063-1064-1064-1065-1065-1066-1066-1067-1067-1068-1068-1069-1069-1070-1070-1071-1071-1072-1072-1073-1073-1074-1074-1075-1075-1076-1076-1077-1077-1078-1078-1079-1079-1



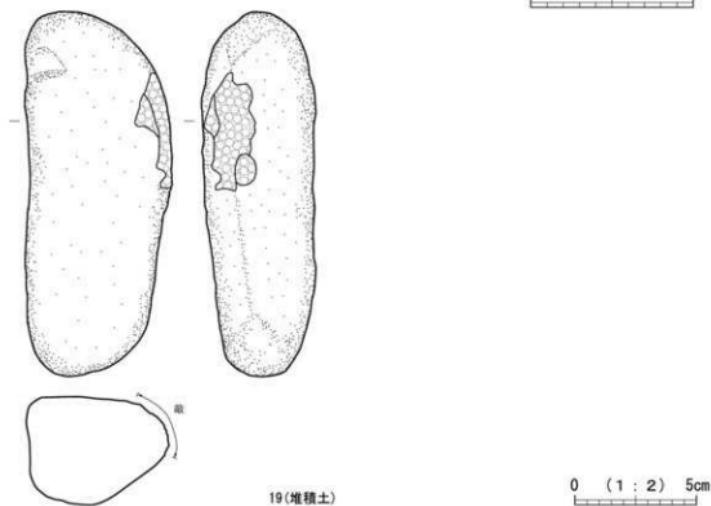
図版 番号	出土番号	出土遺物	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真 図版
1	C-006	SD 42	堆積土	土器部	环	(17.8) × ×(4.4)	口縁部一全体ヨコナラ、底部下平～底部へケタズリ	口縁部一全体ハラミガ牛	内面黒色処理	64
2	C-005	SD 42	堆積土	土器部	环	(14.8) × ×(4.0)	口縁部一全体ヨコナラ、底部ヘラケズリ	口縁部一底部ハラミガ牛	内面黒色処理	64
3	C-006	SD 42	堆積土	土器部	环	(12.2) × ×(4.0)	口縁部ヨコナラ、全体～底部ヘラケズリ	口縁部一底部ハラミガ牛	内面黒色処理	64
4	C-008	SD 42	堆積土	土器部	环	(8.6) × ×(2.1)	口縁部ヨコナラ、全体～底部ヘラケズリ	口縁部一全体ハラミガ牛	内面黒色処理	64
5	C-007	SD 42	堆積土	土器部	环	(14.0) × ×(4.1)	口縁部一全体ヨコナラ、底部下子～底部ヘラケズリ	口縁部一底部ハラミガ牛	1脚部穿孔2箇所	64
6	C-009	SD 42	堆積土	土器部	环	(10.0) × ×(1.7)	口縁部ヨコナラ、全体ヘラケズリ	口縁部ヨコナラ、全体調整難解小品		64
7	C-010	SD 42	堆積土	土器部	高环	× ×(4.2)	柱状状態ヘラケズリ	底部ハラミガ牛、脚部ナメ	柱部黒色化処理、脱落剥離	64
8	C-011	SD 42	堆積土	土器部	高台付环	× ×(2.4)	环部底部ヘラナメ、脚部折ナメ	底部ハラミガ牛、脚部ナメ	环部黒色化処理	64
9	C-012	SD 42	堆積土	土器部	盖	(13.8) × ×(7.2)	口縁部ヨコナラ、脚部ヘラナメ	口縁部ヨコナラ、脚部ヘラナメ	口縁部ヨコナラ、脚部黒色化処理	64
10	C-013	SD 42	堆積土	土器部	盖	× ×(11.1)	脚部ヨコナラ、脚部ヘラナメ	口縁部ヨコナラ、脚部ヘラナメ		64
11	C-014	SD 42	堆積土	土器部	盖	× ×(13.4) ×(5.8)	脚部ヘラナメ、丸底近ヨコナラ	脚部ヘラナメ、丸底近ヨコナラ		64
12	D-001	SD 42	堆積土	土器部	环	(17.2) × (11.2) × (3.6)	ロクロの調整、底部付近ヘラケズリ	ロクロの調整		64
13	E-002	SD 42	堆積土	土器部	环	(11.0) × (7.2) × 2.6	ロクロの調整、底部削除ヘラケズリ→手舟もヘラケズリ	ロクロの調整	擦化軋痕	64
14	E-003	SD 42	堆積土	土器部	高台付环	× ×(9.0) ×(1.6)	ロクロの調整、貼付高台	ロクロの調整	高台	64
15	E-005	SD 42	堆積土	土器部	盖	(16.0) × ×(1.5)	ロクロの調整	ロクロの調整		64
16	E-004	SD 42	堆積土	土器部	盖	× ×(1.5)	ロクロの調整、天井部削除ヘラケズリ	ロクロの調整		64
17	E-006	SD 42	堆積土	土器部	盖	(16.4) × ×(8.7)	口縁部一底部ヨコナラ調整、斜部平行四辺形	口縁部一底部ヨコナラ調整、斜部ヨコナラ	背面自然釉	64
18	E-007	SD 42	1層	土器部	盖	× ×(22.4)	平行四辺形	青釉流文	破片付着	65

第24図 SD 42出土遺物(1)



18(1層)

0 (1 : 3) 10cm

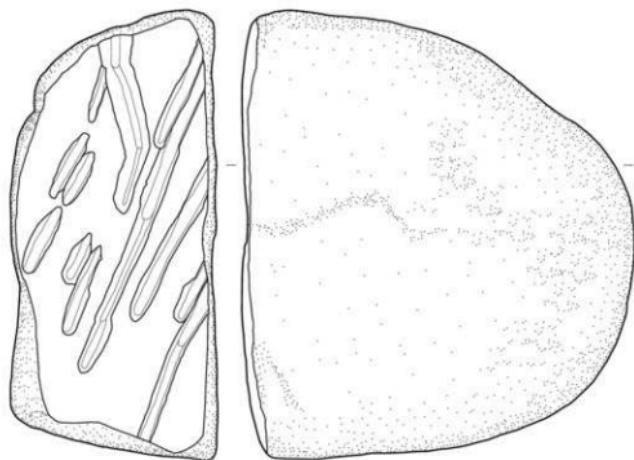


19(堆積土)

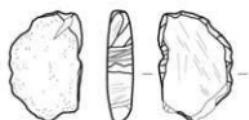
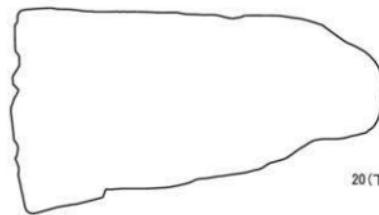
0 (1 : 2) 5cm

図版 番号	登録番号	出土地点	層位	種別	器種	分類	長×幅×厚さ(cm)	重量(g)	石材	備考	写真 回数
19	Kc-003	SD42	堆積土	鍛石器	鍛石	鉄	15.0×5.8×4.3	563.20	安山岩	定形品、船内裡、鍛(鍛)箇所(弱)	65
20	Kc-004	SD42	下層	鍛石器	白石	鉄	18.5×36.1×8.5	1543.29	安山岩	定形品、車角裡、鍛状痕(弱)	65
21	Kd-005	SD42	下層	石製品	鍛鍊車	鉄	4.6×3.0×1.1	12.63	凝灰岩	尖頭品、穿孔径0.7cm	65
22	Kd-003	SD42	下層	石製品	鍛石	鉄	10.9×10.6×4.0	510.43	凝灰岩	尖頭品、自然裡、板状、無孔、鍛状痕あり、自然面(弱)	65

第25図 SD42出土遺物(2)

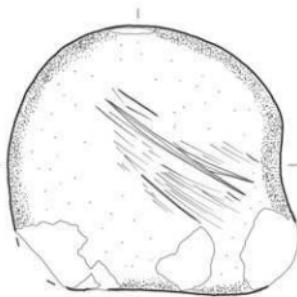


20(下層)



21(下層)

厘米

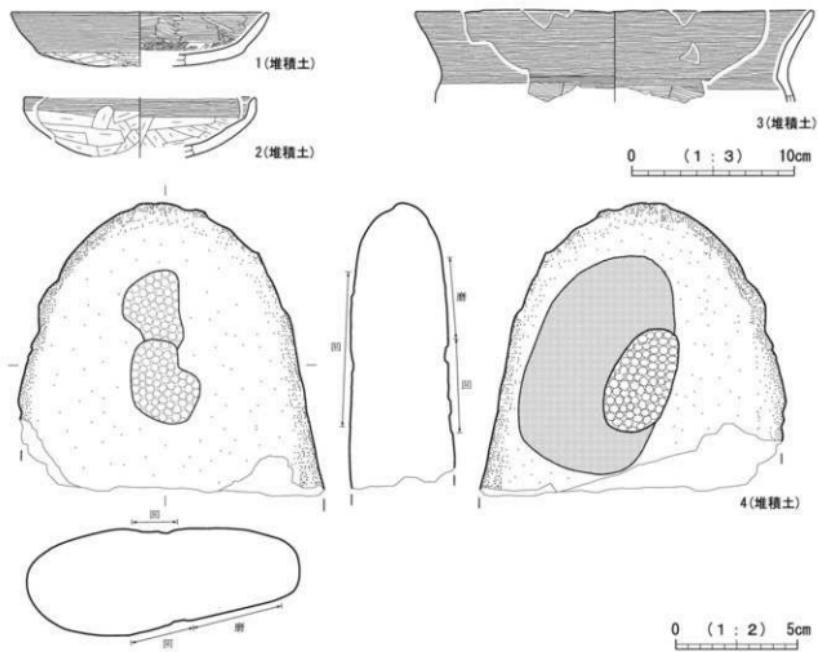


22(下層)



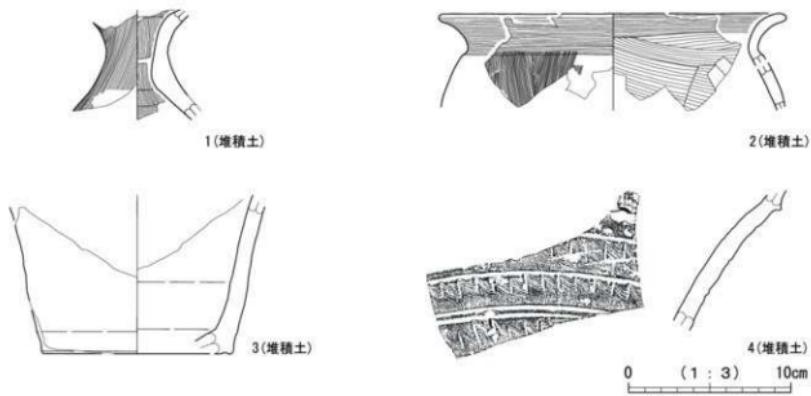
0 (1 : 2) 5cm

第26図 SD 42出土遺物(3)



図版番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調査	内面調査	備考	写真回数	
1	C-015	SD44	堆積土	土器器	杯	(15.7)×(6.0)×(3.2)	口縁部ヨコナデ、底部へラケズリ	口縁部～底部ハラミガキ	内面黒色処理	65	
2	C-016	SD44	堆積土	土器器	杯	(14.3)×(5.7)	口縁部ヨコナデ、底部へラケズリ	口縁部ヨコナデ、底部ハラケズリ		65	
3	C-017	SD44	堆積土	土器器	甌	(24.6)×(5.6)	口縁部ヨコナデ、底部へラナデ	口縁部ヨコナデ、底部ハラナデ		65	
図版番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	分量	直さ×幅×厚さ(cm)	重量(g)	石材	備考	写真回数
4	Ke-001	SD44	堆積土	礫石器	磨+凹		(11.6)×12.0×4.5	545.87	麻灰岩 欠損品、粒(内裡、磨一面(半)、凹二面(磨+半)深さ(浅))		66

第27図 SD 44出土遺物



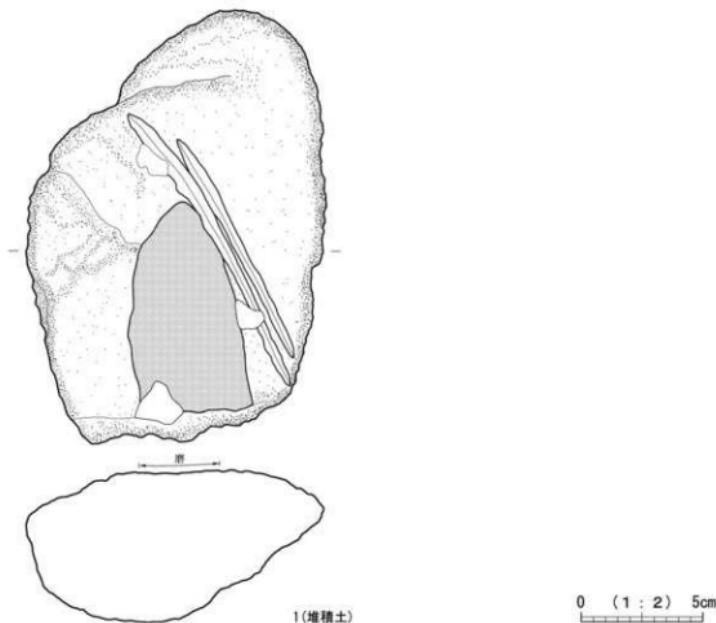
第28図 SD 46出土遺物

SD61 溝跡(第21・23・37図)

調査区北東部、39～41グリッドに位置する。規模は、検出長18.92cm、上端幅38～108cm、下端幅24～61cm、深さ8～31cmを測る。SD62の2～3m南を並走し、平面形状は、N-85°～103°-Eの方向に緩く蛇行しながら東西方向に延びる。断面形状は逆台形を呈し、堆積土は2層に分層され、黒褐色シルトを主体とする。出土遺物は、土師器壺、須恵器高台付环を各1点掲載した。

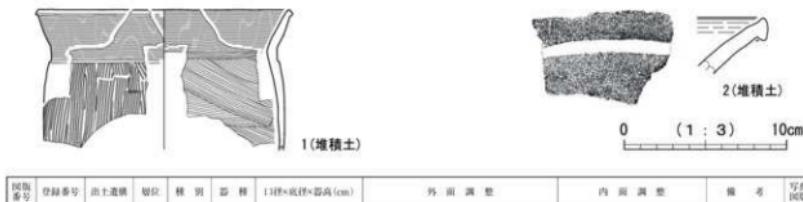
SD62 溝跡(第21・23・38図)

調査区北東部、39・40・41・44・45・46グリッドに位置する。規模は、検出長22.15m、上端幅74～120cm、下端幅28～65cm、深さ34cmを測る。SD61の2～3m北を並走し、平面形状はN-84°-Wの方向に緩く蛇行しながら東西方向に延びる。断面形状は逆台形を呈し、堆積土は暗褐色シルトの單層である。出土遺物は、土師器壺・鉢、須恵器高台付环、甕、台石を各1点掲載した。第38図-4の土師器鉢は、寸胴で短い口縁部が内側に屈曲する器形を呈する。



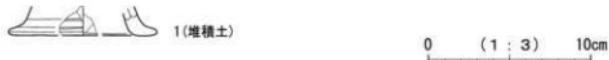
図版 番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	分類	長×幅×厚さ(cm)	重量(g)	石材	備考	写真 回数
1	Kd-004	SD49	堆积土	石製品	砾石		17.0×12.2×6.2	847.54	圓状石	完形品、自然縫、板状、無孔。溝状痕あり、自然面あり。	66

第29図 SD 49出土遺物



図版 番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外観調整	内面調整	備考	写真 回数
1	C-020	SD50	堆积土	土細器	甌	(15.4)×(8.6)	(口縁部ヨコナデ、腹部ハラナデ)	(口縁部ヨコナデ、腹部ハラナデ)		66
2	E-010	SD50	堆积土	須恵器	甌	××(3.4)	ロクロ調整	ロクロ調整、ヘラナデ		66

第30図 SD 50出土遺物



図版番号	登録番号	出土遺物	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真図版
1	C-021	SD51	堆積土	土師器	高环	×(5.6)×(1.8)	ナシ	ナシ		66

第31図 SD51出土遺物



図版番号	登録番号	出土遺物	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真図版
1	E-011	SD56	堆積土	須恵器	环	×(9.2)×(3.0)	ロクロ調整、底部手持ちハラケヅリ	ロクロ調整		66

第32図 SD56出土遺物

SD64 溝跡(第21・23・39図)

調査区中央部東側、17・22・27・32グリッドに位置する。規模は、検出長11.6m、上端幅59～99cm、下端幅20～54cm、深さ19cmを測る。平面形状はN-5°-Eの南北方向に直線的に延び、南側末端は搅乱により失われる。断面形状は逆台形を呈し、堆積土は2層に分層され、暗オリーブ褐色シルトを主体とする。出土遺物は、土師器壺、須恵器円面鏡、平瓦を各1点掲載した。第39図-1は、いわゆる関東系の土師器壺で、口縁部が内側に屈曲する器形を呈する。須恵器円面鏡(同図-2)の脚部はやや内傾し、台形と推定される透かしがヘラケヅリにて面取りされる。

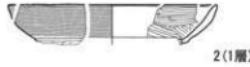
SD68 溝跡(第21・23図)

調査区南東部、7・8グリッドに位置する。規模は、検出長5.10m、上端幅32～44cm、下端幅16～23cm、深さ19cmを測る。平面形状は半円形の溝で、南側半分は搅乱により失われているが、円形の溝と想定される。断面形状は逆台形を呈し、堆積土は2層に細分される。規模や平面形状をみると、円形にめぐる溝の内側に柱穴をもつことから、竪穴住居跡としたSI131や方形にめぐるSI132と同じく竪穴住居跡となる可能性もある。

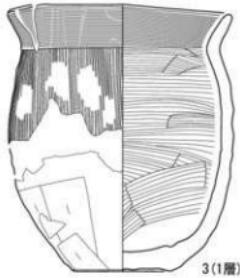
しかし、住居跡との重複関係をみると、SI131やSI132が他の住居跡に切られているのに対して、SD68はSI87やSI107を切っていることから、ここでは溝跡として扱った。



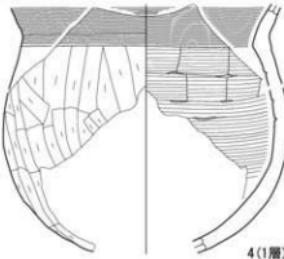
1(1層)



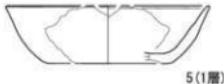
2(1層)



3(1層)



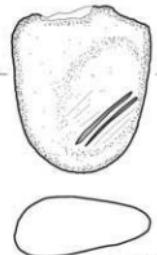
4(1層)



5(1層)



6(1層)



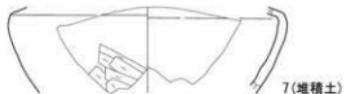
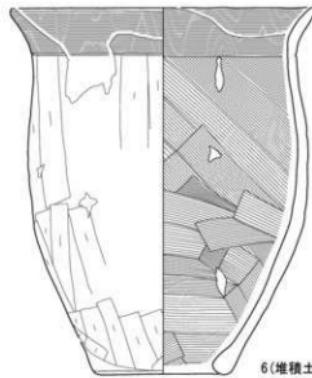
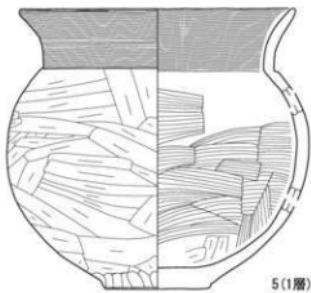
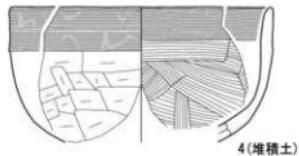
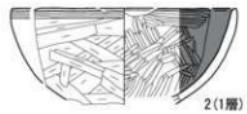
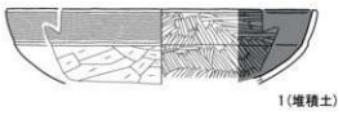
7(1層)

0 (1 : 3) 10cm

0 (1 : 2) 5cm

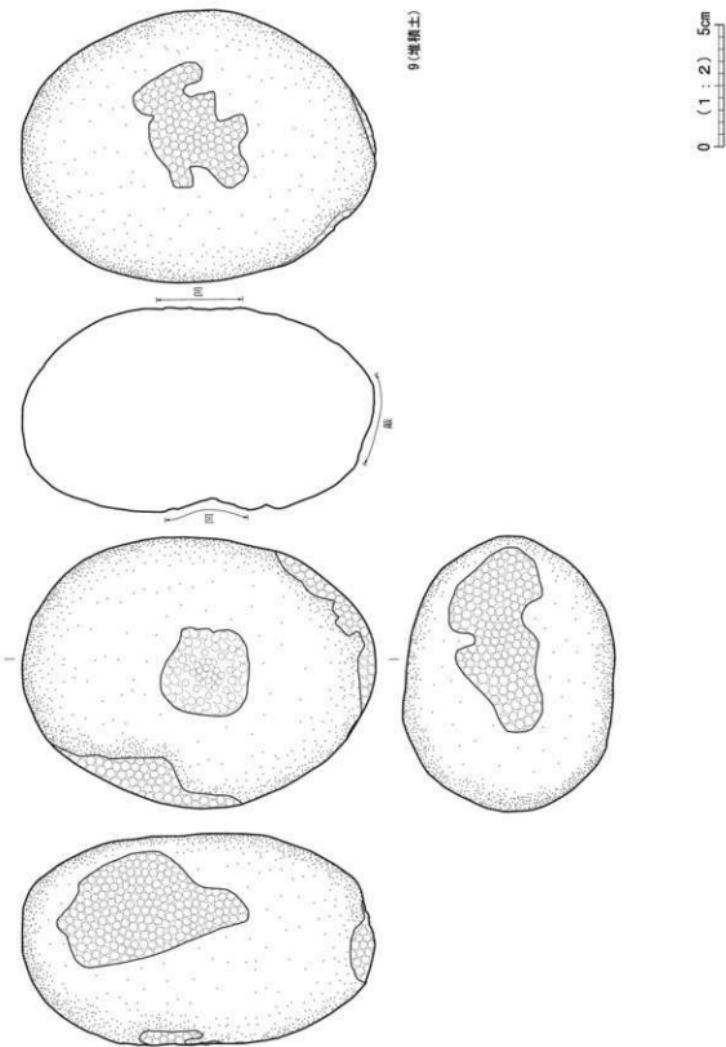
国版 番号	登録番号	出土遺構	層位	種 別	器 種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備 考	写真 図版	
1	C-022	SD59	1層	土加器	环	(12.0)×(7.0)×(2.3)	[上縁部～底部ヨコナギ、底部ハケアズ]	[上縁部～底部ハラガキ]	内面黒色処理	66	
2	C-023	SD59	1層	土加器	环	(12.0)×(7.0)×(2.4)	[上縁部ヨコナギ、底部下端ハケアズ]	[上縁部～底部ハラガキ]		66	
3	C-024	SD59	1層	土加器	羹	13.7×16.4×6.1	[上縁部ヨコナギ、底部上半ハケメ、底部下半ハラ ガズリ、齊溝]	[上縁部ヨコナギ、底部ハラナギ]		66	
4	C-025	SD59	1層	土加器	羹	××(15.3)	[上縁部ヨコナギ、底部ハケアズ]	[上縁部ヨコナギ、底部ハラナギ]		66	
5	E-012	SD59	1層	痕窓器	环	(12.0)×(7.7)×3.6	ロクロ調整	ロクロ調整		67	
6	E-013	SD59	1層	痕窓器	羹	××(9.6)	平行明条目→ハラナギ	青海漬文		67	
国版 番号	登録番号	出土遺構	層位	種 別	器 種	分類	直径×幅×厚さ(cm)	重量(g)	石 材	備 考	写真 図版
7	Ed-006	SD59	1層	石製品	砾石	6.8×5.7×2.5	74.93	砾灰岩	欠品品、自然理、板状、無孔、塊状痕あり、自然剥離		67

第33図 SD59出土遺物

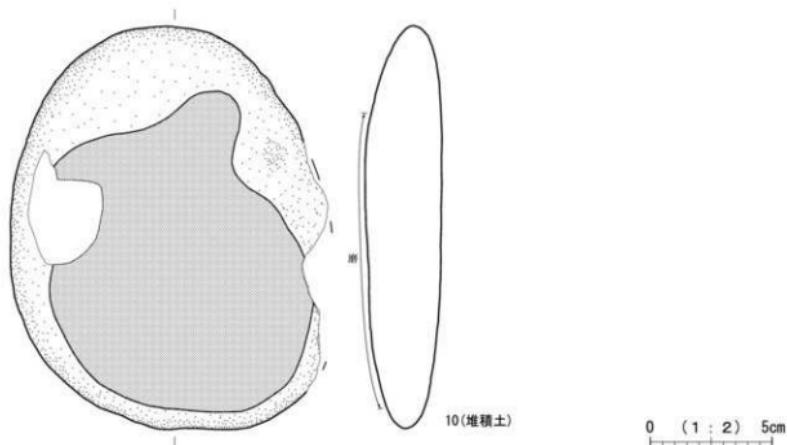


0 (1 : 3) 10cm

第34図 SD 60出土遺物(1)



第35図 SD60出土遺物(2)



図版 番号	登録番号	出土遺物	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真 図版
1	C-028	SD60	堆積土	土器部	环	(19.2)×(4.6)	口縁部コナヂ、体部へラケズリ	口縁部～底部ヘラミガキ	内面黒色処理	67
2	C-027	SD60	1層	土器部	环	(13.8)×(5.9)	口縁部コナヂ、体部へラケズリ	口縁部～底部ヘラミガキ	内面黒色処理	67
3	C-026	SD60	堆積土	土器部	环	(13.6)×(4.5)×(4.1)	口縁部～体部コナヂ、底部へラケズリ	口縁部～底部ヘラミガキ	内面黒色処理	67
4	C-029	SD60	堆積土	土器部	环	(16.0)×(8.3)	口縁部コナヂ、体部へラケズリ	口縁部コナヂ、体部ヘラミガキ		67
5	C-030	SD60	1層	土器部	束	17.0×6.3×17.2	口縁部コナヂ、瓶部へラケズリ、底部付近側キャラ	口縁部コナヂ、瓶部ヘラミガキ、底部付近側キャラ		67
6	C-031	SD60	堆積土	土器部	瓶	(18.6)×(8.1)×(22.5)	口縁部コナヂ、瓶部～底部ヘラケズリ	口縁部コナヂ、瓶部ヘラミガキ		67
7	E-014	SD60	堆積土	泥質	束	××(5.2)	クロロ調整～側部ヘラケズリ	クロロ調整	外側自然施	67
8	E-015	SD60	堆積土	泥質	束	××(18.0)	平行叩打目	青海波文、輪横面		67

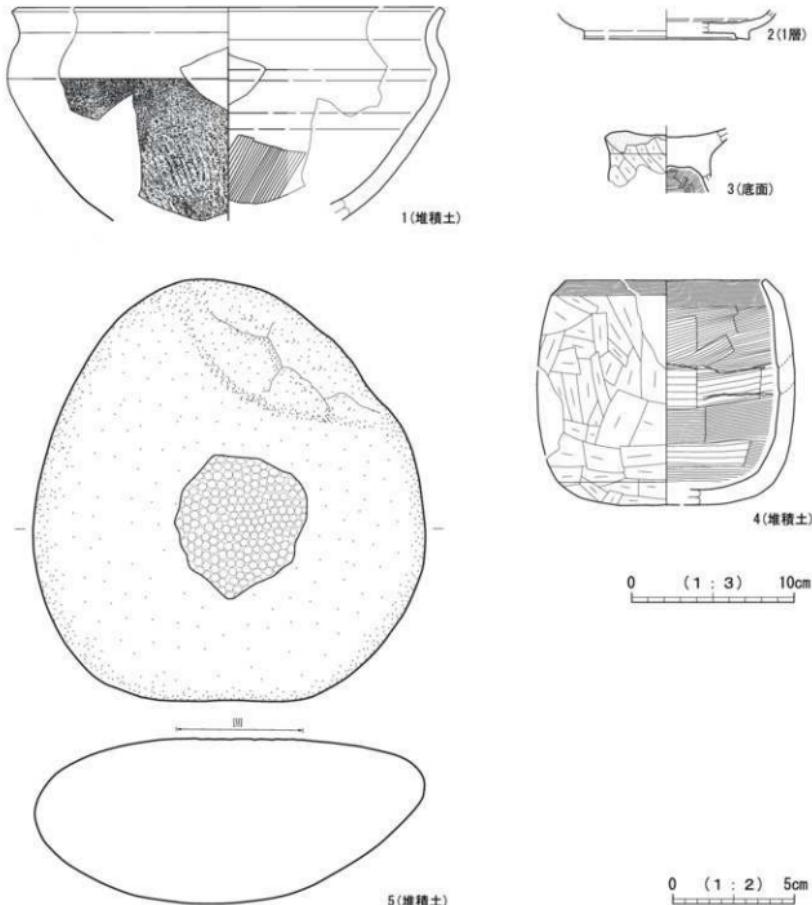
図版 番号	登録番号	出土遺物	層位	種別	器種	分量	長さ×幅×厚さ(cm)	重量(g)	石・材	備考	写真 図版
9	Kc-007	SD60	用耕土	礫石器	四+量	12.6	9.7×7.7.3	836.09	湖底岩	定期品、汚穢、凸面(单+单)深さ(浅)、底(縦)側所+側1箇所(横度)(浅)	67
10	Kc-008	SD60	堆積土	礫石器	台石	16.5	13.0×3.1	1037.28	安山岩	定期品、凹面(单+单)、底一面(平)	67

第36図 SD 60出土遺物(3)



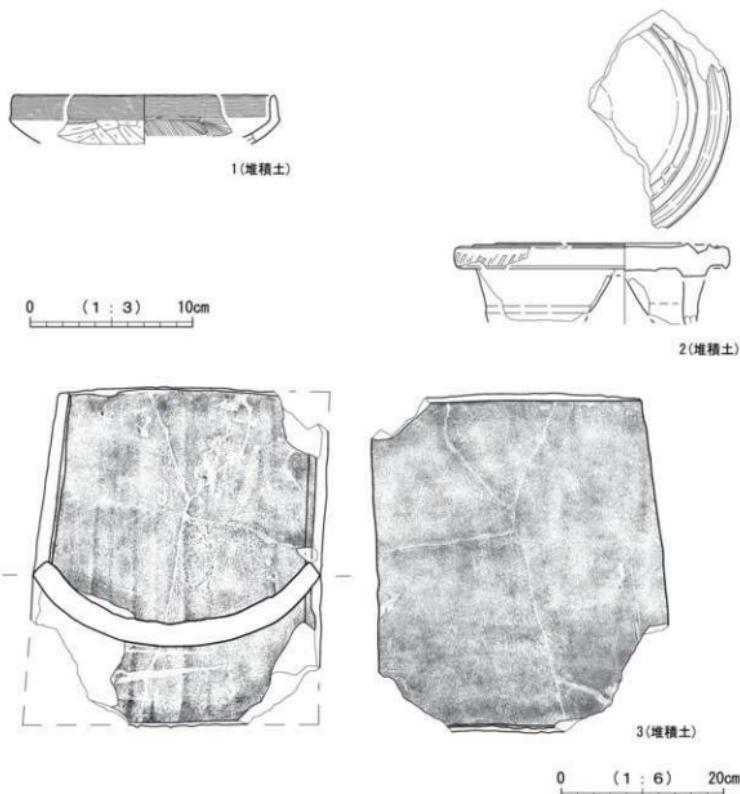
図版 番号	登録番号	出土遺物	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真 図版
1	C-032	SD61	1層	土器部	环	(12.4)×(2.7)	口縁部コナヂ、体部へラケズリ	口縁部～底部ヘラミガキ	内面黒色処理	68
2	E-016	SD61	堆積土	泥質	高台付环	(15.2)×(11.4)×(3.5)	クロロ調整、底面回転へラケズリ→底付高台	クロロ調整	高台	68

第37図 SD 61出土遺物



図版番号	登録番号	出土遺構	層位	株	羽	器種	口径×底径×器高(cm)	外観調査	内面調査	指考	写真回数	
1	E-018	SD62	堆積土	石器	丸	(26.6) × × (13.1)	ロクロ調整	ロクロ調整、底部ヘタナギ	内外面白無施	68		
2	E-017	SD62	1層	石器	高台付环	×(10.2) × (1.8)	ロクロ調整、底盤斜板ヘラケズリ→貼付高台	ロクロ調整	高台	68		
3	C-033	SD62	底面	土器	丸	× × (4.0)	脚窓ヘタナギ	底盤底部ヘラキギ、脚部ナギ	68			
4	C-034	SD62	用積土	土器	鉢	(12.4) × (6.4) × 12.8	口縁部ヨコナギ、脚部→底盤ヘラケズリ、脚長	底盤部ヨコナギ、脚部ヘラナギ		68		
図版番号	登録番号	出土遺構	層位	株	羽	器種	分量	長さ×幅×厚さ(cm)	重量(g)	石 材	指 考	写真回数
5	Kc-010	SD62	堆積土	輝石器	白石			17.3 × 16.1 × 6.8	2607.33	安山岩	定形品、円窪、内一面(单)溝さ(浅)	68

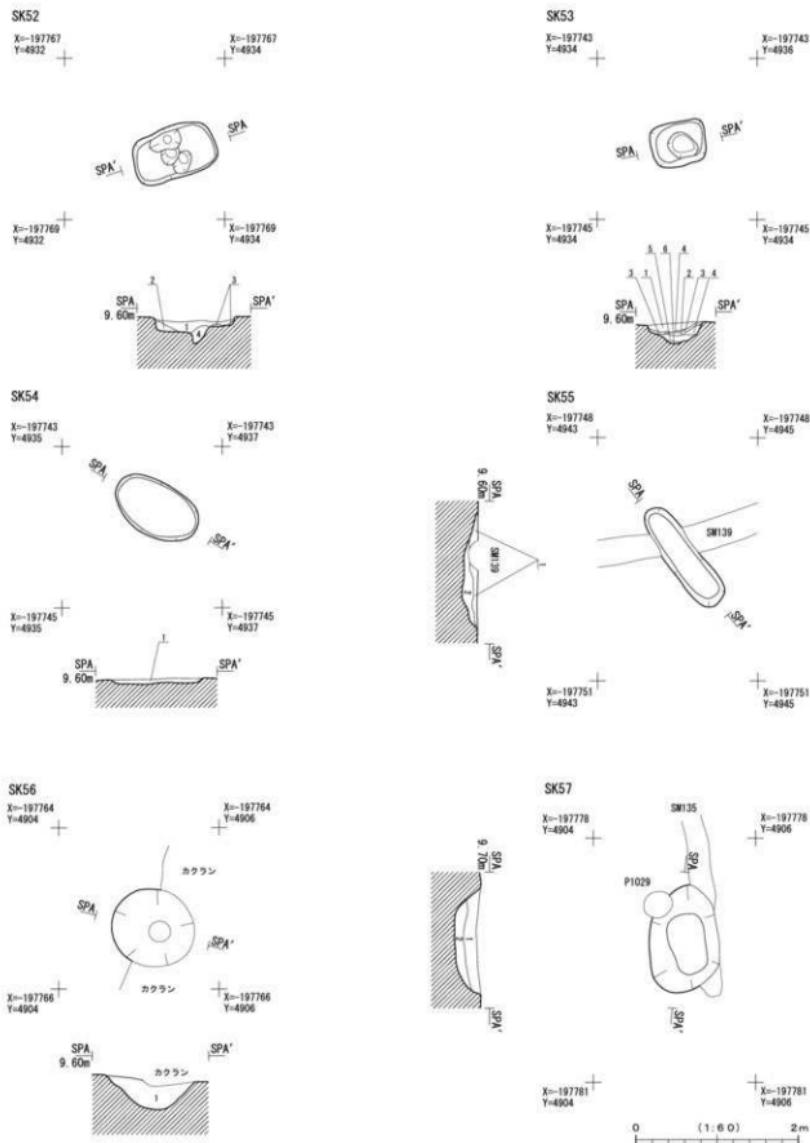
第38図 SD 62出土遺物



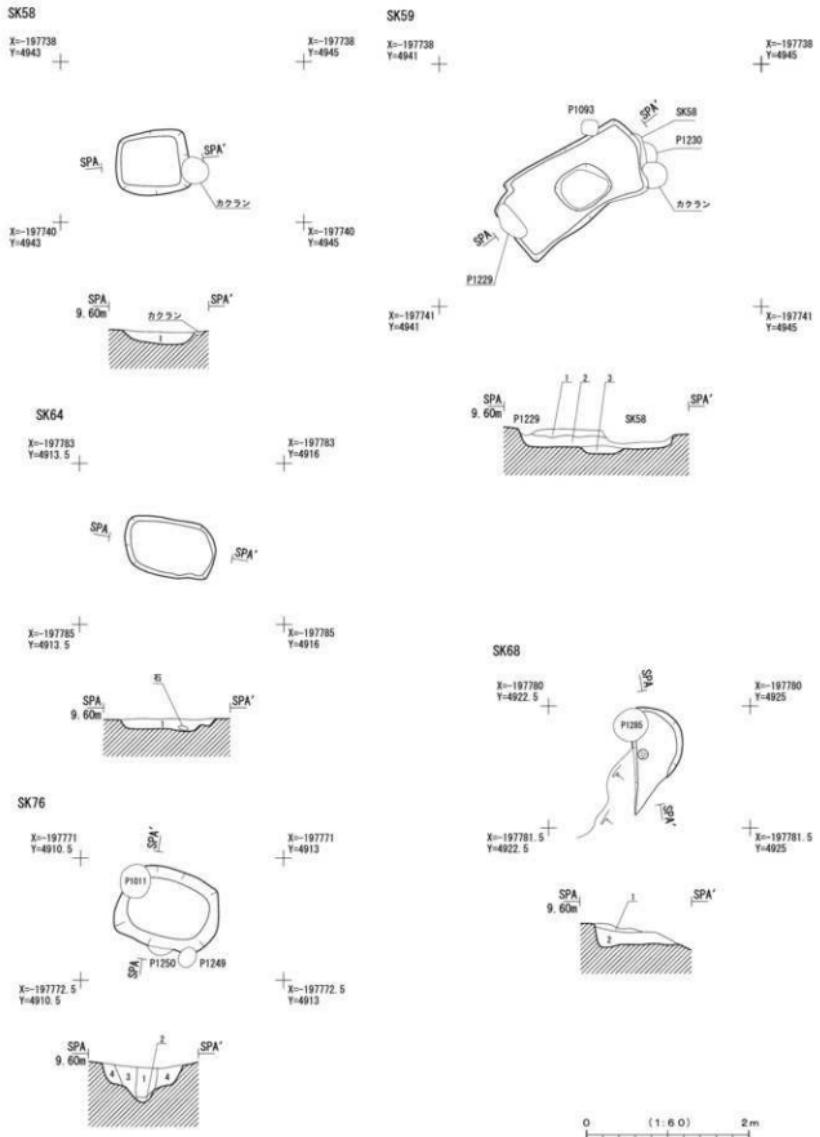
第39図 SD64出土遺物

(3) 土坑(第40～43図)

古代上面からは11基の土坑を検出した。これらの土坑はIV層上面で検出され、すべて竪穴建物群を切っている。平面形は、円形、楕円形、隅丸方形、長方形、隅丸長方形など様々で齊一性は認められず、規模も様々である。したがって、用途・目的については複数が考えられるが、底面に小穴を伴うSK52・53・59・68、土層断面に柱痕が観察されたSK76は柱穴的性格を有する可能性がある。堆積土は、暗褐色もしくは黒褐色シルトを主体とするものが多い。出土遺物は、SK57から出土した土師器瓶1点、SK59から出土した砾石器1点を掲載した。



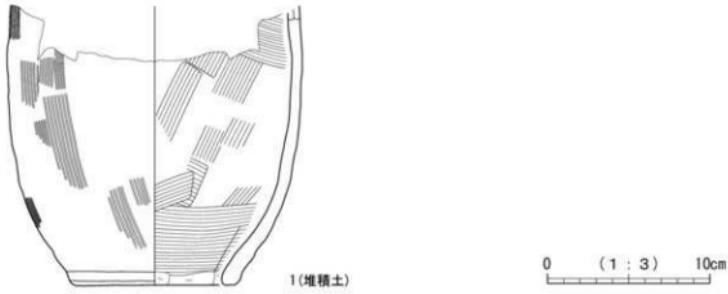
第40図 土坑(1)



第41図 土坑(2)

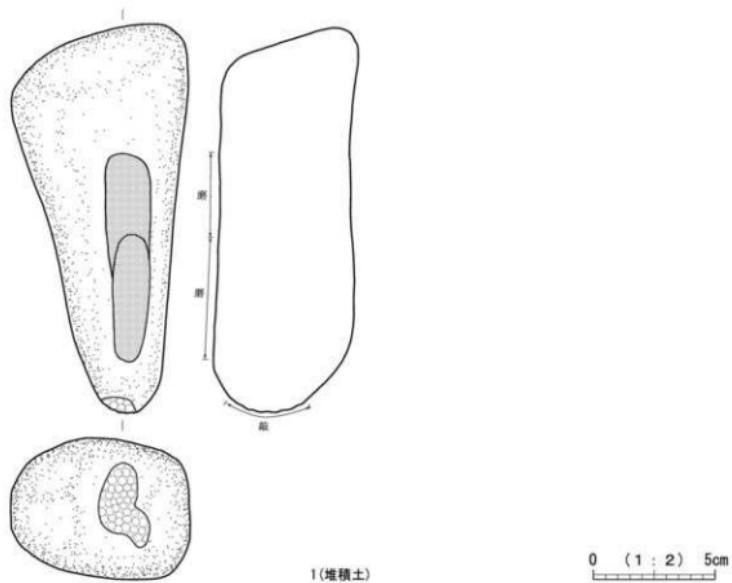
土壤観察表

遺構名	グリッド	平面形	範囲(cm)		層位	土色		土性	備考	重複
			長軸×短軸	深さ		1	10YR4/1 黒褐色	シルト		
SK52	17	調丸長方形	105×65	30	2	10YR3/2 黑褐色	シルト	地山ブロック少量含む		
					3	10YR4/3 にい 黄褐色	シルト	地山ブロック上部	SD95, SM136, PG26-627を切る	
					4	10YR3/1 黑褐色	シルト	地山ブロック多量、炭化物少量含む		
					1	10YR3/3 黑褐色	シルト	炭化物約(3.3~7mm)含む		
SK53	42	調丸方形	70×54	28	2	10YR3/4 褐色	シルト	炭化物約(3.3~7mm)含む		
					3	7.5YR2/3 無鉛褐色	シルト	炭化物約(5~10mm)微量含む		
					4	-	-	炭化物質		
					5	10YR4/4 褐色	シルト	硬土粒(径5~10mm)少量含む		
SK54	42	相円形	112×68	8	6	10YR2/2 黑褐色	シルト	炭化物質		
					1	10YR4/2 黄褐色	シルト	硬土粒(径5~10mm)少量含む		
					2	10YR4/4 褐色	シルト	炭化物質	SM139に切られる	SX5 開達通塙か
SK55	23-38	不整相円形	143×44	18	3	10YR3/2 黑褐色	シルト	炭化物質		
					4	10YR2/2 黑褐色	シルト	炭化物質	SM139に切られる	SX5 開達通塙か
SK56	14-19	円形	105×95	30	5	10YR2/4 明褐色	シルト	炭化物質		
					6	10YR2/1 黑褐色	シルト	炭化物質	SD80を切る	
SK57	5	相円形	(135×86)	26	7	2.5YR3/1 黑褐色土	砂質 シルト	地山ブロック少量、炭化物微量含む	SD79, SD8 を切る	
					8	2.5Y3/3 稲オーリーブ褐色	砂質 シルト	地山ブロック少量含む	SM135, PI029に切られる	
SK58	48	調丸方形	93×78	17	9	10YR2/1 黑色	砂質 シルト	地山ブロック少量含む	SK39, PI220を切る	
					10	10YR2/3 明褐色	砂質 シルト	地山ブロック微量含む		
SK59	48	不整長方形	(194)×(69)	26	11	10YR2/3 黑褐色	砂質 シルト	地山ブロック微量含む	PI220を切る	
					12	10YR2/2 黑色	砂質 シルト	地山ブロック微量含む	SK58, PI039+229に切られる	
					13	10YR3/4 にい 黄褐色	砂質 シルト	地山ブロック微量含む		
SK60	3	調丸長方形	142×89	18	14	10YR3/3 明褐色	砂質 シルト	炭化物微量、硬土粒少量含む	なし	
					15	10YR2/1 黑色	砂質 シルト	炭化物微量、硬土粒少量含む		
SK68	4	-	(134)×(65)	30	16	10YR2/2 黑褐色	砂質 シルト	地山ブロック微量含む	P1285に切られる	
					17	10YR2/3 黑褐色	砂質 シルト	地山ブロック微量含む	直幅に伴 13cm、深さ4cmの柱状	
SK76	10	長方形	130×98	43	18	10YR3/2 黑褐色	砂質 シルト	10YR3/4 黑褐色シルトブロック、10YR4/4 褐色シルトブロック、炭化物微量含む		
					19	10YR2/4 明褐色	砂質 シルト	10YR4/4 褐色砂質シルトブロック、10YR3/2 黑褐色砂質シルトブロック微量含む	SD42を切る	
					20	10YR3/3 明褐色	砂質 シルト	10YR4/4 褐色シルトブロック微量含む	P101+1246-1247-1249+1250に切られる	
					21	10YR4/4 褐色	砂質 シルト	10YR3/3 黑褐色シルトブロック微量、10YR4/6 褐色砂質シルトブロック微量含む		



第42図 SK 57出土遺物

国版 番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外 面 調 整	内 面 調 整	備 考	写真 図版
1	C-036	SK57	堆積土	土壌層	粘土	×(9.8)×(17.2)	側部ハケメ	側部ハラナ、孔周辺ハケメ		69



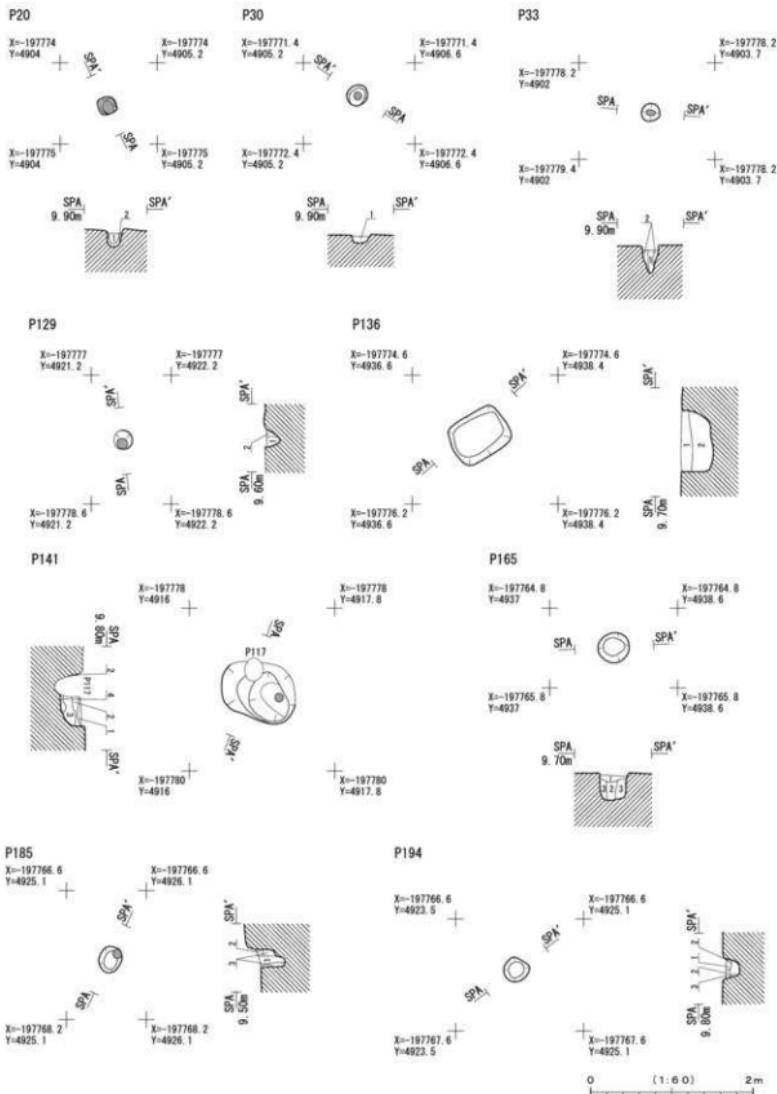
第43図 SK59出土遺物

(4) ピット(第44～54図、付図2)

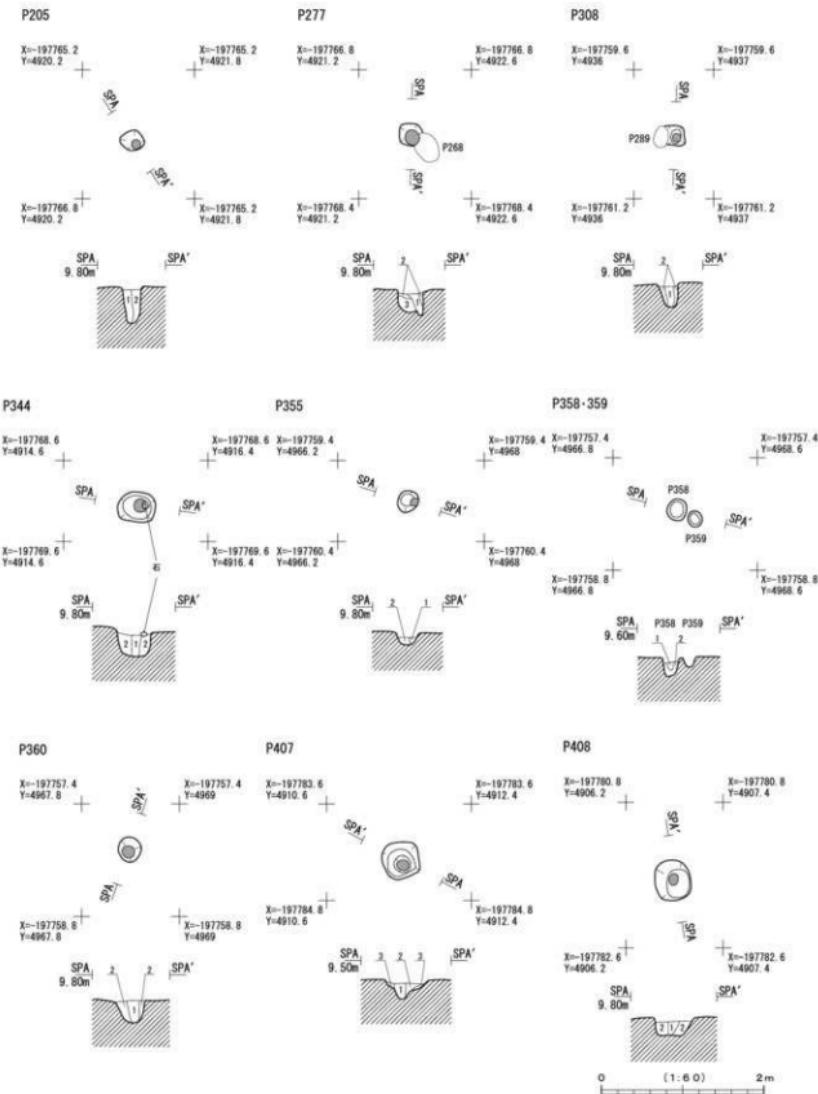
古代上面からは1334基ものピット(小柱穴)が検出された。これら多くのピットは3B区全域から検出され、他の遺構も含め非常に激しい重複関係を有しながら構築されている。その中でも、SD42の東西方向に延びる部分においてはその両側が、同じく南北方向に延びる部分においてはその東側が集中域となっていることから、SD42に近接するピットについては、SD42と関連する可能性がある。

平面形状は、円形・楕円形・方形・長方形・隅丸方形を呈し、規模は大小様々であるが、径20cm前後のピットが大半を占める。遺構図の掲載については、主に柱痕が観察されたものや2層以上の堆積状況が観察し得るものなど、柱穴として認定できるものを中心とし、その他は一覧表に纏めて示した。柱痕の観察されるものについては調査時に掘立柱建物跡の可能性を考慮したが、掘立柱建物跡として組めるようなものは確認されなかった。

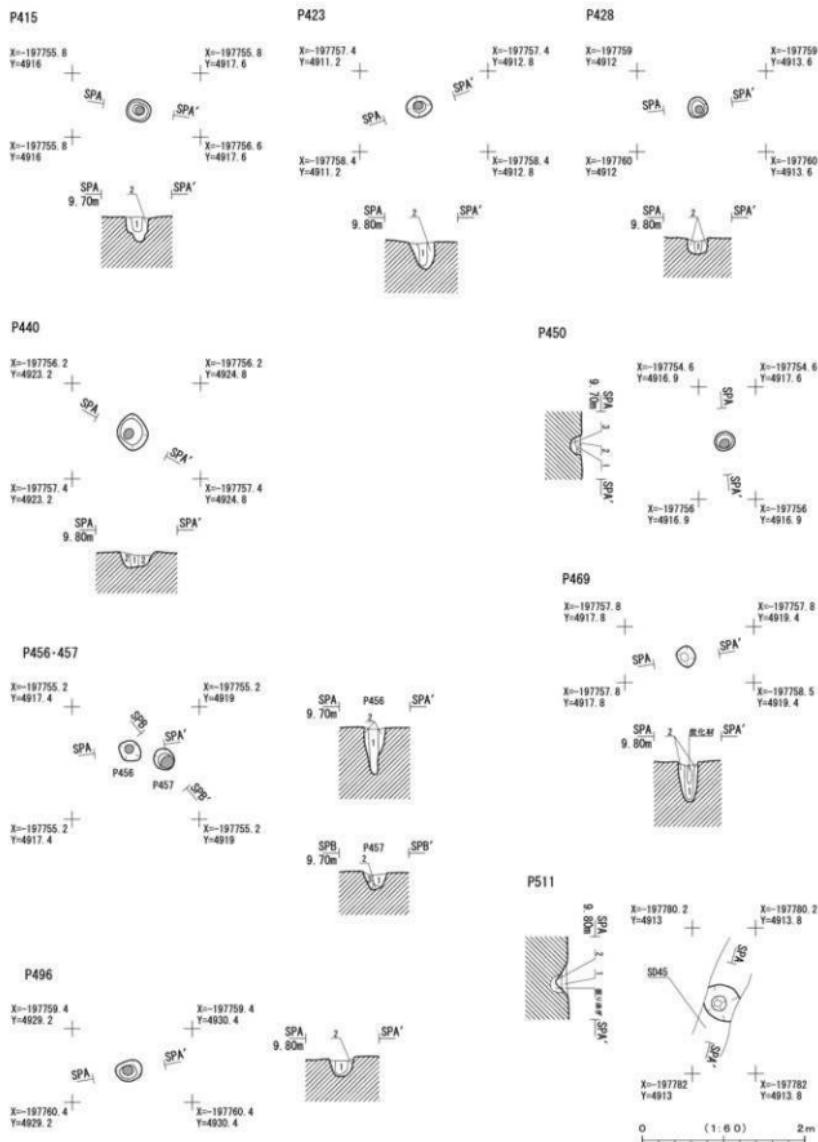
出土遺物は細片のものが多いことから、掲載した遺物は遺構数に対して少ない。第53図-7の土師器鉢の体部には、耕痕が観察される。



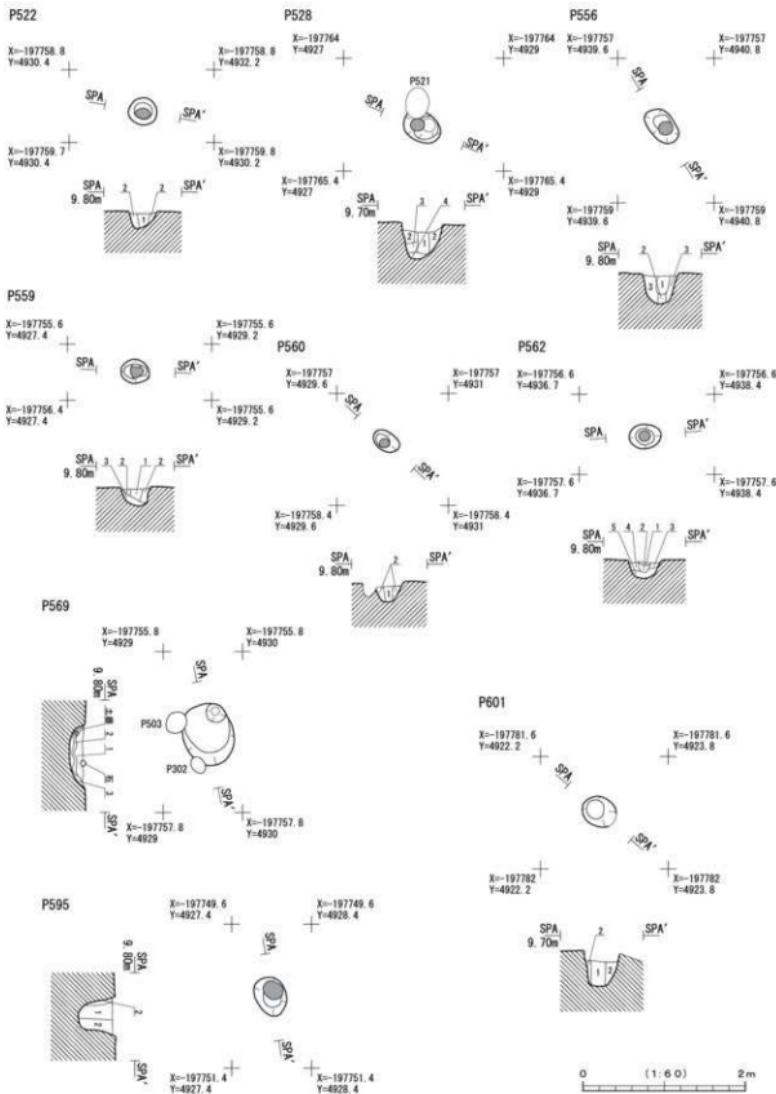
第44図 ピット(1)



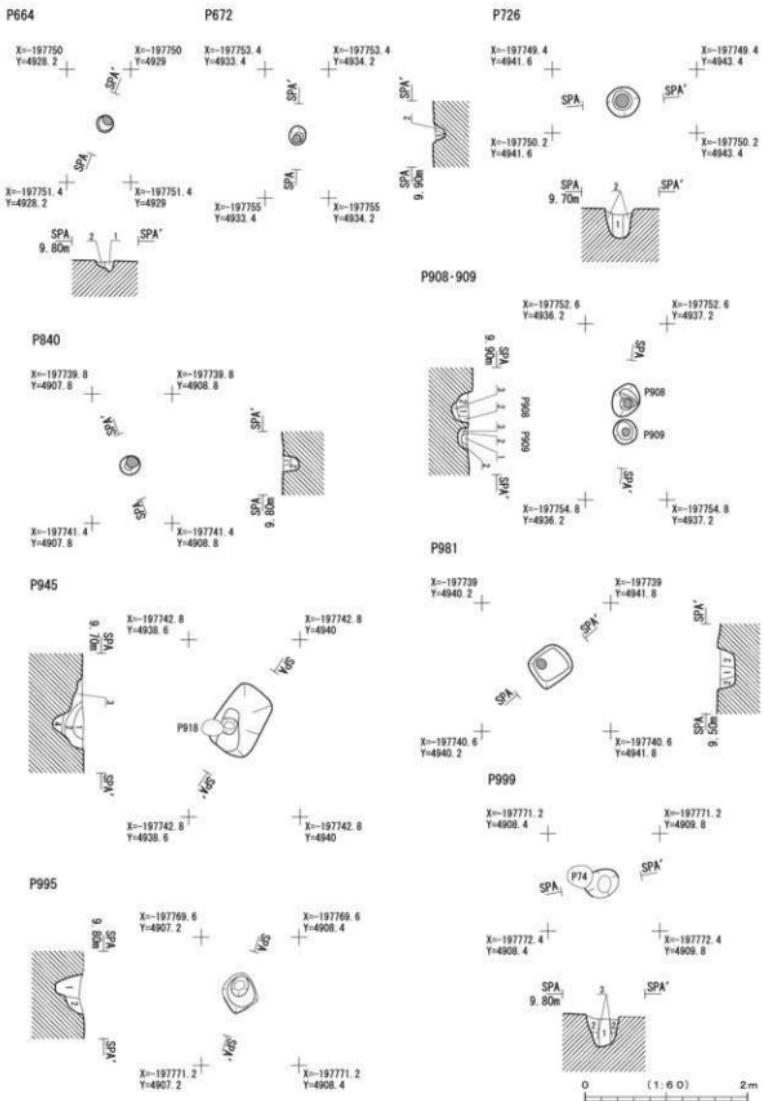
第45図 ピット(2)



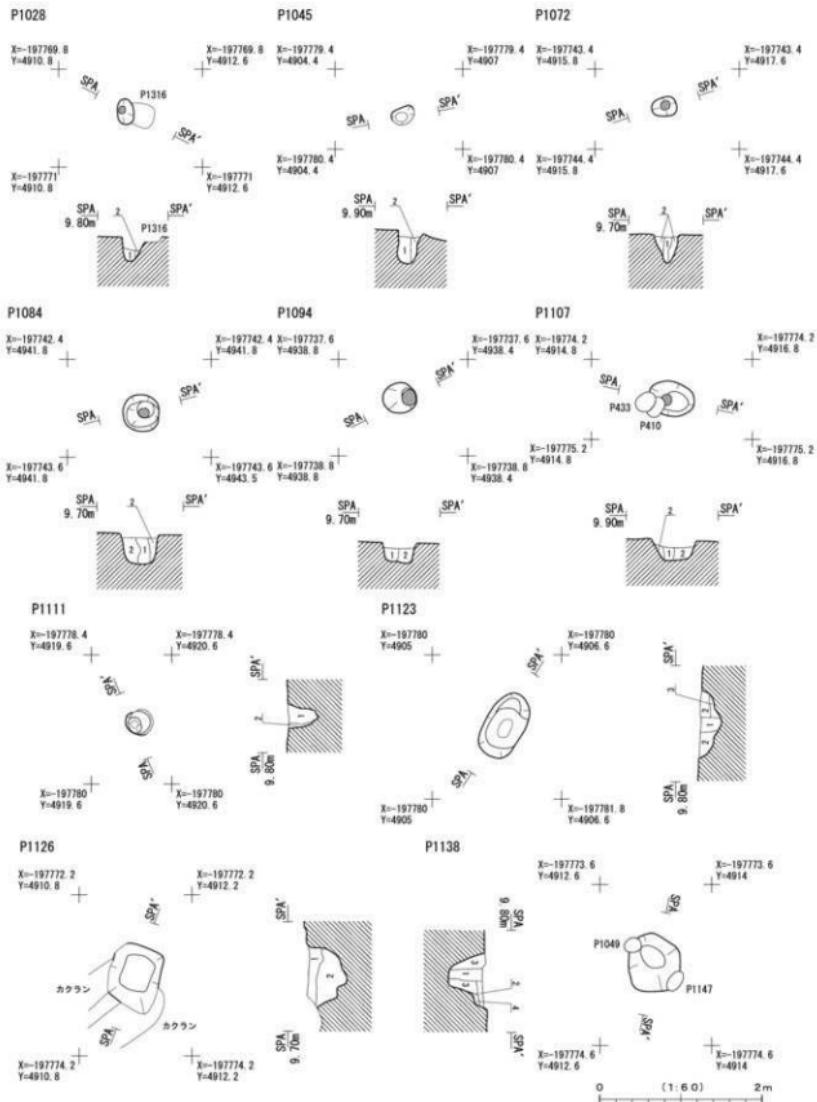
第46図 ピット(3)



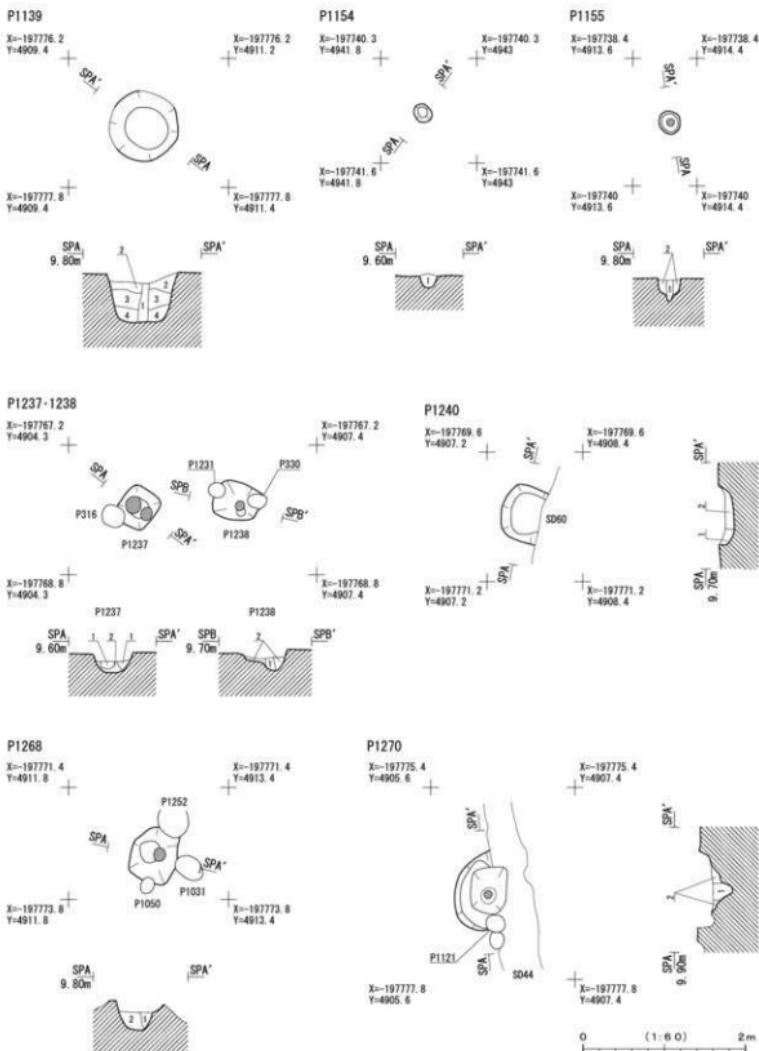
第47図 ピット(4)



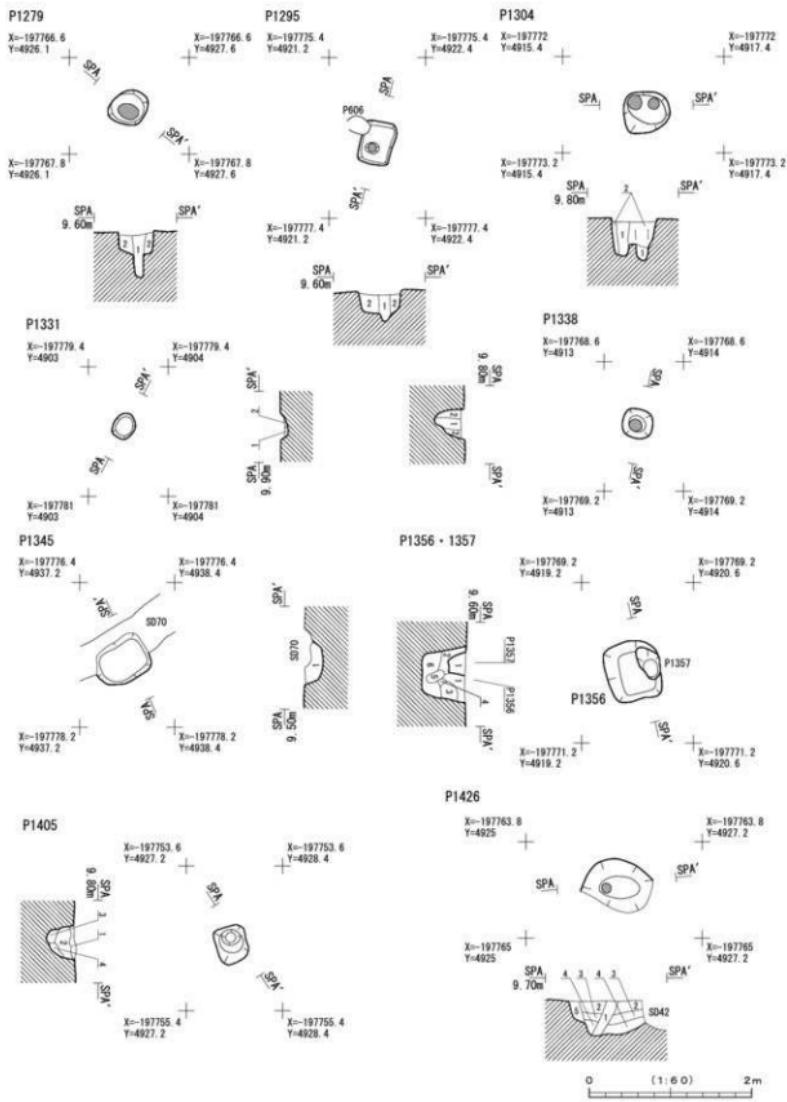
第48図 ピット(5)



第49図 ピット(6)



第50図 ピット(7)

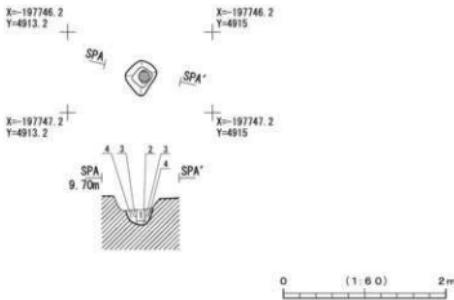


第51図 ピット(8)

P1435



P1436



第52図 ピット(9)

ピット 施工作業(1)

遺構名	グリッド	平面形	復原(cm)		層位	土色	土性	備考	重複
			長軸	短軸					
P1	2	方形	(19)×(18)	5	1	-	黒褐色	シルト	に古い黒褐色シルトブロック微量含む なし
P4	5	楕円形	(21)×(17)	13	1	-	黒褐色	シルト	に古い黒褐色ブロック微量含む P39との新旧不明
P5	5	円形	20×19	27	1	-	黒褐色	シルト	に古い黒褐色ブロック微量含む なし
P6	5	不整形	(22)×(17)	20	1	-	黒褐色	シルト	に古い黒褐色ブロック微量含む なし
P7	5	楕円形	(22)×(13)	27	1	-	黒褐色	シルト	に古い黒褐色シルトブロック含む なし
P8	5	楕円形	(24)×(20)	7	1	-	黒褐色	シルト	に古い黒褐色シルトブロック微量含む なし
P9	5	楕円形	(13)×(17)	21	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む P10との新旧不明
P10	5	楕円形	(29)×(22)	34	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む P9を切る
P11	5	楕円形	(22)×(17)	8	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量含む SD44との新旧不明
P12	5	椭丸長方形	(40)×(21)	22	1	-	黒褐色	砂質 シルト	地山ブロック含む なし
P13	3	楕円形	(27)×(19)	13	1	-	暗褐色	砂質 シルト	- なし
P14	5	楕円形	(26)×(19)	16	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量含む なし
P15	5-9	不整形円形	(41)×(26)	40	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む なし
P16	9	方形	(23)×(21)	14	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む SM168を切る P127との新旧不明
P17	10	円形	(22)×(19)	11	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む なし
P18	5	楕円形	(29)×(23)	17	1	-	暗褐色	砂質 シルト	地山ブロック含む なし
P19	9	不整形	(21)×(21)	17	1	-	黒褐色	砂質 シルト	- なし
P20	9	方形	21×21	19	1	10YR3-2/	黒褐色	砂質 シルト	地山ブロック含む なし
				2	10YR4-3	に古い黒褐色	シルト	地山ブロック含む なし	
P21	9	椭丸形	29×29	57	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む なし
P22	9	椭丸長方形	(28)×(24)	21	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む なし
P23	9	不整形	(37)×(29)	13	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック微量含む なし
P24	9	方形	(26)×(24)	17	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む なし
P25	9	円形	(24)×(22)	31	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む SD44を切る
P26	9	円形	(26)×(24)	13	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック、炭化物少量含む SD44との新旧不明
P27	9	椭丸長方形	29×21	20	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む なし
P28	9	不整形円形	(36)×(21)	20	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む なし
P29	9	不整形	(33)×(26)	29	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック、炭化物含む なし
P30	9-14	円形	(25)×(23)	24	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む なし
P31	14	椭丸長方形	(28)×(23)	21	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む なし
				1	10YR3-3	暗褐色	シルト	地山ブロック含む なし	
P32	9	楕円形	(27)×(23)	10	2	10YR5-6	青褐色	砂質 シルト	地山ブロック微量含む、黒褐色土ブロック含む なし
P33	5	円形	(23)×(23)	17	1	10YR3-3	暗褐色	シルト	10YR5-6青褐色砂質シルト微量含む なし
P34	5	楕円形	37×30	22	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む SD42との新旧不明
P35	3	方形	(16)×(16)	6	1	-	暗褐色	砂質 シルト	地山ブロック少量含む なし
P36	3	楕円形	24×18	20	1	-	暗褐色	砂質 シルト	地山ブロック、炭化物微量含む なし
P37	2	楕円形	20×15	10	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む なし

ピット 鋼管筒(2)

造橋名	グリッド	平面形	規格(cm)		幅員	土 色		土 性	備 考	重 量
			長軸×短軸	溝さき						
P38	2	不整形	29×24	37	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック少量含む	なし
P29	2	円形	(19)×(19)	14	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック少量、炭化物微量含む	なし
P41	10	長方形	(22)×(17)	17	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P42	10	長方形	25×21	21	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	なし
P43	10	梅円形	19×14	8	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	なし
P44	10	梅円形	22×17	12	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	なし
P45	10	丸長方形	21×15	20	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	なし
P46	10	方形	18×17	23	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	なし
P47	10	不整方形	30×27	47	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P48	10	梅円形	21×25	34	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	なし
P49	10	長方形	22×19	12	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P50	10	長方形	26×23	17	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量、炭化物微微量含む	なし
P51	10	梅円形	20×21	30	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	P51との新旧不明
P52	10	円形	19×17	18	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量含む	P51との新旧不明
P53	10	円形	(26)×(27)	25	1	-	にぬ・黄褐色	砂質	黒褐色シルトブロック含む	なし
P54	10	方形	(17)×(16)	6	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P55	10	梅円形	26×21	27	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	なし
P56	5-6	円形	50×56	23	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量、炭化物微微量含む	なし
P57	2	方形	(43)×(43)	13	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P58	5	梅円形	45×31	39	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	P114時に切られる
P59	5	円形	(23)×(20)	10	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	SD44を切る
P60	5	不整様円形	(48)×(49)	49	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	SII7 ABを切る
P61	5	梅円形	(18)×(15)	12	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P62	5	梅円形	(30)×(25)	17	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P63	5	円形	(39)×(33)	20	1	-	暗褐色	砂質	地山ブロック含む	なし
P64	3	梅円形	37×(24)	12	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P65	10	梅円形	46×33	24	1	-	にぬ・黄褐色	砂質	黒褐色シルトブロック含む	なし
P66	5	方形	23×23	9	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P67	10	円形	30×19	30	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック、炭化物少量含む	なし
P68	10	不整様円形	31×26	23	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック、炭化物少量含む	なし
P69	10	梅円形	19×17	16	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	P115を切る
P70	10	円形	22×19	7	1	-	にぬ・黄褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P71	10	円形	20×17	8	1	-	にぬ・黄褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P72	10	長方形	29×25	23	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P73	9	梅円形	(27)×(23)	24	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P74	9	不整形	(32)×(28)	16	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック、炭化物少量含む	P969を切る
P75	10	円形	20×20	14	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック	P1057を切る
P76	10-15	円形	43×40	37	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック多量、炭化物多量含む	なし
P77	15	丸長方形	20×18	32	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P78	10	梅円形	(50)×(42)	18	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック微量、炭化物多量含む	なし
P79	5	円形	36×30	15	1	-	にぬ・黄褐色	シルト	地山ブロック微量含む	SD44を切る
P80	10-15	不整方形	25×25	18	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P81	3	円形	15×15	10	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P82	3	円形	17×17	14	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック微量含む	なし
P83	6	梅円形	34×24	43	1	-	暗褐色	シルト	炭化物微量含む	なし
P84	6	梅円形	23×17	17	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	なし
P85	6	円形	31×30	22	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量、炭化物微量含む	なし
P86	6	円形	20×19	2	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック微量含む	なし
P87	6	円形	29×26	24	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	なし
P88	6	梅円形	25×21	16	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	なし
P89	6	円形	35×31	46	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	なし
P90	5	梅円形	(17)×19	13	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	P104に切られる
P91	6	不整様円形	37×30	10	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P92	6	円形	(30)×(27)	21	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック、暗褐色シルトブロック含む	なし
P93	6	梅円形	(21)×(19)	17	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P94	6	円形	19×19	18	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	なし
P95	6	梅円形	41×29	25	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック、黒褐色シルトブロック微量含む	なし
P96	6	円形	35×33	15	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P97	3	円形	27×(36)	20	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック、炭化物微量含む	なし
P98	3	梅円形	23×17	9	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P99	3	梅円形	31×27	38	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P100	3	円形	44×43	20	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P101	10	丸長方形	23×30	4	1	-	にぬ・黄褐色	砂質	暗褐色シルトブロック含む	なし

ピット 調査表(3)

調査名	グループ	平面形	規模(cm)		部位	土色		土性	備考	重複
			長軸×短軸	深さ		上	下			
P102	3	楕円形	(20)×16	15	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック微量含む	SD60との新旧不明
P103	3	円形	20×20	15	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	なし
P104	5	不整地円形	(48)×(29)	31	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	P109を切る
P105	3	楕円形	20×16	9	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P106	6	楕円形	23×18	10	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック微量含む	なし
P107	6	不整地円形	24×19	13	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック微量含む	P108を切る
P108	6	不整地円形	(20)×(19)	15	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック微量含む	P107に切られる
P109	6	円形	24×20	22	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	P143-131を切る
P110	6	楕円形	21×15	33	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック微量含む	P144を切る
P111	6	不整地円形	25×17	9	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック微量含む	P144を切る
P112	6	円形	36×(33)	6	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	P150に切られる
P113	6	不整地円形	(41)×(35)	21	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック少量、炭化物や微量含む	SD60との新旧不明
P114	3	円形	25×23	24	1	-	暗褐色	シルト	黒褐色シルトブロック少量、地山ブロック少量含む	P139を切る
P115	6	楕円形	(26)×(20)	11	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P116	6	楕円形	15×13	9	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	P141を切る
P117	6	楕円形	(29)×(25)	28	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	P141を切る SD49との新旧不明
P118	3	方形	38×36	39	1	-	黒褐色	シルト	にい・黒褐色シルトブロック含む	SD49を切る
P119	6	円形	27×25	11	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量、炭化物や微量含む	SD49との新旧不明
P120	3	楕円形	(23)×(18)	38	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P121	3	円形	21×21	7	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P122	6-10	円形	28×25	30	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量含む	SD94に切られる
P123	7	不整地円形	(20)×(17)	13	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック少量、炭化物少量含む	なし
P124	7	楕円形	(35)×26	32	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック少量含む	なし
P125	3	楕円形	(65)×(50)	23	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック、黒褐色シルトブロック含む	なし
P126	6	楕円形	23×20	24	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック少量、炭化物少量含む	P138を切る
P127	3	円形?	(32)×(28)	20	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P128	7	円形	30×29	13	1	-	暗褐色	シルト	黒褐色シルトブロック微量含む	なし
P129	7	溝丸形	(22)×(22)	21	1	10 YR3-3	暗褐色	シルト	10 YR4-4 黒褐色 貫入シルト微量含む	なし
P130	3	円形	25×25	20	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量含む	なし
P131	7	円形	22×22	24	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量含む	なし
P132	10	円形	22×22	15	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P133	11	方形	21×19	19	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P134	12	円形	(38)×(33)	35	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P135	8	長方形	33×27	27	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック少量、白色粒子少量含む	なし
P136	8	長方形	75×57	40	1	10 YR3-4/4	暗褐色	シルト	10 YR4-4 黑褐色 貫入白色粒子少量含む	P132との新旧不明
P137	12	溝丸長方形	23×20	18	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P138	6	楕円形	(69)×(52)	51	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック、炭化物微量含む	P136に切られる
P139	3	楕円形	(15)×17	12	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量含む	P144に切られる
P141	6	不整地楕円形	94×70	64	1	10 YR3-3	暗褐色	シルト	10 YR4-3にい・黒褐色シルトブロック含む	
					2	10 YR4-4	褐色	シルト	10 YR3-3暗褐色シルトブロック含む	SD49, P112-P116-117に切られる
					3	10 YR3-2	黒褐色	シルト	10 YR3-3暗褐色シルトブロック含む	P117は柱棒の可能性あり
					4	10 YR4-4	褐色	シルト	10 YR3-3暗褐色シルトブロック含む	
P142	17	円形	42×40	25	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P143	6	楕円形	(22)×26	19	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	P151を切る P109に切られる
P144	6	不整地形	42×(37)	33	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	P110-111に切られる
P146	12	円形	(39)×(34)	27	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P147	12	円形?	(24)×(22)	23	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量含む	SD69との新旧不明
P148	22	溝丸長方形	(34)×(30)	16	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量、炭化物微量含む	なし
P149	6	円形	17×17	19	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	なし
P150	6	円形	22×22	18	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	P109-143に切られる
P151	6	楕円形?	(35)×(16)	22	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	P109-143に切られる
P152	12	長方形	23×22	19	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量含む	SIR3を切る
P153	12	長方形	24×20	21	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量含む	SIR3を切る
P154	12	楕円形	23×18	17	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック微量含む	SIR3-107を切る
P155	12	楕円形	24×20	20	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	SIR3-107を切る
P156	8-12	長方形	(34)×(18)	23	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	SIR3を切る
P157	12	溝丸長方形	35×23	13	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量、黒褐色シルトブロック含む	なし
P158	17	溝丸長方形	36×23	30	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P159	17	楕円形	35×26	37	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック少量、炭化物微量含む	なし
P160	17	楕円形	24×15	19	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	なし

ピット 鋼製(4)

造形名	グリッド	平面形	規格(cm)			幅	土 色		土 性	備 考	重 量
			長軸×短軸	深さ			1	2			
P161	17-22	円形	22×20	9	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック含む	なし	
P162	22	不規方形	28×27	37	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック、灰化物含む	P227を切る	
P163	22	円形	20×19	14	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック含む	なし	
P164	17-22	円形	26×26	15	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック、灰化物含む	P226を切る	
P165	17	円形	38×37	5	1	10 YR2/3	黒褐色	シルト	10 YR4/1 暗褐色シルトプロック少量。		
					2	10 YR3/3	暗褐色	シルト	灰化物微量含む。	SD166との接合不明	
					3	10 YR3/4	暗褐色	シルト	10 YR4/1 暗褐色シルトプロック微量含む。		
P166	17	円形	21×20	25	1	-	黒褐色	シルト	-	SM136、SI103ABを切る	
P167	17	円形	17×16	23	1	-	黒褐色	シルト	-	SH103ABを切る	
P168	17	楕円形	20×18	18	1	-	暗褐色	シルト	-	SH103ABを切る	
P169	17	楕円形	27×25	33	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	SH103ABを切る	
P170	17	楕円形	21×16	9	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	SH103ABを切る	
P171	22	円形	26×24	36	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック含む	SH103ABを切る	
P172	22	楕円形	23×19	30	1	-	暗褐色	シルト	黒褐色シルトプロック含む	SBP Aを切る	
P173	16	楕円形	27×19	18	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	P250を切る	
P174	16	楕円形	32×18	19	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	P257を切る	
P175	17	楕円形	25×15	18	1	-	暗褐色	シルト	-	SD103ABを切る	
P176	17	円形	20×19	29	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック微量含む	SH103ABを切る	
P177	16	方形	21×20	20	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	SBP Aを切る	
P178	16	調丸長方形	24×20	34	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし	
P179	16	楕円形	26×20	35	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック、黒褐色シルトプロック含む	P254を切る	
P180	16	楕円形	29×28	25	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック、暗褐色シルトプロック含む	なし	
P181	16	不規方形	20×18	30	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	P228を切る	
P182	16	方形	21×17	26	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック含む	なし	
P183	16	方形	28×(25)	13	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	SD16を切る P249-250に切られる	
P184	16	楕円形	27×24	16	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	P64、SB2を切る	
P185	16	楕円形	31×36	20	1	10 YR2/3	黒褐色	シルト	10 YR4/1 暗褐色シルトプロック含む		
					2	10 YR3/3	暗褐色	シルト	10 YR4/1 暗褐色シルトプロック含む	SB2を切る	
					3	10 YR3/4	暗褐色	シルト	10 YR2/2 黒褐色シルトプロック含む		
P186	16	調丸長方形	43×34	20	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量、暗褐色シルトプロック含む	P268、SI115Aを切る	
P187	16	方形	25×24	19	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量、暗褐色シルトプロック含む	SB2を切る	
P188	16	不規方形	32×31	49	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	SB2-115Aを切る	
P189	16	調丸長方形	30×26	29	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	P253を切る	
P190	16	調丸長方形	24×21	17	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	SB2-115Aを切る	
P191	16	不規方形	20×20	21	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし	
P192	16	楕円形	32×21	37	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし	
P193	16	円形	18×18	12	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	SB2を切る	
P194	16	不規方形	30×29	23	1	10 YR2/2	黒褐色	シルト	10 YR2/2 黒褐色シルトプロック含む		
					2	10 YR3/3	暗褐色	シルト	10 YR3/3 暗褐色シルトプロック含む	SB2-115Aを切る	
					3	10 YR3/4	暗褐色	シルト	10 YR3/4 暗褐色シルトプロック含む		
P195	16	円形	(19)×19	15	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	SD2、SB2-115Aを切る	
P196	16	調丸長方形	18×15	21	1	-	黒褐色	シルト	暗褐色シルトプロック微量含む	SB2-115Aを切る	
P197	16	不規方形	30×24	24	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	SB2-115Aを切る	
P198	16	調丸長方形	27×27	25	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	SB2-115Aを切る	
P199	16	不規方形	32×25	48	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	SB2-115Aを切る	
P200	16	調丸長方形	19×16	29	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	SB2-115Aを切る	
P201	16	楕円形	15×12	19	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック含む	SH15Aを切る	
P202	16	方形	22×19	39	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック含む	SH15Aを切る	
P203	16	楕円形	31×22	36	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック含む	SH15Aを切る	
P204	16	楕円形	19×15	20	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック含む	P231、SB2-115Aを切る	
P205	16	不規方形	27×26	42	1	7.5 YR3/2	黒褐色	シルト	10 YR4/6 暗褐色鉛質シルトプロック少量含む		
					2	7.5 YR3/3	暗褐色	シルト	7.5 YR4/6 暗褐色鉛質シルトプロック、10 YR4/6 暗褐色鉛質シルトプロック、灰化物含む	なし	
P206	16	不規方形	21×20	21	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック含む	なし	
P207	15-16	円形	23×21	53	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック、黒褐色シルトプロック微量含む	SM171を切る	
P208	16	長方形	(28)×(23)	65	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック、黒褐色シルトプロック含む	P260に切られる	
P209	15	円形	(38)×(35)	17	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック微量含む	SD2を切る SD2との接合不明	
P210	15	円形	18×17	11	1	-	黒褐色	シルト	灰褐色シルトプロック含む	SH15Aを切る	
P211	10	楕円形	23×18	12	1	-	黒褐色	シルト	灰褐色シルトプロック含む	SB2を切る	
P212	10	楕円形	25×20	48	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック含む	P129-135に切る	
P213	15	円形	20×24	23	1	-	黒褐色	シルト	灰褐色シルトプロック、灰化物微量含む	SD2-115Aを切る	
P214	15	楕円形	29×20	15	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック含む	SD2-115Aを切る	
P215	16-11	円形	20×20	14	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	SD2-115Aを切る	

ビト 級群(S)

道群名	アリード	平面形	面積(cm)			短辺	土 色	土 性	集 者	重 量
			長軸×短軸	深さ	単位					
P216	36	椭丸長方形	28×21	36	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロックを灘原に含む	SH115Aを切る
P217	36	楕円形	26×23	29	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロックを含む	P1299, SH115 Aを切る
P218	36	椭丸長方形	23×18	38	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック少量含む	P1251, SH115 Aを切る
P219	36	楕円形	22×17	39	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	SH115 Aを切る
P220	36	不整形	29×20	19	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	S099を切る
P221	36	円形	24×23	19	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量含む	SH115 Aを切る
P222	36	方形	17×17	22	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック、黒褐色シルトブロック含む	S092を切る P247の新旧不明
P223	7	楕円形	20×14	11	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P224	36	楕円形	22×19	36	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	なし
P225	36	円形	14×14	13	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P226	22	楕円形	(21)×(16)	45	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック、黒褐色シルトブロック少量含む	P164に切られる
P227	22	不明	(32)×(25)	38	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック、炭化物微量含む	P162に切られる
P228	36	不明	20×	32	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック、炭化物粒含む	P168に切れる P181に切られる
P229	36	方形	25×23	48	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量含む	S092を切る
P230	36	楕円形	20×15	26	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック少量含む	なし
P231	36	楕円形?	(32)×(29)	29	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	S092-115 Aを切る P241に切られる
P232	36	方形	23×21	23	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	P252を切る
P234	16-21	楕円形	22×18	19	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック微量含む	なし
P235	21	楕円形	18×15	14	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量、炭化物微量含む	なし
P236	21	椭丸形	19×17	14	1	-	暗褐色	シルト	黒褐色シルトブロック含む	なし
P237	21	楕円形	22×18	14	1	-	暗褐色	シルト	灰褐色色シルトブロック含む	なし
P238	21	楕円形	20×14	13	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P239	16	楕円形	(20)×(16)	44	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック、黒褐色シルトブロック少量含む	SD42, SH2-115 Aを切る
P242	21	円形	28×25	18	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量、炭化物微量含む	なし
P243	21	円形	22×19	12	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量、炭化物微量含む	なし
P244	21	楕円形	23×20	17	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量、炭化物微量含む	なし
P245	21	楕円形	20×16	14	1	-	暗褐色	シルト	黒褐色シルトブロック含む	なし
P246	30	椭丸長方形	26×20	74	1	-	黒褐色	シルト	明黄褐色色質シルトブロック含む	なし
P247	16	不整形	15×11	15	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	S092を切る P222の新旧不明
P249	16	椭丸長方形	15×13	30	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	P183, S092を切る
P250	16	楕円形	(23)×(21)	19	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	P173に切られる
P251	16	不要形	(20)×17	40	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量含む	P267, SH115 Aを切る P281に切られる
P252	16-21	不整形	27×(17)	23	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	P292に切られる
P253	16	方形?	20×(14)	22	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	P189, S092に切られる
P254	16	楕円形	27×(20)	6	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック、黒褐色シルトブロック少量含む	P255を切る P179に切られる
P255	16	不明	29×	36	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量含む	P256を切る P241に切られる
P256	16	方形?	25×(16)	31	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量含む	P255に切られる
P257	16	楕円形	43×23	22	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量含む	P174に切られる
P258	16	楕円形	(19)×21	23	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	P228に切られる
P259	16	椭丸形	12×8	27	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量含む	P183, S092に切れる
P260	16	長方形	(24)×(18)	56	1	-	暗褐色	シルト	明黄褐色色質シルトブロック含む	SD42, SH115 ABを切る P208に切られる
P261	21	椭丸長方形	20×16	11	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P262	21	不整形	24×24	19	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック、暗褐色シルトブロック含む	なし
P264	21	楕円形	23×19	25	1	-	暗褐色	シルト	黒褐色シルトブロック含む	なし
P265	21	円形	18×15	18	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量、炭化物粒含む	なし
P266	21	方形	19×19	12	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量含む	なし
P267	16	円形	(24)×(24)	36	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	P251に切られる SH115 Aを切る
P268	16	不明	(31)×(30)	31	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	P277, SH115 Aを切る P186に切られる
P269	21	楕円形	(23)×19	10	1	-	褐色	シルト	黒褐色シルトブロック含む	SM176を切る
P270	21	円形	19×19	17	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P271	21	椭丸長方形	27×23	20	1	-	暗褐色	シルト	黒褐色シルトブロック含む	S099を切る
P273	21	楕円形	34×23	26	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	SH31を切る
P274	16	楕円形	(22)×(19)	28	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量含む	SD42, SM166, SH2-115 Aを切る
P275	21	楕円形	33×20	22	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック微量含む	S099を切る
P276	22	楕円形	25×17	6	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック、黒褐色シルトブロック含む	なし
P277	16	不整形	(29)×(29)	1	10 YR2-2	1	黒褐色	シルト	10 YR4-4褐色シルトブロック微量含む	P277, SH115 Aを切る
				2	10 YR2-2	1	黒褐色	シルト	10 YR4-4褐色シルトブロック含む	P186に切れる
				3	10 YR2-3	1	暗褐色	シルト	10 YR4-2褐色シルトブロック。	P268に切れる

ピット 鮎野美(6)

登録名	グリーフ	平面形	範囲(cm)		対応	土 色	土 性	備 考	重 観
			長軸×短軸	深さ					
P278	22	円形	19×19	12	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック少量含む SDH31を切る
P279	22	楕円形	26×22	28	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック含む なし
P280	22	楕円形	24×21	22	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック含む 炭化物微量含む SDH7Bを切る
P281	22	楕円形	25×30	11	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック少量含む SDH33Aを切る
P282	22	円形	40×38	27	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック、死物粒含む SDH7Bを切る
P283	22	楕円形	29×25	37	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック含む P289、SDH7Bを切る
P284	22	不整形	50×43	16	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック含む 炭化物微量含む なし
P285	22	円形	23×21	22	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック少量含む SMI13L、SDH7Bを切る
P286	22	楕円形	28×26	14	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック含む SDH7Bを切る
P287	22	円形	23×23	9	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック含む SDH7Bを切る
P288	22	楕円形	22×18	23	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック少量含む なし
P289	22	楕丸形方	27×17	26	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック、炭化物微量含む P368を切る
P290	22-27	円形	(30)×(35)	46	1	-	暗褐色	シルト	炭化物微量含む SDH3-64を切る
P291	22	円形	25×23	17	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック少量含む SDH7Bを切る
P292	22	楕円形	29×23	11	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック少量含む P1363を切る
P293	22	楕丸形方	29×28	26	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック少量含む なし
P294	22-23	不整形	27×24	11	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック少量含む なし
P295	23	楕円形	30×24	27	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック、灰褐色シルトプロック、 黒褐色シルトプロック含む
P296	23	不整形	25×23	12	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック含む SD63を切る
P297	23	楕円形	16×14	8	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック、炭化物微量含む なし
P298	21	不明	(20)×(14)	26	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック含む なし
P299	22	円形	(30)×(32)	42	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック、灰褐色シルトプロック含む SD65を切る
P300	22	不整形	24×22	28	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック含む P307を切る
P305	22	楕円形	26×20	10	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック含む SM177を切る
P306	21	楕丸形方	24×22	21	1	-	暗褐色	シルト	黒褐色シルトプロック含む なし
P307	22	不整形	(34)×(27)	29	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック含む P368を切る P360に切られる
P308	22	楕丸形方?	25×(23)	32	1	10 YR3/4	暗褐色	シルト	10 YR2-3/2 黒褐色シルトプロック含む P289に切られる
P309	22	不明	(17)×(11)	10	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック少量含む SDH7Bを切る P203に切られる
P310	22-23	円形	11×11	4	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック含む なし
P311	14	楕円形	24×15	9	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック含む なし
P312	14	不整形	33×32	21	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック含む なし
P313	14	楕丸形方	34×27	19	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック含む なし
P314	14	楕円形	(38)×(33)	20	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック少量含む SD67を切る
P315	14	楕丸形方	(45)×(32)	7	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック少量含む なし
P316	14	楕丸形方	28×28	30	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック少量含む P1237、SD67を切る
P317	14	楕円形	(24)×(19)	18	1	-	黒褐色	シルト	灰褐色シルトプロック含む なし
P318	14	楕円形	(31)×(20)	25	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック含む なし
P319	14	円形	(31)×(27)	30	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック含む なし
P320	14	楕丸形方	(34)×(30)	16	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック少量含む P365を切る
P321	14	円形	(24)×(22)	14	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック含む P364を切る
P322	14	円形	(20)×(23)	31	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック、灰褐色シルトプロック含む なし
P323	14	楕円形	(23)×(18)	7	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック、黒褐色シルトプロック含む なし
P324	14	円形	(15)×(15)	17	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック含む なし
P325	14-15	楕円形	(32)×(25)	32	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック含む なし
P326	15	円形	19×18	15	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック含む なし
P327	15	円形	(22)×(20)	8	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック含む なし
P328	14-19	楕丸形方	(17)×(13)	19	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック少量含む なし
P329	14	楕円形	(29)×(16)	16	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック含む なし
P330	14	楕丸形方	(25)×(19)	26	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック含む P1238を切る
P331	20	楕円形	(25)×(19)	23	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック含む なし
P332	15	楕丸形方	(30)×(25)	47	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック少量含む SD109を切る
P333	15	楕円形	19×15	25	1	-	黒褐色	シルト	炭化物微量含む なし
P334	15	楕丸形方	27×21	26	1	-	黒褐色	シルト	灰褐色シルト少量含む SD109を切る
P335	15	楕円形	31×30	15	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック少量含む なし
P336	15	楕丸形方	23×18	26	1	-	暗褐色	シルト	灰褐色シルト少量含む SD109を切る
P337	15	円形	25×24	29	1	-	黒褐色	シルト	灰褐色シルト微量含む、炭化物微量含む なし
P338	15	円形	31×31	不明	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック少量含む、L-ベルなし P367を切る
P339	15	円形	26×24	14	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック少量含む なし
P340	15	楕丸形方	17×17	14	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック含む なし
P341	15	円形	18×16	27	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック少量含む なし
P342	10-15	楕円形	23×17	14	1	-	暗褐色	シルト	黒褐色シルトプロック微量含む なし
P343	10	不整形楕円形	32×30	12	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック少量含む なし

ビーチ 納入品(7)

道県名	アリード	平面形	面積(cm ²) 長軸×短軸 (45)×(29)	規格 31	土 色	土 性	集 堆		重 量
							シルト	10YR4-6 黒褐色シルトブロック含む 10YR4-4 黄褐色シルトブロック含む	
P344	15	満丸長方形	(45)×(29)	31	1 -	黒褐色	シルト	10YR4-6 黒褐色シルトブロック含む 10YR4-4 黄褐色シルトブロック含む	なし
P345	10	楕円形	(31)×(26)	31	1 -	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P346	10	楕円形	(29)×(24)	39	1 -	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P347	10	円形	(22)×(21)	22	1 -	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P348	10	楕円形	(22)×(16)	28	1 -	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	P455を切る
P349	10	不整形	(24)×(23)	22	1 -	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	P455を切る
P350	10	楕円形	(21)×(15)	23	1 -	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P351	15	円形	27×25	24	1 -	黒褐色	シルト	地山ブロック、炭化物粒微量含む	S109を切る
P352	15	不整形	(31)×(30)	32	1 -	黒褐色	シルト	地山ブロック、炭化物粒少量含む	S109を切る SD42との重ね不明
P353	19	楕円形	(34)×(26)	17	1 -	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	S109を切る
P354	19	楕円形	20×17	20	1 -	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	S109を切る
P355	24	楕円形	(28)×(24)	15	1 -	黒褐色	シルト	10YR2-3 黑褐色シルトブロック少量含む 10YR4-4 黄褐色シルトブロック微量含む 炭化物粒微量含む	S101を切る
P356	24	円形	(23)×(21)	12	1 -	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	S101を切る
P357	24	不整形	(32)×(30)	31	1 -	黒褐色	シルト	地山ブロック少量含む	S101を切る
P358	24	不整形	(27)×(23)	23	1 -	10YR3-2 黑褐色	シルト	10YR3-2 黑褐色シルトブロック微量含む	S101を切る
P359	24	不整形	(27)×(23)	23	2 -	10YR3-3 黑褐色	シルト	10YR4-4 黄褐色シルトブロック微量含む	S101を切る
P360	24	満丸形	(18)×(16)	10	1 -	褐灰色	シルト	地山ブロック含む	S101を切る
P361	24	不整形	(25)×(25)	22	1 -	黒褐色	シルト	10YR3-4 黑褐色	S101を切る
P362	24	楕円形	20×16	25	1 -	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	S121を切る
P363	19	楕円形	23×16	18	1 -	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	S101-121を切る
P364	20	楕円形	(25)×(21)	39	1 -	褐灰色	シルト	粘土質 黒褐色土質シルトブロック少量含む	なし
P365	19	楕円形	(25)×(17)	14	1 -	黒褐色	シルト	地山ブロック少量含む	S100-121を切る
P367	19	円形	19×18	12	1 -	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	S121を切る
P368	19	楕円形	21×19	10	1 -	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	S121を切る
P369	19	不整形	25×24	25	1 -	褐灰色	シルト	地山ブロック少量含む	S121を切る
P370	20	円形	(21)×(19)	9	1 -	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	S121を切る
P371	20	楕円形	(24)×(15)	22	1 -	黒褐色	シルト	褐褐色色シルト微量含む	S106-121を切る
P372	20	楕円形	24×20	16	1 -	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	S106を切る
P373	20	円形	25×25	24	1 -	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	S106を切る
P374	20	円形	24×22	11	1 -	黒褐色	シルト	-	S106を切る
P375	20	楕円形	25×18	19	1 -	黒褐色	シルト	-	S106を切る
P376	20	楕円形	37×25	33	1 -	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P377	20	円形	25×24	13	1 -	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P378	20	楕円形	27×21	38	1 -	黒褐色	シルト	粘土質 黒褐色土質シルトブロック含む	なし
P379	20	円形	(25)×(22)	28	1 -	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	S100-121を切る
P380	20	満丸形	19×16	14	1 -	黒褐色	シルト	地山ブロック、黒褐色シルトブロック含む	なし
P381	20	楕円形	25×20	9	1 -	黒褐色	シルト	地山ブロック、炭化物粒微量含む	S09-1106を切る
P382	20	満丸形	23×19	8	1 -	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P383	20	円形	18×17	28	1 -	黒褐色	シルト	地山ブロック、炭化物粒含む	S106を切る
P384	14	楕円形	(25)×(28)	15	1 -	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	P211に切られる
P385	14	満丸長方形	(24)×(19)	9	1 -	黒褐色	シルト	地山ブロック、褐灰色シルトブロック含む	P201に切られる
P386	20	円形	(29)×(29)	27	1 -	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	S121を切る
P387	20	円形	25×24	12	1 -	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	S106を見出し
P388	5	円形	23×23	24	1 -	黒褐色	シルト	地山ブロック、炭化物粒含む	なし
P389	5	楕円形	21×18	12	1 -	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	SD42との重ね不明
P390	5	円形	20×20	29	1 -	黒褐色	シルト	地山ブロック少量含む	P47を切る SD42との重ね不明
P391	5	楕円形	21×17	30	1 -	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	S109を見出し
P392	5	円形	22×19	10	1 -	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	SD42との重ね不明
P393	5	方形	17×15	18	1 -	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	SD42との重ね不明
P394	5	長方形	17×13	6	1 -	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	SD42との重ね不明
P395	5	円形	(33)×(28)	17	1 -	黒褐色	シルト	地山ブロック少量含む	S44を見る
P397	15	楕円形	(19)×(26)	27	1 -	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	P338に切られる
P398	5	円形	27×25	33	1 -	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	P1243を切る SD42との重ね不明
P399	5	楕円形	(33)×(20)	4	1 -	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	P4に切られる
P403	10	円形	27×26	14	1 -	にごい黄色	シルト	地山ブロック含む	なし
P404	10	不整形	(27)×(27)	20	1 -	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	なし

ピット 調査表(3)

追跡番号	グリッド	平面形	範囲(cm)		層位	土 色		土 性	備 考	重 級
			長軸×短軸	深さ						
P405	6	楕円形	21×17	13	1	-	黄褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P406	6	円形	20×17	9	1	-	に近い黄褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P407	3	椭丸方形	(45)×(45)	21	1	-	褐灰色	砂質 シルト	約10mm程の砂質乳白色土と鉄分を互層に含む	なし
					2	10 YR3-3	暗褐色	砂質 シルト	-	
					3	10 YR4-4	褐色	砂質 シルト	-	
P408	2	円形	50×44	26	1	10 YR3-3	暗褐色	粘土質 シルト	炭化物鉱(径2~3mm)、後土粒微量含む	P1124, SD44を切る
					2	10 YR3-4	暗褐色	-	炭化物鉱(径2~10mm)、後土粒微量含む	
P409	10	円形	28×26	41	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック少量含む	P1104を切る P1105に切られる
P410	10	不規	26×(36)	11	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	P1107を切る P433に切られる
P411	10	楕円形	(27)×(20)	19	1	-	暗褐色	シルト	周囲シルトブロック含む	SD8を切る
P412	6	楕円形	64×49	42	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック少量含む	SD89との新旧不明
P414	10	楕円形	(26)×(20)	9	1	-	暗褐色	シルト	褐褐色シルトブロック含む	SD90を切る
P415	25	方形	36×24	33	1	5 YR5-6	明赤褐色	シルト	10 YR3-4(暗褐色シルトブロック) 10 YR4-4(暗褐色鉱質ブロック)含む、後土解	なし
					2	10 YR3-2	黒褐色	シルト	10 YR3-4(暗褐色シルトブロック) 10 YR4-4(暗褐色鉱質ブロック)含む	
P416	24	円形	(33)×(32)	36	1	-	暗褐色	砂質 シルト	地山ブロック食む	P460を切る
P417	24	円形	(20)×(16)	13	1	-	黑褐色	シルト	地山ブロック少量含む	SD101を切る
P418	24/29	椭丸方形	(26)×(23)	25	1	-	黑褐色	シルト	地山ブロック少量含む	なし
P419	24	椭丸方形	(32)×(21)	31	1	-	黑褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P420	24	円形	(29)×(29)	19	1	-	黑褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P421	25	円形	(24)×(23)	21	1	-	黑褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P422	25	椭丸方形	(30)×(27)	31	1	-	黑褐色	シルト	地山ブロック少量含む	SD60との新旧不明
P423	25	楕円形	(32)×(25)	35	1	10 YR3-3	暗褐色	シルト	10 YR3-4(暗褐色シルトブロック)少量含む	なし
					2	10 YR3-4	暗褐色	シルト	10 YR4-4(暗褐色鉱質シルトブロック)含む	
P424	25	円形	(18)×(17)	16	1	-	黑褐色	シルト	-	SM121, SD60との新旧不明
P425	25	円形	43×40	51	1	-	黑褐色	シルト	地山ブロック含む	P469-453-461を切る
P426	25	円形	33×24	12	1	-	黑褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P427	6	円形	(29)×(26)	13	1	-	黑褐色	シルト	地山ブロック少量含む	P434-435を切る
P428	25	円形	34×22	29	1	10 YR3-4	暗褐色	シルト	10 YR4-4(暗褐色色)を斑状に含む	なし
					2	10 YR4-4	褐色	シルト	10 YR3-4(暗褐色色)シルトブロック少量含む	
P429	25	椭丸方形	25×21	24	1	-	黑褐色	砂質 シルト	地山ブロック含む	なし
P430	25	円形	(19)×(19)	12	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P431	25	円形	(21)×(20)	34	1	-	黑褐色	シルト	地山ブロック含む	SD60との新旧不明
P432	25	円形	(26)×(22)	9	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P433	10	椭丸方形	26×23	19	1	-	に近い黄褐色	シルト	地山ブロック少量含む	P419-1107を切る
P434	6	楕円形	(17)×(17)	11	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック少量含む	P435を切る P427に切られる
P435	6	円形?	(16)×(16)	6	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	P434-47に切られる
P436	10	楕円形	(30)×(20)	26	1	-	黑褐色	シルト	地山ブロック少量含む	SD2/2との新旧不明
P437	26	楕円形	40×32	22	1	-	黑褐色	シルト	地山ブロック含む	SS8を切る
P439	26	楕円形	25×23	39	1	-	黑褐色	シルト	地山ブロック含む	P462, SH32を切る
P440	26	椭丸方形	40×36	20	1	10 YR3-2	黑褐色	シルト	-	なし
					2	10 YR3-3	暗褐色	シルト	-	
P441	26	不整円形	36×36	41	1	-	黑褐色	シルト	地山ブロック含む	P463を切る
P442	26	楕円形	28×23	13	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P443	26	円形	24×23	15	1	-	黑褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P444	26	椭丸方形	21×23	11	1	-	黑褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P445	26	不整円形?	37×29	41	1	-	暗褐色	シルト	黑褐色シルトブロック含む	なし
P449	25	椭丸方形	29×23	12	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック少量含む	なし
P450	25	円形	(27)×(22)	16	1	5 YR4-6	明赤褐色	シルト	10 YR3-2(黒褐色シルトブロック)含む、後土解	なし
					2	10 YR3-3	暗褐色	シルト	後土粒含む	
					3	10 YR3-2	黑褐色	シルト	黒褐色シルトブロック少量含む	
P451	4	楕円形	(21)×(18)	8	1	-	に近い黄褐色	シルト	地山ブロック少量含む	SD60との新旧不明
P452	24	楕円形	(20)×(16)	16	1	-	黑褐色	シルト	地山ブロック少量含む	なし
P453	25	楕円形	(27)×(19)	39	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	P469-461を切る P427に切られる
P454	10-15	楕円形	(34)×(29)	27	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック少量含む	SD42との新旧不明
P455	10	楕円形?	(31)×(29)	21	1	-	黑褐色	シルト	地山ブロック微量含む	P368-349に切られる
P456	25	椭丸方形	27×27	63	1	10 YR3-3	暗褐色	シルト	後土粒含む	なし
					2	10 YR3-2	黒褐色	シルト	10 YR4-4(暗褐色色)シルトブロック含む	

ピット 調査表(Ⅳ)

調査名	グリッド	平面形	規模(cm)		解説	土 色		土 性	備 考	重 観
			長軸×短軸	深さ		1	10 YR3-3 嘘褐色	シルト		
P457	25	円形	30×27	20	10 YR4-6 嘘褐色 砂質 シルト	2	10 YR4-6 嘘褐色	シルト	炭化物、燒土塊微量含む 砂質 シルト	なし
						3	10 YR3-3 嘘褐色		10 YR4-4 嘘褐色シルト、性状微量含む 砂質 シルト	
						-	黒褐色		地山剥離シルトブロック微量、 燒土塊、炭化物含む 砂質 シルト	SII32を切る
P458	26	円形	28×27	28	1	-	黒褐色	シルト	地山剥離シルトブロック微量、 燒土塊、炭化物含む 砂質 シルト	P458を切る
P459	25	不明	(31)×(18)	10	1	-	黒褐色	シルト	黒褐色シルトブロック微量含む 砂質 シルト	P459-P458に切られる
P460	24	楕円形	(13)×22	13	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む 砂質 シルト	P461に切られる
P461	25	不明	(20)×	32	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む 砂質 シルト	P425-P433に切られる
P462	26	楕円形	34×(14)	15	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む 砂質 シルト	P459に切られる
P463	26	方形容	28×(16)	13	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む 砂質 シルト	P441に切られる
P464	2	楕円形	(23)×(17)	12	-	-	-	-	3区側溝全区外焼瓦下から検出 なし	SII32を切る
P465	2	方形容	49×43	40	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック、炭化物多量含む 砂質 シルト	SII6を切る
P466	25	円形	15×15	47	1	-	黒褐色	シルト	-	なし
P469	25	円形	25×23	65	10 YR3-3 嘘褐色 10 YR3-2 黒褐色	1	10 YR3-3 嘘褐色	シルト	10 YR4-2 黄褐色シルトブロック、 燒土塊微量含む 砂質 シルト	なし
						2	10 YR3-2 黒褐色		10 YR4-4 嘘褐色シルトブロック、 炭化物、燒土塊微量含む 砂質 シルト	
P470	2	楕円形	(52)×(42)	38	-	-	-	-	3AD側溝全区外焼瓦下から検出 なし	SII44を切る
P471	2	円形	(32)×(30)	12	-	-	-	-	3AD側溝全区外焼瓦下から検出 なし	SII44を切る
P472	9	楕円形	(32)×(16)	28	1	-	黒色	シルト	地山ブロック含む 砂質 シルト	P473に切れる
P473	5	不整地円形	(22)×(16)	32	1	-	黒色	シルト	炭化物微量含む 砂質 シルト	P390に切られる SD2との断面不明
P474	16	円形	18×17	18	1	-	黒褐色	シルト	-	SII8を切る
P475	16	円形	(18)×(18)	12	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む 砂質 シルト	SD42を切る
P476	21	楕円形	28×21	13	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量含む 砂質 シルト	なし
P477	16	円形	28×27	16	1	-	黒褐色	シルト	-	SII2を切る P347に切られる
P478	11	不整形	36×31	24	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む 砂質 シルト	なし
P479	11	方形容	33×31	15	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む 砂質 シルト	なし
P480	11	楕円形	35×32	26	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む 砂質 シルト	SII17を切る
P481	7	楕円形	34×19	14	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む 砂質 シルト	なし
P482	7	円形	22×19	17	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む 砂質 シルト	P406を切る
P483	7	不整形方形容	30×28	34	1	-	黒褐色	シルト	-	P129Bを切る
P484	11	円形	34×32	19	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む 砂質 シルト	SII17を切る
P485	16	楕円形	23×13	20	1	-	黒褐色	シルト	-	SII9を切る
P486	7	不整形	43×39	20	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む 砂質 シルト	なし
P487	26	楕円形	32×27	38	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む 砂質 シルト	SMI28, P568, SII9を切る
P488	26	楕円形	28×16	6	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む 砂質 シルト	なし
P489	26	円形	13×12	15	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む 砂質 シルト	なし
P490	26	円形	22×20	23	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む 砂質 シルト	なし
P491	26	円形	42×30	40	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む 砂質 シルト	なし
P492	26	楕円形	30×23	28	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量含む 砂質 シルト	なし
P493	26	椭丸方形容	25×24	25	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む 砂質 シルト	なし
P494	6	円形	22×21	11	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量含む 砂質 シルト	なし
P495	26	円形	18×18	24	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む 砂質 シルト	SMI42を切る
P496	21-26	楕円形	31×25	23	10 YR3-3 嘘褐色 10 YR3-4 嘘褐色	1	10 YR3-3 嘘褐色	シルト	10 YR4-4 嘘褐色シルトブロック少量含む 10 YR2-2 嘘褐色シルトブロック微量含む 10 YR4-4 嘘褐色シルトブロック少量含む	なし
						2	10 YR3-4 嘘褐色		-	
P497	10	楕円形	49×21	8	1	-	黒褐色	シルト	-	SII17を切る
P498	26	椭丸方形容	23×22	23	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む 砂質 シルト	なし
P499	26	方形容	25×25	22	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む 砂質 シルト	なし
P500	26	円形	16×16	11	1	-	黒褐色	シルト	-	なし
P501	19	円形	19×18	10	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む 砂質 シルト	なし
P502	26	楕円形	23×17	9	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む 砂質 シルト	P509を切る
P503	26	円形	25×25	13	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む 砂質 シルト	P509, SII31を切る
P504	26	円形	21×21	16	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む 砂質 シルト	SII30との断面不明
P505	26	方形容	24×18	23	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む 砂質 シルト	SII30との断面不明
P506	26	不整地円形	34×28	35	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック極少量含む 砂質 シルト	P566を切る SE56との断面不明
P507	26-27	楕円形	31×23	16	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む 砂質 シルト	SII38との断面不明
P508	26-27	不整形	27×23	21	1	-	黒褐色	シルト	-	SII38を切る
P509	30	楕円形	18×13	7	1	-	黒褐色	シルト	-	SII30-17を切る
P510	26-27	椭丸方形容	(18)×17	16	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む 砂質 シルト	P560に切られる
P511	3	楕円形	(50)×(45)	15	1	-	-	-	-	SII45に切られる
P512	27	円形	19×18	13	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む 砂質 シルト	なし
P513	27	円形	19×19	12	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む 砂質 シルト	なし

ピット 鮮葉表30

置標名	グリーフ	平面形	面積(cm)		留位	土 色		土 性	備 考	重 観
			長軸×短軸	深さ						
P514	27	楕円形	29×33	29	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック含む	なし
P515	27	方形	21×23	13	1	-	暗褐色	シルト	黒褐色シルトプロック少量含む	なし
P516	27	不規形	19×19	19	1	-	黒褐色	シルト	-	SII31を切る
P517	27	楕円形	28×30	24	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック含む	SII32を切る
P518	27	円形	23×21	16	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック含む	なし
P519	27	円形	17×15	10	1	-	褐色	シルト	黒褐色シルトプロック少量含む	なし
P520	26	楕丸形	30×28	31	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック含む	P548を切る
P521	21	楕円形	(28)×(21)	20	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック少量含む	SDM2、P528を切ら P133+133Sに切られる
P522	27	円形	35×34	18	1	10 YR3-3	暗褐色	シルト	10 YR4-2黒褐色シルトプロック含む	なし
					2	10 YR3-3	暗褐色	シルト	10 YR4-4褐色シルトプロック微量含む	
P523	22	楕円形	32×21	15	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック含む	なし
P524	7	長方形	38×33	39	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P525	6-10	楕丸形	(21)×(19)	6	1	-	暗褐色	シルト	-	なし
P526	6	円形	21×19	5	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P527	26	円形	35×22	14	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック含む	P549を切る SD68との新旧不明
P528	16-21	楕円形	49×37	45	1	10 YR3-2	黒褐色	砂質 シルト	10 YR4-2褐色シルトプロック微量含む	
					2	10 YR4-4	褐色	砂質 シルト	10 YR3-2黒褐色シルトプロック含む	P521に切られる
					3	10 YR4-4	褐色	砂質 シルト	5Y7-1灰白色含む	
					4	10 YR4-4	褐色	砂質 シルト	-	
					5	-	-	-	-	
P529	2	不整円形	27×25	24	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P531	27	円形	27×26	21	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P532	27	楕円形	32×22	11	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P533	27	円形	16×16	9	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P534	27	円形	21×21	24	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック微量含む	SD4を切る
P535	2	楕円形	58×48	16	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	P1122を切る
P536	2	円形	17×17	24	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P537	27	楕円形	20×23	24	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック微量含む	SD6を切る
P538	27	不整円形	21×20	13	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P539	27	不整円形	35×33	26	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P540	27	楕丸形	26×25	23	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P541	27	楕円形	26×23	15	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P542	27	楕円形	35×33	13	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P543	27	楕円形	30×24	27	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック微量含む	P544を切る
P544	27	楕円形	23×21	16	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック微量含む	SD66を切る
P545	27	円形	21×20	15	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P546	27	楕円形	32×26	20	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P548	26	楕円形?	17×16	31	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック含む	P530に切られる
P549	26	楕円形	35×26	21	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック含む	P527のUから SD68との新旧不明
P550	28	円形	(25)×23	15	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック含む	SM13H、SD66を切る
P551	28	楕円形	25×19	27	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック含む	なし
P552	28	楕円形	24×18	4	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック含む	なし
P553	28	不整形	21×20	25	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック含む	P581、SD66を切る
P554	28	円形	18×17	12	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック含む	P582を切る
P555	27-28	円形	30×30	26	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック微量含む 黒褐色シルトプロック微量含む	なし
P556	27-28	楕丸良形	47×32	38	1	10 YR2-3	黒褐色	シルト	10 YR3-2暗褐色シルトプロック含む 10 YR4-4褐色シルトプロック少量含む	
					2	10 YR3-2	黒褐色	シルト	10 YR3-3暗褐色シルトプロック少量含む	SMLDを切る
					3	10 YR3-4	暗褐色	シルト	10 YR4-4褐色シルトプロック少量含む 7.5Y3K-3暗褐色シルトプロック少量含む	
P557	28	楕円形	25×20	18	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック含む	SM13D、P583を切る
P558	27	楕円形	17×13	21	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック含む	なし
P559	26	不整円形	39×32	27	1	10 YR3-3	暗褐色	シルト	-	なし
					2	10 YR3-2	黒褐色	シルト	-	
					3	10 YR4-3	13YV-4黄褐色	シルト	10 YR4-4褐色シルトプロック微量含む	
P560	27	楕円形	35×23	27	1	10 YR3-2	黒褐色	シルト	10 YR4-4褐色シルトプロック少量含む	P580を切る
P561	26	不整方形	(28)×(25)	60	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	SD42を切る
P562	27	楕円形	40×31	24	1	10 YR2-3	黒褐色	シルト	10 YR4-4褐色シルトプロック少量含む	
					2	10 YR3-4	暗褐色	シルト	褐色シルトプロック含む	
					3	10 YR3-3	暗褐色	シルト	褐色シルトプロック含む	
					4	10 YR3-4	暗褐色	シルト	褐褐色シルトプロック微量含む	
					5	10 YR4-4	褐色	シルト	褐褐色シルトプロック少量含む	

ピット 調査表2

道耕名	アワード	平面形	面積(cm)			部位	土色		土性	備考	重複	
			長軸×短軸	深さ	面積		土色	土性				
P563	27	円形	29×26	18	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック少量含む	なし		
P564	22-27	円形	25×25	25	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック微量含む	なし		
P565	28	楕円形	21×18	11	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	なし		
P566	26	不明	(21)×(23)	34	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	P506に切られる SD303との重複不明		
P567	27	楕円形	22×18	11	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	なし		
P568	26	不明	(35)×(35)	30	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	SM12を切る P487に切られる		
P569	26	楕円形	75×63	13	1	10YR3-3	暗褐色	シルト	10YR4-3に似る 黒褐色シルトブロック微量、 炭化物含む	S131を切る		
					2	10YR5-3	に似る 暗褐色	シルト	10YR3-2黒褐色シルトブロック含む	P502-P503に切られる		
					3	10YR4-4	褐色	シルト	-	SD56との重複不明		
P571	22	擴丸方形	19×13	15	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック微量含む	SD97 A-HB ABを切る		
P572	22	楕円形	22×15	31	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	SD103を切る		
P573	27	不整圓形	21×18	23	1	-	褐色	シルト	砂質	黒褐色シルトブロック含む	SD56との重複不明	
P574	26	円形	31×28	23	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	P1430, S131を切る SD42との重複不明		
P575	27	不整圓形	31×24	18	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量含む	なし		
P576	27	方形	19×17	13	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	なし		
P577	23	楕円形	25×23	14	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	なし		
P578	27	円形	27×24	24	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量含む	なし		
P579	27	楕円形	24×20	19	1	-	暗褐色	シルト	黒褐色シルトブロック少量含む	SM12を切る		
P580	28	楕円形	23×19	34	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量含む	SD96を切る		
P581	28	円形	(17)×(15)	26	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	P531に切られる		
P582	28	楕円形	(17)×18	17	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	P584に切られる		
P583	28	楕円形	(11)×(17)	25	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	SM13を切る P587に切られる		
P584	27	円形?	(31)×(14)	18	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	P541に切られる SD64との重複不明		
P585	26	楕円形	21×18	6	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	SD99 No1を切る SD42との重複不明		
P587	31	楕円形	21×16	15	1	-	黒褐色	シルト	暗褐色シルトブロック少量含む	SM12K, SI100-122を切る		
P588	31	不整圓形	17×16	6	1	-	黒褐色	シルト	暗褐色シルトブロック少量含む	SI100-122-128を切る		
P589	31	円形	23×22	11	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量含む	P712, SD22を切る SD42との重複不明		
P590	36	楕円形	22×16	12	1	-	黒褐色	シルト	地山砂質シルトブロック微量含む	なし		
P591	21-36	円形	27×25	17	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	なし		
P592	31	擴丸方形	23×22	16	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	なし		
P593	31	円形	18×17	14	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック微量含む	P715, SD10を切る		
P594	31	楕円形	20×15	10	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロックを網状に含む	SD88を切る		
P595	31	楕円形	49×40	46	1	10YR3-2	黒褐色	シルト	10YR2-3に似る 暗褐色シルトブロック、 炭化物含む	なし		
					2	10YR3-3	暗褐色	シルト	黒褐色シルトブロック含む	なし		
P596	31	楕円形	20×17	21	1	-	黒褐色	シルト	暗褐色シルトブロック含む	なし		
P597	31	不整圓形	31×24	33	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量含む	なし		
P598	31	円形	28×27	23	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	SI104を切る		
P599	31	円形	27×27	24	1	-	黒褐色	シルト	暗褐色シルトブロック含む	SI104, SI203を切る		
P600	31	円形	27×27	9	1	-	黒褐色	シルト	暗褐色シルトブロック含む	SI104, P1305を切る		
P601	4	楕円形	(44)×37	39	1	10YR2-1	黒色	シルト	炭化物、地・粒状含む			
					2	10YR3-3	暗褐色	シルト	地山ブロック、白色化粧土ブロック微量、 炭化物、地・粒状含む	SD87を切る		
P602	7-4	円形	(41)×37	45	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	P1291を切る		
P603	7	楕円形	25×21	13	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	P1291を切る		
P604	7	楕円形	58×44	19	1	-	褐色	シルト	地山ブロック含む	なし		
P605	7	楕円形	(30)×22	6	明	-	-	-	レバーナし	P1292を切る P482に切られる		
P607	7	円形	(27)×(26)	10	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	SD102を切る SD33との重複不明		
P608	7	円形	48×44	8	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	SD102を切る		
P609	7	円形	28×26	26	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	SD102を切る		
P610	7	円形	32×32	40	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	なし		
P611	7	円形	18×18	19	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	なし		
P612	4	円形	(21)×(19)	9	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	P1280を切る SD100との重複不明		
P613	17	不整圓形	34×29	37	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック微量含む	SD105を切る		
P614	12	方形	(18)×(12)	12	1	-	暗褐色	シルト	-	SD109を切る		
P615	7	楕円形	(67)×(54)	18	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック少量含む	SD92 A-HBを切る SD33との重複不明		

ピット 鮎葉島33

置標名	グリーフ	平面形	範囲(cm)		留置	土 色		土 性	備 考	重 観
			長軸×短軸	深さ						
P617	7	不明	(17)×	11	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック含む	S692 A-H2を切る SD653との新旧不明
P618	22	楕円形	18×15	12	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック、地土少量含む	S697Bを切る
P619	17	円形	36×36	20	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック含む	S695を切る
P620	22	漢丸形	50×47	32	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック含む	S697Bを切る
P621	17	楕円形	34×36	39	1	-	暗褐色	シルト		S655を切る
P622	12	楕円形	(22)×20	21	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P623	17	円形	24×23	23	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P624	17	楕円形	33×36	26	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P625	12	楕円形	50×49	21	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック微量含む	S699との新旧不明
P626	17	不整円形	23×(21)	不明	-	-	-	-	レベカルなし	SKS21に切られる
P627	17	不明	(27)×(21)	39	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック微量含む	SKS21に切られる
P628	12	楕円形	25×23	11	1	-	暗褐色	シルト		SD4255を切る S699との新旧不明
P629	12	楕円形	32×23	19	1	-	暗褐色	シルト		SDM2/355-43を切る
P630	21	楕円形	(28)×(25)	12	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック微量含む	SDM2, SH31を切る
P631	12	楕円形	25×18	19	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック微量含む	P1324を切る
P632	8-12	楕円形	(24)×(17)	9	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック微量含む	P1336との新旧不明
P633	16	丸方形	28×23	32	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	SD2を切る
P634	16	漢丸方形	(30)×(30)	10	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック含む	S62を切る P1841に切られる
P635	26	楕円形	32×18	17	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック含む	SDM2, SH31を切る
P636	17	楕円形	34×27	37	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P637	21	不整椭円形	28×24	19	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	P1236を切る
P638	22	楕円形	27×32	8	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック微量含む	P1307に切られる
P639	22	不整方形	27×23	19	1	-	暗褐色	シルト		なし
P640	22	円形	(25)×(23)	8	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック微量含む	S64との新旧不明
P641	22	楕円形	22×17	16	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P643	12	楕円形	(17)×(15)	15	1	-	黒褐色	シルト		S83を切る
P644	32	不明	(17)×(9)	13	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	SE66を切る P65%に切られる
P646	32	小整椭円形	22×21	15	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック含む	なし
P647	32	不整円形	18×18	19	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック微量含む	SD66を切る
P648	32	円形	20×18	11	1	-	黒褐色	シルト	暗褐色シルトプロック少量含む	SD66を切る
P649	32	楕円形	31×27	15	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	SM135, SD66を切る
P650	32	楕円形	(20)×(15)	16	-	-	-	-		P1301に切られる
P651	27-32	円形	26×25	18	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック少、黒褐色シルトプロック含む	なし
P652	36	円形	21×21	18	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P653	36	楕円形	28×25	29	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック含む	P718を切る
P654	31-36	楕円形	25×19	14	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	P717を切る
P655	36	楕円形	23×16	23	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	P719を切る
P656	36	楕円形	25×20	9	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	P967を切る
P657	31-36	楕円形	17×15	15	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P658	31	楕円形	25×20	13	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P659	31	円形	21×18	23	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	P1408を切る
P660	31	不整方形	22×19	8	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P661	31	楕円形	21×18	13	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P662	31	楕円形	23×19	19	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P663	31	円形	23×23	7	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック含む	なし
P664	31	円形	22×23	15	1	10 YR2-3	黒褐色	シルト	10 YR3-3暗褐色シルトプロック少量含む	なし
P666	32	円形	22×19	15	1	2	10 YR3-4	暗褐色	黒褐色シルトプロック少量含む	なし
P667	32	方形	18×18	15	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P668	32	楕円形	31×21	17	1	-	暗褐色	シルト	黒褐色シルトプロック微量含む	SD66を切る
P669	32	円形	20×20	27	1	-	黒褐色	シルト	暗褐色シルトプロック微量含む	なし
P670	32	不整円形	25×21	16	1	-	黒褐色	シルト	暗褐色シルトプロック微量含む	P660, SM129, SD66を切る
P671	32	円形	18×18	19	1	-	暗褐色	シルト	暗褐色シルトプロック微量含む	SM129を切る
P672	32	楕円形	23×20	14	1	10 YR2-2	黒褐色	シルト	10 YR2-2黒褐色シルトプロック微量含む	SD66を切る
P673	32	楕円形	22×19	11	1	2	10 YR3-3	暗褐色	10 YR2-3黒褐色シルトプロック微量含む	SD66を切る
P674	27	楕円形	22×18	6	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック含む	SM129を切る
P675	27	円形	33×33	18	1	-	暗褐色	シルト	黒褐色シルトプロック含む	なし
P676	27	円形	38×37	19	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック微量含む	S664との新旧不明
P677	32	円形	24×24	18	1	-	黒褐色	シルト	暗褐色シルトプロック微量含む	なし
P678	32	円形	23×23	21	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P679	32	円形	18×18	21	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック含む	P664を切る
P680	32	円形	19×18	26	1	-	黒褐色	シルト	暗褐色シルトプロック微量含む	SM128, SD66を切る

ビト 納用表3

道積名	アーリッド	平面形	規格(cm)		部位	土色	土性	備考	重複
			長軸×短軸	深さ					
P681	32	円形	21×16	19	1	-	黒褐色	シルト	暗褐色シルトブロック微量含む SD198, SD96を切る
P682	32	円形	18×18	23	1	-	黒褐色	シルト	暗褐色シルトブロック少量含む SD96を切る
P683	32	円形	20×20	22	1	-	黒褐色	シルト	暗褐色シルトブロック少量含む SD96を切る
P684	32	楕円形	23×20	19	1	-	黒褐色	シルト	暗褐色シルトブロック少量含む SD96を切る
P685	32	円形	21×18	27	1	-	黒褐色	シルト	暗褐色シルトブロック少量含む SM136を切る
P686	32	楕円形	24×21	20	1	-	黒褐色	シルト	暗褐色シルトブロック少量含む SM137, SD96を切る
P687	32	円形	15×13	25	1	-	黒褐色	シルト	暗褐色シルトブロック少量含む SM138, SD96を切る
P688	33	楕円形	26×21	26	1	-	黒褐色	シルト	暗褐色シルトブロック少量含む SM139, SD96を切る
P689	33	楕円形	30×21	29	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量含む SM138, SD96を切る
P690	33	不整形	21×20	18	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック少量含む なし
P691	33	楕円形	23×19	18	1	-	暗褐色	シルト	黒褐色シルトブロック少量含む なし
P692	33	楕円形	23×19	15	1	-	黒褐色	シルト	暗褐色シルトブロック少量含む SM138を切る
P693	33	楕円形	21×18	11	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック少量含む なし
P694	33	楕円形	35×25	39	1	-	黒褐色	シルト	暗褐色シルトブロック含む SD96を切る
P695	33	円形	31×30	14	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む SD96を切る
P696	33	円形	26×25	2	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む なし
P697	33	円形	22×21	16	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む SM137を切る
P698	33	不整形	23×23	15	1	-	暗褐色	シルト	黒褐色シルトブロック少量含む なし
P699	33	円形	23×32	15	1	-	暗褐色	シルト	黒褐色シルトブロック少量含む SM137を切る
P700	33	円形	23×22	29	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む なし
P701	33	椭丸長方形	20×17	17	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む なし
P703	33	楕円形	23×17	24	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む なし
P704	33	不整形円形	38×31	32	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む なし
P705	33	楕円形	24×21	34	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む なし
P706	33	楕円形	26×20	31	1	-	黒褐色	シルト	暗褐色シルトブロック少量含む SD96を切る
P707	33	円形	22×23	14	1	-	黒褐色	シルト	暗褐色シルトブロック微量含む SD96を切る
P708	31	椭丸長方形	26×21	21	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む なし
P709	31	楕円形	22×19	17	1	-	黒褐色	シルト	暗褐色シルトブロック微量含む SI100-128を切る SD42との断面不明
P710	33	不整椭円形	55×27	45	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む なし
P711	33	楕円形	46×35	37	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む SM138を切る
P712	31	円形	39×38	18	1	-	黒褐色	シルト	暗褐色シルトブロック微量含む SI122を切る P369に切られる SD42との断面不明
P715	31	楕円形	(33)×23	29	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む SI100-128を切る SD42との断面不明
P717	31-36	円形?	25×(14)	14	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量含む P654に切られる
P718	36	円形?	(20)×(17)	21	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む P653に切られる
P719	36	椭丸方形	30×(25)	14	1	-	暗褐色	シルト	黒褐色シルトブロック含む P655に切られる
P720	31	不整形圓形	19×19	23	1	-	暗褐色	シルト	暗褐色シルトブロック微量含む SI100-128を切る
P721	31	円形	16×16	21	1	-	暗褐色	シルト	暗褐色シルトブロック微量含む SI100-128を切る
P723	31	楕円形	24×20	42	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む SI100-122を切る SD42との断面不明
P725	22	楕円形	(35)×(23)	28	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む SI64との断面不明
P726	38	円形	(39)×(38)	25	1	10 YRC-3	暗褐色	シルト	10 YRC-3 補助層シルトブロック含む SI139を切る
P727	38	円形	(19)×(17)	11	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む SI140を切る
P728	38	円形	(20)×(19)	9	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む SI141を切る
P729	42	円形	40×40	27	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む SI143を切る
P730	42	楕円形	49×49	27	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量含む SI143を切る
P731	42	楕円形	25×23	12	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック少量含む SI143, SD96を切る
P732	42	円形	36×35	37	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む SI144を切る
P733	42	円形	28×21	19	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む SI144を切る
P734	47	楕円形	35×34	17	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む SI145を切る
P735	47	不整椭円形	62×59	44	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む P736を切る
P737	38	楕円形	52×44	39	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量含む なし
P738	27-38	円形	41×41	38	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む なし
P742	33	楕円形	20×14	14	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む なし
P743	37	椭丸長方形	23×19	22	1	-	黒褐色	シルト	暗褐色シルトブロック含む SD96を切る
P744	37	円形	17×16	18	1	-	黒褐色	シルト	暗褐色シルトブロック含む SD96を切る
P745	37	円形	18×17	21	1	-	黒褐色	シルト	暗褐色シルトブロック含む SD96を切る
P746	37	楕円形	17×13	14	1	-	黒褐色	シルト	暗褐色シルトブロック含む SD96を切る
P747	37	楕円形	28×23	5	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量、暗褐色シルトブロック含む SM141, SD96を切る
P748	38	円形	(41)×(37)	20	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む なし
P749	37	楕円形	22×15	16	1	-	暗褐色	シルト	黒褐色シルトブロック含む SD96を切る
P750	37	方形	18×17	15	1	-	黒褐色	シルト	暗褐色シルトブロック少量含む SD96を切る
P751	30	不整形	37×21	4-6明	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック多量、灰化物少量含む なし

ピット 鋼管表34

造形名	グリッド	平面形	規格(cm)		類似	土 色		土 性	備 考	重 量
			長軸×短軸	深さ						
P752	30	楕円形	33×23	11	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック少量含む	なし
P753	30	円形	15×15	5	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック多量含む	なし
P754	30	円形	27×23	20	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック少量含む	なし
P755	30	楕円形	23×19	14	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック少量含む	なし
P756	30	楕丸形	30×29	38	1	-	灰青褐色	シルト	地山プロック(径3~10mm)多量含む	なし
P757	30	楕円形	25×22	8	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック少量含む	なし
P758	30	不整円形	53×41	26	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック少量含む、炭化物(径5mm)含む	なし
P759	30	楕丸形	20×19	13	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック少量含む	なし
P760	30	楕円形	23×19	18	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック含む	なし
P761	30	円形	20×20	19	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック含む	なし
P762	30	楕円形	29×23	26	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック少量含む	なし
P763	30	円形	31×31	43	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック少量含む	なし
P764	30	不整円形	(38)×(33)	32	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック、炭化物含む	なし
P765	30	小整方形	32×31	26	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック含む	なし
P766	30	楕円形	35×28	28	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック少量含む	SBRを切る
P768	30-31	円形	14×14	21	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック含む	なし
P769	31	小整方形	35×34	13	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック含む	なし
P770	31	小整円形	29×18	26	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック含む	SM184との新旧不明
P771	30	楕円形	26×22	15	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック含む	なし
P772	30	円形	18×15	16	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック少量含む	SM130を切る
P773	31	楕円形	30×25	13	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック含む	なし
P774	31	楕丸形	39×26	13	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック、炭化物(径5mm)少量含む	P1402、S100を切る
P775	36	万形	19×18	4.9	1	-	-	-	レバーナ	P1388を切る
P776	30	楕丸形	30×26	16	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック少量含む	なし
P777	30	楕丸形	33×28	24	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック少量含む	なし
P778	30	円形	53×50	45	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック、地土プロック(径1mm)微量含む	SBRを切る
P779	30-35	円形	31×28	30	1	-	灰青褐色	シルト	地山プロック(径3~5mm)微量含む	なし
P780	35	円形	27×24	11	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック含む	なし
P781	35	円形	21×19	7	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック含む	なし
P782	35	楕丸形	(25)×22	48	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック、地土プロック(径1mm)微量含む	なし
P783	35	楕円形	30×27	25	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック、地土プロック(径1~10mm)微量含む	P784を切る
P784	35	円形?	(23)×(23)	26	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック含む	P783に切られる
P785	30	楕円形	(50)×45	16	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック含む	なし
P786	30	楕円形	(49)×(29)	32	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック少量含む	なし
P787	30	楕丸形	18×18	21	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック、地土粒少量含む	なし
P788	30	楕丸形	(26)×(25)	36	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック量、地土粒少量含む	SM149を切る
P789	35	万形	47×40	21	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック微量含む	P86%を切る
P790	40	万形	42×38	40	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P791	40	楕丸形	45×40	30	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P792	40	小整方形	45×38	31	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P793	35	円形	25×23	11	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック含む	なし
P794	35	小整方形	27×23	44	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	P1100を切る
P795	35	円形	27×26	9	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック含む	なし
P796	35	円形	25×22	15	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量、地土粒微量含む	S100を切る
P797	35	円形	23×22	19	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P798	35	楕円形	38×30	26	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック含む	なし
P799	35	楕円形	21×19	31	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	SE60との断面不明
P800	35	楕丸形	64×36	18	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック量、地土粒少量含む	SM162、P871-873を切る
P801	35	円形	19×17	23	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P802	35	円形	18×18	8	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック少量含む	なし
P803	30	楕丸形	27×23	15	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P804	35	不整円形	52×39	43	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック微量、炭化物(径2mm)少量含む	なし
P805	36	円形	21×19	11	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック含む	なし
P806	36	万形	13×13	14	1	-	褐灰色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P807	36	小整方形	44×40	20	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P808	36	万形	43×41	21	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P809	36	不整椭円形	45×40	11	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック含む	なし
P810	36	不整椭円形	35×27	11	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック、炭化物(径3mm)微量含む	なし
P811	35-40	楕丸形	50×39	46	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	P90%に切られる
P812	40	不整方形	30×27	21	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む、地土粒微量含む	なし
P813	41	不整椭円形	21×17	18	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P814	41	不整椭円形	47×45	48	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P815	40	楕丸形	27×22	44	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む、地土粒微量含む	SE61との断面不明
P816	40	楕丸形	27×25	16	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック含む	なし

ピット 調査表25

道標名	アリード	平面形	面積(cm)			部位	土色	土性	備考	重複
			長軸×短軸	深さ	面積					
P817	40	不整円形	38×27	15	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック多量含む	なし
P818	40	不整円形	23×23	18	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック少量化含む	なし
P819	40	円形	20×15	19	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量化含む	なし
P820	40	円形	26×26	48	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量化含む	なし
P821	40	満丸形	23×23	13	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック多量含む	なし
P822	40	方形	25×20	27	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量化含む	なし
P823	40	円形	20×20	13	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P824	40	不整円形	27×24	13	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P825	40	円形	22×20	19	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック多量含む	なし
P826	40	方形	15×14	21	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック多量含む	なし
P827	40	楕円形	25×20	46	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P828	40	楕円形	20×14	24	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量化含む	なし
P829	45	円形	18×18	23	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P830	35	不整円形	39×32	11	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック多量含む	SM162, P832を切る
P831	40	不整円形	(40)×(35)	14	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック多量含む	なし
P832	40	円形	18×17	15	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P833	40	満丸形	26×21	25	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック多量含む	なし
P834	34-39	方形	39×14	14	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック多量含む	SD62を切る
P835	39	楕円形	50×43	15	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P836	39	方形	19×17	13	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P837	40	満丸形	33×28	19	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P838	39	円形	20×19	13	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック少量化含む	なし
P839	39	楕円形	30×23	19	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量化含む	なし
P840	39	円形	26×24	21	1	10 YR3/3	暗褐色	シルト	-	なし
P841	39	不整方形	18×18	21	1	2 YR3/4	暗褐色	シルト	10 YR4-4 暗褐色シルトブロック微量含む	なし
P842	39	楕円形	43×37	20	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P843	40	直角形	23×21	19	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P844	39	満丸形	23×27	20	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック少量化含む	なし
P845	40	不整方形	19×19	11	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量化含む	なし
P846	40	満丸形	37×34	17	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P847	40	楕円形	25×20	23	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量化含む	なし
P848	40	方形	(21)×(20)	23	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量化含む	なし
P849	45	不整丸形	39×34	26	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P850	45	方形	18×18	22	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P851	45	方形	18×15	23	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P852	45	満丸形	21×21	22	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P853	44-45	楕円形	31×23	25	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P854	30	円形	21×20	17	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック少量化、炭化物(幅1mm)微量含む	なし
P855	50	満丸形	18×17	11	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P856	50	方形	15×14	10	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック多量含む	なし
P857	45	方形	24×24	11	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック多量含む	なし
P858	45	方形	23×22	22	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック多量含む	P1212を切る
P859	45	方形	19×18	27	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P860	40	円形	25×24	17	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック多量含む	なし
P861	40	不整形	35×31	27	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量化含む	なし
P862	45	楕円形	33×27	46	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック多量含む	なし
P863	35	方形	(37)×(33)	39	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック多量、炭化物(幅3mm)多量含む	P1533を切る
P864	35	円形	19×18	15	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量化、炭化物(幅3mm)多量含む	なし
P865	45	円形	30×28	28	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック少量化含む	SD62との断面不明
P866	45	満丸形	26×21	29	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック少量化含む	P1212を切る
P867	45	楕円形	20×18	23	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック少量化含む	なし
P868	45	楕円形	25×22	29	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量化、炭化物微量含む	SM203を切る
P869	45	満丸形	26×25	35	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック少量化含む	P1699を切る
P870	45	不整形	25×20	37	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック多量含む	なし
P871	35	不整円形	(51)×(51)	25	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック少量化、炭化物(幅10~30mm), 炭化物(幅2~5mm)含む	P800に切られるSD60との断面不明
P872	35	楕円形	(75)×48	2	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	P830に切られる
P873	35	不整円形	(38)×(32)	15	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量化含む	P800に切られる
P874	45	円形	15×14	20	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック少量化含む	なし
P875	45	長方形	27×19	30	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック多量含む	なし
P876	35	満丸形	(28)×(25)	13	1	-	明褐色	シルト	地山ブロック多量含む	P139に切られる
P877	40	不整長方形	27×24	31	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック少量化含む	なし
P878	35-40	楕円形	33×20	16	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック多量含む	SM162を切る
P879	35	楕円形	(17)×(15)	19	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量化含む	なし
P880	45	方形	16×14	7	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック少量化含む	なし

ピット 鮎雲表N6

造形名	グリップ	平面形	規格(cm)		留位	土 色		土 性	備 考	重 量
			長軸×短軸	深さ						
P961	45	方形	18×16	7	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック少量含む	なし
P962	45	不整形	22×20	22	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック含む	なし
P963	45	溝丸方形	24×23	15	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック少量含む	なし
P964	45	不整形円形	35×27	28	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック少量含む	なし
P965	45	小整形	29×27	25	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック少量含む	SM203を切る
P966	45	小方形	27×34	25	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック含む	なし
P967	39	楕円形	28×21	24	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック含む	P968-899を切る
P968	39	不整形円形	60×36	26	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック含む	なし
P969	50	円形	19×16	13	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック含む	なし
P960	50	不整形円形	26×29	15	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック含む	なし
P961	49	円形	30×30	37	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P962	49	円形	25×23	24	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P963	49	溝丸方形	25×24	49	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P964	49	円形	21×19	10	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P965	49	不整形	20×19	25	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	SE62との削り不明
P966	49	不整形円形	34×30	45	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	P1150を切る
P967	49	楕円形	24×18	20	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック微量含む	P1158を切る
P968	39	不整形	34×18×28	24	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック微量含む	P969-975を切る
P969	39	小円形	(42)×(31)	24	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック微量含む	P967-986に切られる
P970	40	不整形円形	62×48	40	1	-	-	-	-	P971を切る
P971	36	円形	26×26	22	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	PM63を切る
P972	36	円形	25×23	22	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P973	36	円形	18×16	10	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P974	36	円形	17×16	15	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P975	36	楕円形	24×22	17	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P976	36	楕円形	15×14	6	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P977	36	楕円形	27×23	17	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	P966に切られる
P978	32	不整形円形	43×35	33	1	10 YR3-4	暗褐色	シルト	10 YR3-2黒褐色シルトプロック少量含む	
					2	10 YR3-3	暗褐色	シルト	10 YR3-2黒褐色シルトプロック少量含む	SD66を切る
					3	10 YR2-3	黒褐色	シルト	0YR4-4 黒褐色シルトプロック含む	
P979	32	円形	30×30	12	1	10 YR3-4	暗褐色	シルト	10 YR3-2黒褐色シルトプロック少量含む	
					2	10 YR3-3	暗褐色	シルト	10 YR3-2黒褐色シルトプロック含む	なし
					3	10 YR4-3	灰-青褐色	シルト	10 YR3-2黒褐色シルトプロック少量含む	
P980	32	方形	24×20	11	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック、黒褐色シルトプロック含む	SE66を切る
P981	37	楕円形	16×13	17	1	-	黒褐色	シルト	暗褐色シルトプロック含む	SE66を切る
P982	37	楕円形	23×20	14	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック少量含む	SD66を切る
P983	37	楕円形	35×30	31	1	-	暗褐色	シルト	黒褐色シルトプロック少量含む	なし
P984	37	円形	18×18	28	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P985	37	円形	12×12	12	1	-	暗褐色	シルト	黒褐色シルトプロック少量含む	SE66を切る
P986	37	円形	19×18	9	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック含む	なし
P987	37	円形	24×23	21	1	-	黒褐色	シルト	暗褐色シルトプロック含む	なし
P988	42	楕円形	26×23	22	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック微量含む	P965を切る
P989	41	方形	32×29	26	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック、黒褐色シルトプロック少量含む	なし
P990	37	楕円形	23×18	19	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック少量含む	P1208を切る
P991	37	円形	17×16	14	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P992	37	円形	25×18	15	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P993	37	円形	21×20	20	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック微量含む	SD66を切る
P994	36	楕円形	38×24	7	1	-	黒褐色	シルト	暗褐色シルトプロック少量含む	なし
P995	37	円形	25×24	19	1	-	黒褐色	シルト	暗褐色シルトプロック少量含む	SD66を切る
P996	42	円形	23×22	17	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P997	42	円形	24×22	21	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P998	37	不整形円形	(42)×(33)	12	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック含む	SM140に切られる
P999	41	不整形方	27×24	52	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P990	41	楕円形	41×30	48	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	P1173-1174, SI129を切る
P991	41	楕円形	23×20	21	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック少量含む	SI120を切る
P992	41	楕円形	33×36	31	1	-	黒褐色	シルト	-	SI120との削り不明
P993	41	不整形円形	40×35	38	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	SI120を切る
P994	41	楕円形	30×24	29	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P995	41	楕円形	25×20	10	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P996	41	楕円形	(27)×(18)	19	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	SI120との削り不明
P997	36	不整方形	(25)×(23)	20	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P998	37	円形	17×17	3	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック含む	なし
P999	37	楕円形	21×17	15	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P990	38	楕円形	23×16	12	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	SM141を切る

ピット 調査表(2)

道標名	アリード	平面形	規模(cm)		規格	土色		土性	備考	重複
			長軸×短軸	深さ						
P941	36	不整形	(30)×(18)	27	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	なし
P942	41	楕円形	32×22	13	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P943	41	楕円形	27×23	37	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック微量含む	なし
P944	41	円形	(28)×(28)	12	1	-	黒褐色	シルト		SI120を切る SD62との重複不明
					1	10YR3-4	暗褐色	砂質 シルト	10YR3-2/黒褐色シルトブロック。 10YR4-6/褐色シルト質砂ブロック含む	
P945	42	長方形	87×37	37	2	10YR3-3	暗褐色	砂質 シルト	10YR3-2/黒褐色シルトブロック。 10YR4-6/褐色シルトブロック少量含む	SM142を切る P948に切られる
					3	10YR4-3	にじみ 黄褐色	シルト	10YR3-2/黒褐色シルトブロック含む	
					4	10YR3-2	黒褐色	シルト	10YR4-4/褐色シルトブロック少量含む	
P947	42	円形	18×16	9	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P948	43	円形	22×22	27	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	なし
P949	36	円形	(21)×(21)	19	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	なし
P950	36	楕円形	33×24	25	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	なし
P951	41	楕円形	31×27	20	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	なし
P952	41	円形	24×23	19	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	なし
P953	43	楕円形	38×30	24	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P954	38	楕円形	23×17	9	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P955	42	楕円形	18×16	23	1	-	黒褐色	シルト		SM142を切る
P956	41	不整形	27×26	26	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	なし
P957	41	不整形円形	25×20	22	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	なし
P958	46	不整形圓	20×20	34	1	-	暗褐色	シルト		SI120を切る
P959	41	楕円形	19×15	31	1	-	黒褐色	シルト		なし
P960	43	楕円形	47×38	34	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P961	43	円形	23×22	23	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P963	36	異形長方形	37×28	24	1	-	暗褐色	シルト	黒褐色シルト少量含む	P901に切られる SD61との重複不明
P964	41	円形	23×20	46	1	-	黒褐色	シルト		SD61との重複不明
P965	41	不整形円形	16×15	15	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量含む	なし
P966	41	不整形円形	47×30	28	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック少量含む	なし
P967	46	楕円形	30×22	33	1	-	黒褐色	シルト		SI120を切る
P968	41	楕円形	31×27	7	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック少量含む	なし
P969	41	楕円形	27×18)	42	1	-	暗褐色	シルト		SD61との重複不明
P970	41	不整形	21×20	10	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P971	46	楕円形	43×35	39	1	-	暗褐色	シルト		SI120を切る
P972	41	楕円形	20×15	21	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	なし
P973	42-47	楕円形	36×34	13	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック少量含む	なし
P974	41	円形	(22)×(21)	6	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	SD61との重複不明
P975	36	不整形円形	(30)×(26)	19	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	P967との重複不明
P976	41	不整形円形	(38)×(27)	30	1	-	黒褐色	シルト		なし
P977	36	楕円形	(22)×(18)	16	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	P955との重複不明
P979	43	楕円形	33×25	10	1	-	黒褐色	シルト		なし
P980	43-48	円形	48×47	10	1	-	黒褐色	シルト		なし
					1	10YR3-3	暗褐色	砂質 シルト	10YR3-2/黒褐色シルトブロック少量、 10YR4-6/褐色質シルトブロック含む	
P981	43-48	方形	49×44	24	2	10YR3-4	暗褐色	砂質 シルト	10YR3-2/黒褐色シルトブロック少量、 10YR4-6/褐色質シルトブロック含む	なし
P982	38-43	楕円形	90×70	54	1	-				SI119, SD65を切る
P983	41	楕円形	23×19	41	1	-	暗褐色	シルト		なし
P985	51	楕円形	(24)×(21)	12	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量含む	SI120を切る
P986	46	楕円形	25×29	13	1	-	暗褐色	シルト		SI120を切る
P987	46	不整形長方形	33×22	51	1	-				SI120を切る
P988	41-46	楕円形	52×46	32	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	P1179, SI120を切る SD62との重複不明
P991	9	楕円形	(21)×(18)	13	1	-	暗褐色	砂質 シルト	地山ブロック微量含む	なし
P992	14	楕円形	(24)×(16)	13	1	-	暗褐色	砂質 シルト	地山ブロック微量含む	なし
P993	14	楕円形	(25)×(21)	24	1	-	暗褐色	砂質 シルト	地山ブロック微量含む	なし
P994	9	円形	(24)×(21)	15	1	-	暗褐色	砂質 シルト	地山ブロック微量含む	なし
P995	9	方形	(44)×(40)	37	1	10YR3-2	黒褐色	砂質 シルト	地山ブロック少量含む	なし
P996	9	楕円形	(28)×(23)	16	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	P1233を切る
P997	9	円形	25×23	16	1	-	黒褐色	砂質 シルト	地山ブロック微量含む	なし
P998	6	楕円形	(24)×(16)	4	1	-	黒褐色	砂質 シルト	地山ブロック微量含む	P1054を切る

ピット 鮎葉島38

遺構名	グリッド	平面形	範囲(cm)		層位	土 色		土 性	備 考	重 級
			長軸	短軸		1	10 YR3/2	黒褐色	シルト	
P1009	9	梅円形	(40)×(36)	41		1	10 YR3/2	黒褐色	シルト	地山プロック、地表少量、炭化物微量含む
						2	10 YR3/1	黒褐色	砂質 シルト	地山プロック微量含む
						3	10 YR2/2	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む
P1000	14	梅円形	(31)×25	25	1	-	黒褐色	-	砂質 シルト	地山プロック微量含む
P1001	41	円形	(19)×(18)	12	1	-	黒褐色	シルト	暗褐色シルト含む	なし
P1002	41	不整丸形	(13)×(13)	22	1	-	黒褐色	シルト	暗褐色シルト含む	なし
P1003	36	小整方形	(32)×(30)	24	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック含む	なし
P1004	46	不整方形	17×17	32	1	-	黒褐色	シルト	暗褐色シルト含む	P120を切る
P1005	46	円形	19×15	10	1	-	暗褐色	シルト	炭化物微量含む	P120を切る
P1006	46	梅円形	30×20	9	1	-	暗褐色	シルト	暗褐色シルト少量含む	P126を切る
P1007	46	梅円形	22×20	36	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック少量含む	P126を切る
P1008	46	不整椭円形	17×14	23	1	-	黒褐色	シルト	暗褐色シルト含む	P120を切る
P1009	46	円形	22×19	12	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック微量含む	P126を切る
P1010	46	不整丸形	48×33	11	1	-	暗褐色	シルト	-	P126を切る
P1011	10	不整丸形	42×37	29	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック少量含む	SK7を切る
P1012	10	梅円形	27×30	22	1	-	-	シルト	地山プロック少量含む	なし
P1013	31	梅円形	41×33	不明	-	-	-	-	レペルなし	SM130、SD3を切る
P1014	31	梅円形	35×30	不明	-	-	-	-	レペルなし	SM150を切る
P1015	30	梅円形	30×27	34	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック食む	SM149、S120を切る
P1016	46	梅円形	44×31	28	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック微量含む	P120を切る
P1017	51	不整	(24)×(15)	16	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	P120を切る
P1018	47	不整椭円形	25×18	21	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P1019	47	梅円形	39×28	23	1	-	暗褐色	シルト	-	なし
P1020	30	円形	18×17	16	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック含む	P149を切る
P1021	42	梅円形	21×17	17	1	-	黒褐色	シルト	暗褐色シルト少量含む	P126を切る
P1023	42	円形	21×19	11	1	-	黒褐色	シルト	-	P126を切る
P1024	42	円形	35×32	17	1	-	暗褐色	シルト	-	P126を切る
P1025	42	梅円形	35×26	12	1	-	暗褐色	シルト	-	P126を切る
P1026	40	円形	11×10	19	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	P1158を切る
P1027	40	円形	19×17	26	1	-	暗褐色	シルト	-	P122の新旧不明
P1028	10	梅円形	31×23	32		1	10 YR2/3	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む
						2	10 YR3/3	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む
P1029	5	円形	(38)×(32)	27	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック含む	SK57を切る
P1030	21-22	円形	38×36	24	1	-	黒色	シルト	-	SD42を切る
P1031	10	梅円形	37×27	23	1	-	黒色	シルト	地山プロック微量含む	P126-1268、SI103 ABを切る
P1032	6	不整椭円形	(38)×(25)	15	1	-	黒色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P1033	5	梅円形	33×27	17	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P1034	5	円形	22×29	8	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P1035	6	梅円形	(36)×(20)	14	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック微量、炭化物少量含む	なし
P1036	46	梅円形	31×25	28	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック微量、炭化物少量含む	P1181、SI120を切る
P1037	46	梅円形	33×28	33	1	-	黒褐色	シルト	-	P1182、SI120を切る
P1039	35	方 形	39×35	30	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック、炭化物微量含む	SM151、SK74を切る
P1040	41	梅円形	24×20	28	1	-	黒褐色	シルト	-	SH20を切る
P1041	47	梅円形	48×37	29	1	-	暗褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P1042	40	円形	21×20	18	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P1043	35	椭丸形	31×26	17	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P1044	9	円形	23×23	16	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P1045	5	梅円形	(30)×21	34		1	10 YR2/2	黒褐色	シルト	地山プロック微量、炭化物(厚1~2mm)、灰土を微量含む
						2	10 YR3/3	暗褐色	シルト	地山プロック微量含む
P1046	9-5	梅円形	(22)×18	9	1	-	黒色	シルト	地山プロック含む	なし
P1047	5	梅円形	(23)×(20)	30	1	-	黒色	シルト	地山プロック含む	P1273を切る
P1048	6	梅円形	(29)×(21)	21	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック含む	P1264を切る
P1049	10	梅円形	(21)×(17)	15	1	-	暗褐色	-	-	P1268を切る
P1051	5	円形	25×24	29	1	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む	なし
P1052	9	梅円形	55×(45)	26	1	-	黒色	シルト	地山プロック微量含む	SD42-1274を切る
P1053	10	梅円形	(47)×(36)	23	1	-	黒色	-	地山プロック微量含む	P1126に切られる
P1054	6	梅円形	(37)×(29)	10	1	-	暗褐色	-	地山プロック微量含む	P1066に切られる
P1055	5	円形	28×25	17	1	-	暗褐色	-	-	P1056を切る
P1056	5	不整椭円形	103×69	25	1	-	黒褐色	-	-	P1055に切られる

ピット 調査表28

道標名	アリード	平面形	面積(cm)			部位	土 色		土 性	備 考	重 量
			長軸×短軸	深さ	幅		土色	土性			
P1057	10	楕円形	29×24	31	1	-	黒褐色	-	-	P75に切られる	
P1058	10	円形	24×22	11	1	-	黒色	シルト	-	P123を切る SD42との境界不明	
P1059	10	椭円形	19×15	30	1	-	黒色	シルト	-	P123を切る SD42との境界不明	
P1060	10	楕円形	24×20	4	1	-	黒色	シルト	-	なし	
P1061	40	円形	36×36	55	1	-	暗褐色	シルト	-	なし	
P1062	40	円形	19×18	21	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	SD61との新旧不明	
P1063	35	椭丸方形	35×22	22	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック微量含む	SD156を切る	
P1064	40	椭丸方形	23×18	33	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック微量含む	なし	
P1065	40	円形	20×18	18	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック微量含む	なし	
P1066	40	円形	17×15	23	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量含む	SD61との新旧不明	
P1067	46	椭丸方形	(15)×(11)	5	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	P1179, SD120に切られる	
P1068	35	方形	27×22	61	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	なし	
P1069	40	楕円形	30×22	11	1	-	-	-	-	なし	
P1071	40	方形	(20)×(20)	11	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	SD61との新旧不明	
P1072	40	椭丸方形	(31)×(24)	45	2	10 YR3-3	暗褐色	シルト	10 YR3-2 黒褐色シルトブロック少量含む	P10 YR3-4 暗褐色シルトブロック少量含む	SD187, SD61を切る
P1073	40	円形	21×20	21	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック微量含む	SD61との新旧不明	
P1074	40	円形	18×18	15	1	-	暗褐色	シルト	-	SD61との新旧不明	
P1075	41	楕円形	25×17	12	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	SD61との新旧不明	
P1076	41	不整形	23×20	31	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量含む	なし	
P1077	41	楕円形	20×16	11	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	SD61との新旧不明	
P1078	47	円形	24×21	18	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	なし	
P1079	40	不整形形	26×21	24	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック, 黒褐色シルトブロック含む	なし	
P1080	40	楕円形	(28)×(23)	29	1	-	暗褐色	シルト	砂質 土, 水化物, 地山ブロック含む	なし	
P1081	46	楕円形	25×23	30	1	-	暗褐色	シルト	黒褐色シルト少量含む	P1182, SD120を切る	
P1082	43	円形	23×23	21	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック少量含む	P1152, SD120を切る	
P1083	43	椭丸方形	27×25	25	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック微量含む	なし	
P1084	43	円形	46×46	37	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロックシルトブロック含む	SM142を切る	
P1085	43	小不整形円形	33×24	21	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック少量含む	なし	
P1086	43	椭丸方形	35×27	17	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック少量含む	SD65を切る	
P1087	43	楕円形	28×21	17	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	なし	
P1088	43	楕円形	21×18	20	1	-	褐色	シルト	黒褐色シルトブロック含む	なし	
P1089	43	椭丸方形	20×18	13	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	なし	
P1090	43	椭丸方形	28×26	18	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	なし	
P1091	43	円形	25×23	24	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック少量含む	なし	
P1092	48	楕円形	(27)×20	19	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	SD65を切る	
P1093	48	方形	19×18	13	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	SK39を切る	
P1094	47	円形	40×40	22	1	10 YR3-2	黒褐色	シルト	10 YR4-4 黒褐色シルトブロック少量含む	なし	
P1095	48	円形	(25)×(23)	9	1	-	黒褐色	シルト	10 YR4-4 黑褐色シルトブロック微量含む	なし	
P1096	41	楕円形	28×19	22	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	なし	
P1097	47	椭丸方形	29×24	19	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	なし	
P1098	40	椭丸方形	21×18	12	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	SM162を切る	
P1099	45	椭丸方形	(22)×(14)	37	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	P609に切られる	
P1100	35	不明	33×25	22	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	P794に切られる	
P1101	6	楕円形	21×17	4	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック少量含む	なし	
P1104	10	楕円形	(29)×40	23	1	-	黑色	シルト	-	P409-114に切られる	
P1105	10	楕円形	23×20	27	1	-	暗褐色	シルト	-	なし	
P1106	10	円形	25×25	17	1	-	黒褐色	シルト	変化物(径2~30 mm)微量含む		
P1107	30	楕円形	57×(44)	37	1	10 YR3-3	暗褐色	シルト	変化物(径2~30 mm)微量含む	P410-433に切られる	
P1107	30	楕円形	57×(44)	37	2	10 YR2-2	黒褐色	シルト	変化物(径1~2 mm), 砂土微量含む	P410-433に切られる	
P1108	6	楕円形	42×34	16	1	-	暗褐色	シルト	-	なし	
P1109	6	楕円形	33×28	11	1	-	暗褐色	シルト	-	なし	
P1110	6	楕円形	19×14	4	1	-	黑色	シルト	-	なし	
P1111	7	円形	(33)×(33)	34	1	10 YR2-1	黑色	シルト	地山ブロック微量含む	なし	
					2	10 YR3-3	暗褐色	シルト	地山ブロック少量含む		

ピット 鋼管表20

記号名	グリッド	平面形	規模(cm)			層位	土 色		土 性	備 考	重 種
			長軸×短軸	深さ			1	-			
P1112	6	楕円形	(74)×56	38	1	-	黒褐色	-	砂質 シルト	-	なし
P1113	6	楕円形	28×21	15	1	-	黒褐色	-	砂質 シルト	-	P1294を切る
P1114	6	円形	23×23	22	1	-	暗褐色	-	砂質 シルト	-	なし
P1115	10	楕円形	27×22	20	1	-	暗褐色	シルト	-	-	なし
P1116	10	円形	19×18	19	1	-	暗褐色	シルト	-	-	なし
P1117	6-10	方形	22×19	13	1	-	黑色	-	砂質 シルト	-	なし
P1118	5	楕円形	28×23	24	1	-	黑色	-	砂質 シルト	地山ブロック少量含む	P1056を切る
P1119	9-5	円形	(23)×(20)	17	1	-	暗褐色	-	砂質 シルト	-	なし
P1121	5	円形	21×21	24	1	-	黒褐色	-	砂質 シルト	-	SD44+P1270を切る
P1122	2	不整円形	(73)×(68)	11	1	-	暗褐色	-	砂質 シルト	-	P353に切られる
P1123	2	楕円形	(86)×48	35	1	10 YR2-2	黒褐色	-	炭化物(径1~5mm), 地土粒微量含む	-	-
					2	10 YR3-3	暗褐色	-	砂質 シルト	地山ブロック, 炭化物(径5~20mm)少量含む	SM135を切る
					3	-	-	-	-	-	-
P1124	2	不明	(44)×	29	1	-	暗褐色	-	砂質 シルト	地山ブロック少量含む	P400に切られる
P1125	6-10	楕円形	(73)×61	49	1	-	黒褐色	-	砂質 シルト	地山ブロック少量含む	SM140を切る
P1126	10	長方形	(79)×(65)	54	1	10 YR2-1	黑色	シルト	炭化物(径1~5mm)微量含む	P1053を切る SD42との削り不明	-
					2	10 YR1.7-1	黑色	-	地山ブロック少量, 炭化物(径1~5mm)微量含む	-	-
P1127	8	方形	(30)×(26)	14	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量含む	SH07を切る SD42との削り不明	-
P1128	12	楕円形	30×36	19	1	-	黒褐色	シルト	-	-	SD42との削り不明
P1129	12	楕円形	25×23	9	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック少量含む	SD42との削り不明	-
P1130	8	楕円形	(20)×(13)	16	1	-	黒褐色	シルト	-	-	SD42との削り不明
P1131	8	楕円形	18×15	9	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック微量含む	-	なし
P1132	8	楕円形	19×14	19	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック微量含む	SB83-107を切る	-
P1133	8	円形	21×21	17	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック微量含む	SH07を切る	-
P1134	8	円形	(27)×(27)	25	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック微量含む	SH07を切る SD42との削り不明	-
P1136	11	楕円形	18×14	3	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック微量含む	-	なし
P1137	12	楕円形	29×25	不明	-	-	-	-	-	-	レベルなし
P1138	10	不整方形	(73)×(64)	54	1	10 YR2-3	黒褐色	シルト	炭化物(径1~2mm), 地土粒含む	-	-
					2	10 YR2-2	黒褐色	砂質 シルト	地山ブロック, 炭化物微量含む	P1299を切る P1049-1147に切られる	-
					3	10 YR3-2	黒褐色	シルト	地山ブロック少量含む	-	-
					4	10 YR2-2	黒褐色	-	地山ブロック微量含む	-	-
P1139	5-6	円形	(88)×(85)	58	1	10 YR3-1	黒褐色	砂質 シルト	地山ブロック微量, 海風化粘土ブロック微量含む	-	-
					2	10 YR3-4	暗褐色	砂質 シルト	地山ブロック微量, 炭化物, 地土粒微量含む	-	-
					3	10 YR2-3	黒褐色	砂質 シルト	地山ブロック, 海風化粘土ブロック含む	-	-
					4	10 YR2-2	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	-	-
P1140	12	楕円形	(26)×(17)	16	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック少量含む	P1321-1322を切る	-
P1141	16-21	円形	14×14	14	1	-	暗褐色	シルト	少々含む	-	なし
P1143	10	不整形	(85)×(66)	51	1	-	-	-	-	S83を切る P1049-1147に切られる	-
P1144	12	円形	(42)×(39)	32	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック少量含む	-	不明
P1145	12	楕円形	(17)×(14)	2	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック微量含む	-	なし
P1146	10	不整方形	39×36	28	1	-	黑色	シルト	地山ブロック微量含む	P1049-1147を切る	-
P1147	10	楕円形	(27)×(17)	29	1	-	黑色	シルト	地山ブロック微量含む	P1326, 1143を切る	-
P1148	40	円形	25×25	33	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック微量含む	SD62との削り不明	-
P1149	40	円形	20×19	18	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック少量 黒褐色シルトブロック微量含む	P1170を切る	-
P1150	40	不明	(25)×(20)	39	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	P966に切られる	-
P1152	43	圓丸長方形	57×(45)	21	1	-	暗褐色	砂質 シルト	黒褐色シルトブロック含む	P1082に切られる	-
P1153	35	楕円形	(33)×(40)	7	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	P963に切られる	-
P1154	43	楕円形	25×20	12	1	10 YR3-3	暗褐色	シルト	10 YR4-4 黒褐色シルトブロック, 炭化物少含む	P978を切る	-

ピット 調査表03

調査名	グリッド	平面形	面積(cm)			解説	土色	土性	備考	重複
			長軸×短軸	深さ	(cm)×(cm)					
P1155	45	円形	(30)×(25)	24	1	10YR3/4	暗褐色	シルト	10YR4/4 暗褐色シルトブロック少量、炭化物微量、2.5YR4/6赤褐色微量含む	P1163を切る
					2	10YR4/2	灰暗褐色	シルト	10YR3/2 暗褐色シルトブロック、10YR4/4 暗褐色シルトブロック、10YR4/2 黄褐色シルトブロック、炭化物微量、2.5YR4/6赤褐色微量含む	
P1157	40	円形	20×19	10	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック少量含む	なし
P1158	40	楕円形	(27)×(15)	14	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量含む	P1097-1036に切られる
P1159	40	楕円形	34×17	7	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック少量含む	なし
P1160	40	円形	21×18	21	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量含む	なし
P1161	40	円形	(25)×(25)	24	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量含む	SD62との重複不明
P1162	45	円形	(25)×(25)	11	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック少量含む	P1169を切る SD62との重複不明
P1163	45	楕円形	(23)×18	23	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック少量含む	P1155に切られる SD62との重複不明
P1164	41	円形	24×21	29	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック少量含む	SD62との重複不明
P1165	41-45	楕円形	47×40	22	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック少量含む	SD62との重複不明
P1166	45	満丸形	28×27	25	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	P1167, SI120を切る SD62との重複不明
P1167	45	楕円形	33×25	24	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック微量含む	P1166に切られる SD62との重複不明
P1169	45	満丸形	37×36	14	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック微量含む	P1167に切られる SD62との重複不明
P1170	40	不明	(20)×(13)	15	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック微量含む	P1149に切られる SD62との重複不明
P1171	41	楕円形	24×20	20	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	なし
P1173	41	楕円形	(30)×(11)	25	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	P1174, SI120を切る P100に切られる
P1174	41	円形	41×(35)	34	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	SD120を切る SD62との重複不明
P1175	41	楕円形	41×35	37	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量含む	SD120を切る
P1176	41-46	楕円形	(16)×21	16	1	-	暗褐色	シルト	-	SD120を切る SI120を切る SD62との重複不明
P1177	46	円形	28×26	28	1	-	暗褐色	シルト	-	P1176-181, SI120を切る SD62との重複不明
P1178	41-46	不明	(28)×(24)	25	1	-	暗褐色	シルト	灰黃褐色シルトブロック少量含む	SD120を切る SI68に切られる SD62との重複不明
P1179	46	不明	(19)×(13)	37	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック、黒褐色シルト含む	P1067, SI120を切る P1081に切られる
P1180	41	円形	28×27	13	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック、黒褐色シルト含む	SD62との重複不明
P1181	46	不明	<25	32	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	SI120を切る P1036-1177に切られる
P1182	46	不明	(28)×(22)	18	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック少量含む	P1037-1081に切られる
P1183	41	楕円形	(66)×(41)	51	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量含む	SI120を切る SD42との重複不明
P1184	41	円形	25×25	17	1	-	暗褐色	シルト	-	SD66を切る
P1185	42	円形	21×19	16	1	-	黒褐色	シルト	-	SD66を切る
P1186	32	楕円形	20×13	23	1	-	黒褐色	シルト	暗褐色シルトブロック少量含む	SD66を切る
P1187	32-37	楕円形	30×23	21	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック少量含む	なし
P1189	32	楕円形	17×12	12	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量含む	SD66を切る
P1190	37	不規則円形	20×17	17	1	-	暗褐色	シルト	黒褐色シルトブロック少量含む	SD66を切る
P1193	32-33	楕円形	42×37	29	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック少量含む	なし
P1194	37	楕円形	(20)×(13)	7	1	-	黒褐色	シルト	暗褐色シルトブロック少量含む	SM139, SD66を切る
P1195	37	円形?	(18)×(13)	8	1	-	黒褐色	シルト	暗褐色シルトブロック少量含む	SD66を切る
P1196	37	円形?	(21)×(15)	9	1	-	黒褐色	シルト	暗褐色シルトブロック少量含む	SD66を切る
P1197	37-42	楕円形	26×21	8	1	-	黒褐色	シルト	暗褐色シルトブロック少量含む	SD66を切る
P1198	32	不明	30×25	17	1	-	暗褐色	シルト	-	SD66を切る P081に切られる
P1199	37-42	楕円形	26×23	24	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック少量含む	P1208を切る
P1200	37	楕円形	(22)×(19)	20	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量含む	SD66を切る
P1201	37	楕円形	(20)×(18)	11	1	-	黒褐色	シルト	暗褐色シルトブロック少量含む	SD66を切る
P1203	37	方形	16×16	8	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック少量含む	なし
P1205	46	円形	23×21	9	1	-	暗褐色	シルト	黒褐色シルトブロック少量含む 灰黃褐色シルトブロック少量含む	SD66を切る
P1204	37	円形	(21)×(19)	20	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P1205	37	円形	20×19	19	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック微量含む	なし
P1206	37	円形	18×15	14	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック微量含む	SD66を切る
P1207	41	円形	48×46	20	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P1208	37	楕円形	(25)×(27)	8	1	-	暗褐色	シルト	-	P1039-1109に切られる
P1209	45	円形	25×22	17	1	-	暗褐色	シルト	黒褐色シルトブロック少量含む	SI302, SA1を切る
P1210	45	楕円形	28×23	15	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック少量含む	なし

ピット 鋼製表22

造機名	グリップ	平面形	面積(cm ²)		幅位	土 色		土 性	備 考	東 著
			長軸×短軸	深さ						
P1211	45	楕円形	30×27	20	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック少量含む	なし
P1212	45	楕円形	40×(29)	22	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック少量含む	P966に切られる
P1213	45	不明	(27)×(18)	11	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック少量含む	P988に切られる
P1216	41	円形	26×23	6	1	-	暗褐色	砂質 シルト	地山ブロック微量含む	SD66を切る
P1217	50	円形	23×29	6	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック少量含む	なし
P1218	37	不整円形	(19)×(15)	18	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	SD66を切る SM1前に切られる
P1219	46	円形	27×26	23	1	-	暗褐色	砂質 シルト	地山ブロック微量含む	SE20を切る
P1220	44	円形	23×21	10	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック微量含む	SM34を切る
P1221	44	円形	23×(18)	13	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック微量含む	なし
P1222	45	楕円形	38×30	8	1	-	暗褐色	シルト	黒褐色シルトブロック少量 灰黃褐色シルトブロック少量	SD23を切る
P1223	45	円形	26×21	7	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック微量含む 黒褐色シルトブロック少量含む	なし
P1224	45	円形	35×24	14	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	SD23を切る
P1225	45/50	楕円形	18×14	16	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	なし
P1226	49	円形	(21)×(15)	7	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P1227	50	楕円形	(48)×(10)	7	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	SM105を切る
P1228	44	方形	(20)×(14)	22	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P1229	48	楕円形	52×15	14	1	-	黒色	シルト	地山ブロック微量含む	SK59を切る
P1230	48	不明	(37)×(15)	7	1	-	黒色	シルト	地山ブロック微量含む	SK59を切る SK58に切られる
P1231	14	円形	19×19	不明	-	-	-	-	レモン色	P1238を切る
P1232	14	円形	26×23	7	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック微量含む	なし
P1233	14	楕円形	(25)×25	22	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	SD60との新旧不明
P1234	15~20	楕円形	(22)×(18)	19	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P1235	9	楕円形	(39)×39	21	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	P966に切られる
P1236	9	円形	(26)×23	14	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック、炭化物少量含む	なし
P1237	14	方形	(51)×(47)	21	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック微量含む	SD67を切る P266に切られる
P1238	14	圓丸長方形	(58)×(48)	29	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック微量、炭化物少量含む	P1231~330に切られる
P1239	14	楕円形?	(26)×(25)	19	1	-	-	-	-	SD60との新旧不明
P1240	9	方形?	79×(30)	20	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック微量含む	SD67を切る SD60との新旧不明
P1241	5	方形	19×17	25	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P1242	5	楕円形	(25)×(21)	13	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	SD42との新旧不明
P1243	5	円形	(26)×(26)	40	1	-	黒色	シルト	炭化物微量含む	P376に切られる SD42との新旧不明
P1244	9	楕円形	(38)×(38)	16	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック微量、炭化物微量含む	SD42との新旧不明
P1245	9	楕円形	(33)×(27)	34	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	SD42との新旧不明
P1246	10	不整方形	33×33	40	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック微量、炭化物含む	SK76を切る
P1247	10	不整方形	(31)×(31)	37	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック微量含む	SK76を切る SD42との新旧不明
P1248	10	楕円形	(23)×(20)	15	1	-	黒色	シルト	地山ブロック微量、炭化物微量含む	P1263~1267とSD42との新旧不明
P1249	10	楕円形	27×23	20	1	-	黒色	シルト	地山ブロック微量含む	SK76を切る SD42との新旧不明
P1250	10	不整形	(50)×(48)	31	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量、炭化物少量含む	SK76を切る SD42に切られる
P1251	9~10	楕円形	(37)×(32)	42	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	なし
P1252	10	円形	42×40	47	1	-	黒色	シルト	地山ブロック含む	P1268を切る P1268~1269に切られる SD42との新旧不明
P1253	10	円形	18×17	9	1	-	黒色	シルト	地山ブロック微量含む	SD42との新旧不明
P1254	10	楕円形	(23)×(20)	7	1	-	黒色	シルト	地山ブロック含む	SD42との新旧不明
P1255	10	円形	(15)×(14)	17	1	-	黒色	シルト	地山ブロック微量含む	SD42との新旧不明
P1256	10	楕円形	(22)×(14)	17	1	-	黒色	シルト	地山ブロック微量含む	SD42との新旧不明
P1257	10	円形	(15)×(13)	12	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	SD42との新旧不明
P1258	10	不整形	(33)×(32)	29	1	-	黒色	シルト	地山ブロック含む	SD42との新旧不明
P1259	9	不整形	(20)×(18)	21	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	SD42との新旧不明
P1260	9	不整形	(45)×(38)	14	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	SM168、P1274を切る
P1261	10	楕円形	66×(32)	10	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	P1281に切られる
P1263	6	不整方形	33×27	27	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	なし
P1264	6	楕円形	37×(24)	22	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック微量含む	P1268に切られる
P1265	10	不整楕円形	(25)×(20)	10	1	-	黒色	シルト	地山ブロック含む	なし
P1267	9	円形	15×(12)	10	1	-	黒色	シルト	地山ブロック含む	SD42を切る

ピット 調査表B3

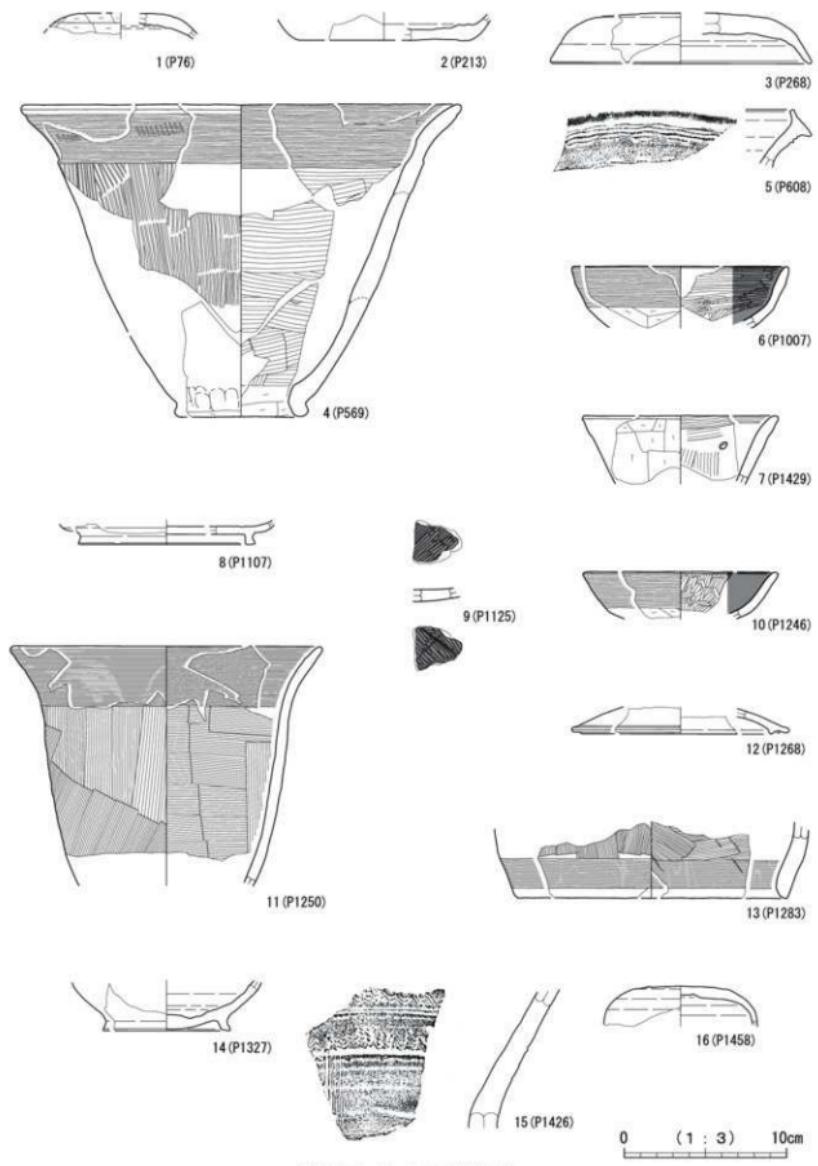
道標名	アリード	平面形	規模(cm)			短辺	土色		土 性	集 稲	重 量
			長軸×短軸	深さ							
P1268	39	不整長方形	(69)×(56)	37		1	10 YR3/2	黒褐色	-	地山ブロック含む	P1031-1050-1252に切られる
						2	10 YR3/4	暗褐色	-	地山ブロック多量、炭化物含む	SD42との境界不明
P1269	10	円形?	(20)×(18)	25	1	-	黒褐色	シルト	-	地山ブロック含む	P1049-1138に切られる
P1270	5	円形?	(68)×(43)	47	1	10 YR3/4	暗褐色	-	炭化物(径約~10 mm)、燒土粒少量含む	SD44-P1121に切られる	
P1271	5	円形	(29)×(29)	23	1	-	黒褐色	シルト	-	地山ブロック少量含む	なし
P1272	5	不整長方形	37×25	13	1	-	暗褐色	シルト	-	地山ブロック多量含む	なし
P1273	5	楕円形	(15)×(8)	10	1	-	黒色	シルト	-	地山ブロック含む	P1047に切られる
P1274	9	不明	(31)×(30)	14	1	-	黒褐色	シルト	-	地山ブロック多量含む	SD42を切る
P1275	9-10	不整形	(22)×(18)	12	1	-	黒色	シルト	-	地山ブロック含む	P1035に切られる
P1276	6	円形	23×21	19	1	-	暗褐色	シルト	-	地山ブロック多量含む	なし
P1277	10	方形	22×20	18	1	-	暗褐色	シルト	-	地山ブロック含む	なし
P1279	16	不整形	44×43	63	1	10 YR2/2	黒褐色	-	炭化物、焼土粒微量含む	なし	
					2	10 YR3/3	暗褐色	-	地山ブロック微量含む		
P1280	4	楕円形	(46)×(29)	20	1	-	暗褐色	シルト	-	炭化物、焼土粒微量含む	P1021に切られる
P1281	4	楕円形	(39)×(29)	39	1	-	暗褐色	シルト	-	地山ブロック含む	SD46との境界不明
P1282	10	不整形	35×(34)	28	1	-	黒褐色	シルト	-	地山ブロック含む	P1281-S100を切る
P1283	10	楕円形	35×(24)	4-明	1	-	黒褐色	シルト	-	レペルなし	P1282-1254, S903を切る
P1284	16	楕円形	73×49	42	1	-	暗褐色	シルト	-	-	P1212に切られる
P1285	4	円形	43×42	40	1	-	暗褐色	シルト	-	-	S99を切る
P1286	10	楕円形	(30)×(21)	24	1	-	黒褐色	シルト	-	-	P1287に切られる
P1287	10	円形	33×30	14	1	-	暗褐色	シルト	-	-	P1286を切る
P1289	10	円形	22×20	8	1	-	-	砂質 シルト	-	-	なし
P1290	6-10	楕円形	34×24	7	1	-	-	砂質 シルト	-	-	なし
P1291	7	円形	47×(36)	10	1	-	-	砂質 シルト	-	-	P1002-603に切られる
P1292	16-17	長方形	(60)×(44)	19	1	-	-	-	-	-	S99を切る
P1293	6	円形	(47)×(47)	23	1	-	-	-	-	-	SD46との境界不明
P1294	6	楕円形	(77)×(53)	26	1	-	-	-	-	-	P1113に切られる
					1	10 YR2/2	黒褐色	シルト	-	-	SD46-19との境界不明
					2	10 YR3/4	暗褐色	シルト	-	-	P1066に切られる
P1295	7	溝丸形	54×41	41		-	-	-	-	-	
					1	10 YR2/2	黒褐色	シルト	-	-	
					2	10 YR3/4	暗褐色	シルト	-	-	
P1296	2	楕円形	55×42	11	1	-	-	-	-	-	なし
P1297	7	楕円形	(21)×(20)	15	1	-	-	-	-	-	なし
P1298	7	不整長方形	44×(34)	26	1	-	-	-	-	-	P1003に切られる
P1299	16	楕円形	(32)×27	37	1	-	-	-	-	-	SD42, SI115 Aを切る
P1300	16	円形	30×29	19	1	-	-	-	-	-	P1277に切られる
P1301	16	楕円形	(41)×(35)	35	1	-	黒色	シルト	-	-	SD42を切る
P1302	12	円形	37×34	15	1	-	黒色	シルト	-	-	SD42との境界不明
P1303	12	不明	(58)×(35)	15	1	-	黒色	シルト	-	-	SD43を切る
P1304	10	楕円形	57×(32)	48	1	10 YR2/2	黒褐色	シルト	-	地山ブロック微量含む	なし
					2	10 YR2/3	黒褐色	シルト	-	地山ブロック微量含む	
P1305	15	楕円形	39×30	21	1	-	暗褐色	シルト	-	地山ブロック含む	なし
P1306	16	不明	(33)×(22)	40	1	-	黒色	シルト	-	-	SD42との境界不明
P1307	7-11	楕円形	(23)×(20)	13	1	-	暗褐色	シルト	-	-	なし
P1309	16	不明	(38)×(22)	30	1	-	黒色	シルト	-	-	SI115 Aを切る SD42との境界不明
P1311	16	不明	(43)×(23)	19	1	-	黒色	シルト	-	-	SD42との境界不明
P1312	15	円形	20×19	16	1	-	暗褐色	シルト	-	地山ブロック少量含む	なし
P1313	5	円形	(42)×(37)	25	1	-	黒褐色	シルト	-	-	SD46との境界不明
P1314	30	方形	19×17	10	1	-	黒褐色	シルト	-	地山ブロック含む	なし
P1315	10	円形	51×50	11	1	-	暗褐色	砂質 シルト	-	地山ブロック多量含む	P1006に切られる
P1316	10	方形?	(26)×(26)	31	1	-	黒褐色	シルト	-	地山ブロック含む	P1028を切る
P1317	10-15	方形	(22)×(22)	32	1	-	暗褐色	シルト	-	地山ブロック含む	なし
P1318	9	方形	(23)×(20)	13	1	-	暗褐色	シルト	-	地山ブロック多量含む	なし
P1321	12	楕円形	(61)×49	18	1	-	暗褐色	シルト	-	地山ブロック多量含む	S99-117を切る P1140に切られる
P1322	12	楕円形	(56)×(45)	25	1	-	黒褐色	シルト	-	地山ブロック含む	P1140に切られる

ピット 調査表24

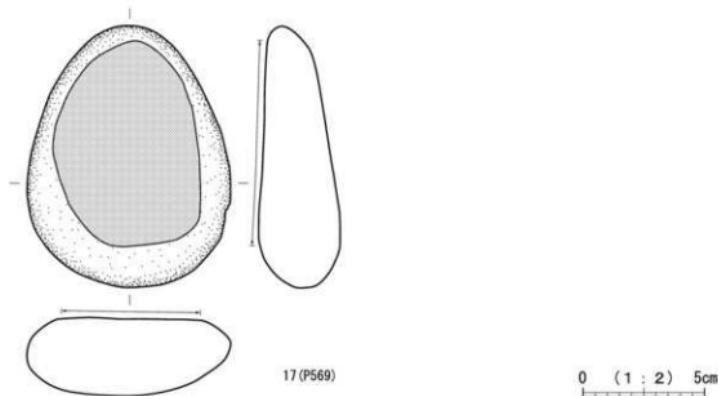
道県名	グリフ	平面形	面積(cm ²)		層位	土色	土性	備考	東 葉
			長軸x短軸	辺S					
P1323	12	円形	(40)×(37)	23	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック多量、炭化物少量、焼土粒少量含む PSH1に切られる
P1324	12	楕円形	(50)×(42)	44	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック多量、炭化物、焼土粒少量含む なし
P1325	8	円形	50×47	44	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック多量含む なし
P1326	39	方形	14×14	6	1	-	褐色	シルト	地山ブロック多量含む なし
P1327	21	楕丸形	37×49	46	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック多量、炭化物、焼土粒少量含む なし
P1328	17	不整形形	(40)×(43)	23	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック多量、炭化物、焼土粒少量含む なし
P1330	12	楕円形	31×23	15	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック多量含む なし
P1331	2	円形	32×31	10	1	10YR1.7-1	黒色	-	地山ブロック微量含む SF1 ABを切る
					2	10YR5-4	にが・黄褐色	-	黒色・ブロッカ微量含む
P1332	16-21	楕円形	18×14	36	1	-	黒色	シルト	地山ブロック多量 SDM2との新旧不明
P1333	21	楕円形	(30)×(24)	15	1	-	黒色	シルト	地山ブロック多量 SDM2との新旧不明
P1334	21	円形	(19)×(19)	2	1	-	黒色	シルト	地山ブロック含む PSH1を切る SDM2との新旧不明
P1335	21	楕円形	(27)×(17)	15	1	-	黒色	シルト	地山ブロック含む SDM2との新旧不明
P1337	21	楕円形	(20)×(15)	4	1	-	黒色	シルト	地山ブロック含む SDA2との新旧不明
P1338	15	楕丸形	36×37	49	1	10 YR4-3	にが・黄褐色	シルト	10YR3-2暗褐色シルトブロック少量含む SH09に切る
					2	10YR3-4	-	10YR5-6黄褐色シルトブロック含む	
P1339	15	円形	19×19	17	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック微量含む SH09に切る
P1340	15	円形	29×27	32	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック多量 SM17, S38を切る
P1342	12	不整形形	14×13	3	1	-	黒色	シルト	地山ブロック多量含む SDG2との新旧不明
P1343	8	楕円形	(44)×(28)	12	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック(5~10mm)含む SD42/55, S83-107を切る
P1344	8	楕円形	(43)×(27)	36	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む SD42/55を切る
P1345	8	不整長方形	(70)×(57)	18	1	2.5Y3/3	暗褐-7-褐色	シルト	地山ブロック多量含む SD07を切る SDC9に切られる
P1347	16	方形?	(17)×(17)	不明	-	-	-	-	P47, S29を切る
P1348	17	不整形	26×23	不明	-	-	-	-	SD9を切る SD42との新旧不明
P1349	5	不整短円形	46×39	39	1	-	黒色	砂質 シルト	- PS6を切る
P1350	3	楕円形	28×20	8	1	-	暗褐色	シルト	- なし
P1351	22	楕円形	(50)×(30)	40	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック、炭化物微量含む SDP7を切る SM126に切られる
P1352	21	円形	19×18	26	1	-	黒色	シルト	地山ブロック微量含む なし
P1353	17	楕円形	41×31	20	1	-	黒色	シルト	地山ブロック含む SDM2/55を切る
P1354	19	方形?	67×64	27	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック、炭化物少量含む SD9を切る P21+28+12Gに切られる
P1355	16-21	不明	-	56	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック、暗褐色シルトブロック含む PSH1を切る
					1	10YR3/2	黒褐色	砂質 シルト	10YR3-3暗褐色シルトブロック、 10YR4-6褐色色質シルトブロック含む
					2	10YR3-3	暗褐色	シルト	10YR3-2黒褐色シルトブロック、 10YR4-6褐色色質シルトブロック含む
					3	10YR3-2	黒褐色	シルト	10YR3-3暗褐色シルトブロック、 10YR4-6褐色色質シルトブロック含む
P1356	19-11-15	方形?	74×60	57	4	10 YR4-4	褐色	砂質 シルト	10YR4-1褐色色シルトブロック、 10YR4-6褐色色質シルトブロック含む PSH1に切られる P1357に切られる
					5	10YR3/2	黒褐色	シルト	10YR3-2黒褐色シルトブロック、 10YR4-6褐色色質シルトブロック含む
					6	10YR3/3	暗褐色	シルト	10YR3-4褐色色質シルトブロック含む PSH1に切れる
P1357	19-11	不整形	45×25	29	1	10 YR3-2	黒褐色	シルト	- S80-115Aを切る P1356を切る
P1358	11	円形	24×24	18	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック多量、炭化物、焼土粒微量含む SH13を切る
P1359	11	不整形形	(22)×(17)	24	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック、炭化物微量含む SH13を切る
P1360	11	楕円形	32×28	31	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック、焼土ブロック微量含む SH13を切る
P1361	11	楕丸形	35×33	19	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む SH13を切る
P1362	1	楕円形	32×20	18	1	-	黒褐色	砂質 シルト	地山ブロック含む なし
P1363	22	楕円形	(38)×(23)	38	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック微量含む S80を切る P29G1切られる
P1367	25	楕円形	30×23	43	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック多量、炭化物少量含む S80を切る
P1368	7	楕円形	65×45	18	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック微量、炭化物微量含む SD9 AB-114を切る
P1369	34	円形	21×20	20	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック微量含む なし
P1370	29	楕円形	(43)×(23)	28	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック微量含む S86を切る
P1371	29	円形	(26)×(25)	23	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック微量、黒褐色シルトブロック少量含む SM17, S39を切る
P1372	29	楕円形	(29)×(20)	11	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック微量含む SM17, S31を切る
P1373	29	楕円形	(28)×(21)	20	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック微量含む SM17, S33を切る
P1374	29	不明	(36)×(33)	18	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック微量含む SH12を切る
P1375	17	楕円形	28×23	6	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック微量含む なし
P1376	8	不整形	(37)×(33)	9	1	-	暗褐色	砂質 シルト	地山砂質シルトブロック含む SD42, SH07を切る
P1377	11	楕円形	45×34	21	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む SH17を切る

ピット 調査表05

遺構名	グリッド	平面形	規模(cm)		層位	土色		土性	備考	重複
			長軸×短軸	深さ						
P1378	14	円形	(41)×(40)	12	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	SD91を切る
P1380	25	楕円形	(32)×(27)	48	1	-	褐灰色	シルト	地山ブロック少量含む	なし
P1381	25	楕円形	(29)×(25)	34	1	-	褐灰色	シルト	地山ブロック少量含む	SK74を切る
P1385	26-31	楕円形	51×45	17	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック微量含む	P1390を切る SD42との重複不明
P1386	36	円形	20×19	15	1	-	暗褐色	シルト	-	なし
P1387	36	不整形	27×23	21	1	-	暗褐色	シルト	-	P1388を切る
P1388	36	不整形	(48)×(48)	34	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	SD109を切る P774に切られる
P1389	36	不整形	53×(49)	34	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	SD63を切る
P1390	26-31	廣丸長方形	(85)×(52)	25	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック、炭化物含む	P1385に切られる
P1391	31	不整形円形	(43)×(28)	69	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量含む	SD100-127-128を切る SD42との重複不明
P1392	29	円形	22×19	10	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック微量含む	なし
P1393	29	円形	21×13	21	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	SD96を切る
P1394	31	不整形円形	22×19	29	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量含む	SD122を切る
P1397	36	楕円形	(25)×(16)	18	1	-	褐灰色	シルト	-	SD99を切る
P1400	8-12	円形	(24)×(21)	7	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	なし
P1401	31	不整形	(45)×(42)	9	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量含む	P774に切られる
P1403	36	不整形	(31)×(26)	20	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量含む	SD100を切る
P1404	22	円形	27×24	9	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	SD103AHを切る
P1405	31	長方形	47×40	38	1	-	1 10YR3-4	暗褐色	シルト	地山ブロック少量含む
					2 10YR3-3	-	暗褐色	シルト	地山ブロック少量含む、炭化物、焼土粒微量含む	なし
					3 10YR3-2	-	黒褐色	シルト	地山ブロック、炭化物少量含む	-
					4 10YR3-4	-	暗褐色	シルト	地山ブロック多量含む	-
					1 黒褐色	-	シルト	地山ブロック含む	-	なし
P1406	31	円形	21×20	17	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック含む	P16-659に切られる
P1408	31	円形	(22)×23	32	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック少量含む	P16-659に切られる
P1409	26	円形	28×26	22	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック多量含む	SD68を切る
P1411	8	円形	(22)×(20)	4-明	-	-	-	-	-	SD97を切る
P1413	11	不整長方形	(54)×34	51	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック少量含む	P1414・SI115Aを切る
P1414	11	不整長円形	30×29	10	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック微量含む	SI115 Aを切る P1413に切られる
P1415	25	円形	20×20	8	1	-	-	-	-	SI18を切る
P1416	37	円形?	(27)×(19)	9	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	P1417・SI06を切る
P1417	37	楕円形?	(26)×(25)	9	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	SD66を切る P1416に切られる
P1418	6	円形	(20)×(20)	13	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック含む	SD49との重複不明
P1419	40-51	楕円形	35×23	35	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	SD42・SI20を切る
					1 10YR2-2	-	黒褐色	シルト	10YR6.5-8黄褐色シルトブロック少量含む	-
					2 10YR3-2	-	黒褐色	シルト	10YR5.5-6黄褐色シルトブロック少量、炭化物、焼土粒微量含む	-
P1426	21	不整長方形	84×61	44	3 10YR3-2	-	黒褐色	シルト	10YR5.5-6黄褐色シルトブロック多量、炭化物、焼土粒微量含む	SD42との重複不明
					4 10YR2-2	-	黒褐色	シルト	10YR4.5-6黄褐色シルトブロック微量含む	-
					5 10YR3-4	-	暗褐色	シルト	地山ブロック微量含む、砂質強	-
					10YR6.5-8黄褐色シルトブロック少量含む	-	-	-	-	-
					2 10YR3-2	-	黒褐色	シルト	10YR5.5-6黄褐色シルトブロック少量、炭化物、焼土粒微量含む	-
P1429	27	楕円形	29×24	16	1	-	黒褐色	-	地山ブロック少量含む	SD68を切る
P1430	36	楕円形	(22)×(15)	32	1	-	黑色	-	地山ブロック少量含む	P1431を切る P374に切れる SD42との重複不明
P1431	26	不整形	(48)×(46)	15	1	-	黑色	-	地山ブロック少量含む	P1430に切られる
P1432	26	不明	(62)×(60)	10	1	-	-	-	-	SD42との重複不明
P1433	38	満丸長方形	39×33	28	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック少量含む	なし
P1434	3	楕円形	(30)×(24)	19	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック少量含む	なし
					1 10YR3-1	-	黒褐色	シルト	明黄色褐色ブロック少量、炭化物、焼土粒微量含む	-
P1435	16	楕円形	30×27	19	2 10YR3-4	-	暗褐色	シルト	炭化物、焼土粒微量含む	SI115 AB, SD63を切る
					3 10YR2-3	-	黒褐色	シルト	炭化物、焼土粒微量含む	-
					1 10YR3-3	-	暗褐色	シルト	黄褐色ブロック、炭化物(径5mm)少量含む	-
					2 10YR2-2	-	黒褐色	シルト	黄褐色ブロック微量含む	-
					3 10YR3-2	-	黒褐色	シルト	燒土粒微量含む	-
P1436	35	満丸長方形	(38)×(32)	20	4 2.5YR5-3	-	黃褐色	シルト	褐色土ブロック含む	SD60に切られる
					1 10YR3-3	-	暗褐色	シルト	地山ブロック微量含む	-
					2 10YR2-2	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	-
					3 10YR3-2	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	-
					4 2.5YR5-3	-	黃褐色	シルト	褐色土ブロック含む	-
P1449	6	楕円形	49×(25)	13	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック、炭化物微量含む	なし
P1450	37	方形	27×25	31	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロック少量含む	なし
P1458	11	円形	(36)×(31)	21	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロック微量含む	SI115 Aを切る



第53図 ピット出土遺物(1)



17(P569)

0 (1 : 2) 5cm

図版 番号	登録番号	出土遺構	層位	種類	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調査	内面調査	備考	写真 図版
1	E-020	P20	堆積土	須恵器	蓋	(8.1) × (1.6)	ロクロ調整・底端手持ちハラケズリ	ロクロ調整		69
2	E-021	P21.3	堆積土	須恵器	环	×(10.4) × (1.7)	ロクロ調整・底部斜軸ハラケズリ	ロクロ調整		69
3	E-022	P20.4	堆積土	須恵器	蓋	(16.0) × (3.1)	ロクロ調整	ロクロ調整		69
4	C-037	P50.9	1層	土陶器	瓶	(27.0) × (7.8) × 19.2	口縁部ハラメ→ヨコナギ、側面ハナメ、底部付近 斜ササギ	口縁部ヨコナギ、側面ハナメ、孔開 込ヘタズリ		69
5	E-023	P60.8	堆積土	須恵器	束	× (3.6)	ロクロ調整、側縁波状紋	ロクロ調整		69
6	C-038	P100.7	堆積土	土陶器	环	(13.4) × (3.8)	口縁部・体部ヨコナギ、体部下端ヘタズリ	口縁部・体部ヘタシガキ	内面黒色処理	69
7	C-039	P102.9	堆積土	土陶器	瓶	(11.8) × (4.2)	口縁部・側面ヘタズリ	口縁部ヨコナギ、側面ヘタナギ	糊紙	69
8	E-024	P110.7	堆積土	須恵器	高台环	× (10.8) × (1.5)	ロクロ調整、底部斜軸ハラケズリ→貼付高台	ロクロ調整	高台	69
9	C-040	P112.5	堆積土	土陶器	环	× (9.9)	ヘタシガキ	ヘタシガキ	内面黒色処理、 底部×1削り	69
10	C-041	P124.6	堆積土	土陶器	环	(12.0) × (2.9)	口縁部ヨコナギ、体部ヘタズリ	口縁部・底部ヘタシガキ	内面黒色処理	69
11	C-042	P125.0	堆積土	土陶器	束	(18.8) × (14.8)	口縁部ヨコナギ、側面ヘタナギ、側縁 波状紋	口縁部ヨコナギ、側面ヘタナギ		69
12	E-025	P126.8	堆積土	須恵器	盖	(13.4) × (1.7)	ロクロ調整	ロクロ調整、カヌリ有		69
13	C-043	P126.3	堆積土	土陶器	瓶	× (16.0) × (4.7)	側面ハナメ、孔開込ヨコナギ→ナゲ	側面ハナメ、孔開込ヨコナギ→ナゲ		69
14	E-026	P132.7	堆積土	須恵器	束	× 7.8 × (3.1)	ロクロ調整、底部斜軸ハラケズリ→貼付高台	ロクロ調整	高台	69
15	E-027	P143.6	堆積土	須恵器	束	× × (8.5)	ロクロ調整、側縁波状紋	ロクロ調整	外縁は輪沿と同一 工具と想われる痕 跡波状	69
16	E-028	P145.8	堆積土	須恵器	蓋	× × (2.5)	ロクロ調整、天井部斜軸ハラケズリ	ロクロ調整	外面白目地	69
17	Kd-032	P569	1層	石製品	砥石	10.8 × 8.3 × 3.3	10.8 × 8.3 × 3.3	421.22	安山岩 定形品、自然縫、板状、無孔、自然面あり	69

第54図 ピット出土遺物(2)

2. 古代の遺構と遺物

本項では、古代下面遺構として調査したものについて報告する。遺構内出土遺物を概観すると、既に報告書が刊行されている3B区南側の3A区(1・2次調査: 第324集)および北側の4区(4次調査、第315集)の成果と同様に、最古段階のものとして住社式間に属すると考えられるものが一部に認められるものの、概ね7世紀半ばから8世紀代に帰属するものと考えられる。この年代幅は、本遺跡の東側に隣接する郡山遺跡に官衙が造営されてから、終焉を迎えるまでの年代幅と概ね合致する。

また、3B区内からは竪穴住居跡をはじめとする多くの遺構が密集する状況で検出された。後述する各遺構についてもまた、1・2次調査および4次調査の成果と同様の特徴が認められるとともに、郡山遺跡での官衙造営の影響を感じさせるものが多い。

検出された遺構は、竪穴住居跡68軒(建て替えたものを含む)、掘立柱建物跡5棟、土坑18基、材木列5列(一本柱列4列を含む)、溝跡7条(SD66区画溝跡を含む)、ビット17基、性格不明遺構1基を数える。

(1) 竪穴住居跡(第55～223図)

竪穴住居跡は調査区全域から検出された。建て替えたものも含み、密集する状況を呈している。竪穴住居跡同士の重複関係から、最大6期の変遷が確認された。

平面形は、大部分が方形ないしは隅丸方形を呈しており、これに長方形を呈するものが少数混じる。上部構造は4本の主柱穴を有するものが殆どであるが、これに壁柱穴や棟持柱を伴うものが数軒確認された。

カマドについては、殆どが住居北半に付設される。カマド自体が壁面の外側に張り出して構築されているものが1例(SI87)確認された他は、すべて壁面の内側に構築され、カマド燃焼部は上記SI87を除き、すべて壁面内側に構築されている。煙道部の長さについては重複や搅乱の影響もあり判然としないものの、残存状況の良好なものを見る限りでは、多くは1.5m前後を測るものと考えられる。また、煙道部の底面は煙出しに向かって上していくもの、ほぼ水平となるもの、下っていくものの三者が認められたほか、煙道部の底面や煙出し部分に、ビット状の落ち込みが構築されるものも確認された。

床面から検出された付属施設については、周溝や柱穴の他に、間仕切り溝と考えられるものや、検出位置や堆積土・出土遺物等から、貯蔵穴や「灰溜め」的機能を有すると考えられるビットや土坑がある。

文中において、床面で検出した遺構については土坑・ビットとし、SK-Pの略号を付した。ビットと土坑の区別は明確ではなく、比較的規模の大きいものを土坑、柱穴と思われるものや小穴をビットとしている。

なお、3B区南側の3A区(第1・2次調査)、同じく北側の4区(第4次調査)にかかる遺構については、部分的ではあるが既に報告されているものがある。それらについては、その都度所取シリーズ番号(第1・2次調査: 第324集、第4次調査: 第315集)を記載した。そちらも併せて参照されたい。

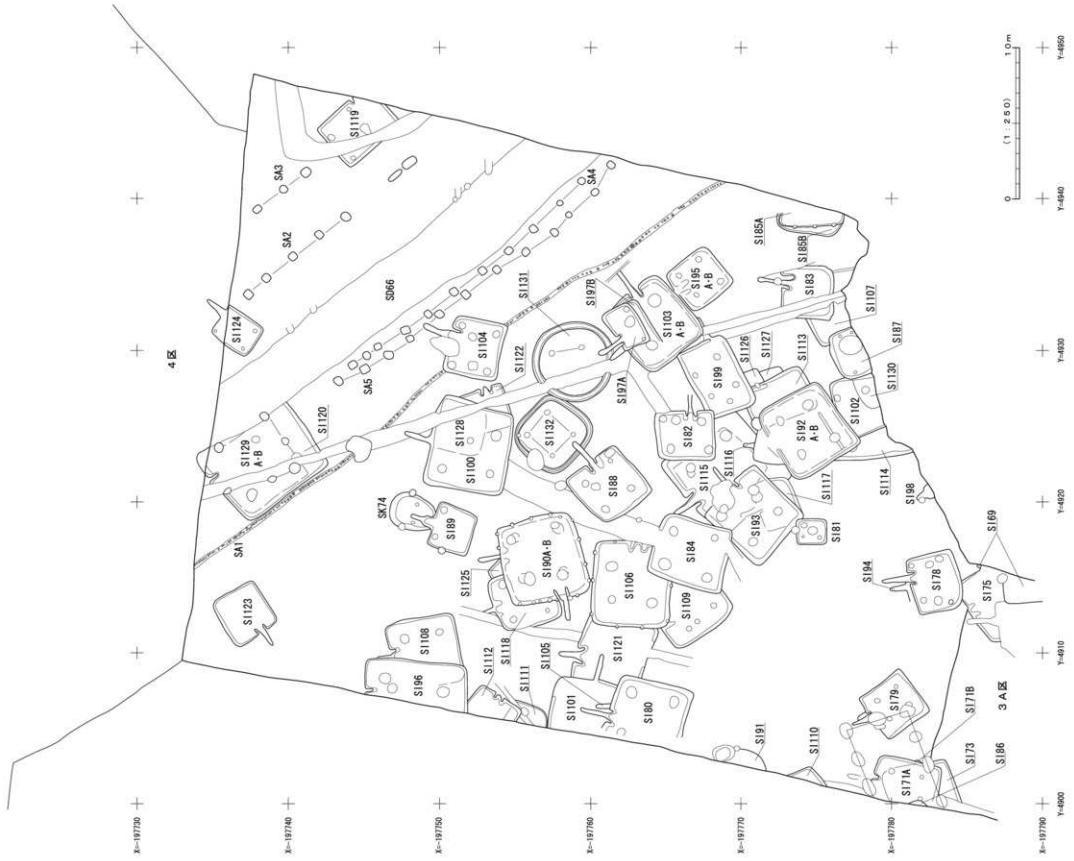
SI69 竪穴住居跡(第56図)

【位置・確認】 3B区南側境界、3グリッドに位置する。本遺構の煙出し部と考えられる落ち込みのみを検出した。南側3A区からは、本遺構の西側半分が検出され、報告されている(第324集所収)。したがって、ここでは煙出し部分についてのみの記載とする。

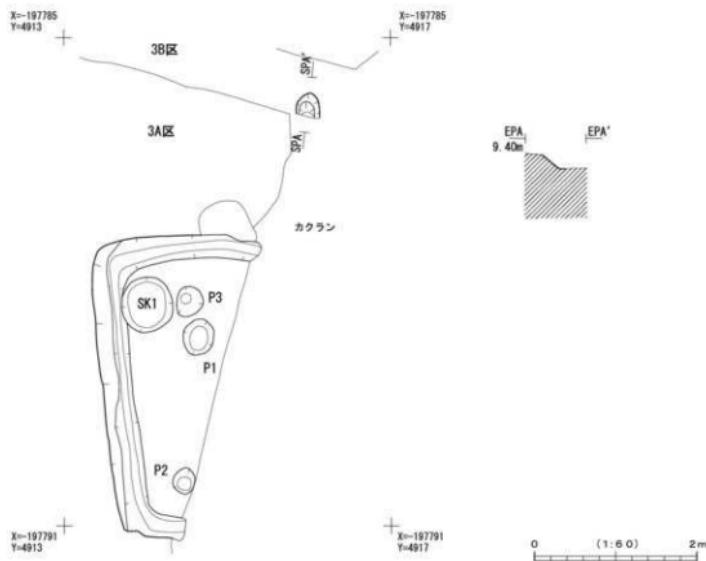
【規模・形態】 煙道部と考えられた落ち込みの規模は32×30cmのほぼ円形で、確認面から底面までの深さは14cmを測り、底面は平坦である。

【方向】 検出した部分が狭小なため判然としないが、概ねN・7°・Eである。

【出土遺物】 掲載した遺物は無い。



第55図 穴住居跡配置図



第56図 SI69豊穴住居跡

SI71A 豊穴住居跡(第57・58図)

【位置・確認】3B区南西端、1・2・5グリッドに位置する。煙出し部分のみを検出した。南側の一部は3A区(第324集所収)に跨るが、大部分が3B区から検出されている。

【重複】本住居跡は後述するSI71B建て替え後の豊穴住居跡と考えられる。後世の擾乱により、カマドの一部と煙道のはば半分が失われているほか、住居西側の一部がSI86に、東壁とカマドの一部がSB6に切られ、SI73を切る。また、西側約1/3は調査区西側にかかる。

【規模・形態】壁全体が検出されたのは東壁のみである。規模は一辺約4.4mを測り、平面形状は隅丸方形を呈するものと考えられる。

【方向】住居跡の南北軸は、カマド基準でN-13°-Eである。

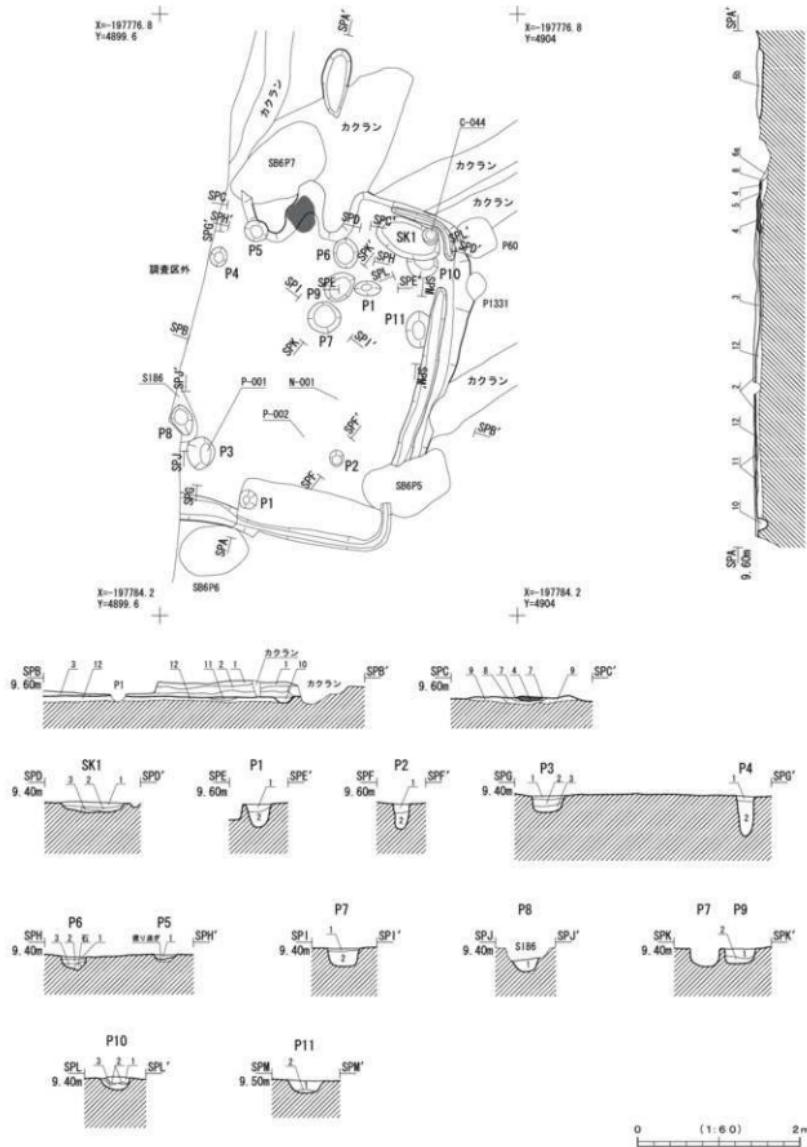
【堆積土・構築土】12層に分層した。1～3層は住居堆積土で、暗褐色砂質シルトを主体とし、地山ブロックや炭化物を微量に含む。4～9層はカマド関連層位で、4層は火床面、9層は袖構築土である。10層は周溝堆積土、11・12層は掘り方堆積土である。

【壁面】直立気味に立ち上がる。残存する壁高は、いずれも15cm前後を測る。

【床面】11・12層上面を床面とする。住居中央部に若干の起伏が認められるものの、ほぼ平坦である。

【柱穴】住居西側は調査区外であるが、配置、形状、規模からみて、P1～4が主柱穴と考えられる。P3のみ形状や規模がやや異なることから、北西に近接するP8が主柱穴となる可能性がある。柱穴上端径は20～40cm、深さは20～40cm前後と様々であるものの、柱間寸法は南北が約2.1m、東西が約1.8mである。

【周溝】カマド付近と東壁北側で一部途切れるものの、残存する壁はほぼ全周する周溝を検出した。住居の北東コ



第57図 SI 71 A 竪穴住居跡

S71A 地盤土柱記表

部位	層位	土色	土性	備考
堆積土	1	10YR3-3	暗褐色	砂質シルト 地山ブロック、炭化物微量含む
	2	10YR3-3	暗褐色	砂質シルト 炭化物(径2~5mm)少量、地山ブロック微量含む
	3	10YR3-1	黑褐色	地山ブロック、炭化物微量含む
カマド	4	10YR3-4	暗褐色	砂質シルト 燒土ブロック多量、炭化物微量含む(火床面)
	5	10YR5-1	暗褐色	シルト
	6a	10YR3-2	黑褐色	地山ブロック、炭化物、燒土粒少量含む(煙道)
	6b	10YR4-4	褐色	砂質シルト 炭化物微量含む(煙道)
	7	10YR2-3	黑褐色	シルト 炭化物、燒土粒微量含む(カマド側り方)
	8	10YR3-4	暗褐色	砂質シルト 炭化物、燒土粒微量含む(カマド側り方)
周溝	9	10YR4-4	褐色	砂質シルト 炭化物、燒土粒微量含む(カマド鍋)
	10	10YR3-4	暗褐色	砂質シルト 炭化物微量含む
側の方	11	10YR8-3	浅黃褐色	砂質シルト 炭化物、高分離離合む
	12	10YR3-2	黑褐色	砂質シルト 炭化物、燒土粒微量含む

S71A 施設堆積土柱記表

部位	層位	土色	土性	備考
SKI	1	10YR3-3	暗褐色	砂質シルト 炭化物、地山ブロック微量含む
	2	10YR3-4	暗褐色	砂質シルト 10YR5-4(2.5cm) 黃褐色ブロック多量含む
	3	10YR2-2	黑褐色	砂質シルト 炭化物多量、燒土粒微量含む
P1	1	10YR3-3	暗褐色	砂質シルト 炭化物微量含む
	2	10YR3-3	暗褐色	砂質 炭化物、燒土粒少含む
P2	1	10YR3-3	暗褐色	砂質シルト 炭化物微量含む
	2	10YR3-3	暗褐色	砂質 炭化物、燒土粒少含む
P3	1	10YR3-3	暗褐色	砂質シルト 炭化物微量含む
	2	10YR3-3	暗褐色	砂質 炭化物、燒土粒少含む
	3	10YR3-4	暗褐色	砂質 地山ブロック少量、炭化物微量含む
P4	1	10YR3-3	暗褐色	砂質シルト 炭化物微量含む
	2	10YR3-3	暗褐色	砂質 炭化物、燒土粒少含む
P5	1	10YR3-4	暗褐色	砂質シルト 炭化物多量、燒土粒ブロック微量含む
P6	1	10YR3-4	暗褐色	シルト 炭化物、燒土粒、地山ブロック少量含む
	2	10YR3-3	暗褐色	砂質シルト 炭化物微量含む
	3	10YR1-6	褐色	シルト 炭化物微量含む
P7	1	10YR3-4	暗褐色	砂質シルト 炭化物、燒土粒微量含む
	2	10YR3-3	暗褐色	砂質 炭化物、燒土粒少含む
P8	1	10YR3-1	黑褐色	砂質シルト 炭化物微量含む
P9	1	10YR2-3	黑褐色	砂質シルト 地土粒(径5~20mm)少量、地山ブロック、炭化物微量含む
	2	10YR5-4	にい(黄褐色)	砂質シルト 炭化物、燒土粒微量含む
P10	1	10YR3-3	暗褐色	砂質シルト 褐灰色土粒、炭化物(径2~5mm)、燒土粒微量含む
	2	10YR5-1	暗褐色	砂質シルト 炭化物、燒土粒微量含む
	3	10YR2-3	黑褐色	砂質シルト 炭化物(径2~10mm)少量含む
P11	1	10YR3-4	暗褐色	砂質シルト 地山ブロック、炭化物、燒土粒少量含む
	2	10YR2-3	黑褐色	炭化物多量、燒土粒微量含む

S71A 施設懸垂表

造機名	平面形	幅員(cm)	深さ(cm)	備考
SKI	扇円形	87×42	32	
P1	扇円形	32×18	30	
P2	円形	18×18	32	
P3	円形	(40)×24	22	
P4	円形	24×23	47	
P5	円形	30×25	8	

造機名	平面形	幅員(cm)	深さ(cm)	備考
P6	円形	36×30	16	
P7	円形	40×40	23	
P8	円形	38×26	22	
P9	円形	40×35	23	
P10	円形	30×30(30)	20	
P11	扇円形	44×(32)	17	

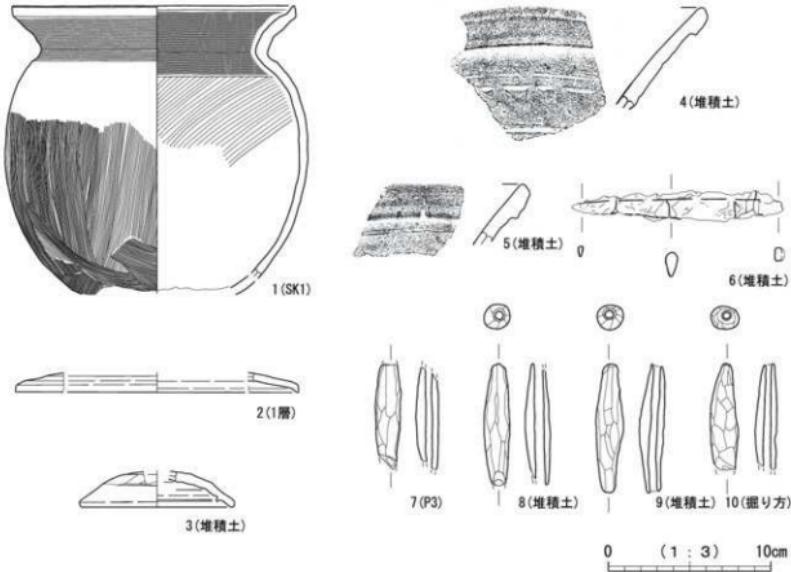
ナおよび南側では壁直下から、東側では壁のやや内側から検出した。幅12~35cm、深さ8~14cmを測り、断面形状はU字形ないし逆台形を呈する。

【カマド】北壁中央で検出した。カマドから煙道部にかけては搅乱により失われているが、両袖部はほぼ直線的に延び、壁面からの長さは確認した部分で66cm、高さは10cmを測る。燃焼部は幅29cm、奥行き25cmを測り、ほぼ中央から西側袖にかけて46×34cmを測る被熱の痕跡が認められた。煙道部は検出長78cm、幅33cm、深さ11cmを測り、底面はほぼ平坦で、煙出し部は崖まさに立ち上がる。

【その他の施設】土坑1基、SK1堆積土は炭化物を含む暗褐色土を主体とする。規模や位置関係から、貯蔵穴の機能を有する施設と考えられる。

【掘り方】周溝底面より若干浅く、底面はほぼ平坦である。

【出土遺物】土師器壺1点、須恵器蓋2点、壺2点、刀子1点、土鍤4点を掲載した。掲載した遺物は堆積土から出土したものが多い。第58図-1は底部を欠損する土師器壺で、SK1から直立の状態で出土した。同図-6は把手部を欠損する刀子である。土鍤4点(第58図7~10)は、いずれもほぼ同一の法量を有する。



国版 番号	登録番号	出土遺物	層位	種 别	器 形	L径×W径×H高(cm)	外 面 調 整	内 面 調 整	備 考	写真 回数
1	C-044	SI71A	SK1	土師器	壺	17.2××(17.7)	口縁部コナデ、胴部ハケメ	口縁部コナデ、胴部ハナデ		70
2	E-029	SI71A	1層	須恵器	蓋	(17.4)××(12.1)	ロクロ調整	ロクロ調整		70
3	E-030	SI71A	堆積土	須恵器	蓋	(9.5)××(2.1)	ロクロ調整→回転ヘラタケリ	ロクロ調整→ヘラタケリ、カエリ有	外面自然地	70
4	E-032	SI71A	堆積土	須恵器	壺	××(8.2)	ロクロ調整、孔眼(鉢底3条)、輪筋痕状文	ロクロ調整	内外面自然地	70
5	E-033	SI71A	堆積土	須恵器	壺	××(4.8)	ロクロ調整、輪筋痕状文	ロクロ調整	内面(唇部)自然地	70

国版 番号	登録番号	出土遺物	層位	種 別	器 形	備 考	写真 回数	
6	N-001	SI71A	埋土	瓦製品	刀子	刀形、残存長13.0、幅2.0、厚0.9cm		70

国版 番号	登録番号	出土遺物	層位	種 別	器 形	長さ×幅×厚さ(cm)	重さ(g)	備 考	写真 回数
7	P-001	SI71A	P3	土製品	土鍤	(6.0)×(1.5)×(0.4)	12.5g	ナゲ	70
8	P-002	SI71A	堆積土	土製品	土鍤	7.5×(1.6)×(0.5)	14.4g	ナゲ	70
9	P-003	SI71A	堆積土	土製品	土鍤	7.9×(1.7)×(0.5)	14.8g	ナゲ	70
10	P-004	SI71A	掘り方	土製品	土鍤	(6.5)×(1.7)×(0.4)	12.8g	ナゲ	70

第58図 SI71A 積穴住居跡出土遺物

SI71B 穫穴住居跡(第59図)

【位置・確認】3B区南側、2・5グリッドに位置する。SI71A掘り方掘削中に周溝とピット、東壁からカマドと考えられる施設のみを検出した。これをSI71A前段階の住居跡と考え、SI71Bとした。

【重複】SI71A、SB6に切られ、SI73を切る。

【規模・形態】検出した部分で北壁1.6m、東壁3.0mで、形態は隅丸方形を呈するものと思われる。

【堆積土・構築土】住居堆積土ではなくカマド関連層位を1～10層に分層した。暗褐色砂質シルトを主体とし、炭化物を含む。5・6層はカマド袖に相当する。

【方向】住居跡の南北軸は、東辺基準でN-15°-Eである。

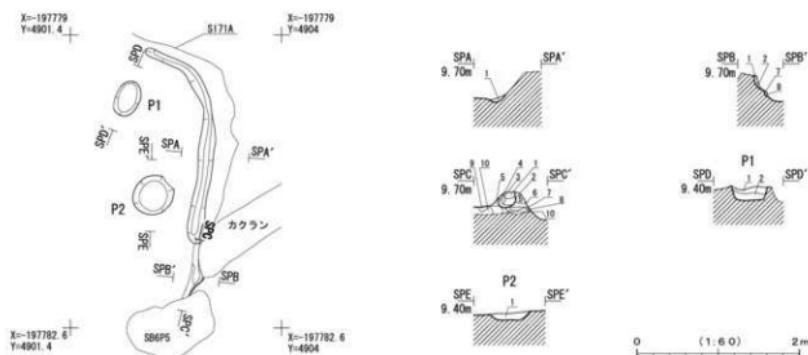
【壁面】壁は北壁から東壁にかけて緩く外傾する。壁高は31cmを測る。

【周溝】北壁から東壁にかけて検出した。幅10～24cm、深さ5～8cmを測り、断面形状はU字状を呈する。

【カマド】東壁に付設されるが、建て替えの際に大きく破壊されていることや擾乱の影響で、残存状況は悪い。5・6層は袖構築土である。

【他の施設】ピット2基を検出した。

【出土遺物】掲載した遺物は無い。



SI71B 堆積土跡記表

部位	層位	土色	土性	備考
カマド	1	5YR3/3	暗赤褐色	シルト 地山ブロック少量、炭化物(粒1～2mm)、燒土微量含む
	2	5YR2/1	黒褐色	シルト 炭化物多量、5YR8/4(淡褐色)地土ブロック(粒5～10mm)少量含む
	3	10YR5/4	12.5cm 黄褐色	-
	4	2.5YR4/6	赤褐色	シルト 炭化物少量含む
	5	10YR3/3	暗褐色	砂質シルト 炭化物微量含む カマド袖
	6	10YR3/4	暗褐色	砂質シルト 炭化物微量含む カマド袖
窓の方	7	10YR3/2	暗褐色	砂質シルト 炭化物多量、焼土微量含む
	8	10YR3/4	暗褐色	砂質シルト 炭化物微量含む
	9	7.5YR2/1	黒褐色	砂質シルト 10YR7(3cm) 黄褐色ブロック少量、炭化物(径2mm)微量含む
	10	7.5YR4/2	灰褐色	砂質シルト 7.5YR7(4cm) 淡褐色ブロック少量、炭化物(径2～3mm)微量含む
周溝	11	10YR3/3	暗褐色	- 明黄褐色土粒少量、炭化物微量含む

SI71B 施設堆積土跡記表

部位	層位	土色	土性	備考
P1	1	10YR3/3	暗褐色	砂質シルト 地山ブロック少量、炭化物微量含む
	2	10YR3/2	暗褐色	砂質シルト 炭化物、燒土微量含む
P2	1	10YR3/4	暗褐色	シルト 地山ブロック少量、炭化物微量含む

SI71B 施設部記表

施設名	平面形	幅員(cm)	深さ(cm)	備考
P1	円形	44×30	19	P2

第59図 SI71B 穫穴住居跡

SI73 壁穴住居跡(第60・61図)

【位置・確認】3B区南西端、1・2・5グリッドに位置する。SI71A・Bの調査終了後、さらに住居全体の1/2程度の周溝プランを確認した。

【重複】SI71A・B、SB6に切られる。壁穴住居跡同士の重複関係からみると、本遺構は最古段階に属するもの一つと考えられる。西側約1/2は調査区西壁にかかり、南側の一部は3A区(第324集所取)に入っている。

【規模・形態】検出した規模は、3A区分を含め、東辺4.3m、北辺1.13m、南辺3.32mを測り、形態は隅丸を呈するものと考えられる。

【方向】住居跡の南北軸は、東辺基準でN-16°-Wである。

【堆積土・構築土】4層に分層した。住居堆積土はほとんど残存していない。1・2層は住居堆積土、3層は周溝堆積土、4層は掘り方堆積土である。

【壁面】上面に住居跡が構築されていることもあります。東壁が僅かに残存するのみである。壁高は3cmを測る。

【床面】2層下面を床面とするが、住居跡北側に僅かに残存するのみで、大部分が上面に構築された住居跡により破壊されている。

【柱穴】7基のピットを検出した。規模は上端径50cm前後、深さ20cm前後のものが多い。西側は調査区外により詳細は不明であるが、規模や位置からみて、P1・3が主柱穴に相当するものと考えられる。

【周溝】検出した部分では、途切れることなく全周する。幅16~25cm、深さ4~10cmを測り、断面形状はU字状を呈する。

【その他の施設】土坑2基(SK1・2)、間仕切り溝1条を検出した。SK1は住居南辺に、SK2は住居跡のほぼ中央に構築される。間仕切り溝と考えられる溝跡はSK2の南側に近接して検出され、主軸方位に対し直行するように東西に延びる。規模は、検出長58cm、幅16cm、深さ5cmを測る。

【掘り方】深さ5cm程度で、南東側に向かって傾斜する。

【出土遺物】土師器壺・瓶を各1点、土錘2点、礫石器1点を掲載した。第61図-3・4は、ほぼ同一の法量を有する土錘である。

SI75 壁穴住居跡(第62・63図)

【位置・確認】3B区南端、3グリッドに位置し、ほとんどが南側の3A区に入っている。3B区では北東コーナーのみ検出した(第324集所取)。

【重複】3B区においてはSI69・78に、3A区においてはSI69に切られる。

【規模・形態】検出した規模は、3A区分を含め、東辺1.95m、西辺60cm、北辺4.10mを測り、形態はややいびつな方形を呈するものと思われる。

【方向】住居跡の南北軸は、3A区内で検出されたカマド基準でN-18°-Eである。

【堆積土・構築土】3B区内から検出した部分については擾乱により大部分が失われているため、断面図は報告に反映できなかった。

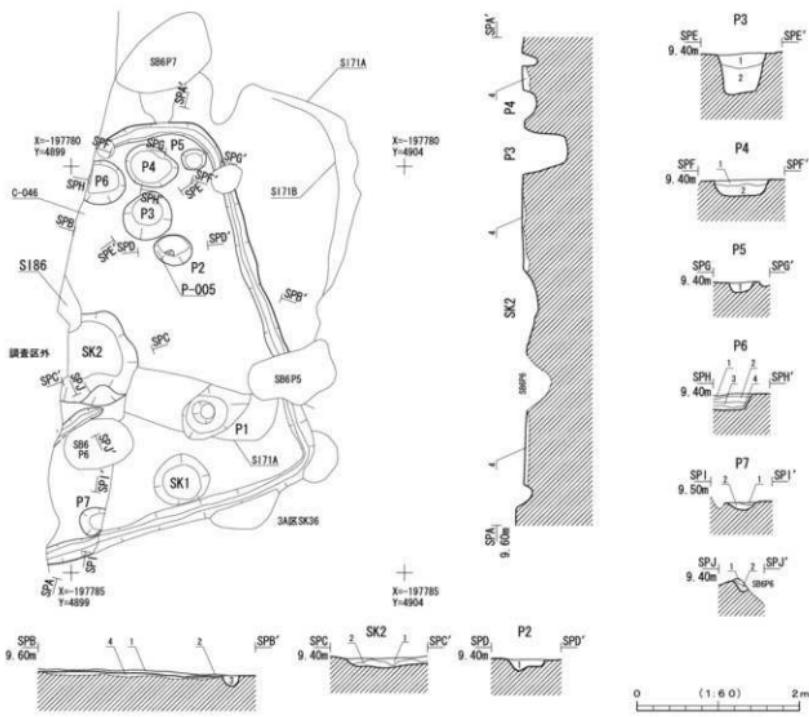
【壁面】北東隅が僅かに残存し、東壁8~15cm、北壁4~8cmを測る。

【床面】上述したように、本住居跡は擾乱の影響が大きいため、詳細については不明である。

【柱穴】2基検出した。P5は3A区から連続するものである。

【周溝】3B区内では北東コーナー付近から1条検出した。壁に沿うようにコーナーを屈曲せず、北壁から西壁に向かってほぼ直線的に延びる。検出長140cm、幅10~12cm、深さ6cmを測り、断面形状はU字状を呈する。

【出土遺物】3B区内における住居跡の検出範囲は僅かであるが、堆積土から出土した土師器壺3点、壺1点を掲載した。



SI73 埋蔵土試験記表

部位	層位	土 色	土 性	備 考
堆積土	1	10YR2/3	黒褐色	砂質シルト 塊山ブロック、炭化物(径2~5mm)、微小粒微量含む
	2	10YR6/6	明黄色褐色	砂質シルト (床面)
腐泥	3	-	-	注記なし。
鉢の方	4	10YR4/4	褐色	砂質シルト 塊山ブロック多量、炭化物(径1mm)微微量含む

SI73 地質堆積土試験記表

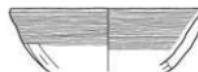
部位	層位	土 色	土 性	備 考
SK2	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 塊山砂多量、炭化物少量含む
	2	10YR4/4	褐色	塊山砂ブロック含む
P2	1	10YR3/2	暗褐色	塊山ブロック、炭化物、5YR8/6 暗褐色地土少量含む、25YR4/6赤褐色地土含む
	2	10YR3/4	暗褐色	炭化物、5YR6/8 暗褐色地土ブロック少量含む
P3	1	10YR4/4	褐色	炭化物、5YR6/8 暗褐色地土少量含む
	2	-	-	注記なし。
P4	1	10YR3/4	暗褐色	砂質シルト 塊山ブロック、褐色ブロック(径5mm)微量、炭化物(径1~5mm)、地土粒微微量含む
	2	-	-	注記なし。
P5	1	10YR3/3	暗褐色	炭化物、地土粒微量、塊山ブロック含む
	2	10YR2/2	黒褐色	炭化物、地土粒微量含む
P6	1	10YR5/6	黃褐色	炭化物微量含む
	2	10YR3/3	暗褐色	炭化物微量含む、黃褐色砂質ブロック少量含む
	3	10YR2/4	暗褐色	炭化物微量含む
	4	-	-	注記なし。
P7	1	10YR5/6	黃褐色	炭化物、地土粒微量含む
	2	10YR5/6	黃褐色	地土ブロック(径5~10mm) 多量、炭化物(径5mm以下)微量含む
間仕切層	1	10YR3/4	明褐色	炭化物微量含む
	2	10YR2/3	黒褐色	砂質シルト 砂質褐色土粒少量、炭化物微量含む

第60図 SI73竪穴住居跡

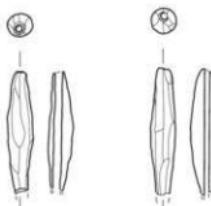
973 挿設觀察表

遺構名	平面形	規模(cm)	深さ(cm)	備考
SK2	不整形	(85)×(115)	14	
P2	円形	47×37	15	
P3	円形	60×59	50	
P4	複円形	65×38	20	

遺構名	平面形	規模(cm)	深さ(cm)	備考
P5	円形	25×30	12	
P6	円形	(48)×(55)	17	
P7	円形	(25)×(37)	10	

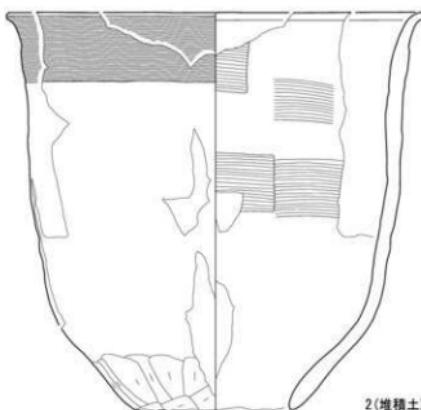


1(P4)



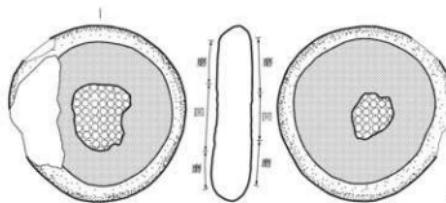
3(堆積土)

4(堆積土)



2(堆積土)

0 (1 : 3) 10cm

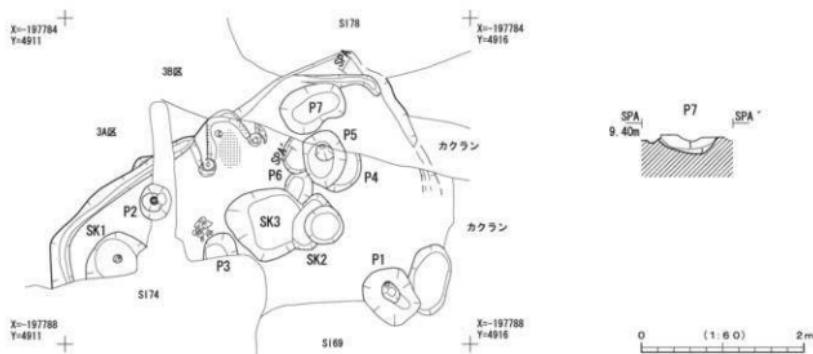


5(堆積土)

0 (1 : 2) 5cm

回数	登録番号	出土遺構	部位	種別	器種	口径×底径×厚さ(cm)	外面調整		内面調整	備考	写真 図版
1	C-045	SI73	P4	土質器	环	12.0×(3.9)	口縁部ヨコナデ、体部ヘラケツリ		口縁部ヨコナデ		70
2	C-046	SI73	堆積土	土質品	瓶	(25.2)××24.5	口縁部ヨコナデ、胴部ハケス、肩部近ヘラケツリ		肩部ハナダ		70
<hr/>											
回数	登録番号	出土遺構	部位	種別	器種	直径×幅×厚さ(cm)	重量(g)		備考		写真 図版
3	P-005	SI73	堆積土	土質品	土師	7.5×伴1.6×孔径0.5	13.0g	ナゲ			70
4	P-006	SI73	堆積土	土質品	土師	7.8×伴1.6×孔径0.4	15.6g	ナゲ			70
<hr/>											
回数	登録番号	出土遺構	部位	種別	器種	分類	直径×幅×厚さ(cm)	重量(g)	石材	備考	写真 図版
5	KC-006	SI73	堆積土	礫石器	磨	四	7.2×7.2×1.6	61.01	鰐長岩	変形品、円錐、第2面(平)、四面(平)、四面(鏡)	70

第61図 SI73 穴式住居跡出土遺物



SI75 施設堆積土記録

部位	層位	土色	土性	備考	
				P7	P7
	1	10YR2/2	黒褐色	砂質シルト	塊山ブロック、炭化物、他土粒微量含む
	2	10YR3/4	褐色	砂質シルト	炭化物、他土粒微量含む

SI75 施設解剖表

遺構名	平面形	規模(cm)	深さ(cm)	備考	遺構名	平面形	規模(cm)	深さ(cm)	備考
P5	扇円形	76×54	38		P7	扇円形	80×50	39	

第62図 SI75 穫穴住居跡



回収番号	登録番号	出土遺構	切片	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真
1	C-049	SI75	堆積土	土器部	环	(12.8)×(4.8)	口縁部ヨコナギ、底部ヘラケヅリ	口縁部ヨコナギ		70
2	C-048	SI75	堆積土	土器部	环	(8.2)×(6.4)×(2.1)	口縁部～底部ヨコナギ、底部下端ヘラケヅリ	口縁部～底部ヨコナギ		70
3	C-047	SI75	堆積土	土器部	环	(13.0)×(3.8)	口縁部ヨコナギ、底部ヘラケヅリ	口縁部ヨコナギ	内面黒色処理	70
4	C-050	SI75	堆積土	土器部	壺	(17.0)×(10.5)	口縁部ヨコナギ、腹部ヘラナギ	口縁部ヨコナギ		70

第63図 SI75 穫穴住居跡出土遺物

SI78 壁穴住居跡(第64・65図)

【位置・確認】3B区南端、3・6グリッドに位置する。

【重複】SI75・94を切り、SD45、SK64、P1350に切られる。

【規模・形態】検出した規模は、東辺2.98m、西辺2.70m、南辺3.90m、北辺2.83mを測り、形態は東西に僅かに長い隅丸方形を呈する。

【方向】住居跡の南北軸は、カマド基準でN-10°-Wである。

【堆積土・構築土】17層に分層した。黒褐色シルトを主体とし、1～4層は住居堆積土、5～12b・14～15b層はカマド関連層位、13層は周溝堆積土、16・17層は掘り方堆積土である。

【壁面】東壁の一部と西壁は擾乱により失われている。残存する壁高は、東壁20～24cm、南壁10～14cm、北壁7～12cmを測り、直線的に外傾して立ち上がる。

【床面】3層下面を床面とし、ほぼ平坦である。

【柱穴】6基検出した。P1・2・6とP3～5はそれぞれ直線的に並び、その軸方位は若干異なるものの、東西に対照的に位置する。その位置や規模から、P1～4が主柱穴、P5・6は棟持柱穴と考えられる。

【周溝】カマド周辺と東壁の一部を除き、ほぼ全周する。幅12～20cmを測り、断面形状はU字状を呈する。

【カマド】北壁中央東寄りに構築される。袖は右袖のみが残存し、長さ55cm、幅40cmを測り、北壁に対して直行して延びる。燃焼部は幅56cm、奥行き66cmを測る。煙道部は長さ180cm、幅22～42cm、深さ8～9cmを測り、底面には起伏が認められる。

【掘り方】中央部にやや高まりがみられるものの、ほぼ平坦である。

【出土遺物】土師器壺、甕を各1点、須恵器甕2点、石製鍛錘車1点を掲載した。第65図-1の土師器壺は、底部と体部の境界が屈曲し、口縁部にかけて外反する器形を呈する。

SI79 壁穴住居跡(第66・67図)

【位置・確認】3B区南西端、2・5グリッドに位置する。

【重複】SB6、SK57、P58・1029・1296に切られる。

【規模・形態】一辺350cm前後の方形を呈する。

【方向】住居跡の南北軸は、カマド基準でN-25°-Wである。

【堆積土・構築土】旧カマドを除き14層に分層した。暗褐色砂質シルトを主体とする。1～3層は住居堆積土で、炭化物を少量含む。4～12層はカマド関連層位、13層は周溝堆積土、14層は掘り方堆積土である。旧カマドは暗褐色砂質シルトを主体とする3層に分層した。

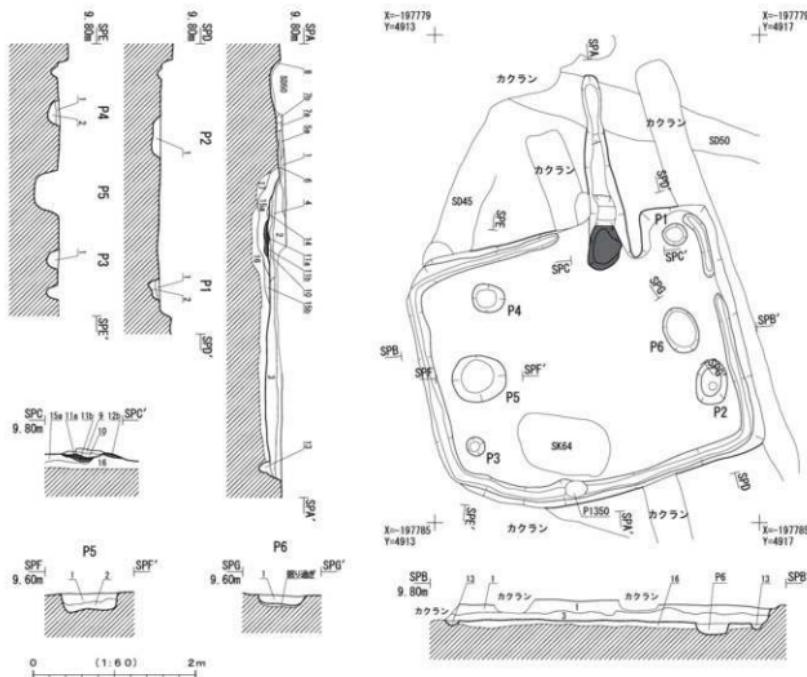
【壁面】残存する壁高は、東壁21～28cm、西壁24～27cm、南壁20～25cm、北壁21～24cmを測り、直線的にやや外傾して立ち上がる。

【床面】3層下面を床面とし、西辺付近では起伏がみられるが、概ね平坦である。

【柱穴】7基検出した。いずれも土層で柱痕は確認されず、柱穴の深さは20～30cm前後を測るが、上端径は30cm前後を測るP1～4と、40～50cmを測るP5・6に大別される。

【周溝】北辺全体と南辺中央部および東辺北部を除き、断続的に回る。幅15～28cm、深さ4～7cmを測り、断面形状は逆台形を基調とし、一部U字状を呈する。

【カマド】北壁中央部に構築され、新旧2期にわたるカマドを検出した。新カマドの袖は長さ、幅共に30cm前後を測り、カマド内側に向かって延びる。煙道の規模は長さ120cm、幅30cm、深さ4cmを測り、先端に向かって先細る平面形状を呈する。底面は平坦で、左袖付近には被熱の痕跡が確認された。旧カマドは煙道部のみを確認した。



SI78 垂積土柱記表

部位	層序	土色	土性	備考
堆積土	1	10YR3-2	黒褐色	シルト 10YR4-3に20-黄褐色土、炭化物、焼土粒含む
	2	10YR3-2	黒褐色	シルト 10YR4-3黒褐色土ブロック、炭化物微細含む
	3	-	-	10YR3-2黒褐色と10YR4-3に20-黄褐色の混合層
	4	-	-	10YR3-2黒褐色と10YR4-3に20-黄褐色の混合層 炭化物、焼土粒含む
ガマド	5	10YR3-2	黒褐色	シルト 2.5YR4-4(5)- 黒褐色燒土ブロック、2.5YR3-2黒褐色燒土ブロック、炭化物含む
	6	-	シルト	10YR3-2黒褐色 2.5YR4-2黒褐色燒土ブロック含む
	7a	10YR3-3	暗褐色	シルト 燒土粒含む
	7b	10YR3-2	黒褐色	シルト 燒土粒含む
	8	10YR5-3	10-20- 黄褐色	シルト 10YR3-3暗褐色土、炭化物含む
	9	10YR2-2	黒褐色	砂質シルト 地山ブロック少量含む
	10	5YR3-3	暗褐色	シルト 燒土粒少量含む (崩落土)
	11a	2.5YR7-8	褐色	- (火床面)
	11b	2.5YR3-4	暗褐色	- 炭化物微量含む (火床面)
	12a	10YR5-3	10-20- 黄褐色	シルト (マド隔)
	12b	2.5YR7-8	褐色	- 炭化物、焼土粒含む (マド隔)
削溝	13	10YR2-2	黒褐色	シルト 地山ブロック微量含む
	14	10YR3-1	黒褐色	- 炭化物、焼土粒少量含む (マド隔の方)
カマド	15a	10YR3-1	黒褐色	- 地山ブロック少量、炭化物微量含む (マド隔の方)
	15b	10YR3-1	黒褐色	- 炭化物、焼土粒微量含む (マド隔の方)
掘の方	16	2.5YR5-4	黄褐色	砂質シルト 10YR7-6 黄褐色土 (径5 ~ 20mm) ブロック含む、炭化物微量含む
	17	10YR6-1	褐色	炭化物微量含む

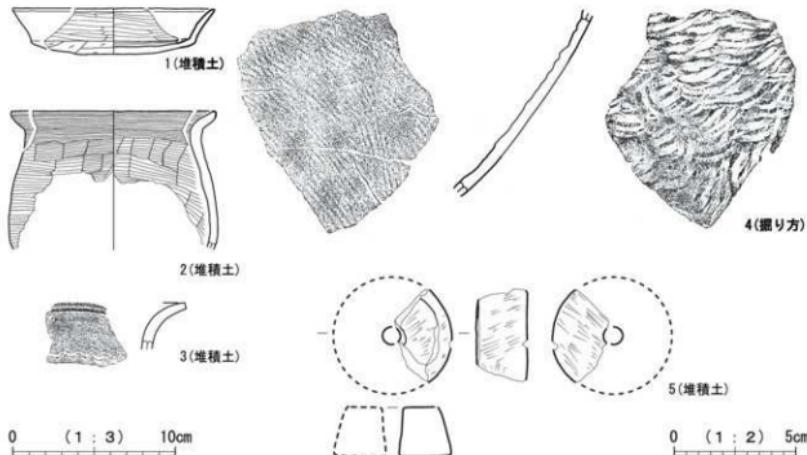
第64図 SI78竪穴住居跡

976 施設堆積土試験表

部位	層位	土色	土性	備考
P1	1	10YR2/2	黒褐色	シルト 燒土粒多量、炭化物微量含む
	2	10YR3/3	暗褐色	シルト 地山ブロック多量含む
P2	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 地山ブロック多量含む
	2	10YR3/3	暗褐色	シルト 地山ブロック多量含む
P3	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 地山ブロック多量含む
	2	10YR3/3	暗褐色	シルト 地山ブロック多量含む、炭化物、燒土粒微量含む
P4	1	10YR3/4	暗褐色	シルト 地山ブロック多量、炭化物、燒土粒微量含む
	2	10YR3/2	黒褐色	砂質シルト 炭化物、燒土粒微量含む
P5	1	10YR3/4	暗褐色	シルト 地山ブロック多量、炭化物、燒土粒微量含む
	2	10YR3/2	黒褐色	砂質シルト 炭化物、燒土粒微量含む
P6	1	10YR3/2	黒褐色	砂質シルト 炭化物、燒土粒微量含む

978 地盤観察表

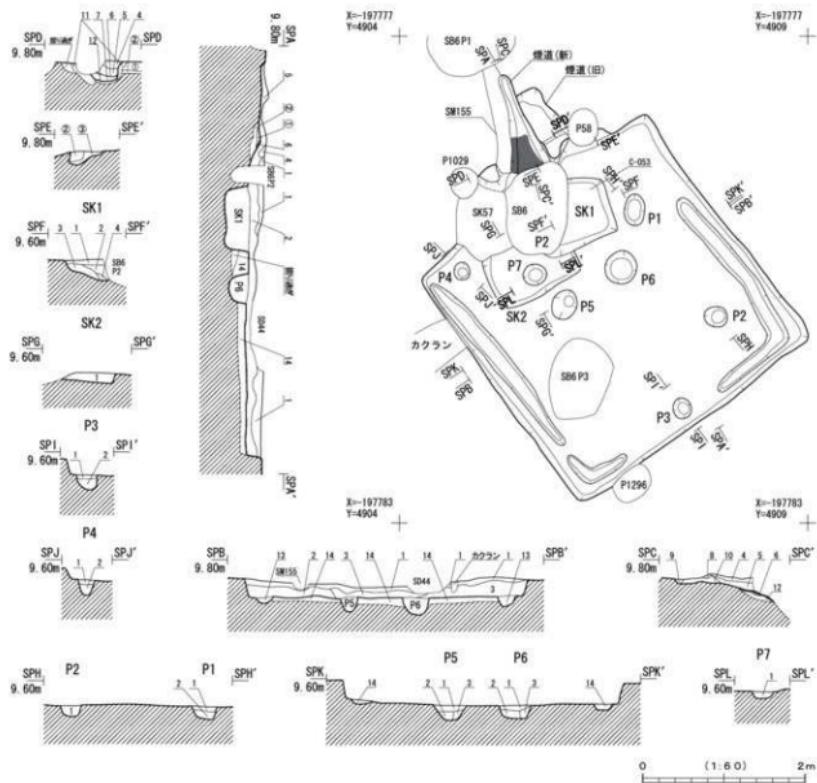
遺跡名	平面形	規模(cm)	深さ(cm)	備考	遺跡名	平面形	規模(cm)	深さ(cm)	備考
P1	円形	30×28	14		P4	不整形	42×34	15	
P2	楕円形	55×38	19		P5	楕円形	68×58	29	
P3	円形	24×22	15		P6	楕円形	58×42	11	



図版番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調査	内面調査	備考	写真回数
1	C-051	SI78	堆積土	土器	环	(12.4)××2.8	口縁部～全体ハラスガキ			71
2	C-052	SI78	堆積土	土器	束	(12.6)××(8.5)	口縁部ヨコナギ、脚部ヘリナギ			71
3	E-033	SI78	堆積土	須恵器	束	××(2.4)	口の調整、脚部表面波状文	口の調整	外側白熱點	71
4	E-034	SI78	振り方	須恵器	束	××(13.5)	平行厚紐目	青海波文		71

図版番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	分類	長さ×幅×厚さ(cm)	重量(g)	石材	備考	写真回数
5	Kd-018	SI78	堆積土	石器品	研磨車		3.8×2.1×2.0	22.00	片岩	矢頭品、最大径(4.8)cm、穿孔径(0.8)cm	71

第65図 SI78 積穴住居跡出土遺物



SI79 堆積土跡記表

部位	層位	土 色	土 性	備 考
堆積土:	1	10YR3/3	暗褐色	砂質シルト 地山ブロック少量、炭化物微量含む
	2	10YR3/4	暗褐色	砂質シルト 地山ブロック、炭化物少量、褐色粘土粒含む
	3	10YR2-/2	黒褐色	砂質シルト 炭化物少量、粘土粒微量含む
新カマド:	4	10YR5/4	1C.45-暗褐色	砂質 炭化物微量含む
	5	10YR3/3	暗褐色	砂質シルト 地山ブロック、炭化物微量含む
	6	10YR3/3	暗褐色	砂質シルト 地土ブロック(径5~10mm)少量含む
	7	10YR3/4	暗褐色	砂質シルト 地山ブロック、炭化物、燒土粒微量含む
	8	10YR3/4	暗褐色	- 炭化物多量含む
	9	10YR3/3	暗褐色	- 炭化物微量含む
	10	10YR5/6	黃褐色	砂質 炭化物少量含む
	11	10YR2-/2	黒褐色	- 地山ブロック少量、炭化物微量含む (カマド袖)
	12	10YR2-/2	黒褐色	- 地山ブロック少量含む (カマド袖り方)
	13	10YR2-/2	黒褐色	砂質シルト 地山ブロック多量含む
圓溝	14	10YR3/4	暗褐色	砂質シルト 地山ブロック少量、炭化物、鉄分微量含む
圓窓:	(1)	7.5YR3/1	暗赤褐色	シルト
	(2)	10YR3/4	暗褐色	砂質シルト 炭化物(径1~2mm)、燒土粒多量、地山ブロック少量含む
	(3)	10YR3/4	暗褐色	砂質シルト 地山ブロック多量、10YR4/1海灰色ブロック少量含む

第66図 SI79竪穴住居跡

新カマド煙道部の東側に隣接し、西側は新カマド煙道部に切られる。規模は長さ70cm、幅40cm前後を測り、平面形状はやや幅広な不整長方形を呈する。

【その他の施設】土坑2基を検出した。いずれもSB6により切られているが、規模は80cm前後、深さ10cm程度を測り、平面形状は方形を呈するものと思われる。SK2はP7に切られていることから、旧カマド機能時の施設である可能性が考えられる。

【掘り方】底面は中央がやや窪むものの、概ね平坦である。

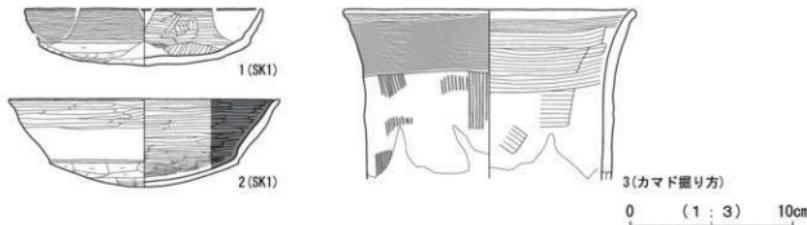
【出土遺物】土師器坏2点、壺1点を掲載した。SK1から出土した第67図-1・2は、いずれも底部の境界に段を持つ土師器坏で、口縁部上端の器形は、前者が内湾汽味となり、後者が外反する。

SI79 施設堆積土記表

部段	層位	土 色	土 性	備 考
SK1	1	10YR2-2	黒褐色	シルト 炭化物微量、黄褐色砂質ブロック(径5mm)含む
	2	10YR3-4	暗褐色	砂質シルト 炭化物少量、黄褐色ブロック微量含む
	3	10YR4-4	褐色	砂質
	4	10YR5-6	黄褐色	シルト
SK2	1	10YR2-3	黒褐色	砂質シルト 炭化物、砂質シルトブロック(径5-10mm)少量含む
	2	10YR3-3	暗褐色	砂質シルト 炭化物微量、黄褐色砂質ブロック含む
P1	1	10YR4-4	褐色	砂質
P2	1	10YR3-3	暗褐色	砂質シルト 炭化物微量、黄褐色砂質ブロック含む
P3	1	10YR3-3	暗褐色	砂質シルト 炭化物微量、黄褐色砂質ブロック含む
	2	10YR4-4	褐色	砂質
P4	1	10YR3-3	暗褐色	砂質シルト 炭化物微量、黄褐色砂質ブロック含む
	2	10YR4-4	褐色	砂質 炭化物微量含む
P5	1	10YR2-3	黒褐色	砂質シルト 炭山ナロウタ量、炭化物微量含む
	2	10YR3-2	黒褐色	砂質シルト 炭化物少量、に点状黃褐色ブロック微量含む
	3	10YR3-2	黒褐色	- 2層に地山砂質シルト多量含む
P6	1	10YR2-3	黒褐色	砂質シルト 炭化物少量、に点状黃褐色ブロック微量含む
	2	10YR3-2	黒褐色	砂質シルト 炭化物少量、に点状黃褐色ブロック微量含む
	3	10YR3-2	黒褐色	- 2層に地山砂質シルト多量含む
P7	1	10YR3-2	黒褐色	- 地山砂質シルト多量、炭化物少量、に点状黃褐色ブロック微量含む

SI79 施設観察表

遺構名	平面形	幅(cm)	深さ(cm)	備 考	遺構名	平面形	幅(cm)	深さ(cm)	備 考
SK3	方形	86×(63)	14		P4	円形	22×18	19	
SK2	方形	70×(80)	11		P5	円形	47×37	29	
P1	楕円形	25×38	16		P6	円形	40×40	36	
P2	円形	30×36	20		P7	円形	30×30	32	
P3	円形	22×25	20						



回収 番号	登録番号	出土遺構	層位	種 别	種 別	口径×底径×高さ(cm)	外 面 調 整	内 面 調 整	備 考	写真 図版
1	C-054	SI79	SK1	土師器	坏	(14.6)×(3.5)	口縁部コナヂ、底部ハウタギリ	口縁部～底部ハウタギリ	内面黑色処理	71
2	C-053	SI79	SK1	土師器	坏	16.6×(5.4)	口縁部ハウタギリ、底部ハウタギリ	口縁部～底部ハウタギリ	外面口縁部および内面黑色処理	71
3	C-055	SI79	カマド 掘り方	土師器	壺	(17.8)×(10.4)	口縁部コナヂ、胴部ハウタギリ	口縁部～胴部ハウタギリ		71

第67図 SI79 穴式住居跡出土遺物

SI80 穫穴住居跡(第68・69図)

【位置・確認】3B区西側、14・19グリッドに位置する。

【重複】SI101・105・121、SD67を切り、SK56に切られる。西側半分は調査区外に延びるが、調査区境界付近で擾乱の影響を受けている。

【規模・形態】検出した規模は東辺4.85m、南辺2.96m、北辺4.00mを測り、平面形状は方形を呈するものと思われる。

【方向】住居跡の南北軸は、カマド基準でN-12°-Eである。

【堆積土・構築土】20層に分層した。暗褐色シルトを主体とする。1a～3層が住居堆積土、4～13・15～19b層がカマド関連層位、14層が周溝堆積土、20層が掘り方堆積土である。16層はカマド被熱面、17～19層はカマド袖構築土である。

【壁面】残存する壁高は、東壁17cm、南壁13～26cm、北壁18～27cmを測り、直線的にやや外傾して立ち上がる。

【床面】3層下面を床面とし、全体的にやや起伏がみられる。

【柱穴】34基検出した。床面中央部を除く全域に構築されており、ピット同士の重複も少なくないことから、建て替えが行われた可能性が考えられる。位置や規模からみて、少なくとも東側に位置するP7・17もしくはP18が主柱穴に相当するものと考えられる。また、カマド袖の中間に位置するP28は、灰溜めの性格を有するピットと考えられる。

【周溝】調査区外に延びる部分については不明であるが、検出した部分についてはカマド直下を除き全周する。幅17～31cm、深さ7～26cmを測り、断面形状はU字状を呈する。

【カマド】北壁中央部に構築される。袖は長さ70cm、幅142cmを測り、北壁から住居東西壁に向かって「ハ」字状に延びる。燃焼部は幅80cm、奥行き120cmを測り、南北115cm×東西80cm程の範囲で被熱面が確認されたほか、その10cm程南側には径20cm程度、また右袖末端の東側には径45cm程度の被熱面が確認された。煙道部は長さ188cm、幅18～26cm、深さ8cmを測り、末端の煙出しの規模は径26cm、深さ13cmを測り、ピット状に落ち込む。

【掘り方】全体的に起伏がみられ、東側は深く掘り込まれている。

【出土遺物】土師器壺4点、甕1点、ロクロ土師器甕1点、須恵器高台付壺1点を掲載した。第69図-2・3は床面出土で、3は口縁部上端が外反する器形を呈する。須恵器高台付壺(第69図-7)は、転用硯の可能性がある。

SI81 穫穴遺構(第70・71図)

【位置・確認】3B区南西部、6・10グリッドに位置する。本遺構はカマドが伴わず、小規模であることから「竪穴遺構」として報告するが、遺構の略号と遺構番号については遺構の略号と遺構番号は調査に付したものそのまま使用した。

【重複】SI93を切り、SK65に切られる。

【規模・形態】南北180cm、東西160cm程の南北に長い隅丸長方形を呈する。

【方向】住居跡の南北軸は、東西壁基準で真北である。

【堆積土・構築土】4層に分層した。1～3層が堆積土、4層が掘り方堆積土である。

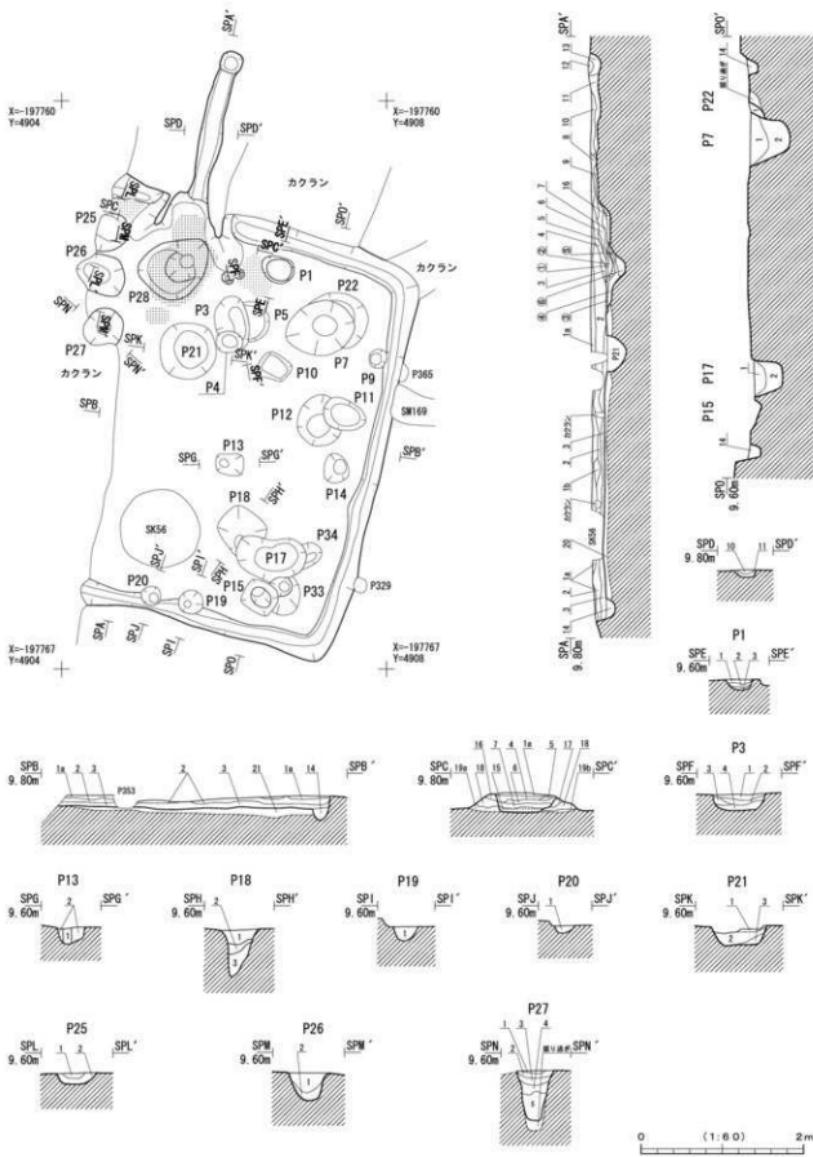
【壁面】残存する壁高はいずれも15cm前後を測る。東壁および南壁は直立気味に立ち上がり、西壁は直線的に外傾する。

【床面】2a層および3層下面を床面とする。床面北西コーナーおよび南東コーナーでは、床面より7cm程の高まりを確認した。南北方向は平坦だが、東西方向は東側に向かって傾斜する。

【柱穴】6基検出した。位置や規模からみて、P2・4～6が主柱穴と考えられる。各柱穴間は1m前後を測る。P5・6は重複関係にあり、部分的に柱穴の造り替えが行われたものと考えられる。P3は床面のほぼ中央に位置し、底面中央部からは柱痕と考えられる窪みを確認した。掘り方底面から掘り込まれ、規模は長軸73cm、短軸61cm、深さ33cmを測る。

【掘り方】東西方向は床面と同様に東側へ傾斜する。南北方向は、ほぼ平坦である。P3上面では起伏がみられるが、これは床面形成時の埋め戻しに由来するものと考えられる。

【出土遺物】須恵器壺1点を掲載した。底面にはスノコ状痕が観察される。



第68図 SI80豎穴住居跡

S80 地質土被記録

部位	層位	土 色	土 性	備 考
堆積土	1a	10YR3-3	暗褐色	シルト 10YR5-6 黄褐色シロッカ少量、灰化物少量含む
	1b	10YR4/4	褐色	シルト 10YR3-3暗褐色シロッカ含む
	2	10YR3-4	暗褐色	シルト 10YR4-1褐色シロッカ少、10YR3-2黒褐色シロッカ少量含む
	3	10YR3-2	墨褐色	シルト 10YR4-4シルト質砂シロッカ含む
カマド	4	10YR3-4	暗褐色	シルト
	5	7.5YR3-2	墨褐色	砂質シルト 5YR4-4赤褐色シロッカ少、5YR3-2黒褐色シロッカ少量含む
	6	10YR4/4	褐色	砂質シルト 5.5YR4-4褐色砂シロッカ少、10YR3-2黒褐色シロッカ少量含む
	7	7.5YR2-2	墨褐色	シルト 5YR4-4に赤褐色シロッカ少、5YR3-2墨褐色シロッカ少量含む (カマド汚り)
	8	7.5YR2-3	褐褐色	砂質シルト 5.5YR3-4褐色シロッカ少、5YR3-2黒褐色シロッカ少量含む
	9	10YR2-3	墨褐色	シルト 10YR4-4褐色シロッカ少、5YR4-4褐色シロッカ含む
	10	10YR3-3	暗褐色	シルト 10YR4-4褐色シロッカ少、5YR3-2黒褐色シロッカ少量含む
	11	7.5YR2-3	暗褐色	シルト 2.5YR2-1.7 墓室色シロッカ少、10YR4-4褐色シロッカ少量含む
	12	2.5YR1.7/1	墨褐色	シルト 7.5YR3-4暗褐色シロッカ少量含む
	13	7.5YR3-4	暗褐色	シルト 2.5YR1.7 墓室色シロッカ少、10YR4-4褐色シロッカ少量含む
西溝	14	10YR3-3	暗褐色	シルト 10YR4-4褐色シロッカ少量含む
カマド	15	5YR3-2	暗褐色	シルト 10YR3-3暗褐色シロッカ少量含む
	16	10YR3-2	墨褐色	砂質シルト 10YR3-3暗褐色シロッカ少量含む
	17	10YR3-2	墨褐色	シルト質砂 7.5YR3-4褐色シロッカ少、10YR2-3黒褐色シロッカ少量含む (カマド縁)
	18	10YR3-4	暗褐色	砂質シルト 10YR3-2黒褐色シロッカ少、10YR4-4に赤褐色シロッカ少量含む (カマド縁)
	19a	10YR3-3	暗褐色	砂質シルト 7.5YR2-3黒褐色シロッカ少、10YR3-4褐色シロッカ少量含む (カマド縁)
	19b	10YR3-2	墨褐色	シルト 10YR4-4褐色シロッカ少量含む (カマド縁)
砂の方	20	10YR4/4	褐色	砂質シルト 10YR4-6褐色砂質シロッカ少量、10YR3-2黒褐色シロッカ少量含む

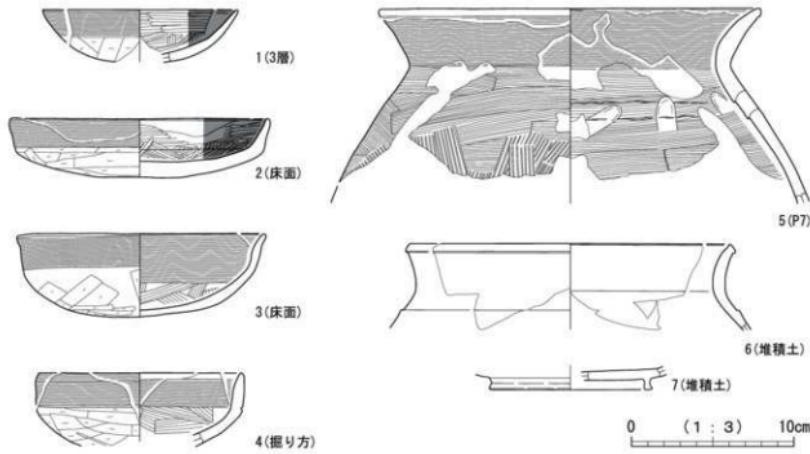
S80 施設堆積土記録

部位	層位	土 色	土 性	備 考
P1	1	10YR3-3	暗褐色	砂質シルト 10YR4-4褐色シロッカ少、3YR4-4に赤褐色シロッカ少量含む
	2	10YR4/3	12.5Y-暗褐色	シルト 10YR3-2黒褐色シロッカ少量含む
	3	7.5YR2-1	黑色	灰化物粒種か
P3	1	10YR3-2	墨褐色	シルト 10YR4-6褐色砂質シロッカ少、10YR5-4赤褐色シロッカ含む
	2	10YR2-2	墨褐色	シルト 10YR3-2黒褐色シロッカ少量含む
P7	3	10YR4-3	に赤-暗褐色	砂質シルト 10YR4-4褐色シロッカ少、10YR4-4に赤褐色シロッカ少量含む
	4	10YR3-2	墨褐色	シルト 10YR2-1.7 黑褐色シロッカ少、10YR4-4褐色シロッカ少量含む
P13	1	10YR3-2	墨褐色	シルト 10YR3-6褐色砂質シロッカ少
	2	10YR3-4	暗褐色	シルト 10YR4-4褐色シロッカ少
P17	1	10YR3-3	暗褐色	シルト 10YR4-4褐色シロッカ少、5YR4-4に赤褐色シロッカ少量含む
	2	10YR3-4	暗褐色	砂質シルト 10YR4-4褐色シロッカ少、10YR4-3に赤褐色シロッカ少量含む
P18	1	10YR3-4	暗褐色	シルト 10YR4-4褐色シロッカ少、10YR4-3に赤褐色シロッカ少量含む
	2	10YR4/6	褐色	砂質シルト 10YR4-3黒褐色シロッカ少量含む
	3	10YR3-3	暗褐色	シルト 10YR4-4褐色シロッカ少量含む
P19	1	10YR3-2	暗褐色	砂質シルト 10YR4-1褐色砂質シロッカ少量含む
P20	1	10YR3-3	暗褐色	シルト 10YR4-4褐色砂質シロッカ少、10YR2-2黒褐色シロッカ微量含む
P21	1	10YR4-6	褐色	砂質シルト 10YR3-2黒褐色シロッカ少量含む
	2	10YR2-3	墨褐色	シルト 10YR4-3に赤-暗褐色砂質シロッカ少、10YR2-2黒褐色シロッカ少量含む
	3	10YR4/3	に赤-暗褐色	シルト 10YR3-2黒褐色シロッカ少量含む
P22	1	10YR3-4	暗褐色	砂質シルト 10YR4-4褐色シロッカ少含む
P25	1	10YR2-3	墨褐色	砂質シルト 10YR5-4褐色砂質、5YR4-4に赤-暗褐色シロッカ少量含む
P26	2	10YR3-2	墨褐色	砂質シルト 10YR4-4褐色シロッカ少、10YR3-2黒褐色シロッカ少量含む
	2	10YR4/2	灰褐色	砂質シルト 10YR4-4褐色砂質シロッカ少含む
P27	1	10YR3-3	暗褐色	砂質シルト 10YR4-4褐色シロッカ少含む
	2	10YR3-3	暗褐色	シルト 5YR4-4に赤-暗褐色シロッカ少量含む、10YR2-2黒褐色シロッカ微量含む
	3	10YR3-4	暗褐色	砂質シルト 10YR4-4褐色砂質シロッカ少含む
	4	10YR3-3	暗褐色	シルト 10YR4-3に赤-暗褐色シロッカ少量含む
	5	10YR3-2	墨褐色	シルト 10YR4-2黒褐色シロッカ少含む
P28	①	7.5YR3-3	暗褐色	シルト 7.5YR2-2黒褐色シロッカ少、5YR4-4に赤褐色シロッカ少含む
	②	10YR3-3	暗褐色	シルト 10YR4-3に赤-暗褐色砂質シロッカ少、5YR4-4に赤-暗褐色シロッカ少量含む
	③	7.5YR3-3	墨褐色	シルト 7.5YR3-3暗褐色シロッカ少量含む
	④	10YR3-3	暗褐色	砂質シルト 7.5YR3-4褐色シロッカ少、10YR4-2黒褐色砂質シロッカ少量含む
	⑤	7.5YR2-3	褐褐色	シルト 10YR3-3黒褐色シロッカ少、10YR4-2黒褐色砂質シロッカ少量含む
	⑥	10YR3-4	暗褐色	シルト 10YR4-3に赤-暗褐色砂質シロッカ少量含む

SI80 挖設観察表

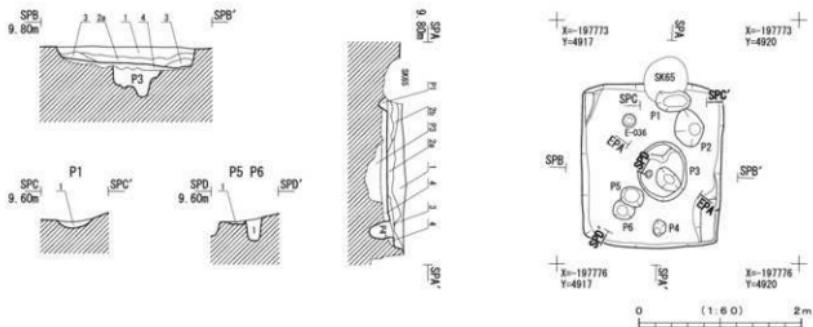
遺構名	平面形	規模(cm)	深さ(cm)	備考
P1	扇円形	42×31	8	
P2	不整形	(45)×42	22	
P4	扇円形	33×24	23	
P5	不整形	48×(26)	15	
P7	扇円形	86×67	37	
P9	円形	24×22	9	
P10	方形	39×31	11	
P11	扇円形	54×38	12	
P12	円形	64×(34)	10	
P13	不整形	34×26	22	
P14	不整形	36×30	12	
P15	方形	42×36	18	

遺構名	平面形	規模(cm)	深さ(cm)	備考
P17	不整形	86×59	29	
P18	方形	52×59	66	
P19	円形	30×30	30	
P20	円形	24×24	9	
P21	円形	70×69	18	
P22	不整形	73×(35)	17	
P25	不整形	47×(39)	15	
P26	不整形	62×48	28	
P27	円形	50×46	72	
P28	不整形	86×70	22	
P33	扇円形	50×38	15	
P34	手摺円形	28×(24)	8	



回復 番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	DIA×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真 図版
1	C-056	SI80	3層	土器	环	(12.0)×(12.2)	口縁部ヨコナデ、体部ヘラケズリ	口縁部ヨコナデ、底部ヘラケズリ	内面黒色処理	71
2	C-057	SI80	床面	土器	环	(15.9)×(3.6)	口縁部ヨコナデ、底部ヘラケズリ	口縁部ヨコナデ、底部ヘラケズリ	内面黒色処理	71
3	C-058	SI80	床面	土器	环	15.2×3.2	口縁部ヨコナデ、体部～底部ヘラケズリ	口縁部～体部ヨコナデ、底部ヘラナデ		71
4	C-059	SI80	側内方	土器	环	(12.4)×(4.5)	口縁部ヨコナデ、体部～底部ヘラケズリ	口縁部ヨコナデ、体部ヘラナデ		71
5	C-060	SI80	P7	土器	釜	(23.4)×(11.9)	口縁部ヨコナデ、底部ヘラナデ、脚部ハケメ 裏あり	口縁部ヨコナデ、脚部ヘラナデ、脚部ハケメ 裏あり		71
6	D-003	SI80	堆積土	土器	釜	(19.8)×(5.3)	ロクロ調整	ロクロ調整		71
7	E-035	SI80	堆積土	土器	高台付环	×10.0×(1.4)	ロクロ調整、底部削低ヘラケズリ→高台付	ロクロ調整	高台、取用範囲の可 能性あり	71

第69図 SI80 穹穴住居跡出土遺物



SI81 地質土被記表

部位	層位	土色	土性	備考
堆積土	1	10YR3-2	黒褐色	シルト
	2a	10YR3-3	暗褐色	シルト
	2b	10YR4-2	灰黒褐色	シルト 10YR3-2 黒褐色ブロック、10YR5-4に黒・黄褐色ブロック含む
	3	10YR3-2	暗褐色	シルト 10YR5-4に黒・黄褐色ブロック含む
側の方	4	10YR3-3	暗褐色	10YR4-6褐色砂質シルトブロック含む

SI81 施設堆積土記表

部位	層位	土色	土性	備考
P1	1	10YR3-3	暗褐色	シルト 炭化物少量、10YR4-6褐色シルトブロック含む
P5	1	10YR3-4	暗褐色	10YR3-3 黒褐色シルトブロック、10YR4-4褐色シルトブロック含む
P6	1	10YR3-3	暗褐色	10YR4-4褐色シルトブロック少量、10YR3-2 黒褐色シルトブロック微量含む

SI81 施設堆積物表

遺構名	平面形	規模(cm)	深さ(cm)	備考	遺構名	平面形	規模(cm)	深さ(cm)	備考
P1	円形	50×30	7		P4	円形	18×16	23	
P2	円形	47×36	17		P5	円形	30×23	22	
P3	円形	73×62	34	柱根跡有	P6	円形	36×18	30	

第70図 SI81 積穴遺構



回数 番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真 図版
1	E-036	SI81	堆積土	組合器	环	15.7×9.8×3.7	リブ調整、底部斜削ヘラカズリ、スノット削有	リブ調整		71

第71図 SI81 積穴遺構出土遺物

SI82 竪穴住居跡(第72・73図)

【位置・確認】3B区中央のやや南側、16・21グリッドに位置する。

【重複】SI99・II5A・Bを切り、SD42に切られる。

【規模・形態】検出した規模は、東辺3.80m、西辺3.54m、南辺3.23m、北辺2.83mを測り、南北に僅かに長い隅丸長形を呈する。

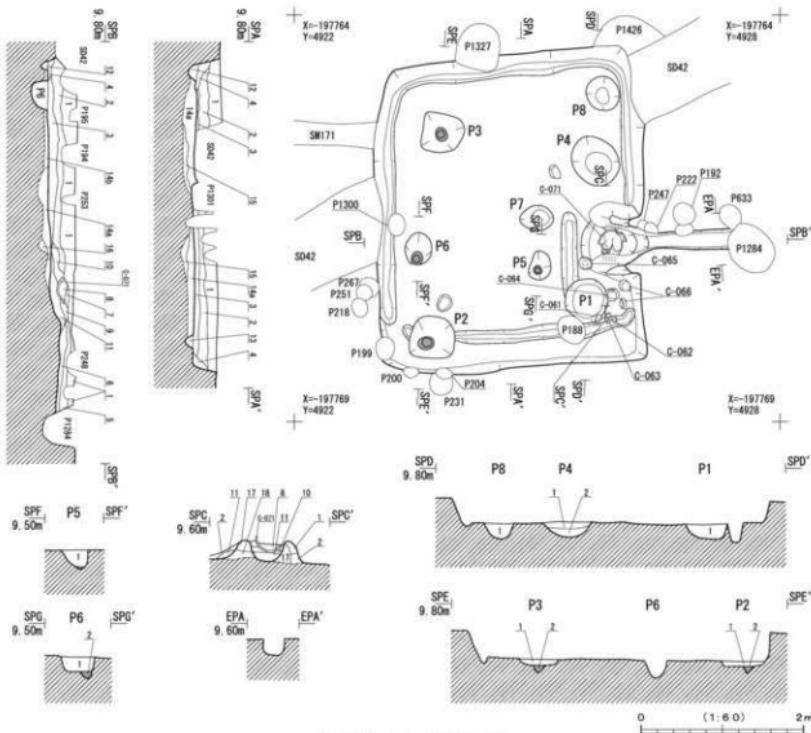
【方向】住居跡の南北軸は、カマド基準でN-89°-Eである。

【堆積土・構築土】18層に分層した。1～4が住居堆積土、5～11・17・18層がカマド関連層位、12・13層が周溝堆積土、14a・15層が掘り方堆積土、16層が間仕切り溝堆積土である。堆積の状況から、5・6層はカマド天井部および煙道部崩落土、7～10層はカマド崩落土と考えられる。11層は焼土ブロックを多量に含む。17・18層は、カマド袖構築土である。

【壁面】残存する壁高は、いずれも30cm前後を測る。南壁の一部が直立気味に立ち上がり、その他は直線的に外傾する。

【床面】3・4層下面を床面とし、概ね平坦である。

【柱穴】8基検出した。位置や規模からみて、P1～4が主柱穴に相当すると考えられる。P2・3・5・6からは、柱痕が確認された。P6は位置関係などから補助柱穴として機能していた可能性が考えられる。



第72図 SI82竪穴住居跡

【周溝】カマド付近を除き、ほぼ全周する周溝を検出した。南壁を除く三方については壁面直下を全周し、幅9~24cm、深さ5cmを測り、断面形状はU字状を呈する。南側のみ壁面から約40cm内側に構築され、南側の両コーナー付近で途切れる。南側の規模は検出長2.90m、幅13~18cm、深さ7cmを測り、断面形状はU字状を呈する。

【カマド】東壁中央よりやや南側に構築される。両袖とも長さ70cm、幅30cm前後を測り、両袖の内側には被熱の痕跡が認められた。燃焼部は幅50cm、奥行き80cm程度、床面から10cm上位の8層中からは土師器壺(第73図-11)が出土した。煙道部は東壁に直行するように直線的に延びる。規模は長さ98cm、幅22cm、深さ17cmを測り、底面は多少起伏を持ちながら煙出し部に向かって傾斜する。煙出し部についてはP1284に切られているため、詳細は不明である。

【その他の施設】カマド前庭部から南北に延びる溝が検出した。検出長95cm、幅20cm、深さ20cmを測り、断面形状はU字状を呈する。住居(居住空間)とカマド(調理場)の区画、もしくは堆積土に炭化物を含むことから灰溜め的性格を有する施設と考えられる。

【掘り方】南北方向に長さ、幅共に50cm程の高まりがみられ、北側、南側との比高差は約10cmを測る。

【出土遺物】土師器壺9点、壺1点、鉢1点、瓶1点、須恵器壺1点、用途不明土製品1点を掲載した。第73図-1~5はカマド周辺の床面直上から出土した土師器壺で、いずれも口縁部が内湾気味に開き、体部との境に段を持ち、底部は平底状の器形を呈する。同図-10は、カマド8層から出土した土師器球胴壺である。手捏ね成形される土製品(同図-14)は、破片資料で詳細は不明である。

S82 堆積土記表

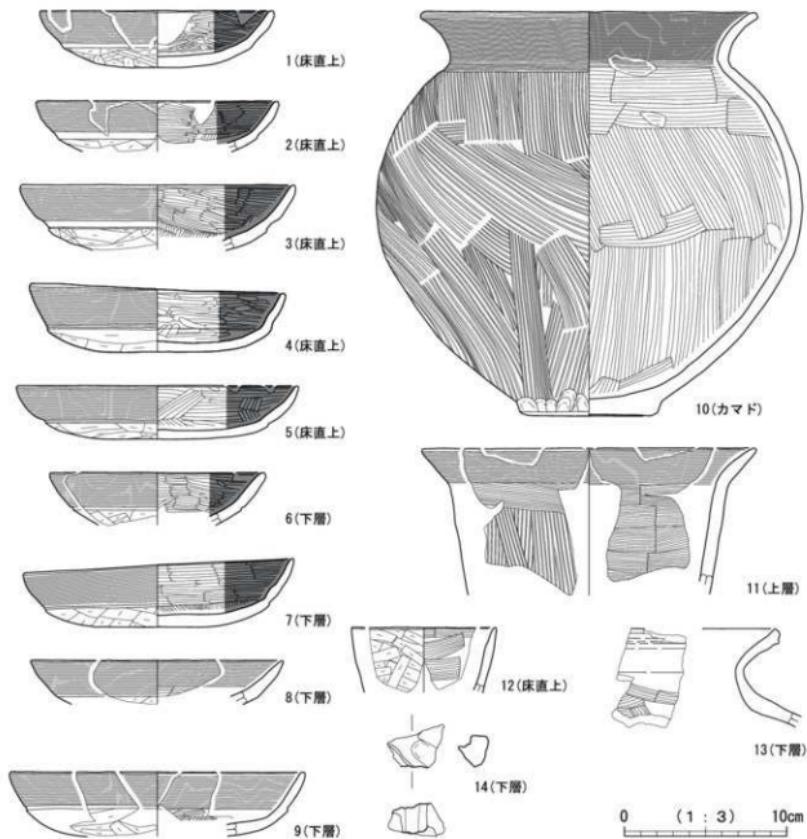
部位	層位	土 色	土 性	備 考
堆積土	1	2.5Y5/3	暗オーブ褐色	シルト 黄褐色ブロック(径10~20mm)多量、燒土ブロック少量、白色粒子(径0.5mm程)含む
	2	10YR4/3	にじむ黃褐色	シルト 黄褐色多量、炭化物、燒土ブロック少量、白色粒子含む
	3	2.5Y3/2	黒褐色	粘質シルト 黄褐色、燒土ブロック少量、黃褐色ブロック含む
	4	2.5Y4/4	オーブー褐色	シルト 黄褐色、黄褐色土の混入層
カマド	5	2.5Y5/6	黃褐色	シルト 黄褐色(径5mm)ブロック含む(煙道尖端崩落?)
	6	10YR2/2	黒褐色	シルト 壁土(径20~40mm)多量、燒土ブロック(径10~30mm)多量含む(煙道)
	7	10YR4/4	褐色	シルト 黄褐色土多量、燒土ブロック(径5mm)含む
	8	10YR3/3	黒褐色	シルト 黄褐色土多量、燒土ブロック含む
周溝	9	2.5Y4/3	オーブー褐色	シルト 黄褐色土上部、黒褐色ブロック(径5~10mm)少量含む
	10	10YR4/2	灰黒褐色	シルト 燒土ブロック(径5mm)少量、炭化物(径2~3mm)微量、灰黒色含む
	11	2.5Y1/1	暗赤褐色	シルト 燒土ブロック(径10~20mm)微量多量、炭化物(径5~10mm)少量、黃褐色土含む
	12	7.5Y3/2	黒褐色	シルト 黄褐色ブロック(径3mm)多量含む
廻り方	13	2.5Y3/2	黒褐色	シルト 燒土ブロック(径5mm)少量、黄褐色ブロック(径3~5mm)含む
	14a	10YR4/3	にじむ黃褐色	シルト 10YR7/4にじむ黄褐色ブロック、炭化物、焼化物含む
	14b			10YR4/3にじむ黄褐色、10YR7/4にじむ黄褐色のブロック層
	15			10YR4/3にじむ黄褐色、10YR7/4にじむ黄褐色のブロック層 燒化物含む
廻し切清	16	10YR4/2	灰黒褐色	シルト 10YR5~6 黄褐色地山多量、炭化物含む(カマド袖)
	17	10YR3/4	黒褐色	砂質シルト 10YR5~6 黄褐色地山多量、炭化物含む(カマド袖)
カマド	18	10YR4/2	灰黒褐色	砂質シルト 10YR5~6 黄褐色地山多量、炭化物含む(カマド袖)

S82 施設堆積土記表

部位	層位	土 色	土 性	備 考
P1	1	10YR4/2	灰黒褐色	シルト 黄褐色ブロック(径5~20mm)多量、炭化物(径2~5mm)少量含む
	1	10YR3/2	黒褐色	シルト 炭化物(径5mm)少量、黄褐色ブロック(径5~30mm)少量含む
P2	2	10YR3/2	黒褐色	シルト 燒土ブロック(径5mm)微量、黄褐色ブロック(径1~3mm)含む
	3	10YR3/2	黒褐色	シルト 燒土ブロック(径5mm)微量、黄褐色ブロック(径1~3mm)含む
P3	1	2.5Y4/3	オーブー褐色	シルト 黄褐色、燒土の混在層、炭化物(径2mm)微量含む
	2	10YR3/3	黒褐色	シルト 黄褐色ブロック(径5mm)少量、炭化物(径5mm)少量含む
P4	1	2.5Y4/3	オーブー褐色	シルト 炭化物(径2mm)、燒土ブロック少量、黄褐色ブロック(径2~5mm)含む
	2	2.5Y3/2	黒褐色	シルト 燒土ブロック(径5~10mm)微量、炭化物(径5~10mm)含む、黄褐色土含む
P5	1	10YR3/3	黒褐色	シルト 黄褐色粒子多量、炭化物、燒土ブロック(径2~5mm)少量含む
	1	10YR3/3	黒褐色	シルト 黄褐色粒子少量、炭化物(径2~5mm)、燒土ブロック含む
P6	2	10YR3/2	黒褐色	シルト 炭化物(径5mm)、黄褐色ブロック(5mm)含む
	1	10YR3/2	黒褐色	シルト 10YR5~6 黄褐色地山多量、炭化物含む(カマド袖)
P8	1	10YR3/2	黒褐色	シルト 10YR5~6 黄褐色地山多量、炭化物含む(カマド袖)

S82 施設堆積土記表

遺物名	平面形	復原(cm)	深さ(cm)	備 考	遺物名	平面形	復原(cm)	深さ(cm)	備 考
P1	円形	54×31	16	主柱穴	P5	楕円形	36×24	22	
P2	楕丸形	56×32	16	主柱穴	P6	楕円形	40×34	25	
P3	不整形	51×47	15	主柱穴	P7	楕円形	42×31	13	
P4	楕円形	63×54	19	主柱穴	P8	楕円形	44×30	16	



図版番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×高さ(cm)	外面調査	内面調査	備考	写真図版
1	C-061	SI82	床直上	土瓶器	环	(14.0)×3.5	口縁部コナデ、底部ハラケアリ	口縁部コナデ、底部ハラケアリ	内面黒色処理	72
2	C-062	SI82	床直上	土瓶器	环	(14.8)×3.2(1.1)	口縁部コナデ、体部ハラケアリ	口縁部コナデ、体部ハラケアリ	内面黒色処理	72
3	C-063	SI82	床直上	土瓶器	环	(16.8)×3.0(1.0)	口縁部コナデ、体部ハラケアリ	口縁部コナデ、体部ハラケアリ	内面黒色処理	72
4	C-066	SI82	床直上	土瓶器	环	15.8×7.0×4.2	口縁部コナデ、体部～底部ハラケアリ	口縁部コナデ、体部～底部ハラケアリ	内面黒色処理	72
5	C-065	SI82	床直上	土瓶器	环	17.2×6.6×3.3	口縁部コナデ、底部ハラケアリ	口縁部コナデ、底部ハラケアリ	内面黒色処理	72
6	C-069	SI82	下層	土瓶器	环	(13.2)×3.2(2.2)	口縁部コナデ、底部ハラケアリ	口縁部コナデ、底部ハラケアリ	内面黒色処理	72
7	C-066	SI82	下層	土瓶器	环	16.7×6.0×4.2	口縁部コナデ、体部～底部ハラケアリ	口縁部コナデ、体部～底部ハラケアリ	内面黒色処理	72
8	C-067	SI82	下層	土瓶器	环	(15.4)×3.2(2.7)	口縁部コナデ、体部ハラケアリ	口縁部コナデ、体部ハラケアリ	内面黒色処理	72
9	C-068	SI82	下層	土瓶器	环	(18.0)×3.9(3.9)	口縁部コナデ、体部～底部ハラケアリ	口縁部コナデ、底部ハラケアリ	内面黒色処理	72
10	C-071	SI82	カマド	土瓶器	甕	(26.0)×7.3×24.9	口縁部コナデ、側部ハラケアリ、底部付近スピオサフ	口縁部コナデ、側部～底部ハラケアリ	内面黒色処理	72
11	C-072	SI82	上層	土瓶器	甕	(20.4)×7.0×10.0	口縁部コナデ、側部ハラケアリ	口縁部コナデ、側部ハラケアリ	内面黒色処理	72
12	C-070	SI82	床直上	土瓶器	甕	(8.8)×3.4(1.0)	口縁部～体部ハラケアリ	口縁部～体部ハラケアリ	内外面黒色処理	72
13	E-025	SI82	下層	皿形器	甕	××(6.1)	クロクロ調査～脚部平行凹凸部→ハラナリ	クロクロ調査～当て具張	外面白自然釉	72
図版番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	長さ×幅×厚さ(cm)	重量(g)	備考	写真図版	
14	P-007	SI82	下層	土瓶器	不明	××(2.7)	10.6	手捏ね		72

第73図 SI82 穫穴住居跡出土遺物

SI83 積穴住居跡(第74・75図)

【位置・確認】3B区南東端、8・12グリッドに位置する。

【重複】SI107を切り、SD42・55・59に切られる。

【規模・形態】検出した規模は、東辺1.60m、西辺2.00m、南辺3.21m、北辺2.35mを測り、平面形状は隅丸方形を呈するものと思われる。

【方向】住居跡の南北軸は、カマド基準でN-8°-Eである。

【堆積土・構築土】22層に分層した。1～4層は住居堆積土、5～14・16～20層がカマド関連層位、15層が周溝堆積土、21・22層が掘り方堆積土である。2層中には、部分的に大粒の自然礫が介在する。16～20層はカマド抽構築土である。

【壁面】残存する壁高は、いずれも15cm前後を測る。西壁は直線的に外傾し、南壁・東壁はやや外反する。

【床面】1～4層下面を床面とし、ほぼ平坦である。

【柱穴】13基検出した。平面形状は円形ないし楕円形が多く、深さはいずれも15cm前後を測るが、上端径は様々である。本住居跡においては主柱穴に相当するようなビットは認められないものの、位置的にみて、周溝に接して構築されるP1・3・4・7・11・13が側柱として機能した可能性が考えられる。P10はカマド両袖の中間に位置しており、カマドに関連する施設と考えられる。

【周溝】検出した部分においては、カマド直下と東壁北側を除き、壁直下を全周する。規模は、幅13～30cm、深さ4～6cmを測る。

【カマド】北壁の東寄りに構築される。袖部は左右共に長さ100cm、幅40～50cmを測り、左袖は北壁から外側に開きながら「し」字状に延び、右袖はやや開きながら直線的に延びる。燃焼部は幅55cm、奥行き100cm程で、両袖の中間には南北50cm、東西30cm程の不整形な被熱範囲が確認された。煙道部は長さ160cm、幅16～26cm、深さ5～11cmを測り、底面はほぼ平坦である。煙出しは上端径35×30cm、深さ23cmを測り、ビット状を呈する。

【その他の施設】東煙際のはば中央から、土坑を1基検出した。規模は86×67cm、深さ20cmを測り、平面形状は楕円形、断面形状は半円形を呈する。

【掘り方】中央部のみ床面から15cm程掘り下げられるほかは、ほぼ平坦である。

【出土遺物】土師器壺1点、ロクロ土師器壺2点、鉄製鏡1点、疊石器1点を掲載した。ロクロ土師器壺2点(第75図-2・3)は、いずれも堆積土からの出土である。

SI84 積穴住居跡(第76～78図)

【位置・確認】3B区中央部のやや南西側、15・20グリッドに位置する。

【重複】SI93・106・109を切り、SD42に切られる。また、住居中央部は搅乱によって大きく失われている。

【規模・形態】検出した規模は、東辺4.32m、西辺5.02m、南辺3.33m、北辺2.50mを測り、平面形状は隅丸方形を呈する。

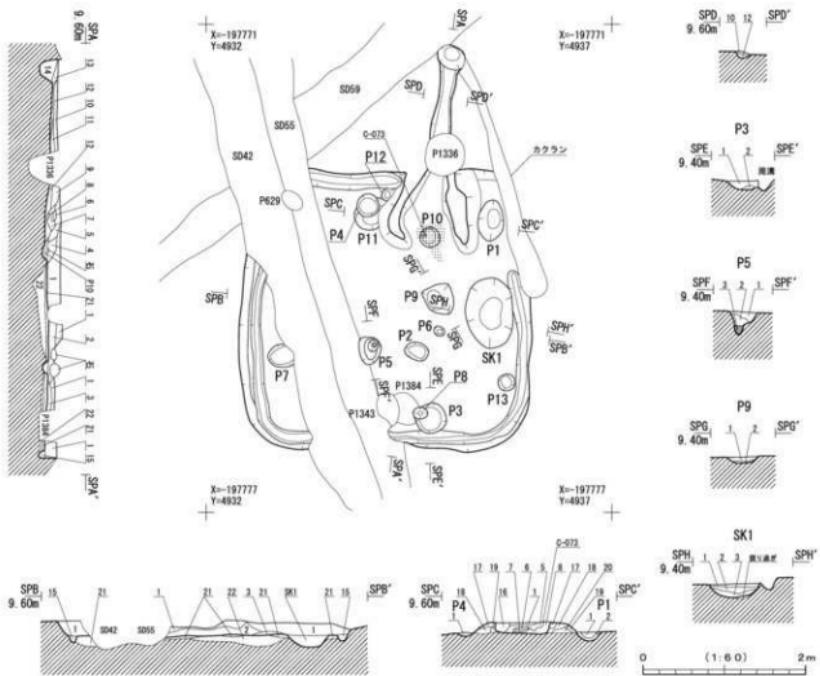
【方向】住居跡の南北軸は、西辺基準でN-20°-Eである。

【堆積土・構築土】8層に分層した。暗褐色シルトを主体とし、褐色土ブロックを含む。1～4層は住居堆積土で、2層では部分的な炭化物の集積層を確認した。

【壁面】残存する壁高は、東西壁が5cm前後、南壁が16～28cm、北壁が15cmを測り、壁は直線的にやや外傾する。

【床面】3層下面を床面とし、西側にやや起伏がみられる他は、ほぼ平坦である。

【柱穴】調査時では26基検出したが、後に欠番扱いとしたものもあり、本住居跡に伴うビットは18基である。位置や規模、柱痕の有無等からみて、P10・12・18・21が主柱穴に相当すると考えられる。ビットは住居の四隅にそれぞれ数基が重複して構築されていることから、建て替えが行われた可能性が考えられる。



S183 垂直土柱記表

基岩	層位	土色	土性	備考
堆積土	1	10YR4/4	褐色	砂質シルト 炭化物、鐵土、鐵物少量含む
	2	10YR4/1	褐色	シルト 砂微量含む
	3	10YR6/6	明褐色	砂質シルト 炭化物微量、10YR4/4褐色ブロック含む
	4	10YR6/6	明褐色	砂質シルト 炭化物多量、5YR5/6褐色ブロック含む 10YK3/2-黒褐色、5YR5/1明褐色地土粒多量含む
カマド	5	7.5YR4/3	褐色	シルト
	6	5YR4/4	赤褐色	シルト
	7	10YK3/2	墨褐色	シルト 砂少量含む (燃焼部)
	8	10YR5/6	黃褐色	砂質シルト にかい黄褐色色調、5YR4/4褐色少量含む (天井崩落土)
	9	10YR5/6	黃褐色	砂質シルト にかい黄褐色色調、5YR4/4褐色少量含む (天井崩落土)
	10	10YR4/6	褐色	砂質シルト 遺物少量含む (匂:1井井崩落土)
	11	10YR4/6	褐色	砂質シルト 10YR5/6黃褐色ブロック少量含む (燃焼部)
	12	10YK3/2	墨褐色	シルト 10YR5/6黃褐色ブロック少量含む
	13	10YR4/4	褐色	シルト 炭化物多量含む
	14	10YR3/7	暗褐色	シルト 炭化物少量含む
鉱脈	15	10YR3/3	暗褐色	砂質シルト 地山アーチ、炭化物微量含む
	16	10YR3/4	暗褐色	シルト 7.5YR5/6明褐色地土ブロック少量、砂含む
	17	2.5YR7/6	暗褐色	砂質シルト
	18	10YR3/3	暗褐色	砂質シルト 地山砂質シルト、炭化物、鐵土(径1~2mm)微量含む
側壁	19	10YR3/3	暗褐色	砂質シルト 地山砂質シルト少量含む
	20	10YR3/3	暗褐色	砂質シルト 地山砂質シルト多量含む
側壁	21	10YR4/4	暗褐色	砂質シルト 地山ブロック多量含む
	22	10YR4/4	暗褐色	砂質シルト 地山ブロック多量含む

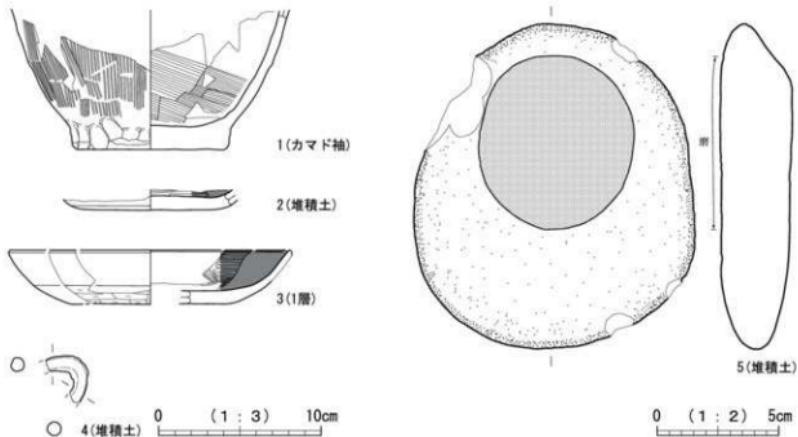
第74図 S183豎穴住居跡

SB3 施設堆積土柱記載

部位	層位	土色	土性	備考
SK1	1	10YR3/4	暗褐色	シルト 炭化物、遺物少量含む
	2	10YR3/4	暗褐色	シルト 地山ブロック含む
	3	10YR3/3	暗褐色	シルト 炭化物、遺物少量含む
P1	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 炭化物含む
	2	10YR3/1	黒褐色	シルト 炭化物多量、7.5YR6/6褐色地土ブロック少量含む
P3	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 砂質シルト 10YR3/3褐色ブロック少量含む
	2	10YR4/6	褐色	砂質シルト 炭化物含む
P4	1	10YR3/2	黒褐色	シルト 炭化物、2.5YR8/6褐色地土ブロック含む
	2	10YR3/3	暗褐色	シルト 炭化物、砂質含む
P5	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 地山ブロック、炭化物少量含む
	2	10YR3/3	暗褐色	シルト 砂少量含む
	3	10YR3/2	黒褐色	シルト 地山ブロック多量、炭化物少量、地山ブロック微量含む
P9	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 地山ブロック少量、炭化物、砂微量含む
	2	10YR3/3	暗褐色	地山ブロック少量、地山、砂微量含む

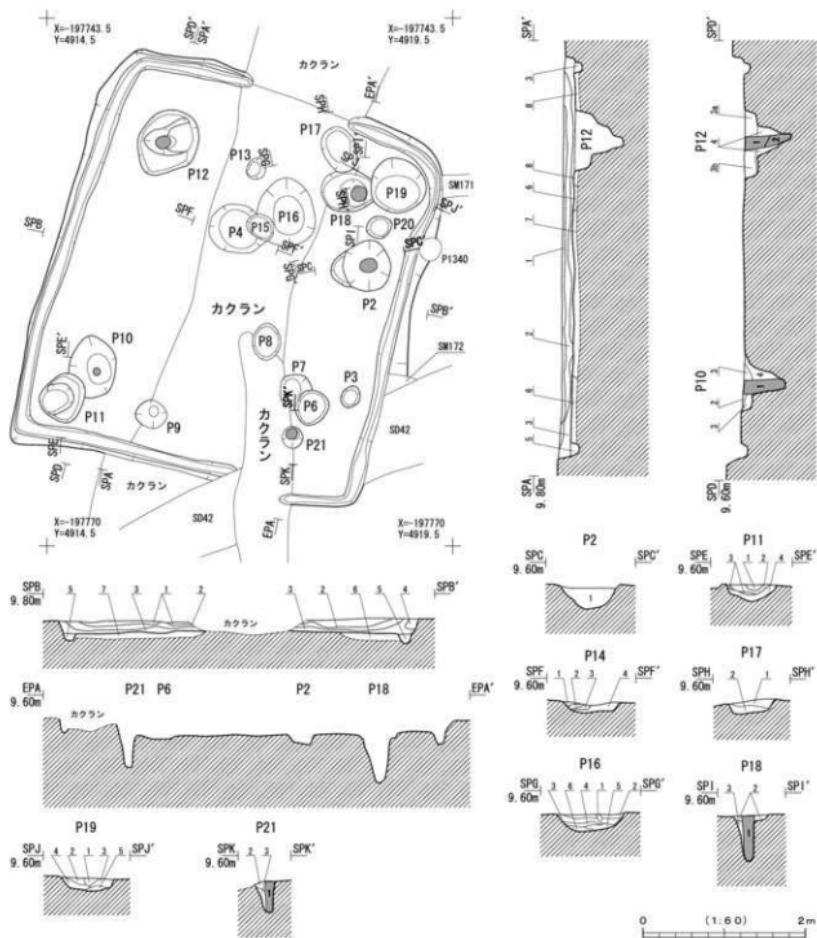
SB3 施設剖面図

遺構名	平面形	規模(cm)	深さ(cm)	備考	遺構名	平面形	規模(cm)	深さ(cm)	備考
SK1	扇円形	86×67	20		P7	円形	33×32	6	
P1	扇円形	48×38	18		P8	扇円形	19×18	15	
P2	扇円形	27×17	6		P9	不整形	38×32	11	
P3	円形	39×36	11		P10	円形	23×23	9	
P4	円形	29×26	6		P11	扇円形	(50×(36))	10	側り力候出
P5	円形	33×36	13		P12	円形	(22)×(16)	9	側り力候出
P6	円形	13×12	10		P13	円形	23×20	6	側り力候出



国版番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	径	口径×底径×器高(cm)	外周調整	内周調整	備考	写真
1	C-073	SB3	カマド軸	土加器	甌	(17.1)×(9.0)×(8.6)	側部ハケオ、底部付近ユビオサエ	側部～底部ヘラナギ			72
2	D-004	SB3	堆積土	ロクロ 土加器	甌	×10.8×(1.3)	ロクロ調整、底部手切後ナギ調整。	ロクロ調整→ヘラニギキ	内面黒色処理、摩滅		72
3	D-005	SB3	1層	ロクロ 土加器	甌	(17.2)×(9.6)×(3.3)	ロクロ調整、底部斜面ハラケオリ、底部下端ヘタク(穴)	ロクロ調整→ヘラニギキ	内面黒色処理		72
国版番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	径	口径×底径×器高(cm)	備考			写真
4	N-002	SB3	堆積土	陶製品	甌	長3(4.2)、径0.8cm					72
国版番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	径	口径×底径×器高(cm)	重量(g)	石材	備考	写真
5	Kr-072	SB3	堆積土	石器	磨石	-	13.3×11.3×3.0	367.22	麻灰岩 完品、円盤、削一面(平)		72

第75図 SI83竪穴住居跡出土遺物



SI84 埋積土詳細図

部位	層位	土色	土性	備考
堆積土	1	10YK3/2	黒褐色	シルト 10YR4/4 黒褐色シルトブロック含む
	2	10YM2/3	暗褐色	シルト 10YR4/4 黑褐色シルトブロック含む 上部に炭化物集積あり
	3	10YM2/3	黒褐色	シルト 10YK3/3 黒褐色シルトブロック、10YR4/4 黑褐色シルトブロック含む
	4	10YR3/4	暗褐色	シルト 10YR5/4 黒褐色シルトブロック多量、10YR3/3 黑褐色シルトブロック、10YR4/4 黑褐色シルトブロック含む
則漢	5	10YR3/3	暗褐色	シルト 10YR4/4 黑褐色シルトブロック多量、炭化物粘土ブロック含む
側面	6	10YR3/4	暗褐色	シルト 10YR4/4 黑褐色砂質シルトブロック、10YR4/3 黑褐色砂質シルトブロック、10YR4/2 黑褐色シルトブロック含む 變土粘土質、10YR3/2 黑褐色シルトブロック、10YR4/4 黑褐色シルトブロック、10YR5/4 黑褐色シルト層、炭化物粘土含む
	7	10YR3/3	暗褐色	シルト
	8	10YR3/3	暗褐色	シルト 10YR4/4 黑褐色シルトブロック多量、炭化物粘土ブロック含む

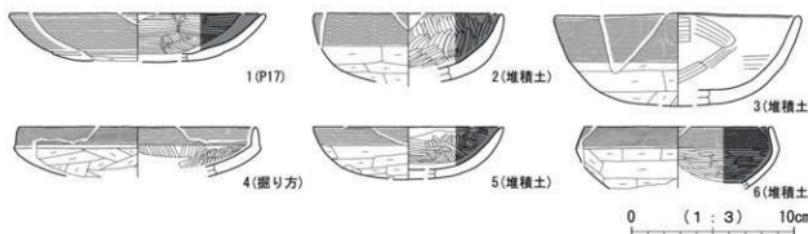
第76図 SI84 穴式住居跡

SB4 施設構造記録

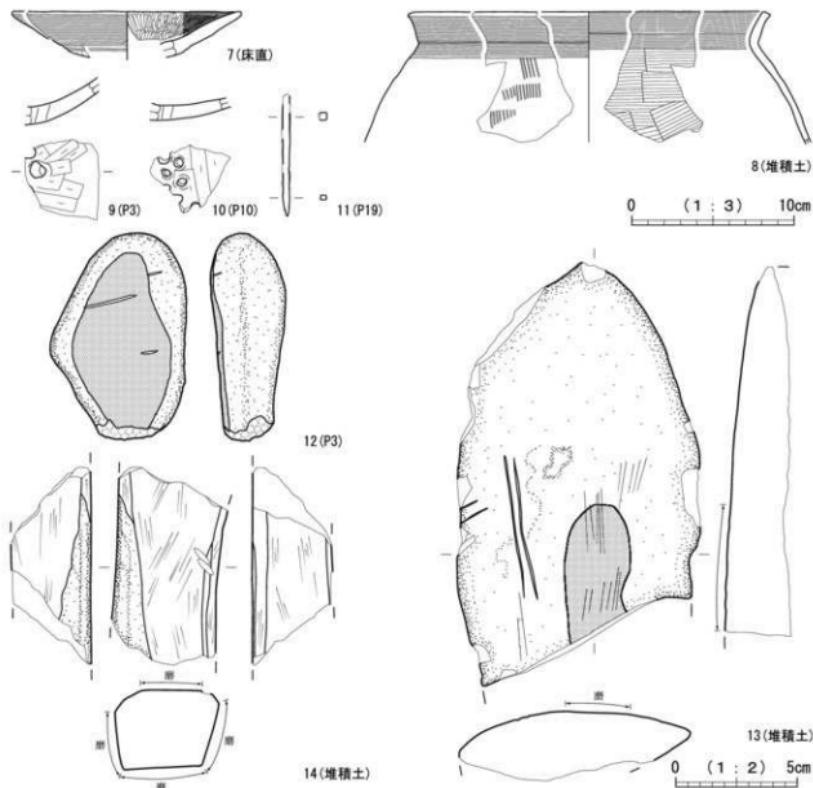
部位	層位	土色	土性	備考
P2	1	10YR3-3	暗褐色	シルト 5YR4-4に高い赤褐色シルトブロック、10YR3-2黒褐色シルトブロック、10YR4-4褐色シルト含む
	1	10YR3-3	暗褐色	シルト 10YR4-4褐色シルトブロック、5YR4-4に高い赤褐色シルト少量、10YR2-1黒色シルト含む
	2	10YR3-2	黒褐色	シルト 10YR3-3褐色シルトブロック含む
	3	10YR3-2	黒褐色	シルト 10YR4-4褐色シルトブロック含む
P10	4	10YR3-2	黒褐色	シルト 10YR3-3褐色シルトブロック含む
	1	10YR3-3	暗褐色	シルト 10YR4-4褐色シルトブロック含む
	2	10YR3-2	黒褐色	シルト 5YR4-4褐色シルトブロック少量、10YR4-4褐色シルトブロック微量含む
	3	10YR4-4	褐色	シルト
P11	4	10YR2-2	黒褐色	シルト 10YR4-4褐色シルトブロック、炭化物微量含む
	1	10YR3-2	黒褐色	シルト 10YR4-4褐色シルトブロック、10YR2-1黒色シルトブロック、炭化物微量含む
	2	10YR3-3	暗褐色	シルト 10YR3-2黒褐色シルトブロック含む
	3	10YR4-4	褐色	シルト 10YR4-4褐色シルトブロック、炭化物微量含む
P12	4	10YR2-2	黒褐色	シルト 10YR4-4褐色シルトブロック、炭化物微量含む
	1	10YR3-2	黒褐色	シルト 10YR4-4褐色シルトブロック、10YR2-1黒色シルトブロック、炭化物微量含む
	2	10YR3-3	暗褐色	シルト 10YR4-4褐色シルトブロック含む
	3a	10YR3-3	暗褐色	シルト 10YR4-4褐色シルトブロック、炭化物微量含む
P13	3b	10YR3-3	暗褐色	シルト 3aと10YR4-4褐色シルトブロック多く炭化物微量含む
	4	10YR4-3	に高い黄褐色	シルト 10YR4-3褐色シルトブロック、炭化物微量含む
	1	10YR5-3	に高い黄褐色	シルト 10YR3-2褐色シルトブロック少量、焼土粒微量含む
	2	10YR3-2	黒褐色	シルト 10YR2-3黒褐色シルトブロック、5YR4-4に高い赤褐色シルトブロック、10YR3-3に高い赤褐色シルトブロック微量含む
P14	3	10YR4-3	に高い黄褐色	シルト 炭化物微量含む
	4	7.5YR3-2	黒褐色	シルト 7.5YR2-1褐色シルトブロック、5YR4-4に高い赤褐色シルトブロック、10YR4-4褐色シルトブロック含む
	1	10YR3-4	暗褐色	シルト
	2	10YR4-3	に高い黄褐色	シルト 7.5YR4-4に高い黄褐色シルトブロック、10YR4-4褐色シルトブロック、炭化物微量含む
P15	3	10YR4-3	に高い黄褐色	シルト 5YR2-4褐色非赤褐色シルト含む
	4	10YR3-2	暗褐色	シルト 7.5YR2-4褐色赤褐色シルトブロック
	5	10YR4-3	に高い黄褐色	シルト 7.5YR2-4褐色赤褐色シルトブロック、5YR4-4に高い赤褐色シルトブロック現状に含む
	6	7.5YR2-3	褐色	砂質シルト
P16	1	10YR2-2	黒褐色	シルト質砂
	2	10YR3-2	黒褐色	シルト 10YR4-4褐色シルトブロック、5YR4-4褐色シルトブロック、炭化物含む
P17	1	10YR3-3	暗褐色	シルト 10YR3-4褐色シルトブロック、炭化物微量含む
	2	10YR3-2	黒褐色	シルト 10YR3-4褐色シルトブロック、炭化物含む
	3	10YR4-3	に高い黄褐色	シルト 10YR3-2褐色シルトブロック含む
	4	10YR3-2	暗褐色	シルト 10YR4-4褐色シルトブロック
P18	5	10YR4-3	に高い黄褐色	シルト 7.5YR2-4褐色赤褐色シルトブロック
	6	7.5YR2-3	褐色	シルト 7.5YR2-4褐色赤褐色シルトブロック、5YR4-4褐色シルトブロック含む
	1	10YR3-2	暗褐色	シルト質砂
	2	10YR3-2	黒褐色	シルト 10YR4-4褐色シルトブロック、5YR4-4褐色シルトブロック、炭化物含む
P19	3	10YR3-3	暗褐色	シルト 10YR3-3褐色シルトブロック含む
	4	10YR2-2	黒褐色	シルト 10YR3-3褐色シルトブロック、5YR4-4褐色シルトブロック含む
	5	7.5YR2-2	黒褐色	シルト 5YR4-4褐色シルト集塊、壁面に10YR3-2黒褐色シルト多量に含む 10YR4-4褐色シルトブロック含む
	6	10YR4-4	褐色	シルト 10YR3-3褐色シルトブロック、5YR4-4褐色シルトブロック含む
P20	1	10YR3-3	暗褐色	シルト 10YR3-2黒褐色シルトブロック、10YR4-4褐色シルトブロック含む
	2	10YR3-4	暗褐色	シルト 10YR4-4褐色シルトブロック含む
	3	10YR2-3	黒褐色	シルト 10YR3-3褐色シルトブロック含む

SB4 施設断面図

遺構名	平面形	規模(cm)	深さ(cm)	備考	遺構名	平面形	規模(cm)	深さ(cm)	備考
P2	不整形	72×60	33		P13	円形	27×23	22	
P3	楕円形	27×24	5		P14	円形	(69)×(62)	12	
P6	楕円形	44×41	7		P15	楕円形	35×28	11	
P7	円形	(38)×(37)	13		P16	楕円形	(83)×(69)	22	
P8	楕円形	44×35	4		P17	楕円形	58×41	14	
P9	円形	35×35	21		P18	楕円形	(62)×(47)	60	
P10	楕円形	(75)×(58)	56		P19	円形	67×67	17	
P11	不整形	59×52	26		P20	円形	31×27	5	
P12	楕円形	83×74	63		P21	円形	27×21	22	



第77図 SI84 積穴住居跡出土遺物(1)



図版 番号	登録番号	出土遺物	層位	種別	器種	口径×高径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真 回数
1	C-077	SI84	P17	土器	环	(15.6) × ×(2.9)	口縁部～体部ヨコナギ、底部ヘラケズリ	口縁部～底部ヘラカギナ	内面黒色処理	73
2	C-075	SI84	堆積土	土器	环	(11.2) × ×(2.1)	口縁部ヨコナギ、体部～底部ヘラカズリ	口縁部～底部ヘラカギナ	内面黒色処理	73
3	C-076	SI84	堆積土	土器	环	15.0 × 5.7	口縁部ヨコナギ、体部～底部ヘラカズリ	口縁部～底部ヘラカギナ	73	
4	C-078	SI84	脚付	土器	环	(14.6) × ×(2.1)	口縁部ヨコナギ、体部～底部ヘラカズリ	口縁部ヨコナギ、体部～底部ヘラカギナ	73	
5	C-076	SI84	堆積土	土器	环	(11.4) × ×(2.1)	口縁部ヨコナギ、体部～底部ヘラカズリ	口縁部ヨコナギ、体部～底部ヘラカギナ	内面黒色処理	73
6	C-080	SI84	堆積土	土器	环	(11.6) × ×(2.8)	口縁部ヨコナギ、体部～底部ヘラカズリ	口縁部ヨコナギ、体部～底部ヘラカギナ	内面黒色処理	73
7	C-074	SI84	床面	土器	环	(7.0) × ×(3.0)	口縁部ヨコナギ、体部～底部ヘラカズリ	口縁部～底部ヘラカギナ	内面黒色処理	73
8	C-081	SI84	堆積土	土器	束	(21.6) × ×(8.0)	口縁部ヨコナギ、脚部ハナメ	口縁部ヨコナギ、脚部ハナメ	73	
9	C-082	SI84	P3	土器	瓶	× ×(2.9)	底部ヘラカズリ	底部ヘラカギナ	0.7cm	73
10	C-083	SI84	P10	土器	瓶	× ×(2.9)	底部ヘラカズリ	底部ヘラカギナ	0.5cm	73

図版 番号	登録番号	出土遺物	層位	種別	器種	断面	基底×幅×厚さ(cm)	重量(g)	石 材	備 考	写真 回数
11	N-003	SI84	P19	鉄製品	鍛錬車輪	長5(7.4cm),幅0.4cm,厚0.2~0.4cm					73

図版 番号	登録番号	出土遺物	層位	種別	器種	断面	基底×幅×厚さ(cm)	重量(g)	石 材	備 考	写真 回数
12	Kc-075	SI84	P3	砾石器	磨石器	磨+砾	8.4×5.5×0.7	191.46	安山岩	尖棱品,他(理),體一面(平),缺(先1箇所)程度(微)	73
13	Kd-019	SI84	堆積土	石製品	砾石	-	17.4×9.9×3.2	290.02	燧灰岩	尖棱品,(他理),板状,無孔,塊状(微),自然面(少)	73
14	Kd-020	SI84	堆積土	石製品	砾石	-	8.1×4.9×3.3	111.46	砂岩	尖棱品,面取9,柱状,無孔。	73

第78図 SI84堅穴住居出土遺物(2)

【周溝】 挿乱の影響を受けている箇所を除き、壁際を沿うように全周する。規模は、幅11～20cm、深さ6～16cmを測る。

【掘り方】 中央部および南西側に高まりがみられるほかは、ほぼ平坦である。

【出土遺物】 土師器壺6点、高壺1点、甕1点、瓶2点、鉄製鍤車軸1点、礫石器1点、砥石2点を掲載した。第77図-4・6は体部と口縁部の境界に接を持ち、口縁部が内傾する器形を呈する。同図-9・10は、いずれも多孔の土師器壺底部破片である。

SI85A 穫穴住居跡(第79・80図)

【位置・確認】 3B区南東端、8・12グリッドに位置する。住居西側のみを確認し、その規模や位置関係から、SI85B建て替え後の住居跡と考えられた。全体の2/3以上が調査区外へ延びており、また、調査区内においても大部分は挿乱により失われている。

【重複】 SI85Bを切る。

【規模・形態】 検出した規模は、西辺3.67m、南辺65cm、北辺80cmを測る。平面形状は隅丸方形と思われる。

【方向】 住居跡の南北軸は、西壁基準でN-5°-Wである。

【堆積土・構築土】 4層に分層した。すべてⅣ層土をブロック状に含む褐色シルトである。1・2層は住居堆積土、3・4層は周溝堆積土である。なお、掘り方は確認されなかった。

【壁面】 西壁と南壁の一部が残存するのみである。壁高は西壁11～19cm、南壁20～27cmを測り、壁は内清気味に立ち上がる。

【床面】 2層下面を床面とし、ほぼ平坦である。

【柱穴】 6基検出した。平面形状は梢円形もしくは不整形で、上端径は15～25cm前後、深さ10～25cm前後を測る。P1～5は上端に沿うように構築されており、その位置から壁柱穴と考えられる。

【周溝】 西壁北部で75cm程途切れるものの、残存する部分については壁際を沿うように検出した。規模は、幅5～22cm、深さ3～5cmを測り、断面形状はU字状を呈する。

【出土遺物】 土師器壺、鉢、ミニチュア土器を各1点掲載した。いずれも堆積土からの出土である。ミニチュア土器(第80図-3)は内面が黒色処理され、外面胴部には初痕が観察される。

SI85B 穫穴住居跡(第81図)

【位置・確認】 3B区南東端、8・12グリッドに位置する。住居西側と南側の一部のみを確認し、その規模や位置関係から、SI85A建て替え前の住居跡と考えられた。

【重複】 SI85Aに切られる。

【規模・形態】 検出した規模は、西辺3.18m、南辺1.02mを測る。平面形状は不明である。

【方向】 住居跡の南北軸は、西壁基準でN-6°-Wである。

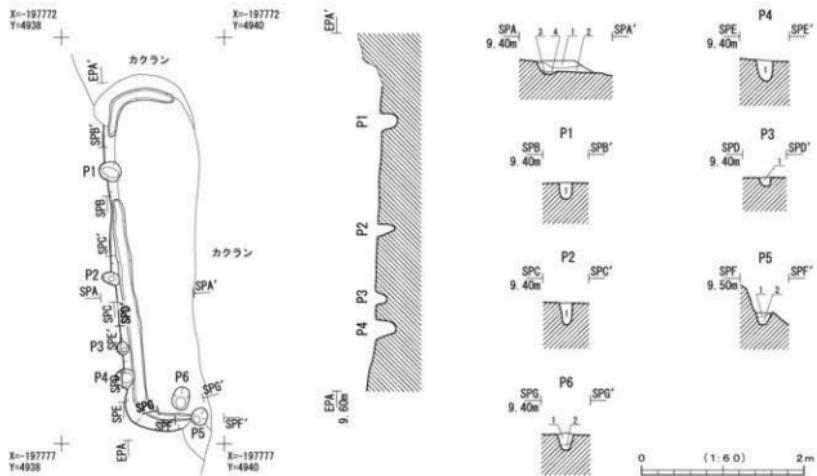
【堆積土・構築土】 2層に分層した。1層が住居堆積土で、2層は周溝堆積土である。なお、掘り方は確認されなかった。

【壁面】 残存する壁高は、西壁5～17cm、南壁7cmを測り、壁は直線的に外傾する。

【床面】 1層下面を床面とし、ほぼ平坦である。

【周溝】 西壁南半で部分的に壁際を回る周溝を検出した。規模は、検出長180cm、幅12cm、深さ2cmを測り、断面形状はU字状を呈する。

【出土遺物】 掲載した遺物は無い。



SI85A 堆積土柱記表

部位	層位	土色	土性	備考
堆積土	1	10YR4/4	褐色	シルト 地山アブロック多量、砂含む
	2	10YR4/4	褐色	シルト 地山アブロック少量含む
周溝	3	10YR4/4	褐色	シルト 地山シルト、細石シルトアブロック少量化含む
	4	10YR4/4	褐色	シルト 地山シルト少量含む

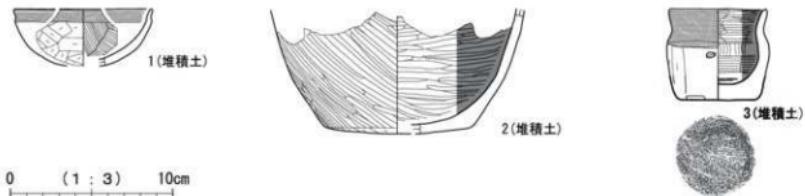
SI85A 施設堆積土柱記表

部位	層位	土色	土性	備考
P1	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 10YR3/1黒褐色シルトアブロック少量化含む
P2	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 地山シルト、10YR3/1黒褐色シルトアブロック少量化含む
P3	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 地山シルト、10YR3/1黒褐色シルトアブロック少量化含む
P4	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 地山シルト、10YR3/1黒褐色シルトアブロック少量化含む
P5	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 地山シルト少量化含む
	2	10YR3/3	暗褐色	地山アブロック少量化含む
P6	1	10YR3/4	暗褐色	シルト 炭化物少量化、地山アブロック少量化含む
	2	10YR2/2	黒褐色	炭化物、遺物付少量含む

SI85A 施設敷地面積表

遺構名	平面形	復原(cm)	復元(cm)	備考
P1	楕円形	28×23	9	
P2	楕円形	22×14	28	
P3	楕円形	17×12	15	

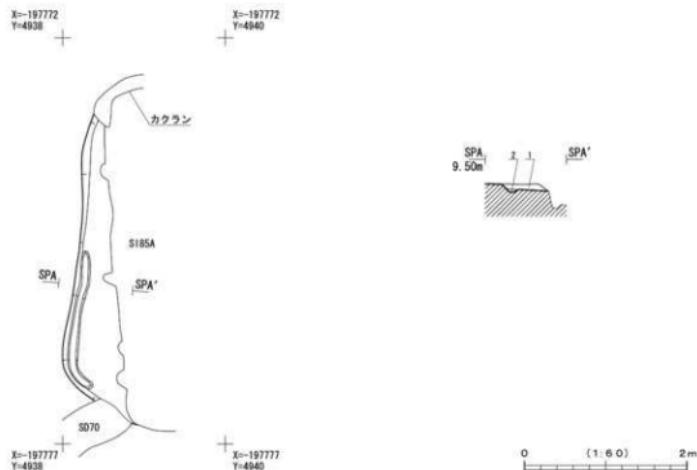
第79図 SI85A 穫穴住居跡



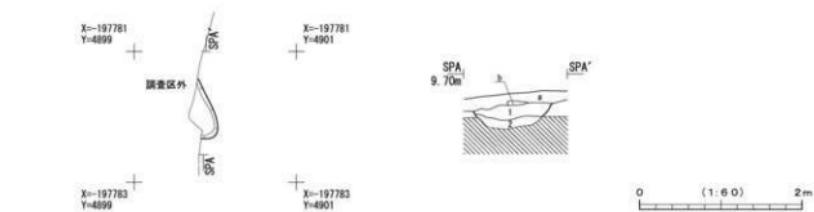
0 (1 : 3) 10cm

登録番号	出土遺物	層位	種別	形	目印×底径×高さ(cm)	外 壁 調 整	内 壁 調 整	備 考	写 真 図 版
1 C-084	SI85A	堆積土	土器底	环	(8.4)×(3.2)	口縁部コロナ、底面～底部ヘタケヅリ	口縁部コロナ、底面～底部ヘタケヅリ		73
2 C-085	SI85A	堆積土	土器底	环	×(18.6)×(7.7)	体部～体部下端ヘタケヅリ、底面ヘタケヅリ	体部～底面ヘタケヅリ	内面黑色処理	73
3 C-086	SI85A	堆積土	土器底	二重フサ	(3.8)×(4.8)×(5.6)	口縁部コロナ、底部ヘタケヅリ、底部ヘタケヅリ	口縁部ヘタケヅリ、底部ヘタケヅリ	内面黑色処理	73

第80図 SI85A 穫穴住居跡出土遺物



第81図 SI85B豎穴住居跡



第82図 SI86豎穴住居跡

SI86 壁穴住居跡(第82図)

【位置・確認】3B区南西端、1グリッドに位置する。殆どが西側調査区外に延びる。

【重複】SI71Aを切る。

【規模・形態】検出した規模は、東辺60cm、南辺10cmを測る。平面形状は不明である。

【方向】住居跡の南北軸は、東壁基準でN・29°・Wであるが、検出部分が少なく判然としない。

【堆積土・構築土】2層に分層した。1層は住居堆積土、2層は掘り方堆積土である。

【壁面】調査区西壁で20cm程の壁高を測る。

【床面】1層下面を床面とするが、検出範囲が少なく、カマドや他の付属施設についても詳細は不明である。

【掘り方】深さ15cm前後を測るが、これについても検出範囲が少なく、詳細は不明である。

【出土遺物】掲載した遺物は無い。

SI87 壁穴住居跡(第83～85図)

【位置・確認】3B区南端中央、7・8グリッドに位置する。

【重複】SI102・107・130を切り、SD68に切られる。南側約1/2は調査区外だが、擾乱により失われている。

【規模・形態】検出した規模は、東辺1.48m、西辺1.90m、北辺2.90mを測る。平面形状はいびつな方形を呈するものと思われる。

【方向】住居跡の南北軸は、東壁基準でN・20°・Eである。

【堆積土・構築土】7層に分層した。1～3b層が住居堆積土、4層以下が炉堆積土である。炉堆積土については、焼成面に相当する層(4層および5b層)と炉床に相当する層(5a層および6・7層)が交互に堆積する様相が観察され、少なくとも2期にわたる使用が確認された。なお、掘り方は確認されなかった。

【壁面】残存する壁高は、いずれも15cm前後を測り、壁は直立気味に立ち上がる。

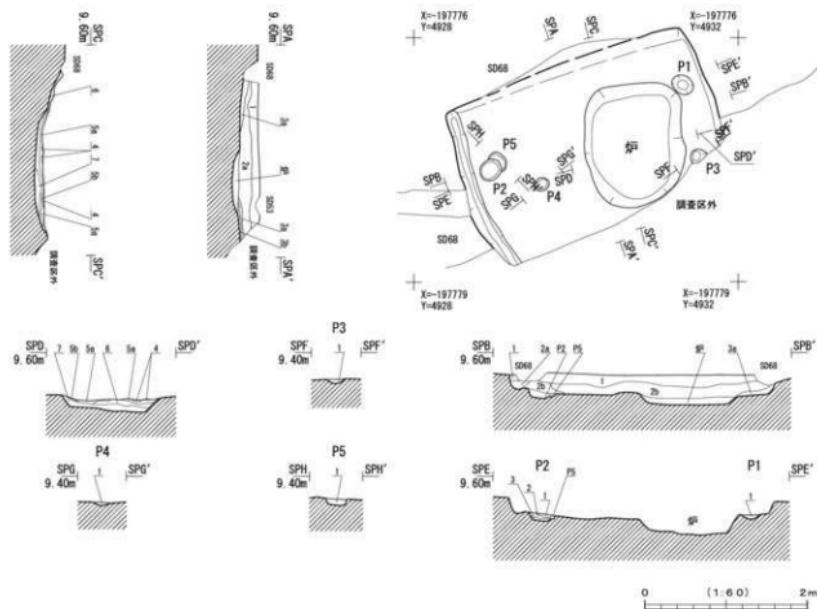
【床面】2b・3a・3b層下面を床面とし、炉の西側に5cm程の高まりがみられるものの、ほぼ平坦である。

【柱穴】5基検出した。上端径はいずれも25cm前後、深さ10cm前後を測る。柱痕が確認されたものは無いが、位置的にみてPI～3が主柱穴に相当すると考えられる。

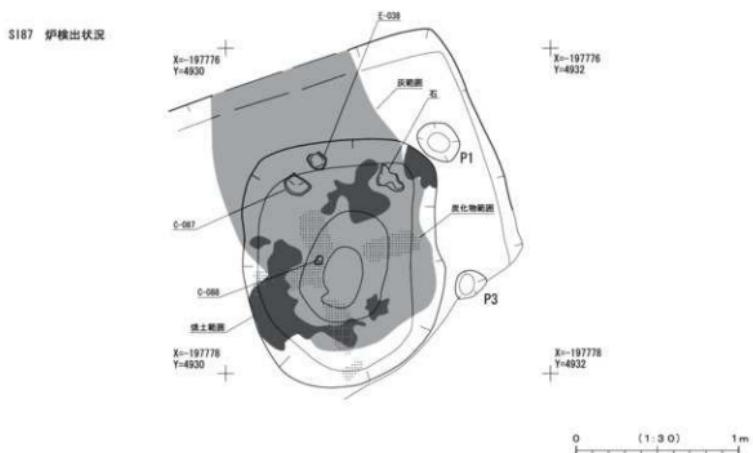
【周溝】西壁のみで壁直下から検出した。規模は検出長2.00m、幅30cm前後、深さ5cm前後を測り、断面形はU字状を呈する。

【炉】住居床面東部から炉を検出した。南北3.5m×東西2.5mの範囲で不整形な灰、炭化物、焼土の折がりを確認した(第84図)。その広範囲に折がる灰を取り除くと、長軸1.52m×短軸1.22mを測る長軸を真北にもつ平面プランを検出した。炉の深さは21cmを測り、掘り方は中央に南北1.5m×東西1.2m、深さ5cmの窪みがみられるほかはほぼ平坦で、炉壁は直線的に外傾して立ち上がる。位置や堆積土の状況から、住居とは別の作業場的性格を持つ施設の可能性が考えられる。

【出土遺物】土師器壺6点、ロクロ土師器壺1点、須恵器壺1点、壺1点を掲載した。炉出土遺物は第85図-1・3～5・7・8である。土師器壺の器形は、口縁部が直線的に外傾するもの(同図-1)、内湾するもの(第85図-2・3・6)、外反するもの(同図-4・5)に三大別される。なお、炉については鍛冶関連遺構の可能性が考えられたことから、堆積土を回収し水洗選別を行ったが、鍛冶作業に関わるような遺物は出土しなかった。



第83図 SI87竪穴住居跡(1)



第84図 SI87竪穴住居跡(2)

SI87 墓積土註記表

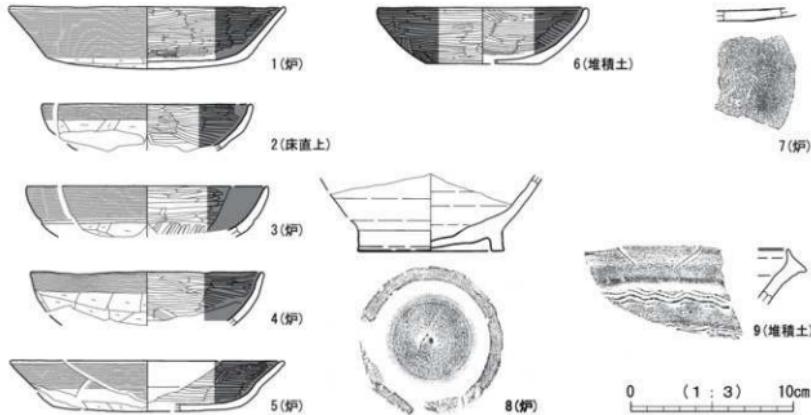
部位	層位	土色	土性	備考
堆積土	1	10YR3/1	黒褐色	鉄化物、他土粒微量含む
	2a	10YR3/3	暗褐色	砂質シルト 地山ブロック少量、鉄化物微量含む
	2b	10YR3/3	暗褐色	砂質シルト 地山ブロック少量、鉄化物微量含む
	3a	10YR4/1	褐色	砂質シルト 地山ブロック少量、鉄化物、粘土粒微量含む
	3b	10YR4/1	褐色	黒褐色、土粒微量含む
P	4	N3/	暗褐色	鉄化物多量、灰少量、粘土粒極微量含む
	5a	5YR4	淡褐色	シルト
	5b	2.5YR3/2	暗赤褐色	シルト
	6	N6/	灰色	シルト 灰多量、鉄化物、鐵、土ブロック微量含む
	7	7.5YR1	灰白色	シルト 鉄化物少量、鉄化物極微量含む

SI87 施設堆積土註記表

部位	層位	土色	土性	備考
P1	1	10YR3/3	暗褐色	砂質シルト 鉄化物微量含む
	1	10YR1.7/1	黑色	シルト 鉄化物微量含む
P2	2	10YR4/1	褐色	シルト 鉄化物、鉄分微量含む
	3	10YR3/4	暗褐色	シルト 地山ブロック微量、鉄化物、鐵、土粒微量含む
P3	1	10YR3/3	暗褐色	砂質シルト 鉄化物微量含む
P4	1	10YR4/1	褐色	シルト 鉄化物、鉄分微量含む
P5	1	10YR3/3	暗褐色	砂質シルト 鉄化物微量含む

SI87 地殻觀察表

遺構名	平面形	規模(cm)	深さ(cm)	備考	遺構名	平面形	規模(cm)	深さ(cm)	備考
炉	不整形	152×122	21	住居内東側	P3	円形	21×18	18	
P1	円形	28×22	7		P4	円形	21×19	5	
P2	円形	22×20	7		P5	円形	27×(15)	11	



回収番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×高さ(cm)	外面調査	内面調査	備考	写真
1	C-087	S87	炉	土壠器	环	(16.9)×(12.2)×3.9	口縁部ヨコナギ、底部ヘラケズリ	口縁部～底部ヘラカギ	内面黒色処理	73
2	C-089	S87	床面上	土壠器	环	(12.8)×(2.9)	口縁部ヨコナギ、体部ヘラカギ	口縁部～体部ヘラカギ	内面黒色処理	73
3	C-091	S87	炉	土壠器	环	(14.8)×(3.1)	口縁部ヨコナギ、体部ヘラカギ	口縁部～体部ヘラカギ	内面黒色処理	73
4	C-090	S87	炉	土壠器	环	(14.1)×(3.3)	口縁部ヨコナギ、体部ヘラカギ	口縁部～体部ヘラカギ	内面黒色処理	73
5	C-088	S87	炉	土壠器	环	(16.8)×(3.1)	口縁部ヨコナギ、体部ヘラカギ	口縁部～底部ヘラカギ	内面黒色処理	73
6	C-092	S87	堆積土	土壠器	环	(12.8)×(7.0)×3.4	口縁部ヨコナギ	口縁部～底部ヘラカギ	内面黒色処理	73
7	D-006	S87	炉	ロクロ	土壠器	××(0.6)	底部削取ヘラカギ	底部	ナガ	73
8	E-038	S87	炉	重箱器	亞	××(4.7)	ロクロ調整、底部削取ヘラカギ→高台貼付	ロクロ調整	高台、内面黒色処理	73
9	E-039	S87	堆積土	重箱器	亞	××(3.4)	ロクロ調整、腰揚底底状文	ロクロ調整	底状	73

第85図 SI87 穴竪住跡出土遺物

SI88 穫穴住居跡(第86・87図)

【位置・確認】3B区中央部のやや西側、20・21・25・26グリッドに位置する。

【重複】SI132・SB9を切る。

【規模・形態】西側は搅乱により失われているが、一辺4m程の方形を呈する。

【方向】住居跡の南北軸は、カマド基準でN・50°・Eである。

【堆積土・構築土】30層に分層した。1～7層は住居堆積土で、黒褐色シルトを主体とし、各層に炭化物および焼土を含む。8～24層はカマド関連層位で、8～11・19層がカマド天井部崩落土である。25・26層は周溝堆積土、27層以下は掘り方堆積土である。

【壁面】残存する壁高は、いずれも20cm前後を測り、壁は直立気味に立ち上がる。

【床面】2・5～7層下面を床面とし、カマドが構築される住居北東側から南西側へ起伏を持ちながら傾斜する。

【柱穴】7基検出した。P2・5で柱痕が確認された。位置や規模からみて、P1もしくはP6・2～4が主柱穴に相当し、P5は補助柱穴の性格を有するものと考えられる。

【周溝】カマド周辺と搅乱の影響を受けている西側を除き、壁際を周囲する周溝を検出した。規模は幅10～23cm、深さ2～9cmを測り、断面形状は逆台形を呈する。南辺と西辺の中央部は、15cm程度半円形状を呈し内側に張り出す。

【カマド】東辺中央に構築される。袖部は共に長さ95cm、幅25～35cmを測り、東辺からやや内湾して延びる。燃焼部は幅・奥行き共に70cm程度で、燃焼部内において60×50cmの範囲で不整形に括がる被熱範囲を確認した。煙道部は長さ167cm、幅35cm、深さ12cmを測り、底面は煙出しに向かって傾斜し、中程で平坦となる。

【掘り方】中央部に高まりがみられるが住居外側へ向かうにつれて深くなる。周溝付近では床面からの比高差20cmを測り、底面は周溝より深くなる。

【出土遺物】土師器壺3点、甕1点、ロクロ土師器甕1点、須恵器壺1点、鉢1点を掲載した。第87図-1の土師器壺底部には「×」状の刻書きが観察される。P3底面直上から出土した須恵器鉢(同図-6)は口縁部が片口状を呈する。

SI89 穫穴住居跡・SK74 土坑(第88～90図)

【位置・確認】3B区中央部の北西寄り、30・35グリッドに位置する。カマドが壁の外側に張り出す平面プランと本住居跡に切られるSK74の楕円形プランを確認した。このSK74は本住居跡と重複関係にあるものの、調査時の所見から一連の遺構として本住居跡に伴う可能性が高いと考えられた。よってSK74については、本住居跡について記載した後に「その他の施設」として併せて記載する。

【重複】他遺構との重複関係はない。

【規模・形態】検出した規模は、東辺2.55m、西辺2.17m、南辺2.70m、北辺2.85mを測り、平面形状は隅丸方形を呈する。

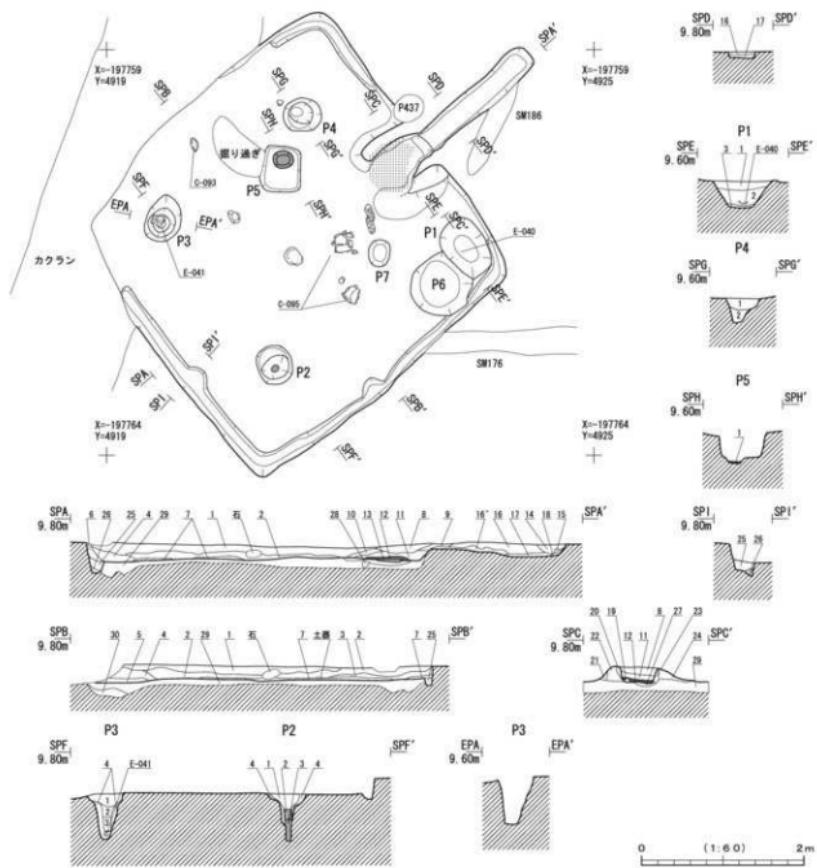
【方向】住居跡の南北軸は、カマド基準でN・20°・Eである。

【堆積土・構築土】合計16層に分層した。本住居跡のカマド構造は他の住居跡と比べて異質であるため、調査時に住居・周溝・掘り方(住居関連層)とカマド関連層を区別し、それぞれ1層から数字を付した。図中ににおいても、それを踏襲している。住居関連層位は5層に分層され、1～3層が住居堆積土で、3層は壁際の三角堆積層である。4層が周溝堆積土、5層が掘り方堆積土である。カマド関連層位は11層に分層した。10・11層は焼土ブロック、炭化物、灰を含む被熱面である。

【壁面】残存する壁高は、いずれも15cm前後を測り、壁は直線的に外傾して立ち上がる。

【床面】2・3層下面を床面とする。南北にやや起伏がみられるものの、ほぼ平坦である。

【柱穴】5基検出した。どのピットも浅く、柱痕が確認されなかつたが、位置的にみて柱穴として機能したものと思われる。



第86図 S188堅穴住居跡

S8B 地盤土質記表

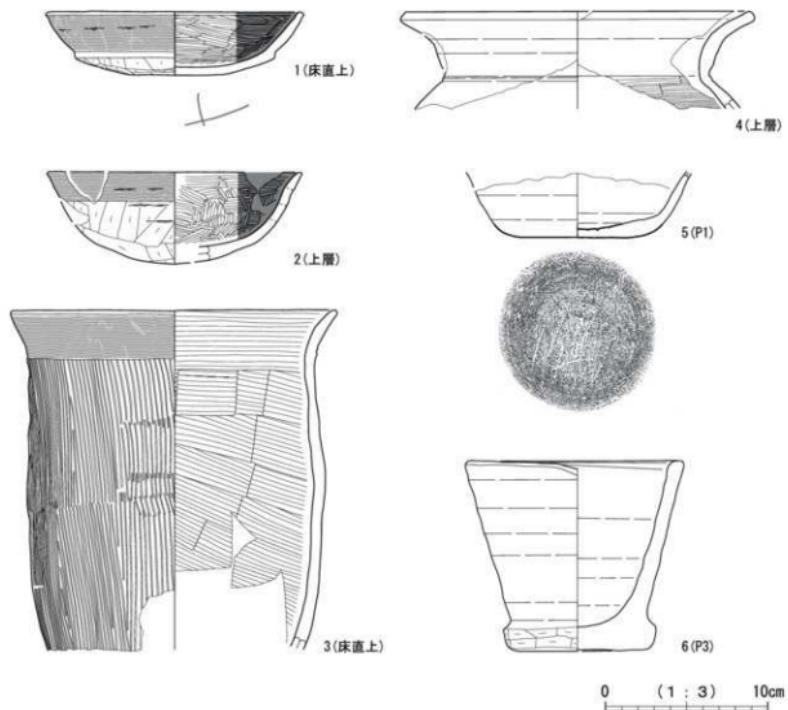
部位	層位	土 色	土 性	備 考
堆積土	1	10YR4-2	灰褐色	シルト 黄褐色土ブロック(径5~10mm)多量、炭化物、焼土ブロック(径1mm)含む
	2	10YR3-2	黑色	シルト 黄褐色土ブロック(径5~10mm)、炭化物、焼土ブロック(径1~5mm)多量含む
	3	2.5Y4-2	暗灰褐色	シルト 黄褐色土ブロック(径2~3mm)多量、炭化物(径2mm)少量含む
	4	10YR3-2	黑褐色	シルト 黄褐色土ブロック(径5~10mm)、炭化物(径2mm)少量含む
	5	10YR5-1	黑褐色	シルト 炭化物、焼土ブロック(径2~3mm)含む
	6	10YR5-1	黑褐色	シルト 黄褐色土ブロック(径5~10mm)、炭化物(径2mm)、焼土ブロック(径1~5mm)多量含む
	7	2.5Y4-4	オリーブ褐色	砂質シルト 黄褐色地山層土体、灰褐色地粘質土含む
カマド	8	2.5Y4-3	オリーブ褐色	シルト 炭化物(径1~3mm)、焼土ブロック(径10mm)少量含む(カマド天井崩落土)
	9	2.5Y4-3	オリーブ褐色	シルト 焼土ブロック(径20~30mm)含む、褐色土粒多量含む(天井崩落土・焼土土体の混在層)、焼成土
	10	2.5Y4-2	暗灰褐色	シルト 黄褐色土粒多量、焼土ブロック(径10mm)少量含む
	11	5YR2-2	黑色	シルト 焼土ブロック(径5~30mm)多量、炭化物(径10mm)少量含む(褐色土と黄褐色土を混在、窯口天井崩落土)
	12	5Y-2	オリーブ褐色	シルト 褐色土ブロック(径2~5mm)、焼土ブロック(径5mm)、炭、炭化物の混在層(窓口)
	13	2.5YH3-6	暗赤褐色	シルト 褐色地性土ブロック土体(窓口)燃焼層
	14	10YR4-3	にじみ黄褐色	シルト 黄褐色土ブロック(径5~15mm)多量、焼土ブロック(径10mm)含む(縦道窓口崩落土)
	15	10YR3-1	黑色	シルト 黄褐色土ブロック(径5mm)含む(縦道窓口崩落土)
	16	2.5Y4-3	オリーブ褐色	シルト 焼土ブロック(径5mm)、褐色土ブロック少量含む(縦道窓口崩落土)
	16	2.5Y4-3	オリーブ褐色	シルト 焼土ブロック(径5mm)、褐色土ブロック(径10~30mm)多量含む
	17	5Y-2	オリーブ褐色	シルト 褐色土土体 焼土ブロック(径10mm)含む(縦道)
	18	2.5Y4-3	オリーブ褐色	シルト 黄褐色土ブロック含む(縦道窓口)
	19	2.5Y4-3	オリーブ褐色	シルト (天井崩落土)
雨溝	20	5YR4-1	にじみ赤褐色	シルト 10YR5-6赤褐色シルトブロック含む
	21	10YR3-3	暗褐色	シルト 10YR4-4褐色シルト微細含む
側の方	22	10YR4-4	褐色	砂質シルト 7.5YR1-4褐色地シルト粘板、10YR1-3暗褐色シルトブロック微量含む
	23	2.5Y4-3	オリーブ褐色	シルト 褐色土ブロック(径10mm)含む(天井崩落土)
	24	10YR3-4	暗褐色	シルト 10YR4-4褐色地シルト、5YR4-4にじみ赤褐色シルト粒含む
雨溝	25	10YR3-2	黑褐色	シルト 黄褐色土ブロック(径5~10mm)多量、炭化物、焼土ブロック(径5mm)微量含む
	26	2.5Y4-3	オリーブ褐色	シルト 黄褐色土粒多量含む
側の方	27	5YR2-2	暗赤褐色	シルト 7.5YR2-1暗褐色シルトブロック、7.5YR2-3暗褐色シルトブロック含む
	28	7.5YR2-2	黒褐色	シルト 5YR4-4にじみ赤褐色シルトブロック(他土)、炭化物ブロック少量含む
	29	10YR4-4	褐色	砂質シルト 10YR3-3褐色地シルトブロック含む
P3	30	10YR3-3	暗褐色	シルト 10YR2-2黒褐色粘土シルトブロック、5YR4-4赤褐色シルトブロック(他土)、炭化物と微量含む

S8B 施設堆積土質記表

部位	層位	土 色	土 性	備 考
P1	1	7.5YR3-2	黑褐色	シルト 炭化物、焼土ブロック(径5~10mm)含む
	2	10YR3-3	暗褐色	シルト 焼土ブロック(径10~20mm)含む
	3	10YR4-3	にじみ 黄褐色	シルト 黄褐色地ブロック(径5mm)含む
P2	1	10YR3-2	暗褐色	シルト 黄褐色地ブロック(径1~3mm)多量、焼土ブロック(径5mm)少量、炭化物(径5~20mm)含む
	2	10YR4-6	褐色	粘質シルト 黄褐色地含む
	3	10YR3-3	暗褐色	砂質シルト 炭化物(径5mm)含む
	4	2.5Y4-3	褐色	砂質シルト 黄褐色土粒多量含む
P3	1	10YR3-2	暗褐色	シルト 黄褐色地ブロック(径1~3mm)多量、焼土ブロック(径5mm)少量、炭化物(径5~20mm)含む
	2	10YR3-2	黑褐色	シルト 炭化物(径5mm)、焼土ブロック少量含む
	3	10YR4-3	にじみ 黄褐色	砂質シルト 焼土ブロック(径10mm)少量含む
	4	7.5Y4-3	褐色	砂質シルト 黄褐色土粒多量含む
P4	1	10YR3-2	暗褐色	シルト 黄褐色地ブロック(径1~3mm)多量、焼土ブロック(径5mm)少量、炭化物(径5~20mm)含む
	2	10YR4-6	褐色	粘質シルト 黄褐色地含む
P5	1	7.5YR4-3	褐色	シルト 黄褐色地ブロック(径20mm)多量含む

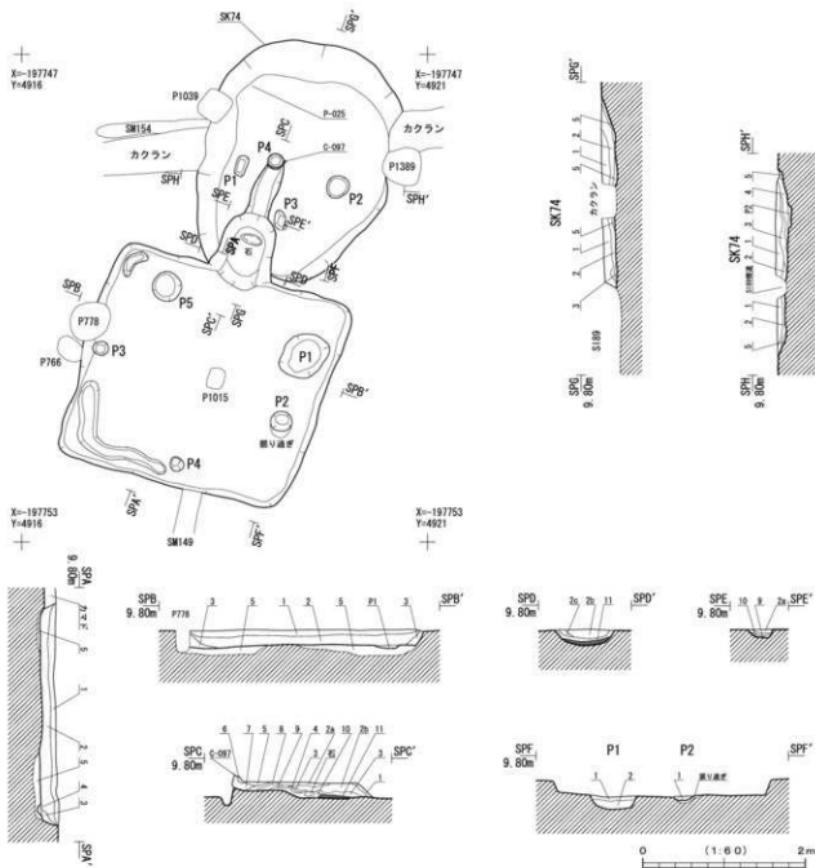
S8B 施設転移表

道線名	平面形	範囲(cm)	深さ(cm)	備 考	道線名	平面形	範囲(cm)	深さ(cm)	備 考
P1	扇円形	74×48	40		P5	圓丸方形	47×35	37	柱面鉢
P2	円形	48×45	57	柱面鉢	P6	円形	73×67	36	
P3	扇円形	30.5×43	58		P7	橢円形	32×27	12	
P4	円形	47×44	30						



図版 番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×高さ(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真 図版
1	C-093	SI88	床直上	土器部	环	15.8×12.8×3.9	口縁部ヨコナヂ、底部～底部ヘラケズリ	口縁部～底部ヘラミガキ	外面底面「×」削 去、内部黑色處理	74
2	C-094	SI88	上層	土器部	环	(15.6)×(5.7)	口縁部ヨコナヂ、体部～底部ヘラケズリ	口縁部～底部ヘラミガキ	内面黑色處理	74
3	C-095	SI88	床直上	土器部	釜	(20.0)×(20.9)	口縁部ヨコナヂ、胴部ハケメ	口縁部ヨコナヂ、胴部ヘナナヂ		74
4	D-007	SI88	上層	土器部	釜	(21.2)×(6.0)	ロクロ調整	セクロ調整、胴部ヘナナヂ		74
5	E-040	SI88	P1	單體部	环	×7.0×4.0	ロクロ調整→回転ヘラケズリ→ナヂ	ロクロ調整	外面底面「入」状 削去	74
6	E-041	SI88	P3	單體部	釜	14.0×9.8×11.7	ロクロ調整→底部付近手持ちヘラケズリ、底部時 制(ヘラ切り)→ヘラケズリ	ロクロ調整	外面自然施	74

第87図 SI88 穴室住居跡出土遺物



第88図 S189竪穴住居跡・SK74土坑

SI89 墓構土註記表

部位	層位	土色	土性	備考
堆積土	1	25Y3/3	黒褐色	シルト 炭化物粒含む
	2	10YR4/2	灰黃褐色	シルト 10YR5-4地山ブロック微量、炭化物粒、燒土粒含む
	3			シルト 10YR4-2灰黃褐色と10YR5-2に於く黒褐色のブロック層
周溝	4	10YR3/3	暗褐色	シルト 10YR5-4に於く灰黃褐色ブロック含む
掘り方	5			砂質シルト 2.3Y3-2黒褐色と20YR5-4に於く青褐色のブロック層
カマド	1	10YR4/2	灰黃褐色	シルト 10YR5-4地山ブロック微量、炭化物粒、燒土粒含む(住居跡土2層に相当)
	2a	10YR3/2	暗褐色	シルト 炭化物粒、燒土粒含む
	2b	25Y4/2	暗灰褐色	シルト 炭化物粒、燒土粒含む
	2c	3Y4/4	オリーブ褐色	シルト 炭化物粒、燒土粒含む
	3	5YR5/3	暗赤褐色	シルト 2.5YR5-6明赤褐色燒土ブロック、炭化物含む
	4	5YR5/6	暗赤褐色	シルト 2.5YR5-6明赤褐色燒土ブロック含む
	5	10YR3/2	暗褐色	シルト 炭化物粒、燒土粒含む
	6	2.5YR3/3	暗オリーブ褐色	シルト 炭化物粒含む
	7	10YR4/2	灰黃褐色	シルト 7.5YR2-3ブロック含む
	8	10YR4/2	灰黃褐色	シルト 7.5YR2-2燒土粒、炭化物粒含む
9	7.5YR2/3	極暗褐色	シルト	5YR3-6暗赤褐色、2.5YR5-6明赤褐色燒土ブロック、炭化物、含む
10	7.5YR2/3	極暗褐色	シルト	2.5YR5-6明赤褐色燒土ブロック、炭化物、含む
11	7.5YR3/3	暗褐色	シルト	

SI89 施設堆積土註記表

部位	層位	土色	土性	備考
P1	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 炭化物粒、燒土ブロック含む 層下部に厚さ1cmの黄褐色層あり
	2	10YR4/3	に於く暗褐色	10YR3-3暗褐色シルトブロック含む
P2	1	10YR3/4	暗褐色	シルト 炭化物粒、燒土粒含む

SI89 施設觀察表

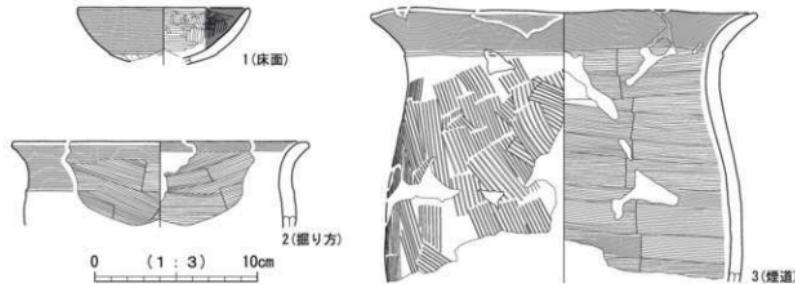
遺構名	平面形	規模(cm)	深さ(cm)	備考	遺構名	平面形	規模(cm)	深さ(cm)	備考
P1	円形	60×58	16		P4	円形	17×18	27	
P2	円形	27×25	6		P5	円形	36×34	9	
P3	円形	38×38	1						

SK74 地積土註記表

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
堆積土	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 10YR5-4に於く暗褐色ブロック、炭化物粒含む					
	2	10YR3/2	黒褐色	シルト 炭化物粒含む					
	3	10YR3/2	黒褐色	シルト 炭化物、燒土粒含む					
	4	10YR3/3	暗褐色	シルト 炭化物、燒土粒含む					
	5			10YR5-4に於く暗褐色と10YR3-3暗褐色のブロック層					

SK74 施設觀察表

遺構名	平面形	規模(cm)	深さ(cm)	備考	遺構名	平面形	規模(cm)	深さ(cm)	備考
P1	長方形	36×14	15		P3	楕円形	36×15	8	
P2	円形	30×28	3		P4	円形	16×17	7	SI89の埋出しの可能性あり



回数	登録番号	出土遺構	層位	種別	樹齢	器種	器種	口径(或径)×高さ(cm)	外寸調整	内寸調整	備考	写真
1	C-096	SI89	床面	土加熱	环	(19.6)×(3.5)	口縁部～体部コナヂ、底部ヘラカズリ	口縁部～体部ヘラカズリ	内面黑色代理		74	
2	C-098	SI89	掘り方	土加熱	素	(17.8)×(3.3)	口縁部コナヂ～ハナナヂ、底部ヘラナヂ	口縁部コナヂ～ハナナヂ	内面黑色代理		74	
3	C-097	SI89	壁面	土加熱	素	(23.8)×(16.9)	口縁部コナヂ、脚部ハナメ	口縁部コナヂ、脚部ハナメ	内面黑色代理		74	

第89図 SI89 穴式住居跡出土遺物

【周溝】西壁の両コーナーで部分的に延びる周溝を検出した。南側は壁から10~15cm程内側から検出され、検出長78cm、幅25cm、深さ5cmを測り、断面形状は逆台形を呈する。北側はコーナーの壁直下から検出され、検出長35cm、幅15cm、深さ4cmを測る。

【カマド】北壁の中央部に張り出して構築される。IV層土を掘り込んで燃焼部を造り出しており、袖を持たず、燃焼部の規模は幅65cm、奥行き93cmを測る。燃焼部底面からは支脚として使用されたと考えられる楕円形の躰が出土した。煙道部は燃焼部の中央から直線的に北東方向に延びる。規模は長さ80cm、幅30cm、深さ12cmを測り、底面は燃焼部底面より10cm程高く、平坦である。煙道部末端には上端径17cm、深さ7cmを測る円形を呈するピット状の煙出し口が構築され、煙出し口からは土師器壺(第89図-3)が倒立の状態で出土した。

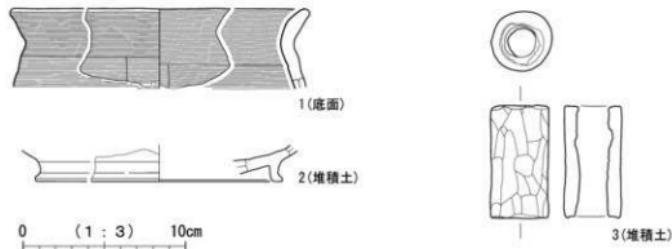
【掘り方】中央部には掘り方が存在せず、壁に向かって徐々に掘り下げられている。

【出土遺物】土師器壺1点、壺2点を掲載した。第89図-3は煙道部から倒立の状態で出土した。

【その他の施設】本住居跡のカマド直下から、本住居跡に伴う可能性が高いと考えられる土坑1基(SK74)を検出した。

規模は長軸2.94m、短軸2.34m、深さ22cmを測る。平面形状は不整楕円形を呈し、主軸方位は本住居跡と同じN-20°-Eを指す。堆積土は5層に分層され、黒褐色および暗褐色シルトを主体とし、炭化物、焼土を含む。残存する壁高は10~15cmを測り、壁は直線的に外傾する。底面は北側にやや起伏がみられるものの、ほぼ平坦で、SI89床面との比高差は無い等しい。付属施設として底面南側からピット4基を検出した。ピットの上端径は20~25cm前後、深さは3~15cmを測る。P1・2は柱痕が無く深さに差はあるものの、長軸の中央部において線対照に位置することから柱穴の性格を有する可能性が考えられる。また、P4は位置関係からSI89カマドの煙出し部の可能性が考えられる。

出土遺物として、土師器壺、須恵器高台付壺、管状土錐各1点を掲載した。底面出土遺物は第90図-1である。SK74の性格を示す出土遺物は認められないものの、SI89にカマドが構築される前段階において住居跡と一連の遺構として機能した可能性が高いと考えられた。構築される位置や堆積土などから、炉のような遺構となる可能性を考え、堆積土の水洗選別を行ったが、それに関連するような遺物は出土しなかった。形態的にもSI89と一体となり機能していたことが考えられることから、住居とは別の作業場として利用された可能性がある。



国版 番号	登録番号	出土遺物	層位	種 別	器 形	D1径×底径×器高(cm)	外面 調整	内面 調整	備 考	写真 回数
1	C-549	SK74	底面	土師器	壺	(18.0) × (4.9)	口縁部ヨコナラ、腹基ヘラナラ	口縁部ヨコナラ、腹基ヘラナラ		74
2	E-130	SK74	堆積土	須恵器	高台付壺	×(15.2) × (2.2)	クロコ調整、底面部削除(ヘラケズリ)	クロコ調整	直行	74
国版 番号	登録番号	出土遺物	層位	種 別	器 形	長さ×幅×厚さ(cm)	重量(g)	備 考	写真 回数	
3	P-025	SK74	堆積土	土製品	管状土錐	7.0 × 3.6 × 1.9	89.2 g	ナード		74

第90図 SK74土坑出土遺物

SI90A 穫穴住居跡(第91～95図)

【位置・確認】3B区中央部西側、25・30グリッドに位置する。新旧2基のカマドを確認し、西壁にある新しい方をSI90A、北壁にある古い方をSI90Bとした。

【重複】SI90B・118・125を切る。

【規模・形態】検出した規模は、東辺4.74m、西辺4.97m、南辺5.25m、北辺5.20mを測り、平面形状はややいびつな隅丸方形を呈する。

【方向】住居跡の南北軸は、カマド基準でN.97°-Wである。

【堆積土・構築土】29層に分層した。1～10層が住居堆積土で2層下位には多量の炭化物が含まれる。11～25層がカマド関連層位で、11・12層はカマド天井部崩落土、13層は火床面、14・15層が煙道天井部崩落土、22～25層が袖部構築土と考えられる。26層が周溝堆積土、27層以下が掘り方堆積土である。

【壁面】残存する壁高は、東壁11～29cm、西壁23～33cm、南壁10～30cm、北壁22～30cmを測り、壁は直立気味に立ち上がる。

【床面】7・8層下面を床面とし、南北方向にやや起伏がみられる。

【柱穴】27基検出した。規模や位置からみて、P1～4が主柱穴に相当すると考えられる。また、P9～25は壁柱穴と考えられ、住居上端ないし周溝に沿うように構築される。カマドが構築される西壁を除く三方の壁には、それぞれ4基のピットが1～1.5m間隔で検出され(P10～20)、西壁ではカマド南側から1基(P9)、カマド北側から5基(P21～24)を検出した。これらの壁柱穴は、いずれも上端径20cm前後、深さ20～50cmを測る。P26・27はカマド燃焼部内に位置しており、カマドに関連する施設の可能性がある。

【周溝】カマド直下と北壁東半部および南壁西側の一部を除き、幅11～22cm、深さ3～11cmを測る周溝を検出した。北壁を除く三方では壁直下に延び、北壁西側コーナーから北壁では壁の20cm程内側を延びている。

【カマド】西壁中央の南寄りに構築される。袖部は長さ70～90cm、幅35～45cmを測り、右袖がやや内湾するものの西壁から「ハ」字状に延びる。燃焼部は幅57cm、奥行き70cmを測り、内部には小規模なピットが2基構築される(P26・27)。煙道部は西壁に直行するように直線的に延びる。規模は長さ150cm、幅28cm、深さ6～11cmを測り、底面は長軸中央部がやや丸みを帯びる。

【掘り方】部分的な高まりや窪みがみられるものの、概ね平坦である。

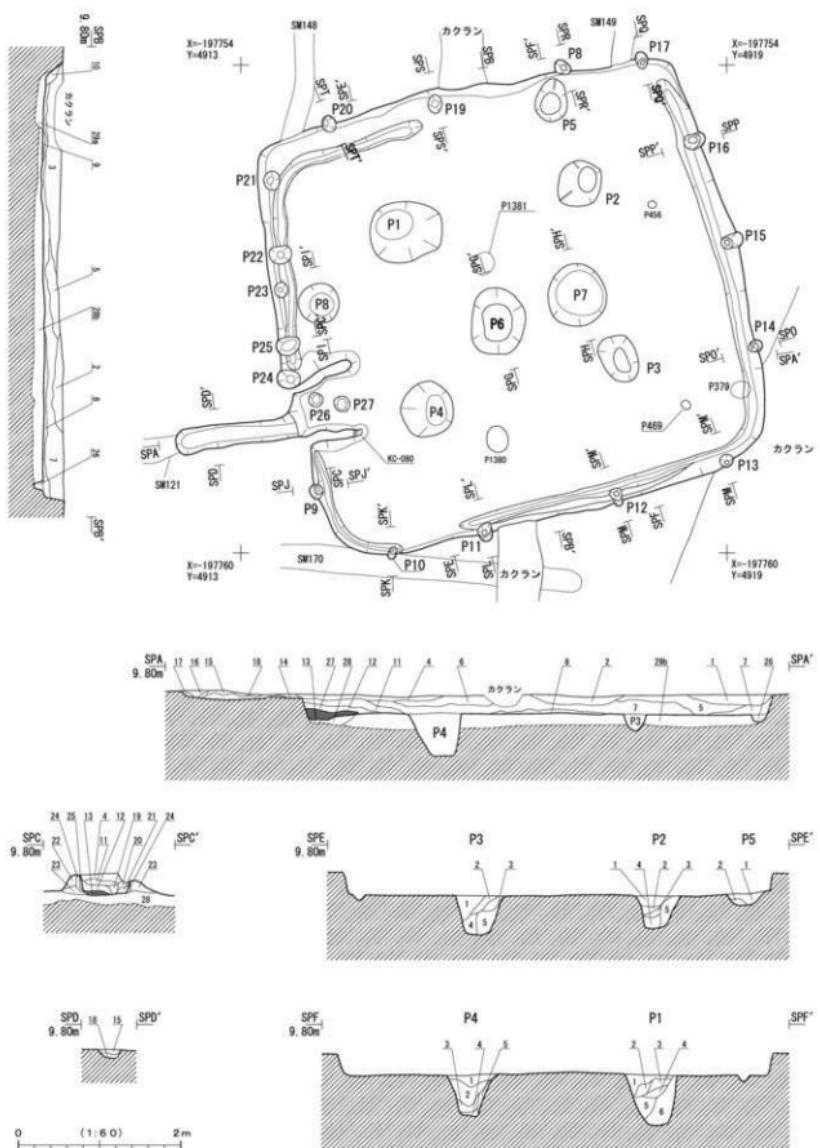
【出土遺物】土師器壺19点、高台付壺1点、甕6点、ミニチュア土器3点のほか、ロクロ土師器壺、皿、須恵器壺、甕、土製品の把手、壁材、礫石器、砥石を各1点掲載した。土師器壺は口縁部と体部の境界に段を持ち口縁部が内湾気味に開くものが殆どである。同図-2は口縁部と体部の境界に稜を持ち、口縁部は直立気味に立ち上がる。同図-16・17にはそれぞれ「×」・「*」状の刻書が観察される。第94図-22は瓶の可能性がある。同図-27は断面が厚い壺形の土師器ミニチュア土器である。壁材(第95図-35)には、明瞭な木質痕が観察される。また、図は掲載していないが、堆積土中から鉄滓が1,298.4g出土している。

SI90B 穫穴住居跡(第96・97図)

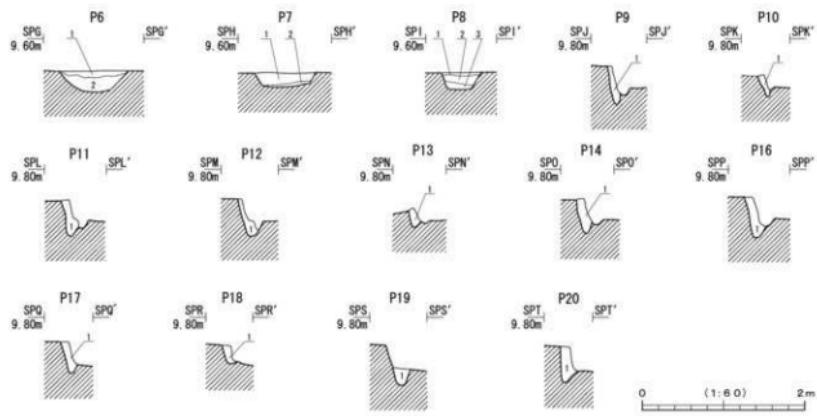
【位置・確認】3B区中央部西側、25・30グリッドに位置する。煙道についてはSI90A検出時に確認したが、残るカマドやピット、周溝はSI90A調査後に確認した。

【重複】SI118・125を切り、SI90Aに切られる。

【規模・形態】全体の規模および平面形は不明であるが、残存する周溝やピットの位置から、南北約4.5m、東西約4mの平面形状が長方形を呈する住居跡と推察される。ほぼ全体がSI90A構築時に失われたか、あるいはカマドのみ造り替えた可能性がある。



第91図 SI90A 竪穴住居跡(1)



SI90A 墓横土柱記表

部位	層位	土色	土性	備考
堆積土	1	10YR4/3	にじ・黄褐色	白色土粒、黄褐色を多量、黄褐色ブロック、炭化物(径2~5mm)少量含む
	2	10YR3/2	暗褐色	シルト 層中かいじ部、炭化物多量、焼土ブロック(径5~20mm)、白色土粒多量含む
	3	7.5YR3/2	黒褐色	白色土粒、炭化物(径2mm)、焼土ブロック(径2~5mm)多量含む
	4	2.5YR4/3	オリーブ褐色	黄褐色と稍褐色混じ、炭化物(径1mm)、焼土ブロック少量含む
	5	2.5Y3/4	黄褐色	褐色ブロック(径30~30mm)含む
	6	2.5Y4/4	オリーブ褐色	黄褐色ブロック(径1~5mm)、白色土粒多量、焼土ブロック(1mm)少量含む
	7	2.5Y3/2	灰褐色	シルト 黄褐色ブロック(径5~20mm)極多量、白色土粒、炭化物(径2~5mm)、焼土ブロック(径1~2mm)少量含む
	8	2.5Y3/3	暗オリーブ褐色	黄褐色、褐色の面付 黄褐色と紺褐色含む
	9	5YR4/4	にじ・紺褐色	炭化物(径5~30mm)含む
カマド	10	10YR2/3	黒褐色	白色土粒、炭化物(径2mm)、焼土ブロック(径5mm)多量、黄褐色土ブロック(径3~5mm)含む
	11	2.5Y	オリーブ褐色	白色土粒、黄褐色砂質シルト(径5~20mm)、炭化物(径2mm)、焼土ブロック(径5~20mm)含む (燃え火跡落土)
	12	5YR2/2	灰褐色	焼土ブロック(径5~30mm)極多量、炭化物(径5~10mm)少量含む (燃え火跡落土)
	13	5YR2/3	紺褐色	黄褐色ブロック(径5mm)少量含む (燃え跡)
	14	2.5Y3/3	暗オリーブ褐色	焼土ブロック(径2mm)微量含む (燃え火跡落土)
	15	2.5Y3/2	黒褐色	炭化物(径1mm)、焼土ブロック微量、焼土・黒褐色(1)含む (燃え火外部)
	16	10YR4/2	灰黃褐色	シルト 炭化物(径10mm)、燒熱土ブロック微量 (埋道壁出し)
	17	2.5Y3/2	黒褐色	シルト 焼土ブロック(径10mm)微量含む (埋道壁出し)
	18	2.5Y5/4	黄褐色	黄褐色ブロック(径5mm)含む
	19	10YR3/3	暗褐色	焼土ブロック(径5mm)含む
周溝	20	5YR3/2	紺褐色	焼土ブロック(径5mm)含む
	21	3YR3/2	紺褐色	褐色ブロック(径30~20mm)少量、炭化物、焼土ブロック(径5mm)含む
	22	10YR3/3	紺褐色	シルト
	23	10YR3/4	暗褐色	10YR5-4にじ・黄褐色ブロック含む (カマド袖)
	24	2.5YR3/2	紺褐色	- (カマド袖)
	25	2.5YR5/6	明赤褐色	- (カマド袖)
掘り方	26	2.5Y4/2	紺褐色	黄褐色土粒多量、炭化物(径5mm)微量、黄褐色土ブロック(径5mm)含む
	27	10YR3/2	黒褐色	焼土ブロック(径5mm)微量、黄褐色ブロック、炭化物(径5mm)含む
	28	10YR4/3	にじ・黄褐色	- 10YR3-4暗褐色ブロック、炭化物和、焼土粒含む
	29a	7.5YR3/3	紺褐色	炭化物、7.5YR3-3暗赤褐色焼土ブロック、2.5YR5-6明赤褐色焼土粒含む
29b	10YR4/3	にじ・黄褐色	シルト 10YR3-3暗褐色ブロック、炭化物和、焼土粒含む	

第92図 SI90A 穴穴住居跡(2)

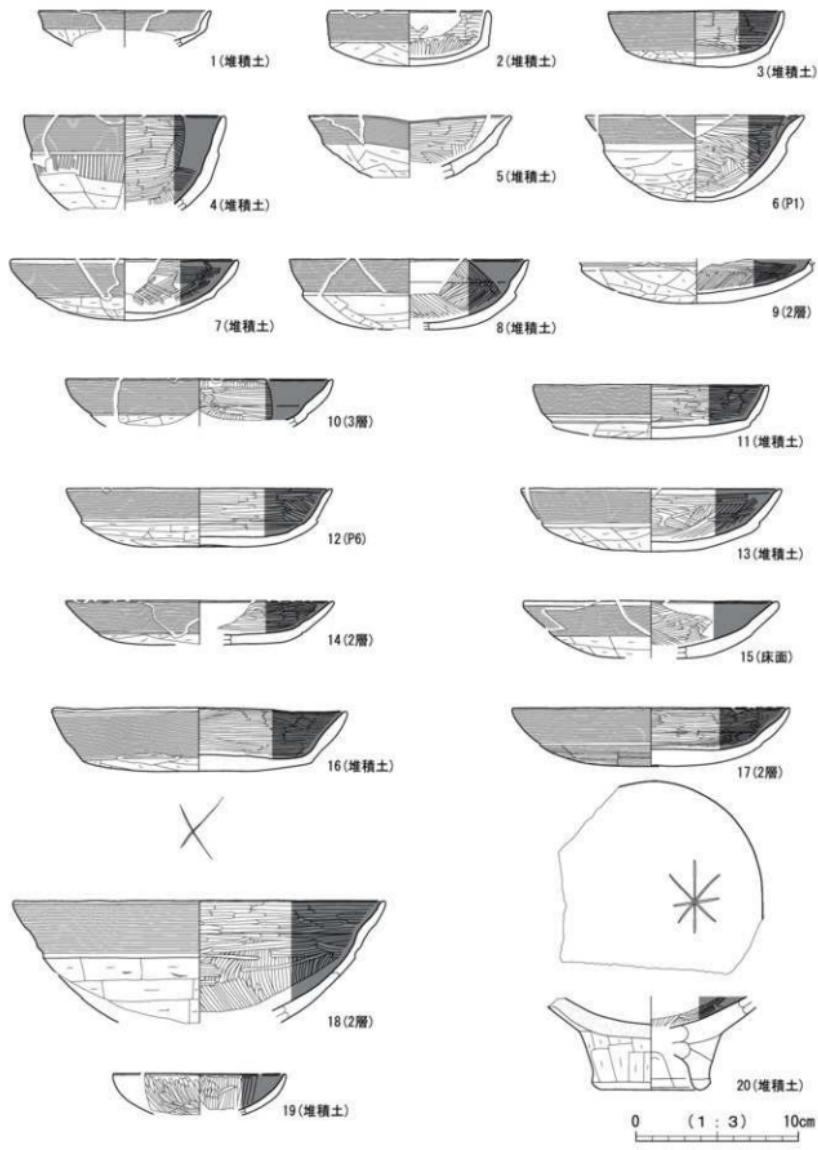
S90A 施設構造記表

部位	層位	土 色	土 性	備 考
P1	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 黄褐色ブロック(径10mm), 灰化物(径5~10mm), 壱土ブロック(径5mm)含む
	2	10YR4/4	褐色	シルト 黄褐色土(地山ブロック)含む
	3	10YR3/2	黑褐色	シルト 黄褐色ブロック(径1~2mm)多量, 灰化物(径5mm), 壱土ブロック(径3~10mm)含む
	4	10YR2/3	墨褐色	シルト 灰化物(径1~5mm)少量, 壱土ブロック(径10mm)微量含む
	5	10YR3/3	暗褐色	シルト 黑褐色ブロック(径10~15mm)少量, 黄褐色ブロック(径5mm), 灰化物, 壱土ブロック(径5~10mm)少量含む
	6	10YR3/2	黑褐色	シルト 黄褐色ブロック(径10~20mm)多量, 灰化物(径5mm), 壱土ブロック(径5~10mm)少量含む
P2	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 黄褐色ブロック(径1mm)微量, 壱土ブロック(径5mm)微量含む
	2	10YR3/2	黑褐色	粘質シルト 壱土ブロック(径1mm)微量, 黄褐色ブロック(径2~5mm)少量含む
	3	10YR3/1	黑褐色	粘質シルト 灰化物微量含む
	4	2.5Y	オリーブ褐色	砂質シルト 黑褐色ブロック(径10mm)微量含む
	5	10YR4/4	褐色	砂質シルト 壱土ブロック(径5mm)微量含む
P3	1	10YR3/2	黑褐色	シルト 黄褐色ブロック(径10mm)微量含む
	2	10YR3/4	暗褐色	シルト 黄褐色ブロック(径10~20mm)微量含む
	3	10YR3/2	黑褐色	シルト 灰化物, 壱土ブロック(径1mm)微量, 黄褐色ブロック(径10mm)含む
	4	10YR2/3	黑褐色	シルト 灰化物ブロック(径10mm), 灰化物含む (粘膜跡み)
	5	7.5Y3/2	黑褐色	シルト 黄褐色ブロック(径10~20mm)微量含む
P4	1	10YR3/2	黑褐色	シルト 黄褐色ブロック(径10~20mm)微量含む
	2	10YR3/3	暗褐色	シルト 壴土ブロック(径5mm)微量, 黄褐色ブロック(径5~10mm)含む
	3	10YR3/3	黑褐色	シルト 黄褐色ブロック(径5mm), 灰化物少量含む
	4	2.5Y	オリーブ褐色	砂質シルト 黑褐色ブロック(径10mm)微量含む
	5	10YR3/4	暗褐色	シルト 黄褐色ブロック(径2~5mm)少量含む
P5	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 黄褐色ブロック(径1mm)微量, 壴土ブロック(径5mm)微量含む
	2	10YR4/4	褐色	砂質シルト 壴土ブロック(径5mm)微量含む
P6	1	30YR2/3	黑褐色	シルト 墓下部厚さ1~3cmの灰化物を含む
	2	10YR3/3	暗褐色	砂質シルト 黄褐色ブロック(径5~10mm)微量含む
P7	1	30YR2/2	黑褐色	砂質シルト オリーブ色砂質シルスルッパック(径5~10mm)微量多量, 壴土ブロック(径5~20mm)多量含む
	2	10YR3/2	黑褐色	シルト 灰化物(径5mm)微量含む
P8	1	10YR2/3	黑褐色	シルト 灰化物(径10mm)微量, 黄褐色ブロック(径5mm)含む
	2	10YR3/2	黑褐色	シルト 灰化物(径10~20mm)微量含む
	3	30YR2/2	灰黄褐色	砂質土 黑褐色ブロック(径10~20mm)含む
P9	1	5YR2/2	黑褐色	シルト 黄褐色ブロック(径5mm)含む
P10	1	5YR2/2	黑褐色	シルト 黄褐色ブロック(径5mm)含む
P11	1	5YR2/2	黑褐色	シルト 黄褐色ブロック(径5mm)含む
P12	1	5YR2/2	黑褐色	シルト 黄褐色ブロック(径5mm)含む
P13	1	5YR2/2	黑褐色	シルト 黄褐色ブロック(径5mm)含む
P14	1	5YR2/2	黑褐色	シルト 黄褐色ブロック(径5mm)含む
P16	1	5YR2/2	黑褐色	シルト 黄褐色ブロック(径5mm)含む
P17	1	5YR2/2	黑褐色	シルト 黄褐色ブロック(径5mm)含む
P18	1	5YR2/2	黑褐色	シルト 黄褐色ブロック(径5mm)含む
P19	1	5YR2/2	黑褐色	シルト 黄褐色ブロック(径5mm)含む
P20	1	5YR2/2	黑褐色	シルト 黄褐色ブロック(径5mm)含む

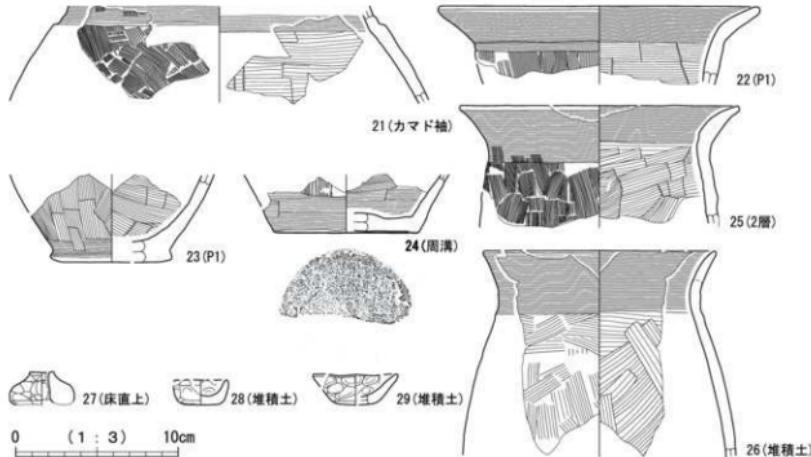
S90A 施設観察表

遺構名	平面形	規模(cm)	深さ(cm)	備 考
P1	楕円形	88×75	65	
P2	円形	56×53	58	
P3	楕円形	60×43	48	
P4	円形	67×65	63	
P5	楕円形	52×40	21	
P6	楕丸形	82×65	29	
P7	円形	76×73	19	
P8	円形	51×30	25	
P9	楕円形	18×36	44	
P10	楕円形	16×30	29	
P11	楕円形	22×38	45	
P12	楕円形	23×36	41	
P13	円形	16×36	39	
P14	円形	18×34	42	

遺構名	平面形	規模(cm)	深さ(cm)	備 考
P15	楕円形	28×17	57	
P16	楕円形	26×21	56	
P17	楕円形	21×15	37	
P18	楕円形	20×16	34	
P19	楕円形	22×17	24	
P20	楕円形	21×15	43	
P21	円形	23×18	23	
P22	円形	28×22	22	
P23	円形	20×17	10	
P24	円形	28×25	50	
P25	円形	32×23	71	
P26	円形	18×18	12	
P27	円形	20×19	7	

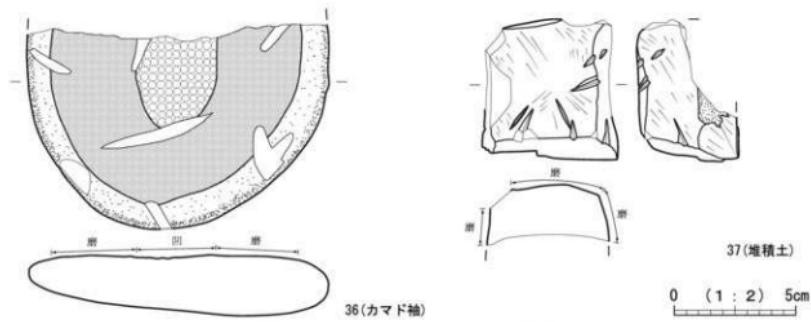
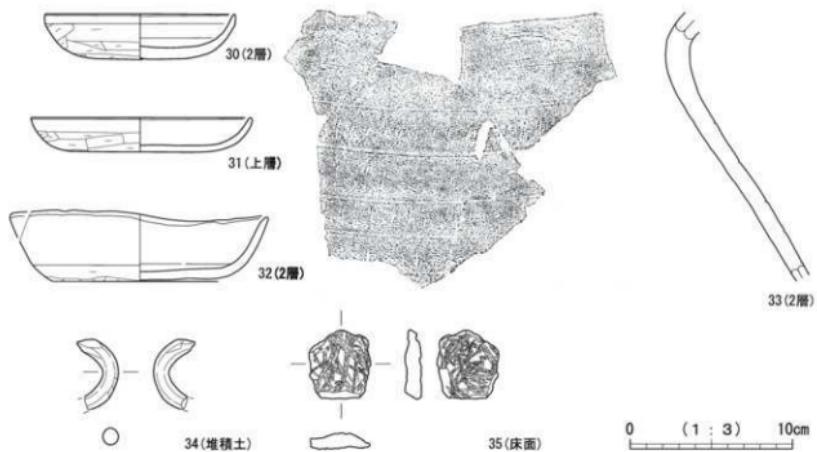


第93図 SI90 A竪穴住居跡出土遺物(1)



段級 番号	出土地點	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真 図版	
1	C-104	SI90 A	堆積土	土器部	环 - (10.2) × (2.2)	13縫部コナフ, 体部へラケツリ	13縫部コナフ	75		
2	C-105	SI90 A	堆積土	土器部	环 (9.8) × (3.4)	13縫部コナフ, 体部へ底部へラケツリ	13縫部コナフ	75		
3	C-109	SI90 A	堆積土	土器部	环 10.7 × 3.5	13縫部コナフ, 体部下端へ底端へラケツリ	13縫部コナフ	75		
4	C-110	SI90 A	堆積土	土器部	环 (12.2) × (5.8)	13縫部コナフ, 体部へハメヘラケツリ	13縫部コナフ	内面黒色処理 75		
5	C-106	SI90 A	堆積土	土器部	环 (12.4) × (3.6)	13縫部コナフ, 体部へラケツリ	13縫部コナフ	75		
6	C-100	SI90 A	P1	土器部	环 (13.4) × (5.5)	13縫部コナフ, 体部へ底部へラケツリ	13縫部コナフ	内面黒色処理 75		
7	C-113	SI90 A	堆積土	土器部	环 (14.0) × (3.8)	13縫部コナフ, 体部へ底部へラケツリ	13縫部コナフ	内面黒色処理 75		
8	C-107	SI90 A	堆積土	土器部	环 (14.6) × (4.0)	13縫部コナフ, 体部へラケツリ	13縫部コナフ	内面黒色処理 75		
9	C-115	SI90 A	2層	土器部	环 - × (2.7)	13縫部コナフ, 体部へラケツリ	13縫部コナフ	内面黒色処理 75		
10	C-103	SI90 A	3層	土器部	环 (16.4) × (2.9)	13縫部コナフ, 体部へラケツリ	13縫部コナフ	内面黒色処理 75		
11	C-102	SI90 A	堆積土	土器部	环 (14.1) × (2.0) × (3.3)	13縫部コナフ, 体部へラケツリ	13縫部コナフ	内面黒色処理 75		
12	C-101	SI90 A	1% P1	土器部	环 (16.2) × 8.8 × 3.6	13縫部コナフ, 体部へラケツリ	13縫部コナフ	内面黒色処理 75		
13	C-114	SI90 A	堆積土	土器部	环 (16.0) × (2.9)	13縫部コナフ, 体部へ底部へラケツリ	13縫部コナフ	内面黒色処理 75		
14	C-117	SI90 A	2層	土器部	环 (16.4) × (2.7)	13縫部コナフ, 体部へラケツリ	13縫部コナフ	内面黒色処理 75		
15	C-099	SI90 A	床直上	土器部	环 (15.0) × (3.0)	13縫部コナフ, 体部へ底部へラケツリ	13縫部コナフ	内面黒色処理 75		
16	C-111	SI90 A	堆積土	土器部	环 17.9 × 14.0 × 3.9	13縫部コナフ, 体部へラケツリ	13縫部コナフ	内面黒色処理 75		
17	C-116	SI90 A	2層	土器部	环 (17.0) × (6.0) × 3.6	13縫部コナフ, 体部へ底部へラケツリ	13縫部コナフ	内面黒色処理 75		
18	C-112	SI90 A	2層	土器部	环 (22.8) × (7.5)	13縫部コナフ, 体部へラケツリ	13縫部コナフ	内面黒色処理 75		
19	C-108	SI90 A	堆積土	土器部	环 (19.6) × (2.5)	13縫部コナフ, 体部へラケツリ	13縫部コナフ	内面黒色処理 75		
20	C-118	SI90 A	堆積土	土器部 高台付	环 (6.0) × (5.8)	脚部へラケツリ	脚部へラケツリ	内面黒色処理 75		
21	C-119	SI90 A	カマド 灰化物	土器部	束 × (6.0)	13縫部コナフ, 腹部へハメ	13縫部コナフ, 腹部へハメ	75		
22	C-121	SI90 A	P1	土器部	束 (19.0) × (4.0)	13縫部コナフ, 腹部へハメ	13縫部コナフ, 腹部へハメ	76		
23	C-120	SI90 A	P1	土器部	束 > (7.4) × (5.4)	脚部へラメ	脚部へラメ	木葉瓶 75		
24	C-124	SI90 A	灰化物	土器部	束 > (8.6) × (3.6)	脚部へラメ, 脚部下端へラナダ	脚部へラメ	76		
25	C-122	SI90 A	2層	土器部	束 (17.0) × (7.5)	13縫部コナフ, 腹部へハメ, 腹部へラナダ	13縫部コナフ, 腹部へハメ	76		
26	C-123	SI90 A	堆積土	土器部	束 (14.0) × (12.7)	13縫部コナフ, 腹部へハメ	13縫部コナフ, 腹部へハメ	76		
27	C-125	SI90 A	床直上	土器部	束 (1.5) × (4.0) × (2.0)	13縫部コナフ, 腹部へラナダ	13縫部コナフ, 腹部へラナダ	76		
28	C-126	SI90 A	堆積土	土器部	束 (3.2) × (1.8) × 1.5	ユビナダ	ユビナダ	76		
29	C-127	SI90 A	堆積土	土器部	束 (5.2) × (2.4) × 1.9	ユビナダ, ユビオサエ	ユビナダ, ユビオサエ	76		
30	D-008	SI90 A	2層	土器部	环 × × (0.8)	口口2調整	底部回転へラケツリ	76		
31	D-009	SI90 A	上壁	土器部	束 (11.0) × (5.0) × (2.0)	口口調整, 底部手持ちへラケツリ	口口調整	76		
32	E-042	SI90 A	2層	堆積土	环 15.9 × 10.4 × 4.1	口口調整へ底部回転へラケツリ	口口調整	76		
33	E-043	SI90 A	2層	堆積土	束 × × (16.5)	口口調整へ盤底底火文へ沈継	口口調整 内面黒色処理	76		
段級 番号	出土地點	層位	種別	器種	長×幅×厚(cm)	重量(g)	備考	写真 図版		
34	P-008	SI90 A	堆積土	土製品	把手 長(4.3) × 幅1.0	6.8g ナヂ		60集		
35	P-009	SI90 A	床直上	土製品	把手 (4.2) × (3.6) × (1.1)	16.1g 木質柄残存		76		
段級 番号	出土地點	層位	種別	器種	分類	長×幅×厚(cm)	重量(g)	石材	備考	写真 図版
36	Kc-080	SI90 A	カマド袖	礫石器	磨+凹	- 8.5 × 11.7 × 3.0	325.25	砂岩	灰粗品, 内側, 磨一面(平), 四一面(薄)(深)	76
37	Kd-021	SI90 A	堆積土	石製品	磨石	- 5.8 × 6.6 × 4.1	137.34	砂岩	灰粗品, 面取り, 杜状, 無孔, 斜面削痕あり	76

第94図 SI190A 穴穴住居跡出土遺物(2)



第95図 SI90A堅穴住居跡出土遺物(3)

【方向】住居跡の主軸方位は、カマド基準でN-13°-Wである。

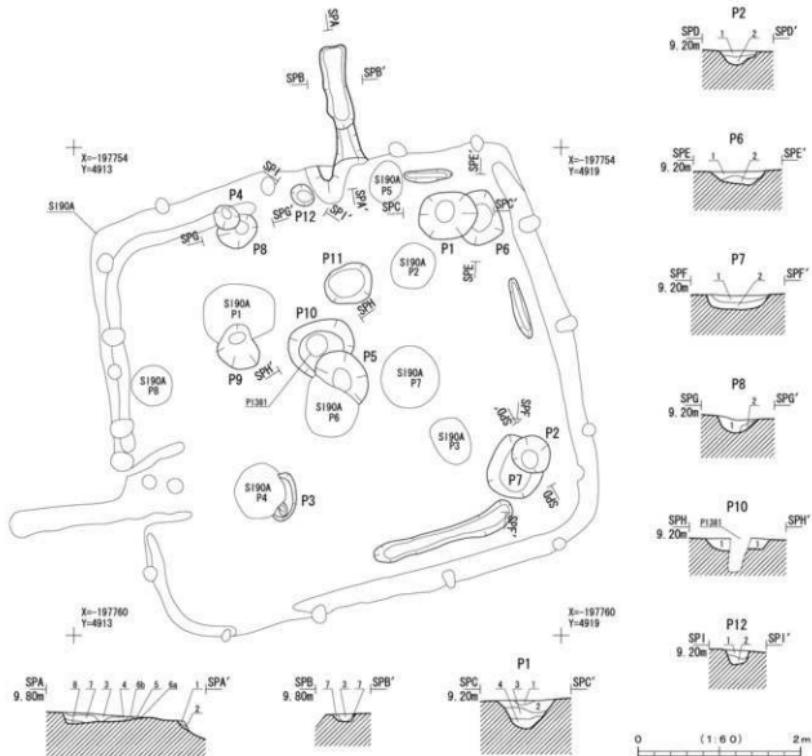
【堆積土・構築土】断面図を作成したのはカマド煙道部のみで、8層に分層した。炭化物、焼土ブロックを含む。

【柱穴】12基検出した。位置関係からみて、P1～4が主柱穴に相当すると考えられるが、P3を除き、それぞれ別のピットと重複している。こうしたピットの検出状況からは、SI90B機能時においても建て替えが行われた可能性が考えられる。

【周溝】西側を除く三方から、僅かに残存する周溝を検出した。東側は検出長75cm、幅15cm、深さ3cm、北側は検出長57cm、幅15cm、深さ9cm、南側は検出長178cm、幅18～30cm、深さ3cmを測り、断面形状はいずれもU字状を呈する。

【カマド】北壁に構築され、左袖と煙道部が残存する。袖は長さ40cm、幅50cm程で、直線的に延びる。煙道部は長さ150cm、幅30cm、深さ6～12cmを測り、底面は末端に向かって傾斜する。

【出土遺物】土師器壺2点を掲載した。第97図-1はP1、同図-2はP5からの出土である。



第96図 SI90B整穴住居跡

S90B 増棟土計記表

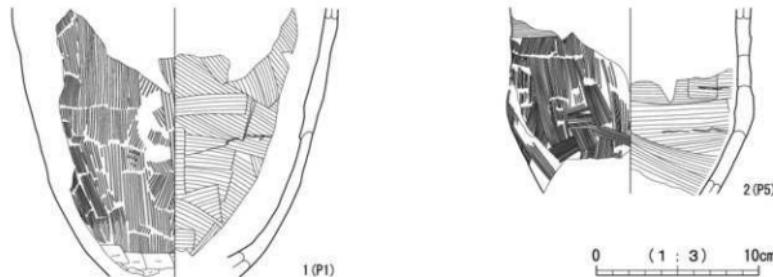
部位	層位	土 色	土 性	備 考
カマド	1	5YR3/3	暗赤褐色	-
	2	5YR3/2	暗赤褐色	-
	3	10YR4/2	灰黃褐色	シルト 炭化物稍、5YR3/3燒土ブロック含む
	4	5YR2/2	黒褐色	シルト 炭化物稍、5YR3/3燒土ブロック含む
	5	5YR3/3	暗赤褐色	-
	6a	10YR4/2	灰黃褐色	シルト 炭化物含む
	6b	10YR4/3	にじみ・黃褐色	シルト 炭化物含む
	7	5YR3/3	黒褐色	シルト 10YR4/2ブロック、5YR3/3燒土ブロック、炭化物含む
	8	10YR4/3	にじみ・黃褐色	シルト 炭化物稍、燒土含む

S90B 施設堆積土計記表

部位	層位	土 色	土 性	備 考
P1	1	10YR4/3	にじみ・黃褐色	燒土ブロック(幅1mm)数箇含む
	2	10YR4/2	灰黃褐色	砂質シルト 灰白色土ブロック(幅5～10mm)数多量、燒土ブロック(幅5～10mm)多量、炭化物微含む
	3	10YR3/2	黒褐色	シルト 炭化物(幅3～5mm)少量、燒土ブロック(幅5～10mm)含む
	4	10YR4/3	黒褐色	粘土 黄白色土ブロック(幅10mm)、燒土ブロック少箇含む
P2	1	10YR3/3	暗褐色	燒土ブロック(幅5～10mm)極多量、炭化物(幅5～20mm)少箇含む
P6	2	10YR4/1	黒褐色	砂質シルト 炭化物、燒土ブロック(幅5mm)少箇含む
	1	2.5Y3/2	暗赤褐色	シルト 炭化物、燒土ブロック(幅5～20mm)多量、黄褐色ブロック(幅10mm)含む
P7	2	10YR4/3	にじみ・黃褐色	シルト 炭化物、燒土ブロック(幅5mm)微量含む
P8	1	10YR3/3	暗褐色	砂質シルト 黄褐色土ブロック(幅5～10mm)数多量、燒土ブロック多量、炭化物(幅10～20mm)少量含む
	2	10YR5/4	にじみ・黃褐色	砂質シルト 黄褐色土ブロック(幅5mm)、燒土ブロック多量、炭化物(幅3～5mm)少量含む
P10	1	2.5YR2/2	無地赤褐色	シルト 黄褐色土ブロック、炭化物、燒土ブロック(幅5～20mm)含む
P12	2	10YR3/4	暗褐色	砂質シルト 燒土少箇含む
	1	2.5Y3/3	暗オリーブ色	砂質シルト 炭化物(幅5mm)、燒土ブロック(幅10mm)少量、黄褐色土含む
	2	10YR3/4	暗褐色	砂質シルト 燒土少箇含む

S90B 施設難観表

遺構名	平面形	規模(cm)	深さ(cm)	備 考	遺構名	平面形	規模(cm)	深さ(cm)	備 考
P1	椭円形	70×60	35		P7	椭丸方形	75×65	19	
P2	円形	32×46	19		P8	円形	(49)×(30)	-	
P3	不明	60×(20)	31		P9	円形	(56)×(44)	45	
P4	円形	28×28	33		P10	円形	82×(98)	17	
P5	円形	73×(20)	24		P11	円形	49×45	16	
P6	椭円形	67×(30)	17		P12	円形	31×25	17	



回収番号	登録番号	出土遺構	層位	種 別	器 物	LIE×底径×器高(cm)	外 面 調 整	内 面 調 整	備 考	写真 図版
1	C128	S90B	P1	土器部	甕	× ×(16.6)	胴部ハケメ、胴部下端へタガリ	胴部ハナダ	-	76
2	C129	S90B	P5	土器部	甕	× ×(11.3)	U縫部ヨガナ、胴部ハナメ	胴部ハナダ	-	76

第97図 SI90B 穴式住居跡出土遺物

SI91 穫穴住居跡(第98・99図)

【位置・確認】3B区南側西端、9・14グリッドに位置する。大部分は調査区外へ延びる。SI 131のような円形の周溝となる可能性を考え、住居跡としてあつかった。

【重複】SK71に切られる。

【規模・形態】平面形状は不明である。底面には2条の溝が弧状に回り、明確な床面は検出されていない。

【方向】検出したのは弧状に回る2条の溝のみであるため、住居跡の主軸方位は不明である。

【堆積土・構築土】5層に分層した。いずれも黒褐色シルトで褐色シルトブロックを含む。

【壁面】検出した部分の壁高は11cmを測り、壁はやや外傾して立ち上がる。

【床面】検出した範囲については平坦である。

【出土遺物】土師器壺2点、須恵器壺1点、甕2点を掲載した。いずれも堆積土からの出土である。第99図-1・2は内面黒色処理の施された土師器壺で、口縁部が内湾気味に開く器形を呈する。同図-3の須恵器壺外面には火拂痕が観察される。

SI92A 穫穴住居跡(第100～102図)

【位置・確認】3B区中央南端、7・11グリッドに位置する。本住居跡はSI 92Bを拡張した建て替え後の住居跡と考えられる。

【重複】SI 92B・102・113・114を切る。また、住居跡北半部は擾乱による削平を受けている。

【規模・形態】検出した規模は、東辺4.55m、西辺4.75m、南辺4.95m、北辺5.10mを測り、平面形状はややいびつな隅丸方形を呈する。

【方向】住居跡の南北軸は、東辺基準でN-25°-Wである。

【堆積土・構築土】5層に分層した。1～3層は住居堆積土で、焼土を含む黒褐色砂質シルト層である。4層は周溝堆積土、5層は間仕切り溝堆積土で、にぶい黄色土を含む黒褐色シルトである。

【壁面】残存する壁高はいずれも30cm前後を測り、壁は外傾して立ち上がる。

【床面】住居北半は擾乱によって削平されているが、床面はほぼ平坦である。土層断面を観察した結果、SI 92B床面をそのまま使用していることが確認された。

【柱穴】7基検出した。位置や規模からみて、P1～4が主柱穴に相当すると考えられる。このP1～4は、後述するSI 92Bの主柱穴と位置的に重複する。

【周溝】北辺の一部を除き、際際をほぼ全周する周溝を検出した。幅10～30cm、深さ5～9cmを測り、断面形状は逆台形を呈する。東辺の中央部分では、北側から延びる周溝と南側から延びる周溝の末端が2重になる。擾乱がおよぶ住居北辺中央部東側および西側が一部途切れものの、東側についてはカマドが構築されていた可能性がある。

【その他の施設】床面南西部から、間仕切り溝と考えられる溝を検出した。規模は長さ2.95m、幅23cm、深さ6～11cmを測り、やや蛇行して西辺にほぼ直行する。溝の東側底面ではピット状の落ち込み5箇所を検出した。

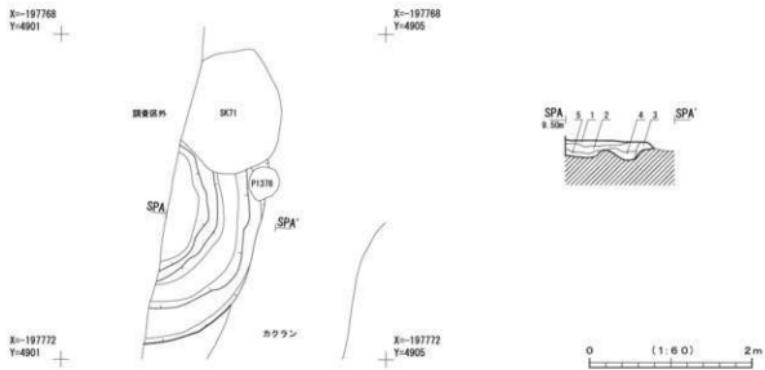
【出土遺物】土師器壺3点、塚1点、甕1点、須恵器蓋1点、壺1点、台石1点、不明石製品1点を掲載した。第101図-1の底部は平底、同図-2は丸底を呈する。碗状を呈する不明石製品(第102図-2)は、砂岩製である。

SI92B 穫穴住居跡(第103図)

【位置・確認】3B区中央南端、7・11グリッドに位置する。位置や規模、付属施設等からSI 92A建て替え前の住居跡と考えられる。ピットと周溝の一部のみを検出した。

【重複】SI 92Aに切られ、SI 113・114を切る。

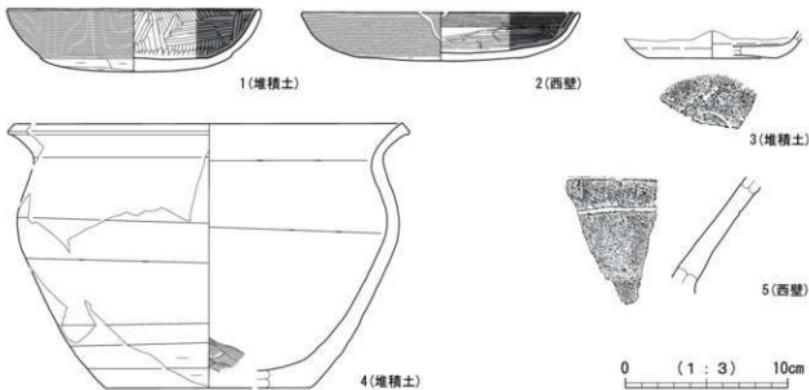
【規模・形態】SI 92A拡張時に殆どが失われており、主軸方位も含め詳細は不明である。



SI91 堆積土跡記表

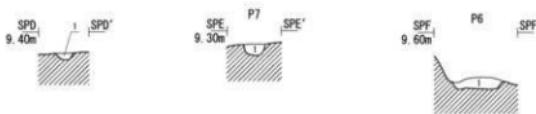
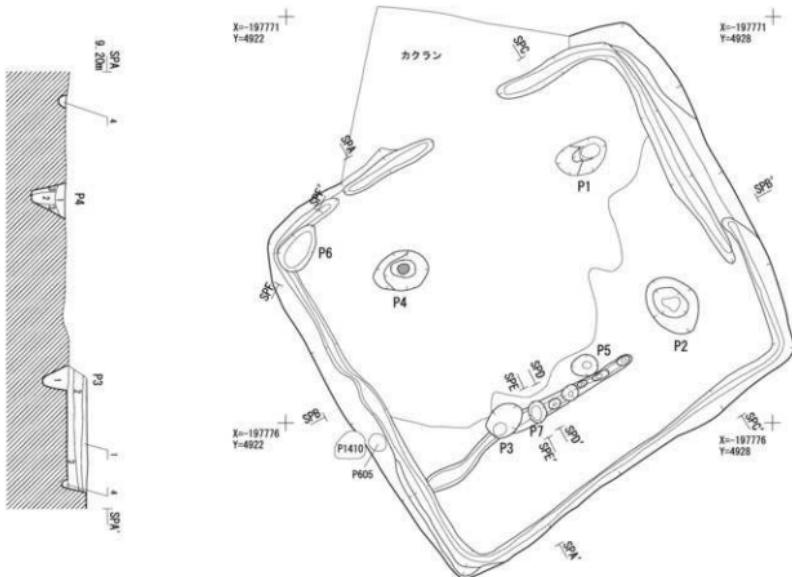
部位	層位	土色	土性	備考
堆積土	1	10YR2-3	黒褐色	シルト 10YR4-4褐色シルト粘含む
	2	10YH3-2	黒褐色	シルト 10YR3-4褐色シルトブロック、灰化物粘微量、10YR1-4褐色シルト粘含む
	3	10YH3-2	黒褐色	シルト 10YR4-4褐色シルトブロック含む
	4	10YR2-3	黒褐色	灰化物粘微量、10YR3-2褐色シルトブロック、10YR4-4褐色シルトブロック含む
	5	10YH3-2	黒褐色	灰化物粘微量、10YR4-4褐色シルト粘含む

第98図 SI91 穫穴住跡



図版番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調査	内面調査	備考	写真図版
1	C-130	SI91	堆積土	土師器	平	15.6 × × 3.9	(1)縁部～全体ヨコナギ。 (2)底部下端～近底ハラケズリ	口縁～底部ハラミガキ	内面黑色処理	77
2	C-131	SI91	西壁	土師器	平	(17.0) × × 3.8	(1)縁部～近底ヨコナギ。 (2)底部ハラケズリ	口縁ヨコナギ。 底部～近底ハラミガキ	内面黑色処理	77
3	E-044	SI91	堆積土	瓦底器	平	×(8.0) × (1.7)	口縁～近底ヨコナギ。	ロクロ調整	外側火標痕	77
4	E-045	SI91	堆積土	瓦底器	平	24.0 × 12.6 × 16.3	口縁～近底ヨコナギ。	ロクロ調整～底部ハナダ		77
5	E-046	SI91	西壁	瓦底器	平	× × (7.2)	ロクロ調整～根柢底伏灰。 ～沈澱～ラナダ	ロクロ調整～ハナダ	内面白自然釉	77

第99図 SI91 穫穴住跡出土遺物



0 (1:60) 2m

第100図 SI92 A竪穴住居跡

SI92A 墓積土封記表

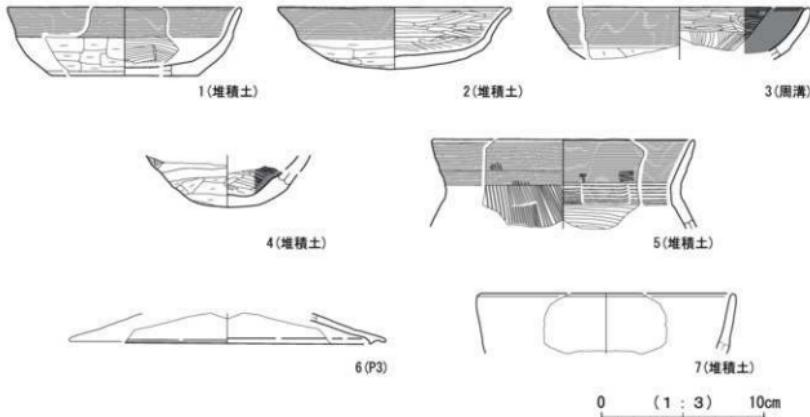
部位	層位	土 色	土 性	備 考
堆積土	1	10YR2/3	黒褐色	砂質シルト 地山ブロック少額、炭化物、鐵土粒微量含む
	2	10YR3/1	黒褐色	砂質シルト 10YR5-6 黒褐色地山ブロック少額、炭化物、鐵土粒微量含む
	3	10YR3/1	黒褐色	砂質シルト 10YR5-6 黒褐色地山ブロック多額、炭化物、鐵土粒微量含む
周溝	4	10YR2/2	黒褐色	シルト 地山ブロック微量含む
居住切溝	5	10YR3/1	黒褐色	シルト 2.3Y6/4にかい 黑色土含む

SI92A 施設堆積土封記表

部位	層位	土 色	土 性	備 考
P1	1	10YR2/2	黒褐色	褐灰色土粒少量、地山ブロック、炭化物微量含む
	2	10YR3/3	褐褐色	炭化物及び鐵土粒(径2~10mm)、地山ブロック(径5~10mm)、灰白色土粒ブロック微量含む
	3	10YR2/2	黒褐色	炭化物、鐵土粒微量含む
P2	1	10YR2/2	黒褐色	砂質シルト 褐灰色土粒少量、地山ブロック、炭化物微量含む
	2	10YR2/2	黒褐色	シルト 地山ブロック(径2~5mm)、炭化物(径5mm)少量含む
	3	10YR3/3	褐褐色	砂質シルト 炭化物及び鐵土粒(径2~10mm)、地山ブロック(径5~10mm)、灰白色土粒ブロック微量含む
P3	1	10YR3/4	褐褐色	シルト 灰白色(径10mm)少量、分離鉄粉含む
	1	10YR2/2	黒褐色	砂質シルト 褐灰色土粒少量、地山ブロック、炭化物微量含む
	2	10YR2/2	黒褐色	シルト 地山ブロック少量、炭化物、鐵土粒微量含む
P6	1	10YR3/4	褐褐色	砂質シルト 黄褐色砂質ブロック少量、炭化物(径1~2mm)微量含む
P7	1	10YR2/2	黒褐色	シルト 地山ブロック(径5~10mm)少量、炭化物(径2~3mm)微量含む

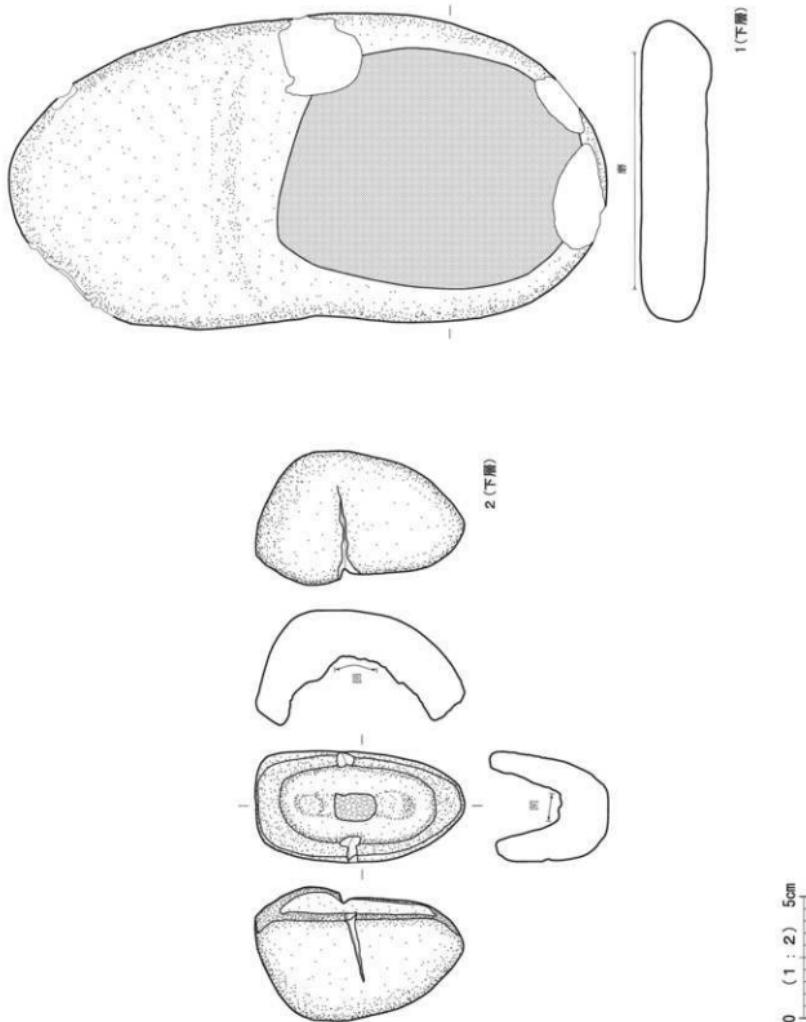
SI92A 海浜堆积带

遺構名	平面形	規模	深さ(cm)	備 考	遺構名	平面形	規模	深さ(cm)	備 考
P1	楕円形	65×49	29		P5	円形	30×30	22	
P2	楕円形	75×60	31		P6	楕円形	65×38	9	
P3	楕円形	(45)×43	37		P7	円形	25×22	14	
P4	楕円形	68×48	39						



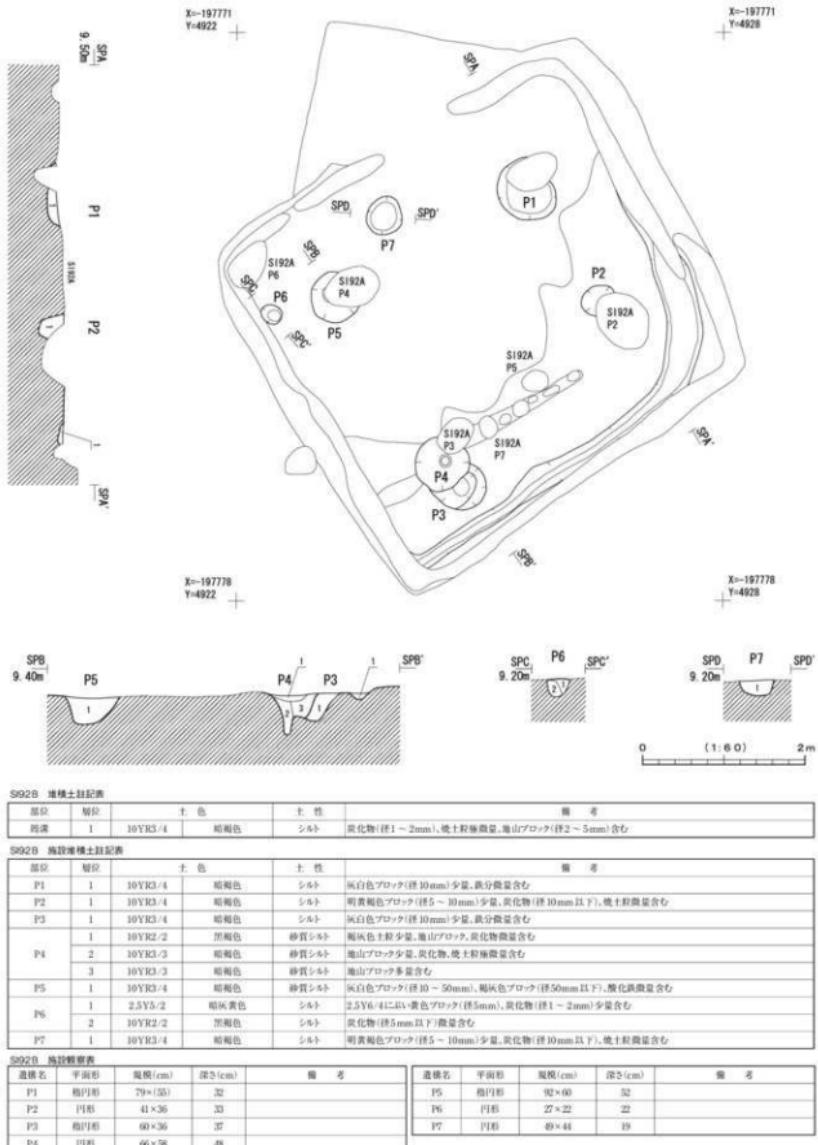
回数 番号	登録番号	出土遺構	層位	種 别	種 別	目(径×高)×高さ(cm)	外 面 調 整	内 面 調 整	備 考	写真 回数
1	C122	SI92A	堆積土	土壌器	环	(14.4)×(9.0)×4.2	上縁部コナツギ、体部ヘラケヅリ、 体部・端コナツギ	上縁部コナツギ、体部ヘラナツギ、 底面削除面		77
2	C133	SI92A	堆積土	土壌器	环	14.4× ×3.8	上縁部コナツギ、 体部・下部ヘラケヅリ	上縁部ヘラギギ		77
3	C13	SI92A	周溝	土壌器	环	(8.0)× ×(3.2)	上縁部・底部コナツギ、 体部ヘラケヅリ	上縁部・底部ヘラギギ	内面黑色処理	77
4	C135	SI92A	堆積土	土壌器	丸	× ×(3.2)	体部・底部ヘラケヅリ	体部・底部ヘラギギ	内面黑色処理	77
5	C136	SI92A	堆積土	土壌器	丸	(16.0)× ×(5.5)	上縁部ヘラケヅリコナツギ、 底部ハタメ	上縁部コナツギヘラケヅリ、 底部ハタメ、底部ヘラナツギ		77
6	E047	SI92A	P3	阻塞器	丸	(19.5)× ×(1.9)	ロクロ調整、ホリリ有	ロクロ調整	外面自然施	77
7	E048	SI92A	堆積土	单壁器	环	(16.0)× ×(3.7)	ロクロ調整	ロクロ調整	外面自然施	77

第101図 SI92A 穴竪住居跡出土遺物(1)



回復 番号	登録番号	出土遺物	製作	種 別	器 様	分類	長さ×幅×厚さ(cm)	重量(g)	石 材	備 考	写真 図版
1	Kc-081	SI92 A	下層	繩石器	台石	-	24.5×12.6×2.8	956.98	磨研面 定形品、椎円裡、削一面(平)	-	77
2	Kd-022	SI92 A	下層	石器品	不明石器品	-	9.1×4.6×5.5	234.13	砂岩 定形品、西一面、深3(深)	-	77

第102図 SI92 A整穴住居跡出土遺物(2)



第103図 SI92B堅穴住居跡

【床面】ほぼ平坦である。

【柱穴】7基検出した。位置や規模からP1～5が主柱穴に相当すると考えられ、南西側に位置するP3・4のみ造り替えが行われている。

【周溝】南辺と東辺南側のみ残存する周溝を検出した。規模は検出長5.2m、幅10～20cm、深さ7cm程を測り、断面形状は逆台形状を呈する。

【出土遺物】掲載した遺物は無い。

SI93 穫穴住居跡(第104～107図)

【位置・確認】3B区中央部の南西寄り、10・11・15・16グリッドに位置する。

【重複】SI115・117を切り、SI81・84、SK65に切られる。また、住居跡北辺の北側は擾乱により失われている。

【規模・形態】検出した規模は、東辺1.80m、西辺4.50m、南辺4.80m、北辺3.40mを測り、平面形状は隅丸方形を呈するものと思われる。

【方向】住居跡の南北軸は、カマド基準でN-55°-Eである。

【堆積土・構築土】1～22層に分層した。1～4層は住居堆積土で、褐色シルトブロックを含む暗褐色シルトを主体とする。5層は周溝堆積土、6～21層はカマド間連層位、22層は掘り方堆積土である。

【壁面】残存する壁高は東壁で22cm、西壁で25cm、南壁で30cm、北壁で19cmを測る。

【床面】3層下面を床面とし、ほぼ平坦である。

【柱穴】ピット10基を検出した。位置や規模、柱痕の有無からP1～4が主柱穴に相当すると考えられる。

【周溝】住居跡が残存する部分においては全周する周溝を壁際から検出した。規模は、幅13～37cm、深さ5～8cmを測り、断面形状は逆台形を呈する。

【カマド】北辺中央部に構築される。擾乱の影響で左袖部と煙道の一部が失われているが、燃焼部の堆積土中から左袖部の袖石と考えられる繰が出土している。右袖は幅34cm、長さ70cmを測り、J字状に延びる。燃焼部は幅54cm、奥行き90cmを測り、底面は皿状に窪む。煙道部は検出長124cm、幅27cmを測り、北辺に直行するように延び、底面には起伏がみられる。煙道部末端には、上端径32×26cm、深さ23cmを測るピット状の煙出し部が構築される。

【掘り方】中央に高まりがあり、壁面向かって緩やかに傾斜する。

【出土遺物】土師器壺12点、鉢2点、甕5点、須恵器蓋1点、壺1点、甕1点を掲載した。第106図-3・6・7、第107図-18・20がカマド出土である。土師器壺は底部から口縁部に向かって内湾気味に聞く器形を呈するものが多い中で、第106図-3・4は口縁部上端が外反し、同図-10は口縁部が直立気味に立ち上がる器形を呈する。同図-12は土師器壺の底部破片で、内面に刻書が観察される。第107図-18は胴部下半が大きく膨らむ土師器甕、同図-22は丸底の須恵器である。

SI94 穫穴住居跡(第108図)

【位置・確認】3B区南端西側、3グリッドに位置する。擾乱とSI78により大部分が失われており、カマド煙道部を含む一部分のみを検出した。

【重複】SI78・SD45に切られる。

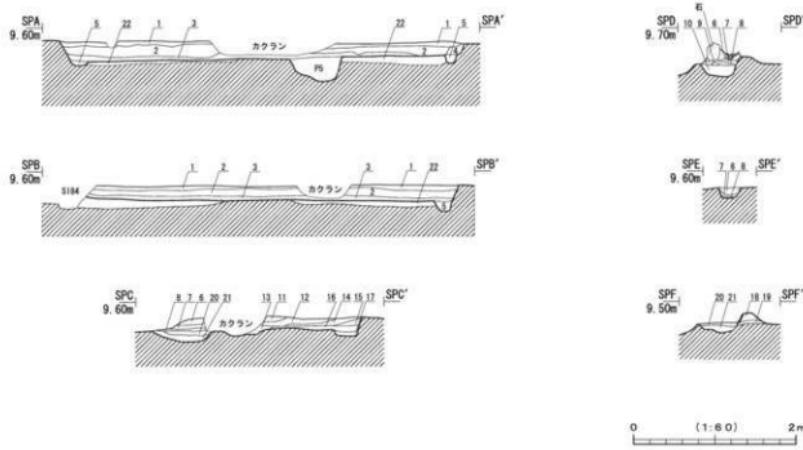
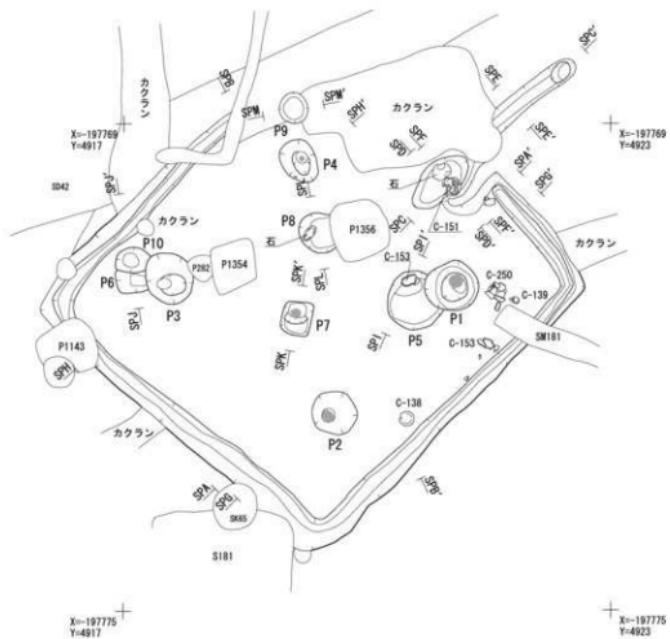
【規模・形態】残存する部分が僅かであるため、詳細は不明である。

【方向】住居跡の南北軸は、カマド基準でN-5°-Wである。

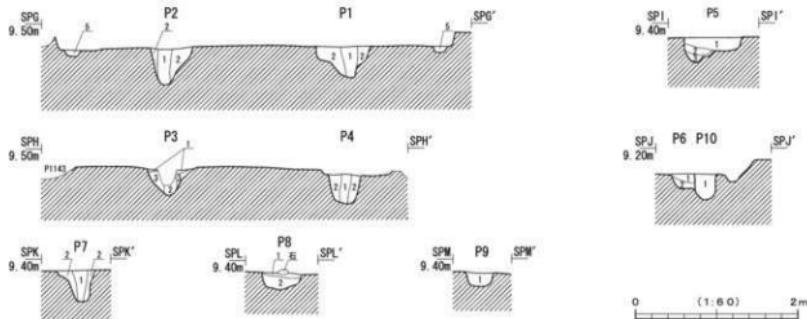
【堆積土・構築土】煙道部堆積土を2層に分層した。1層は炭化物を多量に含んでいる。

【柱穴】1基検出した。南側1/2はSI78に切られる。検出した部分の深さは、26cmを測る。

【カマド】煙道部のみを検出した。残存する規模は、長さ116cm、幅32～42cmを測り、底面は平坦である。



第104図 SI93竪穴住居跡(1)

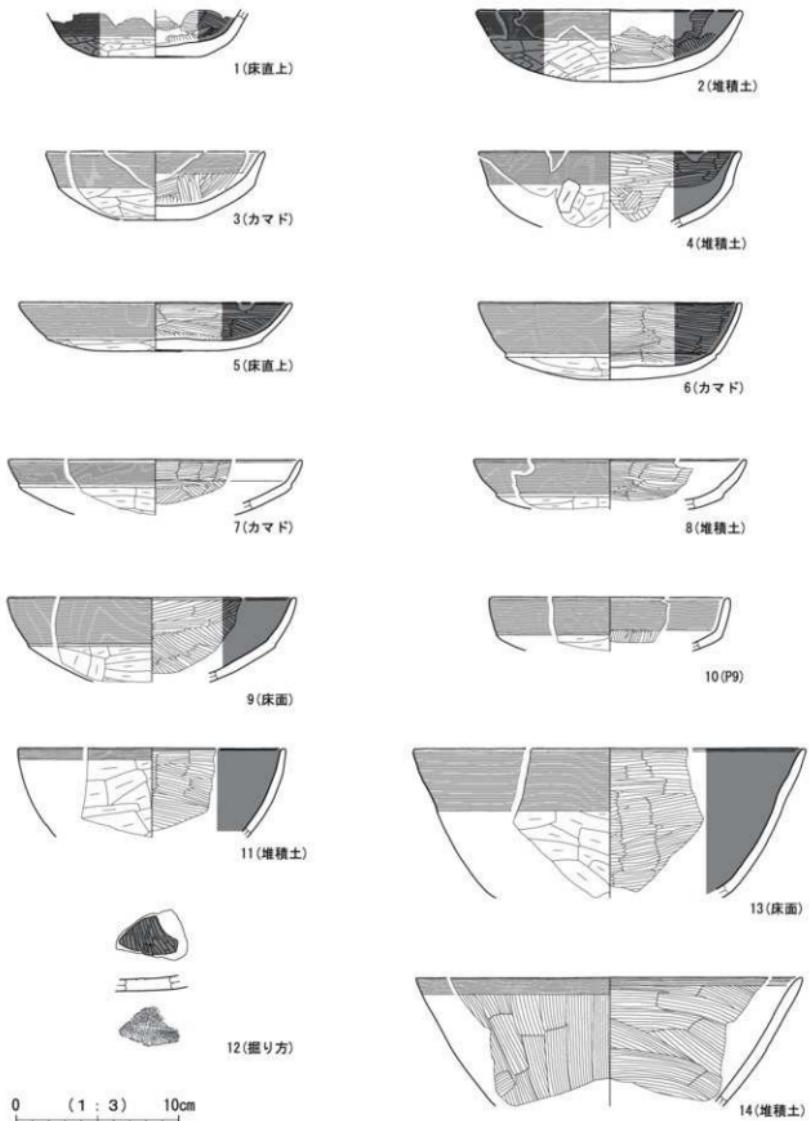


S93 地盤土質記表				編 号
部位	層位	土 色	土 性	
地盤土	1	10YR3-3	暗褐色	シルト 20YR4-4 暗褐色シルト粒, 腐化物粒少量含む
	2	10YR3-4	暗褐色	シルト 20YR4-4 暗褐色シルト粒, 10YR3-2 黒褐色シルトブロック, 5YR4-5 黄褐色シルト
	3	10YR3-3	暗褐色	シルト 20YR4-4 暗褐色シルトブロック, 10YR4-4 暗褐色シルトブロック, 腐化物粒含む
	4	10YR3-2	暗褐色	シルト 20YR4-4 暗褐色シルトブロック含む (崩落土)
岩塊	5	10YR3-3	暗褐色	シルト 20YR4-4 暗褐色シルトブロック含む
	6	10YR3-2	暗褐色	シルト 20YR4-2 黑褐色シルトブロック含む
	7	7.5YR2-3	深褐色	シルト 5YR4-4 黑褐色シルトブロック, 10YR4-4 暗褐色シルト含む
	8	5YR3-1	黑褐色	シルト 5YR4-4 黑褐色シルトブロック含む
	9	10YR4-2	灰褐色	砂質シルト 20YR4-4 灰褐色シルトブロック含む
	10	7.5YR2-2	黑褐色	シルト 7.5YR2-2 黑褐色シルトブロック, 10YR4-4 暗褐色シルトブロック含む
	11	7.5YR3-2	黑褐色	シルト 7.5YR2-2 黑褐色シルトブロック, 10YR4-4 暗褐色シルトブロック含む
	12	7.5YR3-2	黑褐色	シルト 7.5YR2-2 黑褐色シルトブロック, 5YR4-4 黑褐色シルト含む
	13	10YR3-2	黑褐色	シルト 10YR4-4 黑褐色シルトブロック含む
	14	10YR3-3	暗褐色	シルト 10YR4-4 黑褐色シルトブロック少量, 腐化物粒含む
	15	5YR2-1	黑色	シルト 10YR3-2 黑褐色シルトブロック含む
	16	7.5YR3-2	黑褐色	シルト 5YR4-4 黑褐色シルトブロック, 10YR4-4 暗褐色シルトブロック, 腐化物粒少量含む
	17	10YR3-2	暗褐色	シルト 10YR4-4 黑褐色シルトブロック, 腐化物粒少量含む
	18	10YR4-3	棕褐色, 黄褐色	シルト 10YR2-2 黑褐色シルト含む
	19	10YR2-2	暗褐色	シルト 10YR4-4 黑褐色シルト含む
	20	5YR3-3	暗褐色	壤土 5YR4-4 黑褐色シルト含む
	21	10YR4-3	棕褐色, 黄褐色	シルト 10YR4-4 黑褐色シルト含む
側の方	22	10YR4-2	灰褐色	シルト 10YR5-4 黑褐色シルトブロック含む

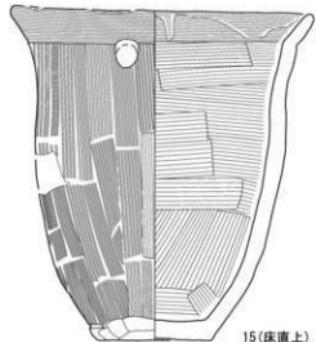
S93 施設構土質記表				編 号
部位	層位	土 色	土 性	
P1	1	10YR3-3	暗褐色	シルト 10YR4-4 暗褐色シルト粒, 10YR2-1 黑褐色少粒, 腐化物粒微量含む
	2	10YR3-4	暗褐色	シルト 10YR4-4 暗褐色シルト粒, 10YR3-2 黑褐色シルトブロック, 腐化物粒少量含む
P2	1	10YR3-2	黑褐色	シルト 7.5YR3-2 黑褐色シルトブロック, 10YR4-4 暗褐色シルト粒, 10YR2-1 黑色粘土ブロック含む
	2	10YR2-3	暗褐色	シルト 10YR4-4 暗褐色シルトブロック, 10YR3-2 黑褐色シルトブロック, 腐化物粒少量含む
P3	1	10YR3-1	黑褐色	シルト 10YR4-4 暗褐色シルトブロック含む
	2	10YR3-4	暗褐色	シルト 10YR4-4 暗褐色シルトブロック含む
	3	10YR3-2	暗褐色	シルト 10YR4-4 暗褐色シルトブロック含む
P4	1	10YR3-2	黑褐色	シルト 10YR4-4 暗褐色シルトブロック, 10YR4-4 暗褐色シルト含む
	2	10YR3-3	暗褐色	シルト 10YR4-4 暗褐色シルトブロック, 10YR4-4 暗褐色シルト含む
P5	1	10YR3-3	暗褐色	シルト 10YR4-4 暗褐色シルト粒, 5YR4-4 黑褐色シルトブロック, 腐化物粒含む
	2	10YR2-2	黑褐色	シルト 10YR3-4 黑褐色シルトブロック, 10YR4-4 黑褐色シルトブロック含む
P6	1	10YR3-4	暗褐色	シルト 10YR4-4 暗褐色シルトブロック, 10YR3-2 黑褐色シルトブロック含む
	2	10YR3-3	暗褐色	シルト 10YR4-4 暗褐色シルトブロック, 10YR4-4 黑褐色シルトブロック含む
P7	1	10YR3-3	暗褐色	シルト 10YR4-4 暗褐色シルトブロック, 10YR5-2 黑褐色シルトブロック含む
	2	10YR3-2	黑褐色	シルト 10YR4-4 暗褐色シルトブロック, 腐化物粒少量含む
P8	1	10YR3-4	暗褐色	シルト 10YR4-4 暗褐色シルトブロック含む
	2	10YR3-3	暗褐色	シルト 10YR4-4 暗褐色シルトブロック, 10YR3-2 黑褐色シルトブロック含む
P9	1	10YR3-2	暗褐色	シルト 10YR4-4 暗褐色シルトブロック, 10YR4-3 黑褐色シルトブロック含む
	2	10YR2-3	暗褐色	シルト 10YR4-4 暗褐色シルト粒, 腐化物粒含む

S93 施設敷地表				編 号
地盤名	平面形	周囲(cm)	深さ(cm)	
P1	不整形	65×60	43	
P2	扇円形	57×54	59	
P3	円形	65×60	43	
P4	扇円形	57×42	42	
P5	円形	73×53	38	

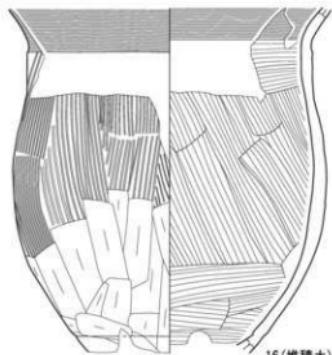
第105図 SI93堅穴住居跡(2)



第106図 SI93竪穴住居跡出土遺物(1)



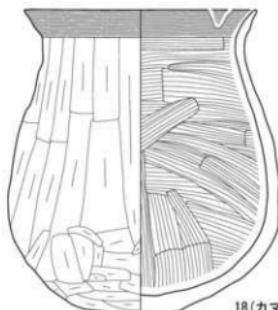
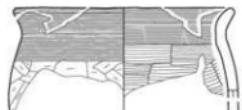
15(床直上)



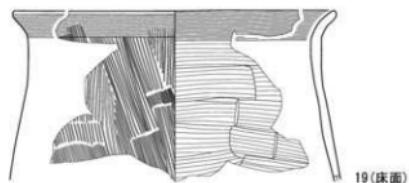
16(堆積土)



17(P5)



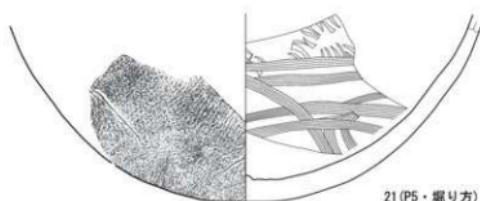
18(カマド)



19(床面)



20(カマド)



21(P5・堀り方)

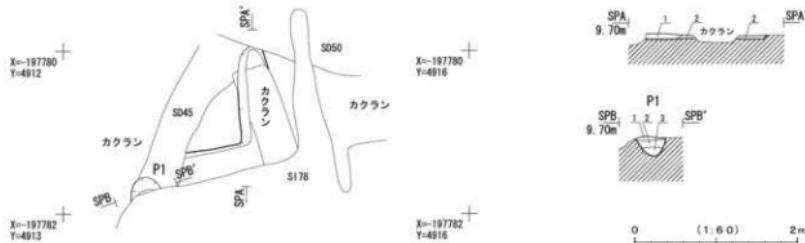


22(堆積土)

0 (1 : 3) 10cm

第107図 SI93竪穴住居跡出土遺物(2)

回数 番号	登録番号	土工種類	層位	種別	器	標	口径×奥行き×高さ(cm)	外 壁 溝 構	内 壁 調 整	備 考	写真 回数
1	C-139	S890	床直上	土加筋	环		×(6.1)×(3.0)	体部～底部ハラミガキ	各部～底部ハラミガキ	内外面黒色処理	77
2	C-142	S890	堆積土	土加筋	环		(16.0)×(4.0)×4.4	1層部コナヂ、 底部ハラミガキ	1層部基部～底部ハラミガキ	内外面黒色処理	77
3	C-144	S890	カマド	土加筋	环		(13.4)×(4.0)×4.2	1層部コナヂ、 底部ハラミガキ	1層部基部コナヂ、 各部～底部ハラミガキ	内面タルム状着物	77
4	C-145	S890	堆積土	土加筋	环		(16.0)×(4.0)×4.7	1層部コナヂ、 底部ハラミガキ	1層部基部～底部ハラミガキ	内面黒色処理	77
5	C-138	S890	床直上	土加筋	环		16.6×7.4×3.0	1層部～底部コナヂ、 底部ハラミガキ	1層部基部～底部ハラミガキ	内面黒色処理	77
6	C-137	S890	カマド	土加筋	环		16.0××4.8	1層部～底部コナヂ、 底部ハラミガキ	1層部基部～底部ハラミガキ	内面黒色処理	77
7	C-146	S890	カマド	土加筋	环		(18.8)×(3.4)	1層部コナヂ、 底部～底部ハラミガキ	1層部基部～底部ハラミガキ		77
8	C-147	S890	堆積土	土加筋	环		(16.6)×(3.1)	1層部～底部コナヂ、 底部下端ハラミガキ	1層部基部～底部ハラミガキ		77
9	C-149	S890	床面	土加筋	环		(17.6)×(5.2)	1層部コナヂ、 底部～底部ハラミガキ	1層部基部～底部ハラミガキ	内面黒色処理	77
10	C-143	S890	P9	土加筋	环		(14.6)×(3.3)	1層部コナヂ、 底部下端ハラミガキ	1層部基部コナヂ、 底部～底部ハラミガキ	内面黒色処理	77
11	C-148	S890	堆積土	土加筋	环		(16.4)×(5.5)	1層部カナヂ、体部～ハラミガキ	1層部基部～底部ハラミガキ	内面黒色処理	77
12	C-149	S890	鋼方	土加筋	环		×(3.0)(0.8)	底部～ハラミガキ	底部ハラミガキ	内面(x-)剥落、 黒色処理	77
13	C-141	S890	床面	土加筋	环		(24.0)×(9.2)	1層部コナヂ、 底部～ハラミガキ	1層部基部～底部ハラミガキ	内面黒色処理	77
14	C-150	S890	堆積土	土加筋	环		(23.8)×(7.9)	1層部コナヂ、 底部～ハラミガキ	1層部基部コナヂ、 底部～ハラミガキ		78
15	C-152	S890	床直上	土加筋	美		19.4×8.5×20.6	1層部カナヂ、鋼部～ハラミガキ、 底部～ハラミガキ上部斜面部、底部付近ナダ	1層部基部コナヂ、鋼部～ハラミガキ	本妻直	78
16	C-155	S890	堆積土	土加筋	美		×(21.2)	1層部コナヂ、 底部～ハラミガキ上半部ハラミガキ、 底部付近ナダ	1層部基部コナヂ、鋼部～ハラミガキ		78
17	C-153	S890	P5	土加筋	美		(13.5)×(6.4)	1層部コナヂ、底部～ハラミガキ	1層部基部コナヂ、鋼部～ハラミガキ		78
18	C-151	S890	カマド	土加筋	美		14.2××18.6	1層部コナヂ、 底部～ハラミガキ	1層部基部コナヂ、 底部～ハラミガキ		78
19	C-154	S890	床面	土加筋	美		(19.0)×(10.5)	1層部コナヂ～ハラミガキ、 底部ハラミガキ	1層部基部コナヂ～ハラミガキ、 底部ハラミガキ		78
20	E-049	S890	カマド	粗差部	环		(16.4)×(10.0)×4.3	ロクロ調整、 底部下端～底部手持ちハラミガキ	ロクロ調整		78
21	E-051	S890	P5	粗差部	美		×(12.5)	手平叩打目→一部ハラミガキ	青面改文→ハラミガキ		78
22	E-050	S890	堆積土	粗差部	美		(15.0)×(2.7)	ロクロ調整→天井部斜面部ハラミガキ	ロクロ調整		78



S94 堆積土註記表

部位	層位	土 色	土 性	備 考
1	10YR3-1	暗褐色	砂質シルト	炭化物多量含む
2	10YR3-2	暗褐色	砂質シルト	地山ブロック微量含む

S94 施設堆積土註記表

部位	層位	土 色	土 性	備 考
PI	1 10YR3-4	暗褐色	砂質シルト	地山ブロック多量、炭化物微量含む
2	10YR3-3	暗褐色	砂質シルト	炭化物微量含む
3	10YR4-1	褐色	シルト	灰白色砂土、鉄分微量含む

第108図 SI94 穴住居跡

〔出土遺物〕掲載した遺物は無い。

SI95A 壁穴住居跡(第109図)

〔位置・確認〕3B区南東部、17グリッドに位置する。一辺3.5m前後を測る隅丸方形の平面プランを検出した。本住居跡床面の約25cm下位からは主軸および規模が同一の壁穴住居跡が検出され、本住居跡と床面に高低差があるものの、上位から検出した本住居跡をSI95A、下位から検出した壁穴住居跡をSI95Bとした。

〔重複〕SI95Bを切り、SI103A・Bに切られる。

〔規模・形態〕検出した部分の規模は一辺3.5m前後を測り、平面形状は隅丸方形を呈する。

〔方向〕住居跡の主軸方位は、西壁基準でN-30°-Wである。

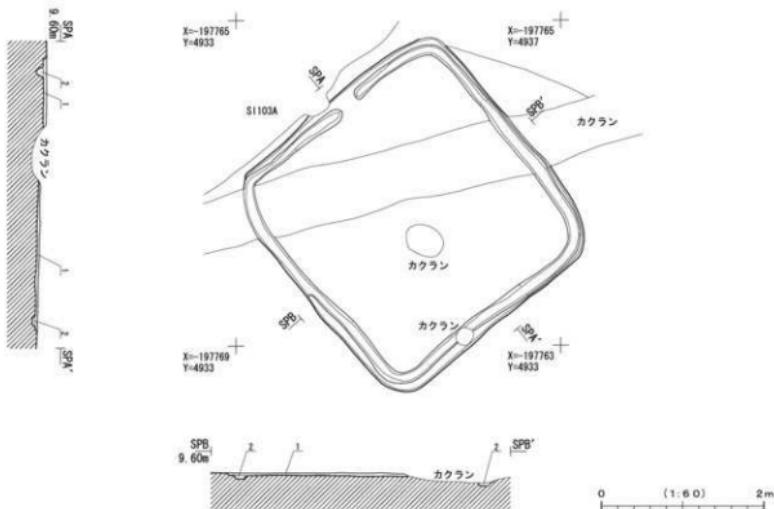
〔堆積土・構築上〕2層に分層した。1層は住居堆積土、2層は周溝堆積土である。いずれも地山ブロックを含む暗褐色シルトである。

〔壁面〕残存する壁高はいずれも5cm程度で、壁の立ち上がりは不明瞭である。

〔床面〕ほぼ平坦に構築されている。

〔周溝〕北壁の中央付近が一部途切れるものの、壁面直下をほぼ全周するほか、南辺の中央付近から西辺の中央部までは、溝が2重に回る。規模は幅15~35cm、深さ4~10cmを測り、断面形状は逆台形を呈する。

〔出土遺物〕掲載した遺物は無い。



SI95A 壁穴住居跡

部位	切位	土色	土性	備考
堆積土	1	10YR3/4	暗褐色	地山ブロック含む
周溝	2	10YR3/3	暗褐色	地山ブロック少含む

第109図 SI95A壁穴住居跡

SI95B 穫穴住居跡(第110・111図)

【位置・確認】3区B区南東部、17グリッドに位置する。SI95A床面から25cm下位で検出した。主軸および規模が同一であることから、本住居跡はSI95A建て替え前の住居跡と考えられた。

【重複】 SI95A・103A・Bに切られる。

【規模・形態】 検出した部分の規模は一辻3.5m程で、平面形状は隅丸方形を呈する。

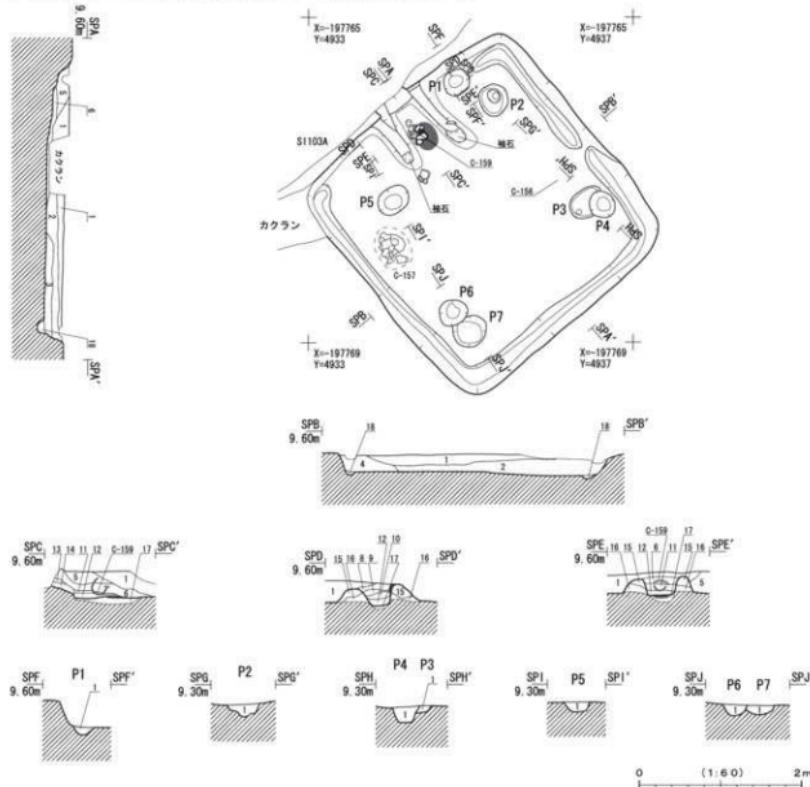
【方向】 住居跡の南北軸は、西壁基準でN-30°Wである。

【堆積土・構築土】 18層に分層した。1～7層は住居堆積土、8～17層はカマド間連層位、18層は周溝堆積土である。

【壁面】 残存する壁高は、東壁33cm、西壁25cm、南壁26cm、北壁26cmを測り、壁は外反気味に外傾する。

【床面】 2～4下面を床面とし、ほぼ平坦である。

【柱穴】 7基検出した。いずれも上端径35cm前後、深さ10cm前後を測る。位置関係からみて、P2～P7が主柱穴に相当すると考えられる。このうち、住居南東部に構築されるP3とP4、P6とP7はそれぞれ重複関係にあることから、南東部のみ柱穴の造り替えが行われた可能性が考えられる。



第110図 SI95B 穫穴住居跡

[周溝] 北辺を除く三方の壁際をほぼ全周する周溝を検出した。東壁の中央付近の一箇所で途切れている。

[カマド] 北辺の中央部に構築される。煙道部はSI 103 A・Bに切られている。袖部の規模は左袖が長さ78cm、幅28cm、右袖は長さ105cm、幅28cmを測り、北辺に直行するように延びる。両袖の末端には袖石と考えられる自然礫を確認した。燃焼部は幅45cm、奥行き80cmを測り、底面はほぼ平坦である。中央部からは径30cm程の焼土範囲が確認され、その直上から瓶が出土した。

[出土遺物] 土師器壺1点、甕2点、瓶1点、鉢1点、鐵鏃1点を掲載した。第111図-1～3が床面出土、同図-4がカマドから出土した。土師器壺(第111図-1)は、いわゆる関東系土師器に属するもので、口縁部と体部の境界に稜を持ち、口縁部が直立する器形を呈する。同図-4は雁股式の鐵鏃で、径2.5mmの貫通孔を有する。

S905B 掘植土封記表

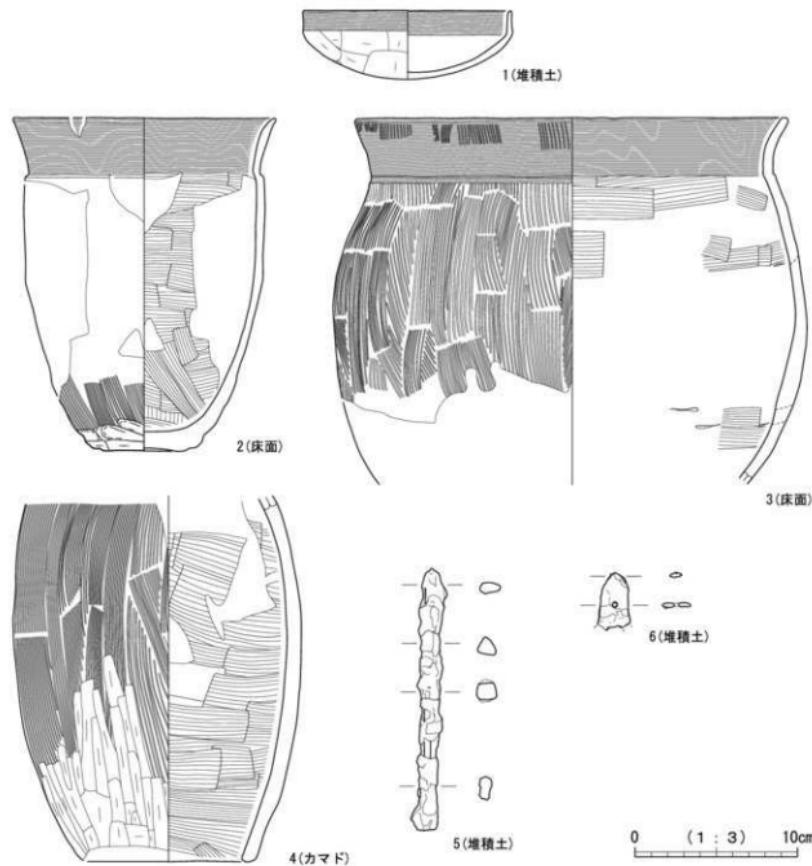
部位	層位	土色	土性	備考
海綿土	1	10YR4/4	褐色	砂質シルト 10YR3/1 1赤褐色プロック含む
	2	10YR4/4	褐色	砂質シルト 10YR3/1 1赤褐色プロック含む (床面)
	3	10YR3/4	暗褐色	砂質シルト 遺物付微量含む
	4	10YR3/4	暗褐色	砂質シルト 7.5Y6.8褐色地土、炭化物少量含む
	5	10YR4/3	12.5-13.5褐色	砂質シルト 炭化物微量含む
	6	10YR4/4	暗褐色	砂質シルト 7.5Y6.8褐色地土2.5Y4.6赤褐色地土少量含む
	7	10YR4/3	12.5-13.5褐色	シルト
カマド	8	2.5Y7.6	明褐色	砂質シルト 10YR4/4 褐色砂質シルトプロック微量含む
	9	10YR3/2	黒褐色	シルト 炭化物微量、7.5Y6.8褐色地土2.5Y4.6赤褐色地土プロック含む
	10	10YR4/4	褐色	砂質シルト 7.5Y6.8褐色地土2.5Y4.6赤褐色地土プロック含む
	11	7.5Y6.8	褐色	10YR4/4 喀斯特砂質シルト少量含む (坑土-崩落土)
	12	10YR4/1	褐色	7.5Y6.8褐色地土、炭化物含む
	13	10YR4/3	12.5-13.5褐色	砂質シルト (坑土-崩落土)
	14	2.5YR2/4	暗赤褐色	炭化物微量含む
周溝	15	2.5Y4/4	黄褐色	砂質シルト 炭化物微量含む
	16	10YR4/4	褐色	砂質シルト 地山砂質シルト含む
	17	10YR4/1	暗褐色	シルト 地山砂質シルト含む (カマド脚力)
	18	10YR3/2	黒褐色	シルト 地山砂質シルト少量、5YR6.8褐色地土、炭化物微量含む

S905B 施設堆積土封記表

部位	層位	土色	土性	備考
P1	1	10YR3/2	暗褐色	地山砂質シルトプロック少量含む
P2	1	10YR3/2	暗褐色	地山砂質シルトプロック少量含む
P3	1	10YR3/2	暗褐色	地山砂質シルトプロック少量含む
P4	1	10YR3/2	暗褐色	地山シルトプロック少量含む
P5	1	10YR3/2	暗褐色	地山シルトプロック少量含む
P6	1	10YR3/2	暗褐色	地山シルトプロック少量含む
P7	1	10YR3/2	暗褐色	地山シルトプロック少量含む

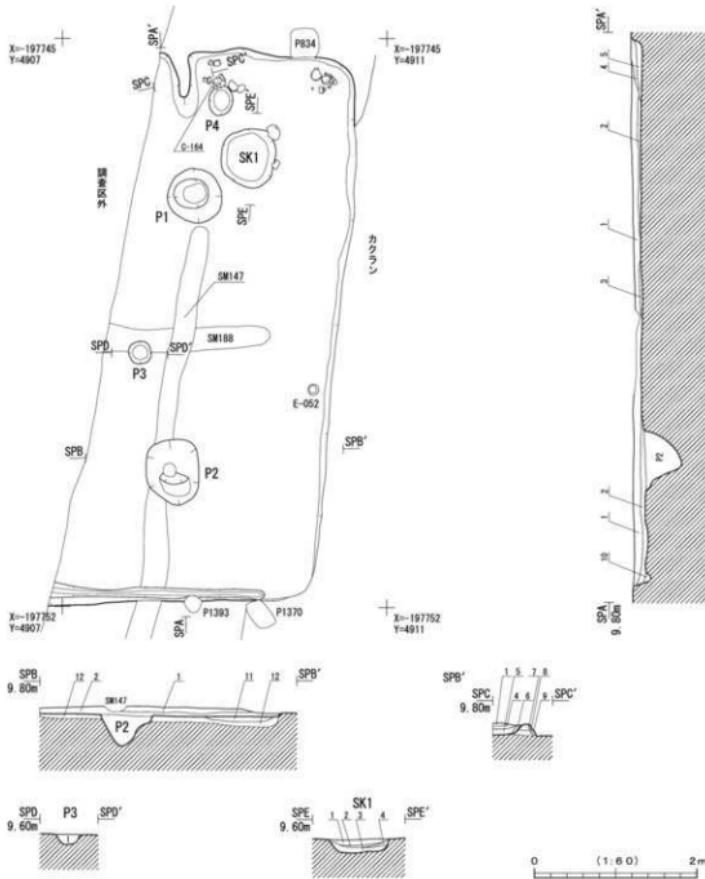
S905B 施設軸跡表

遺跡名	平面形	規模(cm)	厚さ(cm)	備考	遺跡名	平面形	規模(cm)	厚さ(cm)	備考
P1	円形	33×32	10		P5	円形	40×32	11	
P2	円形	40×38	16		P6	円形	35×32	15	
P3	楕円形	44×(25)	5		P7	円形	42×33	15	
P4	円形	33×35	19						



図版 番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真 図版
1	C156	SI95B	床面	土師器	环	12.7××4.2	口縁部ヨコナギ、体部～底部ハラケアリ	口縁部ヨコナギ、体部暫乾		78
2	C158	SI95B	床面	土師器	釜	(16.0)×5.0×20.5	口縁部ヨコナギ、脚部ハケヌキ、底面浮出ヒゼムヘラケアリ	口縁部ヨコナギ、脚部ヘナナフ	木葉痕	79
3	C157	SI95B	床面	土師器	釜	26.8××(22.5)	口縁部ヨコナギ、脚部ハケヌ	口縁部ヨコナギ、脚部ヘナナフ		78
4	C159	SI95B	カマド	土師器	瓶	×10.2×(22.5)	脚部ハケヌキ、脚部下半ヘラケアリ	脚部ヘナナフ		79
図版 番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種		備考			写真 図版
5	N005	SI95B	堆積土	鉄製品	泡	直存長16.0cm、最大幅1.7cm、厚1.4cm				78
6	N006	SI95B	堆積土	鉄製品	底盤	直存長1.6cm、最大幅2.0cm、厚0.4cm				78

第111図 SI95B竪穴住居跡出土遺物



S196 塚横土計記表

部位	層位	土 色	土 性	備 考
堆積帯	1	10YR3/2	黒褐色	シルト 10YR5/4に近い黄褐色プロック、炭化物粒、鐵素含む
	2	10YR3/1	黒褐色	シルト 炭化物粒含む
	3	10YR5/4	に近い黄褐色	シルト 10YR3/2黒褐色プロック含む
ガマド	4	7.5YR4/2	灰褐色	シルト 5YR2/4灰土プロック含む
	5	5YR3/3	暗赤褐色	シルト 5YR4/6赤褐色上、炭化物含む
	6	10YR2/2	黒褐色	シルト 10YR5/4褐色シルトプロック、10YR4/2灰黄褐色シルトプロック含む
削溝	7	10YR4/4	褐色	砂質シルト 10YR3/2黒褐色シルト含む(カマド)
	8	10YR4/3	に近い黄褐色	砂質シルト 10YR4/4褐色砂質シルト、10YR3/2黒褐色シルト、炭化物粒微量含む(カマド)
削跡方	9	10YR4/3	に近い黄褐色	砂質シルト 10YR4/4褐色砂質シルト、10YR3/2黒褐色シルト、5YR4/4暗赤褐色シルト
	10	10YR3/2	黒褐色	シルト 10YR4/3褐色砂質シルトプロック含む
	11	10YR3/2	黒褐色	シルト 10YR5/4に近い黄褐色プロック含む
	12	10YR3/3	黒褐色	砂質シルト 2.5Y4/3オーブ褐色プロック含む

第112図 S196 穴豎穴住居跡(1)

SI96 竪穴住居跡(第112～116図)

〔位置・確認〕3B区西壁中央部の北側、29・34グリッドに位置する。東側1/2を検出した。

[重複] SI 108・112 を切り、SM 147・188、P 834・1374・1393 に切られる。

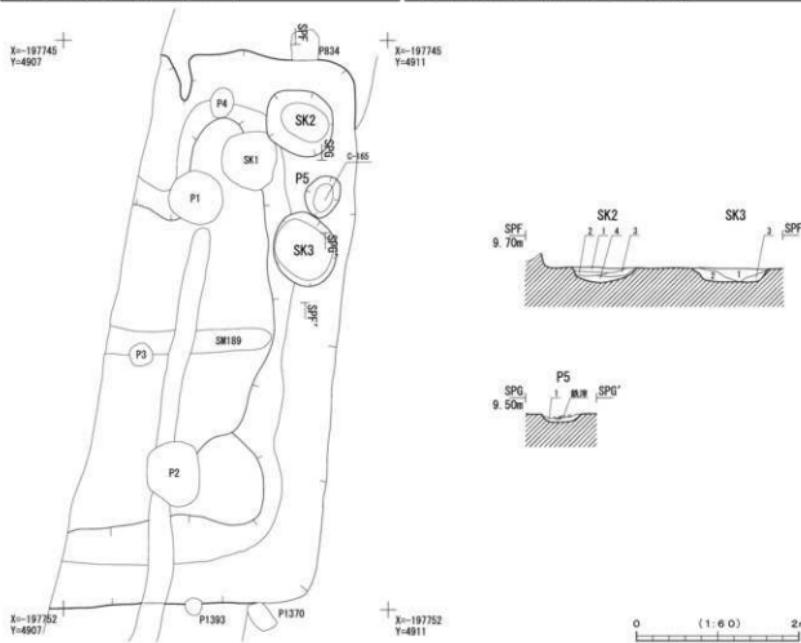
〔規模・形態〕検出した部分の規模は、東壁6.46m、南壁3.17m、北壁2.40mを測り、平面形状は大型の隅丸方形。

S96 無故將博士註記者

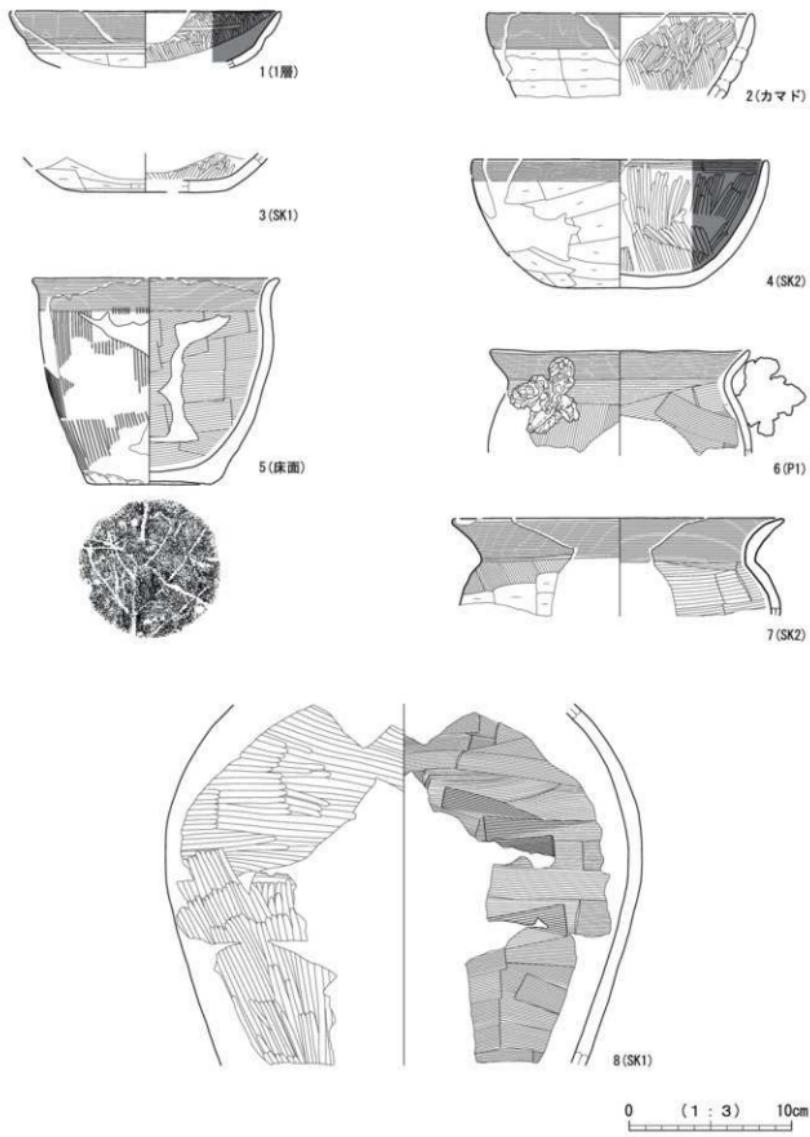
部番	層位	土 色	土 性	備 考
SK1	1	10YR4/2	灰黃褐色	シルト 10YRS/4L-5S・黃褐色ブロック、炭化物粒、燒土粒含む
	2			灰褐色 炭化物粒 灰褐色
	3	2.5Y5/2	暗灰 黄色	砂質シルト 炭化物粒、燒土粒含む
	4	5YR1/2	黑褐色	シルト 2.5Y5/2-3暗灰 黄褐色ブロック、炭化物粒、燒土粒含む
SK2	1	10YR4/2	灰黃褐色	砂質シルト 10YRS/4L-5S・黃褐色ブロック、炭化物粒、燒土粒含む
	2	10YR2/2	暗褐色	炭化物粒 10YR4/2-3灰黃褐色
	3	10YR1/3	3.5S-4 黃褐色	砂質シルト 炭化物粒、燒土粒含む
	4	2.5Y4/2	暗灰 黄色	砂質シルト 炭化物粒、燒土粒含む
SK3	1	2.5Y4/2	暗灰 黄色	シルト 炭化物粒、燒土粒含む
	2	10YR4/4	褐色	砂質シルト 2.5Y4/2-3灰黃褐色
P2	1	2.5Y3/2	黑褐色	シルト 10YRS/4L-5S・黃褐色地山ブロック、炭化物粒、燒土粒含む
	2	10YR3/3	暗褐色	シルト 10YRS/4L-5S・黃褐色地山ブロック、炭化物粒、燒土粒含む
	3	10YR3/2	黑褐色	シルト 10YRS/4L-5S-3・黃褐色地山ブロック含む
	4	10YR4/2	从灰褐色	シルト 10YRS/4L-5S-3・黃褐色地山ブロック含む
P3	1	10YR3/3	暗褐色	砂質シルト 10YR4/3-5S-3・黃褐色地山シルトブロック、炭化物粒微量含む
P5	1	10YR4/4	褐色	砂質シルト 10YR4/4暗灰砂質シルトブロック含む

596 楊詒寧

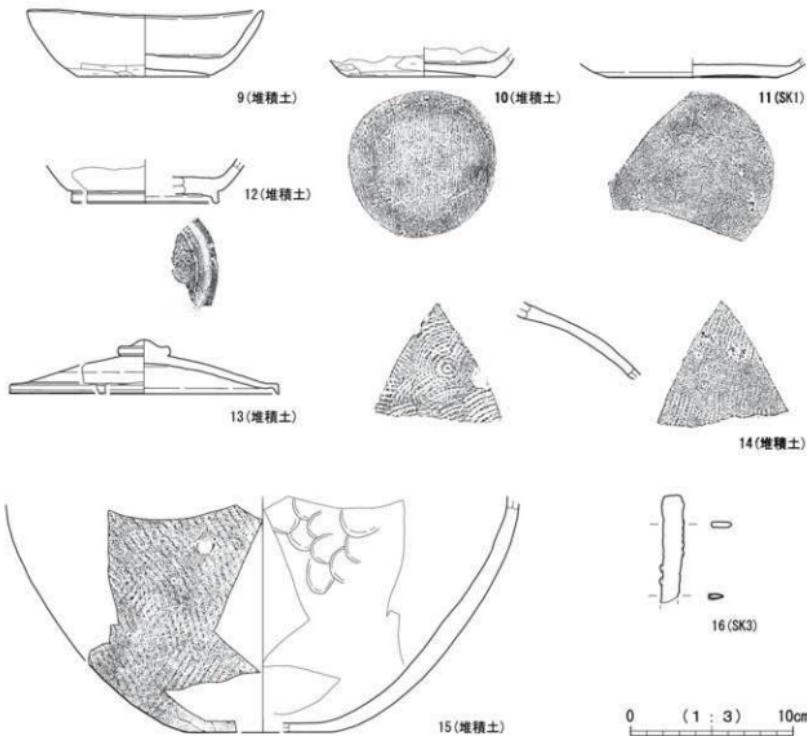
道砟名	平面形	周囲(cm)	深さ(cm)	備考	道砟名	平面形	周囲(cm)	深さ(cm)	備考
SK1	不整形	73×65	18		P2	不整形	81×65	48	
SK2	梯円形	85×80	17	側面方棒出	P3	不整形	36×27	12	
SK3	梯円形	87×77	17	側面方棒出	P4	梯円形	36×30	7	
P1	円形	68×65	55		P5	不整形	32×41	10	側面方棒出



第113図 SI96竪穴住居跡(2)



第114図 SI96竪穴住居跡出土遺物(1)



図版 番号	登録番号	出土遺構	種類	種 别	器 様	口径×底径×厚さ(cm)	外面調整	内面調整	備 考	写真 図版
1	C-146	SI96	堆積土	土器器	环	(16.6) × (4.0)	口縁部ヨコナギ、体部ヘラケズリ	口縁部～体部ヘラシギキ	内面黒色処理	79
2	C-160	SI96	カマツ	土器器	环	(16.2) × (5.2)	口縁部ヨコナギ、体部ヘラケズリ	口縁部～体部ヘラシギキ		79
3	C-161	SI96	SK1	土器器	环	×(8.0) × (2.4)	体部ヘラケズリ	各部～底面ヘラシギキ		79
4	C-162	SI96	SK2	土器器	环	(18.0) × (8.0) × (7.2)	口縁部ヨコナギ、体部～底部ヘラケズリ	口縁部～底部ヘラシギキ	内面黒色処理	79
5	C-164	SI96	床面	土器器	茎	(15.0) × 7.6 × 12.7	口縁部ヨコナギ、腹部ヘラケズリ 底面付近ヘラシギキヘラサエ	口縁部ヨコナギ、腹部ヘラサエ	腹部～底面ヘラナダ	79
6	C-165	SI96	P5	土器器	茎	(16.0) × (6.5)	口縁部ヨコナギ、腹部ヘラナダ	口縁部ヨコナギ、腹部ヘラナダ	外側脚部斜面付着	79
7	C-167	SI96	SK2	土器器	茎	(22.0) × (6.0)	口縁部ヨコナギ、 腹部ヘナナギ～ヘラケズリ	口縁部ヨコナギ、腹部ヘラナダ		79
8	C-166	SI96	SK1	土器器	茎	× × (22.0)	腹部ヘナナギ	腹部ヘナナギ		79
9	E-054	SI96	堆積土	直筒器	环	(14.6) × (8.4) × 4.1	ロクロ調整～底部手持もヘラケズリ	ロクロ調整		80
10	E-052	SI96	堆積土	直筒器	环	>9.0 × (1.6)	ロクロ調整～底部手持もヘラケズリ、 底部静止系切～周縁ヘラケズリ	ロクロ調整	体部打ひ丸あか	80
11	E-053	SI96	SK1	直筒器	环	×(10.4) × (1.2)	ロクロ調整～底部ヘラケズリ～ヘラナダ	ロクロ調整	底部切刃磨削法不明	80
12	E-055	SI96	堆積土	直筒器	高台付环	×(8.8) × (2.7)	ロクロ調整、 底面削制ヘラケズリ～高台付	ロクロ調整	内外面自然軸、高台	80
13	E-056	SI96	堆積土	直筒器	茎	(16.6) × × 3.3	ロクロ調整～天井部削除ヘラケズリ、 底面丸みツフツフ	ロクロ調整	内外面火薙痕	80
14	E-057	SI96	堆積土	直筒器	茎	× × (4.2)	平行四辺形ヨコナギナナ	青面底文	外側刃擦痕	80
15	E-058	SI96	堆積土	直筒器	茎	×(8.4) × (14.5)	側部～底面筋肉脱離部	スカリサエ	内外面自然軸	80
図版 番号	登録番号	出土遺構	種類	種 别	器 様	口径×底径×厚さ(cm)	備 考		写真 図版	
16	N-006	SI96	SK3	鉄製品	刀子	刃部、残存長6.6cm、最大幅1.3cm、厚0.6cm				80

第115図 SI96豎穴住居跡出土遺物(2)

もしくは南北に長い隅丸方形を呈するものと推察される。

[方向] 住居跡の南北軸は、東壁基準でN-5°-Eである。

[堆積土・構築上] 12層に分層した。1～3層は住居堆積土、4～9層はカマド関連層位、10層は周溝堆積土、11～12層は掘り方堆積土である。

[壁面] 残存する壁高は、東壁6～14cm、南壁13～28cm、北壁7～12cmを測り、壁は直線的に外傾して立ち上がる。

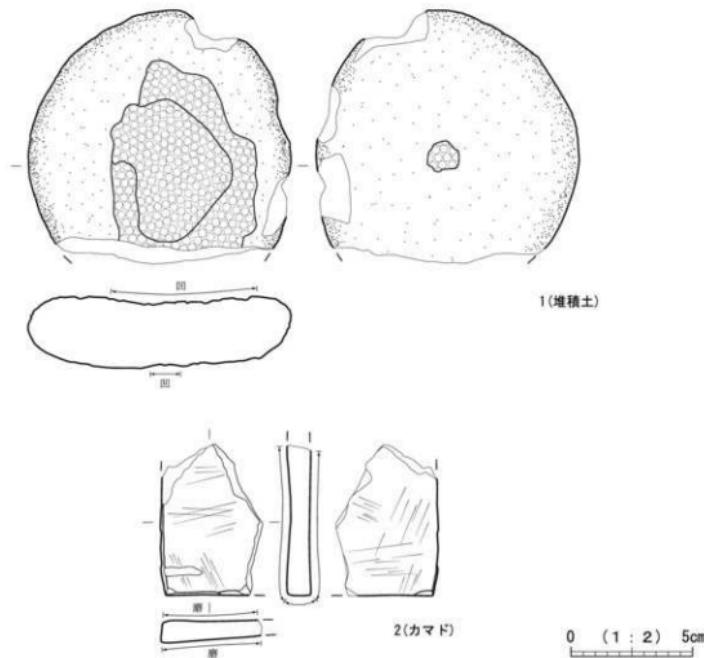
[床面] 2層下面を床面とし、ほぼ平坦である。

[柱穴] 5基検出した。位置や規模からみて、P1・2が主柱穴に相当すると考えられる。P5は掘り方から検出した第114図-6のほか、鉄滓が総量2,264.5g出土した(重量は第114図-6に付着した分を除く)。

[周溝] 南壁際に延びる周溝を検出した。幅10～15cm、深さ7cmを測り、断面形状はU字状を呈する。

[カマド] 北壁から右袖と燃焼部の一部のみを検出した。カマド西側は調査区外に位置する。右袖は幅31cm、長さ75cmを測り、「ハ」字状に延びる。

[その他の施設] 土坑3基を検出した。いずれも上端径80cm前後、深さ20cm前後を測る。SK 1の2層は灰を含む炭化物集積層である。カマド右袖の1m南東という位置関係も併せると、カマド関連遺構の可能性が考えられる。



団体 番号	登録番号	出土遺構	類別	種 別	器 種	分類	長×幅×厚(cm)	重量(g)	石 材	備 考	写真 回数
1	Kc 082	SB96	堆積土	繩石器	四石	-	10.3×10.8×3.1	307.71	繩灰岩 灰晶品、円滑、凹二面(複+单)深き凹浅	-	80
2	Kd 023	SB96	カマド	石製品	砥石	-	6.2×4.2×1.0	39.92	砂岩 灰晶品、面取刃、板状、無孔	-	80

第116図 SI96竪穴住居跡出土遺物(3)

掘り方から検出したSK2の2層もまた炭化物集積層である。同じく掘り方から検出した施設として、SK2の1m南には多くの鉄滓が出土したP5が位置し、またP5の南側には炭化物や焼土を含むSK3が隣接する。これら3施設の堆積状況や位置関係を併せると、P5およびSK2・3は相互に関連する施設である可能性が考えられる。

【掘り方】掘り方に大きな起伏は見られず、壁面に向かって傾斜する。

【出土遺物】土師器坏3点、壺1点、甕4点、須恵器蓋1点、坏3点、高台付坏1点、甕2点、刀子1点、蝶石器1点、砥石1点を掲載した。第114図-2は明瞭な輪積み痕が観察される。同図-6はP5からの出土で、胴上部に鉄滓が付着する。第115図-10の須恵器坏は、その割れ口の状況から意図的に打ち欠かれた可能性が考えられる。同図-13の須恵器蓋は擬宝珠状ツマミを有し、内外面に火襷痕が観察される。

SI97A 積穴住居跡(第117・118図)

【位置・確認】3B区中央部の南東側、16・17・21・22グリッドに位置する。重複する造構の位置関係から、後述するSI97Bの規模を縮小して建て替えた住居跡と考えられる。

【重複】SI97B・103A・B・131を切る。

【規模・形態】検出した規模は長軸3.00m、短軸2.00mを測り、平面形状は東西に長い、いびつな隅丸長方形を呈する。

【方向】住居跡の南北軸は、カマド基準でN-35°-Wである。

【堆積土・構築土】12層に分層した。1～3層は住居堆積土で、いずれも炭化物、焼土を含む黒褐色砂質シルトを主体とする。4～11層はカマド関連層、12層は周溝堆積土である。

【壁面】残存する壁高は、いずれも20～30cmを測り、壁は直線的に外傾して立ち上がる。

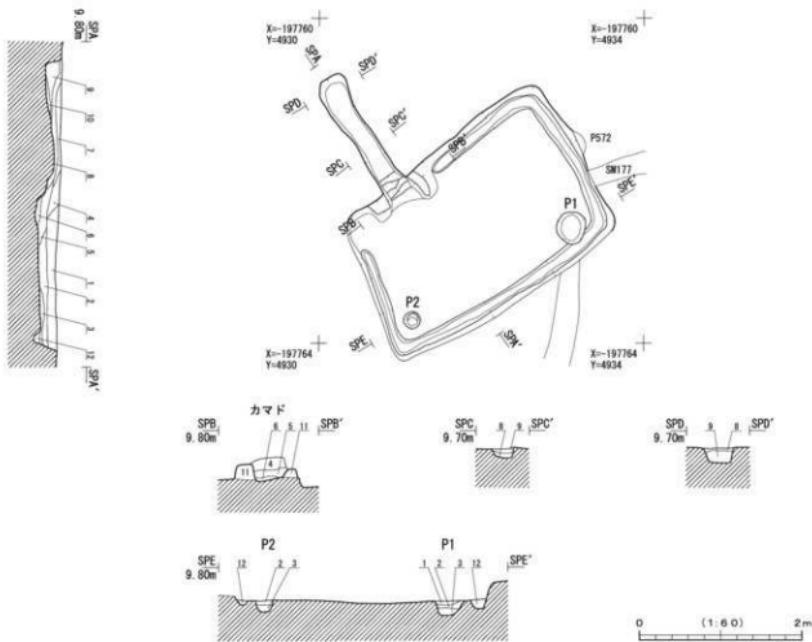
【床面】2・3・5・6層下面を床面とし、中央部がやや低くなる。

【柱穴】2基検出した。南壁の両コーナーに近接して構築される。

【周溝】カマド周辺を除き、壁直下を全周する周溝を検出した。幅10～20cm、深さ5～11cmを測り、断面形状は逆台形を呈する。

【カマド】北壁西側に構築される。造構の重複が激しい3B区内において、残存状況は良好である。両袖共に幅、長さは25cm前後を測り、壁に直行するように延びる。燃焼部は幅47cm、奥行き28cmと小規模である。煙道は長さ155cm、幅27cm、深さ17cmを測り、底面は末端に向かって傾斜する。

【出土遺物】土師器坏2点、甕3点を掲載した。第118図-1・2が床面出土遺物で、第118図-2の外面口縁部には、「片」状の刻書が観察される。



Si97A 埋植土注記表

部位	層位	土色	土性	備考
埋植土	1	10YR2-2	黒褐色	砂質シルト 炭化物(径2~3mm), 硫土鉱少量、地山ブロック微量含む
	2	10YR2-3	黒褐色	砂質シルト 炭化物(径1~3mm), 硫土鉱少量、地山ブロック微量含む
	3	10YR3-4	暗褐色	シルト 10YR5-6 黒褐色シルト少量、炭化物(径2~3mm), 硫土鉱微量含む
カマド	4	10YR3-3	暗褐色	砂質シルト 地山ブロック少量、炭化物(径2~5mm), 硫土鉱微量含む
	5	10YR3-4	暗褐色	シルト 10YR6-2 暗褐色粘土ブロック多量、炭化物、硫土鉱(径2~5mm)微量含む
	6	10YR6-2	灰青褐色	シルト 地山鉆(径2~5mm)微量含む
	7	5YR5-2	灰褐色	シルト 5YR0-7 黒褐色地土ブロック(径5~10mm)少量, 2.5YR6-8 暗褐色地土ブロック(径5~10mm)少量含む
	8	10YR6-2	灰青褐色	シルト 5YR2-1 黑褐色地土ブロック(径5~10mm)少量含む
	9	7.5R2-1	赤褐色	シルト 灰少量、地山ブロック、地土ブロック(径5mm)微量含む
	10	浅褐色	砂質シルト 灰少量、地山ブロック、地土ブロック(径5mm)微量含む	
	11	10YR3-4	暗褐色	砂質シルト 地山ブロック, 10YR5-1 灰褐色地土ブロック微量、炭化物(径2~3mm), 硫土鉱微量含む (カマド)
周溝	12	10YR2-3	黒褐色	10YR4-6 暗褐色ブロック少量、炭化物、硫土鉱微量含む

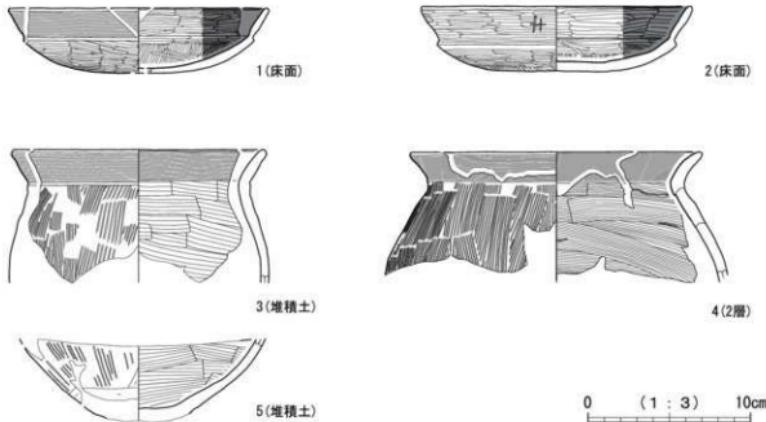
Si97A 施設埋植土注記表

部位	層位	土色	土性	備考
P1	1	10YR2-3	黒褐色	シルト 硫土鉱(径5~10mm)少量、炭化物含む
	2	10YR3-3	暗褐色	砂質シルト 炭化物、硫土鉱微量含む
	3	10YR5-6	黄褐色	砂 10YR5-6(5mm) 黄褐色少量、炭化物微量含む
P2	1	10YR2-3	黒褐色	シルト 炭化物、硫土鉱微量含む
	2	10YR3-3	暗褐色	砂質シルト 炭化物、硫土鉱微量含む

Si97A 施設埋植土注記表

遺構名	平面形	規模(cm)	深さ(cm)	備考	遺構名	平面形	規模(cm)	深さ(cm)	備考
P1	円形	35×40	17		P2	円形	20×21	17	

第117図 Si97A竪穴住居跡



第118図 SI97A 穫穴住居跡出土遺物

SI97B 穫穴住居跡(第119図)

【位置・確認】3区中央部の南東側、21・22グリッドに位置する。SI97A堆積土掘削時に南側のみを検出した。その位置関係から、SI97A建て替え前の住居跡と考えられる。

【重複】SI103 A・Bを切り、SI97A、SD55、SK69に切られる。

【規模・形態】検出した部分の規模は、東壁1.00m、南壁4.00mを測る。平面形状は不明である。

【方向】住居跡の南北軸は、東壁基準でN-44°Wである。

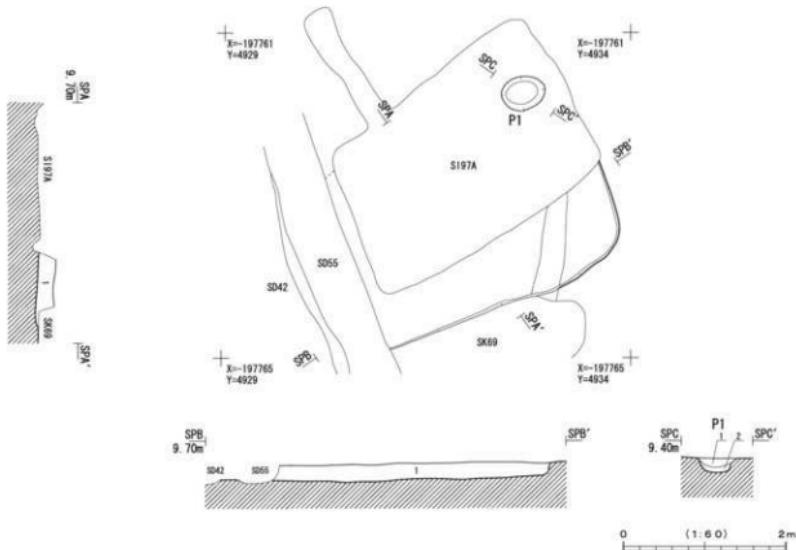
【堆積土・構築土】炭化物および焼土粒を少量含む黒褐色シルトの単層である。

【壁面】残存する壁高は、いずれも10cm程度で、壁は直立気味に立ち上がる。

【床面】やや起伏がみられるものの、ほぼ平坦である。

【柱穴】1基検出した。柱穴か否かについては不明である。

【出土遺物】掲載した遺物はない。



第119図 SI97B竪穴住居跡

SI98 壁穴住居跡(第120～122図)

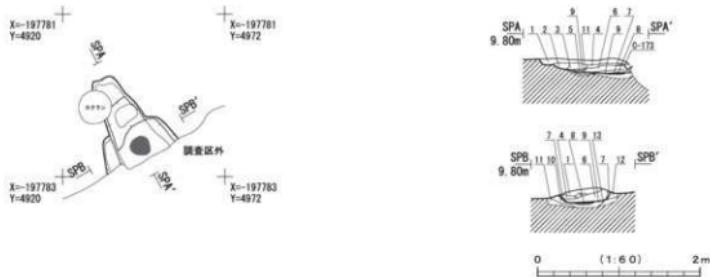
【位置・確認】3B区南端中央、4グリッドに位置する。大半は搅乱によって失われており、カマドと煙道部のみを検出した。

[方向] 南北軸は N-29°-W である。

「堆積土・構築土」13層に分層した。8・9層が火床面、12・13層が袖構築土である。

【カマド】残存する部分からみて、住居壁面の外側に張り出して構築された可能性がある。残存する燃焼部の規模は、幅、奥行き共に55cmを測り、底面からは硬化した火床面を確認した。また、右袖の袖石として使用されたと考えられる自然礫1点を確認したほか、カマド堆積土中からは土師器壺2個体(第122図-1・2)、土製の支脚2点(同図-3・4)が出土した。左袖内側からも自然礫が1点出土しているが、土師器壺上位からの出土であるため、袖石として使用されたものか否かについてかは不明である。

〔出土遺物〕土師器甕、土製支脚を各2点掲載した。

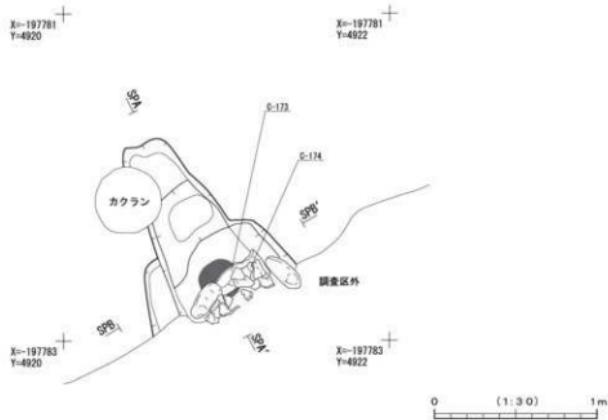


S98 進積土注記表

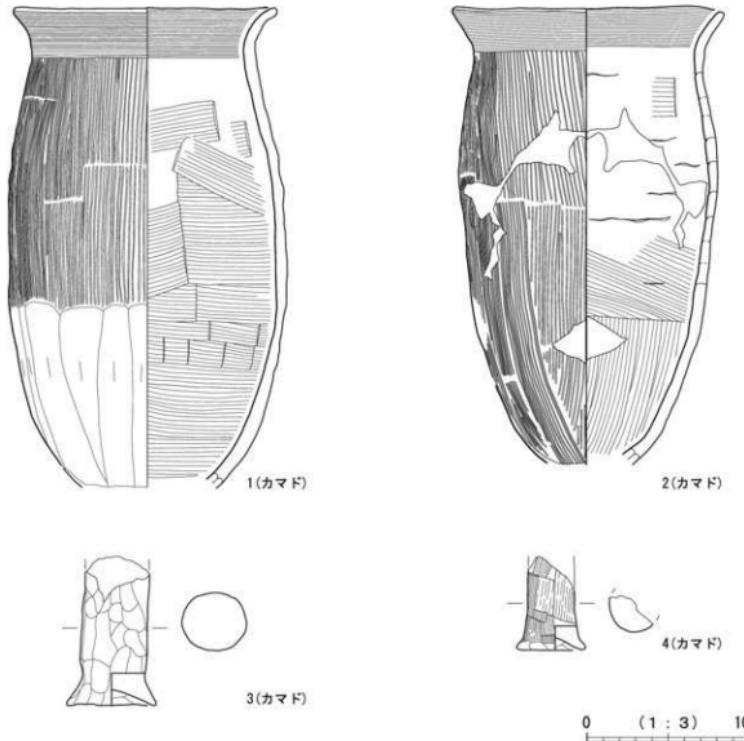
部位	層位	土色	土性	備考
カマド	1	10YR3/3	暗褐色	砂質シルト 地山ブロック少量、炭化物、燒土粒(径1~2mm)極微量含む
	2	10YR3/3	灰褐色	砂質シルト 10YR3/1黒褐色ブロック(径5~20mm)含む
	3	10YR3/1	黒褐色	炭化物、燒土粒微量含む
	4	10YR6/2	灰褐色	砂質シルト 燒土粒
	5	2.5YR3/1	暗赤褐色	燒土粒
	6	10YR6/4	紫褐色	シルト 地山ブロック(径2~10mm)多量、灰、燒土粒(径3~5mm)少量、地山ブロック微量含む
	7	-	シルト	10YR6/2灰、暗褐色および10YR6/8明るい褐色(径2mm)含む 灰微量含む
	8	2.5YR6/6	褐色	燒土層(火床面)
	9	2.5YR3/6	暗赤褐色	燒土層(火床面)
	10	2.5Y4/3	オリーブ褐色	地山ブロック少量、炭化物微量含む
	11	2.5Y3/2	暗オリーブ褐色	シルト 地山ブロック少量含む
	12	2.5Y3/1	黒褐色	炭化物多量、燒土粒少量含む
	13	2.5Y2/1	黑色	シルト

第120図 SI98堅穴住居跡(1)

遺物出土状況



第121図 SI98堅穴住居跡(2)



第122図 SI98 穫穴住居跡出土遺物

S199 穫穴住居跡(第123～126図)

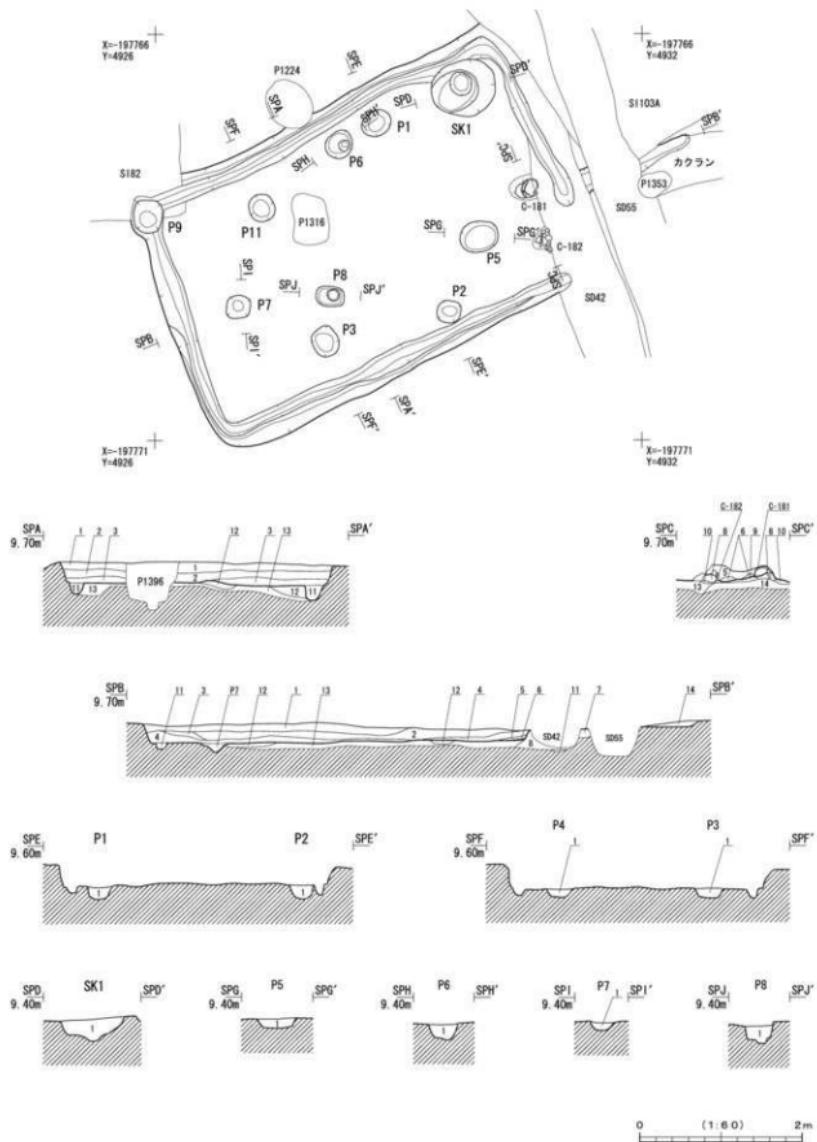
[位置・確認] 3B区中央部の南東側、11・16・17グリッドに位置する。

[重複] SI113・115A・126を切り、SI82・103A、SD42・55に切られる。

[規模・形態] 残存する部分で長軸5.5m、短軸3.35mを測り、平面形状は隅丸長方形を呈する。

[方向] 住居跡の南北軸は、カマド基準でN-70°Eである。

[堆積土・構築土] 14層に分層した。1～4層は住居堆積土、5～10層はカマド関連層位、11層は周溝堆積土、12層以下は掘り方堆積土である。炭化物を含む黒褐色ないし暗褐色砂質シルトを主体とする。



第123図 SI99竪穴住居跡

S199 墓構土柱記表

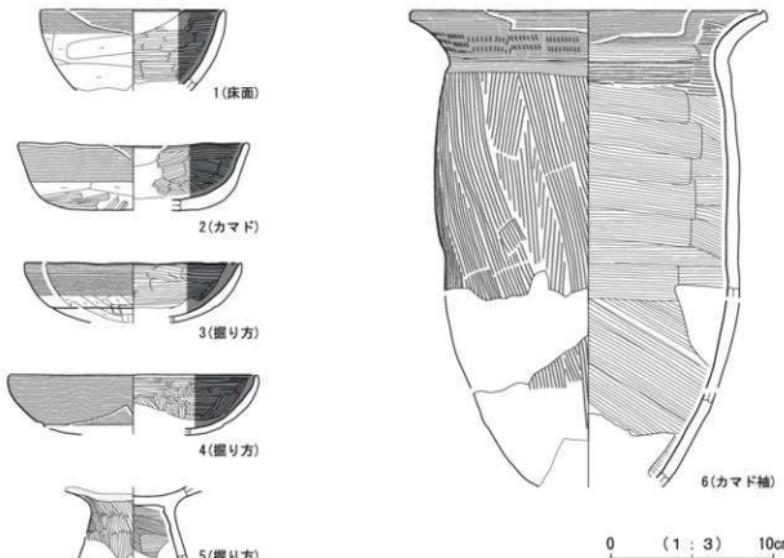
部位	層位	土色	土性	備考
電極土	1	10YR2/2	黒褐色	砂質シルト 黄褐色ブロック、炭化物、微十粒微量含む
	2	10VR3/3	褐色	砂質シルト 10YR5/6 黄褐色(厚2~5mm)、炭化物、微十粒微量含む
	3	10YR3/3	褐色	砂質シルト 地土少量、10YR5/6 黄褐色(厚2~5mm)、炭化物、微十粒微量含む
	4	10YR3/3	褐色	砂質シルト 10YR5/6 黄褐色ブロック(厚5~10mm)、少量、炭化物微量含む
カマド	5	10YR3/3	褐色	砂質シルト 10YR3/6 黄褐色少量、2.5YR6/8 棕褐色地土ブロック微量含む
	6	2.5Y6/8	褐色	地土層(火床面)
	7	2.5YR3/1	暗赤褐色	砂質シルト 10YR3/3 暗褐色少量、2.5YR6/8 棕褐色地土ブロック微量含む
	8	10YR6/8	明黃褐色	砂質シルト 地土層微量含む(カマド端)
測溝	9	2.5YR4/1	赤褐色	シルト 炭化物多量、灰少量含む(カマド側の方)
	10	10YR6/2	灰黃褐色	砂質シルト 炭化物微量、微十粒ブロック(厚5~10mm)少量含む
	11	10YR3/1	黒褐色	砂質シルト 地山ブロック少量、炭化物(厚2~3mm)、微十粒微量含む
	12	10YR2/2	黒褐色	砂質シルト 炭化物微量、地山ブロック少量
掘り方	13	10YR17/1	黒褐色	砂質シルト 地山ブロック多量含む
	14	10YR3/1	黒褐色	砂質シルト 地山ブロック(厚5~10mm)、炭化物、微十粒微量含む

S199 施設埋構土柱記表

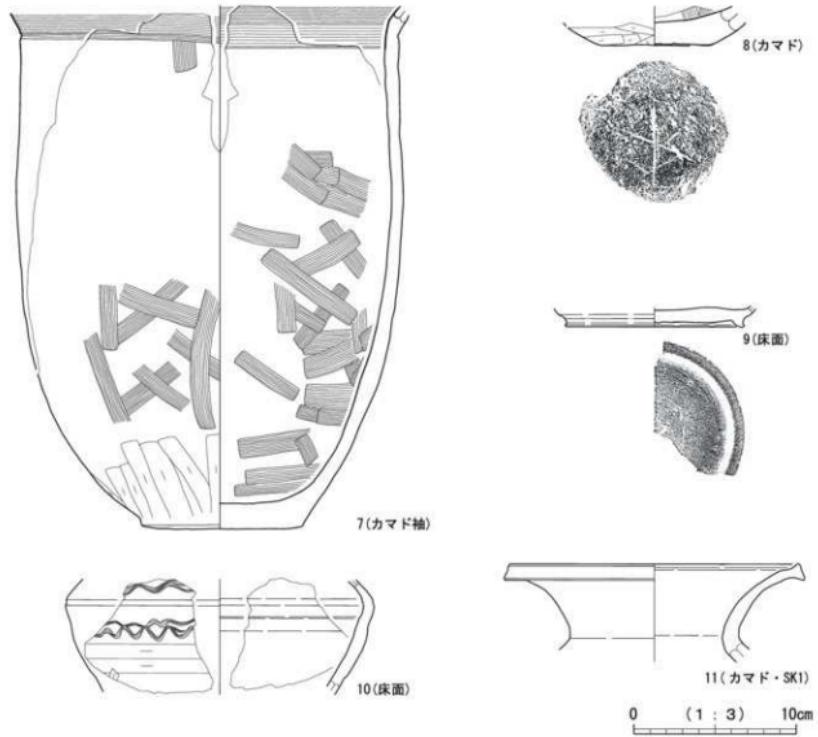
部位	層位	土色	土性	備考
SK1	1	10YR3/3	黒褐色	砂質シルト 炭化物(厚2~3mm)少量、地山ブロック微量含む
P1	1	10YR3/1	黒褐色	砂質シルト 明黄褐色ブロック、灰白色少量、炭化物微量含む
P2	1	10YR3/1	黒褐色	シルト 炭化物(厚5~10mm)少量、地山ブロック微量含む
P3	1	10YR3/1	黒褐色	砂質シルト 明黄褐色ブロック、灰白色上少量、炭化物微量含む
P4	1	10YR3/1	黒褐色	砂質シルト 明黄褐色ブロック、灰白色少量、炭化物微量含む
P5	1	10YR3/1	黒褐色	シルト 炭化物(厚5~10mm)少量、地山ブロック微量含む
P6	1	10YR3/1	黒褐色	シルト 炭化物(厚5~10mm)少量、地山ブロック微量含む
P7	1	10YR3/1	黒褐色	砂質シルト 明黄褐色ブロック、灰白色少量、炭化物微量含む
P8	1	10YR2/2	黒褐色	砂質シルト 炭化物、微十粒微量含む

S199 施設断面記表

遺構名	平面形	幅員(cm)	深さ(cm)	備考	遺構名	平面形	幅員(cm)	深さ(cm)	備考
SK1	円形	90×63	36		P5	円形	48×38	10	
P1	円形	34×32	16		P6	円形	36×32	18	
P2	円形	30×32	23		P7	円形	30×26	10	
P3	円形	38×34	11		P8	方形	34×23	21	
P4	円形	34×33	11						

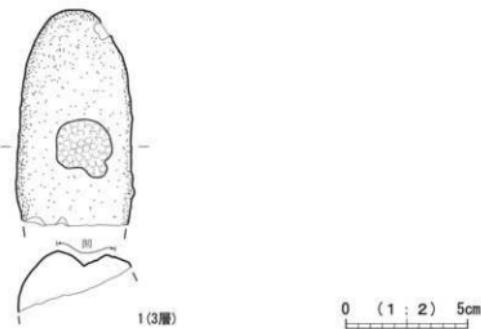


第124図 S199 穴穴住居跡出土遺物(1)



図版番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×高さ(cm)	外観調整	内面調整	備考	写真図版
1	C-175	S199	床面	土器器	瓶	(11.3) × ×(5.0)	口縁部ヨコナギ、体部ヘラカズリ	口縁部ヘラカズリ	内面黒色処理	80
2	C-177	S199	カマド掘り方	土器器	环	(14.0) × (8.2) × (4.2)	口縁部ヨコナギ、体部ヘラカズリ→ヘラミガキ	口縁部ヘラカズリ	内面黒色処理	80
3	C-176	S199	掘り方	土器器	环	(12.2) × ×(5.7)	口縁部ヨコナギ、体部ヘラカズリ	口縁部ヘラカズリ	内面黒色処理	80
4	C-178	S199	掘り方	土器器	环	(15.2) × ×(3.7)	口縁部一様ヨコナギ	口縁部ヘラカズリ	内面黒色処理	80
5	C-179	S199	掘り方	土器器	高环	× ×(4.5)	脚部ヘラミガキ	脚部ヘラナダ、轉屈ヘラナダ	80	
6	C-180	S199	カマド 掘り方	土器器	瓶	(21.6) × ×(29.3)	口縁部ハナメ→ヨコナギ、脚部ハナメ	口縁部ヨコナギ→ハナメ、脚部ハナメ		81
7	C-181	S199	カマド 掘り方	土器器	瓶	×(8.1) ×(32.2)	口縁部ヨコナギ、脚部ヘラナダ、底部付近ヘラカズリ	口縁部ヨコナギ、脚部ヘラナダ	本業瓶	81
8	C-182	S199	カマド	土器器	瓶	×(7.8) ×(3.4)	底部ヘラナダ	底部ヘラナダ	外面底部「×」削除	82
9	E-059	S199	底面	埴生器	高台付环	×(11.0) ×(1.3)	ロクロ調整	ロクロ調整	高台	82
10	E-060	S199	底面	埴生器	瓶	× ×(7.2)	ロクロ調整、肩部-側面輪郭形状、瓶部斜面ヘラカズリ→ヘラカズリ	ロクロ調整		82
11	E-061	S199	カマド SK1	埴生器	瓶	(17.8) × ×(6.0)	ロクロ調整	ロクロ調整		82

第125図 S199竪穴住居跡出土遺物(2)



国版 番号	登録番号	出土遺構	層位	性質	面積	分類	長さ×幅×厚さ(cm)	重量(g)	石・材	備考	写真 国版
1	Ke-093	SI99	3層	壁石器	四石	-	9.4×4.6×1.8	55.58	凝灰岩 欠損品、棒状縫隙、西一隅(单)、南(单)		82

図126 SI99 穴穴住跡出土遺物(3)

【壁面】残存する壁高は、いずれも25cm前後を測り、壁は直線的に外傾して立ち上がる。

【床面】3・4層下面を床面とし、全体的に緩い起伏がみられる。

【柱穴】8基検出した。柱痕が確認されたものは無いが、規模や位置関係からP3～5が主柱穴に相当すると考えられる。P7は西壁寄りの短軸中央部に構築されていることから、棟持柱的性格を有する可能性が考えられる。

【周溝】SD 42に切られる南東側を除き、壁際を全周する周溝を検出した。規模は幅15～25cm、深さ5～14cmを測る。東壁ではカマド下位から検出されたことから、周溝を構築した後にカマドが構築されたことがわかる。

【カマド】大部分がSD 42・55に切られており、両袖末端と断続的に途切れる煙道部を検出した。両袖の末端部からは芯材に転用されたと考えられる状態で土師器壺が出土した。煙道部の規模は検出長94cm、幅28cm、深さ4cmを測る。

【その他の施設】北壁の東側コーナーから土坑1基を検出した。

【出土遺物】土師器壺3点、壺1点、高壺1点、甕3点、須恵器高台付壺1点、甕1点、壺1点を掲載した。土師器甕2点(第124図-6・7)はカマド袖の芯材として転用されたもので、第124図-6は口縁部内上面端に段を有する。第125図-8の底部には「×」の刻書が観察される。須恵器甕(同図-10)の外面には、稚拙な櫛描波状文が観察される。

SI100 穴穴住跡(第127～131図)

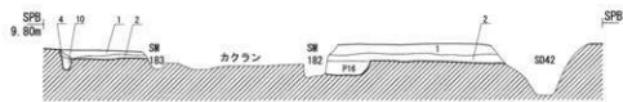
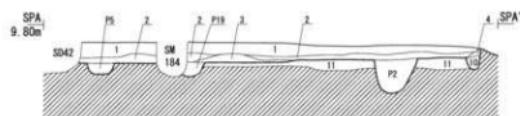
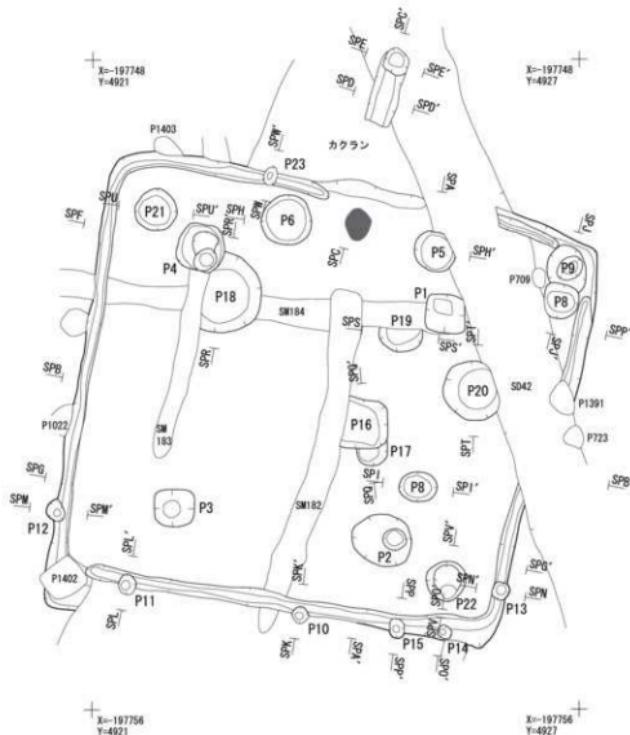
【位置・確認】3B区中央部北側、31・36グリッドに位置する。本住跡掘り方底面掘削時に、北東隅が同一線上に位置する住跡の平面プランを確認した(SI 128)。したがって、本住跡はSI 128建て替え後の住跡であることが確認された。

【重複】SI 122・128、SD 63を切り、SD 42に切られる。また、北壁中央部から南壁西側にかけて搅乱が南北に継続しており、住跡中央部が大きく失われている。

【規模・形態】長軸5.63m、短軸5.32mを測り、平面形状は隅丸方形を呈する。3B区から検出された住跡の規模としては大型である。

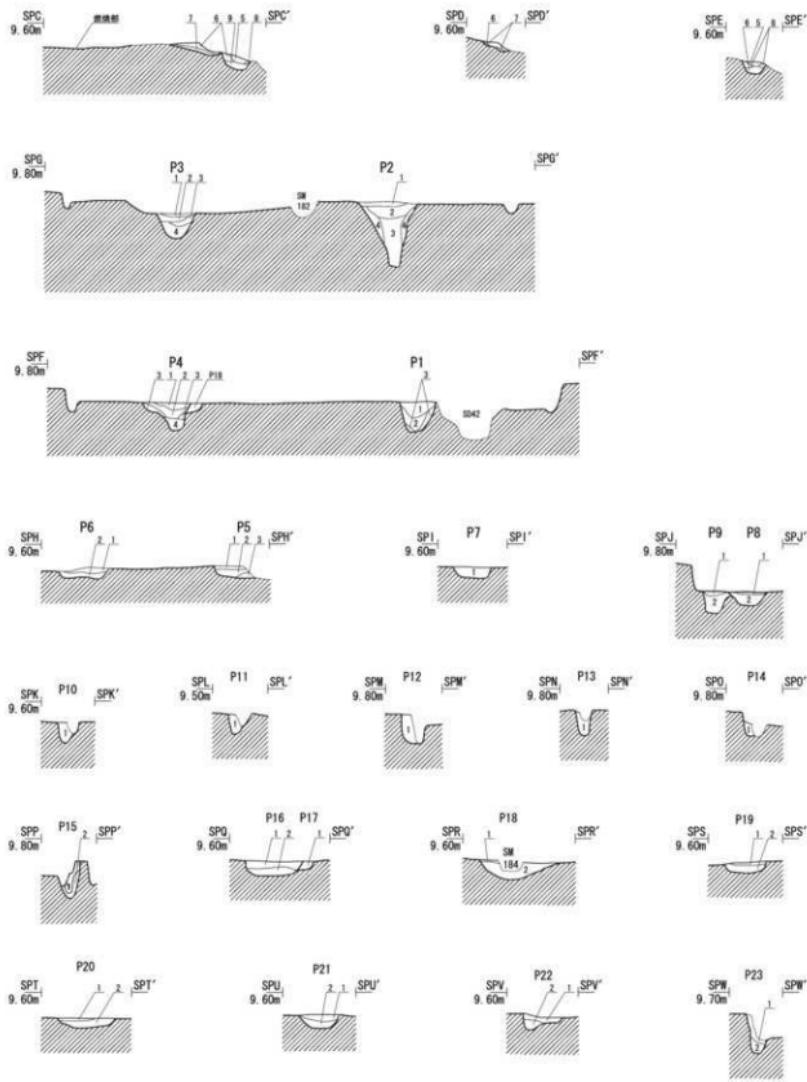
【方向】住跡の南北軸は、カマド基準でN-15°-Eである。

【堆積土・構築土】11層に分層した。1～4層は住居堆積土で4層は壁周辺にみられる三角堆積層である。5～9層は煙道および煙出し堆積土、10層は周溝堆積土、11層は掘り方堆積土である。



0 (1:60) 2m

第127図 SI 100 竪穴住居跡(1)



第128図 SI 100縦穴住居跡(2)

0 (1:60) 2m

SH100 推進土試験表

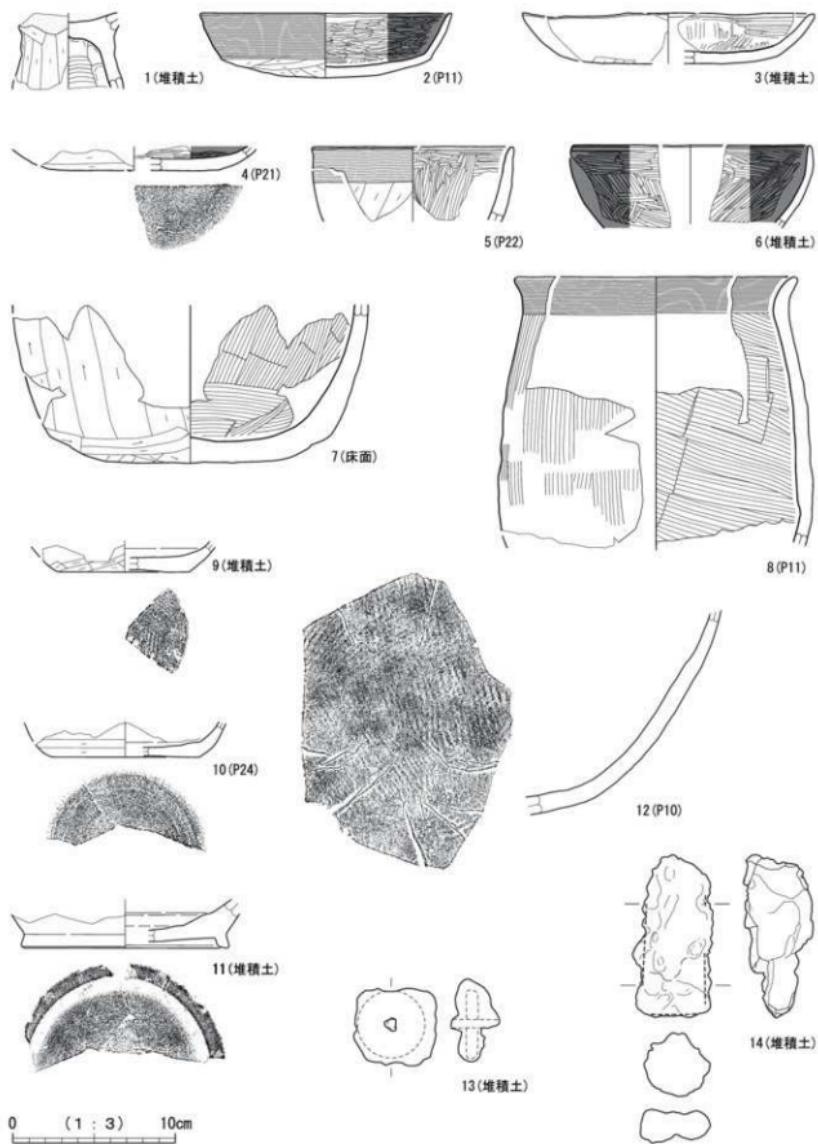
基盤	層位	土 色	土 性	備 考
堆積土	1	10YR3-3	暗褐色	シルト 地土ブロック(径3~5mm)、炭化物(径2~5mm)少量、黄褐色地山ブロック含む
	2	25Y3-3	黒褐色	シルト 黄褐色ブロック(径1~5mm)多量、地土ブロック(径3~5mm)、炭化物含む
	3	25Y2-3	暗オリーブ色	砂質シルト 砂質黄褐色ブロック多量含む
カマド	4	25Y5-3	青褐色	シルト 褐褐色ブロック(径10~20mm)含む
	5	10YR2-2	黒褐色	シルト 褐褐色地山ブロック(径2~5mm)少量含む(壁出しL)
	6	10YR3-3	黒褐色	シルト 黒褐色ブロック(径10mm)、黄褐色ブロック(径2~5mm)多量含む(壁出し→壁道)
	7	10YH4-3	にじく黄褐色	砂質シルト 黒褐色ブロック含む(壁道)
	8	10YK3-4	暗褐色	シルト 黄褐色ブロック(径10mm)微量含む(壁出し)
	9	10YR3-3	黒褐色	シルト 黒褐色ブロック(径30~20mm)含む(壁出し)
周溝	10	10YR3-2	黒褐色	シルト 黄褐色ブロック(径4mm)多量含む
側溝	11	25Y4-4	オリーブ褐色	砂質シルト 黄褐色地山ブロックおよび褐色土含む

SH100 施設堆積土試験表

基盤	層位	土 色	土 性	備 考
P1	1	10YR4-2	灰黃褐色	炭化物(径2mm)、地土ブロック(径1mm)微量含む
	2	25Y3-3	暗オリーブ褐色	シルト 黄褐色土、褐色土含む
	3	25Y4-3	オリーブ褐色	砂質シルト 黄褐色土、褐色土含む
P2	1	10YR4-3	にじく黃褐色	シルト 地土ブロック(径1mm)微量、黃褐色含む
	2	10YR3-4	暗褐色	シルト 炭化物、地土ブロック(径5mm)少量含む
	3	10YR3-3	暗褐色	シルト 炭化物(径3mm)、地土ブロック(径1mm)微量含む
	4	10YH4-4	褐色	シルト 黄褐色ブロック(径4mm)微量含む
P3	1	10YR3-2	黒褐色	砂質シルト 地土ブロック(径1~3mm)少量、炭化物(径5~10mm)含む
	2	25Y4-2	暗灰褐色	砂質シルト 地土ブロック(径1~2mm)少量含む
	3	25Y4-3	オリーブ褐色	砂質シルト 地土ブロック(径1mm)微量、褐色土、地山ブロック含む
P5	1	25Y4-2	暗オリーブ褐色	シルト 地土ブロック(径1mm)微量、褐色土、地山ブロック含む
	2	25Y3-3	暗オリーブ褐色	シルト 炭化物(径2mm)、地土ブロック(径1mm)微量含む
	3	10YR3-2	黒褐色	シルト 地土ブロック(径1~3mm)少量含む
P6	1	25Y4-2	暗灰褐色	シルト 地土ブロック(径1~3mm)少量、炭化物(径5mm)含む
P7	1	10YR3-3	暗オリーブ褐色	シルト 炭化物(径10mm)、地土ブロック(径1~3mm)含む
P8	1	10YR4-3	にじく黃褐色	シルト 炭化物、地土ブロック(径5mm)少量含む
	2	5YR2-2	暗褐色	シルト 黄褐色ブロック(径5~30mm)多量、炭化物、地土ブロック(径5~10mm)少量含む
P9	1	10YR4-3	にじく黃褐色	シルト 炭化物、地土ブロック(径5mm)少量含む
	2	7.5Y2-2	暗褐色	シルト 炭化物、地土ブロック(径5mm)少量含む
P10	1	10YR3-3	暗褐色	シルト 黄褐色ブロック(径2~3mm)少量含む
P11	1	10YR3-3	暗褐色	シルト 黄褐色ブロック(径2~3mm)少量含む
P12	1	10YR3-3	暗褐色	シルト 黄褐色ブロック(径1~20mm)含む
P13	1	10YR3-3	暗褐色	シルト 黄褐色ブロック(径2~3mm)少量含む
P14	1	10YR3-3	暗褐色	シルト 黄褐色ブロック(径2~3mm)少量含む
P15	1	10YR3-3	暗褐色	シルト 黄褐色ブロック(径2~3mm)少量含む
	2	25Y3-3	暗オリーブ褐色	シルト 黄褐色ブロック多量含む
P16	1	10YR3-3	暗褐色	シルト 地土ブロック(径10mm)少量、炭化物(径5mm)微量、黃褐色ブロック(径2~5mm)含む
	2	25Y3-3	暗オリーブ褐色	シルト 地土ブロック(径5mm)少量、黃褐色、褐色土含む
P17	1	10YR3-3	暗褐色	シルト 炭化物、地土粒状含む
P18	1	10YR3-3	暗褐色	シルト 炭化物、地土ブロック(径1~2mm)少量含む
	2	25Y3-2	暗赤褐色	砂質シルト 地土ブロック(径2~20mm)多量、砂質暗褐色土多量、炭化物(径5mm)少量、地土粒含む
P19	1	10YR3-3	暗褐色	シルト 炭化物、地土ブロック(径1~2mm)少量含む
	2	25Y3-2	暗赤褐色	砂質シルト 地土ブロック(径2~20mm)多量、砂質暗褐色土多量、炭化物(径5mm)少量、地土粒含む
P20	1	10YR3-3	暗褐色	シルト 炭化物、地土ブロック(径1~2mm)少量含む
	2	25Y3-2	暗赤褐色	砂質シルト 地土ブロック(径2~20mm)多量、砂質暗褐色土多量、炭化物(径5mm)少量、地土粒含む
P21	1	10YR3-3	暗褐色	シルト 地土ブロック(径1~2mm)少量含む
	2	25Y3-2	暗赤褐色	砂質シルト 地土ブロック(径2~20mm)多量、砂質暗褐色土多量、炭化物(径5mm)少量、地土粒含む
P22	1	10YR3-3	暗褐色	シルト 炭化物微量含む
	2	10YR3-2	黒褐色	シルト 地土ブロック(径5mm)微量含む

SH100 施設軽粗骨材

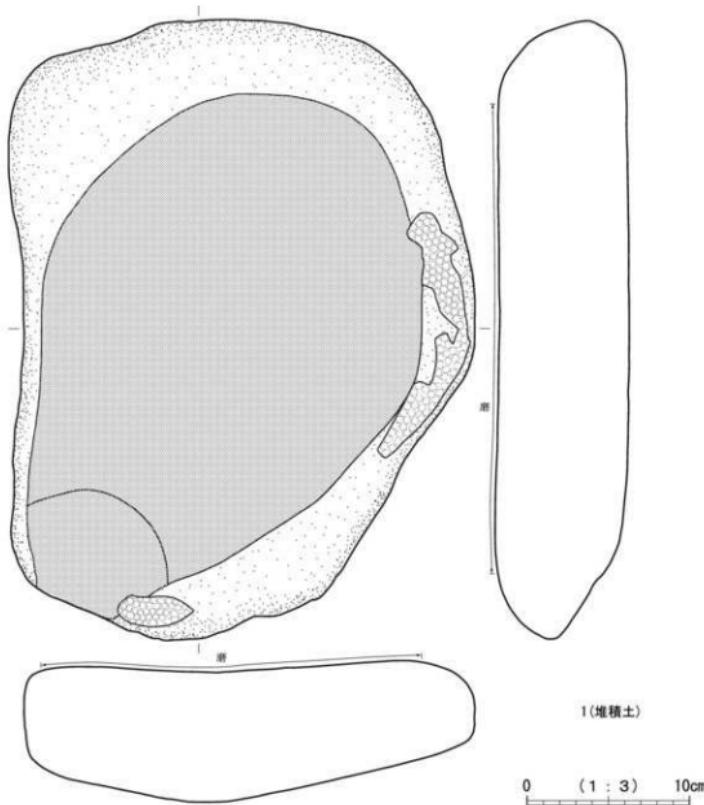
道筋名	平面形	規格(cm)	深さ(cm)	備 考	道筋名	平面形	規格(cm)	深さ(cm)	備 考
P1	円形	(20×48)	20		P13	円形	22×23	30	
P2	橢円形	74×64	77		P14	円形	17×36	16	
P3	圓角方形	30×45	70		P15	橢円形	18×25	15	
P4	円形	37×36	59		P16	圓丸形	(60×155)	19	
P5	円形	(47×47)	15		P17	円形	(35)×(20)	10	
P6	円形	63×68	8		P18	円形	(100)×(60)	23	
P7	橢円形	43×37	17		P19	円形	(53)×(30)	16	
P8	円形	40×44	18		P20	円形	(72)×(37)	14	
P9	円形	(45)×(47)	28		P21	円形	52×50	16	
P10	円形	20×20	26		P22	円形	50×50	10	
P11	円形	22×25	12		P23	橢円形	20×24	17	
P12	円形	20×25	26						



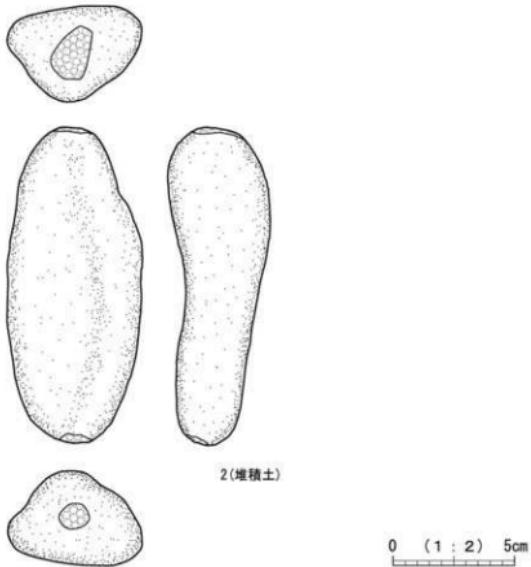
第129図 SI100竪穴住居跡出土遺物(1)

回収番号	出土遺構	層位	種別	種 別	口径×底径×高さ(cm)	外 面 調 査	内 面 調 査	考 参	写真 図版	
1	C-188	SI100	堆積土	土器部	高環	× ×(4.7)	脚部ヘラケズリ	新郎ナデ、ヘラナデ、脚部ナデ	82	
2	C-183	SI100	P11	土器部	环	(15.4) × ×(4.0)	13脚部～体部ヨコナギ、底部ヘラケズリ	13脚部～底部ヘラケズリ	内面黒色処理	82
3	C-186	SI100	堆積土	土器部	环	(16.0) × ×(3.1)	厚底、底部ヘラケズリ	13脚部～底部ヘラケズリ	82	
4	C-185	SI100	P21	土器部	环	×(15.0) ×(2.0)	体部～底部ヘラケズリ	体部～底部ヘラケズリ	内面黒色処理	82
5	C-184	SI100	P22	土器部	环	(12.2) × ×(4.6)	13脚部ヨコナギ、体部ヘラケズリ	13脚部～底部ヘラケズリ	82	
6	C-187	SI100	土器部	环	(14.6) × ×(5.1)	13脚部～体部ヨコナギ	13脚部～体部ヘラケズリ	内面黒色処理	82	
7	C-189	SI100	堆積土	土器部	美	×(12.6) ×(9.7)	脚部～底部ヘラケズリ	脚部ヘナダ	82	
8	C-190	SI100	P11	土器部	美	(17.0) × ×(16.0)	13脚部ヨコナギ、脚部ヘラナデ	13脚部ヨコナギ、脚部ヘラナデ	82	
9	E-063	SI100	堆積土	土器部	环	×(8.0) ×(1.9)	ロクロ調整	ロクロ調整	82	
10	E-062	SI100	P24	土器部	环	×(9.2) ×(2.2)	ロクロ調整	ロクロ調整	82	
11	E-064	SI100	堆積土	土器部	美	×(12.8) ×(3.0)	ロクロ調整、底部ヨコナギヘラケズリ、 直白釉付	内面自然釉、高台	82	
12	E-065	SI100	P10	土器部	美	× ×(12.5)	平行印捺目	ヘラナデ	内外面自然釉	82

回収番号	出土遺構	層位	種別	考 参	写真 図版				
13	N-008	SI100	堆積土	鉄製品	新郎市	円盤径4.2cm、幅0.9cm、芯棒径0.5cm			82
14	N-007	SI100	堆積土	鉄製品	鉗斧	缺状、残存長10.0cm、延大幅5.0cm、厚3.9cm			82



第130図 SI100竪穴住居跡出土遺物(2)



第131図 SI100堅穴住居跡出土遺物(3)

〔壁面〕残存する壁高は、いずれも20cm前後を測り、壁は直立気味に立ち上がる。

〔床面〕2・3層下面を床面とし、概ね平坦である。

〔柱穴〕16基検出した。位置や規模からみて、P1～4が主柱穴に相当すると考えられる。また、P10～15・23は小規模ながら周溝に沿うよう構築されていることから、壁柱穴と考えられる。このほか、P5・6の堆積土は焼土ブロックを多量に含むこと、両ピットの中間からはカマド火床面が確認されていることを併せると、P5・6はカマドに関連する施設の可能性が考えられる。

〔周溝〕P9の位置する北西隅と擾乱により削平される北壁中央部分を除き、壁直下を全周する周溝を検出した。規模は幅12～23cm、深さ3～14cmを測り、断面形状はU字状を呈する。

〔カマド〕北壁中央部に構築される。擾乱により大部分が失われており、火床面と煙道部の北側約1/2を検出した。火床面範囲は38×32cmを測る。煙道部は検出長95cm、幅31cm、深さ7～13cmを測り、底面は末端に向かって傾斜する。煙道部末端には上端径30cm、深さ14cmを測るピット状の煙出し部が構築される。煙出し部底面のレベルは煙道部底面よりも低く、その比高差は15cm前後である。

〔掘り方〕北から南に向かってわずかな起伏がみられる。

〔出土遺物〕土師器壺3点、塊2点、高壺1点、壺2点、須恵器壺2点、壺1点、壺1点、鉄製紡錘車1点、鉄斧1点、砾石器2点を掲載した。第129図-6の土師器壺は、内外面共に丁寧なヘラミガキ後に黒色処理が施される。

SI101 穫穴住居跡(第132～134図)

【位置・確認】3B区西壁中央部、19・24グリッドに位置する。

【重複】SI121を切り、SI80・105に切られる。住居跡西側約1/2は調査区外へ延び、東側および中央部南側は搅乱により削平されている。

【規模・形態】検出した部分の規模は、長軸4.88m、短軸3.80mを測り、平面形状は隅丸方形を呈するものと思われる。

【方向】住居跡の南北軸は、カマド基準でN-104°-Eである。

【堆積土・構築土】8層に分層した。暗褐色シルトを主体とする。1層は住居堆積土、2～6層はカマド煙道部堆積土、7層は周溝堆積土、8層は掘り方堆積土である。

【壁面】北壁のみが残存する。壁高は10～15cmを測り、ほぼ直立して立ち上がる。

【床面】1層下面を床面とし、ほぼ平坦である。

【柱穴】8基検出した。柱痕が確認されたものは無い。削平の影響もあり、規模は様々である。位置的にはP1～3・5が主柱穴に相当する可能性がある。

【周溝】北壁際から一部残存する周溝を検出した。検出長2.18m、幅22～28cm、深さ9cmを測り、断面形状はU字状を呈する。

【カマド】東壁に構築される。搅乱により大部分が削平されており、煙道部および燃焼部と考えられる僅かな窪みが残存するのみである。煙道部の規模は、長さ186cm、幅26～30cm、深さ8cmを測り、煙道部末端には上端径30×27cm、深さ20cmを測るピット状の煙出し部が構築される。

【掘り方】住居中央部が僅かに高まるものの、ほぼ平坦である。

【出土遺物】土師器壺2点、鉢1点、ロクロ土師器高环1点、須恵器蓋1点、礫石器1点を掲載した。第133図-1・5はP1からの出土である。P6から出土した同図-3は、内外面共にヘラミガキが施された後に黒色処理される。

SI102 穫穴住居跡(第135・136図)

【位置・確認】3B区南端の中央部東寄り、7グリッドに位置する。

【重複】SI114・130を切り、SI87・92Aに切られる。

【規模・形態】残存する長軸は4m、短軸は3mで、平面形状は隅丸方形を呈するものと思われる。

【方向】住居跡の南北軸は、西壁基準でN-15°-Wである。

【堆積土・構築土】4層に分層した。炭化物および焼土粒を含む黒褐色ないし暗褐色砂質シルトを主体とする。1～3層は住居堆積土、4層は周溝堆積土である。

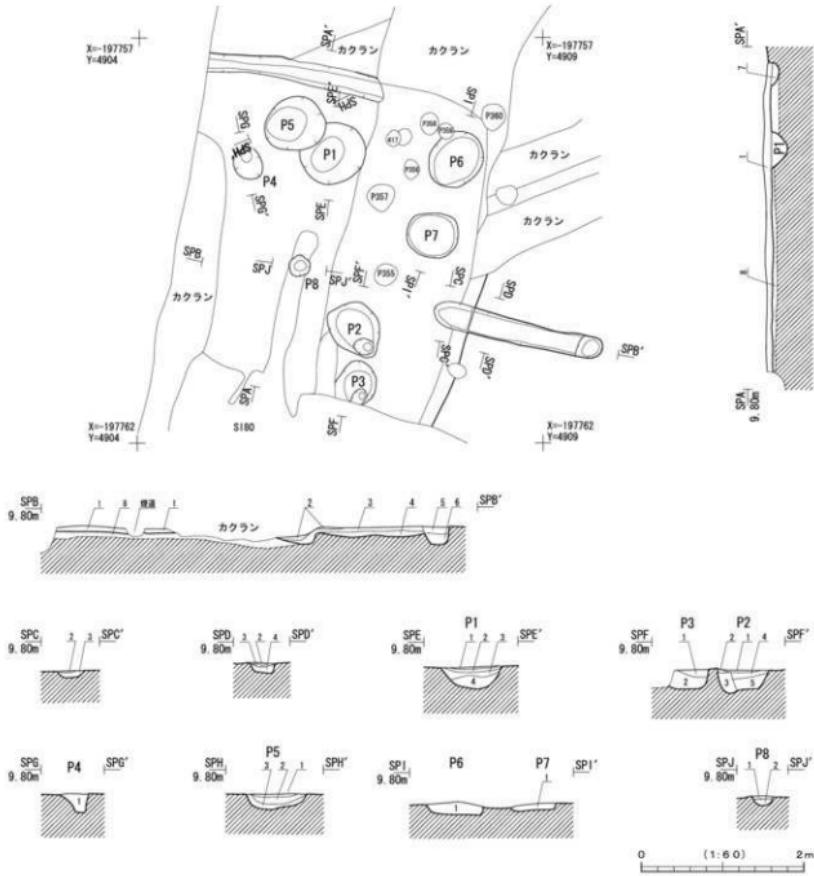
【壁面】残存する壁高は、東壁23cm、西壁18cm、北壁14cmを測り、西壁は内湾気味に外傾し、東壁と北壁は直立気味立ち上がる。

【床面】3層下面を床面とし、やや起伏がみられる。

【柱穴】7基検出した。規模は上端径30～50cm前後、深さ10～25cm前後を測る。いずれも柱痕は確認されず、堆積土中に炭化物を含む。位置的にみて、P3・5～7は主柱穴に相当する可能性がある。

【周溝】東壁および北壁際に延びる周溝を検出した。規模は幅11～21cm、深さ5～13cmを測り、断面形状は逆台形を呈する。

【出土遺物】P1から出土した土師器壺、甕を各1点掲載した。



SI101 掘削柱記録表				備考
部位	層位	土色	土性	
ガマド	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 炭化物微量、10YR4/4 暗褐色シルトブロック(厚20mm以上)、10YR3/2 黒褐色シルトブロック(厚10mm)含む
	2	10YR3/3	暗褐色	シルト 5YR2/1 黑褐色シルトブロック、7.5YR2/2 黑褐色シルトブロック、10YR3/4 暗褐色シルトブロック含む (縦道)
	3	10YR3/4	暗褐色	シルト 10YR4/4 暗褐色シルト粘土、10YR3/2 黑褐色シルト粘土少量含む (縦道)
	4	10YR3/3	暗褐色	シルト 10YR3/2 黑褐色シルトブロック、7.5YR3/4 暗褐色シルトブロック微量含む (縦道)
	5	10YR3/4	暗褐色	シルト 10YR3/2 黑褐色シルトブロック、7.5YR2/2 黑褐色シルトブロック、炭化物微量含む (縦道)
	6	7.5YR3/2	黒褐色	シルト 7.5YR2/2 黑褐色シルトブロック (縦道)
固濃	7	10YR3/4	暗褐色	シルト 10YR3/2 黑褐色シルトブロック、10YR4/4 暗褐色シルトブロック含む
鰐の井	8	10YR4/4	褐色	砂質シルト 10YR3/3 黑褐色シルトブロック、10YR3/2 黑褐色シルトブロック微量含む

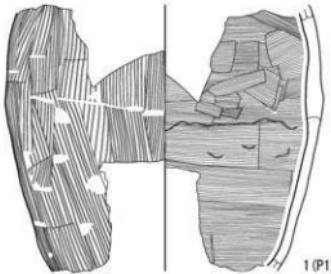
第132図 SI101 穫穴住居跡

SI101 施設堆積土目録表

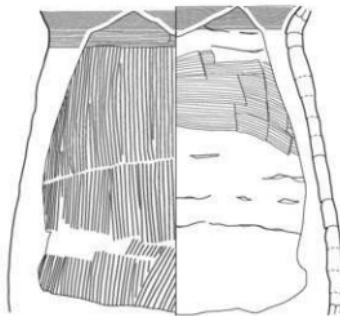
部位	層位	土 性	土 性	備 考
P1	1 10YR3/3	暗褐色	シルト	10YR3/2 黒褐色シルト粒、灰化物微量含む
	2 10YR4/3	にじみ・黄褐色	砂質シルト	
	3 10YR2/2	黒褐色	シルト	10YR2/1 黒褐色シルトブロック、7.5YR4/4 黑褐色シルトブロック、10YR4/4 黑褐色砂質シルトブロック含む
	4 10YR3/2	黒褐色	シルト	10YR4/4 黄褐色シルトブロック、7.5YR4/4 黄褐色シルトブロック含む
P2	1 10YR3/2	黒褐色	シルト	5YR4/4 にじみ・赤褐色シルトブロック、10YR3/4 暗褐色シルトブロック、10YR4/5 にじみ・黄褐色シルトブロック含む
	2 10YR4/4	褐色	シルト	10YR3/2 黑褐色シルトブロック含む
P3	3 10YR3/3	暗褐色	砂質シルト	10YR3/2 黄褐色砂質シルト、10YR4/4 暗褐色シルトブロック含む
	4 10YR3/4	暗褐色	シルト	10YR3/2 黑褐色シルトブロック少量、5YR4/4 赤褐色シルトブロック微量、7.5YR2/2 黑褐色シルトブロック含む
P4	5 7.5YR3/2	黒褐色	シルト	10YR3/2 暗褐色シルトブロック、5YR4/4 赤褐色シルトブロック、10YR4/4 黑褐色シルトブロック、灰化物微量含む
	1 10YR4/3	にじみ・黄褐色	シルト	10YR3/3 黑褐色シルトブロック、灰化物微量含む
P5	2 10YR3/4	暗褐色	砂質シルト	10YR3/2 黑褐色シルトブロック、10YR3/3 暗褐色シルトブロック含む
P6	1 10YR3/2	黒褐色	シルト	10YR4/4 黑褐色シルトブロック、灰化物微量含む
	2 10YR3/3	暗褐色	シルト	10YR4/4 黑褐色シルトブロック、灰化物微量含む
P7	3 10YR3/4	暗褐色	シルト	10YR4/4 黑褐色シルトブロック、灰化物微量含む
	1 10YR3/3	暗褐色	シルト	7.5YR2/1 黑褐色シルトブロック、灰化物微量、7.5YR3/3 暗褐色シルトブロック、5YR4/4 にじみ・赤褐色シルトブロック、10YR4/4 暗褐色シルトブロック含む
P8	2 7.5YR3/2	黒褐色	シルト	7.5YR4/4 暗褐色シルトブロック、灰化物微量、10YR4/4 にじみ・黄褐色シルトブロック含む

SI101 施設断面図

選択名	平面形	範囲(cm)	深さ(cm)	備 考	選択名	平面形	範囲(cm)	深さ(cm)	備 考
P1	円形	78×60	30		P5	小整形	75×69	20	
P2	不整形	72×60	31		P6	椭円形	72×62	12	
P3	不整形	(52)×48	46		P7	不整形	62×54	5	
P4	不整形	40×37	24		P8	不整形	26×17	12	



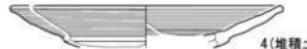
1(P1)



2(堆積土)



3(P6)



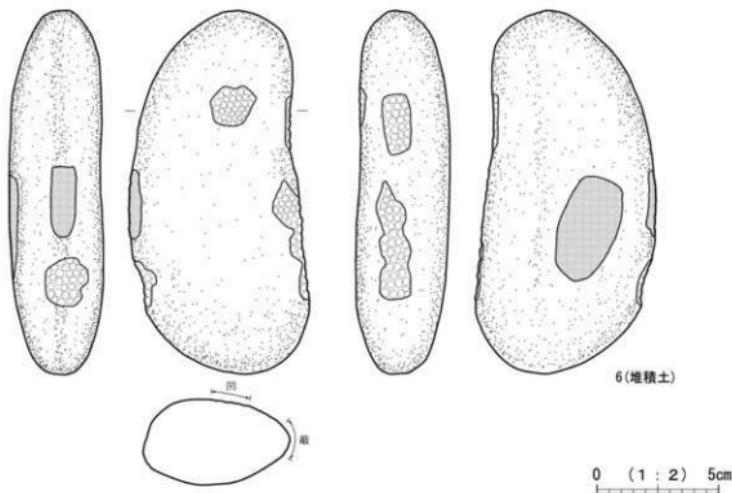
4(堆積土)



5(P5)

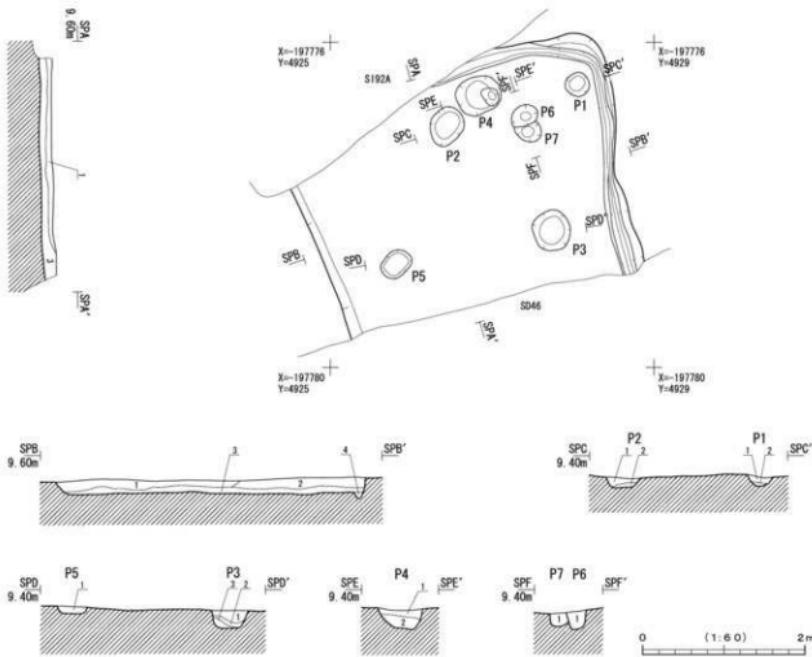
0 (1 : 3) 10cm

第133図 SI101 竪穴住居跡出土遺物(1)



国版 番号	登録番号	出土遺物	形状	種	形	分類	大きさ(幅×厚さ)(cm)	外周調整	内面調整	備考	写真 回数
1	C-198	SI101	円	土器	甕	×	×(16.5)	脇部ハラメ	脇部ヘラナデ		83
2	C-190	SI101	堆積土	土器	甕	×	×(19.0)	口縁部ヨコナデ、脇部ハケメ	口縁部ヨコナデ、脇部ヘラナデ		83
3	C-192	SI101	円	土器	甕	×	×(7.9)×(7.9)	体盤～底盤ヘリガキ	底盤～底盤ヘリガキ	内外面黒色処理	83
4	D-010	SI101	ロクロ	石器	甕	(16.8)×	×(2.6)	口縁部～体盤ロクロ調整	口縁部～体盤ロクロ調整		83
5	E-066	SI101	円	土器	甕	(11.4)×	×(2.6)	ロクロ調整	ロクロ調整		83
国版 番号	登録番号	出土遺物	形状	種	形	分類	大きさ(幅×厚さ)(cm)	重量(g)	石材	備考	写真 回数
6	Kc-088	SI101	堆積土	羅石器	甕+円+盤	-	14.8×7.4×3.8	564.99	安山岩 (安息岩、椎状釋、唇二面(凸)、円一面(单)深さ(微)、 盤(側2箇所)傾度(弱))		83

第134図 SI101竪穴住居跡出土遺物(2)



SI102 埋積土記表

部位	層位	土色	土性	備考
基礎土	1	10YR3-1	黒褐色	砂質シルト [45-黃褐色ブロック(径2~5mm)多量、炭化物(径2~3mm)、燒土粒少量含む]
	2	10YR3-1	黒褐色	砂質シルト [45-黃褐色ブロック(径2~5mm)多量、燒土粒少量含む]
	3	10YR3-3	黒褐色	砂質シルト 地山ブロック、炭化物、燒土粒少量含む
埋溝	4	10YR3-3	黒褐色	白色ブロック少量、炭化物微量含む

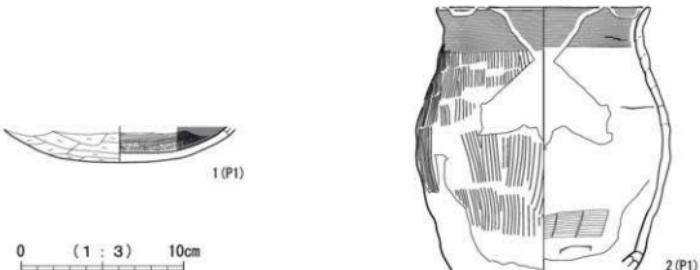
SI102 施設堆積土記表

部位	層位	土色	土性	備考
P1	1	10YR3-1	黒褐色	シルト 炭化物、燒土粒微量含む
	2	10YR3-4	黒褐色	砂質シルト 炭化物微量含む
P2	1	10YR2-3	黒褐色	シルト 炭化物、燒土粒微量含む
	2	10YR5-6	黄褐色	砂質シルト 炭化物、燒土ブロック(径5~10mm)含む
P3	1	10YR3-3	黒褐色	シルト 炭化物、燒土ブロック(径5~10mm)微量含む
	2	10YR5-6	黄褐色	砂質シルト 炭化物、燒土ブロック(径5~10mm)微量含む
	3	10YH4-4	褐色	砂質シルト 地山ブロック、炭化物、燒土粒微量含む
P4	1	10YR2-3	黒褐色	シルト 地山ブロック、炭化物、燒土粒微量含む
	2	10YR3-4	黄褐色	砂質シルト 炭化物、燒土ブロック(径5~10mm)微量含む
P5	1	10YR3-4	黄褐色	砂質シルト 白色土ブロック少量、炭化物、燒土ブロック(径5~10mm)微量含む
P6	1	10YR3-3	黒褐色	砂質シルト 地山ブロック、炭化物微量含む
P7	1	10YR3-3	黒褐色	砂質シルト 炭化物少量、[45-黄褐色土含む]

SI102 施設軽便表

造標名	平面形	幅員(cm)	深さ(cm)	備考	造標名	平面形	幅員(cm)	深さ(cm)	備考
P1	円形	30×30	13		P5	椭円形	38×31	8	
P2	円形	49×42	15		P6	円形	35×26	26	
P3	円形	55×50	23		P7	円形	(28)×27	26	
P4	円形	36×30	26						

第135図 SI102整穴住居跡



第136図 SI102堅穴住居跡出土遺物

SI103A 堅穴住居跡(第137～140図)

【位置・確認】3B区中央南東部、16・17・21・22グリッドに位置する。重複する遺構の位置関係から、後述するSI103B建て替え後の住居跡と考えられる。

【重複】SI95A・103Bを切り、SI97A・B、SD42・55・56に切られる。

【規模・形態】検出された規模は、長軸5.15m、短軸4.85mを測り、平面形状は隅丸方形を呈する。

【方向】住居跡の南北軸は、カマド基準でN-55°Eである。

【堆積土・構築土】17層に分層した。1～6層は住居堆積土、7～16層はカマド関連層位、17層は周溝堆積土である。カマド関連層位は黒褐色シルトを主体とし、7層が天井部崩落土、12層が火床面、13～15層が油構築土である。火床面直上に堆積する11層は、多量の灰を含む。

【壁面】残存する壁高は、北辺4cm、東辺25cm、南辺18cm、西辺24cmを測り、壁はやや外反して立ち上がる。

【床面】4～6層下面を床面とし、ほぼ平坦である。

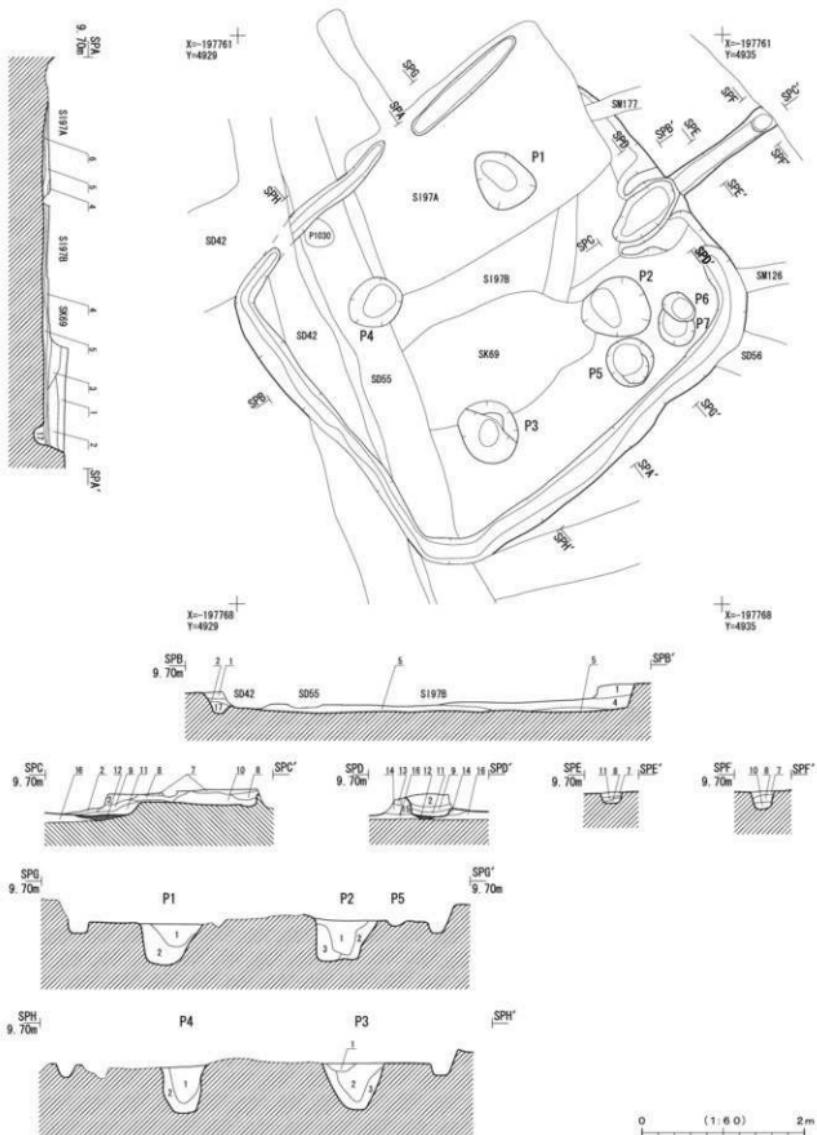
【柱穴】7基検出した。規模や位置からみて、P1～4が主柱穴に相当すると考えられる。

【周溝】東辺北半を除き、壁面直下をほぼ全周する周溝を検出した。北辺は重複の影響で断続的に残存する。検出された部分における規模は、幅17～42cm、深さ7～15cmを測り、断面形状は逆台形を呈する。

【カマド】東辺中央部に構築される。袖部の規模は、左袖が長さ50cm、幅30cm、右袖が長さ90cm、幅25cmを測り、東辺に直行する「リ」状に延びる。燃焼部は幅25cm、奥行き30cmを測り、底面は皿状に窪む。煙道部は長さ150cm、幅25cm、深さ14cmを測る。底面はほぼ平坦で、煙出し部に相当する末端が僅かに窪む。

【出土遺物】土師器环5点、高环1点、壺2点、瓶1点、礫石器2点を掲載した。第138図-1はカマド出土で、内外面にヘラミガキが施された後に黒色処理される。第139図-8は底部が直に立ち上がる器形を呈する。

図版 番号	登録番号	出土遺物	層位	種 別	器 形	口径×底径×器高(cm)	外 壁 調 整	内 壁 調 整	備 考	写 真 回数
1	C-194	SI102	P1	土師器	环	×(3.6)×(2.2)	底部ハウザズリ	底部ハウザギヤ	内面黒色処理	83
2	C-195	SI102	P1	土師器	壺	13.0× 8(16.2)	口縁部ヨコナギ、腹部ハケメ	口縁部ヨコナギ、腹部ハナダ		83



第137図 SI103A竪穴住居跡

SI103A 塚積土封記表

部位	層位	土色	土性	備考
堆積土	1	10YR2/2	黒褐色	砂質シルト 地山ブロック少量、炭化物、燒土粒(粒径1~2mm)微量含む
	2	10YR3/3	黒褐色	砂質シルト 地山ブロック少量、炭化物、燒土粒微量含む
	3	10YR4/1	黒褐色	シルト 炭化物、燒土粒微量含む
	4	10YR3/4	黒褐色	砂質シルト 明晝褐色ブロック(粒径5~10mm)多量、炭化物含む
	5	2.5Y4/3	オリーブ褐色	砂質シルト 2.5Y7/4(浅黃褐色)ブロック(粒径2~10mm)多量、燒土粒(粒径2~3mm)微量、炭化物(粒径3~5mm)含む
	6	2.5Y4/2	暗灰褐色	シルト 2.5Y7/4(浅黃褐色)ブロック多量、炭化物微量含む
カマド	7	2.5Y6/2	灰褐色	シルト 炭化物少量含む(天井面崩落)
	8	2.5Y4/3	黒褐色	炭化物多量、2.5Y5/4(黄褐色)ブロック、燒土ブロック(粒径10mm)微量含む
	9	2.5Y5/2	粘土シルト	燒土ブロック(粒径3~30mm)少量、7.5Y8/2(灰褐色)ブロック(粒径5mm)含む
	10			炭化物多量、2.5Y5/3(灰褐色)ブロック(粒径5mm)、10YR5/8(燒土)ブロック(粒径2~3mm)微量含む、2.5Y5/4(黄褐色)ブロック(粒径3~10mm)含む
	11	2.5Y3/2	黒褐色	シルト 炭化物少量、10YR3/1(燒土)ブロック(粒径10~20mm)微量含む
	12	10YR3/2	黒褐色	シルト 炭化物、燒土粒(粒径1~5mm)微量含む(火床面)
	13	10YR5/6	黄褐色	(少々)糊
	14	10YR3/4	黒褐色	シルト 炭化物多量、燒土粒(粒径2~5mm)微量含む(カマド袖)
	15	10YR3/3	暗褐色	シルト 炭化物(粒径2~5mm)、燒土粒(粒径2~5mm)微量含む(カマド袖)
	16	10YR6/4	黄褐色	砂質シルト 炭化物(粒径1~2mm)微量含む
周溝	17	10YR3/3	暗褐色	砂質シルト 地山ブロック少量、炭化物微量含む

SI103A 施設堆積土封記表

部位	層位	土色	土性	備考
P1	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 炭化物(粒径1~2mm)、燒土粒微量含む
	2	10YR3/4	暗褐色	砂質シルト 10YR3/1(黒褐色)(粒径10~20mm)、10YR5/1(黒褐色)ブロック少量、炭化物(粒径2~5mm)、燒土粒微量含む
P2	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 炭化物(粒径1~2mm)、燒土粒微量含む
	2	10YR3/4	暗褐色	砂質シルト 10YR3/1(黒褐色)(粒径10~20mm)、10YR5/1(黒褐色)ブロック少量、炭化物(粒径2~5mm)、燒土粒微量含む
P3	3	10YR3/4	暗褐色	砂質シルト にじ・黄褐色ブロック少量、炭化物、焼化物微量含む
	1	10YR4/1	灰褐色	炭化物(粒径2mm)、燒土粒微量含む
P4	2	10YR3/3	暗褐色	シルト 炭化物(粒径1~2mm)、燒土粒微量含む
	3	10YR2/4	暗褐色	砂質シルト にじ・黄褐色ブロック少量、炭化物、焼化物微量含む
P4	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 地山ブロック少量、炭化物(粒径1~2mm)、燒土粒微量含む
	2	10YR3/4	暗褐色	砂質シルト にじ・黄褐色ブロック少量、炭化物、焼化物微量含む

SI103A 施設輪郭表

遺構名	平面形	規模(cm)	深さ(cm)	備考
P1	扇円形	75×62	60	
P2	円形	70×66	53	
P3	円形	67×50	56	
P4	円形	62×45	58	



1(カマド)



2(P1)



3(床面)



4(P3)



5(掘り方)



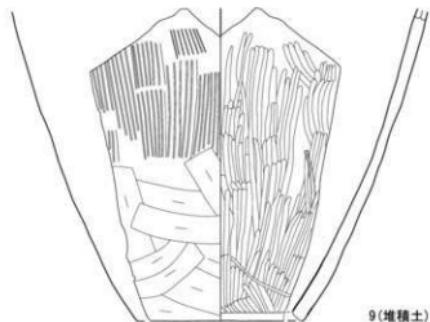
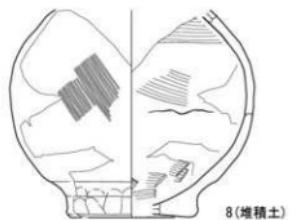
6(堆積土)



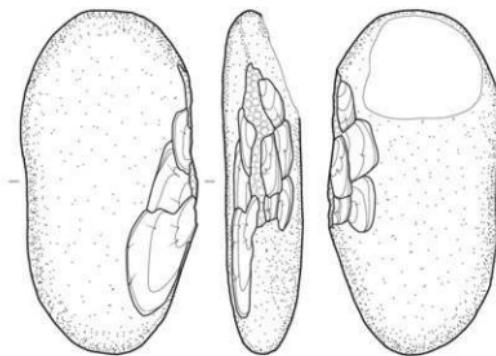
7(カマド)

0 (1 : 3) 10cm

第138図 SI103A 穴室住居跡出土遺物(1)



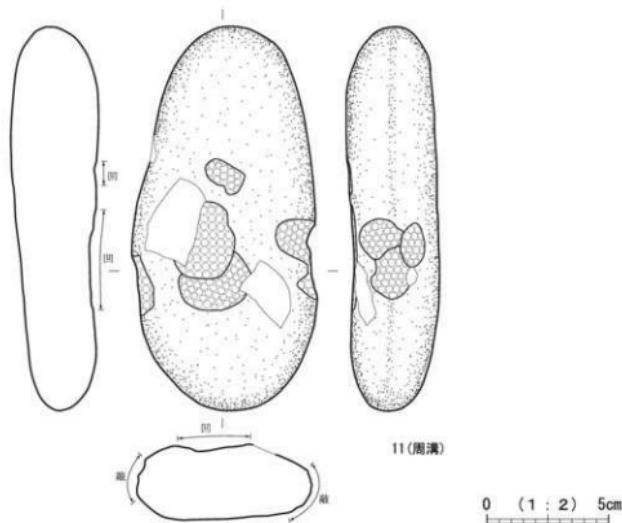
0 (1 : 3) 10cm



10(堆积土)

0 (1 : 2) 5cm

第139図 SI103A整穴住居跡出土遺物(2)



図版番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×高さ(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真図版	
1	C-197	SI103A	カマド	土器器	环	(11.2) × ×(3.2)	口縁部～底部ヘラミガキ	口縁部～底部ヘラミガキ	内面黒色処理	83	
2	C-196	SI103A	P1	土器器	环	(13.4) × ×(4.7)	口縁部コナナギ、体部～底部ヘラミガキ	口縁部～底部ヘラミガキ	内面黒色処理	83	
3	C-196	SI103A	床面	土器器	环	(14.8) × ×(3.5)	口縁部～体部コナナギ、底部ヘラミガキ	口縁部～底部ヘラミガキ	内面黒色処理	83	
4	C-199	SI103A	P2	土器器	高环	(17.1) × ×(3.6)	口縁部～体部コナナギ、体部～底部ヘラミガキ	口縁部～底部ヘラミガキ	内面黒色処理	83	
5	C-200	SI103A	掘り方	土器器	环	(15.0) × ×(2.6)	口縁部～体部コナナギ、底部磨滅	口縁部～底部ヘラミガキ	内面黒色処理	83	
6	C-201	SI103A	堆積土	土器器	环	×(7.4) × (1.9)	口縁部コナナギ、体部～底部ヘラミガキ	体部～底部ヘラミガキ	内面黒色処理	83	
7	C-203	SI103A	カマド	土器器	壳	(15.8) × ×(4.9)	口縁部コナナギ、胴部ヘラミガキ	口縁部コナナギ、胴部ヘラミガキ	内面黒色処理	84	
8	C-202	SI103A	堆積土	土器器	壳	×(7.3) × (12.8)	胴部ハヌメ、胴部下端ユビオサエ	肩部ハヌメ、胴部下端ユビオサエ	内面ハヌメ、胴部～底部ヘラミガキ	83	
9	C-204	SI103A	堆積土	土器器	瓶	(19.2) × ×(10.1)	胴部ハヌメ、胴部下端ヘラミガキ	胴部ヘラミガキ	内面ハヌメ	84	
図版番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	分類	長さ×幅×厚さ(cm)	重量(g)	石材	備考	写真図版
10	Kc-089	SI103A	地盤土	礫石器	礫石	-	14.1×6.9×2.2	455.00	安山岩	定形品、椎円錐、最(無)箇所程度(微)	84
11	Kc-090	SI103A	周溝	礫石器	四・五	-	15.7×7.4×3.6	346.97	凝灰岩	定形品、椎円錐、四・五(腹)箇所(浅)、最(無)箇所程度(微)	84

第140図 SI103A 穴住居跡出土遺物(3)

SI103B 穴住居跡(第141～143図)

【位置・確認】3B区中央部南東、16・17・21・22グリッドに位置する。SI103Aの床面からカマドと多数のピットを検出した。SI103A建て替え前の住居跡と考えられる。

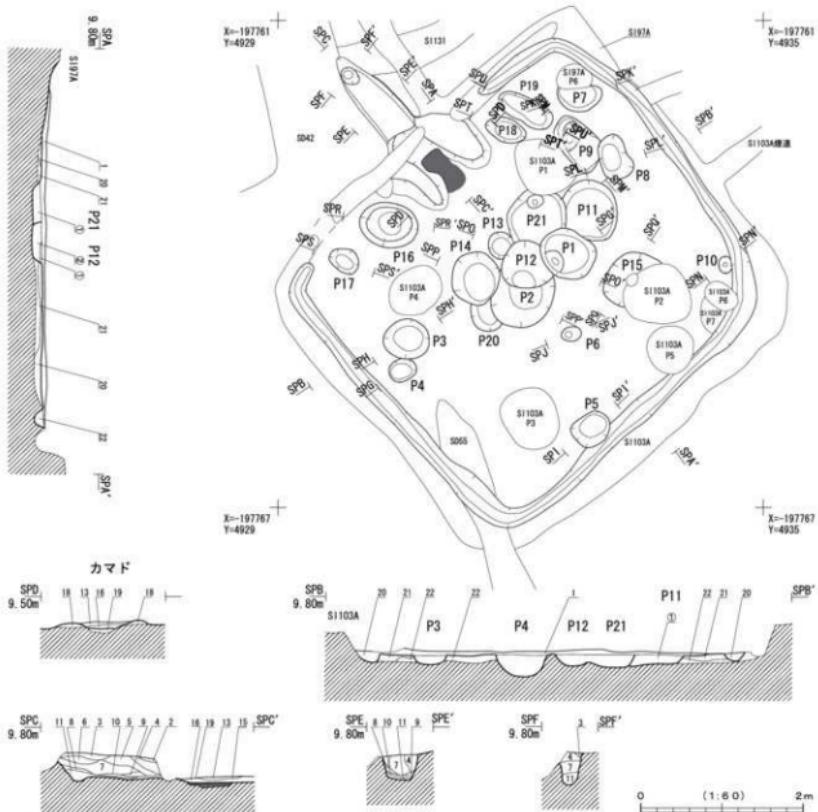
【重複】SI95A・131を切り、SI197A・B・103A・SD42・55に切られる。

【規模・形態】検出した規模は、長軸4.65m、短軸4.2mを測り、平面形状は隅丸方形を呈する。

【方向】住居跡の南北軸は、カマド基準でN-45°-Wである。

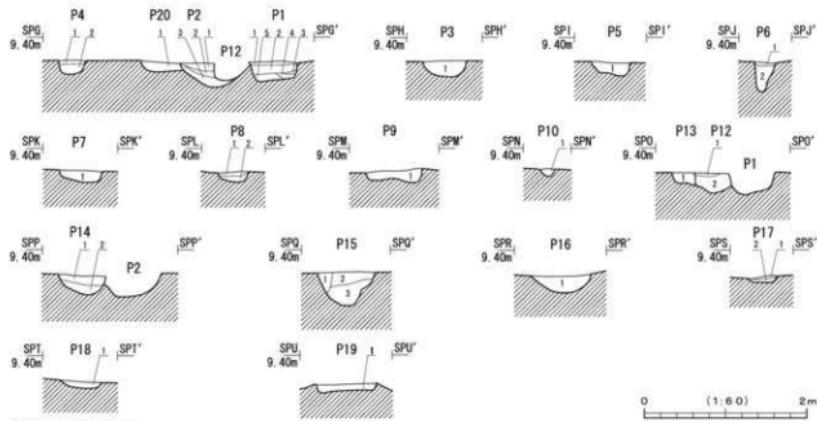
【堆積土・構築土】21層に分層した。大部分がカマド関連層位で、17・18層はカマド袖構築土である。19層は周溝堆積土、20・21層は掘り方堆積土である。

【壁面】SI103Aに切られているため、詳細は不明である。



部位	層位	土色	土性	特 考
地盤土	1	2.5YR7-4	浅黄色	砂質シルト 炭化物(径2~3mm)、地土粒微量含む
	2	10YR3-2	黑褐色	砂質シルト 炭化物、地土粒微量含む
	3	2.5YR3-3	暗赤褐色	シルト 炭化物微量含む
	4	10YR3-4	暗褐色	砂質シルト 炭化物、地土粒多量含む
	5	2.5YR4-1	灰褐色	シルト 地山ドロツク(径1~10mm)、炭化物(径1~2mm)、地土粒(径2~5mm)含む
	6	2.5YR6-2	灰褐色	砂質シルト 炭化物多量含む
	7	2.5YR5-2	灰褐色	シルト 炭化物、地土粒(径5~10mm)多量含む
	8	10YR6-6	黄褐色	シルト 炭化物微量含む
	9	10YR2-3	黑褐色	シルト 炭化物多量含む
	10	2.5Y6-6	明黄色	シルト 炭化物少含む
	11	5YR1.7/1		シルト 炭化物(火成)
	12	10YR6-8	明黄色	粘土シルト 炭化物少量、地土粒・プロック含む
	13	10YR3-3	暗褐色	シルト 黄褐色プロック、炭化物(径3~5mm)少量、黄褐色プロック、地土粒微量含む
	14	10YR2-2	黑褐色	シルト 灰白色プロック(径10~20mm)、炭化物微量含む
	15	10YR4-3	暗褐色	シルト 炭化物、地土粒プロック(径5~10mm)含む
	16	2.5Y3/2	暗褐色	砂質シルト 炭化物(径3~3mm)、地土粒プロック(径5~20mm)微量含む
	17	2.5Y4/2	暗灰褐色	シルト (カマド)
	18	2.5Y3/2	暗赤褐色	砂質シルト 炭化物少量、地土粒プロック(径5~20mm)含む (カマド)
周溝	19	10YR3-3	灰褐色	2.5YR1/6(6)色プロック(径3~5mm)少量含む
排水沟	20	2.5Y9/3	暗褐色	地山プロック含む
	21	2.5Y9/3	オリーブ褐色	10YK3-1K白色(径5mm)、炭化物(径2~5mm)少量含む

第141図 S1103B 穴式住居跡(1)



SI103B 施設構造地図

部位	層別	土色	土性	備考
P1	1	10YR5/4 黄褐色	砂質シルト 泥化物(径5mm)、塊状微含む	
	2	2.5Y5/1 赤褐色	シルト 10YR6.5明黄色ブロック少量、2.5Y5-6明赤褐色土粒(径5~20mm)少量、泥化物(径2~5mm)微量含む	
	3	2.5Y5/6 明黃褐色	シルト 塊状微含む	
	4	2.5Y6/4 浅い黄色	シルト 塊状微含む	
	5	2.5Y5/3 黄褐色	砂質シルト 2.5Y5-7灰褐色ブロック(径5mm)少量、泥化物、塊状微含む	
P2	1	10YR4/3 黄褐色	シルト 10YR6.5明黄色ブロック、粘土粒(径5mm)少量、泥化物(径3mm)微量含む	
	2	10YR5/4 12.5-15.5黄褐色	砂質シルト 10YR5-7黄褐色ブロック、粘土粒(径5mm)少量、泥化物(径3mm)微量含む	
	3	10YR5/4 黄褐色	シルト 明黄色粘土粒少含む	
P3	1	2.5Y4/2 灰褐色	シルト 塊状色化ブロック少量、塊状(径3mm)微量含む	
P4	1	2.5Y5/3 黃褐色	砂質シルト 白色ブロック、黑色粘土ブロック、明黄色色化ブロック微量含む	
P5	1	2.5Y5/3 黃褐色	砂質シルト 2.5Y5-7灰褐色ブロック(径5mm)少量、泥化物含む	
P6	1	2.5Y4/3 オーライブ褐色	砂質シルト 泥化物、塊状(径3mm)微量含む	
P7	1	10YR5/4 12.5-15.5黄褐色	砂質シルト 泥化物(径5mm以下)微量含む	
P8	1	2.5Y5/3 明オーライブ褐色	シルト 塊状(径5~10mm)少量、2.5Y5-6/3C-4S-7灰色土粒微量含む	
P9	1	10YR3/3 暗褐色	シルト 10YR6.5明黄色土粒少量、2.5YR2-1赤土ブロック(径5~30mm)少量、塊状ブロック(径5~20mm)含む	
P10	1	2.5YR2-1 赤褐色	砂質シルト 塊状(径5~10mm)少量、泥化物(径5mm)微量含む	
P11	1	10YR3/3 暗褐色	砂質シルト 泥化物(径2.5mm以下)微量含む	
P12	2	10YR4/2 灰褐色	砂質シルト 泥化物(径5mm以下)微量含む、明黄色ブロック(径5~10mm)少量含む	
P13	1	2.5Y5/3 黃褐色	砂質シルト 2.5YR2-1赤土ブロック(径20mm)少量、泥化物、塊状含む	
P14	1	2.5Y5/3 黃褐色	砂質シルト 2.5YR2-1赤土ブロック(径5mm以下)微量含む	
P15	1	2.5Y5/3 12.5-15.5黄色	シルト 泥化物(径5mm以下)微量含む	
	2	2.5Y5/4 黃褐色	シルト 白色ブロック(径5~10mm)、泥化物(径5~10mm)微量含む	
	3	2.5Y5/4 12.5-15.5黄色	シルト 白色ブロック(径5~10mm)、泥化物(径5mm)微量含む	
P16	1	2.5Y5/3 黃褐色	シルト 泥化物(径5mm以下)微量含む	
P17	1	5YR3/4 明黄色	シルト 泥化物(径5~10mm)少量含む	
P18	1	2.5Y4/2 灰褐色	砂質シルト 2.5YR2-1赤土ブロック(径10mm)、泥化物(径5mm以下)微量含む	
P19	1	10YR3/3 暗褐色	砂質シルト 泥化物(径5~10mm)、塊状(径3mm)微量含む	
P20	1	10YR2/3 暗褐色	シルト 泥化物少量、塊状土粒(径5~30mm)微量含む	
P21	1	10YR4/6 褐色	砂質シルト 明黄色ブロック(径10mm以下)、泥化物(径5~10mm)微量含む	

SI103B 施設構造表

通過名	平面形	範囲(cm)	深さ(cm)	層号	通過名	平面形	範囲(cm)	深さ(cm)	層号
P1	円形	67×53	22	P13	円形	31×(27)	13		
P2	円形	83×(47)	32	P14	円形	59×64	28		
P3	円形	53×49	17	P15	円形	70×(35)	54		
P4	円形	29×32	16	P16	円形	73×53	26		
P5	円形	48×44	25	P17	円形	37×27	7		
P6	円形	25×18	45	P18	角円形	52×26	6		
P7	円形	53×(28)	14	P19	角円形	28×73	8		
P8	扇円形	(32)×55	13	P20	円形	45×(36)	12		
P9	扇円形	40×70	12	P21	円形	78×57	52		
P10	円形	16×39	8	P22	円形	62×(63)	19		
P11	円形	80×(70)	9	P23	円形	(47)×65	13		
P12	円形	(53)×60	38						

第142図 SI103B 壁穴住居跡(2)



回復番号	登録番号	出土遺物	層位	種別	器種	口径×底径×高さ(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真回数
1	C205	SI103B	P9	土器部	环	(13.4) × × (3.5)	口縁部～体部ヨコナギ、底部ヘラカズリ	口縁部～底部ヘラカズリ		84
2	C206	SI103B	堆積土	土器部	环	(9.7) × × 3.3	口縁部～体部ヨコナギ、底部ヘラカズリ	口縁部～底部ヘラカズリ	内面黑色処理	84

第143図 SI103B堅穴住居跡出土遺物

【床面】1層下面を床面とし、やや起伏がみられる。

【柱穴】21基検出した。柱痕が確認されたものは無い。位置からみてP15・16・18が主柱穴に相当する可能性はあるものの、むしろSI103Aの主柱穴に相当するP1～4が本住居跡構築段階から機能していた可能性が考えられる。床面中央部では8基のピットが重複して検出された。これら8基の堆積土中には、いずれも炭化物および焼土が含まれる。

【周溝】カマドの周囲を除くほぼ全面に巡っている。規模は概ね幅15～20cm、深さ4～13cmである。

【カマド】北辺中央部に構築される。袖部は左袖が長さ70cm、幅20cm、右袖が長さ90cm、幅40cmを測り、北辺に対し東側に僅かに斜行して延びる。燃焼部は幅30cm、奥行き58cmを測り、中央には60×30cm程の不整長方形の火床面が検出された。煙道部の規模は検出長128cm、幅35cm、深さ37cmを測り、底面は煙出し部に向かって起伏を持ちながら高くなる。煙道部末端には上端径20cm、深さ6cmを測るピット状の煙出し部が構築される。

【掘り方】南東側に傾斜し、底面には起伏がみられる。

【出土遺物】土師器坏2点を掲載した。第143図-1・2はいずれも口縁部が直立する器形を呈する。

SI104 堅穴住居跡(第144～146図)

【位置・確認】3B区中央部北東、31・32・37グリッドに位置する。

【重複】SB8、SA1、SD63・76を切り、P600・1395に切られる。なお、本住居跡の煙道部は、直接の重複関係が認められないSA5一本柱列P8とP9の中間に位置するが、他遺構を含めた重複関係から、本住居跡が新しい事が判明している。

【規模・形態】検出した規模は一辺3.5m前後を測り、平面形状は隅丸方形を呈する。

【方向】住居跡の主軸方位は、カマド基準でN-20°-Eである。

【堆積土・構築土】22層に分層した。1～3層は住居堆積土、4～19層はカマド関連層位、20層は周溝堆積土、21・22層は掘り方堆積土である。

【壁面】残存する壁高はいずれも15cmを測り、壁はやや外反して立ち上がる。

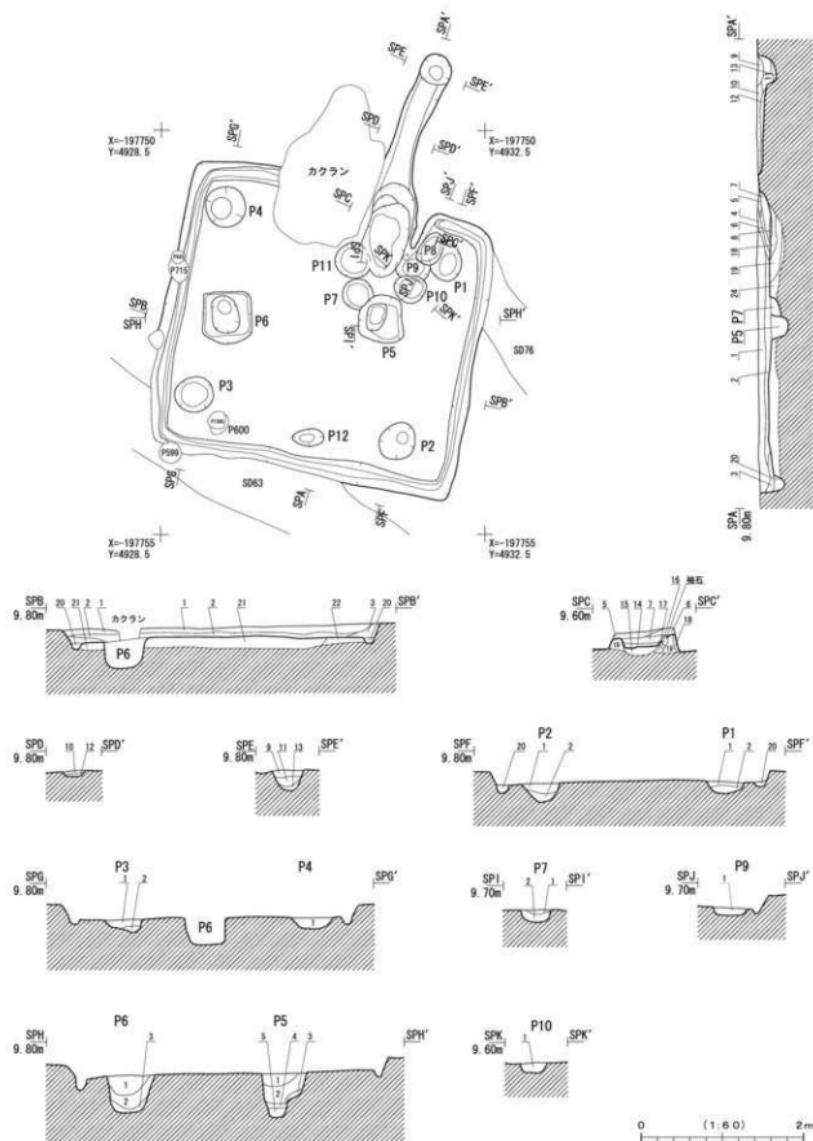
【床面】2・3層下面を床面とし、やや起伏が見られる。

【柱穴】12基検出した。いずれも堆積土中に炭化物や焼土を含む。規模や位置からみて、P1～4が主柱穴に相当すると考えられる。P9～P12は掘り方掘削時に検出した。

【周溝】カマド直下と搅乱によって失われている部分を除き、壁直下を全周する周溝を検出した。規模は幅12～20cm、深さ12～15cmを測り、断面形状は逆台形を呈する。

【カマド】北壁中央部の東寄りに構築される。左袖は搅乱の影響により失われている。残存する右袖は長さ65cm、幅25cmを測り、北壁に直行して延びる。燃焼部は幅55cm、奥行き116cmを測り、底面は僅かに窪む。煙道部は長さ167cm、幅35cmを測り、底面は平坦である。煙道部末端には上端径39×38cm、深さ24cmを測るピット状の煙道部が構築され、煙出し部底面と煙道部底面の比高差は約20cmを測る。

【掘り方】住居中央部にやや高まりがみられるものの、ほぼ平坦である。



第144図 SI104竪穴住居跡

SI104 推積土柱記述

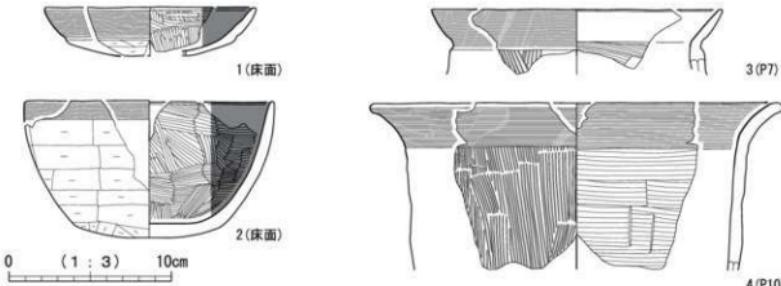
部位	層位	土色	土性	備考
堆積土	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 炭化物(径5mm)、他土ブロック(径1mm)微量含む
	2	10YR3/2	黒褐色	シルト 黄褐色地山ブロック(径1~5mm)多量含む
	3	10YR3/4	暗褐色	シルト 黄褐色土粒多量含む、他土少額含む
カマツ	4	10YR4/3	にじみ・黃褐色	シルト 黒褐色ブロック少量、他土ブロック(径10mm)微量含む(黒1・灰井部崩落土)
	5	7.5YR2/2	黒褐色	シルト 焼土ブロック(径5mm)多量含む(黒1・一種透水性粘土)
	6	5YR4/3	にじみ・黃褐色	シルト 燒土粒多量、他土ブロック(径3~5mm)多量、他土ブロック(径20~40mm)微量含む(黒1灰井部崩落土)
	7	5YR2/3	極端褐色	シルト 燒土ブロック(径1~5mm)多量、他土ブロック(径5mm)微量、黄褐色土粒含む(燒土部土)
	8	5YR3/4	暗褐色	シルト 燒土粒多量(燒土部)
	9	10YR3/2	黒褐色	シルト 灰熱褐色ブロック(径5~10mm)多量含む(焼土)
	10	10YR4/2	灰黃褐色	シルト 灰熱褐色ブロック(径10~20mm)多量含む(燒土灰井部崩落土)
	11	10YR3/3	暗褐色	シルト 褐色地山ブロック(径20~30mm)、炭化物(径5mm)含む(焼土)
	12	2.5Y3/2	黒褐色	シルト 炭化物地山ブロック(径5~10mm)、黄褐色地山ブロック(径3mm)微量含む(燒土灰井部崩落土)
	13	10YR4/3	にじみ・黃褐色	シルト 炭化物(径3~5mm)微量含む(焼土)
周溝	14	5YR3/3	暗褐色	シルト 燒土ブロック(径5~10mm)多量、炭化物(径5mm)微量含む
	15	2.5Y	暗褐色	シルト 黄褐色地山ブロック微量、炭化物(径5~10mm)少量、灰熱褐色ブロック(径5~10, 20mm)含む(カマツ跡)
	16	10YR3/2	黒褐色	シルト 燒土ブロック(径5mm)微量(カマツ跡)
	17	2.5Y3/3	オリーブ褐色	シルト 褐色地山ブロック微量(カマツ跡)
	18	2.5Y4/4	オリーブ褐色	シルト 褐色地山ブロック微量(カマツ跡)
	19	10YR3/2	黒褐色	シルト 炭化物微量、他土少額含む
	20	10YR3/2	黒褐色	シルト 炭化物微量、他土少額含む
	21	10YR4/3	にじみ・黃褐色	シルト 炭化物微量(径5mm)微量含む(カマツ跡)
	22	10YR5/6	黒褐色	シルト 黄褐色地山ブロック微量(径2~5mm)含む

SI104 施設堆積土柱記述

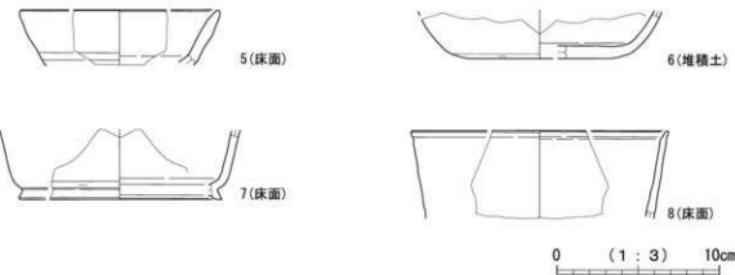
部位	層位	土色	土性	備考
P1	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 炭化物(径5~10mm)多量、他土ブロック(径1~2mm)少額含む
	2	2.5Y4/2	暗褐色	シルト 炭化物(径5mm)微量含む
P2	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 炭化物(径5~10mm)多量、他土ブロック(径1~2mm)少額含む
	2	2.5Y4/2	暗褐色	シルト 炭化物(径5mm)微量含む
P3	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 炭化物(径5~10mm)多量、他土ブロック(径1~2mm)少額含む
	2	2.5Y4/2	暗褐色	シルト 炭化物(径5mm)微量含む
P4	1	10YR3/4	暗褐色	シルト 炭化物(径5mm)微量含む
	2	10YR4/2	灰褐色	シルト 炭化物(径5mm)微量、黄褐色地山ブロック(径5mm)含む
P5	2	10YR3/2	黒褐色	シルト 黄褐色地山ブロック(径5~10mm)微量含む
	3	10YR5/3	にじみ・黃褐色	シルト 黄褐色地山土粒多量(混在層)
	4	10YR4/3	にじみ・黃褐色	シルト 炭化物微量(径5mm)微量含む
P6	5	2.5Y3/2	黒褐色	シルト 炭化物微量含む
	1	10YR4/2	灰褐色	シルト 炭化物(径5mm)微量、黄褐色地山ブロック(径5mm)含む
P7	2	10YR3/2	黒褐色	シルト 黄褐色地山ブロック(径5~10mm)微量含む
	3	10YR4/3	にじみ・黃褐色	シルト 炭化物微量(径5mm)微量含む
P7	1	10YR4/2	灰褐色	シルト 炭化物、他土ブロック(径5mm)含む
	2	2.5YR2/2	極端褐色	シルト 褐色地山土粒多量、炭化物、他土ブロック(径5~10mm)多量含む
P9	1	10YR4/3	にじみ・黃褐色	シルト 黄褐色地山土粒多量、炭化物、他土ブロック(径5~10mm)多量含む
P10	1	2.5YR2/2	極端褐色	シルト 褐色地山土粒多量(径5~10mm)微量含む

SI104 施設標痕表

選択名	平面形	範囲(cm)	深さ(cm)	備考	選択名	平面形	範囲(cm)	深さ(cm)	備考
P1	楕円形	46×37	13		P7	円形	26×26	15	
P2	円形	46×46	24		P8	楕円形	(45)×42	3	
P3	円形	48×44	13		P9	楕円形	42×28	11	脚P7
P4	円形	50×48	15		P10	円形	37×30	14	脚P9
P5	不整方形	37×53	56		P11	円形	44×29	12	脚P9
P6	不整方形	65×60	41		P12	楕円形	38×22	14	脚P9



第145図 SI104竪穴住居跡出土遺物(1)



回数 番号	登録番号	出土遺物	割分	種 別	器 形	口径×底径×器高(cm)	外 表 調 整	内 表 調 整	備 考	写真 図版
1	C207	SI104	床面	土師器	环	(12.8)×(3.0)	口縁部ヨコナギ、底部へラケズリ	口縁部へラケズリ	内面黒色処理	84
2	C208	SI104	床面	土師器	鉢	(15.2)×9.0×8.9	口縁部ヨコナギ、底部へラケズリ	口縁部へラケズリ	内面黒色処理	84
3	C209	SI104	P7	土師器	壺	(17.8)×(4.0)	口縁部ヨコナギ、底部ハナメ	口縁部ヨコナギ	内面黒色処理	84
4	C210	SI104	P10	土師器	壺	(25.0)×(10.2)	口縁部ヨコナギ、底部ハナメ	口縁部ヨコナギ	内面黒色処理	84
5	E067	SI104	床面	須恵器	环	(12.2)×(3.4)	ロクロ調整	ロクロ調整	内面黒色処理	84
6	E068	SI104	堆積土	須恵器	环	-(8.8)×(3.0)	ロクロ調整、底部下端へラケズリ	ロクロ調整	内面黒色処理	84
7	E069	SI104	床面	須恵器	高台付环	-(12.4)×(4.3)	ロクロ調整、底部下端斜板へラケズリ、高台輪付	ロクロ調整	高台	84
8	E070	SI104	床面	須恵器	壺	(15.8)×(5.4)	ロクロ調整	ロクロ調整	内面黒色処理	84

第146図 SI104 積穴住居跡出土遺物(2)

【出土遺物】土師器環1点、鉢1点、壺2点、須恵器環2点、高台付環1点、壺1点を掲載した。床面出土遺物は第145図・1・2、第146図・5・7・8である。

SI105 積穴住居跡(第147図)

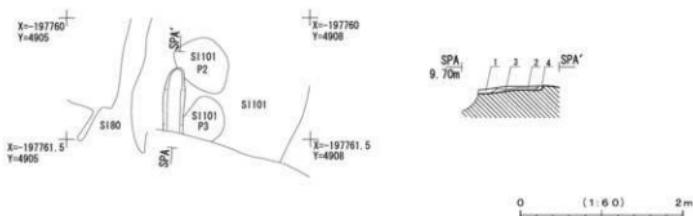
【位置・確認】3区B区西壁中央部、19グリッドに位置する。僅かに残存する煙道部のみを確認した。

【重複】SI80・101に切られる。

【方向】南北軸はN.3°-Eである。

【堆積土・構築土】4層に分層した。暗褐色シルトを主体とする。

【カマド】残存する煙道部の規模は、長さ78cm、幅22cmを測り、底面はほぼ平坦である。



SI105 堆積土柱記表

部位	層位	土 色	土 性	備 考
煙道	1	10YR3/4	暗褐色	シルト 5YR2/1 黒褐色シルトブロック少量、5YR4/4に5YR4/3に5YR4/2 黑褐色シルトブロック微量含む
	2	7.5YR2/3	暗褐色	シルト 5YR4/4に5YR4/3 黑褐色シルトブロック、10YR4/4 黑褐色シルトブロック、10YR4/2 黑褐色シルトブロック、灰化物含む
	3	10YR3/3	暗褐色	シルト 10YR3/2 黑褐色シルトブロック、10YR4/4 黑褐色シルトブロック含む
	4	10YR4/3	に5YR4/2 黑褐色	シルト

第147図 SI105 積穴住居跡

SI106 穫穴住居跡(第148～152図)

【位置・確認】3B区中央部南西、15・20グリッドで検出した。

【重複】SI109・121を切り、SI84に切られる。また、煙道部は擾乱により失われている。

【規模・形態】検出した規模は、長軸5.70m、短軸5.25mを測り、平面形状は隅丸方形を呈する。

【方向】住居跡の南北軸は、カマド基準でN-89°-Eである。

【堆積土・構築土】29層に分層した。炭化物を含む黒褐色ないし暗褐色シルトを主体とする。1～8層は住居堆積土、9～24層はカマド関連層位で、15・16層が抽構築土、20～24層がカマド掘り方堆積土である。25層は周溝堆積土、26層以下は掘り方堆積土である。

【壁面】残存する壁高は、いずれも25cm前後を測り、壁は直線的にやや外傾して立ち上がる。

【床面】5～8層下面を床面とし、ほぼ平坦である。

【柱穴】14基検出した。規模や位置関係からP1～4が主柱穴に相当すると考えられ、P2からは柱痕が確認された。また、各壁にはそれぞれ3基、合計12基の壁柱穴と考えられるピットが1～2.5m間隔で構築され、東壁と西壁、南壁と北壁の壁柱穴は、概ね対応する位置関係にある。このほか、掘り方掘削時においても壁柱穴と考えられるピット14基を含む23基を検出し、西壁南側に位置するP36・46では柱痕が確認された(第149図)。ここでは1軒の住居跡として記載したが、本住居跡が構築される前段階(建て替え前)の住居跡が存在した可能性は十分に考えられる。

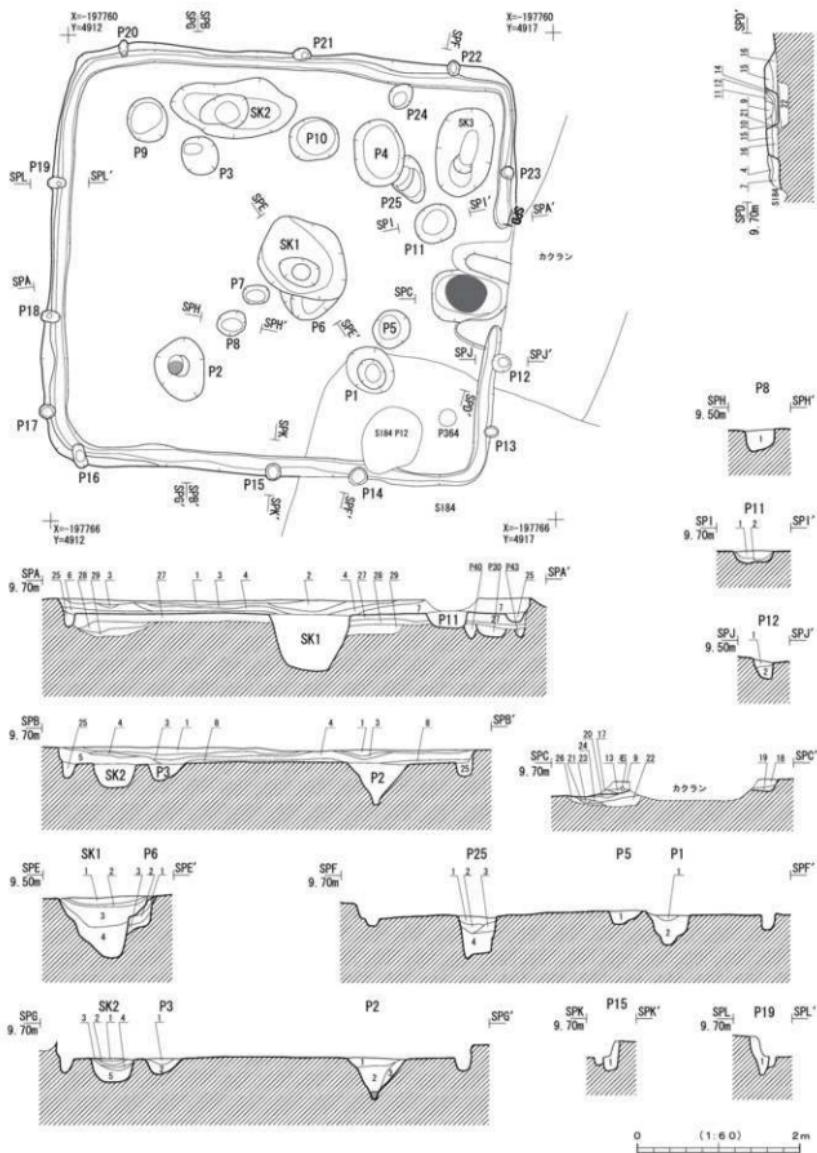
【周溝】東壁の一部を除き、壁際を全周する周溝を検出した。幅10～20cm、深さ8～20cmを測り、断面形状は逆台形ないしU字状を呈する。

【カマド】東壁中央部に構築され、煙道部は擾乱の影響で失われている。袖部の規模は、右袖が長さ75cm、幅45cm、左袖が長さ60cm、幅40cmを測り、東壁に直行して延びる。燃焼部の規模は幅71cm、奥行60cm、深さ10cmを測り、断面形状が逆台形を呈する浅い土坑状となり、底面からは径45cm程の火床面を検出した。煙出しが部はSD55東側で検出した。上端径34×25cm、深さ20cmを測り、ピット状に落ち込む。

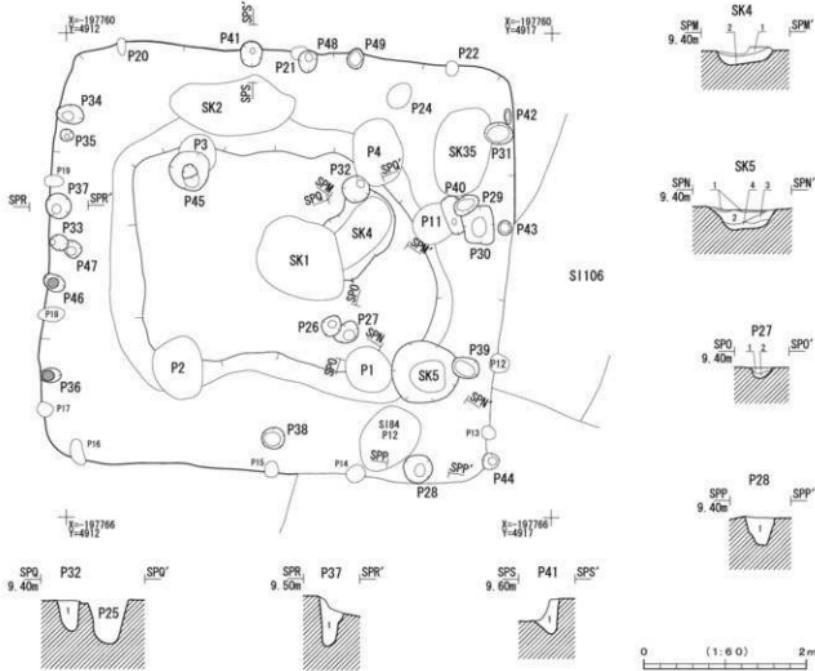
【その他の施設】床面から土坑3基(SK1～3)、掘り方掘削時に土坑2基(SK4・5)を検出した(第149図)。いずれの土坑も堆積土中に炭化物を含む。

【掘り方】中央部が高まり、四方の壁側が30cm程低くなる。

【出土遺物】土師器壺7点、鉢1点、甕10点のほか、須恵器蓋、盤、壺、甕、器種不明の須恵器、鉄製錆、砾石器、砥石を各1点掲載した。土師器壺の底部は丸底状のもの(第150図-1～5)と平底状(同図-6・8・9)に大別され、6は上げ底となる。第151図-17は口縁部が短く、胴下部が大きく膨らむ器形を呈する土師器甕である。器種不明とした須恵器(同図-20)は脚として図示したが、頸が付く口縁部の可能性もある。



第148図 SI 106竪穴住居跡(1)



SI106 植生土被記述

層位	層位	土色	土性	特徴
堆積土	1	10YR3-3	暗褐色	シルト 10YR4-1褐色シルト粘土、黄化物質、灰土粒少量含む
	2	10YR3-3	暗褐色	シルト 10YR4-1褐色シルト粘土、黄化物質、灰土粒少量含む
	3	N1 5'-	黒色	泥炭化程度高 10YR4-1褐色シルト粘土、黄化物質含む
	4	10YR3-3	暗褐色	シルト 10YR4-2(3) 黄褐色シルト粘土、10YR5-2(3) 黄褐色シルト粘土含む
	5	10YR3-3	暗褐色	シルト 10YR4-2(3) 黄褐色シルト粘土、黄化物質微量含む
	6	10YR3-4	暗褐色	シルト 10YR4-2(3) 黄褐色シルト粘土、黄化物質微量含む
	7	10YR3-3	暗褐色	シルト 10YR4-2(3) 黄褐色シルト粘土、10YR5-2(3) 黄褐色シルト粘土、黄化物質微量含む
	8	10YR3-2	黒褐色	砂質シルト 10YR4-2(3) 黄褐色シルト粘土、黄化物質微量含む
カマド	9	7.5YR2-2	黒褐色	シルト 5YR4-2(3) 黄褐色シルト粘土含む
	10	10YR2-3	黒褐色	シルト 10YR4-2(3) 黄褐色シルト粘土含む
	11	7.5YR3-2	黒褐色	シルト 5YR4-4(5) 黑褐色シルト粘土含む
	12	10YR3-3	暗褐色	シルト 10YR4-2(3) 黄褐色シルト粘土、5YR5-4(5) 黄褐色シルト粘土含む
	13	7.5YR3-2	黒褐色	シルト 10YR4-2(3) 黄褐色シルト粘土含む
	14	7.5YR3-3	黒褐色	シルト 5YR4-4(5) 黑褐色シルト粘土含む
	15	10YR4-4	褐色	砂質シルト 10YR3-2(3) 黑褐色シルト粘土含む、10YR4-3(3) 黄褐色シルト粘土含む (カマド)
	16	10YR3-3	暗褐色	砂質シルト 10YR4-4(3) 黄褐色シルト粘土、黄化物質微量含む (カマド)
	17	10YR3-2	黒褐色	シルト 10YR4-2(3) 黄褐色シルト粘土含む
	18	5YR2-2	黒褐色	シルト 5YR3-2(3) 黑褐色シルト粘土含む
雨濱	19	5YR1-7-3	黒色	シルト 10YR4-4(4) 黄褐色シルト粘土含む
	20	5YR4-4	12.3m-9褐色	シルト 5YR4-3(3) 黑褐色シルト粘土含む
	21	7.5YR3-2	黒褐色	シルト 10YR4-3(3) 黄褐色シルト粘土、黄化物質、7.5YR2-3(3) 黄褐色シルト粘土含む (カマド側の方)
	22	10YR3-3	暗褐色	シルト 7.5YR4-2(3) 黄褐色シルト粘土、黄化物質少量、5YR4-4(4) 黄褐色シルト粘土含む (カマド側の方)
排水	23	7.5YR2-2	黒褐色	シルト 7.5YR4-3(3) 黄褐色シルト粘土、5YR4-4(4) 黄褐色シルト粘土、黄化物質微量含む (カマド側の方)
	24	10YR4-3	12.3m-9褐色	シルト 10YR4-3(3) 黄褐色シルト粘土含む (カマド側の方)
	25	10YR3-3	暗褐色	シルト 10YR4-4(4) 黄褐色シルト粘土含む
排水沟	26	5YR2-1	黒褐色	シルト 7.5YR4-2(3) 黄褐色シルト粘土含む
	27	7.5YR3-3	暗褐色	シルト 10YR4-3(3) 黄褐色シルト粘土、黄化物質微量含む
	28	10YR3-3	暗褐色	シルト 10YR4-3(3) 黄褐色シルト粘土、10YR4-4(4) 黄褐色シルト粘土、黄化物質微量含む
	29	10YR4-3	12.3m-9褐色	砂質シルト 10YR4-4(4) 黄褐色シルト粘土含む

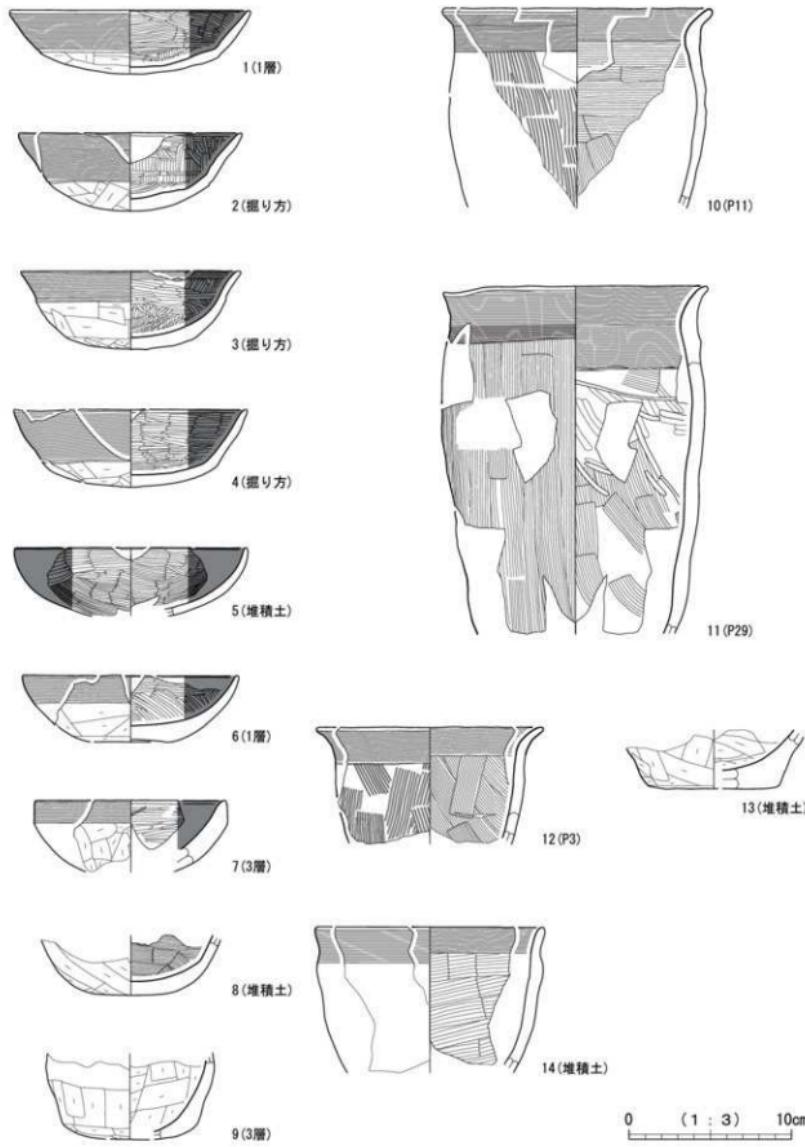
第149図 SI106 穴立住居跡(2)

S106 施設導地土記表

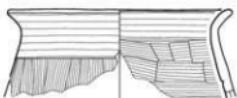
層位	層厚	土色	土性	備考
SK1	1	10YR2/3	暗褐色	シルト 10YR4/2暗褐色シルトプロック、10YR4/4暗褐色シルト粘、炭化物プロック含む
	2	10YR4/2	1に4a・黄褐色	砂質シルト 10YR4/6褐色砂質シルト粘含む
	3	10YR3/3	暗褐色	シルト 10YR4/4に2a・黄褐色シルトプロック、10YR4/4褐色シルトプロック、10YR4/2暗褐色シルトプロック、炭化物粘含む
	4	10YR3/2	黒褐色	シルト 10YR4/6褐色砂質シルトプロック、10YR4/3暗褐色シルトプロック、炭化物粘含む
SK2	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 10YR4/4褐色シルトプロック、10YR4/2暗褐色シルトプロック、炭化物粘含む
	2	10YR3/1	黒褐色	シルト 10YR4/7/1黒褐色シルトプロック、10YR4/3暗褐色シルトプロック含む
	3	10YR4/4	褐色	シルト 10YR4/3暗褐色シルトプロック含む
	4	10YR4/3	1に4a・黄褐色	シルト 10YR4/3暗褐色シルトプロック、炭化物粘少量含む
	5	10YR3/3	暗褐色	シルト 10YR4/4に2a・黄褐色シルトプロック、10YR4/4褐色砂質シルトプロック含む
SK4	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 10YR4/4褐色シルトプロック、5YR2/2暗褐色土プロック、5YR4/6赤褐色土プロック、炭化物粘少量含む
	2	7.5YR2/1	黒色	堆土 5YR4/6赤褐色土プロック、5YR4/1暗褐色土シルトプロック、10YR4/4に2a・赤褐色土プロック、炭化物粘少量含む
SK5	1	10YR4/3	1に4a・黄褐色	砂質シルト 10YR4/4褐色砂質シルト、炭化物粘少量含む
	2	5YR2/1	黒褐色	シルト 10YR4/4褐色シルトプロック、10YR4/3暗褐色土シルトプロック、炭化物粘少量含む
	3	10YR3/3	暗褐色	砂質シルト 5YR2/1黒褐色土シルトプロック含む
	4	10YR3/3	暗褐色	砂質シルト 7.5YR2/2暗褐色土シルトプロック、10YR4/3暗褐色土シルトプロック少量、5YR2/1黒褐色土シルトプロック微量、10YR4/4褐色シルトプロック含む
P1	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 10YR4/4褐色砂質シルトプロック、10YR4/2暗褐色シルト粘少量、炭化物粘微量含む
	2	10YR3/3	暗褐色	シルト 10YR4/4褐色シルトプロック、10YR4/3暗褐色砂質シルトプロック、10YR3/2黒褐色シルトプロック、5YR4/6に2a・赤褐色土シルト、炭化物粘少量含む
P2	1	10YR3/4	暗褐色	シルト 10YR4/4褐色砂質シルトプロック、10YR4/3暗褐色シルト粘少量、炭化物粘微量含む
	2	10YR3/3	暗褐色	シルト 10YR4/4褐色シルトプロック、10YR4/3暗褐色シルト粘少量、炭化物粘微量含む
	3	10YR4/4	褐色	シルト 10YR4/3暗褐色シルトプロック含む
P3	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 10YR4/4褐色砂質シルトプロック、10YR4/3暗褐色シルト粘少量、炭化物粘微量含む
	2	10YR3/4	暗褐色	シルト 10YR4/4褐色砂質シルトプロック含む
P5	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 10YR4/4褐色砂質シルトプロック含む
	2	10YR3/3	暗褐色	シルト 10YR4/4褐色砂質シルトプロック、5YR2/2暗褐色シルト土プロック含む
P6	2	10YR3/3	暗褐色	シルト 10YR3/4暗褐色シルトプロック、5YR4/4に2a・赤褐色土粘(径5mm以下)含む
	3	10YR3/2	黒褐色	シルト 10YR4/4褐色砂質シルトプロック含む
	4	10YR3/2	暗褐色	シルト 10YR4/4褐色砂質シルトプロック、10YR3/3暗褐色シルトプロック少量、炭化物粘微量含む
P8	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 10YR4/4褐色砂質シルトプロック、10YR3/2暗褐色シルトプロック少量、炭化物粘微量含む
	2	7.5YR2/1	暗褐色	シルト 10YR4/4褐色砂質シルトプロック、5YR2/2暗褐色シルトプロック少量、5YR4/6明赤褐色シルトプロック含む
P11	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 10YR4/4に2a・赤褐色土シルトプロック含む
	2	10YR4/3	1に4a・黃褐色	シルト 10YR4/4に2a・赤褐色土シルトプロック含む
P12	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 10YR4/4褐色シルト、炭化物粘、赤褐色土含む
	2	10YR3/2	黒褐色	シルト 10YR4/4褐色シルト微微量含む
P15	1	10YR3/2	黒褐色	シルト 10YR4/4褐色シルトプロック、10YR4/3暗褐色シルトプロック少量含む
	2	10YR3/3	暗褐色	シルト 10YR3/4暗褐色シルトプロック、10YR4/4暗褐色シルトプロック含む
P19	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 10YR4/4褐色砂質シルトプロック、10YR3/3暗褐色シルトプロック少量含む
	2	10YR3/3	暗褐色	シルト 10YR4/4褐色砂質シルトプロック、5YR2/1暗褐色シルトプロック含む
P25	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 10YR4/4褐色シルトプロック含む
	2	10YR4/4	暗褐色	シルト 10YR4/4褐色シルトプロック含む
	3	10YR3/2	暗褐色	シルト 7.5YR2/1暗褐色シルトプロック、5YR4/6赤褐色土シルトプロック含む
	4	10YR3/3	暗褐色	シルト 10YR4/4褐色シルトプロック、10YR4/2暗褐色シルトプロック含む
P27	1	5YR3/1	黒褐色	シルト 10YR4/4暗褐色シルトプロック、5YR4/4に2a・赤褐色土粘(径5mm以下)含む
	2	10YR4/4	褐色	砂質シルト 10YR4/4に2a・赤褐色土シルトプロック含む
P28	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 10YR4/4褐色シルトプロック含む
	2	10YR3/3	暗褐色	シルト 10YR4/4褐色シルトプロック少量含む
P32	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 7.5YR2/3暗褐色シルトプロック、10YR4/4暗褐色シルトプロック、5YR4/4に2a・赤褐色土粘(径5mm以下)含む
	2	10YR3/3	暗褐色	シルト 10YR4/4褐色シルトプロック少量含む
P41	3	10YR3/3	暗褐色	シルト 10YR4/4褐色シルトプロック含む

S106 施設難耕面

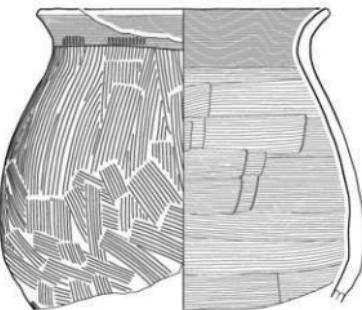
過橋名	平面形	寬幅(cm)	深さ(cm)	備考	過橋名	平面形	寬幅(cm)	深さ(cm)	備考
SK1	不整形	95×28	72		P23	平面形	18×15	33	
SK2	不整形	155×69	52		P24	椭円形	32×26	12	
SK3	椭円形	112×70	43		P25	椭円形	(41)×(40)	58	
SK4	椭円形	(95)×(72)	16	偏心方傾斜	P26	円形	25×24	18	偏心方傾斜
SK5	円形	(82)×(82)	26	偏心方傾斜	P27	半円形	(31)×(25)	12	*
P1	円形	60×53	35		P28	円形	37×34	31	*
P2	椭円形	78×52	56		P29	椭円形	33×22	7	*
P3	円形	45×44	46		P30	不整形	(45)×(39)	16	*
P4	椭円形	83×62	23		P31	椭円形	36×26	22	*
P5	円形	47×47	22		P32	円形	33×31	29	*
P6	半円形	(55)×(38)	39		P33	円形	21×18	42	*
P7	椭円形	32×23	8		P34	椭円形	33×23	37	*
P8	円形	36×30	36		P35	円形	17×14	36	*
P9	円形	53×50	18		P36	椭円形	25×18	36	*
P10	円形	60×53	15		P37	円形	31×30	62	*
P11	円形	51×47	19		P38	円形	30×29	11	*
P12	円形	22×23	24		P39	椭円形	32×27	12	*
P13	円形	22×23	24		P40	椭円形	(20)×(15)	25	*
P14	円形	21×21	5		P41	椭円形	30×25	53	*
P15	椭円形	22×18	52		P42	椭円形	18×7	43	*
P16	椭円形	30×21	43		P43	円形	17×17	36	*
P17	円形	20×17	41		P44	円形	19×18	32	*
P18	椭円形	24×15	37		P45	椭円形	(50)×(41)	44	*
P19	椭円形	22×13	51		P46	椭円形	27×19	43	*
P20	椭円形	19×10	24		P47	半円形	(20)×(17)	18	*
P21	椭円形	22×14	21		P48	椭円形	25×22	55	*
P22	椭円形	17×15	43		P49	椭円形	26×21	35	*



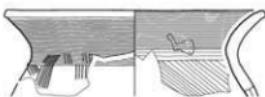
第150図 SI106竪穴住居跡出土遺物(1)



15(振り方)



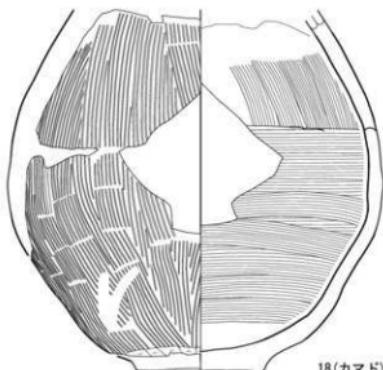
17(堆積土)



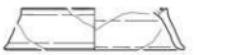
16(堆積土)



19(堆積土)



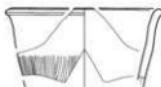
18(カマド)



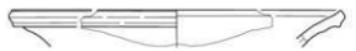
20(堆積土)



21(堆積土)

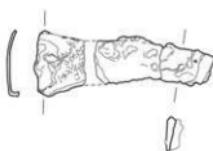


22(堆積土)



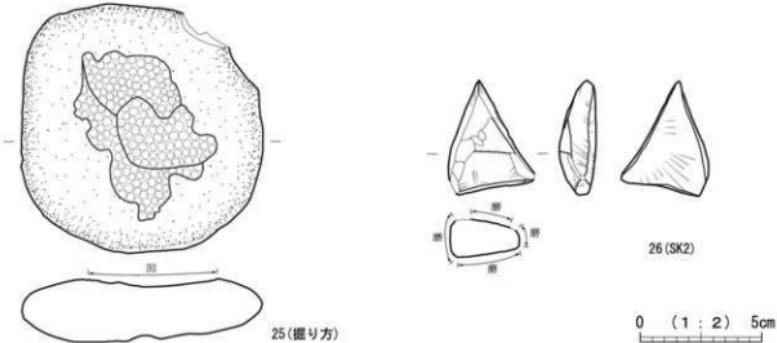
23(カマド)

0 (1 : 3) 10cm



24(床面)

第151図 SI106竪穴住居跡出土遺物(2)



図版番号	出土遺構	層位	種別	目録	口径×底径×高さ(cm)	外 面 調 査	内 面 調 査	備 考	写真 図版	
1	C-212	SI106	1層	土塗器	环 (14.6)×(13.9)	口縁部～体部ヨコナギ、底部ヘラケズリ	口縁部～底部ヘラケズリ	内面黒色処理	84	
2	C-214	SI106	掘り方	土塗器	环 (13.6)×(14.8)	口縁部～体部ヨコナギ、底部ヘラケズリ	口縁部～底部ヘラケズリ	内面黒色処理	84	
3	C-215	SI106	掘り方	土塗器	环 (13.4)×(14.8)	口縁部ヨコナギ、体部～底部ヘラケズリ	口縁部ヨコナギ、体部～底部ヘラケズリ	内面黒色処理	84	
4	C-217	SI106	掘り方	土塗器	环 (14.2)×(14.8)	口縁部～体部ヨコナギ、底部ヘラケズリ	口縁部～底部ヘラケズリ	内面黒色処理	84	
5	C-215	SI106	堆積土	土塗器	环 (14.2)×(14.2)	口縁部～底部ヘラケズリ	口縁部～底部ヘラケズリ	内面黒色処理	84	
6	C-218	SI106	1層	土塗器	环 (13.2)×(10.0)×(4.1)	口縁部ヨコナギ、体部～底部ヘラケズリ	口縁部～底部ヘラケズリ	内面黒色処理	84	
7	C-213	SI106	3層	土塗器	环 (11.6)×(14.4)	口縁部ヨコナギ、体部ヘラケズリ	口縁部～底部ヘラケズリ	内面黒色処理	84	
8	C-211	SI106	堆積土	土塗器	美 ×(3.0)×(3.7)	側部～底部ヘラケズリ	側部～底部ヘラケズリ	84		
9	C-219	SI106	3層	土塗器	美 ×(6.2)×(5.3)	側部～底部ヘラケズリ	側部～底部ヘラケズリ	84		
10	C-223	SI106	P1	土塗器	美 (16.4)×(12.3)	口縁部ヨコナギ、側部ヘラケズリ	口縁部ヨコナギ、側部ヘラナデ	84		
11	C-224	SI106	P29	土塗器	美 16.0×(21.4)	口縁部ヨコナギ、側部ヘラナデ	口縁部ヨコナギ、側部ヘラナデ～ヘラミガキ	85		
12	C-222	SI106	P2	土塗器	美 (12.8)×(7.2)	口縁部ヨコナギ、側部ヘラケズリ	口縁部ヨコナギ、側部ヘラナデ	内面凹凸摩滅	84	
13	C-221	SI106	堆積土	土塗器	美 ×(8.0)×(3.7)	側部～底部ヘラケズリ	側部～底部ヘラケズリ	84		
14	C-220	SI106	堆積土	土塗器	朴 (13.8)×(9.0)	口縁部ヨコナギ、体部摩滅	口縁部ヨコナギ、側部ヘラナデ	84		
15	C-225	SI106	掘り方	土塗器	美 (13.6)×(5.5)	口縁部ヨコナギ、側部ヘラナデ	口縁部ヨコナギ、側部ヘラナデ	85		
16	C-226	SI106	堆積土	土塗器	美 (15.7)×(5.3)	口縁部ヨコナギヨコナギ、側部ヘラケズリ	口縁部ヨコナギ、側部ヘラナデ	85		
17	C-227	SI106	堆積土	土塗器	美 (17.7)×(18.5)	口縁部ヨコナギ、側部ヘラケズリ	口縁部ヨコナギ、側部ヘラナデ	85		
18	C-228	SI106	カマツ	土塗器	美 ×(7.5)×(22.3)	側部ヘラヌメ、底部附近ヘラケズリ	側部ヘラナデ	85		
19	E-071	SI106	カマツ	埴造器	壁 (18.7)×(18.6)×(1.2)	クロロ調整	クロロ調整	85		
20	E-072	SI106	堆積土	埴造器	不明 ×(10.9)×(2.6)	クロロ調整	クロロ調整	85		
21	E-073	SI106	4層	埴造器	美 (15.8)×(12.0)	クロロ調整	クロロ調整	外面部自然施	85	
22	E-074	SI106	堆積土	埴造器	美 (9.2)×(4.9)	クロロ調整、面部ヘラナデ～ロクロナデ	クロロ調整	85		
23	E-075	SI106	カマツ	埴造器	美 (10.1)×(2.3)	クロロ調整	クロロ調整	85		
24	N-009	SI106	床面	瓦製品	縫 残存長11.3cm、最大幅4.1cm、厚0.6cm		備 考		写真 図版	
図版番号	出土遺構	層位	種別	目録	分析	重 量 (g)	石 材	備 考	写真 図版	
25	Kc-091	SI106	掘り方	理石器	碧石	-	10.3×10.0×3.0	248.00 凝灰岩	完形品、均縫、凹一面(後)深さ(浅)	85
26	Kd-024	SI106	SK2	石製品	硬石	-	6.7×3.6×1.5	17.24 凝灰岩	完形品、面取右、板状、無孔	85

第152図 SI 106堅穴住居跡出土遺物(3)

SI107 壁穴住居跡(第153・154図)

[位置・確認] 3B区南西端、8・12グリッドに位置する。

[重複] SI83・87、SD42・55に切られる。南側は調査区外の擾乱により失われている。

[規模・形態] 残存する部分の規模は、長軸4.63m、短軸3.72mを測り、平面形状はいびつな隅丸方形を呈するものと思われる。

[方向] 住居跡の南北軸は、西壁基準でN-25°-Wである。

[堆積土・構築土] 5層に分層した。炭化物を含む暗褐色シルトを主体とする。1・2層は住居堆積土、3・4層は周溝堆積土、5層は掘り方堆積土である。

[壁面] 残存する壁高は、東壁8cm、西壁13.3cm、北壁20cmを測り、壁は直線的に外傾して立ち上がる。

[床面] 2層下面を床面とし、ほぼ平坦である。土坑1基を検出した。

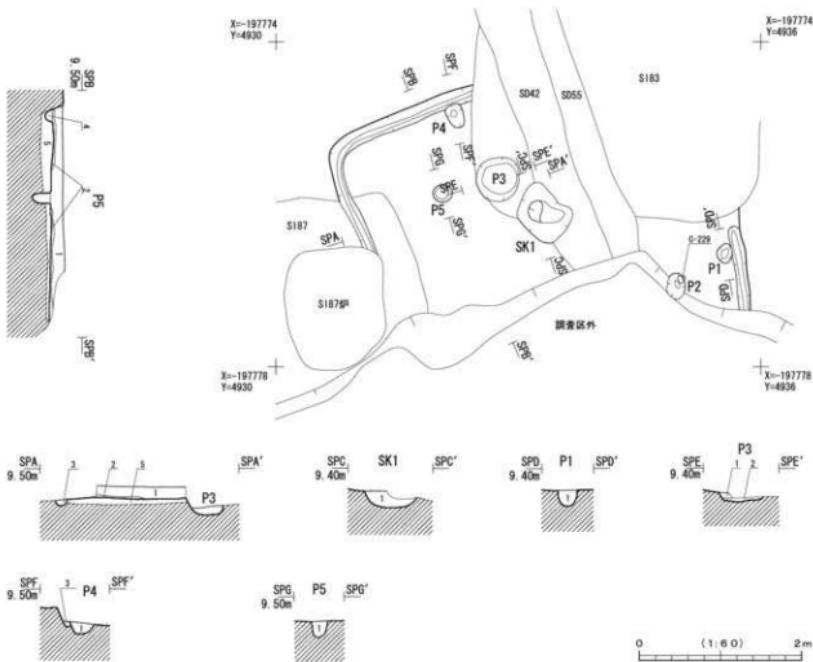
[柱穴] 5基検出した。いずれも柱痕は確認されなかった。

[周溝] 残存する部分においては壁際をほぼ全周する周溝を検出した。規模は幅13～20cm、深さ3～7cmを測り、断面形はU字状を呈する。

[その他の施設] 土坑を1基検出した。

[掘り方] ほぼ平坦である。

[出土遺物] 土師器壺3点を掲載した。



第153図 SI107壁穴住居跡

SI107 堆積土試験記表

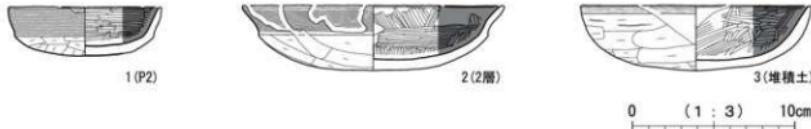
部位	層位	土色	土性	備考
堆積土	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 砂多量、地山ブロック、炭化物、遺物少量含む
	2	10YR3/3	暗褐色	シルト 地山ブロック多量含む
陶謫	3	10YR3/3	暗褐色	シルト 地山ブロック含む
	4	10YR3/2	黒褐色	シルト 炭化物および灰土粉(粒1~3mm)微量、SYR4.6赤褐色含む
陶謫	5		シルト	地山砂シルト:10YR3.2暗褐色シルト、10YR3.3暗褐色シルトのブロック層 7.5YR6.0褐色シルト:鉛鉱質含む

SI107 施設堆積土試験記表

部位	層位	土色	土性	備考
SK1	1	10YR3/1	黒褐色	シルト 地山ブロック含む
P1	1	10YR3/1	黒褐色	シルト 地山ブロック少量含む
P3	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 地山ブロック、炭化物少量、7.5YR5.6明褐色地土粒微量含む
	2	10YR3/3	暗褐色	シルト 炭化物、7.5YR5.6明褐色地土粒微量含む
P4	1	10YR4/3	にじみ暗褐色	シルト 炭化物、2.5YR4.6赤褐色地土ブロック含む
P5	1	10YR3/2	黒褐色	シルト

SI07 施設剖面図

遺構名	平面形	規模(cm)	深さ(cm)	備考	遺構名	平面形	規模(cm)	深さ(cm)	備考
SK1	不整形	72×53	23		P3	円形	55×53	14	
P1	円形	25×17	26		P4	円形	30×18	12	
P2	円形	30×20	38		P5	円形	22×22	23	



回復番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真回数	
1	C-229	SI107	F2	土加厚	环	9.4×3.0	1層部ヨコナギ、底部ヘラクゼリ	1層基部~底部ヘラクゼリ	内面黑色処理	85
2	C-230	SI107	2層	土加厚	环	16.0×4.0×4.0	1層部ヨコナギ、体部~底部ヘラクゼリ	1層部~底部ヘラクゼリ	内面黑色処理	85
3	C-231	SI107	堆積土	土加厚	环	(14.1)×4×4.0	1層部ヨコナギ、体部~底部ヘラクゼリ	1層部~底部ヘラクゼリ	内面黑色処理	85

第154図 SI107 積穴住居跡出土遺物

SI108 積穴住居跡(第155~157図)

【位置・確認】3B区西側北部、29・30・34・35グリッドに位置する。

【複重】SI96に切られる。

【規模・形態】検出した部分の規模は、東壁4.54m、西壁4.25m、南壁4.46m、北壁4.50mを測り、平面形状は隅丸方形を呈する。

【方向】住居跡の南北軸は、カマド基準でN-10°Eである。

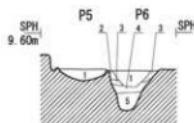
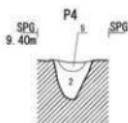
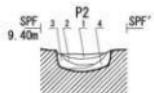
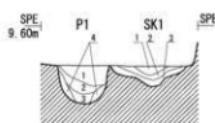
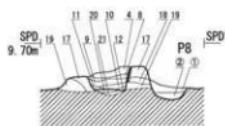
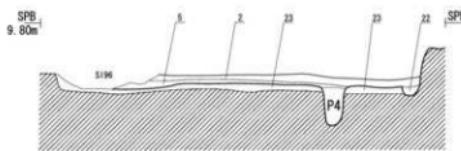
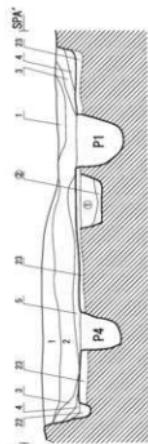
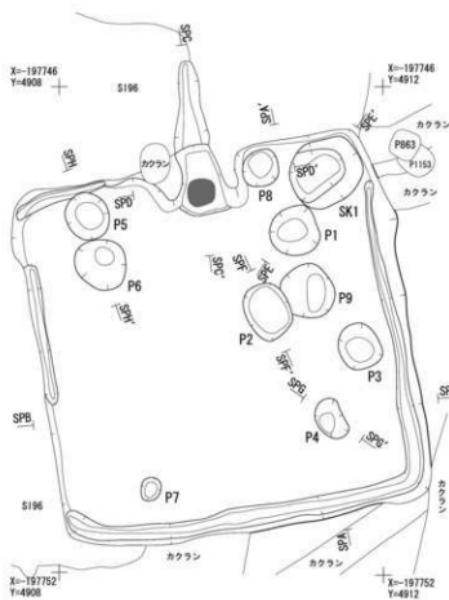
【堆積土・構築土】23層に分層した。1~5層は住居堆積土で、3~4層は壁際の三角堆積層である。6~21層はカマド関連層位で、17~20層はカマド抽構築土である。22層は周溝堆積土、23層は掘り方堆積土である。

【壁面】残存する壁高は、東壁31~48cm、西壁14~44cm、南壁20~44cm、北壁13~24cmを測り、壁は直線的にやや外傾して立ち上がる。

【床面】2~5層下面を床面とする。全体的に僅かな起伏がみられるものの、概ね平坦である。

【柱穴】9基検出した。規模や位置関係からみてP1・4・6が主柱穴に相当すると考えられる。南西にはP7が位置するが、これが主柱穴に相当するか否かについては判然としない。カマド右袖の東側に隣接するP8は、堆積土中に焼土ブロックを含むことから、カマドに関連する施設の可能性が考えられる。

【周溝】カマド周辺、東壁北側、西壁北側の一部および南側を除き、壁面直下から周溝を検出した。幅4~21cm、深さ6~11cmを測り、断面形状はU字状を呈する。



0 (1:60) 2m

第155図 SI108竪穴住居跡

SI108 掘植土試験記

部位	層位	土 色	土 性	備 考
堆積土	1	10YR3-2	黒褐色	シルト 10YR3-3暗褐色シルトブロック、10YR4-4褐色シルトブロック含む。炭化物微量含む。
	2	10YR3-3	暗褐色	シルト 10YR3-2黒褐色シルトブロック、10YR4-4褐色シルトブロック、10YR4-3II-A1-黄褐色シルトブロック少量含む。
	3	10YR3-3	暗褐色	シルト 10YR4-3II-B1-黄褐色シルトブロック含む。
	4	10YR3-2	黒褐色	シルト 10YR4-3II-C1-黄褐色含む。
	5	10YR3-3	暗褐色	砂質シルト 10YR4-3II-C1-黄褐色シルトブロック、10YR4-4褐色シルトブロック、10YR2-2黒褐色シルトブロック含む。
カマド	6	10YR3-3	暗褐色	シルト 10YR4-3II-C1-黄褐色シルトブロック含む。SYR4-6赤褐色塊十粒(径5mm)微量含む。
	7	10YR3-3	暗褐色	シルト 10YR4-3II-C1-黄褐色シルトブロック含む。
	8	10YR3-2	黒褐色	シルト 10YR4-3II-C1-黄褐色シルトブロック、7.5YR2-3暗褐色シルトブロック含む。
	9	10YR4-2	灰黃褐色	シルト SYR4-4II-C1-黒褐色塊十粒、5YR4-6赤褐色塊十粒、炭化物微量含む。
	10	7.5YR3-1	黒褐色	シルト SYR4-4II-C1-黒褐色塊十粒、炭化物微量含む。
	11	7.5YR2-2	黒褐色	シルト 10YR4-3II-C1-黄褐色シルトブロック、SYR4-6赤褐色塊十粒、炭化物微量含む。
	12	7.5YR3-3	暗褐色	シルト SYR4-4II-C1-黒褐色シルトブロック、5YR4-6赤褐色塊十粒、炭化物微量含む。
	13	7.5YR2-1	黑色	シルト SYR4-4II-C1-黒褐色シルトブロック少量、SYR4-4II-C1-赤褐色シルトブロック(径2~3mm)、7.5YR4-4褐色シルトブロック含む。(土塊)
	14	2.5Y4/3	オリーブ褐色	砂質シルト SYR4-4II-C1-黒褐色シルトブロック含む。
	15	10YR4-3	にじみ 黄褐色	シルト SYR4-4II-C1-黒褐色シルトブロック含む。
	16	2.5Y4/3	オリーブ褐色	砂質シルト SYR4-4II-C1-黒褐色シルトブロック含む。
	17	10YR4-3	にじみ 黄褐色	砂質シルト (カマド窓)
	18	10YR4-2	灰 黄褐色	砂質シルト (カマド窓)
	19	10YR5-4	にじみ 黄褐色	砂質シルト (カマド窓)
	20	10YR4-2	灰 黄褐色	砂質シルト 炭化物、燒土ブロック含む。
	21	2.5YR3-3	暗褐色	砂質シルト (カマド窓)の方
回溝	22	10YR3-3	暗褐色	シルト 10YR5-4にじみ 黄褐色ブロック、炭化物微量含む。
廻り方	23	10YR3-3	暗褐色	シルト 10YR4-4褐色シルトブロック含む。

SI108 掘跡堆積土試験記

部位	層位	土 色	土 性	備 考
SK1	1	2.5Y4/2	暗褐 黄色	粘質シルト 10YR5-4にじみ 黄褐色、炭化物微量含む。
	2	10YR2-2	黒褐色	粘質シルト 炭化物微量含む。
	3	10YR5-4	にじみ 黄褐色	粘質シルト 10YR3-3暗褐色ブロック含む。
P1	1	10YR3-3	暗褐色	粘質シルト 10YR5-4にじみ 黄褐色ブロック、炭化物微量含む。
	2	10YR3-3	暗褐色	粘質シルト 10YR5-4にじみ 黄褐色ブロック含む。
P2	3	10YR4-2	灰 黄褐色	粘質シルト 10YR3-3暗褐色ブロック含む。
	4	10YR5-4	にじみ 黄褐色	粘質シルト 10YR3-3暗褐色ブロック含む。
P4	1	2.5Y3-3	暗オリーブ褐色	砂質シルト 10YR5-4にじみ 黄褐色ブロック、炭化物微量含む。
	2	10YR3-2	黒褐色	粘質シルト 10YR4-4褐色シルトブロック含む。
P5	1	7.5TR2-2	黒褐色	シルト 10YR4-4褐色シルトブロック、SYR4-6赤褐色塊十粒、SYR2-2黒褐色塊十粒微量含む。 SYR4-3II-C1-黒褐色塊十粒微量含む。
P6	1	10YR3-3	暗褐色	シルト 10YR4-4褐色シルトブロック、SYR4-6赤褐色塊十粒微量含む。
	2	10YR3-2	黒褐色	シルト 10YR4-4褐色シルトブロック、SYR4-6赤褐色塊十粒微量含む。
	3	10YR3-3	暗褐色	シルト 10YR4-4黒褐色シルトブロック、SYR4-6赤褐色シルトブロック含む。
P8	4	10YR3-2	黒褐色	シルト 10YR4-4黒褐色シルトブロック、SYR4-6赤褐色シルトブロック含む。
	5	10YR3-3	暗褐色	シルト SYR4-6赤褐色シルトブロック、SYR5-4にじみ 黄褐色ブロック含む。
	1	5YR3-3	暗褐色	シルト SYR4-6赤褐色シルトブロック、SYR5-4にじみ 黄褐色ブロック含む。
P9	2	10YR4-3	にじみ 黄褐色	砂質シルト 焼土微量含む。
P9	1	10YR4-3	にじみ 黄褐色	シルト 10YR3-3暗褐色ブロック、10YR4-2黒褐色ブロック含む。
	2	10YR3-4	暗褐色	シルト 10YR5-4にじみ 黄褐色ブロック含む。

SI108 掘跡標本

遺構名	平面形	発現(cm)	深さ(cm)	備 考	遺構名	平面形	発現(cm)	深さ(cm)	備 考
SK1	小整形	90×80	40		P5	円形	50×32	15	
P1	不整形	59×61	55		P6	不整形	65×61	51	
P2	椭円形	69×54	24		P7	楕円形	36×23	39	
P3	小整形	58×50	14		P8	円形	44×44	11	
P4	不整形	53×34	46		P9	不整形	66×60	28	



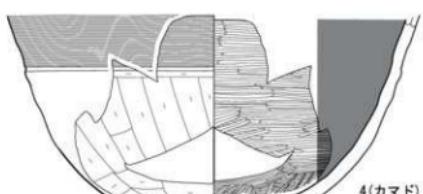
1(堆積土)



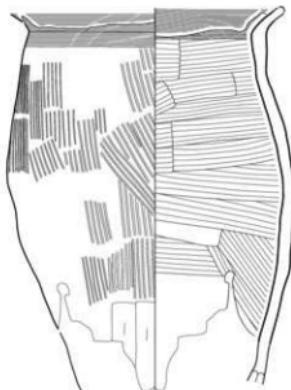
2(P6)



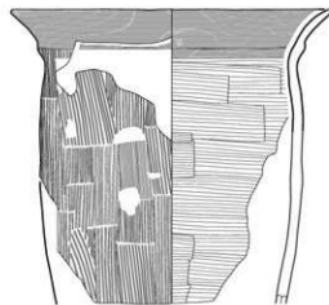
3(P6)



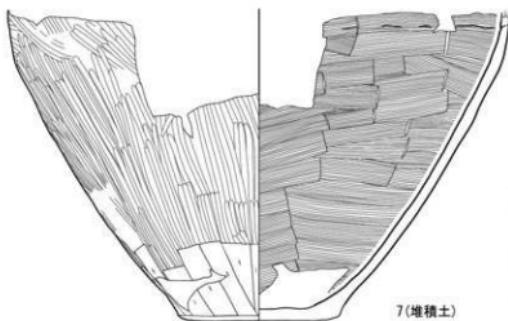
SI108 穴室住居跡出土遺物(1)



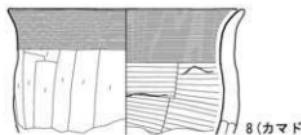
5(カマド)



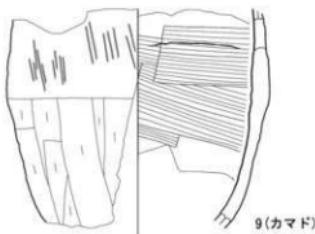
6(堆積土)



7(堆積土)



8(カマド)



9(カマド)



10(堆積土)

0 (1 : 3) 10cm

第157図 SI108竪穴住居跡出土遺物(2)

図版番号	登録番号	出土遺物	層位	種別	器種	口径×底径×高さ(cm)	外面調査	内面調査	備考	写真回数
1	C232	SI108	堆積土	土師器	环	(18.6)×(2.4)	口縁部コナギ、体部ヘラケヅリ	口縁部～一部ヘラミガキ	内面黒色処理	86
2	C234	SI108	P6	土師器	环	(14.4)×(3.9)	口縁部コナギ、体部ヘラケヅリ	口縁部～一部ヘラミガキ	内面黒色処理	86
3	C235	SI108	P6	土師器	环	(15.0)×(2.9)	口縁部コナギ、体部ヘラケヅリ	口縁部～一部ヘラミガキ	内面黒色処理	86
4	C233	SI108	カゲツ	土師器	环	×(7.4)×(12.3)	口縁部コナギ、体部～底部ヘラケヅリ	口縁部～底部ヘラミガキ	内面黒色処理	86
5	C239	SI108	カゲツ	土師器	束	××(23.1)	口縁部コナギ、側部ヘラケヅリ	口縁部コナギ、側部ヘラナフ	側下部の重み調査	86
6	C249	SI108	堆積土	土師器	束	(19.6)×(18.1)	口縁部コナギ、側部ヘラケヅリ	口縁部コナギ、側部ヘラナフ		86
7	C226	SI108	堆積土	土師器	束	×10.0×(19.2)	側部ヘラミガキ、底部付近ヘラケヅリ	側部ヘラナフ		86
8	C238	SI108	カゲツ	土師器	束	(14.5)×(7.8)	口縁部コナギ、側部ヘラケヅリ	口縁部コナギ、側部ヘラナフ		86
9	C237	SI108	カゲツ	土師器	束	××(13.5)	側部ヘラミガキ、側部ヘラケヅリ、摩滅	側部ヘラナフ		86
10	E4076	SI108	堆積土	堆積土	束	××(4.8)	口縫調整+平行引目	粘土接合板	外観自然軸	86

【カマド】北壁中央部に構築される。袖部は左袖が長さ80cm、幅30cm、右袖は長さ50cm、幅35cmを測り、北壁に直行するように延びる。燃焼部の規模は、幅25～74cm、奥行き114cmを測り、奥壁側の幅が狭くなる。燃焼部底面からは径32cmを測る火床面を検出した。煙道部は長さ104cm、幅22～48cm、深さ7cmを測り、底面は末端に向かって高くなる。

【その他の施設】土坑を1基検出した。SK1は北東コーナーに位置し、2層では炭化物の集積が確認された。50cm程西に近接するP8と同様に、カマドに関連する施設の可能性が考えられる。

【掘り方】西側に僅かな起伏がみられるものの、概ね平坦である。

【出土遺物】土師器壺3点、鉢1点、甕5点、須恵器甕1点を掲載した。第156図-4・第157図-5・8・9がカマド出土遺物である。第157図-7の内外面底部には、タール状物質の付着が認められる。

SI109 窓穴住居跡(第158～165図)

【位置・確認】3区B区南西部、15グリッドに位置する。

【重複】SI84・106に切られる。SD67との重複関係は不明である。

【規模・形態】検出した部分の規模は、長軸4.93m、短軸4.82mを測り、平面形状は隅丸長方形を呈する。

【方向】住居跡の南北軸は、西辺基準でN-36°Wである。

【堆積土・構築土】13層に分層した。暗褐色シルトを主体とし、1～6層は住居堆積土、7～9層はカマド関連層位で、7・8層が火床面、9層が袖構築土である。10層は周溝堆積土、11層以下は掘り方堆積土である。

【壁面】残存する壁高は、東壁10cm、西壁および南壁30cm、北壁24cmを測り、壁はやや外反気味に立ち上がる。

【床面】2・3層下面を床面とし、ほぼ平坦である。

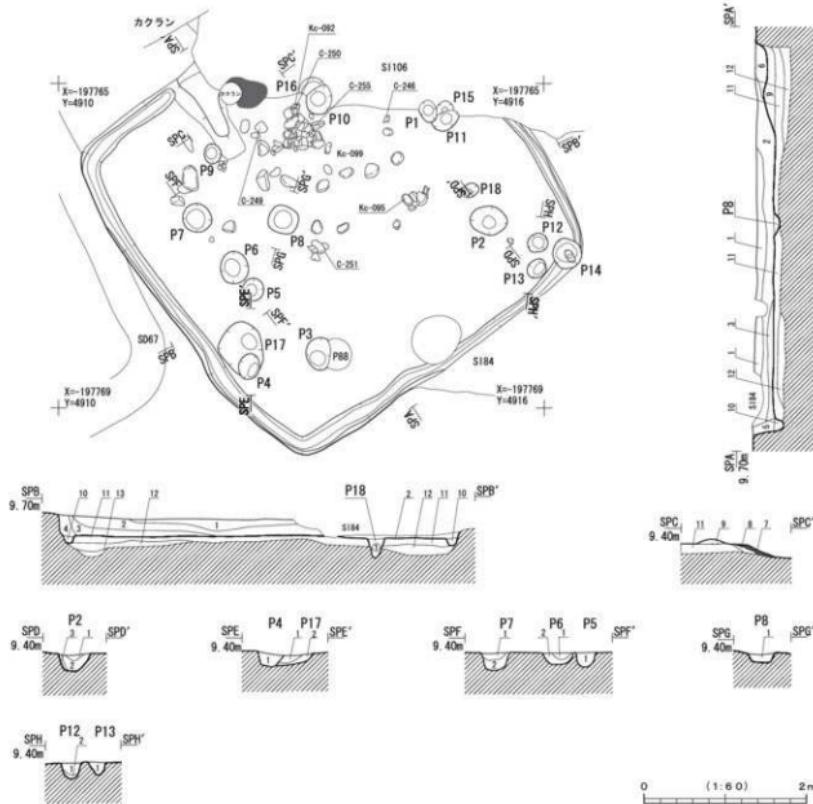
【柱穴】18基検出した。規模や位置からみて、P2・3・7が主柱穴に相当すると考えられる。

【周溝】SI106に切られている部分とカマド直下を除き、壁際を全周する周溝を検出した。幅10～30cm、深さ6～9cmを測り、断面形は逆台形を呈する。

【カマド】北辺中央部に構築される。煙道部の大部分と右袖は、SI106と搅乱の影響により失われている。左袖は長さ120cm、幅45cmを測り、北辺に直行して延びる。燃焼部は幅50cm、奥行き40cmを測り、奥壁側からは径45cm前後を測る火床面を検出した。残存する部分の煙道部の規模は、検出長35cm、幅14cm、深さ3cm程を測る。

【掘り方】中央部に高まりがみられ、壁に向かって起伏を持ちながら傾斜する。

【出土遺物】本住居跡は堆積土中から多くの土器・石器が出土した。とりわけカマド周辺から住居跡中央部にかけて多数の甕が出土しており、こうした遺物出土の在り方は、他の窓穴住居跡と比べて異質である。土師器壺5点、高杯2点、蓋2点、甕6点、瓶1点、ミニチュア2点、円筒形土製品1点、礫石器10点、用途不明石製品1点、石製効鍊車1点を掲載した。第159図-1は、いわゆる在地系、同図-3～5は、いわゆる関東系の特徴を有する土師器壺である。土師器高杯(同図-6・7)は、いずれも壺部が強く屈曲し、ラッパ状に張り出す器形を呈する。土師器蓋(同



SI109 墓塚土註記表

部区	級	土色	土性	備考
堆積土	1	10YR3-2	黒褐色	シルト 10YR4-4 黒褐色シルト粒、10YR3-3暗褐色シルト粒少量、炭化物含む
	2	10YR2-3	黒褐色	シルト 10YR5-2 黑褐色シルト、10YR4-3 黑褐色シルト、10YR4-4 黑褐色シルトブロック少量含む
	3	10YR3-3	暗褐色	シルト 10YR3-2 黑褐色シルトブロック、10YR4-4 黑褐色シルトブロック、10YR4-6 黑褐色シルトブロック少量含む
	4	10YR3-3	暗褐色	シルト 10YR3-2 黑褐色シルトブロック、10YR4-4 黑褐色シルトブロック少量含む
	5	10YR3-3	暗褐色	シルト 10YR4-1 黑褐色シルト粒含む
	6	10YR3-4	暗褐色	シルト 10YR3-2 黑褐色シルトブロック、10YR4-4 黑褐色シルトブロック少量含む
カマド	7	7.5YR3-4	暗褐色	7.5YR2-2 黑褐色地土粒含む
	8	7.5YR4-4	褐色	7.5YR4-3 黑褐色地土粒、10YR3-3 砂少量含む
	9	10YR4-4	褐色	シルト 10YR3-3 黑褐色シルトブロック少量含む
廻溝	10	7.5J1/2	黒褐色	埴山ブロック少々、炭化物少量含む
	11	10YR5-8	黒褐色	砂質シルト 10YR4-1 褐色シルトブロック、10YR3-3 暗褐色シルト粒含む
	12	10YR3-3	暗褐色	砂質シルト 10YR4-1 (2) 黑褐色砂質シルトブロック、10YR4-6 暗褐色砂質ブロック含む
	13	10YR5-3	1.5J1-4 黒褐色	砂質シルト 10YR3-3 暗褐色砂質ブロック、10YR4-6 暗褐色砂質シルトブロック含む

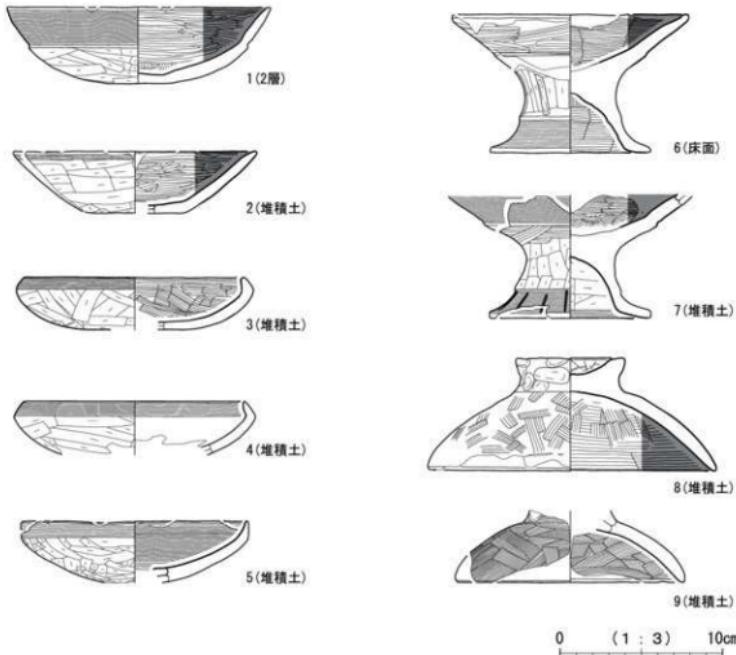
第158図 SI109堅穴住居跡

SI109 施設堆積土試験表

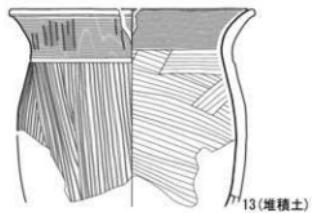
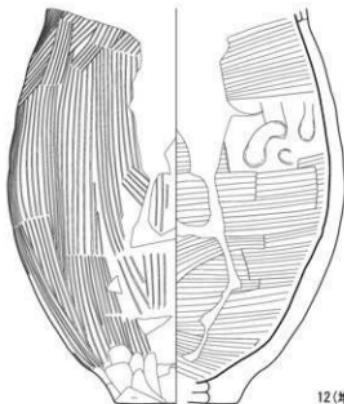
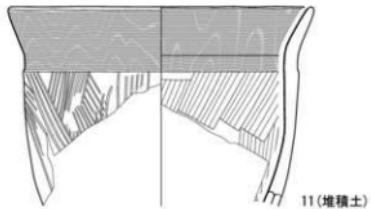
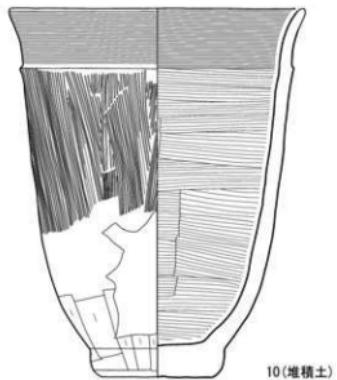
部位	層位	土色	土性	備考
P2	1	10YR3-2	黒褐色	粘土質シルト 10YR4-4褐色シルト鉢含む
	2	10YR3-3	暗褐色	シルト 10YR4-4褐色鉢質シルトブロック含む
	3	10YR4-4	褐色	砂質シルト 10YR4-4褐色シルトブロック少量含む
P4	1	10YR3-2	暗褐色	シルト 10YR4-4褐色シルトブロック少量含む
P5	1	10YR3-4	暗褐色	砂質シルト 10YR4-4褐色鉢質シルトブロック含む
P6	1	10YR3-3	暗褐色	砂質シルト 10YR4-2黒褐色シルトブロック、灰化物少量含む
	2	10YR4-3	棕褐色-栗褐色	砂質シルト 10YR4-4褐色鉢質シルトブロック含む
P7	1	10YR4-2	灰褐色	シルト 10YR4-4褐色シルトブロック、10YR3-2黒褐色シルトブロック少量含む
	2	10YR4-3	棕褐色-栗褐色	砂質シルト 10YR4-4褐色鉢質シルトブロック、10YR3-2黒褐色シルトブロック少量含む
P8	1	10YR2-2	黒褐色	シルト 10YR4-4褐色シルトブロック、灰化物粒含む
P12	1	10YR3-3	暗褐色	シルト 10YR3-1黒褐色シルトブロック、10YR4-2灰褐色シルトブロック、10YR4-4褐色シルトブロック少量含む
P13	1	10YR3-3	暗褐色	シルト 10YR3-1黒褐色シルトブロック、10YR4-4褐色シルトブロック、灰化物粒少量含む
P17	1	2.5Y3-2	黒褐色	シルト 10YR4-3(?)栗褐色シルトブロック、10YR3-2黒褐色シルトブロック少量含む
	2	10YR3-3	暗褐色	シルト 10YR4-4褐色鉢質シルトブロック含む
P18	(1)	10YR3-3	暗褐色	砂質シルト 10YR5-4(?)灰褐色鉢質シルトブロック含む

SI109 施設軽便表

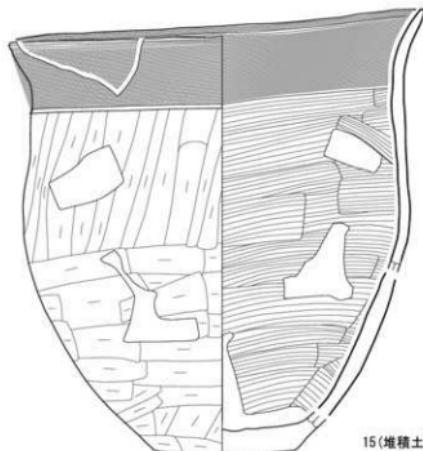
遺構名	平面形	範囲(cm)	深さ(cm)	備考	遺構名	平面形	範囲(cm)	深さ(cm)	備考
P1	円形				P10	円形	33×25	12	
P2	円形	45×36	39		P11	椭円形	35×30	28	
P3	円形	35×26	36		P12	円形	25×22	19	
P4	円形	40×30	19		P13	円形	27×24	20	
P5	円形	28×25	24		P14	円形	38×35	27	
P6	円形	40×34	17		P15	円形	20×25	22	
P7	円形	35×35	29		P16	椭円形	34×23	14	
P8	円形	36×33	22		P17	円形	34×27	13	
P9	円形	23×22	17		P18	円形	20×15	11	



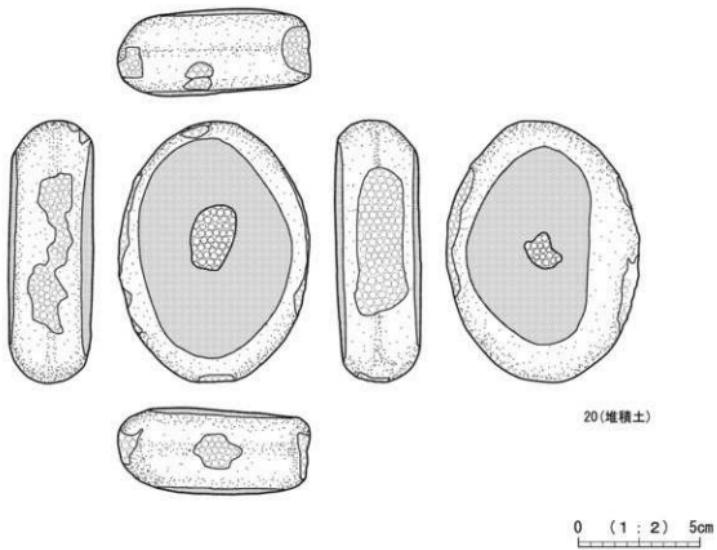
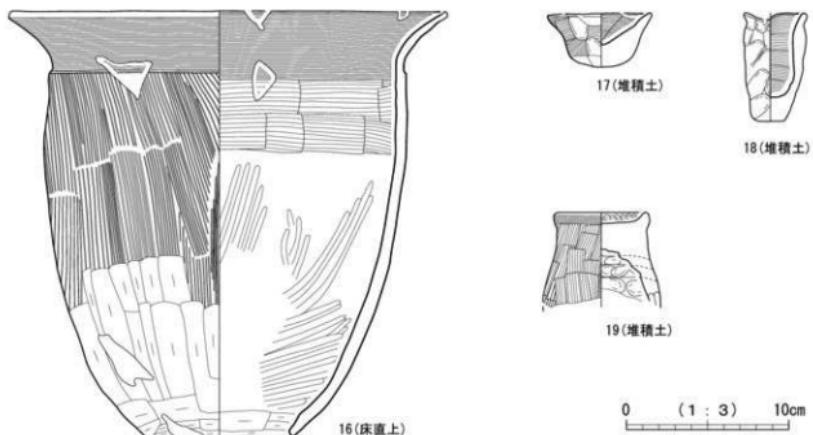
第159図 SI109竪穴住居跡出土遺物(1)



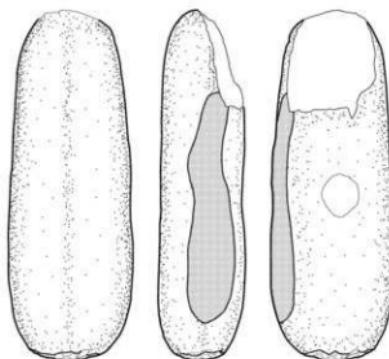
0 (1 : 3) 10cm



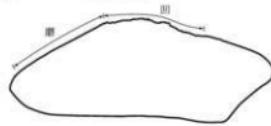
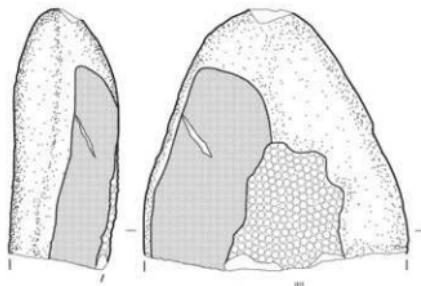
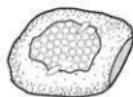
第160図 SI109竪穴住居跡出土遺物(2)



第161図 SI109竪穴住居跡出土遺物(3)



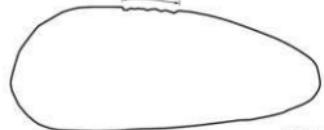
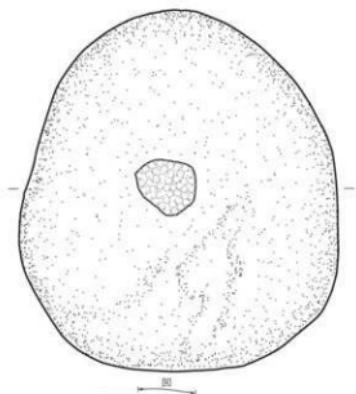
21(堆积土)



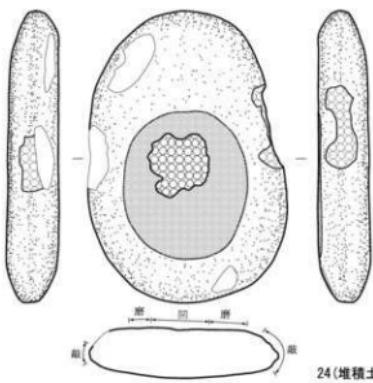
22(堆积土)

0 (1 : 2) 5cm

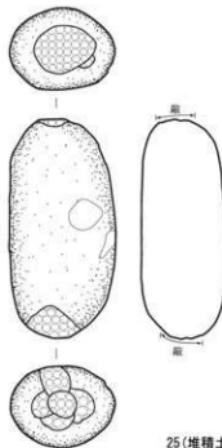
第162図 SI109竪穴住居跡出土遺物(4)



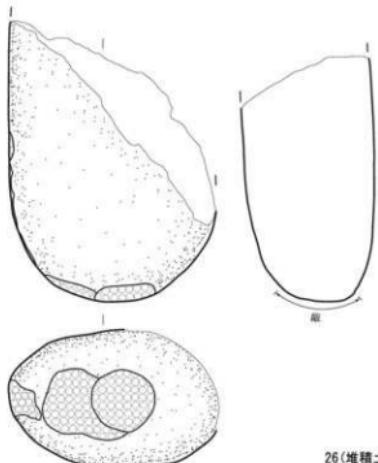
23(1層)



24(堆積土)



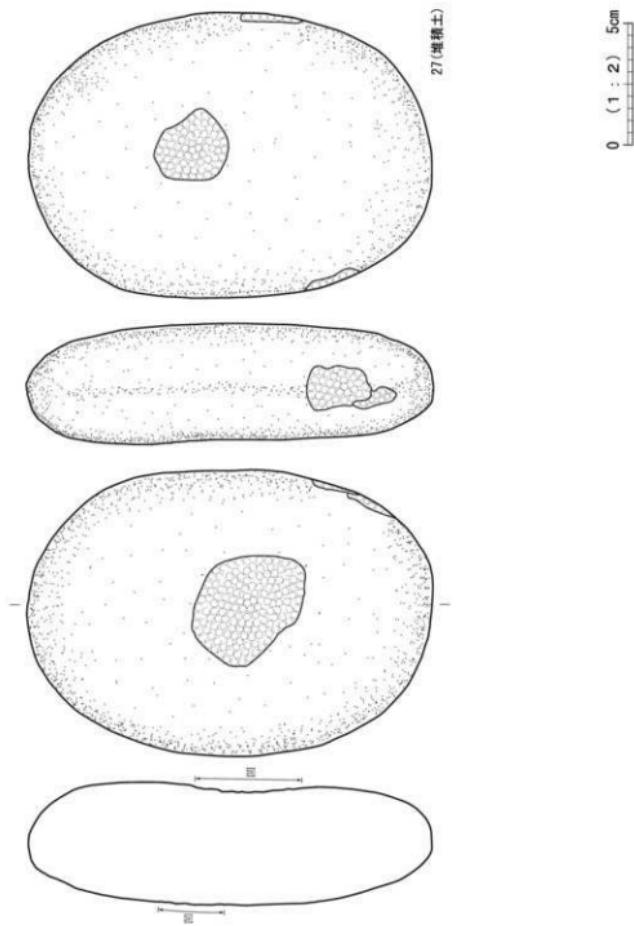
25(堆積土)



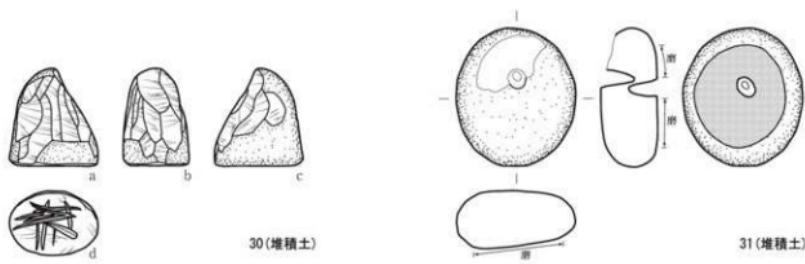
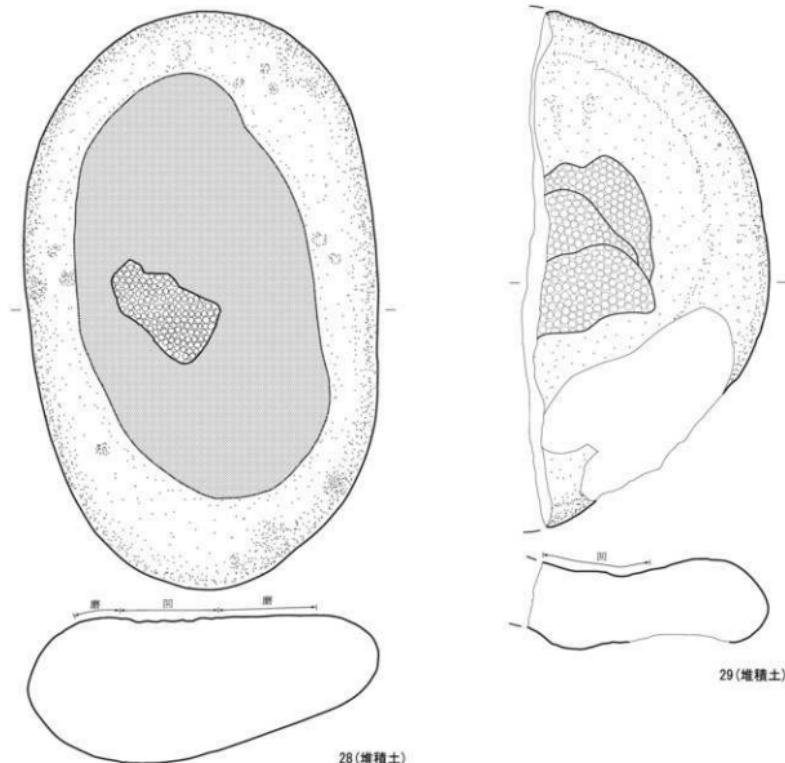
26(堆積土)

0 (1 : 2) 5cm

第163図 SI109竪穴住居跡出土遺物(5)



第164図 SI 109竪穴住居跡出土遺物(6)



0 (1 : 2) 5cm

第165図 SI109竪穴住居跡出土遺物(7)

国版 番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外観調査	内面調査	備考	写真 図版	
1	C-241	SI109	2層	土師器	环	(36.2)××(4.7)	口縁部コナデ、体部～底部へケズリ	口縁部～底部ヘラガキ	内面黒色処理	87	
2	C-245	SI109	用耕土	土師器	环	(35.0)××(3.8)	口縁部コナデ、体部～底部へケズリ	口縁部～底部ヘラガキ	内面黒色処理	87	
3	C-243	SI109	堆積土	土師器	环	(32.4)×(7.4)×3.3	口縁部コナデ、体部～底部へケズリ	口縁部コナデ、内面ヘラガキ	内面黒色処理	87	
4	C-242	SI109	堆積土	土師器	环	(31.6)××(3.0)	口縁部コナデ、体部～底部ヘケズリ	口縁部コナデ、体部ヘラガキ	内面黒色処理	87	
5	C-244	SI109	堆積土	土師器	环	(33.9)××(3.8)	口縁部コナデ、体部～底部へケズリ	口縁部～底部コナデ	内面黒色処理	87	
6	C-246	SI109	堆積土	土師器	高环	(14.4)×(9.9)×8.9	环底ヘラガキ、脚部コナデ	环底ヘラガキ、脚部ヘラガキ、底部コナデ	内面黒色処理	87	
7	C-248	SI109	堆積土	土師器	高环	×9.8×(7.6)	环底部コナデ、底部ヘラガキ、脚部コナデ	环底ヘラガキ、脚部ヘラガキ、底部コナデ	内面黒色処理	87	
8	C-247	SI109	堆積土	土師器	盖	17.6×6.8×7.0	ツマリ部コビオサエ、环底部コナデ	ツマリ部コビオサエ、环底ヘラガキ	内面黒色処理	87	
9	C-258	SI109	用耕土	土師器	盖	14.0××(4.4)	ツマリ部コビオサエ、环底ヘラガキ	环底ヘラガキ	内面黒色処理	88	
10	C-251	SI109	堆積土	土師器	盖	(18.2)×7.6×27.0	口縁部コナデ、脚部ヘラガキ	口縁部コナデ、脚部ヘラガキ	内面黒色処理	87	
11	C-253	SI109	堆積土	土師器	盖	(18.8)××(12.3)	口縁部コナデ、脚部ヘラガキ	口縁部コナデ、脚部ヘラガキ	内面黒色処理	87	
12	C-254	SI109	堆積土	土師器	盖	×(7.4)×(24.3)	脚部ハラメ、底部付近コナデ→ヘケズリ	脚部ハラメ、底部付近コナデ→ヘケズリ	内面黒色処理	88	
13	C-252	SI109	堆積土	土師器	盖	(14.9)××(12.2)	口縁部コナデ→ヘラガキ、脚部ヘラガキ	口縁部コナデ→ヘラガキ、脚部ヘラガキ	内面黒色処理	87	
14	C-250	SI109	堆積土	土師器	盖	(9.0)×4.8×11.6	口縁部コナデ、脚部ハラメ	口縁部コナデ、脚部ハラメ	内面黒色処理	87	
15	C-249	SI109	堆積土	土師器	盖	25.4×4.5×27.4	口縁部コナデ、脚部～底部ヘケズリ	口縁部コナデ、脚部～底部ヘケズリ	内面黒色処理	87	
16	C-255	SI109	床直上	土師器	瓶	26.9×9.0×26.2	口縁部コナデ、脚部ハラメ、底部付近ヘラガキ	口縁部コナデ、脚部ハラメ、底部付近ヘラガキ、孔口部ヘラガキ	内面黒色処理	88	
17	C-256	SI109	堆積土	土師器	二二チャア	(6.3)×2.0×3.0	口縁部～脚部ヘラガキ→コビオサエ、底部コナデ	口縁部～脚部ヘラガキ→コビオサエ	内面黒色処理	88	
18	C-257	SI109	堆積土	土師器	二二チャア	(3.7)×1.6×6.7	口縁部～脚部コビオサエ	口縁部～脚部コビオサエ	内面黒色処理	88	
国版 番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	長径×幅×厚さ(cm)	重量(g)	備考	写真 図版		
19	P-013	堆積土	土製品	円筒形 土製品		5.6×高(5.9)	177.7 g	外面：口縁部コナデ、脚部ヘラガキ、内面：口縁部ユビオサエ、輪積痕		89	
国版 番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	分類	長径×幅×厚さ(cm)	重量(g)	石材	備考	写真 図版
20	Kc-099	堆積土	礫石器	磨石器	磨+端	-	10.7×7.8×3.5	276.86	砂岩	定形品、槌打跡、磨一面(半)、凹一面(半)削き(微)、縫合部2箇所(端面削り)	88
21	Kc-300	堆積土	礫石器	磨石器	磨+端	-	14.3×5.1×3.5	259.66	砾灰岩	欠品品、槌打跡、磨一面(凸)、最左先1箇所(程度)削り	88
22	Kc-097	SI109	堆積土	礫石器	磨+端	-	(10.6)×10.8×4.2	312.73	砾灰岩	欠品品、槌打跡、磨一面(凸)、凹一面(半)削き(浅)	88
23	Kc-094	SI109	1層	礫石器	台石	-	14.8×13.1×5.1	1420.46	安山岩	定形品、槌打跡、凹一面(半)削き(浅)	89
24	Kc-101	SI109	堆積土	礫石器	磨+端	-	11.9×9.2×2.1	188.70	砾灰岩	定形品、槌打跡、磨一面(半)、凹一面(半)削き(微)、縫合部2箇所(程度)削り	89
25	Kc-305	SI109	2層	礫石器	砾石	-	9.0×4.4×3.5	106.08	砾灰岩	定形品、槌打跡、磨一面(半)程度(強)	89
26	Kc-302	SI109	堆積土	礫石器	砾石	-	(11.5)×8.4×3.2	656.68	安山岩	欠品品、槌打跡、磨一面(半)程度(強)	89
27	Kc-095	SI109	堆積土	礫石器	台石	-	16.6×11.8×5.0	3227.47	安山岩	定形品、槌打跡、凹一面(半)削き(浅)、縫合部2箇所(程度)削り	88
28	Kc-092	SI109	堆積土	礫石器	台石	-	23.7×14.5×6.5	388.89	砾灰岩	定形品、槌打跡、磨一面(半)、凹一面(半)削き(浅)	88
29	Kc-083	SI109	堆積土	石製品	不明石製品	-	(21.1)×10.1×4.3	649.64	砾灰岩	定形品、槌打跡、磨一面(半)、清拭痕あり、自然面あり	89
30	Kd-025	SI109	堆積土	石製品	磨鍛車	-	4.0×3.6×2.6	30.12	砾灰岩	定形品、槌打跡、磨一面(半)、清拭痕あり、自然面あり	89
31	Kd-026	SI109	堆積土	石製品	磨鍛車	-	5.7×4.9×2.3	48.36	砾灰岩	定形品、李花伴0.7cm、自然面あり	89

図-8)は、内面黒色処理される。土師器甕の器形は、殆ど膨らみを持たず、直線的に口縁部に至るもの(第160図-10・11)と、胴部中程が膨らみ、頸部が括れるもの(同図-12~15)に大別される。第161図-16の土師器甕は略完成形で、カマド周辺の床面直上から出土した。

円筒形土製品(同図-19)はカマドの構築に関連する可能性の高い遺物と考えられており、3B区ではこの1点のみ出土した。堆積土中からの出土であるため、本住居跡との共伴性については不明である。胴部が口縁部にかけて僅かに窄まるものの、胴部上端から直立して口縁部へと立ち上がり、口縁部外面は1cm程度む器形を呈する。外面は口縁部にヨコナデ、胴部にヘラナデが施され、内面は口縁部・胴部共にユビオサエが施されるほか、内面胴部には明瞭な輪積痕が観察される。礫石器は第161図-20のみ全面に使用痕が観察されるが、他は棒状器の端部、扁平な礫の中央部もしくは一面のみに使用痕が観察されるものが殆どである。不明石製品とした第165図-30は凝灰岩製で、用途は不明である。a~c面には上方向からのケズリ、d面には複数の溝状痕が観察される。同図-31は凝灰岩製の紡錘車未製品で、穿孔は両面から施される。

SI110 穫穴住居跡(第166図)

【位置・確認】3区南西端、5・9グリッドに位置する。南東コーナーのみを検出した。

【重複】遺構との重複関係は認められないが、大部分が調査区外に延びることに加え、検出された部分において擾乱の影響が大きく、遺存状態は悪い。

【規模・形態】検出した部分の規模は、長軸1.50m、短軸1.20mを測る。住居跡の殆どが調査区外に延びるため、平面形状は不明である。

【方向】住居跡の南北軸は、東辺基準でN-24°Wである。

【堆積土・構築土】4層に分層した。褐色シルトブロックを含む暗褐色シルトを主体とする。1・2層は住居堆積土、3層は周溝堆積土、4層は掘り方堆積土である。

【壁面】残存する壁高は、東壁で22cm、南壁で5cmを測り、壁は直立気味に立ち上がる。

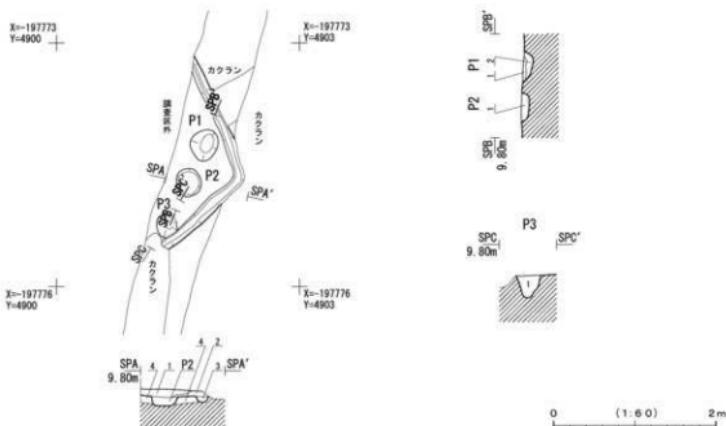
【床面】1・2層下面を床面とし、ほぼ平坦である。

【柱穴】3基検出したが、明確に柱穴と判断し得るものは無い。いずれも上端径は35cm前後、深さは9~30cmを測る。

【周溝】検出した部分においては全周する壁溝を検出した。規模は幅12~18cm、深さ7cmを測り、断面形状はU字状を呈する。

【掘り方】ほぼ平坦である。

【出土遺物】掲載した遺物は無い。



SI110 墓積土記表

部位	場所	土色	土性	備考
堆積土	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 10YR3/2 黒褐色シルトブロック少量、10YR4/4褐色シルト粒、炭化物粒微量含む
	2	25Y3/2	黒褐色	シルト 10YR4/4褐色シルトブロック含む
	3	10YR3/3	暗褐色	シルト 10YR4/4褐色シルト粒、炭化物粒微量含む
掘り方	4	10YR4/4	褐色	シルト 10YR3/3暗褐色シルトブロック含む

SI110 施設堆積土記表

部位	場所	土色	土性	備考
P1	1	10YR3/4	暗褐色	シルト 10YR3/2 黑褐色シルトブロック、10YR4/4褐色シルトブロック含む
	2	10YR3/3	暗褐色	シルト 10YR2/2 黑褐色シルトブロック、10YR3/2 黑褐色シルトブロック、10YR4/4褐色シルトブロック少量含む
P2	1	10YR3/4	暗褐色	シルト 10YR3/2 黑褐色シルトブロック、10YR4/4褐色シルトブロック含む
P3	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 10YR3/2 黑褐色シルトブロック、10YR4/4褐色シルトブロック含む

第166図 SI110 穫穴住居跡

SI110 施設概要表

施設名	平面形	規模(cm)	深さ(cm)	備考	施設名	平面形	規模(cm)	深さ(cm)	備考
P1	円形	40×35	12		P2	円形	30×25	30	
P2	円形	34×22	9						

SI111 穫穴住居跡(第167～168図)

【位置・確認】3B区西壁中央部、24・29グリッドに位置する。

【重複】SI112を切る。住居跡西側約2/3は、調査区外に延びる。

【規模・形態】検出した部分の規模は、長軸2.90m、短軸1.25mを測る。平面形状は不明である。

【方向】住居跡の南北軸は、東辺基準でN-20°-Eである。

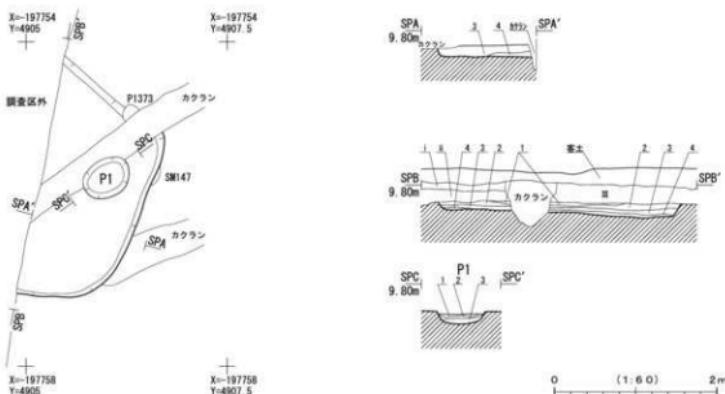
【堆積土・構築土】4層に分層した。

【壁面】残存する壁高は5～14cmで、壁は内湾気味に立ち上がる。

【床面】南から北へ緩やかな傾斜が確認された。

【柱穴】1基検出した。規模は上端径62×47cm、深さ11cmを測る。柱痕は確認されなかった。

【出土遺物】須恵器甕2点、土製紡錘車1点を掲載した。



SI111 掘削堆積土記表

部位	層位	土色	土性	備考
堆積土	1			辯記なし
	2			辯記なし
	3	10YR3/2	黒褐色	シルト 炭化物、焼土粒多量含む
	4	10YR5/4	黄褐色	砂質シルト 10YR3/2黒褐色ブロック含む

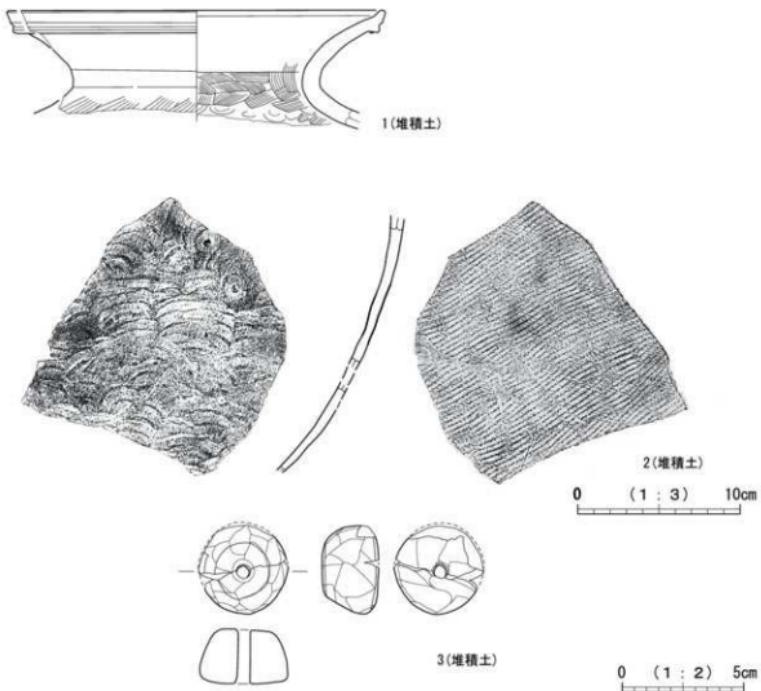
SI111 施設堆積土記表

部位	層位	土色	土性	備考
P1	1	2.5Y3/2	黒褐色	シルト 炭化物粒含む
	2	2.5Y4/2	暗灰黄色	シルト 2.5Y3/2黒褐色ブロック含む
	3	2.5Y3/3	暗オリーブ褐色	砂質シルト 2.5Y3/2黒褐色ブロック含む

SI111 施設概要表

施設名	平面形	規模(cm)	深さ(cm)	備考
P1	円形	62×47	11	

第167図 SI111 穫穴住居跡



図版 番号	登録番号	出土遺物	層位	種別	器種	口径×底径×高さ(cm)	外面調査	内面調査	備考	写真 回数
1	E-077	SI111	堆積土	單壺器	並	(23.4) × (7.3)	口縁部～肩部クロ溝型→肩部平行凹目	CPO調整→瓶部ヘナダ。 肩部有海波文	内外面自然地	89
2	E-078	SI111	堆積土	單壺器	夷	× ×(15.6)	平行凹目	有海波文		89
3	P-014	SI111	堆積土	土製品	破片	長さ×幅×厚さ(cm) 25.4×厚3.5×孔径0.7	重量(g) 95.0g ナフ			写真 回数

第168図 SI111 壁穴住居跡出土遺物

SI112 壁穴住居跡(第169・170図)

【位置・確認】3B区西端中央部北側、29グリッドに位置する。南東部約1/2を確認した。

【重複】SI96・111、SM147・152、P1372・1374に切られる。住居跡北西部約1/2は調査区外に延び、煙道部は搅乱により失われている。

【規模・形態】検出した部分の規模は、長軸2.48m、短軸2.03mを測り、平面形状は隅丸方形である。

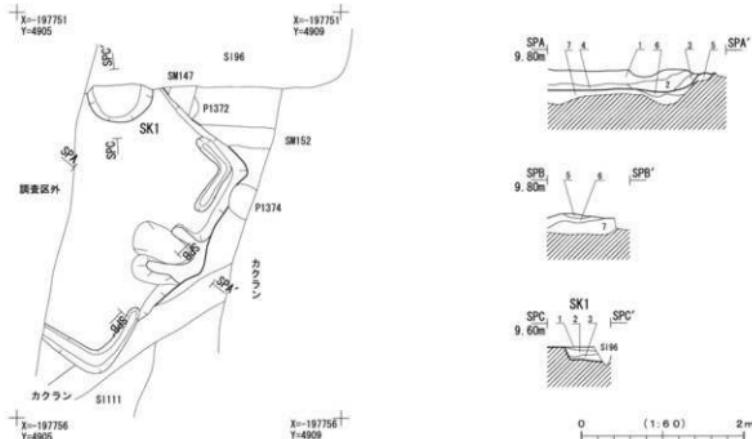
【方向】住居跡の南北軸はカマド基準でN-130°-Eである。

【堆積土・構築土】7層に分層した。1～4層は住居堆積土、5・6層はカマド関連層位、7層は掘り方堆積土である。

【壁面】残存する壁高は、いずれも20cm前後を測り、壁は直線的に外傾して立ち上がる。

【床面】4層下面を床面とし、ほぼ平坦である。

【周溝】カマド周辺および北辺北側を除き、東辺両コーナーの壁直下から周溝を検出した。幅25～30cm、深さ



SI112 堆積土柱記録

部位	層位	土色	土性	備考
堆積土	1	10YR3-2	黒褐色	シルト 10YR5-4に近い黒褐色瓦砾層 塩化物、地土粒含む
	2	10YR3-3	黒褐色	シルト 氯化物粒、地土粒多量、10YR5-4に近い黒褐色ブロック含む
	3	10YR4-2	灰青褐色	砂質シルト 10YR3-2の黒褐色ブロック含む
	4	10YR3-2	黒褐色	シルト 氯化物粒、地土粒含む
カマド	5	10YR5-3	12.5-15 黒褐色	砂質シルト (カマド堆土)
	6	10YR3-3	黒褐色	シルト 10YR4-3に近い黒褐色ブロック、5YR2-3暗赤褐色地土ブロック含む (カマド廻り)
廻り	7	10YR5-3	12.5-15 黒褐色	砂質シルト 10YR3-3の黒褐色シルトブロック、10YR6-3に近い黒褐色地土ブロック含む

SI112 施設堆積土柱記録

部位	層位	土色	土性	備考
SK1	1	2.5Y3-2	黒褐色	- 氯化物粒、2.5YR無赤褐色燒土含む
	2	3YR2-3	棕褐色	- 氯化物粒、2.5YR4-6赤褐色地土粒含む
	3	2.5Y3-2	黒褐色	- 5YR2-3地土褐色、地土、氯化物含む

SI112 高段階解説

遺構名	平面形	規模(cm)	深さ(cm)	備考
SK1	半円形	78×30	24	

第169図 SI112堅穴住居跡



回収番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真回数
1	C-259	SI112	堆積土	土知器	甌	×(8.8)×(2.3)	側部ヘラナデ、側面下端ヘラケズリ	底部ヘラナデ		89
2	C-260	SI112	3層	土知器	甌	×(4.2)×(3.1)	側部～底部ヘラケズリ	側部ヘラナデ		89
3	E-079	SI112	堆積土	土知器	甌	(10.6)××(2.5)	ロクロ調整～汎用	ロクロ調整		89

第170図 SI112堅穴住居跡出土遺物

10cm前後を測り、断面形状はU字状を呈する。

【カマド】東辺中央部に構築され、煙道部は擾乱の影響で失われている。袖部は左袖が長さ50cm、幅20cm、右袖が長さ70cm、幅33cmを測り、東辺に対し「ハ」字状に延びる。燃焼部は幅45cm、奥行き72cmを測り、底面は奥壁に向かって傾斜する。

【その他の施設】土坑を1基検出した。北側はSI96に切られる。

【掘り方】検出した部分においては、比高差10cm程の起伏がみられる。

【出土遺物】土師器甕、瓶、須恵器壺を各1点掲載した。第171図-3は口縁部に1条の沈線がめぐる。

SI113 積穴住居跡(第171・172図)

【位置・確認】3B区南部中央、7・11グリッドに位置する。西側約1/2は掘り方の平面プランのみを確認した。

【重複】SI126・127を切り、SI92A・B・99、SK73に切られる。

【規模・形態】検出した部分の規模は、長軸4.40m、短軸2.85mを測り、平面形状は隅丸長方形を呈する。

【方向】住居跡の南北軸は、東辺基準でN-25°-Wである。

【堆積土・構築土】5層に分層した。1～3層は住居堆積土、4層は周溝堆積土、5層は掘り方堆積土である。

【壁面】残存する壁高は、いずれも15～21cmを測り、壁は直線的に外傾して立ち上がる。

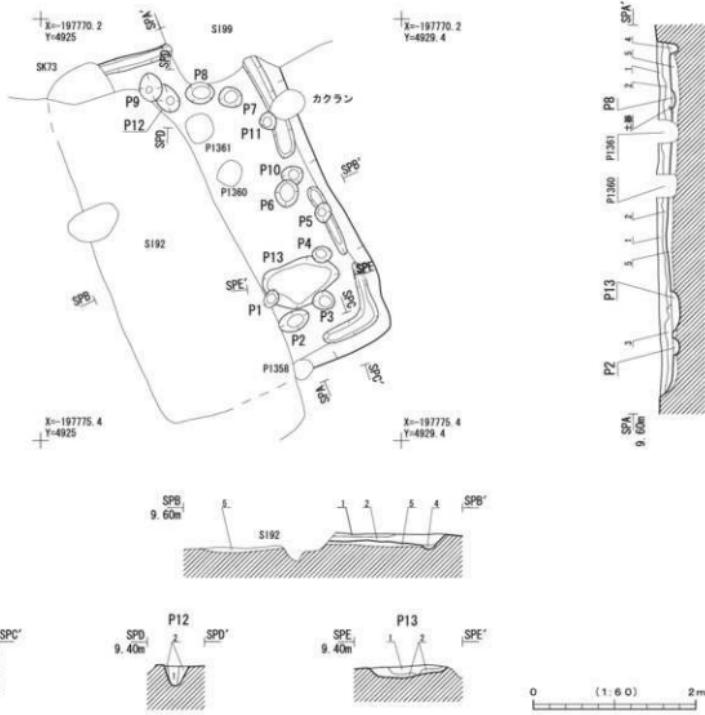
【床面】2・3層下面を床面とし、中央部が高まり、壁に向かって僅かに起伏を持ちながれ傾斜する。

【柱穴】13基検出した。いずれも上端径35cm前後を測り、壁に近接した位置に構築される。位置的にはP3・7が主柱穴に相当する可能性がある。また、P12については、柱痕が確認されていること、短軸中央の壁寄りに位置すること、本住居跡の平面形状と併せると、棟持ち柱である可能性が考えられる。

【周溝】検出された部分においては、壁際を断続的に全周する周溝を検出した。幅14～22cm、深さ5cm前後を測り、断面形状はU字状を呈する。

【掘り方】住居跡中央部に高まりを持ち、壁に向かって緩やかに傾斜する。

【出土遺物】土師器高環、甕、砾石器を各1点掲載した。第172図-2は床面からの出土である。



SI113 墓構土柱記表

部位	層位	土色	土性	備考
堆積土	1	10YR3/4	黒褐色	砂質シルト 地山ブロック少量、炭化物、地土微量含む
	2	10YR2/2	黒褐色	シルト 地山ブロック、炭化物、黄少量含む
	3	2.5Y4/3	オーラン褐色	2.5Y6/3明黄色ブロック多量含む
既溝	4	10YR2/2	黒褐色	シルト 地山ブロック(径5~20mm)少量、炭化物(径2mm以下)微量含む
側の方	5	10YR1.7/1	黒色	シルト 地山ブロック(径20mm)多量含む

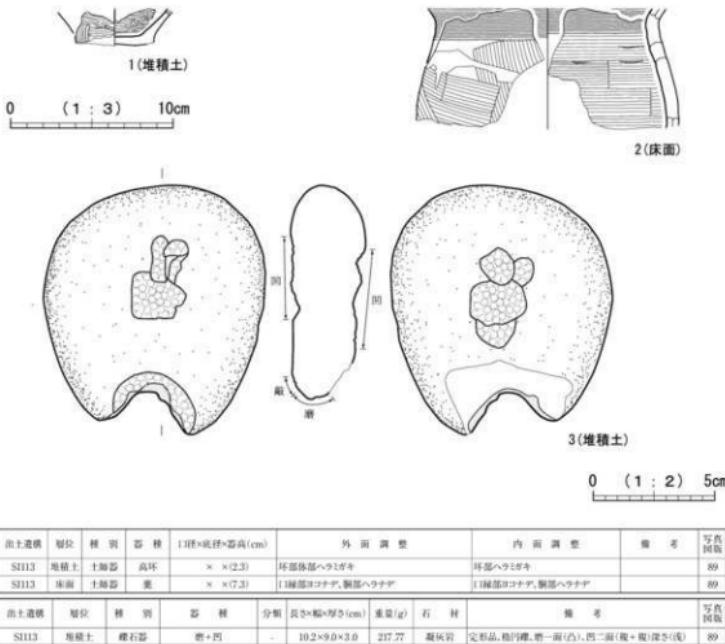
SI113 施設堆積土柱記表

部位	層位	土色	土性	備考
P12	1	10YR2/2	黒褐色	シルト 2.5Y6/4(以下)、黃色ブロック(径2~5mm)、地土柱(径5mm以下)微量含む
	2	10YR3/1	黒褐色	シルト 2.5Y6/4(以下)、黃色ブロック(径5mm)少量含む
P13	1	10YR1.7/1	黒色	炭化物(径1~2mm)微量、10YR7/1灰白色ブロック(径5~10mm)含む
	2	10YR3/3	黒褐色	シルト 10YR7/1灰白色ブロック(径5mm)少量含む

SI113 地説標査表

遺構名	平面形	規模(cm)	深さ(cm)	備考	遺構名	平面形	規模(cm)	深さ(cm)	備考
P1	円形	25×16	4		P8	楕円形	32×26	4	
P2	扇円形	40×26	5		P9	円形	34×28	25	
P3	円形	26×22	4		P10	円形	26×(19)	13	
P4	円形	20×18	5		P11	円形	22×20	13	
P5	円形	25×19	7		P12	楕円形	(36)×24	23	
P6	円形	33×28	10		P13	不整扇円形	92×58	26	
P7	円形	28×24	12						

第171図 SI113堅穴住居跡



第172図 SI113 穴住居跡出土遺物

SI114 穴住居跡(第173-174図)

【位置・確認】3B区南端中央部、4-7グリッドに位置する。一部残存する西壁のみを確認した。

【重複】SI92A-B-102、SD50、SK68に切られる。南側は調査区外の擾乱により失われている。

【規模・形態】残存する部分の規模は長軸5.07m、短軸1.97mを測る。平面形状は不明である。

【方向】住居跡の南北軸は、西壁基準でN-3°-Wである。

【堆積土・構築土】3層に分層した。地山ブロックを含む暗褐色土を主体とする。1・2層は住居堆積土、3層は周溝堆積土である。

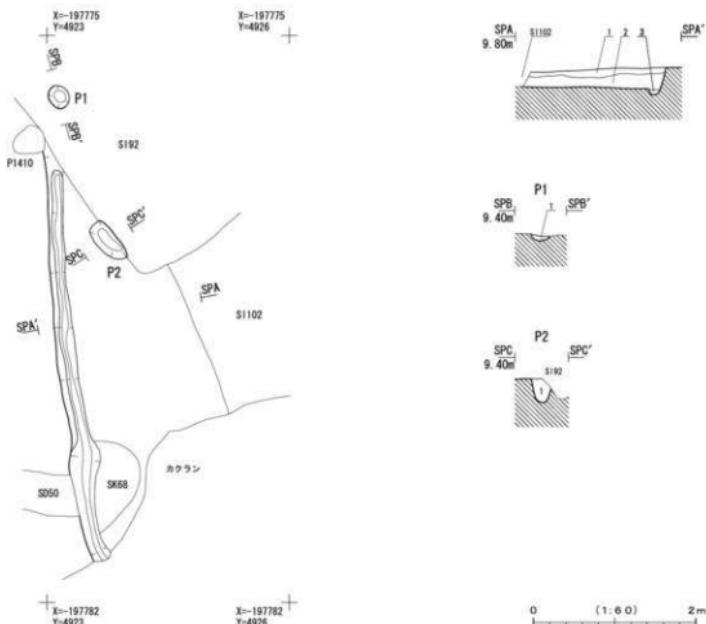
【壁面】残存する壁高は25cm前後を測り、壁は直線的に外傾して立ち上がる。

【床面】2層下面を床面とし、ほぼ平坦である。

【柱穴】2基検出した。いずれも住居堆積土と同様に、地山ブロックを含む暗褐色土を主体とする。

【周溝】西壁直下に延びる周溝を検出した。検出長4.83m、幅20cm、深さ6cmを測り、断面形状は逆台形を呈する。

【出土遺物】土師器壺、甕を各1点掲載した。



SI114 施設堆積土跡記表

部位	層位	土色	土性	備考
堆積土	1	10YR3/1	黒褐色	シルト 地山ブロック少量、炭化物、遺物片微量含む
	2	10YR3/3	褐褐色	シルト 炭化物、遺物片少量、地山ブロック含む
回溝	3	10YR3/2	褐褐色	シルト 地山ブロック少量、炭化物微量含む

SI114 施設堆積土跡記表

部位	層位	土色	土性	備考
P1	1	10YR3/3	褐褐色	シルト 地山ブロック少量含む
P2	1	10YR3/3	褐褐色	シルト 地山ブロック、炭化物少量、7.5YR6/8褐色地土微量含む

SI114 施設堆積土跡記表

遺物名	平面形	復原(cm)	深さ(cm)	備考	遺物名	平面形	復原(cm)	深さ(cm)	備考
P1	円形	30×27	10		P2	楕円形	56×(36)	32	

第173図 SI114竪穴住居跡



図版番号	登録番号	出土遺構	層位	柱 例	柱 高	口徑×底径×器高(cm)	外 壁 調 整	内 壁 調 整	備 考	写 真 図 版
1	C263	SI114	堆積土	土器器	環	(15.6)×(15.6)×(5.8)	口縁部ヨコナギ、底部ヘラケアリ	口縁部～全体ヘラミガキ	内面黒色処理	89
2	C264	SI114	堆積土	土器器	甌 or 釜	(15.6)×(15.6)×(7.3)	口縁部ヨコナギ、底部ヘラナゲ	口縁部ヨコナギ、底部ヘラナゲ		89

第174図 SI114竪穴住居跡出土遺物

SI115A 積穴住居跡(第175～178図)

【位置・確認】3B区中央部南側、10・11・15・16グリッドに位置する。本住居跡掘り方掘削時に、同じ軸方向をもつ周溝と、周溝の内部からピット・土坑を検出した。この掘り方底面で検出した周溝等は、規模や位置関係から本住居跡が構築される前段階の住居跡と考えられたため、本住居跡をSI115A、掘り方から検出した周溝等をSI115Bとした。

【重複】SI115Bを切り、SI82・92・93・113・117に切られる。

【規模・形態】検出した部分の規模は長軸6.40m、短軸6.30mを測り、平面形は隅丸方形を呈する。

【方向】住居跡の南北軸は、カマド基準でN-35°-Wである。

【堆積土・構築土】31層に分層した。1～7層は住居堆積土、8～28層はカマド関連層位で、23・24層が袖構築土、25・26層は火床面である。29層は周溝堆積土、30層以下は掘り方堆積土である。

【壁面】残存する壁高は、東壁38cm、西壁10～27cm、南壁15～20cm、北壁16～43cmを測り、壁は直線的に外傾して立ち上がる。

【床面】2・4・5層下面を床面とし、起伏を持ちながら南側へ緩く傾斜する。

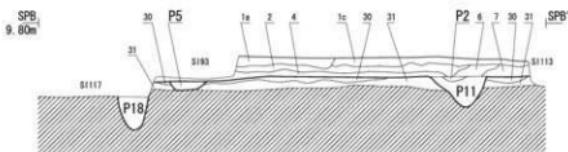
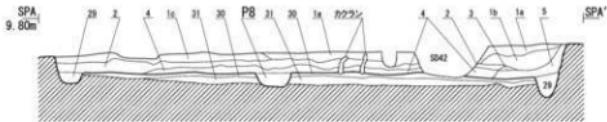
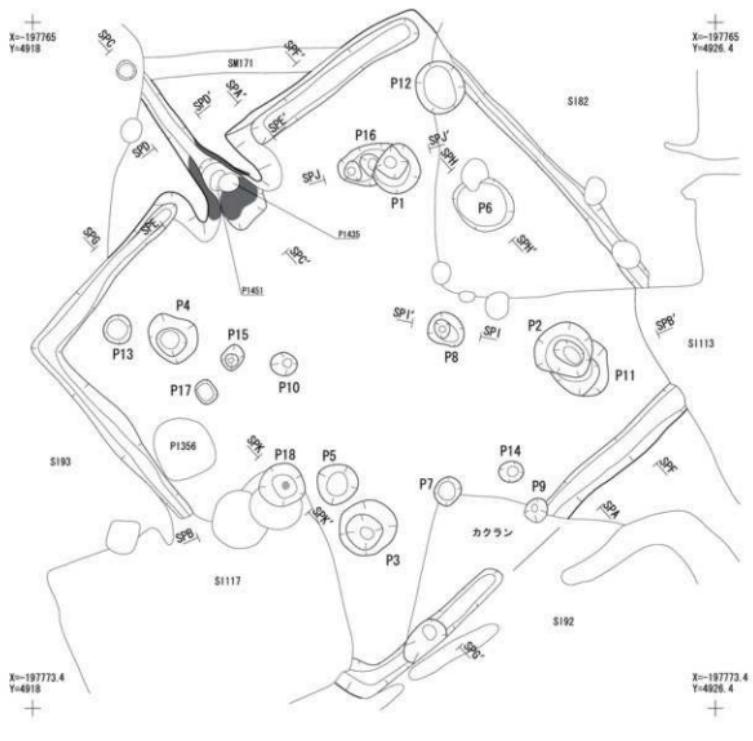
【柱穴】18基検出した。柱痕が確認されたのは、P18のみである。規模や位置からみて、P1～4が主柱穴に相当すると考えられる。P1とP16、P2とP11はそれぞれ重複関係にあり、両柱穴については造り替えが行われた可能性がある。

【周溝】カマド直下と東辺北側コーナー、重複や搅乱の影響がおよぶ箇所を除き、壁直下を全周する周溝を検出した。規模は幅20～35cm、深さ4～16cmを測り、断面形状は逆台形ないしU字状を呈する。

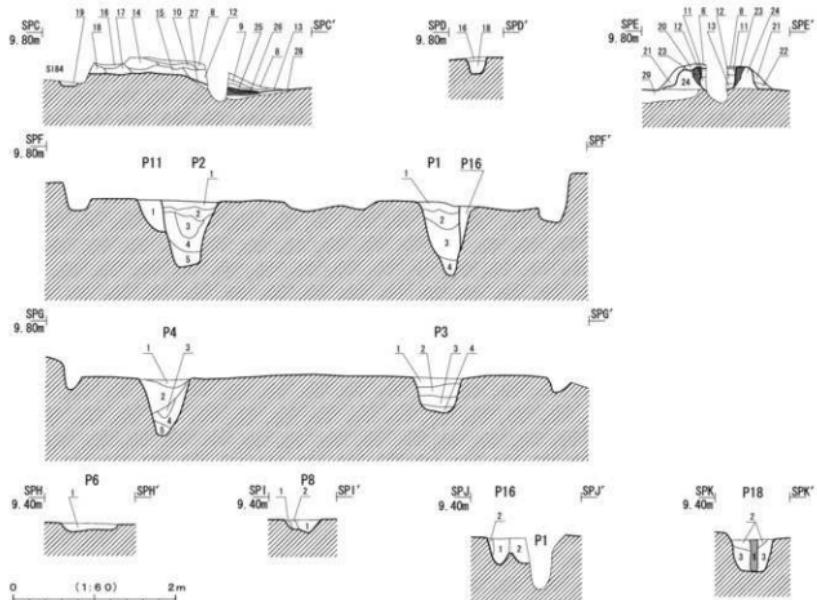
【カマド】北辺中央部に構築され、煙道部末端はSI93に切られる。袖部の規模は、左袖が長さ78cm、幅53cm、右袖が長さ96cm、幅48cmを測り、北辺に直行するように延びる。両袖の燃焼部側には被熱の痕跡が認められた。燃焼部は幅60cm、奥行き93cmを測り、中央部奥壁側はP1435・1451に切られる。底面中央部から、径50×30cm程の火床面を検出した。煙道部の規模は検出長118cm、幅27cmを測り、底面には起伏がみられる。煙道部末端はSI93に切られるものの、SI93掘り方底面から僅かに残存する煙出し部を検出した。残存する規模は上端径23cm、深さ7.1cmを測り、底面は煙道部底面の約20cm下位に位置する。

【掘り方】起伏がみられ、中央部が僅かに窪む。

【出土遺物】土師器壺3点、甕2点(甕?1点を含む)、鉢1点、瓶1点、須恵器壺1点、蓋1点、を掲載した。第177図-2はカマドから出土した土師器壺で、内外面共に丁寧なヘラミガキが施された後、黒色処理される。同図-6はP5から出土した。甕?として掲載したが、大型の壺の可能性がある。第178図-9は、ツマミ部を欠損する須恵器蓋である。



第175図 SI115A竪穴住居跡(1)



層位	層位	土色	土性	種	
				名	記号
堆積土	1a	2.5Y3/3	暗オーリーブ褐色	砂質シルト	10YR5.6 黄褐色地被多量含む
	1b	2.5Y4/3	オーリーブ褐色	シルト	10YR5.1 黑褐色土(径5~20mm), 10YR5.1褐色地被少、無化物含む
	1c	2.5Y4/2	暗灰褐色	砂質シルト	2.5Y6.4/1 黑褐色地被多量, 2.5Y3.1 黑褐色地被微量, 無化物微微量含む
	2	2.5Y4/4	オーリーブ褐色	シルト	無化物(径2~3mm)微量, 10YR6.6 黄褐色地被少、無化物(径2~10mm), 建土微量含む
	3	2.5Y3/3	暗オーリーブ褐色	シルト	10YR5.6 黄褐色地被少、無化物微量, 2.5Y8.2/6(色)地被少(径10~20mm), 無化物, 建土微量含む
	4	2.5Y4/3	オーリーブ褐色	シルト	10YR4.1 黑褐色地被少(径5~20mm)含む
	5	2.5Y5/4	黄褐色	シルト	2.5Y6.6 黄褐色地被少(径5~20mm)含む
カマド	6	2.5Y4/2	暗灰褐色	シルト	無化物微量, 10YR4.1 黑褐色地被少(径5~20mm), 無化物(径2~30mm), 建土微量含む
	7	2.5Y3/3	暗オーリーブ褐色	シルト	2.5Y6.6 黄褐色地被少(径5~20mm)含む
	8	10YR4/2	灰黃褐色	砂質シルト	10YR4.1 黑褐色地被少(径5~20mm)含む (天井崩落土)
	9	2.5Y5/4	黃褐色	砂質シルト	2.5Y7.3 白明黄褐色地被少(径3~5mm), 無化物, 建土(径3mm以下)少量含む (天井崩落土)
	10	5YR3/1	黑褐色	シルト	建土地被少(径5mm以下)少量, 灰微含む (天井崩落土)
	11	2.5Y4/2	暗灰褐色	砂質シルト	2.5Y7.3 白明黄褐色地被少(径3~5mm), 無化物(径3mm以下)微量含む (天井崩落土)
	12	2.5Y4/2	暗灰褐色	シルト	無化物地被少(径5mm以下)少量, 灰微含む (天井崩落土)
同溝	13	2.5Y5/4	黃褐色	シルト	建土(径5~30mm)含む (天井崩落土)
	14	2.5Y5/3	暗オーリーブ褐色	シルト	無化物地被微量含む (堆道)
	15	2.5YR17/1	墨黒色	シルト	無化物地被少、建土微量含む (堆道)
	16	2.5Y5/2	暗灰褐色	シルト	無化物(径2~3mm)微量含む (堆道)
	17	2.5Y3/1	黑褐色	シルト	建土地被少, 灰微量, 無化物微量含む (堆道)
	18	2.5Y6/2	暗灰褐色	シルト	無化物, 建土微量含, 灰微量 (堆道)
	19	2.5Y4/3	オーリーブ褐色	砂質シルト	2.5Y5.6 黄褐色地被少, 無化物(径5~10mm), 建土地被含む (堆道)
掘り方	20	2.5Y4/2	暗灰褐色	シルト	2.5Y6.6 黄褐色地被少(径5~10mm)含む (天井崩落土)
	21	2.5Y3/1	黑褐色	シルト	無化物微量含む (天井崩落土)
	22	2.5Y3/1	黑褐色	シルト	2.5Y4/1/6(白)地被少微量, 無化物微量含む (天井崩落土)
	23	2.5YR6/8	褐色	(カマド)	(カマド)
	24	2.5Y5/3	黃褐色	砂質シルト	白色地被少 (水田間)
	25	2.5YR7/1	明赤褐色	シルト	建土地被少微量含む (カマド)
	26	2.5Y7/4	浅黄色	砂質シルト	明黄褐色地被少(径5~20mm)微量含む
掘り方	27	2.5Y4/2	暗灰褐色	シルト	10YR5.7 黑褐色地被少(径5~20mm)含む
	28	2.5Y7/4	浅黄色	砂質シルト	10YR7.6 明黄褐色地被少(径5~10mm)含む
	29	10YR3/1	黑褐色	シルト	10YR7.6 明黄褐色地被少(径5~10mm)含む, 無化物微量含む
	30	10YR4/4	黑色	砂質シルト	10YR7.6 明黄褐色地被少(径5~10mm)含む
掘り方	31	10YR2/3	黑褐色	砂質シルト	10YR7.6 明黄褐色地被少(径5~10mm)含む

第176図 S115A竪穴住居跡(2)

SI115A 施設堆積土試験

層位	層状	土色	土性	備考
P1	1	10YR3-3	暗褐色	シルト 炭化物(径1~2mm)無量含む
	2	10VR2-3	黒褐色	シルト 10YR3-1 黒色粘土ブロック少量(径20~50mm)少量、10YR6-8明黄褐色ブロック(径5~20mm)多量含む
	3	10YR4-4	褐色	砂質シルト 10YR6-8明黄褐色ブロック(径10~20mm)、黑色粘土ブロック含む
	4	10YR3-3	暗褐色	砂質シルト 10YR8-1灰白色粘土および10YR3-3明黄褐色粘土少量含む
P2	1	10YR3-3	暗褐色	シルト 炭化物(径1~2mm)無量含む
	2	10YR2-3	黒褐色	シルト 10YR3-1黒色粘土ブロック少量(径20~50mm)少量、10YR6-8明黄褐色ブロック(径5~20mm)多量含む
	3	10YR2-3	黒褐色	シルト 10YR6-8明黄褐色ブロック(径10~20mm)、黑色粘土ブロック含む
	4	10YR3-4	暗褐色	10YR6-6明黄褐色ブロック(径5mm)、10YR7-1灰色粘土ブロック少量、炭化物(径2~5mm)、鐵土無量含む
	5	10YR3-3	暗褐色	砂質シルト 10YR8-1灰白色粘土および10YR3-3明黄褐色粘土少量含む
P3	1	2.5Y4-4	オリーブ褐色	シルト 2.5Y6-6明黄褐色土、土粒10mm、10YR12-1黑色粘土少量含む
	2	10YR2-3	暗褐色	シルト 10YR3-1黑色粘土ブロック少量(径20~50mm)少量、10YR6-8明黄褐色ブロック(径5~20mm)多量含む
	3	10YR4-4	褐色	砂質シルト 10YR6-8明黄褐色ブロック(径10~20mm)、黑色粘土ブロック含む
	4	2.5Y6-4	10YR3-3暗褐色	シルト 炭化物(径1~2mm)無量含む
P4	1	2.5Y7-2	灰褐色	シルト 2.5Y6-6明黄褐色ブロック(径2~10mm)多量含む
	2	10YR2-3	黒褐色	シルト 10YR3-1黒色粘土ブロック少量(径20~50mm)少量、10YR6-8明黄褐色ブロック(径5~20mm)多量含む
	3	10YR4-4	褐色	砂質シルト 10YR6-8明黄褐色ブロック(径10~20mm)、黑色粘土ブロック含む
	4	2.5Y7-3	浅褐色	砂質シルト 10YR8-1灰白色粘土ブロック(径2~5mm)微量含む
P6	1	10YR3-1	黒褐色	砂質シルト 2.5Y7-6明黄褐色ブロック(径2~10mm)多量含む
P8	1	10YR3-2	暗褐色	シルト 10YR6-8明黄褐色ブロック(径5mm)多量含む
P9	2	10YR2-2	黒褐色	シルト 炭化物(径10mm以下)、飛来粒(径1~5mm)微量含む
P11	1	10YR3-4	暗褐色	砂質シルト 10YR7-1灰白色粘土ブロック(径10mm)少量、10YR6-8明黄褐色ブロック(径5~20mm)少量含む
P12	1	10YR4-2	灰褐色	砂質シルト 10YR7-6明黄褐色ブロック(径5~20mm)少量、海灰岩粘土ブロック(径5~20mm)、鐵土粒(径5~20mm)微量含む
P16	1	10YR6-4	10YR3-2暗褐色	シルト 10YR3-1灰褐色ブロック多量
	2	10YR3-4	暗褐色	砂質シルト 10YR7-6明黄褐色ブロック含む
P18	1	10YR5-1	黒褐色	シルト 10YR3-1黒褐色粘土ブロック(径10mm)少量、炭化物(径2~5mm)微量含む
	2	10YR4-2	灰褐色	砂質シルト 10YR6-8明黄褐色粘土粒微量含む
	3	10YR3-2	黒褐色	シルト 10YR7-6明黄褐色ブロック(径5~20mm)、10YR4-1褐色ブロック(径5~10mm)少量含む

SI115A 施設断面表

遺構名	平面形	復原(cm)	深さ(cm)	備考	遺構名	平面形	復原(cm)	深さ(cm)	備考
P1	円形	64×37	90		P10	円形	35×30	23	
P2	円形	75×70	80		P11	円形	70×32	34	
P3	円形	70×70	78		P12	円形	65×60	36	
P4	円形	65×62	67		P13	不整形	(44×4)×(40)	11	
P5	円形	52×48	10		P14	円形	33×29	32	
P6	円形	72×69	12		P15	椭円形	30×29	32	
P7	円形	35×35	14		P16	円形	(53)×50	48	
P8	円形	48×62	27		P17	椭円形	30×25	16	
P9	小形形	(28)×(27)	-		P18	円形	35×35	39	



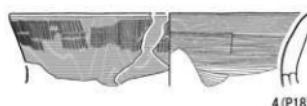
1(堆积土)



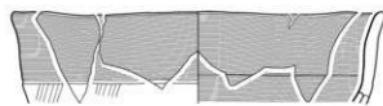
2(カマド)



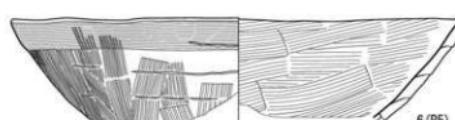
3(堆积土)



4(P18)



5(P2)



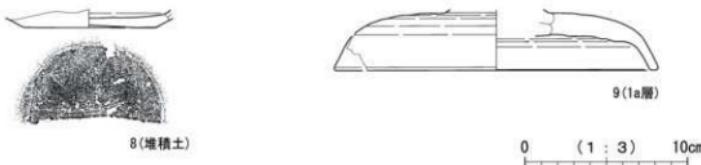
6(P5)



7(1a層)

0 (1 : 3) 10cm

第177図 SI115A 穴室住居跡出土遺物(1)



回収 番号	登録番号	出土遺物	層位	種別	器・様	口径×底径×高さ(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真 図版
1	C-267	SI115A	P6	土器部	环	(12.4) × ×(1.9)	口縁部～底部へウカズリ	口縁部～底部へラグナフ	90	
2	C-265	SI115A	カマツ	土器部	环	(10.4) × ×(3.4)	口縁部～全体へラグナフ	口縁部～全体へラグナフ	内外面黒色処理	90
3	C-268	SI115A	堆積土	土器部	环	(15.0) × ×(5.5)	口縁部ヨコナフ、体部へウカズリ	口縁部～全体へラグナフ	90	
4	C-270	SI115A	P18	土器部	素?	(19.6) × ×(4.5)	口縁部ヨコナフ、ヘアラグナフ	口縁部ヨコナフ、腹部ヘラグナフ	90	
5	C-269	SI115A	P2	土器部	素?	(22.6) × ×(5.6)	口縁部ヨコナフ、腹部ヘラグナフ	口縁部ヨコナフ、腹部ヘラグナフ	90	
6	C-266	SI115A	P5	土器部	井	(27.8) × ×(6.7)	口縁部ヨコナフ、腹部ヘラグナフ	口縁部ヨコナフ、腹部ヘラグナフ	90	
7	C-271	SI115A	1a層	土器部	井	*×(8.4) ×(4.2)	井部ヘラグナフ	井部ヘラグナフ、孔辺ヨコナフ	90	
8	E-080	SI115A	堆積土	組合部	环	*×(8.2) ×(1.1)	口ヨコ調整、底部手持ちヘラグナフ	口ヨコ調整	90	
9	E-081	SI115A	1a層	組合部	井	(19.8) × ×(3.7)	口縁部～天井部ヨコ調整 →天井部斜板ヘラグナフ	口ヨコ調整	90	

第178図 SI115A 穫穴住居跡出土遺物(2)

SI115B 穫穴住居跡(第179図)

【位置・確認】3B区中央部南側、10・11・15・16グリッドに位置する。SI 115A掘り方底面で、周溝・ピット・土坑のみを検出した。

【重複】SI 115A・117に切られる。

【規模・形態】検出した部分の規模は、長軸5.10m、短軸4.84mを測り、平面形状は隅丸長方形を呈する。

【方向】住居跡の南北軸は、東辺基準でN-45°-Eである。

【柱穴】3基検出した。柱痕が確認されたものは無い。規模はいずれも上端径60cm、深さ10～28cmを測る。

【周溝】西辺北側および北辺西側、重複の影響がおよぶ箇所をのぞき、全周する周溝を検出した。幅10～18cm、深さ10cm程を測り、断面形状はU字状を呈する。

【その他の施設】土坑を2基検出した。SK1は北辺コーナー、SK2は住居中央部に位置する。

【出土遺物】掲載した遺物はない。

SI116 穫穴住居跡(第180図)

【位置・確認】3B区中央南部、11グリッドに位置する。搅乱によって住居跡の殆どが失われており、煙道部のみを検出した。

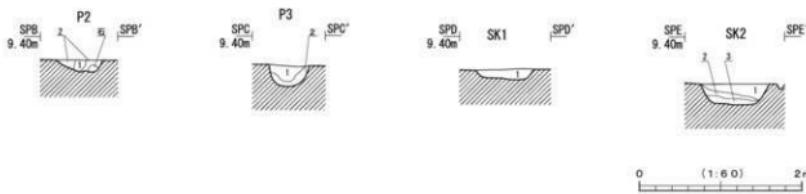
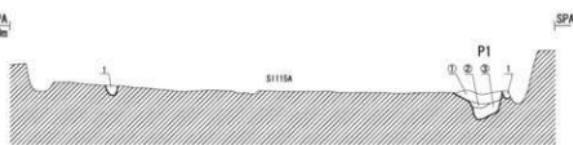
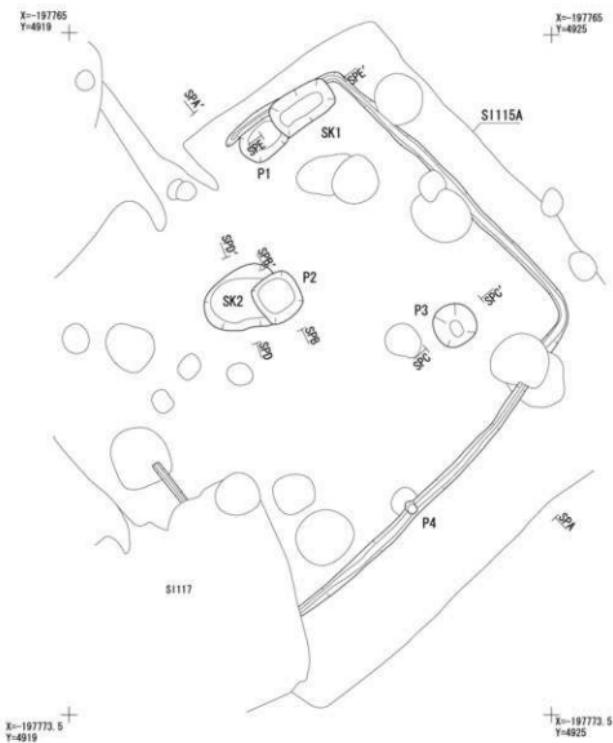
【重複】SI 115A・Bを切る。

【規模・形態】残存する煙道部は、長さ72cm、幅30cmを測る。中央部北側底面から、上端径14×12cm、深さ9cmを測るピットを検出した。

【方向】煙道部の主軸方位はN-2°-Eである。

【堆積土・構築土】4層に分層した。

【出土遺物】掲載した遺物は無い。



第179図 SI115B 竪穴住居跡

SI115B 堆積土註記表

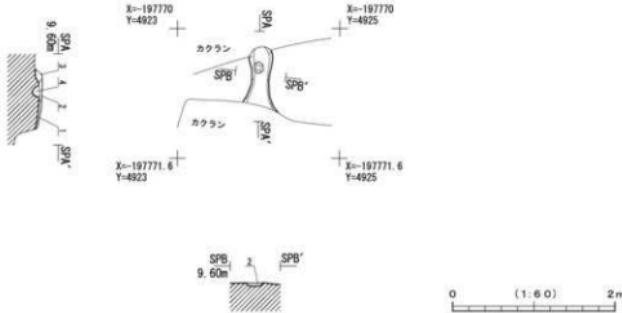
部位	層位	土色	土性	備考
面溝	I	10YR3/3	暗褐色	シルト 10YR7/6明黃褐色プロック少量、炭化物(徑1~2mm)、燒土粒微量含む

SI115B 施設堆積土註記表

部位	層位	土色	土性	備考
SK1	1	25Y5/2	暗褐色	10YR8/1灰白色土(徑5~10mm)及び10YR6/6明黃褐色土少量、炭化物、燒土粒微量含む
	1	25Y6/2	灰褐色	10YR8/6明黃褐色プロック(徑5mm以下)少量、10YR7/1灰白色プロック(徑10~30mm)含む
	2	25Y7/2	灰褐色	10YR7/1灰白色プロック(徑5~20mm)少量、10YR3/1黑褐色プロック(徑10mm以下)含む
P1	3	10YH4/4	褐色	砂質シルト マンガニン少量含む
	①	25Y8/1	明黃褐色	砂質シルト 10YR8/1灰白色土粒含む
	②	25Y4/2	暗褐色	砂質シルト 10YR8/1灰白色土粒含む
P2	③			削り跡
	1	10YR3/3	暗褐色	砂質シルト 10YR7/1灰白色プロック(徑5mm)少量、炭化物微量含む
	2	10YR3/4	暗褐色	砂質シルト 10YR7/6明黃褐色土+多量含む
P3	1	10YR3/4	暗褐色	砂質シルト 10YR1/1黑色プロック(徑10~20mm)少量含む
	2	10YR4/4	褐色	砂質シルト 10YR3/1褐色プロック(徑5~10mm)少量、燒土粒(徑1~5mm)微量含む

SI115B 施設堆積土註記表

遺構名	平面形	規模(cm)	深さ(cm)	備考	遺構名	平面形	規模(cm)	深さ(cm)	備考
SK1	不整形	73×(62)	10		P2	方形	59×58	10	
SK2	椭円形	(81)×46	22		P3	円形	53×53	28	
円	椭円形	65×53	24		P4	不明	(18)×(14)	-	



SI116 堆積土註記表

部位	層位	土色	土性	備考
壁道	1	10YR3/3	暗褐色	シルト
	2	5YR1.7/1	黑色	シルト 黑褐色土粒少量含む
	3	10YR3/3	暗褐色	シルト 炭化物多量、燒土粒微量含む
	4	5YR1.7/1	黑色	シルト 地山プロック少量含む

第180図 SI116堅穴住居跡

SI117 壓穴住居跡(第181~183図)

【位置・確認】3B区南部中央、10・IIグリッドに位置する。

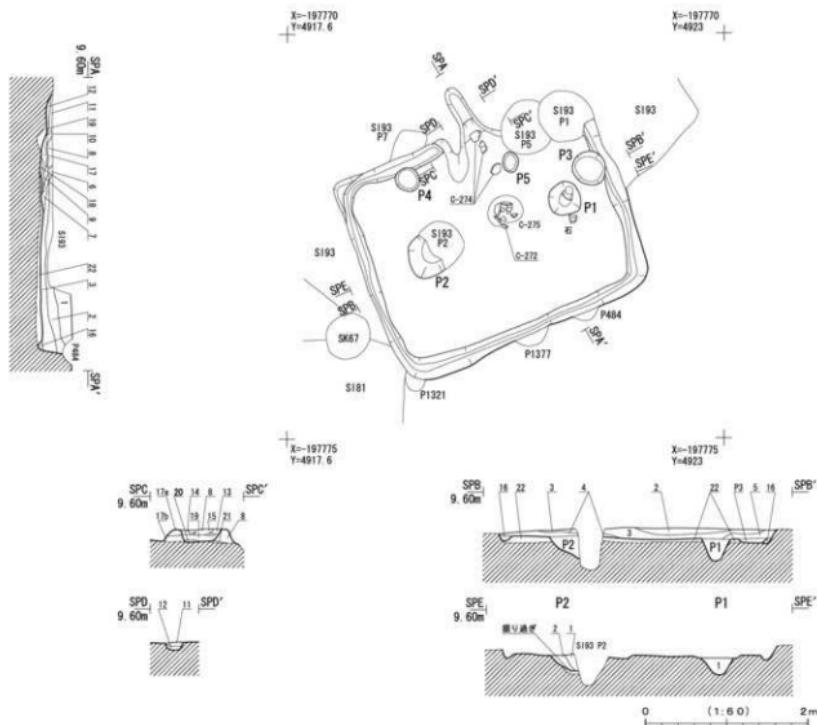
【重複】SI115A・Bを切り、SI81・93に切られる。

【規模・形態】検出した部分の規模は、長軸3.37m、短軸2.64mを測り、平面形状は隅丸長方形を呈する。

【方向】住居跡の南北軸は、カマド基準でN-30°-Eである。

【堆積土・構築土】22層に分層した。1~6層は住居堆積土、7~15・17a~20層はカマド関連層位、16層は周溝堆積土、21層以下は掘り方堆積土である。

【壁面】残存する壁高は、東壁9~36cm、西壁36cm、南壁35cm、北壁13~17cmを測り、壁は直線的にやや外傾する。



SI117 堆積土柱記載

部位	層位	土色	土性	備考
堆積土	1	10YR3-3	暗褐色	シルト 10YR4-4 黄褐色シルトブロック, 10YR3-2 黑褐色シルトブロック含む
	2	10YR3-2	黒褐色	シルト 10YR4-4 黄褐色シルトブロック, 10YR3-3 黑褐色シルトブロック含む
	3	10YR4-2	灰黃褐色	シルト 10YR4-4 黄褐色シルトブロック, 10YR3-3 黑褐色シルトブロック少量, 7.5YR2-3 黑褐色地帯シルトブロック, 化成物粒含む
	4	10YR3-3	暗褐色	シルト 10YR4-4 黄褐色シルトブロック, 10YR3-3 黑褐色シルトブロック少量含む
	5	10YR4-2	灰黃褐色	シルト 10YR2-3 黑褐色シルトブロック, 10YR4-4 黄褐色シルトブロック, 7.5YR2-3 黑褐色地帯シルトブロック少量含む
	6	10YR3-2	黒褐色	シルト 化成物粒含む
カマド	7	10YR3-2	暗褐色	シルト 化成物粒含む (カマド煙突土)
	8	10YR3-4	暗褐色	シルト 化成物粒含む (カマド煙突土)
	9	5YR4-6	赤褐色	シルト 硫土 (カマド煙突土)
	10	10YR3-4	暗褐色	シルト 7.5YR2-3 黑褐色地帯シルトブロック下部是化物集団 (カマド煙突土)
周溝	11	10YR3-3	暗褐色	シルト 10YR4-4 黄褐色シルトブロック、10YR3-4 黄褐色シルトブロック、化成物粒少量、7.5YR2-3 黑褐色地帯シルトブロック微量含む (堆積)
	12	10YR3-3	暗褐色	シルト 10YR4-4 黄褐色シルトブロック含む (堆積)
	13	10YR3-4	暗褐色	砂質シルト 7.5YR2-3 黑褐色地帯シルトブロック、7.5YR2-2 黑褐色地帯シルト粒含む
	14	10YR3-2	黒褐色	砂質シルト 10YR4-4 黄褐色地帯シルトブロック、5YR4-4/1.5n-赤褐色地帯シルトブロック、化成物ブロック含む
	15	10YR2-2	黒褐色	砂質シルト 7.5YR2-3 黑褐色地帯シルトブロック少量含む
側沟方	16	10YR3-4	暗褐色	砂質シルト 10YR4-4 黄褐色地帯シルトブロック少量含む
	17a	10YR4-3	12.5n-黄褐色	砂質シルト 10YR3-2 黑褐色地帯シルト粒、10YR4-4 黄褐色地帯シルト含む (カマド跡)
カマド	17b	10YR2-3	暗褐色	シルト 10YR4-4 黄褐色シルト粒含む (カマド跡)
	18	10YR4-4	黒褐色	砂質シルト 10YR3-4 黑褐色地帯シルト粒含む (カマド跡)
	19	5YR2-1	黒褐色	5YR1-6 赤褐色地帯シルトブロック、5YR2-3 黑褐色地帯シルトブロック含む (火床面)
	20	5YR3-1	黒褐色	(火床面)
側沟方	21	10YR3-3	暗褐色	シルト 10YR4-4 黄褐色地帯シルトブロック、7.5YR2-3 黑褐色地帯シルト、10YR4-4 黄褐色地帯シルト含む
	22	10YR4-3	12.5n-黄褐色	砂質シルト 10YR3-3 黑褐色地帯シルトブロック、10YR4-4 黄褐色地帯シルト含む

第181図 SI117豊穴居跡

SI117 施設堆積土柱記表

部位	層位	土色	土性	備考
P1	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 10YR4/4褐色シルトブロック、10YR3/2黒褐色シルトブロック、5YR4/4に近い赤褐色地土ブロック含む
P2	1	10YR3/4	暗褐色	砂質シルト 10YR4/4褐色砂質シルトブロック、10YR3/2黒褐色シルトブロック量含む
P3	2	10YR4/3	12.5% 黄褐色	砂質シルト 10YR4/2灰黄褐色砂質シルト、10YR4/4褐色砂質シルト含む
P3	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 10YR4/4褐色シルトブロック、7.5YR3/3暗褐色地土ブロック、5YR4/4に近い黄褐色地土ブロック、炭化物含む

SI117 施設觀察表

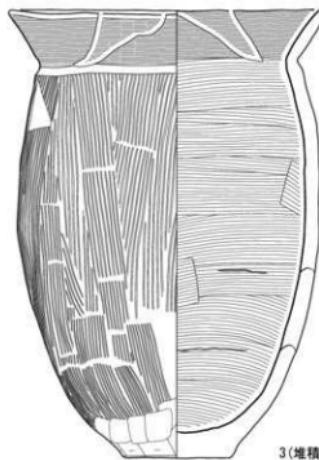
遺構名	平面形	範囲(cm)	深さ(cm)	備考	遺構名	平面形	範囲(cm)	深さ(cm)	備考
P1	円形	60×60	24		P4	円形	50×48	7	
P2	円形	72×54	18		P5	円形	25×30	11	
P3	円形	44×41	14						



1(掘り方)



2(堆積土・掘り方)

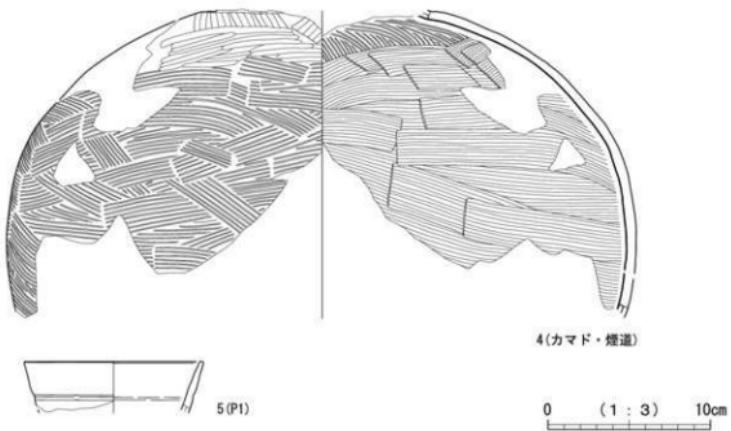


3(堆積土)



0 (1 : 3) 10cm

第182図 SI117 竪穴住居跡出土遺物(1)



第183図 SI1117堅穴住居跡出土遺物(2)

[床面] 3・4層下面を床面とし、ほぼ平坦である。

[柱穴] 5基検出した。規模や位置からみてP1・2が主柱穴に相当すると考えられる。両ピットはいずれも短軸中央の壁際に位置する揺持ち柱である。

[周溝] カマド直下およびSI 93に切られる北壁東側を除き、壁際を全周する周溝を検出した。幅12~28cm、深さ4~6cmを測り、断面形状は逆台形を呈する。

[カマド] 北壁の中央部東寄りに構築され、右袖はSI 93に切られる。左袖は長さ56cm、幅26cmを測り、北壁に直行するようにJ字状に延びる。燃焼部の規模は幅50cm、奥行き58cmを測る。煙道部は長さ60cm、幅20cm、深さ13cmを測り、底面は平坦である。

[掘り方] ほぼ平坦で、南東側へ僅かに傾斜する。

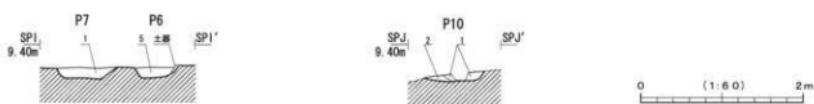
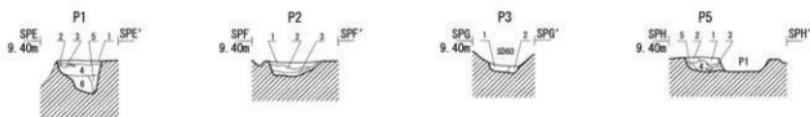
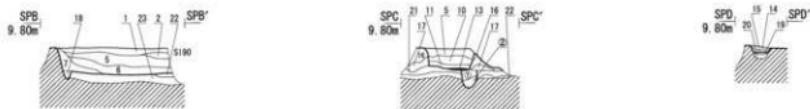
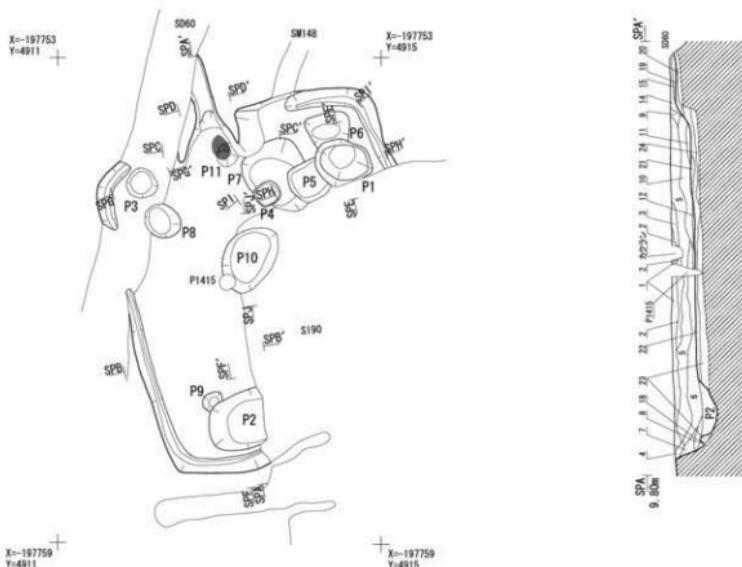
[出土遺物] 土師器環2点、壺2点、須恵器壺1点を掲載した。土師器環2点(第182図-1・2)は、いずれも掘り方からの出土である。第183図-4はカマドから出土した土師器壺胴窓の胴部上半である。P1から出土した須恵器壺(第183図-5)の口縁部には、1条の沈線がめぐる。

SI118 堅穴住居跡(第184・185図)

[位置・確認] 3B区中央部西側、25・30グリッドに位置する。

[重複] SI125を切り、SI90A・B、SD60に切られる。

[規模・形態] 検出した規模は、長軸4.23m、短軸3.64mを測り、平面形状は隅丸長方形を呈するものと思われる。



第184図 SI118竪穴住居跡

SI118 推積土記録

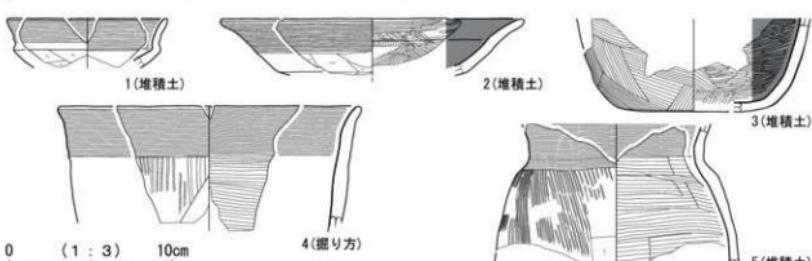
部位	層位	土色	土性	備考
堆積土	1	10YR3/2	黒褐色	シルト 炭化物(径2~3mm)少量、黄褐色ブロック(径1~3mm)含む
	2	10YR3/1	黒褐色	シルト 炭化物(径5~10mm)多量、燒土ブロック(径2~5mm)微量含む
	3	2.5Y4/3	暗灰褐色	シルト 炭化物(径2~3mm)多量、燒土ブロック(径5mm)微量含む
	4	2.5Y4/1	黃褐色	シルト 黄褐色土粒極多量、燒土ブロック(径1~5mm)、炭化物多量、燒土ブロック(径10mm)微量含む
	5	2.5Y3/3	暗オーブ褐色	シルト 黄褐色土粒多量、燒土ブロック(径2~3mm)微量、炭化物(径5~10mm)含む
	6	10YR4/2	灰褐色	シルト 地山ブロック、黒褐色ブロック(径2~60mm)含む
	7	2.5Y6/4	[に]灰褐色	シルト 地山ブロック極多量、燒土ブロック(径2mm)少量、炭化物(径5~20mm)含む
	8	10YR3/2	黒褐色	シルト (天然崩落土)
カマド	9	2.5Y5/4	黃褐色	シルト 黄褐色ブロック(径5mm)多量、炭化物(径5mm)、燒土ブロック微量含む
	10	10YR3/3	暗褐色	シルト 黄褐色土粒多量、燒土ブロック(径1~5mm)含む
	11	10YR3/4	暗褐色	シルト 燒土ブロック(径1~2mm)含む
	12	10YR4/4	褐色	シルト 燒土ブロック(径1~2mm)含む
	13	10YR4/3	[に]灰褐色	シルト 黄褐色ブロック(径2~3mm)多量、燒土ブロック(径5mm)微量含む (火床面)
	14	2.5Y3/3	暗オーブ褐色	シルト 燒熱土ブロック(径5~10mm)多量含む (煙道落着土)
	15	5YR3/1	黑褐色	シルト 燒熱土ブロック(径5mm)少量、燒土ブロック(径1~2mm)微量含む (堆体)
	16	2.5/4	オーブ褐色	砂質シルト 黄褐色ブロック(径5~10mm)多量、燒土ブロック(径1~2mm)微量含む (カマド底)
周溝	17	10YR4/3	[に]灰褐色	シルト 黄褐色ブロック(径3mm)多量、炭化物、燒土ブロック(径2~5mm)微量含む
	18	2.5Y3/2	黒褐色	砂質シルト 黄褐色ブロック(径2mm)多量、炭化物、燒土ブロック(径2~5mm)微量含む
	19	2.5Y4/3	オーブ褐色	シルト 燒土ブロック(径5mm)微量含む
	20	2.5Y4/6	オーブ褐色	シルト 燒土ブロック(径5mm)微量、黄褐色土粒含む
	21	10YR3/4	暗褐色	シルト 炭化物(径5~15mm)、燒土ブロック(径5~10mm)含む
	22	10YR5/4	[に]灰褐色	砂質シルト 黄褐色ブロック(径10~30mm)、黄褐色土粒極多量、黒褐色ブロック(径10~30mm)含む
	23	10YR4/3	[に]灰褐色	砂質シルト 黄褐色ブロック(径2~5mm)多量、炭化物、燒土ブロック(径2~5mm)、炭化物(径5~10mm)、燒土ブロック(径10~20mm)含む
	24	10YR4/4	褐色	砂質シルト 黄褐色土粒極多量含む

SI118 施設構造土記録

部位	層位	土色	土性	備考
P1	1	10YR3/1	黒褐色	シルト 燒土ブロック(径5~10mm)多量、黄褐色ブロック(径2mm)、炭化物(径5~20mm)少量含む
	2	10YR5/4	[に]灰褐色	シルト 燒土ブロック(径5mm)微量含む
	3	10YR3/2	黒褐色	シルト 黄褐色ブロック(径5mm)、燒土ブロック(径5mm)少量、炭化物微量含む
	4	10YR4/3	[に]灰褐色	砂質シルト 燒土ブロック(径5mm)多量、燒土ブロック(径1~2mm)微量含む (柱根)
	5	10YR3/3	暗褐色	砂質シルト 黄褐色ブロック(径3mm)多量、炭化物微量含む (柱根)
	6	10YR4/3	暗褐色	砂質シルト 炭化物(径5~15mm)、燒土ブロック(径5~10mm)含む
P2	1	10YR3/1	黒褐色	シルト 燒土ブロック(径5~10mm)多量、黄褐色ブロック(径2mm)、炭化物(径5~20mm)少量含む
	2	2.5Y4/2	暗灰褐色	シルト 黄褐色ブロック(径10~30mm)、烧土ブロック(径5mm)微量含む
	3	10YR4/4	褐色	砂質シルト 黄褐色ブロック(径5mm)微量含む
P3	1	2.5Y4/2	暗灰褐色	砂質シルト 黄褐色ブロック(径5mm)少量含む
	2	10YR4/2	灰褐色	砂質シルト 黄褐色ブロック(径5~10mm)少量含む
P5	1	10YR4/4	褐色	砂質シルト 燒熱土ブロック(径10~20mm)多量含む
	2	10YR2/3	暗褐色	シルト 炭化物(径5mm)、燒土ブロック(径5~10mm)含む
	3	10YR4/4	褐色	砂質シルト 炭化物微量含む
	4	5YR2/3	黑褐色	シルト 炭化物、燒土粒、灰褐色土粒、炭化物、燒土ブロック(径5~10mm)多量含む
	5	10YR3/2	黑褐色	シルト 黄褐色ブロック(径5mm)少量化含む
P6	1	10YR3/2	黑褐色	砂質シルト 黄褐色ブロック(径5~10mm)、白褐色土粒多量、炭化物(径10~20mm)、燒土ブロック(径10mm)少量化含む
P7	1	10YR3/3	暗褐色	砂質シルト 炭化物(径5~20mm)多量、烧土ブロック(径5~10mm)少量化含む
P10	1	10YR2/3	暗褐色	シルト 炭化物(径5~20mm)多量、黄褐色ブロック(径2~3mm)少量化、燒土ブロック(径10mm)含む
P11	2	10YR4/3	[に]灰褐色	砂質シルト 炭化物微量含む
P11	①	10YR4/2	从灰褐色	シルト 黄褐色ブロック(径5~10mm)多量、燒熱土色ブロック(径20mm)多量、炭化物微量、燒土ブロック(径5~10mm)含む
	②	10YR3/2	暗褐色	シルト 黄褐色ブロック(径5mm)多量、炭化物微量、燒土ブロック(径5~10mm)含む

SI118 西詰輕敷

遺構名	平面形	規模(cm)	深さ(cm)	備考
P1	扇円形	65×35	25	
P2	方形	70×70	21	
P3	円形	37×37	12	
P4	円形	30×30	19	
P5	方形	47×42	15	
P6	方形	55×35	-	



第185図 SI118堅穴住居跡出土遺物

回数 番号	登録番号	出土遺構	層位	種 因	器 様	口径×底径×高さ(cm)	外 面 調 査	内 面 調 査	備 考	写真 回数
1	C-277	SI118	堆積土	土器器	环	(9.8) × ×(3.0)	口縁部コナデ、体部へラケズリ	口縁部コナデ、体部齊滅		90
2	C-276	SI118	堆積土	土器器	高环	(18.4) × ×(3.5)	口縁部コナデ、体部へラケズリ	口縁部コナデ、体部ヘラミギキ	内面黒色処理	90
3	C-278	SI118	堆積土	土器器	环	×(8.4) ×(5.9)	体部～底部ヘラナデ	体部～底部ヘラミギキ	内面黒色処理	90
4	C-279	SI118	掘り方	土器器	甕	(18.4) × ×(7.7)	口縁部コナデ、胴部へケメ	口縁部コナデ、胴部ヘラナデ		90
5	C-280	SI118	堆積土	土器器	甕	× ×(8.8)	口縁部～底部コナデ、胴部ヘラナメ、ヘラケズリ	口縁部コナデ、胴部ヘラナデ		90

【方向】住居跡の南北軸は、カマド基準でN-15°-Wである。

【堆積土・構築】24層に分層した。1～8層が住居堆積土、9～17・19・20層がカマド関連層位、18層は周溝堆積土、21層以下は掘り方堆積土である。

【壁面】残存する壁高は、いずれも30cm前後を測り、壁は直線的に外傾する。

【床面】6・8層下面を床面とし、南北方向は僅かな起伏がみられる。

【柱穴】11基検出した。柱痕が確認されたものは無く、北東側に多く構築される。位置関係からみてP1・2・8が主柱穴に相当すると考えられる。

【周溝】検出した部分においては、カマド周辺を除いて全周する周溝を検出した。幅7～14cm、深さ3～8cmを測り、断面形状はU字状を呈する。

【カマド】北壁の中央部西寄りに構築され、左袖の一部および煙道部末端はSD60に切られる。左袖は残存する部分で長さ50cm、幅25cm、右袖は長さ70cm、幅48cmを測り北壁から「ハ」字状に延びる。燃焼部は幅56cm、奥行き67cmを測り、底面から径33×18cmを測る火床面を検出した。煙道部は残存する部分で長さ70cm、幅26cm、深さ7cmを測り、底面は末端に向かって徐々に高まりがみられる。

【掘り方】僅かに起伏がみられ、南側に緩く傾斜する。

【出土遺物】土器器環1点、高环1点、鉢1点、甕2点を掲載した。第185図-1は体部と口縁部の境界に強い棱を持ち、口縁部が直立気味に立ち上がる器形を呈する。

SI119 穫穴住居跡(第186～188図)

【位置・確認】3B区北東38・43グリッドに位置する。

【重複】SD65に切られる。カマド煙道部および南辺北側コーナー周辺は、調査区東側へ延びる。

【規模・形態】検出した部分の規模は、長軸4.53m、短軸3.50mを測り、平面形状は北西・南東に長い隅丸長方形を呈する。

【方向】住居跡の南北軸は、カマド基準でN-62°-E、西辺基準でN-40°-Wである。

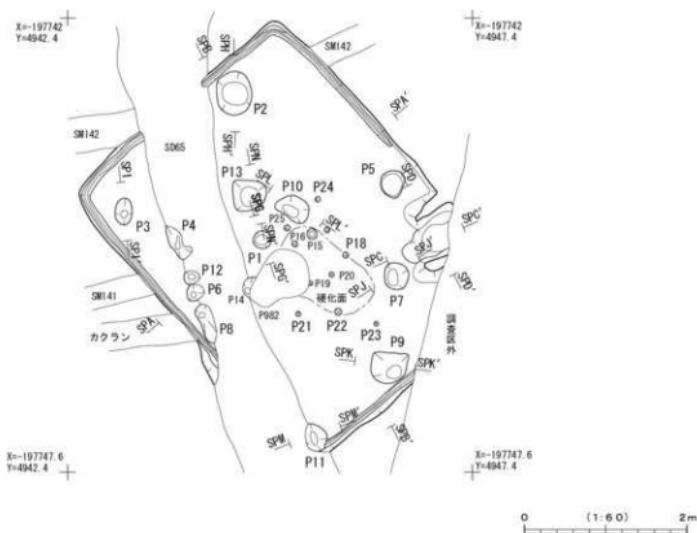
【堆積土・構築】24層に分層した。1～11層は住居堆積土、12層は周溝堆積土、13～22層はカマド関連層位、23層以下は掘り方堆積土である。

【壁面】残存する壁高は、いずれも20cm前後を測り、壁は直線的にやや外傾して立ち上がる。

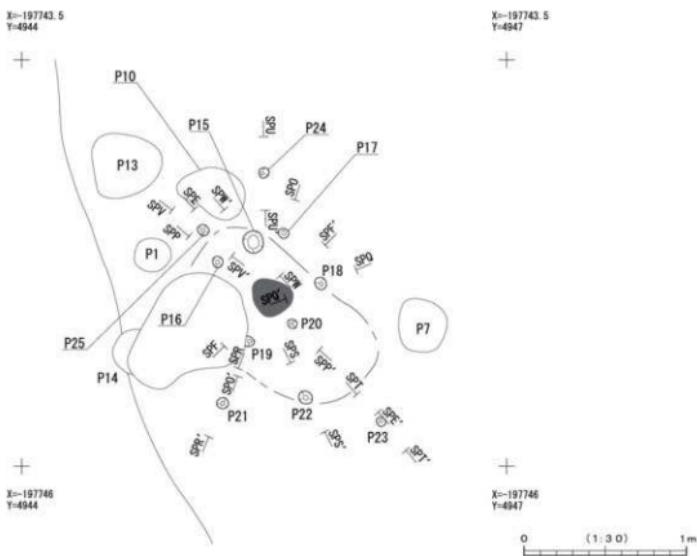
【床面】5～7・10・11層下面を床面とし、緩い起伏を持ちながら南側に傾斜する。

【柱穴】25基検出した。規模や位置、本住居跡の平面形状からみて、P2・9が棟持ち主柱穴に相当するものと考えられる。P1は5層に分層され、1層には炭化物や焼土が含まれるほか、2層以下からは著しく被然した痕跡が認められたことから、柱穴というよりも、むしろ炉的性格を有するピットと考えられる。また、P15～25はいずれも上端径が10cm未満の小規模なピットで、床面中央部に形成される硬化面周辺に擁まって位置することから、硬化面および硬化面内焼土と関連する施設である可能性が高い。

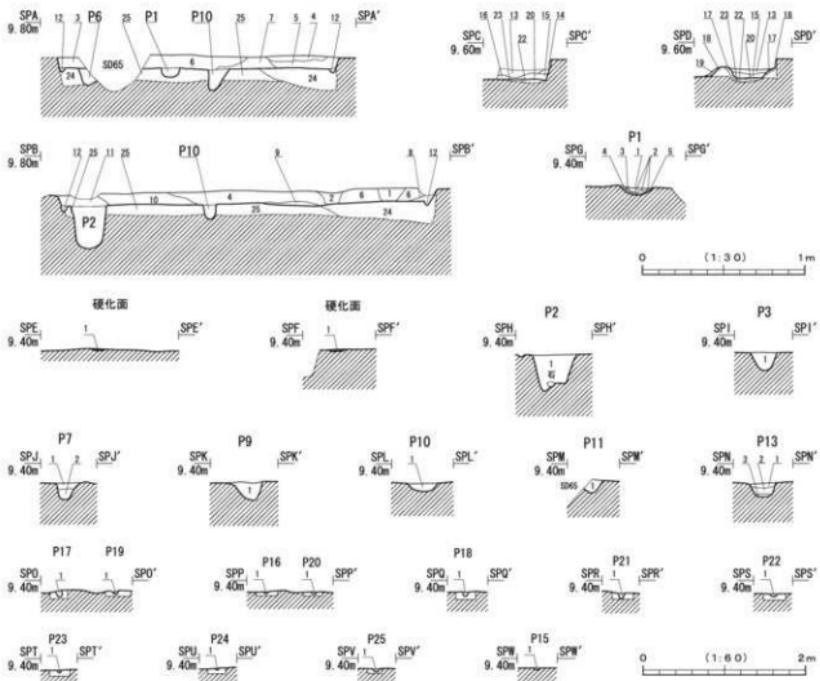
【周溝】カマド北側の一部を除き、検出された部分においては壁直下を全周する周溝を検出した。幅10～15cm、深さ5～10cmを測り、断面形状はU字状を呈する。



硬化面周辺ピット検出状況



第186図 SI119竪穴住居跡(1)



S1119 埋蔵土記表

部位	層位	土色	土性	備考
堆積土	1	2.5YR4/2	暗灰褐色	シルト 地山ブロック少量含む
	2	2.5YR4/3	黄灰褐色	シルト 地山ブロック少量含む
	3	10YH4/3	褐色	シルト 地山ブロック微量含む
	4	2.5YK3/1	黑褐色	シルト 炭化物、7.5YR5.6明褐色地土少量、地山ブロック微量含む
	5	2.5YK3/1	黑褐色	シルト 地山ブロック含む
	6	10YR4/2	2.5YR4/2 黑褐色	シルト 炭化物少量、5YR5.6明褐色地土粒微量、地山ブロック、10YR3/1/2黒褐色シルトブロック含む
	7	2.5YR3/2	黑褐色	シルト 地山ブロック、炭化物、7.5YR5.6明褐色地土粒少量含む
	8	10YR3/1	黑褐色	シルト 地山ブロック微量含む
	9	10YR4/2	2.5YR4/2 黑褐色	シルト 炭化物少量、地山ブロック含む
	10	5YR3/1	オリーブ黑色	シルト 地山ブロック微量、炭化物、7.5YR5.6明褐色地土粒微量含む
周溝	11	10YR3/2	黑褐色	シルト 地山ブロック、炭化物微量含む
	12	10YR3/1	黑褐色	シルト 炭化物、2.5YR6.6明褐色地土少量含む
	13	10YR3/3	暗オリーブ褐色	シルト 2.5YR6.6褐色地土含む(崩落土)
	14	10YR3/1	黑褐色	シルト 炭化物、2.5YR6.6褐色地土含む(崩落土)
カマド	15	10YR3/2	黑褐色	シルト 炭化物、2.5YR6.6褐色地土含む
	16	7.5YR3/2	黑褐色	シルト 炭化物、2.5YR6.6褐色地土粒少量含む
	17	2.5YR7/6	明黃褐色	シルト (カマド壁)
	18	10YR3/2	黑褐色	2.5YR7.6明黃褐色土(カマド壁)微量含む
	19	10YR3/2	黑褐色	シルト 2.5YR7.6明黃褐色土(カマド壁)、炭化物微量含む
	20	10YR4/4	赤褐色	炭化物微量含む(火落土)
	21	7.5YR4/3	2.5YR4/2 黑褐色	シルト (カマド壁の方)
排水沟	22	10YR4/4	2.5YR4/2 黑褐色	シルト (カマド壁の方)
	23	10YR3/3	暗褐色	シルト 黄褐色ブロック(径2~3mm)極多量、炭化物、地山ブロック(径1mm)含む
	24	10YR4/6	褐色	シルト 褐色ブロック(径2~3mm)少量、黄褐色土含む

第187図 S1119 穴式住居跡(2)

SI119 施設埋跡記述

層位	層記	土色	土性	備考
P1	1	10YR3/1	黒褐色	シルト 炭化物(径3~4mm), 鉄土(2~4mm), 鉄, ガラス化物含む
	2	2.5Y7/3	浅黄色	(鐵熱面)
	3	2.5Y8/1	淡白色	(鐵熱面)
	4	10YR7/8	黃褐色	(鐵熱面)
	5	10YR3/1	暗赤褐色	(熱灰, 鐵熱)
P2	1	10YR3/2	黒褐色	シルト 炭化物(径1~2mm)少量, 10YR4/6赤褐色土, 2.5Y8/8明赤褐色土鉄微量, 地山ブロック含む
P3	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 地山ブロック, 炭化物(径1~2mm)微量含む
P7	1	10YR3/2	黒褐色	シルト 2.5Y8/8明赤褐色土鉄少量, 地山ブロック, 炭化物微量含む
	2	10YR4/2	灰黃褐色	シルト 地山ブロック, 炭化物(径1~2mm)微量含む
P9	1	10YR3/2	黒褐色	シルト 地山ブロック少量, 炭化物(径1~2mm), 2.5Y8/8明赤褐色土鉄微量含む
P10	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 2.5Y8/8明赤褐色土鉄少量, 地山ブロック, 炭化物(径2~3mm)含む
P11	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 地山ブロック, 炭化物微量含む
	1	10YR4/3	にじむ・黃褐色	シルト 地山ブロック, 炭化物微量含む
	2	10YR4/2	灰黃褐色	シルト 地山ブロック少量, 炭化物微量含む
P13	3	10YR4/2	灰黃褐色	シルト 地山ブロック含む
P15	1	10YR4/2	灰黃褐色	シルト 炭化物微量, 地山ブロック微量含む
P16	1	10YR2/3	黒褐色	シルト 黄褐色ブロック(径3~5mm)多量, 炭化物微量含む
P17	1	10YR2/3	黒褐色	シルト 黄褐色ブロック(径3~5mm)多量, 炭化物微量含む
P18	1	10YR2/3	黒褐色	シルト 黄褐色ブロック(径3~5mm)多量, 炭化物微量含む
P19	1	10YR2/3	黒褐色	シルト 黄褐色ブロック(径3~5mm)多量, 炭化物微量含む
P20	1	10YR2/3	黒褐色	シルト 黄褐色ブロック(径3~5mm)多量, 炭化物微量含む
P21	1	10YR2/3	黒褐色	シルト 黄褐色ブロック(径3~5mm)多量, 炭化物微量含む
P22	1	7.5YR4/2	灰褐色	シルト 黄褐色ブロック(径1~2mm)少量含む
P23	1	7.5YR4/2	灰褐色	シルト 黄褐色ブロック(径1~2mm)少量含む
P24	1	7.5YR4/2	灰褐色	シルト 黄褐色ブロック(径1~2mm)少量含む
P25	1	10YR4/3	にじむ・黃褐色	シルト 黄褐色ブロック(径3~5mm)少量含む
炭化土塊内焼土	1	2.5YR4/3	にじむ・歩褐色	(火床面)

SI119 地盤難解剖

遺構名	平面形	規模(cm)	深さ(cm)	備考
P1	円形	25×22	4	
P2	円形	55×43	49	
P3	楕円形	35×22	24	
P4	楕円形	42×15	39	
P5	円形	34×30	14	
P6	円形	25×14(14)	17	
P7	円形	42×30	22	
P8	楕円形	48×18	15	
P9	円形	45×38	23	
P10	円形	40×26	18	
P11	円形	35×26	16	
P12	円形	18×16	12	
P13	円形	42×36	19	



0 (1 : 3) 10cm



2(2層)

図版番号	登録番号	出土遺構	層記	様 男	器 物	D1径×底径×器高(cm)	外 脂 調 整	内 脂 調 整	備 考	写真 図版
1	C-281	SI119	床面	土壌器	环	9.1×2.6×3.7	D1縫部コロナデ, 体部-底部ヘラケズリ	D1縫部-体部コロナデ, 底部ナデ		91
2	C-282	SI119	2層	土壌器	鉢	(18.6)×(5.2)	D1縫部コロナデ, 体部ヘラケズリ	D1縫部-体部ヘラカギ	内外面黑色処理	91

第188図 SI119堅穴住跡出土遺物

【カマド】東辺の南側に構築され、煙道部は調査区外に延びる。袖部は左袖が長さ50cm、幅45cm、右袖が検出長35cm、幅35cmを測り、東辺に直行するように延びる。燃焼部は幅45cm、奥行き65cmを測り、底面から径32×25cmを測る火床面を検出した。

【その他の施設】床面のほぼ中央部において、径128×73cmを測る硬化面が形成されているのを確認した。この硬化面中央部には、径23cmを測る焼土範囲を検出した。上記したP14～25と関連する施設の可能性が考えられる。

【掘り方】中央部に高まりを持ち、壁に向かって緩く傾斜する。

【出土遺物】土師器壺、鉢各1点を掲載した。第188図-1は床直上からの出土である。

SI120 穫穴住居跡(第189～194図)

【位置・確認】3B区北端中央部、41・45・46グリッドに位置する。本住居跡の掘り方底面からは、本住居跡とほぼ同じ軸方向をもつ周溝2条とピットを検出した(SI129A・B)。このことから、本住居跡が構築される前段階において、少なくとも二度にわたる竪穴住居跡の構築が確認された。なお、北辺の一部は4区に延びるが、4区から検出された部分については、既に報告されている(第315集所収)。

【重複】SI129A・Bを切り、SD42・62・66に切られる。

【規模・形態】検出した部分の規模は長軸6.92m、短軸5.70mを測る。平面形状は隅丸方形ないし隅丸長方形を呈する。

【方向】住居跡の南北軸は、カマド基準でN・41°・Wである。

【堆積土・構築土】22層に分層した。1～5・7層は住居堆積土、6・9～21層はカマド関連層位、8層は周溝堆積土、22層は掘り方堆積土である。13・14層は袖構築土、16層は火床面である。

【壁面】残存する壁高は、いずれも30cm前後を測り、壁は内湾気味にやや外傾して立ち上がる。

【床面】2・4～6層下面を床面とし、やや起伏がみられる。

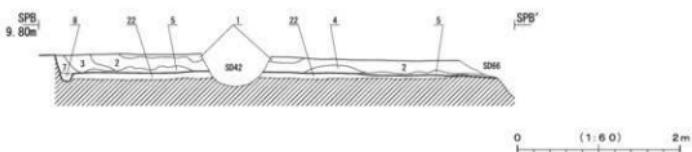
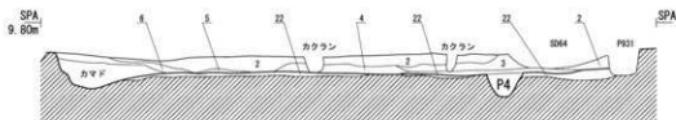
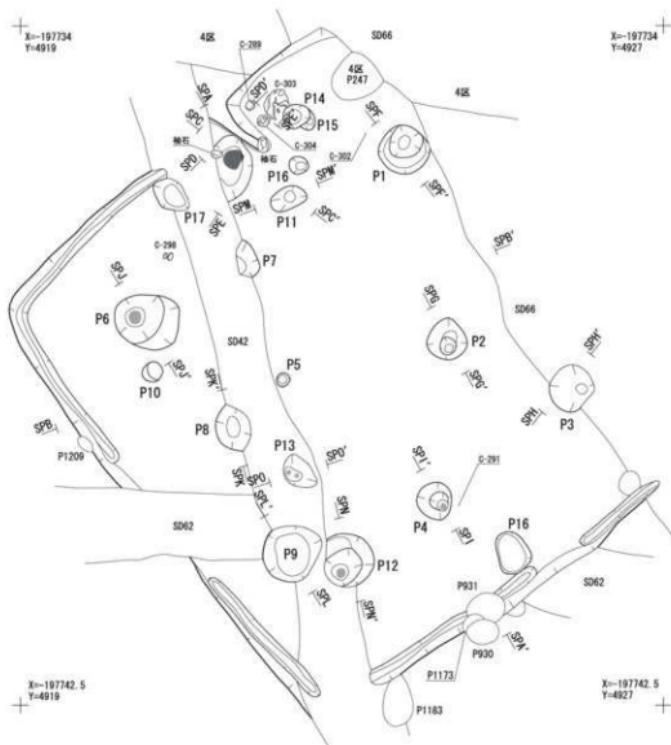
【柱穴】17基検出した。P4・6・12・13には柱痕が確認された。規模や位置からみて、P1・3・6・12が主柱穴に相当すると考えられる。

【周溝】北辺東側を除き、断続的にほぼ全周する周溝を検出した。幅10～20cm、深さ5～8cmを測り、断面形状は逆台形を呈する。

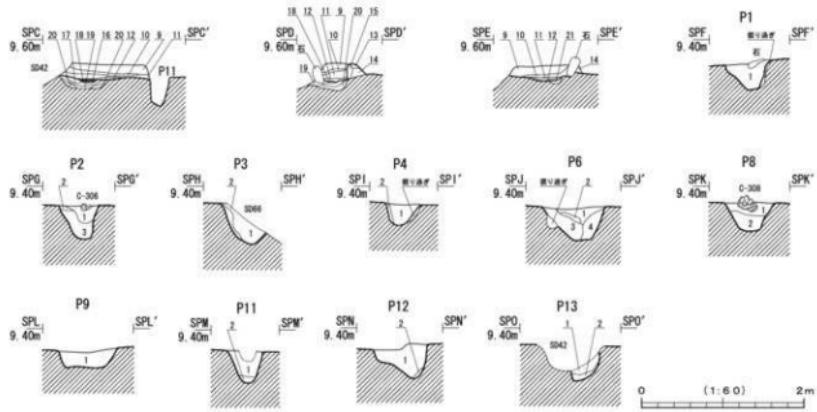
【カマド】北辺中央部に構築される。左袖および煙道部は、SD42に切られる。右袖は長さ80cm、幅34cmを測り、北辺に直行するように延びる。末端からは袖石が出土した。燃焼部は残存幅45cm、奥行き68cmを測り、底面から径20cm程の火床面を検出したほか、火床面に近接して袖石もしくは支脚に使用されたと思われる自然礫が出土した。

【掘り方】中央部に高まりを持ち、南北は壁に向かって徐々に傾斜する。

【出土遺物】本住居跡からは多くの遺物が出土しており、土師器壺14点、壺1点、高杯1点、鉢3点、甕8点、瓶2点、ミニチュア2点、須恵器壺1点、礫石器1点、石製紡錘車1点を掲載した。土器は第191図-2・3・12、第193図-24を除き、床面もしくは床面施設から出土したもので、良好な一括資料となり得る。第191図-1～6は、いわゆる関東系に属する土師器壺で、口縁部はやや内傾するもの(第191図-1～3)と、直立するもの(同図-3～6)に大別される。同図-3・5には黒漆が塗布される。同図-7～14は、いわゆる在地系の土師器壺で、口縁部と体部の境界に段を持ち、口縁部が外傾する器形が多い。第192図-17の外面底部には刻書が観察される。土師器瓶(第194図-28・29)は、いずれも單孔である。



第189図 SI 120豎穴住居跡(1)



S1120 増進土記表

層位	層位	土 色	土 性	備 考
地盤土	1	10YR3-2	黒褐色	シルト 炭化物微量、地山ブロック含む
	2	2 YMH4-3	にじ 黒褐色	シルト 地山ブロック含む、5YR6-8褐色地土粒、遺物片微量、炭化物含む
	3	10YR4-3	にじ 黑褐色	シルト 地山ブロック、炭化物少量、遺物片微量、10YR3-1 黒褐色シルトブロック含む
	4	10YR3-3	黒褐色	シルト 5YR6-8褐色地土粒、炭化物微量、地山ブロック含む
	5	10YR4-4	褐色	シルト 炭化物、5YR6-8褐色地土粒、2.5YR3-6暗赤褐色土含む (カマド層落)
カマド	6	10YR4-4	褐色	シルト 地山ブロック、炭化物少量、むら
堆積土	7	2.5Y3/3	暗オーバー褐色	シルト 地山ブロック
堆積	8	10YR4-4	灰黄褐色	シルト 地山ブロック含む
カマド	9	10YR4-4	褐色	シルト 2.5YR3-6暗赤褐色地土微量、炭化物、5YR6-8褐色地土粒含む
	10	10YR3-2	黒褐色	シルト 5YR5-6明赤褐色地土ブロック含む 炭化物少量含む
	11	5YR3-1	黒褐色	粘土 炭化物、5YR5-6明赤褐色地土粒多量含む
	12	5YR5-6	明赤褐色	(赤土)
	13	10YR4-2	灰黄褐色	シルト (カマド層)
	14	2.5Y4/2	暗灰褐色	シルト (カマド層)
	15	10YR3-3	暗赤褐色	シルト (崩落土) 5YR6-5褐色地土粒(径3~5mm)含む
	16	5YR2/6	暗赤褐色	(水床面)
	17	5YR3-1	黒褐色	地山ブロック微量含む (カマド層の方)
	18	2.5YR5-8	明赤褐色	(カマド層の方)
側方	19	10YR4-3	にじ 黑褐色	シルト (カマド層の方)
	20	10YR4-3	褐色	5YR5-6明赤褐色地土粒(径3~5mm)微量含む (カマド層の方)
	21	10YR4-2	灰黄褐色	炭化物(径1~2mm)、2.5Y5-6明赤褐色地土(径2~5mm)、5YR6-8褐色地土粒(径1~3mm)少量含む (カマド層の方)
側方	22	2.5Y5/4	黄褐色	シルト 砂多量、炭化物微量、10YR1-1黒褐色シルトブロック(径2~3cm)含む

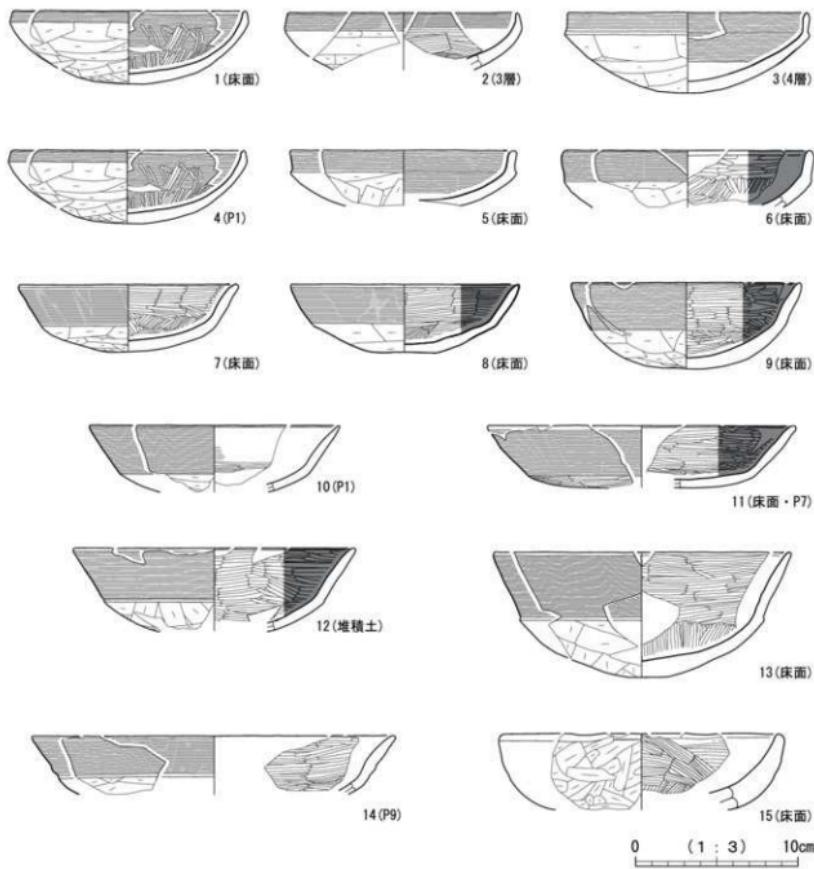
S1120 施設地槽土記表

層位	層位	土 色	土 性	備 考
P1	1	10YR4-2	灰黄褐色	シルト 炭化物、遺物片少量、地山ブロック微量含む
	1	10YR4-2	灰黄褐色	地山ブロック、炭化物微量、遺物片含む
P2	2	10YR4-3	にじ 黑褐色	10YR1-2/9 黄褐色地土及び 10YR3-2 黒褐色シルトブロック含む
	3	10YR3-2	黒褐色	地山ブロック微量含む
P3	1	10YR3-3	暗褐色	地山ブロック、炭化物微量含む
	2	10YR4-3	にじ 黑褐色	10YR3-3 暗褐色シルトブロック微量含む
P4	1	10YR3-2	黒褐色	シルト 炭化物微量含む
	2	10YR4-2	灰黄褐色	地山ブロック微量含む
P5	1	10YR3-3	暗褐色	シルト 炭化物、7.5YR5-6暗赤褐色地土粒(径3~8mm)含む
	2	10YR3-3	暗褐色	シルト 炭化物、5YR6-5褐色地土、10YR4-7褐色地土含む
P6	3	10YR4-2	灰黄褐色	シルト 炭化物微量含む
	4	10YR4-3	にじ 黑褐色	地山ブロック、炭化物微量含む
P7	1	10YR3-3	暗褐色	地山ブロック、炭化物微量含む
	2	10YR3-2	黒褐色	地山ブロック、炭化物微量含む
P8	1	10YR3-3	黒褐色	地山ブロック、炭化物微量含む
	2	10YR3-2	黒褐色	地山ブロック微量含む
P9	1	10YR3-3	黒褐色	地山ブロック、10YR2-2 黑褐色シルトブロック含む
	2	10YR3-2	黒褐色	地山ブロック微量含む
P10	1	10YR3-3	暗褐色	炭化物、5YR5-6明赤褐色地土粒微量含む
	2	10YR3-3	暗褐色	炭化物、5YR5-6明赤褐色地土粒微量含む
P11	1	10YR3-3	黒褐色	地山ブロック微量含む
	2	10YR3-2	黒褐色	地山ブロック微量含む
P12	1	10YR4-3	にじ 黑褐色	地山ブロック、10YR2-1 黑褐色シルト少量含む
	2	10YR4-3	にじ 黑褐色	地山ブロック微量含む
P13	1	10YR4-3	にじ 黑褐色	地山ブロック微量含む
	2	10YR4-3	にじ 黑褐色	地山ブロック微量含む

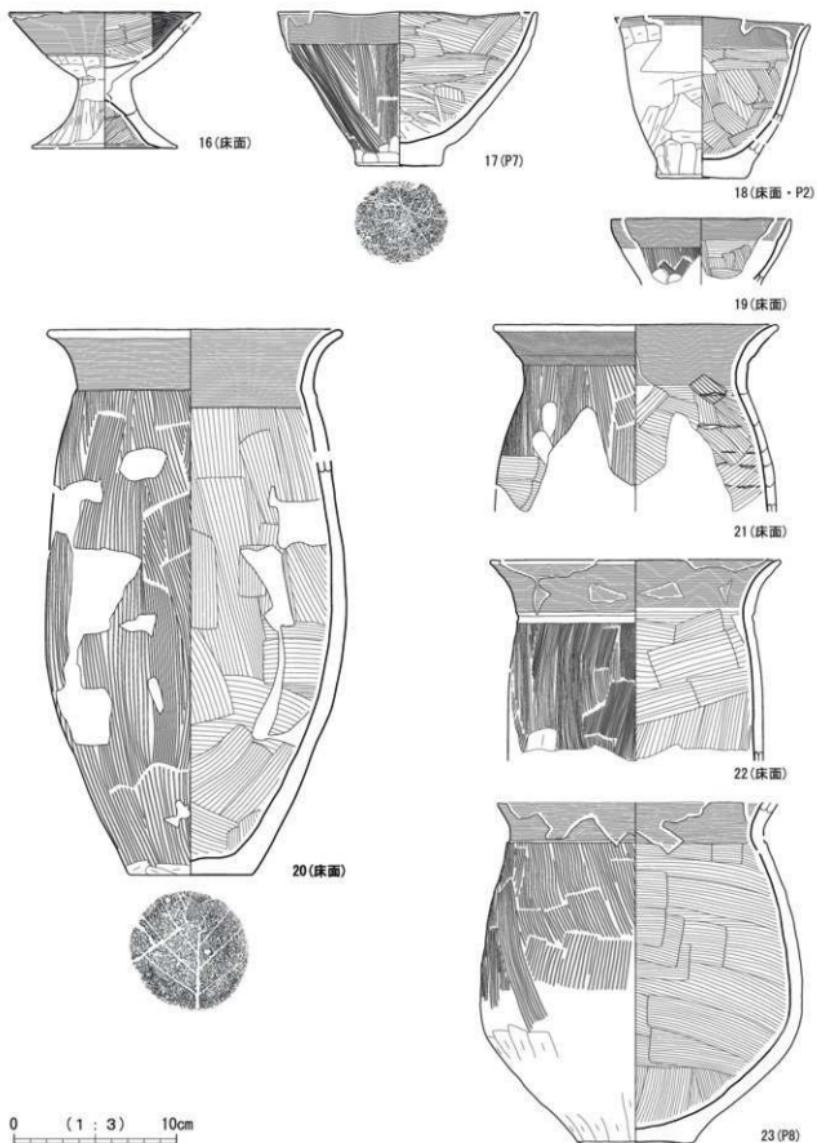
第190図 S1120豊穴住居跡(2)

SI120 掘立柱柵表

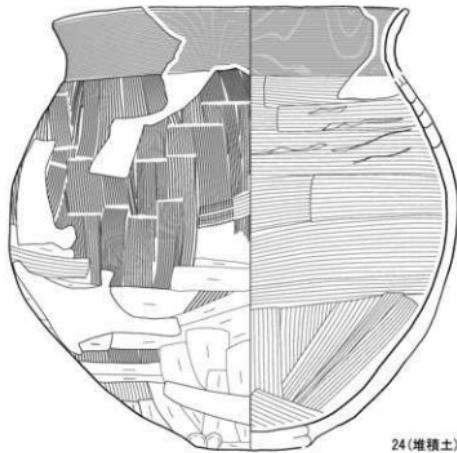
遺構名	平面形	規模(cm)	深さ(cm)	備考	遺構名	平面形	規模(cm)	深さ(cm)	備考
P1	円形	63×39	43		P10	円形	24×24	25	
P2	円形	52×30	71		P11	不整形	46×36	35	
P3	円形	69×35	69		P12	円形	67×(65)	61	
P4	円形	43×42	38		P13	円形	(49)×(36)	21	
P5	円形	16×15	13		P14	円形	33×29	17	
P6	円形	80×65	51		P15	円形	21×(11)	32	
P7	不整形	(47)×(12)	24		P16	不整形	52×42	7	
P8	扇円形	60×44	34		P17	不整形	70×40	29	
P9	円形	70×69	32						



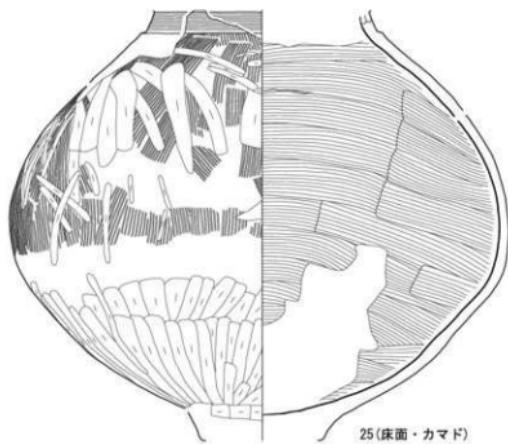
第191図 SI120竪穴住居跡出土遺物(1)



第192図 SI120竪穴住居跡出土遺物(2)



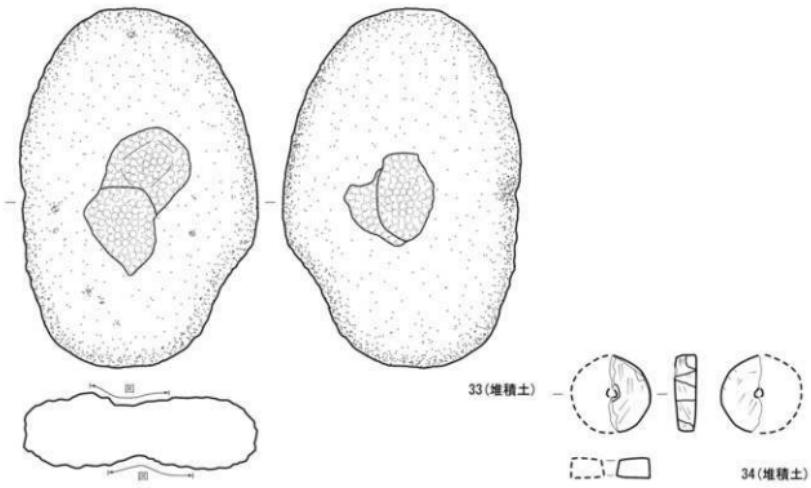
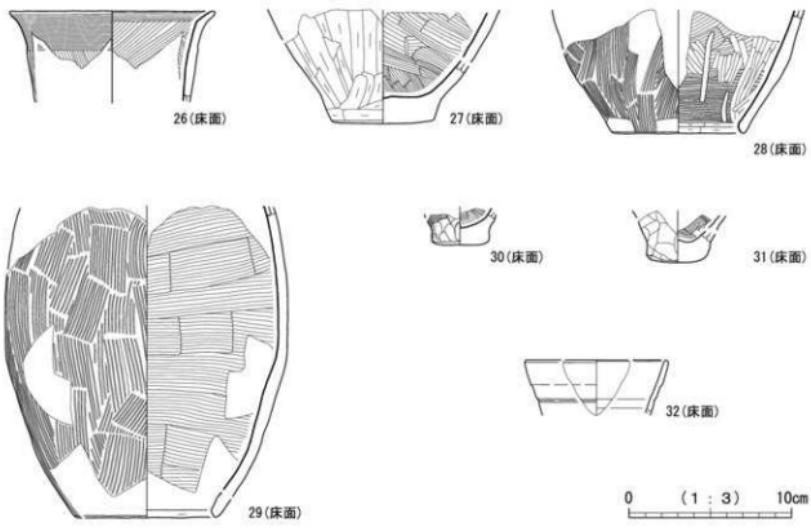
24(堆積土)



25(床面・カマド)

0 (1 : 3) 10cm

第193図 SI120竪穴住居跡出土遺物(3)



第194図 SI120竪穴住居跡出土遺物(4)

回数 番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外観調整	内面調整	備考	写真 回数
1	C-285	SI120	床面	土器器	环	14.4××4.5	口縁部ヨコナデ、体部～底部ヘラケズリ	口縁部～底部ヨコナデ ヘラケズリ		91
2	C-294	SI120	3層	土器器	环	(14.20××3.5)	口縁部ヨコナデ、体部ヘラケズリ	口縁部ヨコナデ、体部ヘラケズリ		91
3	C-295	SI120	4層	土器器	环	(14.0××4.2)	口縁部ヨコナデ、体部ヘラケズリ	口縁部ヨコナデ、体部ヘラケズリ	内面面塗墨布	91
4	C-291	SI120	円	土器器	环	14.7××5.0	口縁部ヨコナデ、体部～底部ヘラケズリ	口縁部～体部ヨコナデ		91
5	C-287	SI120	床面	土器器	环	(13.8)××3.4	口縁部ヨコナデ、体部ヘラケズリ	口縁部～底部ヨコナデ	内面面塗墨布	91
6	C-288	SI120	床面	土器器	环	(15.0)××3.5	口縁部ヨコナデ、体部ヘラケズリ	口縁部～底部ヨコナデ	内面黑色処理	91
7	C-289	SI120	床面	土器器	环	(13.4)××4.2	口縁部～体部ヨコナデ、底部ヘラケズリ	口縁部～底部ヘラケズリ		91
8	C-286	SI120	床面	土器器	环	(14.0)××4.2	口縁部ヨコナデ、体部～底部ヘラケズリ	口縁部～底部ヘラケズリ	内面黑色処理	91
9	C-283	SI120	床面	土器器	环	(14.0)××5.2	口縁部～底部ヘラケズリ、 体部ヨコナデ～底部ヘラケズリ	口縁部～底部ヘラケズリ	内面黑色処理	91
10	C-292	SI120	円	土器器	环	(15.4)××4.1	口縁部ヨコナデ、底部ヘラケズリ	口縁部ヨコナデ、底部ヘラケズリ	厚腹、体部ヘラケズリ	91
11	C-284	SI120	床面 ^下	土器器	环	(19.0)××3.8	口縁部～体部ヨコナデ、底部ヘラケズリ	口縁部～底部ヘラケズリ	内面黑色処理	91
12	C-296	SI120	堆積土	土器器	环	(17.2)××5.1	口縁部～体部ヨコナデ、体部下部ヘラケズリ	口縁部～体部ヘラケズリ	内面黑色処理	91
13	C-290	SI120	床面	土器器	环	(18.4)××7.7	口縁部～体部ヨコナデ、 体部下部ヘラケズリ	口縁部～底部ヘラケズリ		91
14	C-293	SI120	19	土器器	环	(22.4)××3.6	口縁部ヨコナデ、体部ヘラケズリ	口縁部～体部ヘラケズリ		91
15	C-297	SI120	床面	土器器	环	(16.8)××4.7	口縁部～体部ヨコナデ	口縁部～底部ヘラケズリ		91
16	C-288	SI120	床面	土器器	高环	(11.6)×(8.8)×8.4	环底部ヨコナデ、 体部ヨコナデ～高环	环底部ヨコナデ、 体部ヨコナデ～高环	内面环部黒色処理	91
17	C-300	SI120	17	土器器	环	(14.9)×5.0×9.5	口縁部ヨコナデ、体部ヘラケズリ、 体部下部ヨコナデ	口縁部～体部ヘラケズリ	底邊削居	91
18	C-306	SI120	床面 ^下	土器器	环	12.0×5.3×10.8	口縁部ヨコナデ、体部ヘラケズリ、 底邊付近ヨコナデ	口縁部ヨコナデ、体部ヘラケズリ		92
19	C-299	SI120	床面	土器器	环	(11.0)××4.1	口縁部ヨコナデ、体部ヘラケズリ～ヨコナデ	口縁部ヨコナデ、体部ヘラケズリ		91
20	C-302	SI120	床面	土器器	束	(17.8)×7.5×34.6	口縁部ヨコナデ、 底部ヘラケズリ	口縁部ヨコナデ、 底部ヘラケズリ		92
21	C-305	SI120	床面	土器器	束	(17.2)××11.5	口縁部ヨコナデ、 底部ヘラケズリ	口縁部ヨコナデ、 底部ヘラケズリ		92
22	C-301	SI120	床面	土器器	束	(17.8)××12.4	口縁部ヨコナデ、 底部ヘラケズリ	口縁部ヨコナデ、 底部ヘラケズリ		91
23	C-308	SI120	P16	土器器	束	×6.8×(21.0)	口縁部ヨコナデ、 底部ヘラケズリ	口縁部ヨコナデ、 底部ヘラケズリ		93
24	C-309	SI120	堆積土	土器器	束	(21.8)×(4.0)×27.1	口縁部ヨコナデ、 底部ヘラケズリ	口縁部ヨコナデ、 底部ヘラケズリ		93
25	C-303	SI120	床面 ^下 カマド	土器器	束	×(7.3)×(36.5)	口縁部ヨコナデ、 底部ヘラケズリ	口縁部ヨコナデ、 底部ヘラケズリ		92
26	C-307	SI120	床面	土器器	束	(12.5)××5.6	口縁部ヨコナデ、 底部ヘラケズリ	口縁部ヨコナデ、 底部ヘラケズリ		92
27	C-304	SI120	床面	土器器	束	×6.3×(7.0)	口縁部ヨコナデ、 底部ヘラケズリ	口縁部～底部ヘラケズリ		92
28	C-311	SI120	床面	土器器	瓶	×(8.0)×(7.6)	側面ハラメ、 底部付近ナデ	側面ハラメ、 底部付近ナデ	側面ヘラケズリ 孔開付近ヘラケズリ	93
29	C-310	SI120	床面	土器器	瓶	×(8.4)×(9.0)	側面ハラメ	側面ハラメ	側面～底部ヘラケズリ、 孔開付近ヘラケズリ	93
30	C-313	SI120	床面	土器器	二重チャム	×2.2×(2.3)	体部ハラメ～ヨビナデ、 底部ナデ	体部ハラメ～ヨビナデ、 底部ナデ	ヘラナデ	93
31	C-312	SI120	床面	土器器	二重チャム	×3.8×(3.2)	ヨビナデ	体部ヘラナデ、 底部ヨビナデ	ヨビナデ	93
32	E-003	SI120	床面	粗粘土	束	(8.6)××(3.4)	ヨロヨロ調整～沈縫1条	ヨロヨロ調整		93

SI121 壁穴住居跡(第195～198図)

[位置・確認] 3B区西側中央部、19・20・24・25グリッドに位置する。

[重複] SI 80・101・106、SD 60・61に切られる。

[規模・形態] 検出した部分の規模は、長軸5.55m、短軸4.50mを測り、平面形状は隅丸方形を呈する。

[方向] 住居跡の南北軸は、カマド基準でN-8°-Eである。

[堆積土・構築土] 23層に分層した。1～3層は住居堆積土、4～17層はカマド関連層位で、7層が火床面、8～12層がカマド崩落土、13～15層、18～22層は掘り方堆積土で、断面図中の①層は周溝堆積土である。

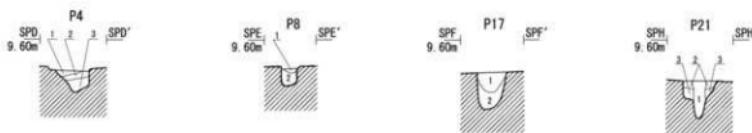
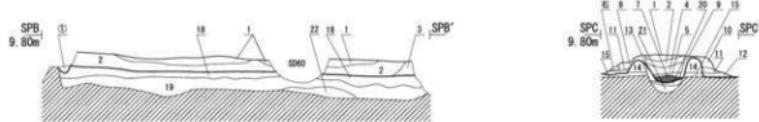
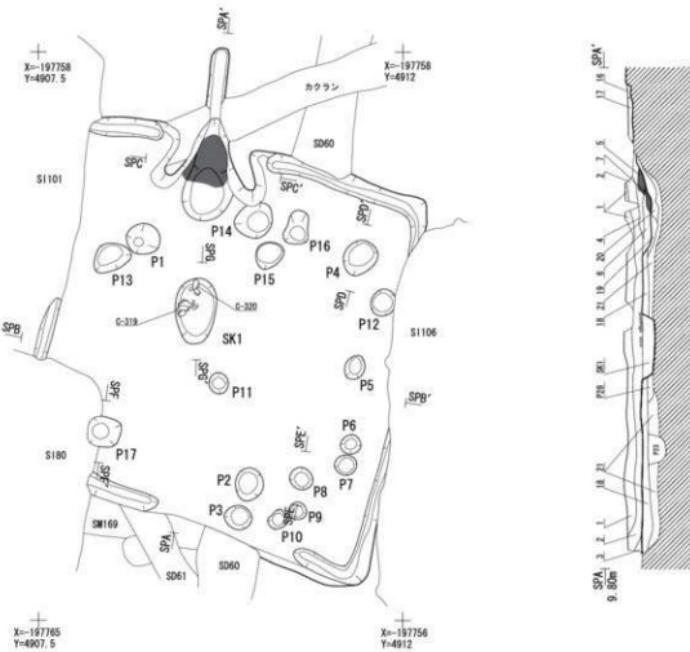
[壁面] 残存する壁高は、いずれも15cm前後を測り、壁は直線的に外傾して立ち上がる。

[床面] 2・3層下面を床面とし、南北方向に僅かな起伏がみられる。

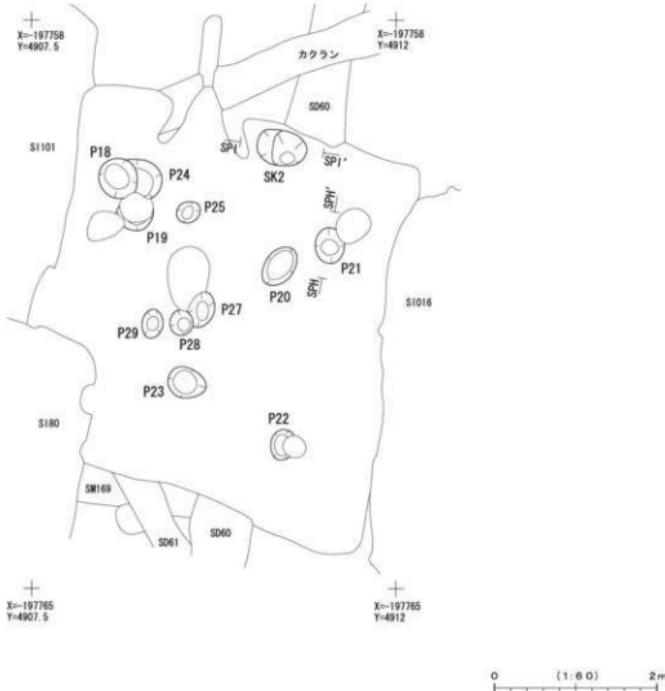
[柱穴] 29基検出した。P1～17は床面で検出したもので、東壁の南北に纏まりが認められる。規模や位置からみて、P1・4・8・17が主柱穴に相当すると考えられる。P18～29は掘り方からの検出で、P21のみ柱痕が確認された(第196図)。

[周溝] 検出した部分においては、カマド直下と南壁中央部東側を除き、全周する周溝を検出した。幅18～24cm、

番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	分類	長さ×幅×厚さ(cm)	重量(g)	石材	備考	写真 回数
33	Kc-114	SI120	堆積土	砾石器	円石	-	14.7×9.6×3.1	373.46	砾石岩	定形品、粒度標準、四面磨(?)板、厚さ(?)cm	93
34	Kd-027	SI120	堆積土	石制品	砂輪車	-	3.2×1.7×0.9	3.18	砾石岩	尖端品、最大幅(?)cm、厚さ(?)cm	93



第195図 SI 121 竪穴住居跡(1)



SI121 嵩様土柱記表

部位	層位	土色	土性	備考
堆積土	1	10YR3/4	暗褐色	シルト 10YR3/2 黒褐色シルトブロック少量。10YR4/4 暗褐色シルト粒含む
	2	10YR3/3	暗褐色	シルト 10YR4/4 暗褐色シルト粒、炭化物粒微量含む
	3	10YR3/4	暗褐色	シルト 10YR4/4 暗褐色シルト粒、5YR2/3 暗褐色非腐殖化土粒微量含む
カマド	4	7.5YR4/4	褐色	シルト 10YR4/4 暗褐色シルトブロック含む
	5	7.5YR3/2	黑褐色	シルト 5YR4/6 黑褐色地土ブロック、7.5YR4/4 に10YR3/1 黑褐色地土ブロック含む
	6	5YR2/2	黑褐色	塊土 5YR4/4 黑褐色地土ブロック、5YR4/6 黑褐色地土ブロック含む
	7	5YR3/4	暗赤褐色	塊土 5YR2/2 暗赤褐色地土ブロック含む (火床跡)
	8	10YR4/4	褐色	シルト 5YR3/3 暗褐色シルトブロック含む (カマド崩落土)
	9	7.5YR2/2	黑褐色	塊土 5YR4/4 に10YR3/1 黑褐色地土ブロック含む (カマド崩落土)
	10	10YR3/3	暗褐色	シルト 10YR4/3(2) 黑褐色砂質シルトブロック少量含む (カマド崩落土)
	11	10YR4/3	12.5YR3/3 黄褐色	砂質シルト 10YR3/3(2) 黑褐色砂質シルトブロック含む (カマド崩落土)
	12	10YR3/3	暗褐色	シルト 10YR4/3(2) 黑褐色砂質シルト、7.5YR4/4 暗褐色地土粒含む (カマド崩落土)
	13	10YR4/3	12.5YR3/3 黄褐色	砂質シルト (カマド跡)
	14	10YR4/4	褐色	砂質シルト 10YR3/3 暗褐色地土ブロック含む (カマド跡)
窓側	15	10YR4/4	褐色	砂質シルト 10YR4/3(2) 黑褐色砂質シルトブロック少量含む (カマド跡)
	16	10YR4/4	褐色	砂質シルト 10YR3/3 暗褐色地土ブロック、炭化物ブロック少量含む (カマド壁道)
	17	7.5YR3/3	暗褐色	シルト 7.5YR4/2 黑褐色シルト、5YR4/4 黑褐色地土含む (カマド壁道)
	18	10YR4/3	12.5YR3/3 黄褐色	砂質シルト 10YR4/4 暗褐色シルトブロック含む
	19	10YR3/2	黑褐色	シルト 5YR4/4 に10YR3/1 黑褐色地土粒、炭化物粒少量含む
	20	10YR5/4	12.5YR3/3 黄褐色	砂質シルト 10YR4/4 暗褐色砂質シルトブロック含む
	21	10YR4/4	褐色	砂質シルト 10YR4/3(2) 黑褐色砂質シルトブロック含む
周囲	22	10YR3/4	暗褐色	砂質シルト 10YR4/2 黑褐色砂質シルトブロック含む
	①	10YR3/3	暗褐色	シルト 10YR4/4 暗褐色シルト粒少量含む

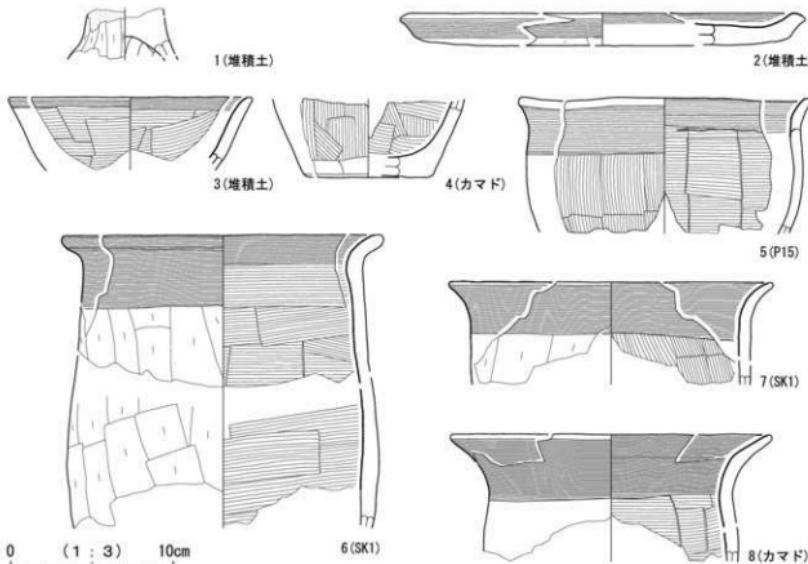
第196図 SI121竪穴住居跡(2)

SI121 施設堆積土柱表

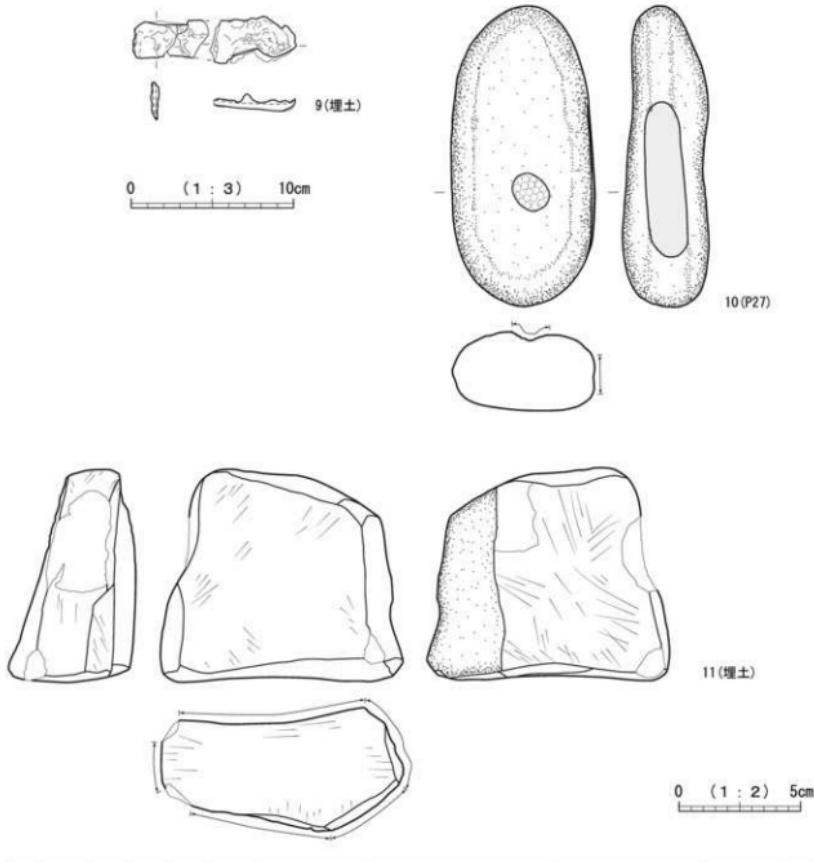
層位	層位	土 色	土 性	備 考
SK1	1	10YR4/3	にじむ・黒褐色	砂質シルト
	2	7.5YR3/2	黒褐色	シルト
	3	10YR5/3	にじむ・黒褐色	砂質シルト
	4	10YR4/6	褐色	砂質シルト
SK2	1	10YR3/3	暗褐色	シルト
	2	10YR3/2	黒褐色	シルト
	3	10YR4/3	にじむ・黒褐色	シルト
P4	1	10YR3/3	暗褐色	シルト
P8	2	7.5YR3/4	暗褐色	砂質シルト
	3	5YR2/2	黒褐色	壤土
P17	1	10YR3/4	暗褐色	シルト
	2	10YR3/3	暗褐色	シルト
P21	1	10YR	暗褐色	砂
	2	10YR4/6	にじむ・黒褐色	砂
	3	10YR4/3	にじむ・黒褐色	砂質シルト
SI121 施設軽量表				

遺構名	平面形	規模(cm)	深さ(cm)	備 考
SK1	楕円形	80×55	9	
SK2	不整形	74×44	28	
P1	円形	40×40	6	
P2	楕円形	40×34	7	
P3	楕円形	34×30	8	
P4	楕円形	36×20	30	
P5	楕円形	30×25	12	
P6	円形	24×23	12	
P7	円形	26×24	12	
P8	楕円形	30×25	25	
P9	円形	22×23	12	
P10	方形	24×21	9	
P11	円形	25×24	16	
P12	円形	30×30	12	
P13	不整形	50×34	9	
P14	不整形	48×42	11	

遺構名	平面形	規模(cm)	深さ(cm)	備 考
P15	不整形	28×32	13	
P16	不整形	42×26	34	
P17	方形	49×36	43	
P18	円形	50×48	12	
P19	方形	46×43	39	
P20	椭円形	51×36	7	
P21	円形	42×105	65	
P22	椭円形	38×155	23	
P23	椭円形	47×36	8	
P24	不整形	51×32	11	
P25	椭円形	30×23	14	
P26	-			SK1へ変更、欠番
P27	椭円形	44×31	18	
P28	円形	30×28	17	
P29	椭円形	35×25	12	



第197図 SI121 竪穴住居跡出土物(1)



国版 番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外観調整	内観調整	備考	写真 回数
1	C-316	SI121	堆積土	土器部	高环	×(3.2)	鋸部ヘラケズリ	鋸部ヨビナデ		94
2	C-315	SI121	堆積土	土器部	盤	(25.0)×(24.0)×2.0	口縁部ヨコナデ、底部ヘラケズリ	口縁部～底部ヨコナデ		94
3	C-314	SI121	堆積土	土器部	环	(14.8)×(14.2)	口縁部ヨコナデ、底部ヘラケズリ	口縁部ヨコナデ、底部ヘラケズリ		94
4	C-318	SI121	カマド	土器部	甕	×(7.4)×(4.9)	側面ヘラナダ、底部付近ナダ	側面ヘラナダ	木葉瓶	94
5	C-321	SI121	P15	土器部	甕	(19.6)×(8.4)	口縁部ヨコナデ、側面ヘラナダ	口縁部ヨコナデ、側面ヘラナダ		94
6	C-319	SI121	SK1	土器部	甕	(19.0)×(18.0)	口縁部ヨコナデ、側部ヘラケズリ	口縁部ヨコナデ、側部ヘラナダ		94
7	C-320	SI121	SK1	土器部	甕	(19.9)×(6.2)	口縁部ヨコナデ、側部ヘラケズリ	口縁部ヨコナデ、側部ヘラナダ		94
8	C-317	SI121	カマド	土器部	甕	(19.6)×(7.8)	口縁部ヨコナデ、腹底部掌溝	口縁部ヨコナデ、腹底部掌溝		94

国版 番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	備考	写真 回数		
9	N-011	SI121	堆積土	熟製品	糠	残存長9.9cm、幅最大3.0cm、厚0.5cm			94

国版 番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	分類	直さ×幅×厚さ(cm)	重量(g)	石一样	備考	写真 回数
10	Kc-318	SI121	P27	釋石器	磨+凹	-	12.3×5.8×3.3	212.93	磨灰岩	定形品、施凹槽、磨+凹(凸)、凹一面(单)深さ(浅)	94
11	Kd-028	SI121	堆積土	石製品	砾石	-	8.7×9.9×5.2	435.36	砂岩	定形品、面取り、板状、無孔、白灰面あり	94

第198図 SI121 穴尖住居跡出土遺物(2)

深さ3～8cmを測り、断面形状はU字状を呈する。

【カマド】北壁中央部西側に構築される。袖部は、左袖が長さ78cm、幅30cm、右袖が長さ70cm、幅45cmを測り、「ハ」字状に延びる。燃焼部は幅60cm、奥行き104cmを測り、底面の中央部奥壁側から火床面を検出した。煙道部は長さ80cm、幅20cm、深さ6cmを測り、底面はほぼ平坦である。

【その他の施設】土坑を2基検出した。SK1は床面のほぼ中央に位置し、堆積土中に焼土を含む。長軸の北側延長線上にはカマドが構築されていることから、カマドに関連する施設の可能性がある。SK2は掘り方からの検出である。

【掘り方】中央部に高まりが認められ、東側を除く三方に向かって起伏を持ちながら傾斜する。

【出土遺物】土師器壺1点、高杯1点、盤1点、甕5点のほか、鉄製鎌、蝶石器、砥石を各1点掲載した。土師器盤(第197図-2)は、口縁部が外反する器形を呈する。砥石(第198図-11)は砂岩製で、自然面を残す。

SII22 穫穴住居跡(第199～201図)

【位置・確認】3B区中央部北側、31グリッドに位置する。西側の約1/2はSI100に切られており、掘り方のみを検出した。

【重複】SD63を切り、SI100・128、SD42に切られる。

【規模・形態】残存する部分の規模は、一辻約2.60mを測り、平面形状はややいびつな隅丸方形を呈する。

【方向】住居跡の南北軸は、カマド基準でN-71°-Eである。

【堆積土・構築土】20層に分層した。1～5層は住居堆積土、6～17層はカマド関連層位で、6～8層がカマド天井部崩落土、11層が火床面、15～17層が袖構築土である。18層は周溝堆積土、19層以下は掘り方堆積土である。

【壁面】残存する壁高は、いずれも15cm前後を測り、壁は内湾気味に立ち上がる。

【床面】3～5層下面を床面とし、概ね平坦である。

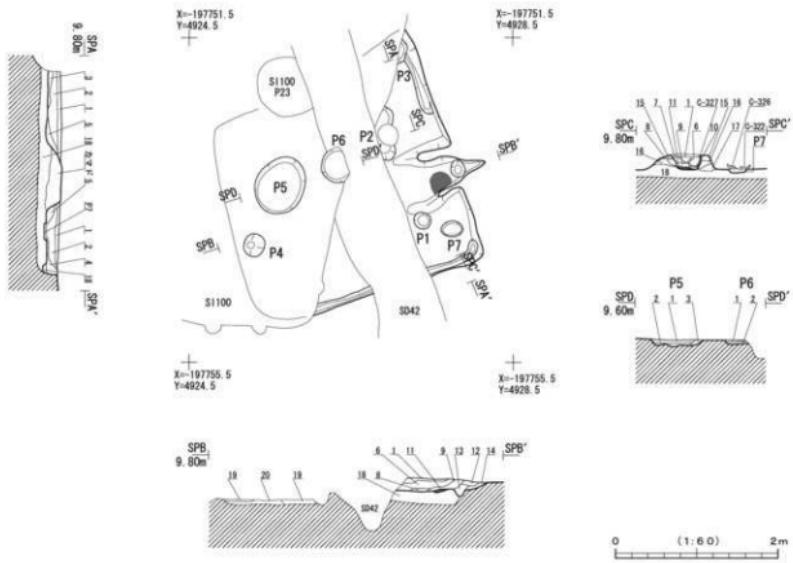
【柱穴】7基検出した。柱痕が確認されたものはない。

【周溝】検出した部分においては、カマド周辺を除き全周する周溝を検出した。幅8～23cm、深さ4～10cmを測り、断面形状は逆台形を呈する。

【カマド】東壁中央南側に構築される。カマド燃焼部およびカマド周辺からは、遺物が纏まって出土した(第200図)。袖部は左袖が長さ70cm、幅34cm、右袖が長さ75cm、幅15cmを測り、東壁に対し「ハ」字状に延びる。燃焼部は幅68cm、奥行き34cmを測り、底面から径30×20cmを測る火床面を確認したほか、煙道部との境界に上端径20cm、深さ8cmを測るピット状の落ち込みを確認した。火床面の西側から自然縞が出土したが、支脚として使用されたのかは判然としない。煙道部は長さ36cm、幅22cmを測り、底面は内湾気味に立ち上がる。

【掘り方】概ね平坦である。

【出土遺物】土師器壺4点、甕2点、砥石1点を掲載した。第201図-6はカマド燃焼部、同図-2・4・5はカマド周辺からの出土である。第201図-1の体部上端には、径2mmを測る貫通孔が認められる。土師器甕2点(同図-5・6)は、いずれも頭部に段を持ち、胴下部が膨らむ器形を呈する。



SI122 堆積土註記表

部位	層位	土色	土性	備考
堆積土	1	10YR3/2	黒褐色	黄褐色ブロック(径1~2mm), 硫土ブロック(径1mm)微量含む
	2	10YR4/3	褐色	シルト 黄褐色ブロック(径1~2mm)多量, 硫化物(径1mm)微量含む
	3	10YR4/3	10YR4/2 黒褐色	シルト 黄褐色ブロック多量, 黄褐色ブロック含む
	4	2.5Y3/2	黒褐色	シルト 黄褐色ブロック多量含む
	5	10YR4/2	灰黒褐色	シルト 黄褐色ブロック(径1~10mm)含む, 黄褐色ブロック(径5~10mm)少量, 硫化物, 硫土ブロック(径1mm)微量含む (カマド灰井部崩落土)
粘土	6	10YR4/2	灰黒褐色	シルト 硫土ブロック(径1mm)少量含む (カマド灰井部崩落土)
	7	10YR4/3	10YR4/2 黑褐色	シルト 硫土多量含む (カマド灰井部崩落土)
	8	5YR3/2	暗赤褐色	シルト 黄褐色ブロック(径5mm), 硫土ブロック(径5~10mm)多量含む (カマド灰井崩落土)
	9	5YR4/3	12.5Y4/2-赤褐色	シルト 硫熱変成土塊多量, 硫土ブロック(径5~20mm)多量含む (カマド煙道)
	10	5YR2/3	暗褐色	シルト 硫土ブロック(径2~10mm)多量, 硫化物(径5~10mm)少量含む (カマド煙道)
	11	2.5Y3/4	暗褐色	シルト (丸皿)
	12	10YR3/2	褐色	シルト 硫化物微量, 黄褐色ブロック(径1~2mm)含む (カマド煙道)
	13	10YR4/2	10YR4/2 黑褐色	シルト 黄褐色ブロック(径2~10mm)微量多量, 硫土粒微量含む (カマド煙道)
	14	10YR4/2	灰黒褐色	シルト 黄褐色ブロック(径5~10mm)微量多量含む (カマド煙道)
	15	10YR5/4	10YR4/2 黑褐色	シルト 黄褐色ブロック(径3~4mm)微量多量, 硫土粒微量含む (カマド煙道)
陶器	16	2.5Y4/3	オリーブ褐色	シルト 硫土ブロック(径2~5mm)少量, 硫土ブロック(径1mm)微量, 黄褐色ブロック含む (カマド輪)
	17	2.5Y4/6	黑褐色	シルト 硫土ブロック(径3~10mm)微量多量, 黄褐色土多量含む (カマド輪)
樹皮	18	2.5Y3/3	暗オリーブ褐色	砂質シルト 黒褐色ブロック(径5mm)少量, 硫土粒微量含む
	19	10YR3/2	黒褐色	シルト 黄褐色ブロック(径5~10mm)微量多量, 硫化物(径3~5mm)含む
樹皮	20	10YR4/3	10YR4/2 黑褐色	砂質シルト 黒褐色ブロック(径5~10mm)微量含む

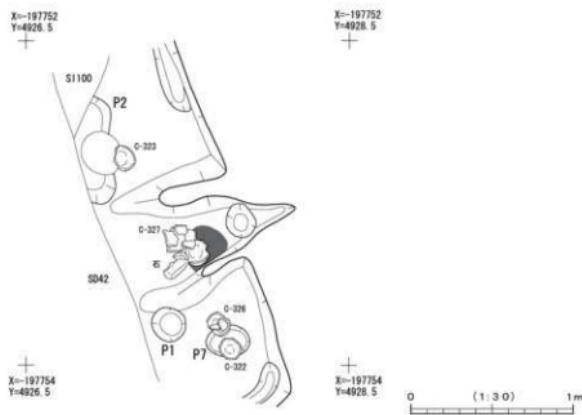
SI122 施設堆積土註記表

部位	層位	土色	土性	備考
P5	1	10YR4/3	10YR4/2 黑褐色	硫化物(径5~30mm)少量, 黑褐色ブロック(径10~20mm)含む
	2	10YR4/4	褐色	砂質シルト 褐色土粒微量多量含む
	3	10YR5/6	黑褐色	砂質シルト 黒褐色ブロック(径5~30mm)少量含む
P6	1	10YR4/3	10YR4/2 黑褐色	シルト 黒褐色ブロック(径10~20mm)多量, 硫化物(径5mm)含む
	2	10YR4/4	褐色	砂質シルト 褐色土粒微量多量含む

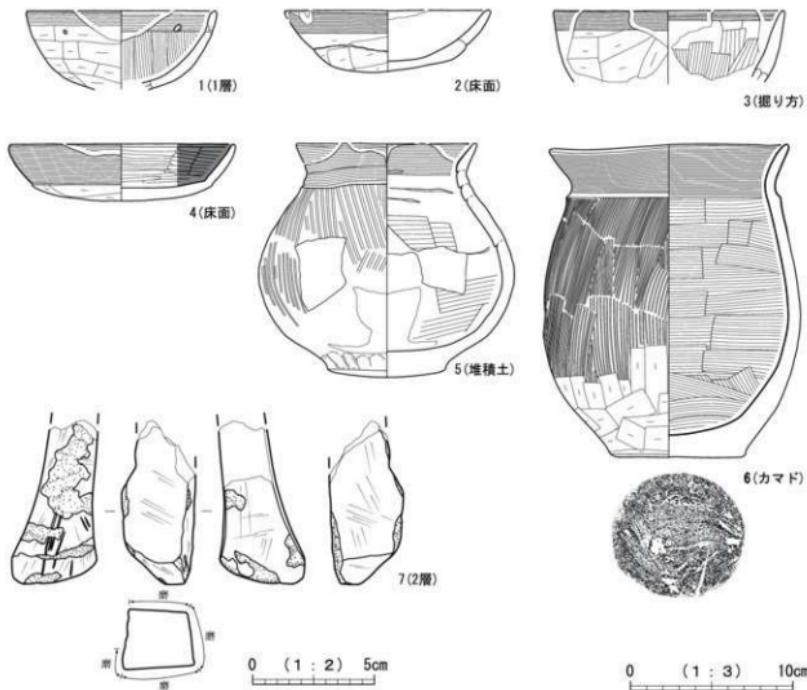
SI122 施設堆積土

遺構名	平面形	規模(cm)	深さ(cm)	備考
P1	円形	22×20	11	黄褐色
P2	不整形	78×26	11	
P3	不整形	28×9	9	
P4	円形	25×28	6	

第199図 SI122 穴式住居跡(1)



第200図 SI122 壁穴住居跡(2)



第201図 SI122 壁穴住居跡出土遺物

国調 番号	登録番号	出土遺物	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外 観 溝 塗			内 観 調 査	備考	写真 枚数
							分類	長さ×幅×厚さ(cm)	重量(g)	石 材		
1	C-324	SI122	1層	土師器	环	(11.6)×(4.9)	口縁部ヨコナギ、体部へラケズリ	口縁部ヨコナギ、体部へラナギ		外縁部穿孔。径 2mm	94	
2	C-322	SI122	床面	土師器	环	12.5×(3.8)	口縁部ヨコナギ、体部へラケズリ	口縁部ヨコナギ、体部へラナギ		口縁部穿孔有り	94	
3	C-325	SI122	掘り方	土師器	环	(14.2)×(4.4)	口縁部ヨコナギ、体部へラケズリ	口縁部ヨコナギ、体部へラナギ		口縁部穿孔有り	94	
4	C-323	SI122	床面	土師器	环	(13.8)×(3.5)	口縁部ヨコナギ、体部へラケズリ	口縁部ヨコナギ、体部へラナギ		内面黑色処理	94	
5	C-326	SI122	堆積土	土師器	甕	(11.0)×7.2×14.4	口縁部ヨコナギ、腹部へハケズリ	口縁部ヨコナギ、腹部へハケズリ		内面黑色処理	94	
6	C-327	SI122	カマド	土師器	甕	14.8×7.6×19.2	口縁部ヨコナギ、 胴部ハヌメ、脚下部へラケズリ	口縁部ヨコナギ、 胴部ハヌメ、脚下部へラナギ			94	
7	Kd-029	SI122	2層	石製品	砾石	-	(6.7)×3.0×3.5	68.83	珪化樹炭岩 欠損品、面吸り、柱状、無孔、溝状面あり、自然面あり		94	

SI123 穴住穴居跡(第202～204図)

【位置・確認】3B区北西部、45グリッドに位置する。東側1/2は擾乱で失われており、掘り方のみを検出した。

【重複】SM 208、P 1222、I224に切られる。これらはいずれも古代・中世期に帰属する遺構と考えられ、古代に帰属すると考えられる遺構との重複は認められない。

【規模・形態】検出した部分の規模は一辺3.10m前後を測り、平面形状は隅丸方形を呈する。

【方向】住居跡の南北軸は、カマド基準でN-120°-Wである。

【堆積土・構築】16層に分層した。1層は住居堆積土、2～14層はカマド関連層位で、2層がカマド崩落土、4・5層が煙道部堆積土、6層が煙出し部堆積土、9層が火床面、10～12層が抽構築土である。15層は周溝堆積土、16層は掘り方堆積土である。

【壁面】残存する壁高は、いずれも20cm前後を測り、壁は直線的にやや外傾して立ち上がる。

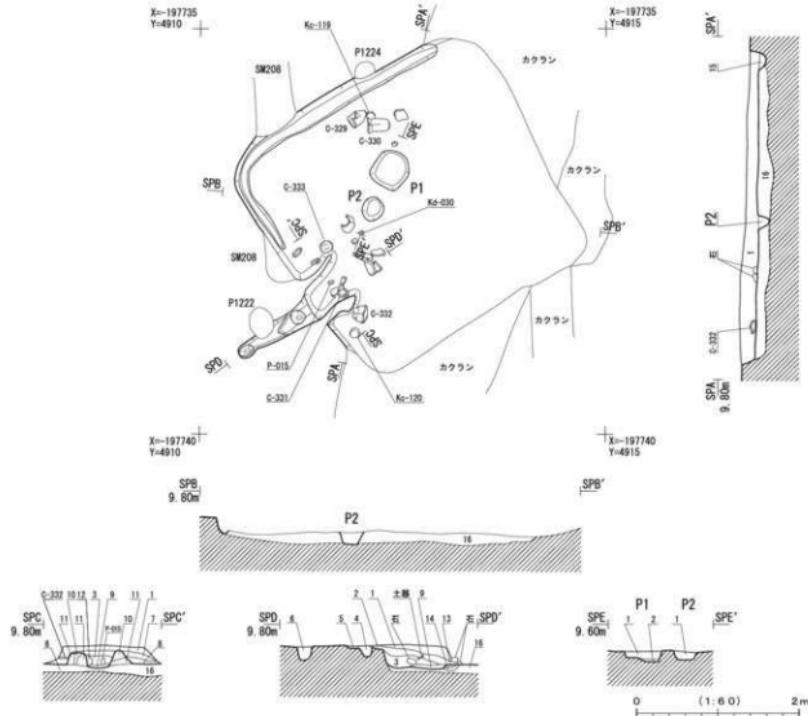
【床面】1層下面を床面とし、ほぼ平坦である。

【柱穴】2基検出した。いずれも柱痕は認められない。

【周溝】壁が残存する住居西側においては、壁際を全周する周溝を検出した。幅20～25cm、深さ5cmを測り、断面形状はU字状を呈する。

【カマド】西壁中央部南側に構築される。袖部は、左袖が長さ58cm、幅28cm、右袖が幅24cm、長さ65cmを測り、西壁に対し「ハ」字状に延びる。燃焼部は幅35cm、奥行き70cmを測り、底面中央部からは土製支脚(第203図-7)が出土した。煙道部は長さ100cm、幅17～25cm、深さ1～18cmを測り、底面は中央部に段を持つ。低位面側から上端径、深さ共に15cm程のピット状の落ち込みが確認された。煙出し部は上端径20×15cm、深さ16cmを測り、ピット状に落ち込む。

【出土遺物】本住居跡カマド周辺および北辺中央部からは遺物が纏まって出土しており、その中から土師器鉢2点、甕4点(甕？1点を含む)、土製支脚1点、礫石器2点、砾石1点を掲載した。第203図-2は口縁部が内傾する器形を呈する。土師器甕はいずれも頭部の括れが弱く、胴部に膨らみを持たない。同図-6は甕としたが、甕の可能性もある。土製支脚(同図-7)は全体にナナガが施され、底部は上げ底となる。また、遺物は掲載していないが、第202図に図示したように燃焼部の東側からは自然縞が纏まって出土しており、これらはカマドと関連する遺物の可能性が考えられる。



SI123 墓地土柱記表

部段	層位	土色	土性	備考
堆積土	1	10YR4/2	灰褐色	シルト 地山プロック、10YR3/1 黒褐色シルトプロック含む。遺物少量、炭化物、10YR3/3暗褐色堆積含む
	2	10YR4/3	灰褐色	シルト 地山プロック、10YR4/3 黑褐色シルトプロック含む。
	3	7.5YR3/1	黑褐色	シルト 地山プロック、10YR4/2 黑褐色シルトプロック含む。
	4	10YR4/3	灰褐色	シルト 2.5YR3/2 暗赤褐色土多量、2.5YR2/2暗褐色土粘質含む (カマド壁土)
	5	10YR3/1	黑褐色	シルト 2.5YR2/2 暗赤褐色土少量含む (カマド壁土)
	6	10YR3/2	黑褐色	シルト 地山プロック含む (カマド壁土)
	7	2.5YR4/2	暗褐色	シルト 地山プロック含む (カマド壁土)
	8	2.5Y4/2	暗褐色	シルト 2.5YR3/2 暗褐色地土粘質含む (灰床面)
	9	10R4/6	赤色	シルト 10YR3/3 黑褐色および10YR4/3に2.5YR3/2 暗褐色地土粘質含む
	10	10YR4/2	灰褐色	シルト 10YR3/3 黑褐色および10YR4/3に2.5YR3/2 暗褐色地土粘質含む (カマド壁)
	11	10YR3/2	黑褐色	シルト 10YR4/6赤褐色土多量、5YR8/8褐色地土 (厚3~5mm) 含む (カマド壁)
	12	10YR4/3	灰褐色	シルト 3YR5/6褐色地土 (厚3~5mm) 遺物含む (カマド壁)
	13	10YR3/2	黑褐色	シルト 10YR3/1 黑褐色シルトプロック少量、炭化物 (厚1~2mm) 遺物含む
	14	3YR7/1	黑褐色	シルト 10YR3/1 黑褐色シルトプロック少量、炭化物 (厚1~2mm) 遺物含む
	15	2.5Y5/3	黄褐色	シルト 10YR3/1 黑褐色シルトプロック少量、炭化物 (厚1~2mm) 遺物含む
	16	10YR3/3	褐褐色	シルト 10YR3/1 黑褐色シルトプロック少量、炭化物 (厚1~2mm) 遺物含む

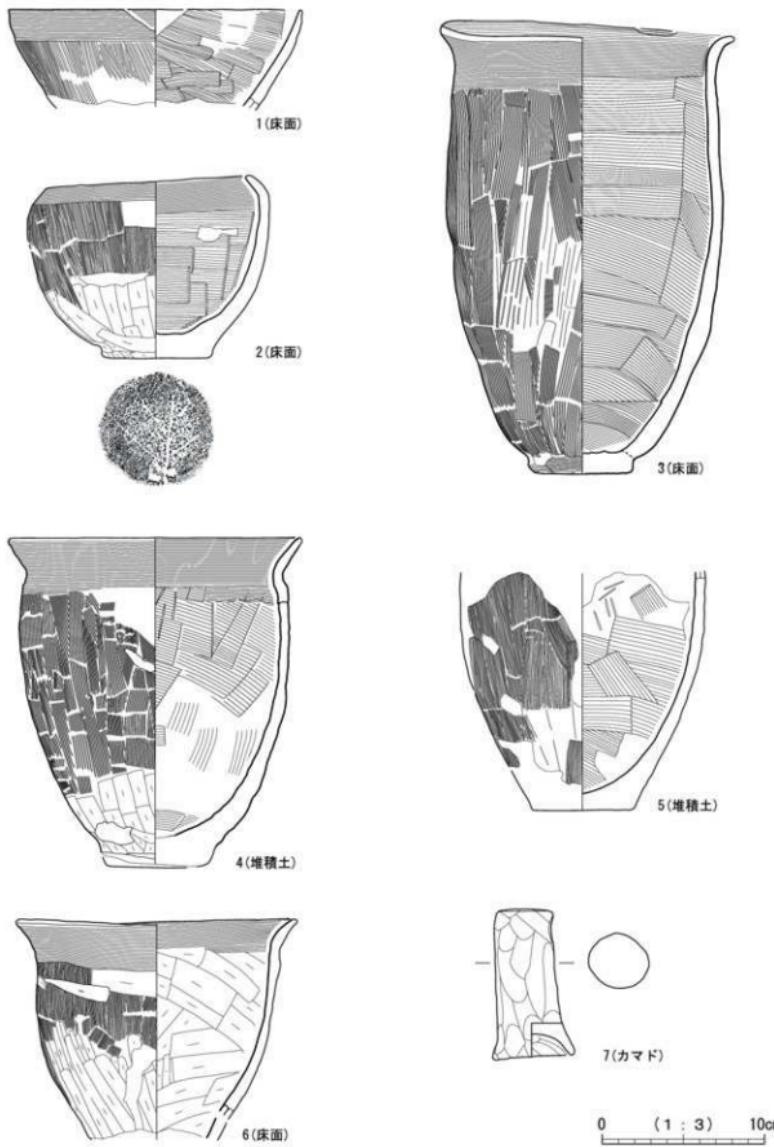
SI123 施設堆積土柱記表

部段	層位	土色	土性	備考
P1	1	10YR4/3	灰褐色	シルト 黄褐色プロック (厚2~3mm) 多量、炭化物 (厚3~5mm) 少量含む
	2	10YR4/2	灰褐色	シルト 黄褐色土少量含む
	3	10YR3/3	褐褐色	シルト 黄褐色プロック (厚2~3mm) 多量含む

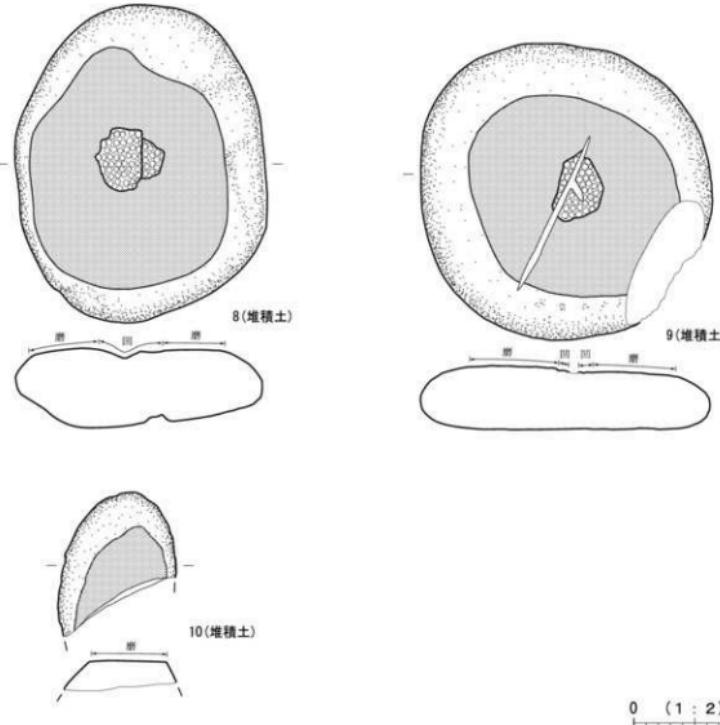
SI123 施設軽便表

遺構名	平面形	規模(cm)	深さ(cm)	備考	遺構名	平面形	規模(cm)	深さ(cm)	備考
P1	円形	47×44	36		P2	円形	32×26	21	

第202図 SI123堅穴住居跡



第203図 SI 123 竪穴住居跡出土遺物(1)



回収番号	登録番号	出土遺物	層位	種別	器種	口径×底径×高さ(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真回数
1	C-328	SI123	床面	土加器	鉢	(17.8)×(8.2)	口縁部ヨコナデ、体部ハケヌ	口縁部ヨコナデ、一部ハラカズ		94
2	C-332	SI123	床面	土加器	鉢	12.5×6.5×11.2	口縁部ヨコナデ、 胴上半部ハケヌ、 胴下半部～底部付近ハラカズ	口縁部ヨコナデ、 底部～底部ハラナデ	本葉刷	95
3	C-330	SI123	床面	土加器	甕?	27.9×18.0×6.0	口縁部ヨコナデ、 胴部～底部ハケヌ、 小口部ハメヘラタケナシの眞似、 底部付近ヨコナデ	口縁部ヨコナデ、 底部ハラナデ		95
4	C-329	SI123	堆積土	土加器	甕?	17.8×?×(21.0)	口縁部ヨコナデ、 胴部ハケヌ、胴下部ハラカズ	口縁部ヨコナデ、 胴部ハラナデ		95
5	C-331	SI123	堆積土	土加器	甕?	?×(6.1)×(14.7)	口縁部ヨコナデ、 胴上半部ハケヌ～ハラタケヌ、 胴下半部ハラカズ	底部ハナデ	本葉刷	95
6	C-322	SI123	床面	土加器	甕?	16.6××(13.2)	口縁部ヨコナデ、 胴上半部ハケヌ～ハラタケヌ、 胴下半部ハラカズ	口縁部ヨコナデ、 底部ハナデ		95

回収番号	登録番号	出土遺物	層位	種別	器種	長さ×幅×厚さ(cm)	重量(g)	備考	写真回数
7	P-015	SI123	カマド	土製品	支脚	9.3×3.8	139.8g	ナフ	95

回収番号	登録番号	出土遺物	層位	種別	器種	分量	長さ×幅×厚さ(cm)	重量(g)	石	備考	写真回数
8	Kc-119	SI123	堆積土	礫石器	磨石器	-	13.0×14.0×3.3	315.72	湖底岩	完形品、鶴岡産、磨一削一半、一面(腹)深さ(底)	95
9	Kc-120	SI123	堆積土	礫石器	磨石器	-	12.1×11.9×2.6	354.74	湖底岩	欠損品、鶴岡産、磨一面(半)、削一面(半)深さ(底)	95
10	Kd-030	SI123	地盤土	石製品	研磨石	-	(5.9)×4.3×(1.2)	17.12	湖底岩	欠損品、自然輝、板状、無孔、自然面あり	95

第204図 SI123堅穴住居跡出土遺物(2)

SI124 穫穴住居跡(第205～207図)

【位置・確認】3B区北端中央部、46・47グリッドに位置する。北側1/3程は4区に延びるが、4区から検出された部分については、既に報告されている(第315集所収)。

【重複】なし。

【規模・形態】4区検出分を含め、全体の規模は長軸3.07m、短軸2.35mを測り、平面形状は隅丸長方形を呈する。

【方向】住居跡の南北軸は、4区に位置するカマド基準でN・42°・Eである。

【堆積土・構築土】3B区においては15層に分層した。1～13層は住居堆積土、14層は周溝堆積土、15層は掘り方堆積土である。土色はやや異なるものの、7層は4区1層に対応し、8層は4区5層に対応する。

【壁面】残存する壁高は、いずれも35cm前後を測り、壁は直立気味に立ち上がる。

【床面】8～10層下面を床面とし、ほぼ平坦である。

【柱穴】3B区からは2基検出した。いずれも柱痕は確認されていないものの、規模や位置からみて主柱穴に相当すると思われる。

【周溝】3B区においては、西壁の一部が途切れるものの、それ以外は壁際を全周する周溝を検出した。幅7～10cm、深さ3～7cmを測り、断面形状はU字状を呈する。

【カマド】本住居跡のカマドは、4区側の北辺中央部東寄りに構築される。

【掘り方】東西では中央に高まりがみられ、南北はほぼ平坦である。

【出土遺物】住居中央部から西側の堆積土中から床直上にかけて、遺物が纏まって出土しており(第205図)、その中から土師器壺9点、高杯2点、甕4点、ミニチュア1点、須恵器壺1点、土製勾玉1点を掲載した。第206図-1は床直上から出土した、いわゆる関東系の土師器壺で、口縁部が僅かに内傾する。同じく床直上から出土した遺物として、同図-3・5の土師器壺がある。後者は丸底で体部に段を持ち、口縁部が外反気味に聞く器形を呈し、内面は黒色処理される。第207図-15は略完形の土師器甕で、肩下部に膨らみを持つ。

SI125 穫穴住居跡(第208・209図)

【位置・確認】3B区中央部西側、30グリッドに位置する。遺構の重複と搅乱の影響で殆どが失われ、住居北東部の一部のみを検出した。

【重複】SI90・118に切られる。

【規模・形態】残存する部分の規模は、長軸105cm、短軸88cmを測る。平面形状は不明である。

【方向】住居跡の南北軸は、東辺基準でN・50°・Wである。

【堆積土・構築土】7層に分層した。1～5層は住居堆積土、6層は周溝堆積土、7層以下は掘り方堆積土である。

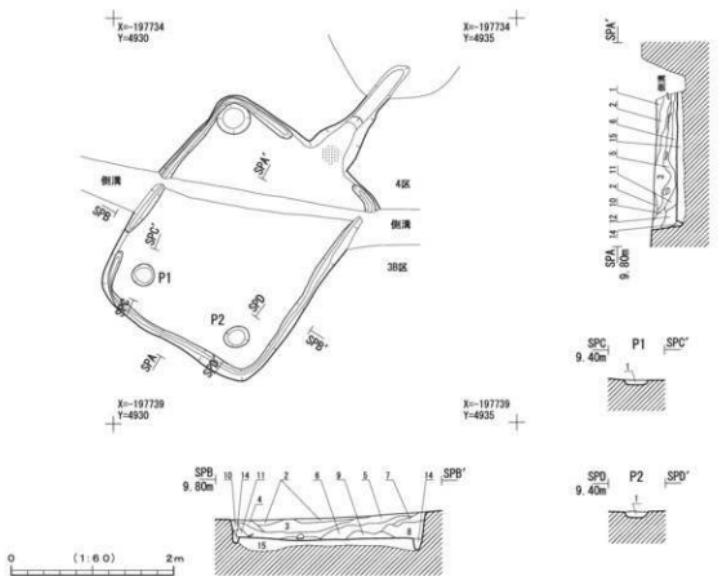
【壁面】残存する壁高は25～29cmを測り、壁はほぼ垂直に立ち上がる。

【床面】3・5層下面を床面とし、ほぼ平坦である。

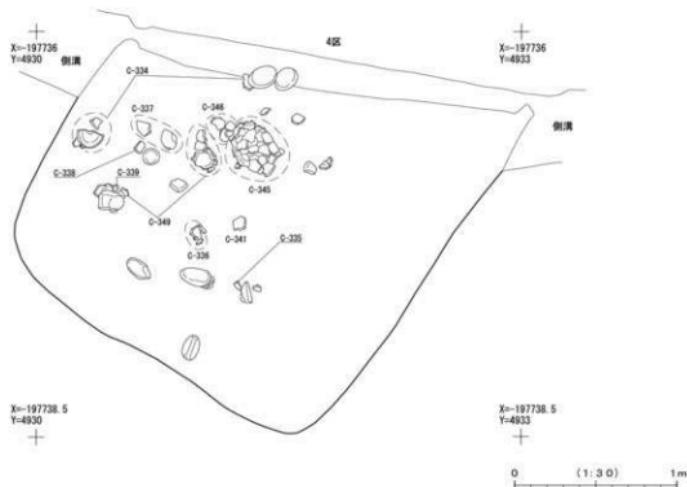
【柱穴】2基検出した。柱痕が確認されたものは無い。

【周溝】残存する壁直下を全周する周溝を検出した。幅10cm、深さ3cmを測り、断面形状はU字状を呈する。

【出土遺物】土師器鉢1点を掲載した。



遺物出土状況



第205図 SI124竪穴住居跡

SI124. 堆積土記表

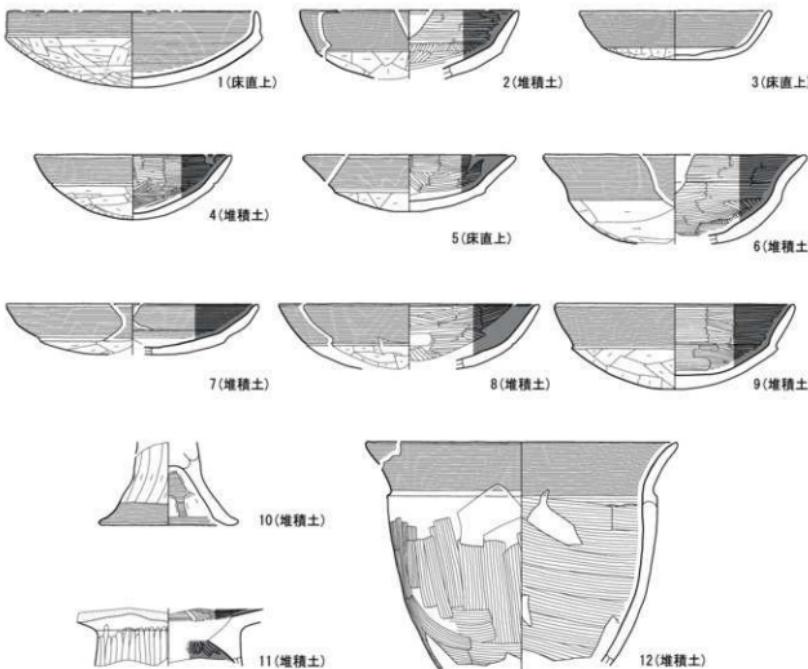
部位	層位	土色	土性	備考
堆積土	1	10YR4/3	1C.45・黄褐色	シルト 黄褐色ブロック(径5mm)多量、炭化物微量含む
	2	10VR3/3	暗褐色	シルト 黄褐色ブロック(径5mm)、炭化物少量含む
	3	10VR5/6	黃褐色	粘質シルト 褐色色・シルトブロック(径5mm～10mm)、褐色色粘土(径20～50mm)多量含む
	4	10YR4/3	1C.45・黄褐色	シルト 黄褐色ブロック(径5mm～10mm)多量含む
	5	10YR3/2	黑褐色	粘質シルト 黄褐色ブロック(径5mm～10mm)、炭化物(径5～20mm)、機土ブロック(径5～10mm)多量含む
	6	10YR3/4	暗褐色	シルト 黄褐色粘質土ブロック(径5～30mm)微量含む
	7	10YR4/6	暗褐色	シルト 黄褐色ブロック(径5mm～10mm)微量含む
	8	10YR4/3	1C.45・黄褐色	シルト 黄褐色ブロック(径2mm)微量含む
	9	10YR2/2	黑色	シルト 黄褐色粘質土ブロック(径5～20mm)多量、炭化鉄(径2～5mm)含む
	10	2.5Y4/2	暗灰褐色	シルト 黄褐色(土粉塵微量含む)
	11	2.5Y3/2	黑褐色	シルト 炭化物(径5～20mm)多量、黄褐色ブロック(径5mm)含む
	12	10YR3/3	暗褐色	シルト 黒褐色粘質土微量、炭化物(径2.5mm)少量、黄褐色ブロック(径5mm)含む
	13	10YR3/1	黑褐色	粘質シルト 上部:炭化物(径10mm)含む、鐵土ブロック(径2～5mm)、黄褐色ブロック(径2～5mm)含む
凹溝	14	10YR3/3	暗褐色	シルト 黄褐色(土粉塵微量含む)
側面	15	10YR5/4	1C.45・黄褐色	シルト 黄褐色粘土多量、炭化物(径2～5mm)少量含む

SI124. 施設堆積土記表

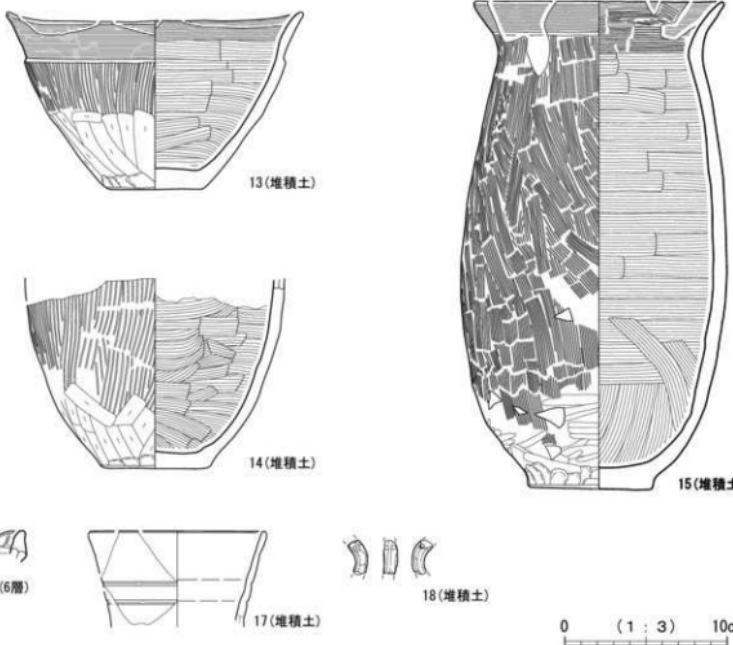
部位	層位	土色	土性	備考
P1	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 黄褐色ブロック(径5mm)、炭化物(径5mm)少量含む
P2	3	10YR3/3	暗褐色	シルト 黄褐色ブロック(径5mm)、炭化物(径5mm)少量含む

SI124 施設難解剖

遺構名	平面形	観察(cm)	深さ(cm)	備考	遺構名	平面形	観察(cm)	深さ(cm)	備考
P1	円形	31×25	12		P2	円形	28×28	8	

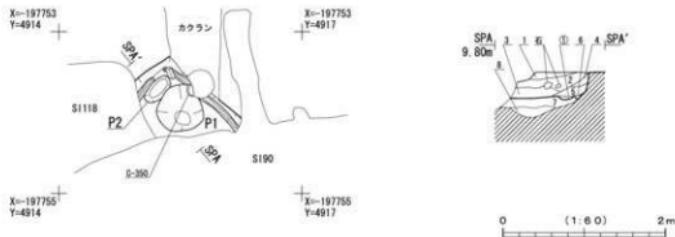


第206図 SI124 竪穴住居跡出土遺物(1)



回数 番号	登録番号	出土遺物	層位	種 别	種 别	L×W×H(幅×高さ)(cm)	外 面 溝 塗	内 面 調 整	備 考	写真 図版
1	C-334	SI124	床直上	土師器	环	15.3×8.47	口縁部コナヂ、体部～底部ハラケズリ	口縁部コナヂ、 底部～底盤ハナナヂ	内面削除後	96
2	C-326	SI124	堆積土	土師器	环	(12.4)×8.14.2	口縁部コナヂ、体部～ハラケズリ	口縁部～体部ハラケズリ	内面黒色処理	96
3	C-340	SI124	床直上	土師器	环	11.7×4.5×3.0	口縁部コナヂ、体部～ハラケズリ	口縁部コナヂ	96	
4	C-328	SI124	堆積土	土師器	环	(6.0)×8.4.0	口縁部コナヂ、体部～ハラケズリ	口縁部～底盤ハラケズリ	内面黒色処理	96
5	C-339	SI124	床直上	土師器	环	(12.6)×8.15.5	口縁部コナヂ、底部ハラケズリ	口縁部～底部ハラケズリ	内面黒色処理	96
6	C-342	SI124	堆積土	土師器	环	(14.8)×8.5.3	口縁部コナヂ、体部～底部ハラケズリ	口縁部～底部ハラケズリ	内面黒色処理	96
7	C-336	SI124	地盤上	土師器	环	(15.4)×8.13.1	口縁部コナヂ、底部ハラケズリ	口縁部コナヂ	内面黒色処理	96
8	C-335	SI124	堆積土	土師器	环	(16.0)×8.14.0	口縁部コナヂ、底部ハラケズリ	口縁部～底部ハラケズリ	内面黒色処理	96
9	C-341	SI124	堆積土	土師器	环	(16.0)×8.15.5	口縁部コナヂ、体部～底部ハラケズリ	口縁部～底部ハラケズリ	内面黒色処理	96
10	C-344	SI124	堆積土	土師器	高环	××8.2.5	脚部ハラケズリ、脚部コナヂ	脚部ハラケズリ、 脚部コナヂ	96	
11	C-343	SI124	堆積土	土師器	高环	××8.3.5	脚部ハラケズリ	脚部ハラケズリ、 脚部ハラケズリ	96	
12	C-346	SI124	堆積土	土師器	高	19.0×8.14.2	口縁部コナヂ、脚部ハラケズリ	口縁部コナヂ、脚部ハラケズリ	96	
13	C-347	SI124	堆積土	土師器	高	18.0×5.8×10.4	口縁部コナヂ、 脚部ハラケズリ、脚部ハラケズリ、 底部付近ユビササギ、 底部付近ユビササギ	口縁部コナヂ、脚部ハラケズリ	96	
14	C-348	SI124	堆積土	土師器	高	×6.0×(11.7)	脚部ハラケズリ、 底部付近ユビササギ、 底部付近ユビササギ	脚部ハラケズリ	96	
15	C-345	SI124	堆積土	土師器	高	15.0×7.4×30.1	口縁部コナヂ、 脚部ハラケズリ、 脚部ハラケズリ、 脚部ハラケズリ	口縁部コナヂ～ハラケズリ、 底部～ハラケズリ	96	
16	C-349	SI124	6層	土師器	ミニチャウ	(4.5)×8.19.1	口縁部～体部ハラケズリ	口縁部～体部ハラケズリ	SI124第2袋所持	96
17	E-084	SI124	堆積土	土師器	高	(10.4)×8.5.9	ヨリヨリ溝型～沈殿型	ヨリヨリ調整	96	
回数 番号	登録番号	出土遺物	層位	種 别	種 别	長×幅×厚さ(cm)	重 量(g)	備 考	写真 図版	
18	P-016	SI124	堆積土	土製品	勾玉	残存長(2.1)×幅0.8×厚0.2	1.6g	+/-	96	

第207図 SI124豊穴住居跡出土遺物(2)



SI125 地盤土柱記録

部位	層位	土色	土性	備考
堆積土	1	10YR3-2	黒褐色	シルト 黄褐色ブロック(径1mm)多量、硬土ブロック(径2~5mm)微量含む
	2	10YR3-3	暗褐色	黄褐色ブロック(径1mm)多量、炭化物(径5mm)少量含む
	3	10YR3-4	暗褐色	シルト 黄褐色ブロック(径1mm)多量、炭化物(径1mm)微量含む
	4	10YR3-3	暗褐色	シルト 黄褐色ブロック(径2~5mm)微量含む
	5	10YR3-3	暗褐色	炭化物、硬土粒微量、黄褐色ブロック(径5~10mm)含む
周溝	6	10YR3-2	暗褐色	炭化物少量含む
掘の方	7	10YR3-2	暗褐色	砂質シルト 黄褐色ブロック(径5~10mm)多量、炭化物粒微量含む
	8	-	-	記述なし

SI125 地盤堆積土柱記録

部位	層位	土色	土性	備考
P2	(1)	10YR4-3	にふい黄褐色	シルト 黑褐色ブロック(径5~10mm)多量含む

SI125 施設廻り構造

遺構名	平面形	規模(cm)	深さ(cm)	備考
P1	楕円形	58×57	10	

第208図 SI125豊穴住居跡



第209図 SI125豊穴住居跡出土遺物

SI126 豊穴住居跡(第210図)

[位置・確認] 3B区南部中央、11グリッドに位置する。遺構の重複により殆どが失われ、住居南東部の一部のみを検出した。

[重複] SI127 を切り、SI99・113に切られる。

[規模・形態] 残存する部分の規模は、長軸 2.70m、短軸 1.60m を測る。平面形状は不明である。

[方向] 住居跡の南北軸は、東壁基準で N-15° である。

[堆積土・構築土] 9層に分層した。1~6層は住居堆積土、7層は周溝堆積土、8層以下は掘り方堆積土である。

[壁面] 残存する壁高は、東壁 18cm、南壁 16cm を測り、壁は直線的に外傾して立ち上がる。

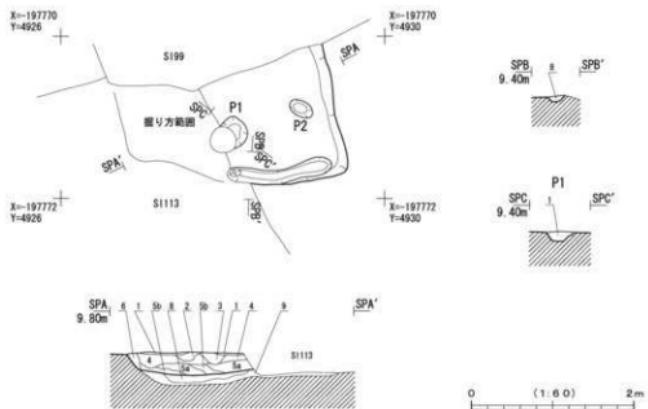
[床面] 5a・5b層下面を床面とし、東側が僅かに深くなる。

[柱穴] 2基検出した。柱痕が確認されたものは無い。

【周溝】南壁際から、部分的に延びる周溝を検出した。検出した規模は、長さ130cm、幅20cm、深さ6cmを測り、断面形状は逆台形を呈する。西側末端底面は、ピット状に窪む。

【掘り方】SI113掘り方底面から、本住居跡の掘り方を僅かに検出した。東側が僅かに窪む。

【出土遺物】掲載した遺物は無い。



SI126 増築土跡記表

層位	層位	土色	土性	備考
増築土	1	25Y4/2	暗灰黄色	砂質シルト
	2	25Y3/1	黒褐色	シルト
	3	25Y3/1	黒褐色	シルト 10YR5-6黄褐色ブロック(径2-3mm)少量含む 炭化物(径5mm以下)微量含む
	4	25Y4/1	黄灰土	砂質シルト 10YR5-6黄褐色ブロック(径2-3mm)少量含む 炭化物(径5mm以下)微量含む
	5a	25Y4/1	黄灰土	砂質シルト 10YR5-6黄褐色ブロック(径5mm以下) 10YR4-1褐灰色ブロック(径20mm)2.5Y-4淡黄色ブロック(径5mm以下) 炭化物(径5mm以下)微量含む
	5b	25Y3/1	黒褐色	シルト 10YR5-6明黄色土 10YR6-8明黄色土粒(径5mm以上) 炭化物(径5mm以下)微量含む
	6	25Y2/1	黑色	シルト 10YR5-6明黄色土 10YR6-8明黄色土粒(径5mm以上) 炭化物(径5mm以下)微量含む
	7	10YR3/1	黒褐色	砂質シルト 明黄色土粒少量 炭化物(径2mm以下)微量含む
	8	10YR3/1	黒褐色	砂質シルト 2.5Y-2/6白色土粒 炭化物(径1mm)微量含む
	9	25Y6/2	灰褐色	砂質シルト 鉄分、マンガン少量 2.5Y-2/6白色土粒含む

SI126 掘設堆積土跡記表

層位	層位	土色	土性	備考
P1	1	10YR3/4	暗褐色	砂質シルト 明黄色土粒少量 炭化物(径2mm以下)微量含む

SI126 掘設堆積土

遺構名	平面形	規模(cm)	深さ(cm)	備考
I'1	細円形	34×(17)	16	
I'2	細円形	30×20	6	

第210図 SI126竪穴住居跡

SI127 竪穴住居跡(第211図)

[位置・確認] 3B区南東部、11・12グリッドに位置する。遺構の重複により殆どが失われ、住居南東部の一部のみを検出した。

[重複] SI113・126に切られる。

[規模・形態] 残存する部分の規模は、長軸3.45m、短軸1.35mを測り、平面形状は不明である。

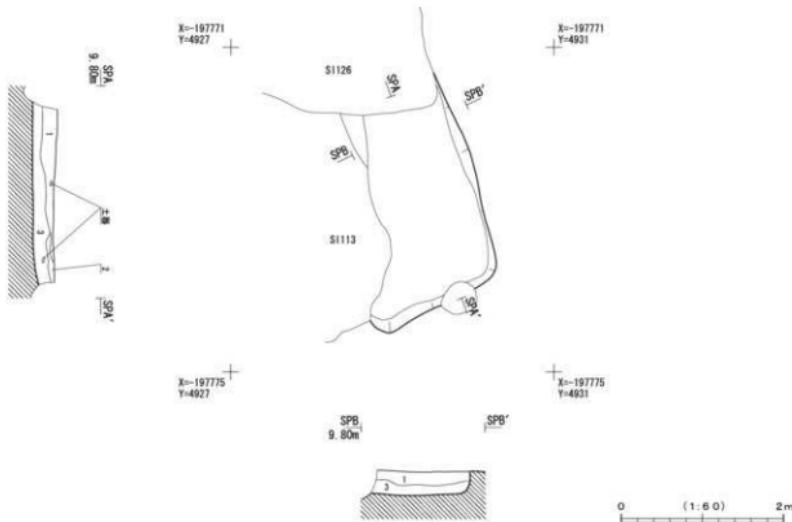
[方向] 住居跡の南北軸は、東壁基準でN-50° -Wである。

[堆積土・構築土] 3層に分層した。

[壁面] 残存する壁高は25～29cmを測り、壁は内湾気味に立ち上がる。

[床面] 3層下面を床面とし、ほぼ平坦である。

[出土遺物] 掲載した遺物は無い。



SI127 堆積土目記表

部位	層位	土色	土性	備考
堆積土	1	10YR4-3 黄褐色	シルト	明黄色色プロトク(径3～10mm)少量、炭化物(径2～3mm)微量含む
	2	10YR2-3 黒褐色	シルト	炭化物(径1～2mm)少量、微土粒(径5mm以下)微量含む
	3	10YR5-3 15Aa 黄褐色	シルト	炭化物(径2～5mm)少量、10YR7-4L4b 黄褐色プロトク(径5～30mm)含む

第211図 SI127竪穴住居跡

SI128 竪穴住居跡(第212図)

【位置・確認】3B区中央部北側、31・36グリッドに位置する。SI100掘り方底面掘削時に、北東隅が同一線上に位置する住居跡の平面プランを確認したことから、本住居跡はSI100が構築される前段階の住居跡であることが確認された。

【重複】SI122を切り、SI100、SD42に切られる。

【規模・形態】検出した規模は、長軸3.60m、短軸3.23mを測り、平面形状は、ややいびつな隅丸方形を呈する。

【方向】住居跡の南北軸は、西辺基準でN-15°-Eである。

【堆積土・構築土】4層に分層した。1～3層は住居堆積土、4層は周溝堆積土である。

【壁面】残存する壁高は、東壁31cm、西壁3～13cm、南壁9～13cm、北壁6～13cmを測り、壁は直線的にやや外傾して立ち上がる。

【床面】1・2層下面を床面とし、ほぼ平坦である。

【柱穴】8基検出した。柱痕が確認されたものは無く、主柱穴についても不明である。

【周溝】各壁直下から断続的に延びる周溝を検出した。幅8～24cm、深さ4～21cmを測り、断面形状は逆台形を呈する。

【出土遺物】堆積土から土師器が少量出土したが、掲載した遺物はない。

SI129A 竪穴住居跡(第213～216図)

【位置・確認】3B区北端中央部、41・45・46・51グリッドに位置する。SI120掘り方底面より、ほぼ同じ軸方向をもつ周溝2条とピットを検出したことから、SI120が構築される前段階において、少なくとも二度にわたる竪穴住居跡の構築が確認された。そのうち、外側の周溝をSI129A、内側をSI129Bとした。

【重複】SI129Bを切り、SI120、SD42・62・66に切られる。

【規模・形態】検出した部分の規模は、一辻5.20mを測り、平面形状は、ややいびつな隅丸方形を呈する。

【方向】住居跡の南北軸は、カマド基準でN-40°-Wである。

【堆積土・構築土】14層に分層した。1層は住居堆積土、2～10層がカマド関連層位、11・12層は周溝堆積土、13層以下は掘り方堆積土である。

【壁面】残存する壁高は、いずれも10cm前後を測る。壁の立ち上がりは不明である。

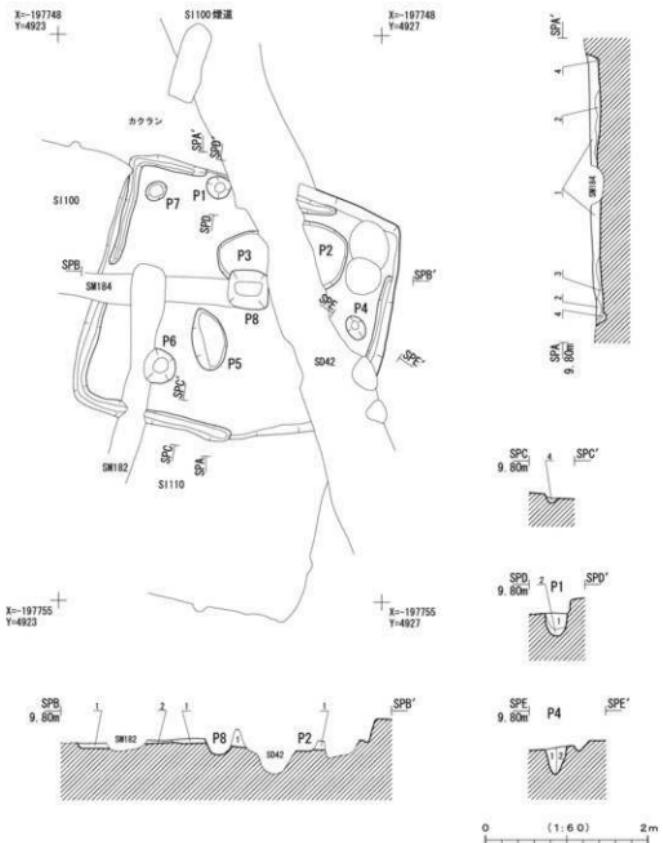
【床面】1層下面を床面とし、中央部に僅かな高まりがみられるが、概ね平坦である。

【柱穴】10基検出した。規模や位置からみて、P1・9・10が主柱穴に相当すると考えられる。

【周溝】北辺北側を除き、ほぼ全周すると思われる周溝を検出した。幅10～18cm、深さ5～9cmを測り、断面形状は逆台形を呈する。

【カマド】北辺の中央部南寄りに構築される。袖部は失われており、燃焼部と煙道部のみを検出した。燃焼部は二つの落ち込みが確認され、上端径は前底部側が 60×55 cm、奥壁側が 60×35 cmを測り、前底部側からは径40cmを測る火床面を確認した。煙道部は長さ98cm、幅28cmを測り、底面は末端に向かって高まりをみせる。

【出土遺物】土師器壺3点、高環2点、甕4点のほか、刀子、鉄製鎌各1点を掲載した。第215図-4は床面出土、第215図-3・第216図-8はカマド出土、第215図-2・第216図-6・9は掘り方出土である。



SI128 埼櫻土柱記表

部位	層位	土色	土性	備考
堆積土	1	10YR3-2	黒褐色	シルト 黄褐色砂質土多量、黄褐色ブロック(径1~2mm)、炭化物(径5mm)、燒土ブロック(径5mm)含む
	2	2.5YR4-2	暗赤褐色	砂質シルト 細色ブロック(径5~10mm)多量含む
	3	10YR4-4	褐色	砂質シルト 黄褐色ブロック(径5mm)少量、炭化物(径1~2mm)微量含む
固溶	4	10YR4-2	灰褐色	砂質シルト 黑褐色ブロック(径5mm)多量含む

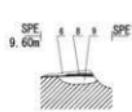
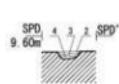
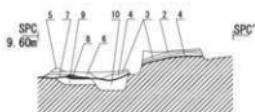
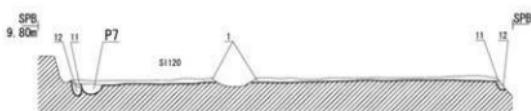
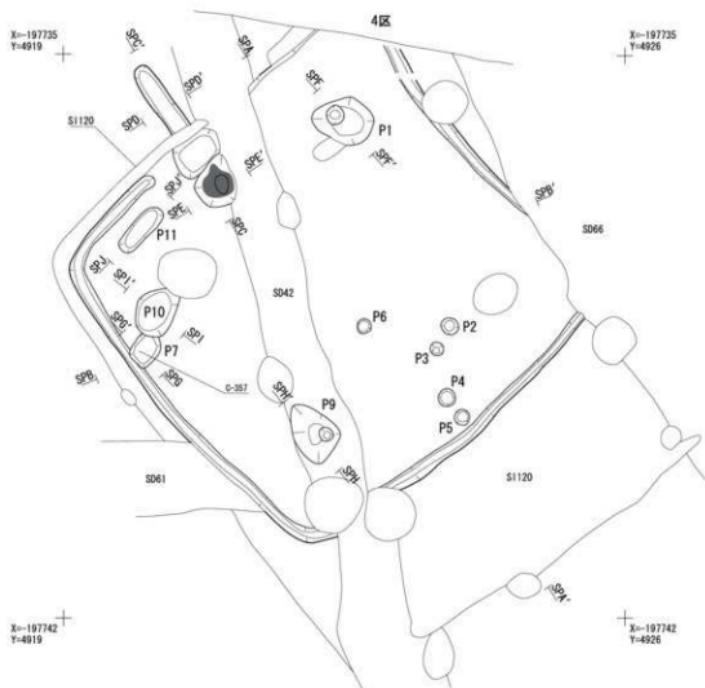
SI129 施設堆積土柱記表

部位	層位	土色	土性	備考
P1	1	10YR3-2	黒褐色	シルト 黄褐色砂質ブロック(径10~20mm)少量、燒土ブロック微量含む
	2	10YR4-3	1C-4A-褐色	砂質シルト 細色ブロック(径5~10mm)含む
P4	1	10YR3-3	暗褐色	シルト 炭化物(径5~10mm)、燒土ブロック(径5~10mm)含む
	2	10YR3-4	暗褐色	シルト 黄褐色砂質多量、炭化物微量含む

SI129 施設堆積土柱記表

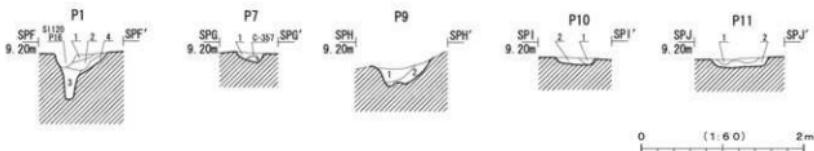
遺跡名	平面形	規模(cm)	深さ(cm)	備考	遺跡名	平面形	規模(cm)	深さ(cm)	備考
P1	円形	30×28	34		P5	椭円形	26×42	9	
P2	円形	86×(42)	15		P6	円形	42×42	13	
P3	不整形	68×60	5		P7	椭円形	28×22	7	
P4	椭圆形	30×22	32		P8	円形	22×(22)	6	

第212図 SI128堅穴住居跡



0 (1:60) 2m

第213図 SI129A 竪穴住居跡(1)



SI129A 堆積土柱跡

部位	層位	土色	土性	備考
カマド	1	2.5YR 3/1	黒褐色	シルト 2.5YR 1/8(白色シルト含む)
	2	2.5YR 4/2	灰黃褐色	シルト 5YR 2-1/黒褐色燒土シロッカシテ、炭化物(径5~10mm)微量含む(カマド焼道)
	3	10YR3-2	黒褐色	シルト 5YR 2-1/黒褐色燒土シロッカシテ(径5~10mm)少量、炭化物微量含む(カマド焼道)
	4	2.5YR 3/1	黒褐色	シルト 炭化物、2.5YR 6-8(褐色土焼土)含む(カマド焼道)
	5	2.5YR 1	灰褐色	粘土 炭化物、2.5YR 6-8(褐色土焼土)含む(カマド焼道)
	6	10YR4-3	10A5-1/黄褐色	シルト 炭化物、2.5YR 6-8(褐色土焼土)含む(径1~3mm)微量含む
	7	10YR4-1	褐色	シルト 炭化物、2.5YR 6-8(褐色土焼土)含む(径1~5mm)微量含む
	8	7.5YR4-1	褐色	粘土 炭化物、2.5YR 6-8(褐色土焼土)含む(火床面)
	9	5YR5-4	10A5-1/黄褐色	シルト (カマド焼道)
	10	10YR4-3	10A5-1/黄褐色	シルト 炭化物、2.5YR 6-8(褐色土焼土)含む(径1~2mm)微量含む(カマド焼道)
周溝	11	10YR4-3	10A5-1/黄褐色	地山ブロック、10YR3-2 黒褐色シルトブロック(径5~6mm)微量含む
側の方	12	10YR3-1	黒褐色	シルト 地山ブロック含む
	13	10YR3-2	黒褐色	地山ブロック、2.5YR 1/8(白色シルトブロック)微量含む
	14	10YR3-1	黒褐色	5YR 6-8(褐色土焼土)含む(径3~5mm)微量含む

SI129A 施設堆積土柱跡表

部位	層位	土色	土性	備考
P1	1	10YR5-3	10A5-1/黄褐色	地山ブロック微量、炭化物(径1~3mm)微量含む
	2	2.5YR 4	黃褐色	地山ブロック微量含む
	3	2.5YR 4	黃褐色	10YR3-2 黑褐色シルトブロック(径20~30mm)含む
	4	2.5YR 4	黃褐色	地山シルトブロック含む
P7	1	10YR3-3	褐色	地山ブロック微量、10YR3-2 黄褐色シルトブロック(径5~10mm)含む
P9	1	2.5YR 3/1	黒褐色	10A5-1/8(白色シルトブロック)含む(径10~50mm)多量、炭化物微量含む
P10	1	10YR3-1	黒褐色	2.5YR 2/8(褐色土)含む、炭化物微量含む
P11	1	2.5YR 4/6	10A5-1/8(白色シルトブロック)含む(径1~2mm)微量、炭化物微量含む	
	2	2.5YR 4/6	黃褐色	5YR 6-8(褐色土)含む(径3~10mm)微量、炭化物微量含む

SI129A 施設軸跡表

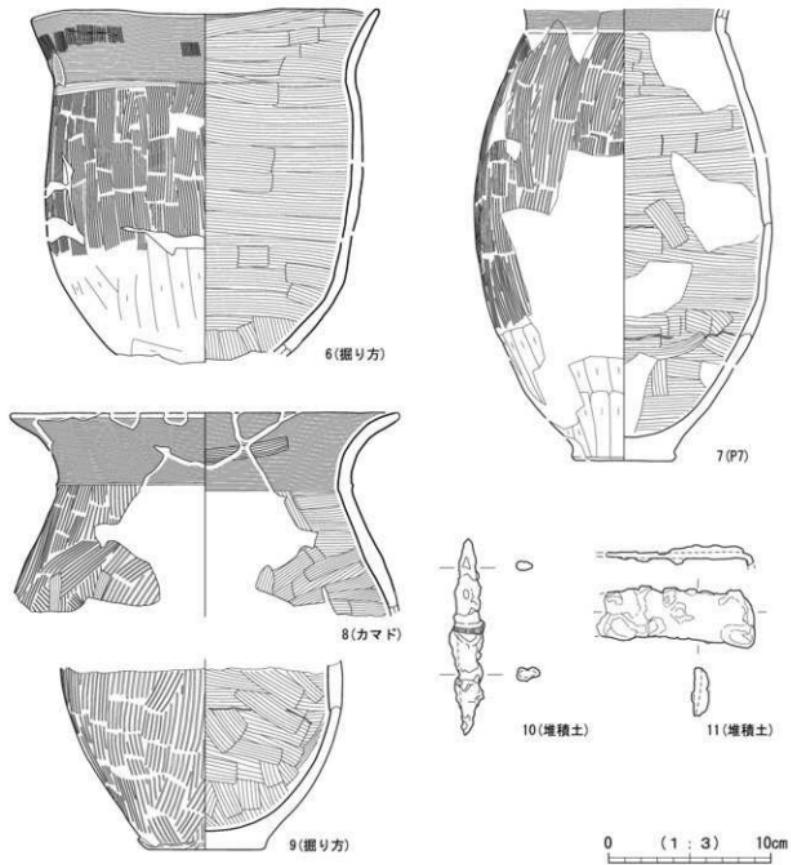
遺構名	平面形	範囲(cm)	深さ(cm)	備考	遺構名	平面形	範囲(cm)	深さ(cm)	備考
P1	円形	70×60	58		P7	方形	(30)×(42)	9	
P2	円形	30×30	5		P8	-	-	-	欠番
P3	円形	17×17	4		P9	不整形	(70)×(34)	(33)	
P4	円形	23×22	26		P10	不整形	(56)×35	8	
P5	円形	20×19	16		P11	長丸形	70×24	11	
P6	円形	19×18	4						

第214図 SI129A 穴住居跡(2)



0 (1 : 3) 10cm

第215図 SI129A 穴住居跡出土物(1)



図版 番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×高さ×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真 図版
1	C-351	SI129 A	埴頂土	土加器	环	(12.6) × (3.3)	口縁部コナヂ、体部へラナヂ	口縁部～体部ヘラナヂ		97
2	C-355	SI129 A	掘り方	土加器	环	× (4.2)	口縁部コナヂ、体部～底部ヘラタズリ	口縁部～底部ヘラタズリ	内面黒色処理	97
3	C-353	SI129 A	カマド	土加器	环	(18.6) × (5.2)	口縁部ヘラタズリ、 体部～底部ヘラタズリ	口縁部～底部ヘラタズリ	内面黒色処理	97
4	C-352	SI129 A	床面	土加器	高环	(24.3) × (4.9)	口縁部コナヂ、体部ヘラケズリ	口縁部コナヂ、 体部ヘラケズリ		97
5	C-354	SI129 A	周溝	土加器	高环	× (8.6) × (3.5)	脚部ヘラナヂ～ナヂ	脚部ヘラナヂ～ナヂ	ビスピオサエ、 脚部コナヂ	97
6	C-359	SI129 A	掘り方	土加器	釜	21.2 × (21.7)	口縁部ヘタキメ～コナヂ、 脚部ヘナヂ、 側上半底ハナタス、脚下半底ヘラケズリ	口縁部コナヂ～ヘラナヂ、 脚部～底部ヘナヂ		97
7	C-357	SI129 A	P7	土加器	釜	× (6.0) × (27.8)	口縁部コロナヂ、 脚部ヘナヂ、脚下部ヘラケズリ、 脚部ヘナヂ	口縁部コナヂ、 脚部ヘナヂ		97
8	C-356	SI129 A	カマド	土加器	釜	(23.8) × (12.5)	口縁部コナヂ、脚部ヘタキメ～ヘラナヂ	口縁部コナヂ～ヘラナヂ、 脚部ヘナヂ		97
9	C-358	SI129 A	掘り方	土加器	釜	× (7.0) × (11.7)	脚部ヘナヂ、底部ヘラナヂ	脚部ヘナヂ		97

第216図 SI129A 穴竪住跡出土遺物(2)

回収番号	登録番号	出土遺物	層段	種別	器種	備考	写真 回数
10	N-082	SI129A	堆積土	鉄製品	刀子	長12.1cm、最大幅2.1cm、厚1.2cm	97
11	N-083	SI129A	堆積土	鉄製品	鎌	残存長9.8cm、最大幅3.0cm、厚0.3cm	97

SI129B 壁穴住居跡(第217図)

【位置・確認】3B区北端中央部、41・45・46・51グリッドに位置する。SI129A内側にめぐる周溝と掘り方のみを検出した。

【重複】SI120・129A、SD42・62・66に切られる。

【規模・形態】検出した規模は一辺4.50mを測る。平面形状は、ややいびつな隅丸方形を呈する。

【方向】本住居跡の南北軸は、西辺基準でN-44°-Wである。

【堆積土・構築土】4層に分層した。1・2層は周溝堆積土、3層以下は掘り方堆積土である。

【周溝】南北両コーナー周辺を除き、全周する周溝を検出した。幅13~20cm、深さ5~7cmを測り、断面形状は逆台形を呈する。

【掘り方】中央部に僅かな高まりがみられるものの、概ね平坦である。

【出土遺物】掲載した遺物は無い。

SI130 壁穴住居跡(第218・219図)

【位置・確認】3B区南端中央部、7グリッドに位置する。北側約1/2を検出した。

【重複】SI87・102に切られる。南側は調査区外の擾乱により失われている。

【規模・形態】検出した部分の規模は、長軸3.97m、短軸2.12mを測り、平面形状は隅丸方形ないし隅丸長方形を呈するものと思われる。

【方向】住居跡の南北軸は、西辺基準でN-25°-Wである。

【堆積土・構築土】10層に分層した。1~5層は住居堆積土、6~8層はカマド関連層位、9層は周溝堆積土、10層は掘り方堆積土である。

【壁面】残存する壁高は、東壁4cm、西壁3cm、北壁22cmを測り、壁は直線的にやや外傾して立ち上がる。

【床面】2・3・5層下面を床面とし、やや起伏がみられる。

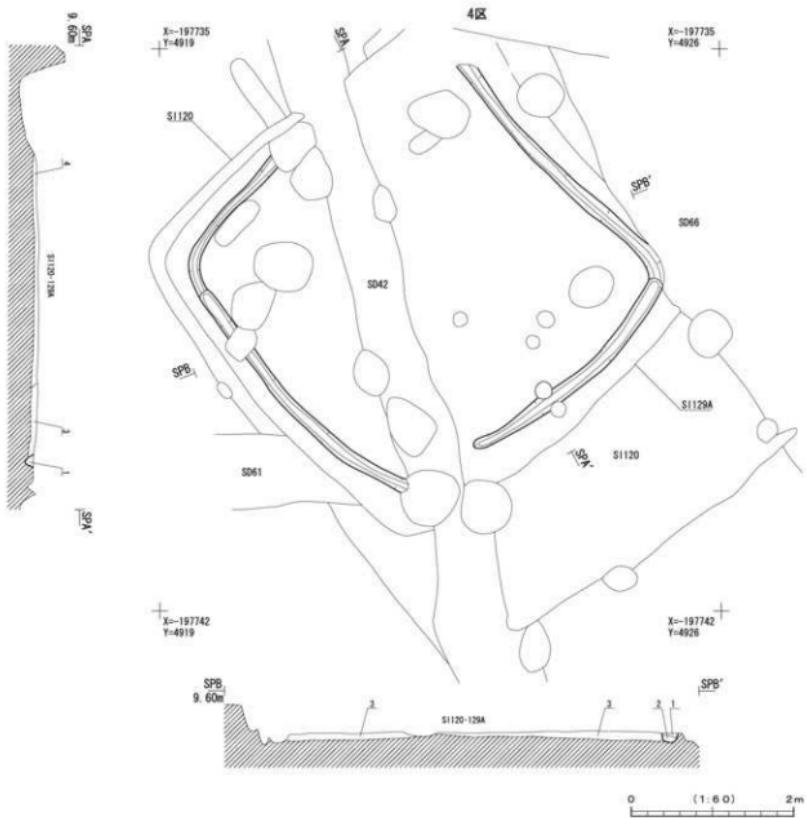
【柱穴】3基検出した。柱痕を確認したものはない。規模や位置からみて、P2・3が主柱穴に相当するものと考えられる。

【周溝】検出した部分ではカマド周辺を除き全周する周溝を検出した。幅14~20cm、深さ7~10cmを測り、断面形状は逆台形を呈する。

【カマド】北壁中央部に構築され、燃焼部のみ検出した。検出された部分の規模は、幅55cm、奥行き67cm、深さ12cmを測る。

【掘り方】東側に高まりがみられる。西側では工具痕が認められる。

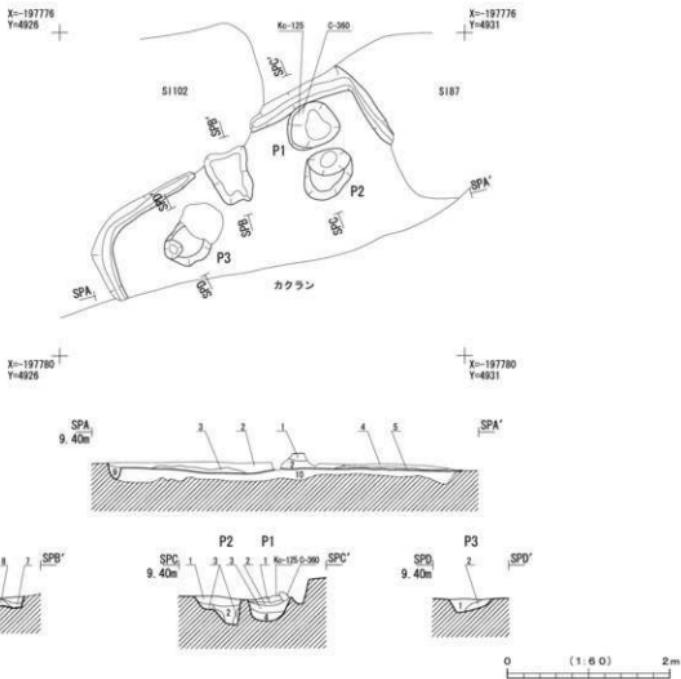
【出土遺物】土師器壺2点、鉢1点、砾石器1点を掲載した。土師器壺は、いずれもP1から出土した。第219図-3の土師器鉢は、口縁部が短く外反する器形である。



SI129B 堆積土記表

部位	層位	土色	土性	備考
堆溝	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 地山プロトク含む
	2	10YR3/2	黒褐色	シルト 地山プロトク少量、炭化物微量含む
側の方	3	10YR4/2	灰褐色	シルト 2.5Y3/1黒褐色粘質プロトク(粒10~30mm)少量含む
	4	10YR4/3	10Y5/2-3 黒褐色	シルト 10YR4/2灰褐色含む

第217図 SI129B 穴住居跡



SI130 埋積土記載

部位	層位	土色	土性	備考
堆積土	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 10YR4/4 暗褐色シルト粘土、炭化物鉱少量含む
	2	10YR3/3	暗褐色	シルト 10YR4/4 暗褐色シルトブロック、10YR3/2 黒褐色シルトブロック、炭化物鉱少量含む
	3	10YR4/6	褐色	砂質シルト 10YR3/2 黑褐色シルトブロック含む
	4	10YR4/3	12.5m 黄褐色	炭化物鉱 10YR4/6 黄褐色シルトブロック含む
	5	10YR4/6	褐色	砂質シルト 10YR4/3 黑褐色シルトブロック、10YR3/2 黑褐色シルトブロック、10YR4/6 黄褐色シルトブロック含む
カマド	6	10YR3/3	暗褐色	砂質シルト 10YR3/3 黑褐色シルトブロック、10YR4/4 暗褐色シルトブロック含む
	7	10YR3/3	暗褐色	砂質シルト 10YR4/3 黑褐色シルトブロック、7.5YR3/2 黑褐色シルトブロック、7.5YR5/3 黑褐色シルトブロック含む
剥離	8	10YR4/2	灰褐色	砂質シルト 10YR4/3 黑褐色シルトブロック、5YR2/3 黑褐色土ブロック、5YR4/6 半褐灰色土ブロック、7.5YR5/3 黑褐色シルトブロック含む
剥離	9	10YR3/3	暗褐色	シルト 10YR4/3 黑褐色シルトブロック、10YR4/2 黑褐色シルトブロック、10YR4/4 暗褐色シルトブロック、10YR3/2 黑褐色シルトブロック含む
剥離	10	10YR4/3	12.5m 黄褐色	砂質シルト 10YR4/2 黄褐色シルトブロック、炭化物鉱少量含む

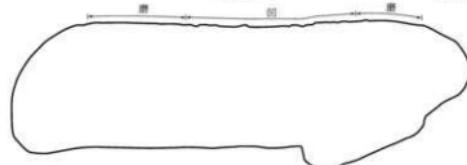
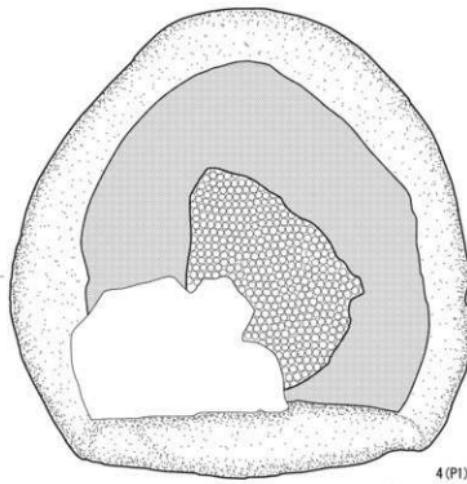
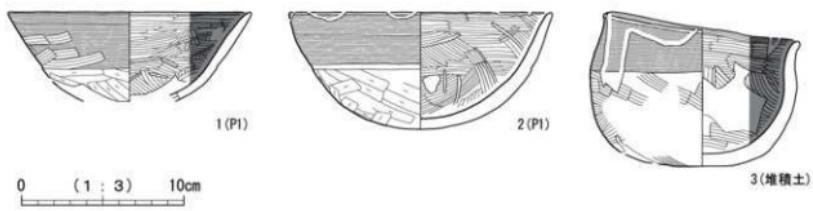
SI130 施設埋積土記載

部位	層位	土色	土性	備考
P1	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 10YR4/2 黑褐色シルトブロック、10YR4/6 暗褐色シルトブロック含む
	2	7.5YR4/4	黑褐色	シルト 半褐灰色土シルト含む
	3	10YR3/3	暗褐色	シルト 10YR4/4 暗褐色シルトブロック少量含む
	4	10YR3/3	12.5m 黄褐色	砂質シルト 10YR5/2 黄褐色シルトブロック少量含む
P2	1	10YR3/2	暗褐色	シルト 10YR4/3 黑褐色シルトブロック、10YR4/4 暗褐色シルト、10YR4/2 黑褐色シルト鉱少量含む
	2	10YR3/4	暗褐色	シルト 10YR4/3 黑褐色シルトブロック、10YR4/4 暗褐色シルト鉱少量含む
	3	10YR3/2	暗褐色	砂質シルト 10YR5/8 黑褐色鉱少量含む
P3	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 10YR4/3 黑褐色シルトブロック、10YR4/4 暗褐色シルト鉱少量含む
	2	10YR3/2	黑褐色	シルト 10YR3/3 黑褐色シルトブロック、10YR5/2 黑褐色鉱少量含む

SI130 施設埋積土記載

遺構名	平面形	規模(cm)	深さ(cm)	備考	遺構名	平面形	規模(cm)	深さ(cm)	備考
P1	円形	65×55	36		P3	椭円形	52×40	36	
P2	円形	70×56	38						

第218図 SI130豎穴住居跡



0 (1 : 2) 5cm

圆数 番号	登録番号	出土遺物	層位	種別	器種	外面調査	内面調査	備考	写真 図版	
1	C-361	SI130	P1	土器器	环	(14.8)×(5.5) 体部～口部コナデ、 体部～口部ハラミガキ	(1)縁部～体部ハラミガキ	内面黒色処理	98	
2	C-360	SI130	P1	土器器	环	(16.0)×(7.2) 口部コナデ、体部～底部ハラミガキ	(1)縁部～底部ハラミガキ	98		
3	C-362	SI130	堆积土	环	12.0×9.2×8.5 口部コナデ、体部～底部ハラミガキ	(1)縁部～底部ハラミガキ	内面黒色処理	98		
圆数 番号	登録番号	出土遺物	層位	種別	器種	分類 長さ×幅×厚さ(cm)	重量(g)	石 片	備考	写真 図版
4	Kc-125	SI130	P1	砾石器	台石	- 19.3×18.9×6.0	1557.98	湖灰岩 定形品、他円錐、他一面(平)、另一面(平)混含(數)	98	

第219図 SI130 壁穴住居跡出土遺物

SI131 壁穴住居跡(第220・221図)

【位置・確認】3B区中央部東寄り、21・22・26・27グリッドに位置し、SI131東側に隣接する。円形に回る溝の平面プランを検出したため円形周溝として調査に着手したが、溝内側から検出したビットが組み合うことを確認したことにより、住居跡として調査を進めた。後述するように、掘り方は確認されなかったことから、本住居跡は平地式の可能性もある。

【重複】 SI132・SB9・SD72を切り、SI97A・B・SD55・P273・502・516・569・574・1430・1431に切られる。

【規模・形態】 検出した周溝の規模は、南北5.38m、東西5.35mを測り、平面形状は円形を呈する。

【方向】 溝内部から検出したビット2基を結んだ軸線上は、N-12°-Wである。

【堆積土・構築土】 周溝堆積土を3層に分層した。

【床面】 周溝内部からは、貼床や硬化面といった床に関連する堆積層等は確認されなかった。

【柱穴】 周溝内部東側から2基検出した。いずれも柱痕は確認されなかったものの、規模は上端径35cm前後、深さ約25cm、柱間距離2mを測り、位置関係も併せると、本住居跡の主柱穴に相当すると考えられる。周溝内部の西側からは、これら2基と対応する柱穴は検出されなかったが、その推定地にはSD55が南北に延びていることから、西側の柱穴についてはSD55に切られた可能性がある。

【周溝】 重複で失われる箇所を除き、全周する。幅38~43cm、深さ25cm前後を測り、断面形状は底面が丸みを帯びる逆台形状を呈する。

【掘り方】 周溝内部において掘り方や床面施設の確認を目的とした断ち割りを行ったが、確認されなかった。

【出土遺物】 周溝堆積土中から出土した砾石器1点を掲載した。

SI132 壁穴住居跡(第222図)

【位置・確認】 3B区中央部東寄り、21・22・26・27グリッドに位置し、SI131西側に隣接する。SI131と同様に、隅丸方形に回る溝の平面プランを検出したため方形周溝として調査に着手したが、溝内側から検出したビットが組み合うことを確認したことにより、住居跡として調査を進めた。後述するように、掘り方は確認されなかったことから、本住居跡は平地式の可能性もある。

【重複】 SB9を切り、SI88・100・131・SM128・186・P263・438・458・1425に切られる。また、西側の一部は擾乱により失われる。

【規模・形態】 検出した周溝の規模は、一辺4.50m前後を測り、平面形状は隅丸方形を呈する。

【方向】 住居跡の軸方向は、P1-P2基準でN-49°-W、P2-P3基準でN-41°-Eである。

【堆積土・構築土】 周溝堆積土を3層に分層した。

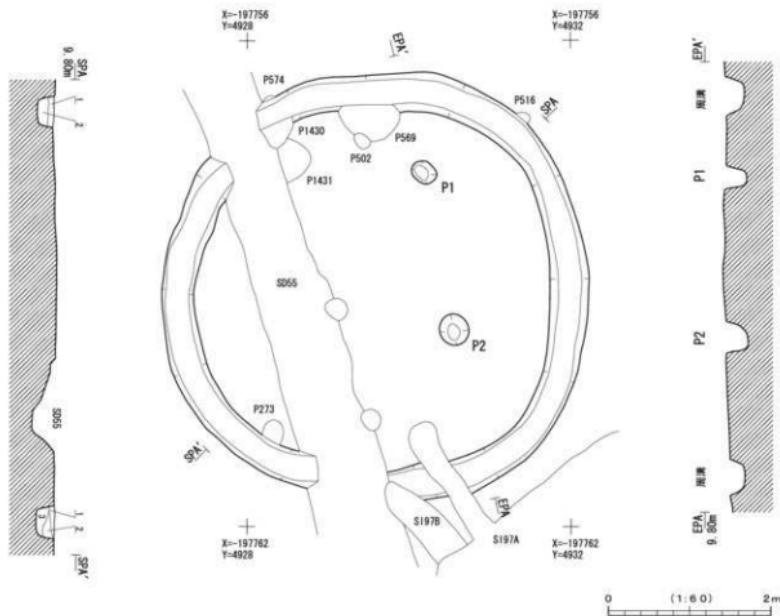
【床面】 SI131と同様に、周溝内部からは、貼床や硬化面といった床に関連する堆積層等は確認されなかった。

【柱穴】 周溝内部から、周溝に沿うように位置するビットを4基検出した。いずれも柱痕は確認されなかったものの、規模は上端径30~40cm、深さ35cm前後、柱間寸法は2.10m前後を測ることから、これら4基は主柱穴に相当すると考えられる。

【周溝】 重複で失われる箇所を除き、途切れることなく全周する。幅25~43cm、深さ25cm前後を測り、断面形状は底面が丸みを帯びる逆台形状を呈する。

【掘り方】 周溝内部において掘り方や床面施設の確認を目的とした断ち割りを行ったが、確認されなかった。

【出土遺物】 掲載した遺物は無い。



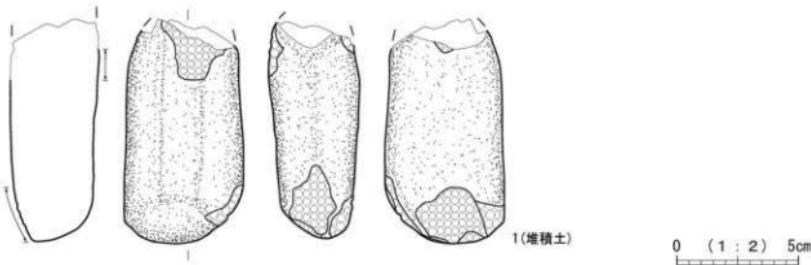
SI131 堆積土跡記表

部段	層位	土色	土性	備考
周溝	1 2 3	2.5Y4/3 2.5Y6/4 2.5Y5/3	オリーブ褐色 にじみ黄色 明黄色	シルト 砂質シルト シルト 炭化物微量含む 2.5Y4/3オリーブ褐色土粒少量、炭化物微量含む 黄褐色土粒少量、炭化物微量含む

SI131 掘削範囲表

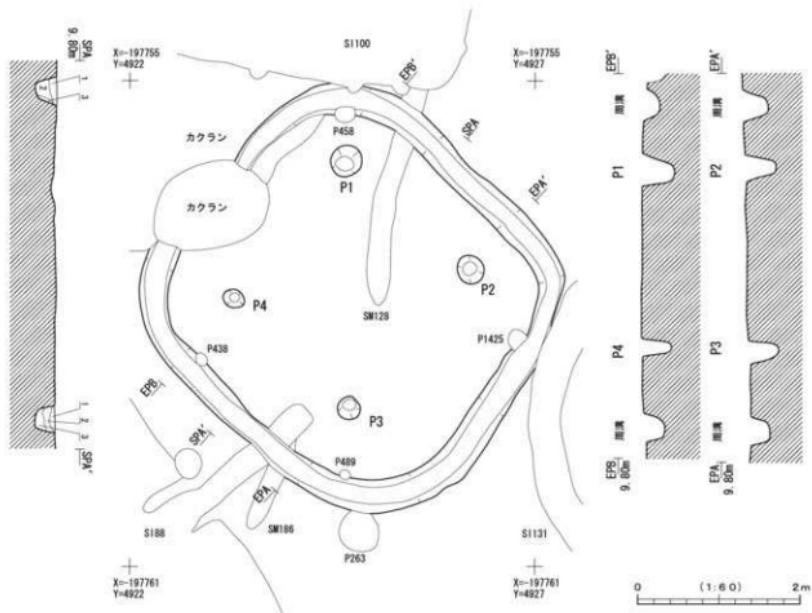
遺構名	平面形	規模(cm)	深さ(cm)	備考	遺構名	平面形	規模(cm)	深さ(cm)	備考
P1	圓角方形	32×26	26		P2	円形	40×36	28	

第220図 SI131 壁穴住居跡



回収番号	登録番号	出土遺構	種類	種別	器種	分類	長さ×幅×厚さ(cm)	重量(g)	石材	備考	参考文献
I	KC-128	SI131	堆積土	礫石器	凹+凸	-	9.2×4.7×3.3	226.23	安山岩	矢頭狀、棒状理、凹二面(单+单)深さ(微)、最(先)1箇所 鉛直(微)	98

第221図 SI131 壁穴住居跡出土遺物



SI132 墓構土目記表

部位	層位	土 性	備 考
周溝	1 2 3	2.5Y3/1 2.5Y3/1 2.5Y4/4	黒褐色 シルト 変化物(粒1~5mm)微量含む 2.5Y5/4 黒褐色ブロック(粒10~20mm)含む オリーブ褐色 シルト
	X=197755 Y=4922	X=197755 Y=4927	X=197761 Y=4922

SI132 施設類別表

遺構名	平面形	範囲(cm)	深さ(cm)	備 考	遺構名	平面形	範囲(cm)	深さ(cm)	備 考
P1	円形	40×38	32		P3	不整形	29×29	37	
P2	円形	37×31	38		P4	扇円形	27×23	37	

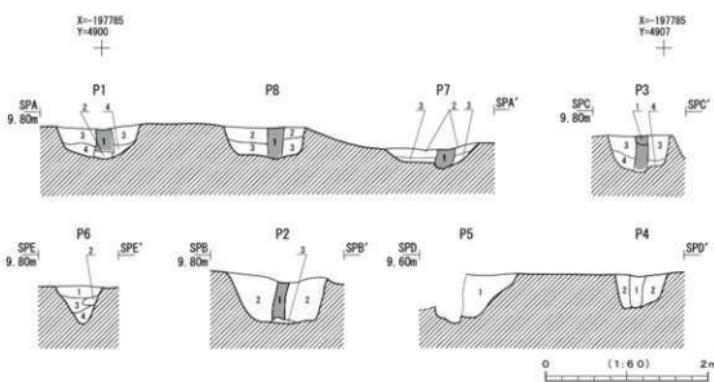
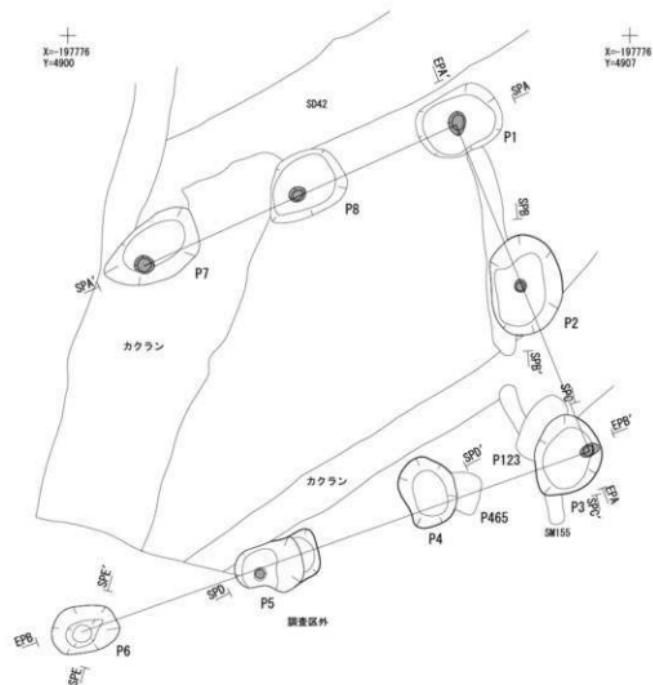
第222図 SI132竪穴住居跡

(2) 挖立柱建物跡(第223~231図)

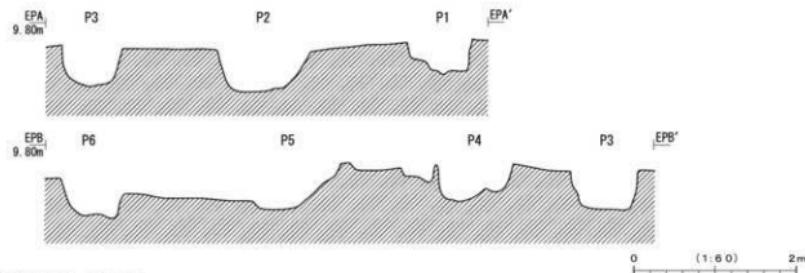
3B区の調査では、5棟の掘立柱建物跡を検出した。いずれもSD66の南西側に分布する。検出数が少ないため判然としない部分もあるが、軸方位は真北に対し傾きを持つタイプと、ほぼ直交するタイプに大別され、両タイプはそれぞれ離れた場所に構築される傾向がみられた。

SB6 掘立柱建物跡(第223~225図)

調査区南端、2・5グリッドに位置し、8基の柱穴を検出した。東西3間以上×南北2間の東西棟建物跡で、西側は調査区外へ延びる可能性がある。SI71A・B・73・79を切る。桁行を基準とした軸方位はN-70°-Eである。桁行は総長660cm、北側柱穴列の柱間寸法は210cmの等間隔、南側柱穴列の柱間寸法は東側から200cm、230cm、230cmを測る。梁行は総長440cm、柱間寸法は北側から210cm、200cmを測る。各柱穴の規模は長軸84~130cm、短軸58~89cm、深さ33~64cmを測り、平面形状は扇円形もしくは隅丸方形を呈する。柱痕はP6以外で確認された。

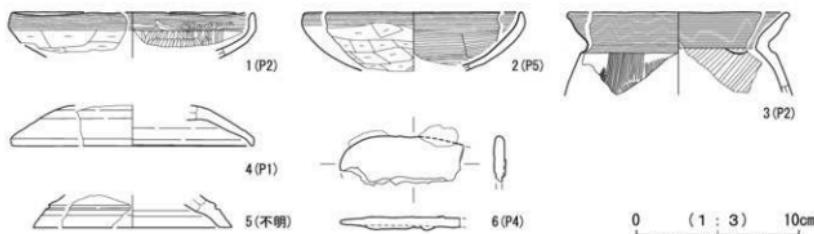


第223図 SB 6掘立柱建物跡(1)



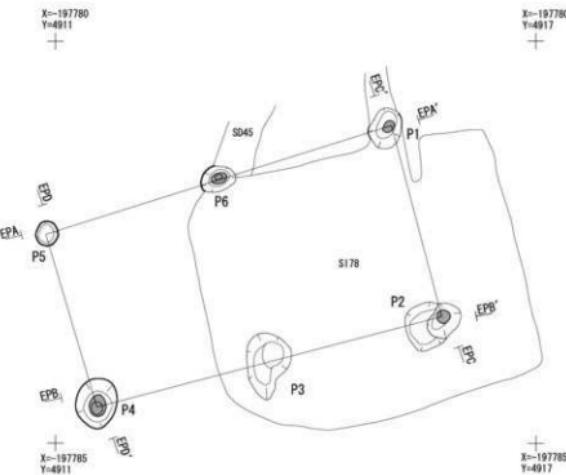
堆積名	平面形	規模(cm)	層位	土色		土性	備考
				長軸×短軸	深さ		
P1	圓丸方形	112×79	45	1	10YR2/3	黒褐色	砂質シルト
				2	10YR5/1	褐色	シルト
				3	10YR2/2	黒褐色	砂質シルト
				4	10YR5/4	にひ・黒褐色	砂質シルト
P2	楕円形	123×89	64	1	10YR2/3	黒褐色	砂質シルト
				2	10YR2/2	黒褐色	砂質シルト
				3	10YR5/1	褐色	シルト
P3	楕円形	103×83	52	1	10YR3/3	暗褐色	-
				2	10YR2/3	黒褐色	砂質シルト
				3	10YR2/2	黒褐色	砂質シルト
				4	10YR5/4	にひ・黃褐色	砂質シルト
P4	楕円形	86×67	45	1	10YR2/3	黒褐色	砂質シルト
				2	10YR2/2	黒褐色	砂質シルト
				3	10YR2/2	黒褐色	砂質シルト
P5	不整形	107×65	62	1	10YR2/2	黒褐色	砂質シルト
				2	10YR3/3	暗褐色	シルト
				3	10YR4/3	暗褐色	砂質土
				4	10YR3/3	暗褐色	-
P6	楕円形	84×56	50	1	10YR3/3	暗褐色	砂質シルト
				2	10YR4/3	暗褐色	炭化物質含む
				3	10YR3/3	暗褐色	砂質シルト
				4	10YR3/3	暗褐色	炭化物質含む
P7	楕円形	130×75	33	1	10YR2/3	黒褐色	砂質シルト
				2	10YR2/2	黒褐色	砂質シルト
				3	10YR5/4	にひ・黃褐色	砂質シルト
P8	圓丸方形?	109×80	40	1	10YR2/3	黒褐色	砂質シルト
				2	10YR2/2	黒褐色	砂質シルト
				3	10YR5/4	にひ・黃褐色	砂質シルト

第224図 SB6掘立柱建物跡(2)



番號 登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外観調整	内面調整	備考	写真 回数
1	C-363 SB6-P2	堆積土	土細器	环	(14.8)×(2.6)	口縁部ヨコナギ、底部ハラヘズリ	口縁部ヨコナギ、底部ハラヘズリ	-	98
2	C-364 SB6-P5	堆積土	土細器	环	(13.4)×(3.6)	口縁部ヨコナギ、底部ハラヘズリ	口縁部ヨコナギ、底部ハラヘズリ	-	98
3	C-365 SB6-P2	堆積土	土細器	束	(14.4)×(5.1)	口縁部ヨコナギ、腹部ハラヘズリ	口縁部ヨコナギ、腹部ハラヘズリ	-	98
4	E-085 SB6-P1	堆積土	土細器	束	(14.8)×(3.5)	ロクロ調整→天井部凹凸ハラヘズリ	ロクロ調整	-	98
5	E-086 SB6	不明	堆積土	高杯?	(12.2)×(2.6)	ロクロ調整→底縁ハラヘズリ	ロクロ調整	内面自然輪、 P1a不明	98
国調 番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	備考			写真 回数
6	N-014 SB6-P4	堆積土	鉢類	縁	残存高7.1cm、最大幅3.0cm、厚0.4cm				98

第225図 SB6掘立柱建物跡出土遺物



EP_A P5 P6 P1 EP_{A'}



EP_B P4 P3 P2 EP_{B'}



EP_D P5 P4 EP_{D'} EP_C P2 P1 EP_{C'}



0 (1.60) 2m

SB7 挖立柱建物跡 地盤土柱記述表

遺構名	平面形	範囲(cm)		層位	土色		土性	備考
		真鍮×別鍮	深さ		-	-		
P1	楕円形	51×40	32	-	-	-	-	
P2	不整形	72×56	18	-	-	-	-	
P3	不整形	84×56	30	-	-	-	-	
P4	楕円形	62×51	28	-	-	-	-	
P5	楕円形	31×28	32	-	-	-	-	
P6	楕円形	44×32	25	-	-	-	-	

第226図 SB7 挖立柱建物跡

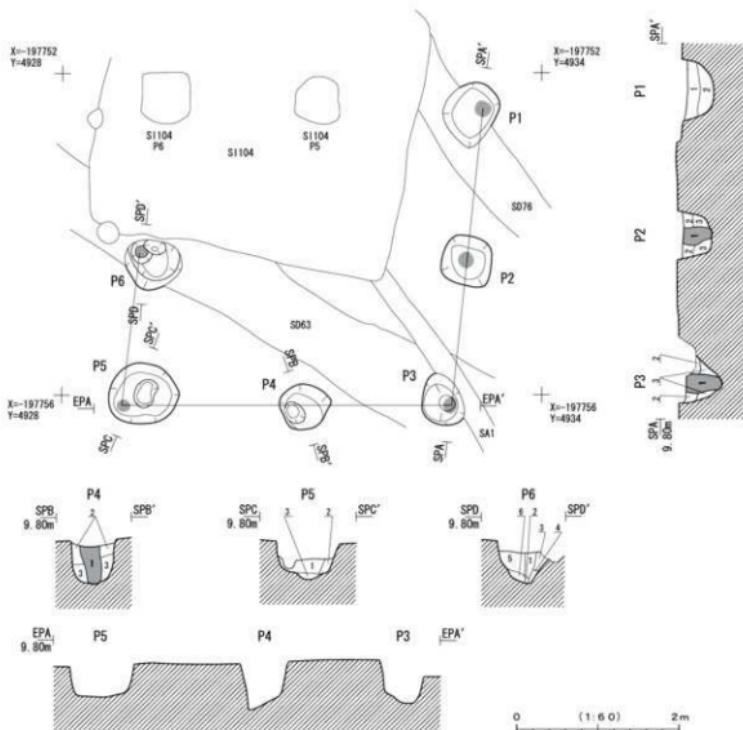
出土遺物として、土師器壺2点、甕1点、須恵器蓋1点、高壺1点、鉄製鎌1点を掲載した。第225図・1・2は、いわゆる関東系の特徴を有する土師器壺である。同図・5は他器種の口縁部もしくは脚部の可能性がある。

SB7 挖立柱建物跡(第226図)

調査区南端西側、3グリッドに位置し、6基の柱穴を検出した。東西2間×南北1間の東西棟建物跡で、SI78・94、SD45に切られる。桁行を基準とした軸方位はN-75°-Eで、桁行北側柱穴列は本建物跡を切るSI78・94北壁に平行する。桁行は総長444cm、柱間寸法は東側から224cm、220cm、梁行の柱間寸法は248cmを測る。各柱穴の規模は長軸31～84cm、短軸28～56cm、深さ18cmを測り、平面形状は楕円形・円形・不整形を呈する。柱痕はP1・2・4・6で確認された。掲載した遺物は無い。

SB8 挖立柱建物跡(第227・228図)

調査区中央部北西側、26・27・31・32グリッドに位置し、6基の柱穴を検出した。東西2間×南北2間の隅柱建物跡で、SI104、SA1、SD63・76に切られる。桁行を基準とした軸方位はN-90°-Wである。桁行は総長410cm、柱



第227図 SB8 挖立柱建物跡

間寸法は東側から180cm、230cmを測る。梁行は総長370cm、柱間寸法は北側から190cm、180cmを測る。各柱穴の規模は長軸57～89cm、短軸52～75cm、深さ38～55cmを測り、平面形状は隅丸方形・楕円形・不整形を呈する。柱痕は全ての柱穴で確認された。遺物はP5から出土した須恵器高台付环1点(第228図-1)を掲載した。

SBB掘立柱建物跡 地盤土質記表

遺構名	平面形	規模(cm) 長軸×短軸	層位	土 色		土 性	備 考
				深さ			
P1 隅丸方形	81×68	38	1	10YR3/1	黒褐色	-	10YR5/1(褐色灰土)(厚5～10mm), 10YR6/4(2.5m), 黄褐色少量含む
			2	10YR4/2	灰黄褐色	砂質シルト	10YR6/4(2.5m), 黄褐色ブロック(厚5～10mm), 10YR8/2(白色砂質ブロック)少量含む
P2 隅丸方形	63×61	44	1	10YR3/4	黒褐色	砂質シルト	10YR8/2(白色砂質ブロック)少量, 灰化物(厚5mm以下)微量含む
			2	10YR1/2	灰黄褐色	砂質シルト	にE-1(黄褐色)ブロック(厚5mm以下)含む
P3 楕円形	68×52	55	1	10YR3/4	黒褐色	砂質シルト	にE-1(黄褐色)ブロック(厚10～30mm)微量含む
			2	10YR1/2	灰黄褐色	砂質シルト	10YR8/2(白色砂質ブロック)少量, 灰化物(厚5mm以下)微量含む
P4 不整形	57×54	55	1	10YR3/4	黒褐色	砂質シルト	にE-1(黄褐色)ブロック(厚10～30mm)微量含む
			2	10YR1/2	灰黄褐色	砂質シルト	にE-1(黄褐色)ブロック(厚5mm以下)含む
P5 楕円形	89×75	50	1	10YR3/4	黒褐色	砂質シルト	にE-1(黄褐色)ブロック(厚10～30mm)微量含む
			2	10YR4/2	灰黄褐色	砂質シルト	10YR6/4(2.5m), 黄褐色土粒微量含む
P6 楕円形	72×63	54	3	-	-	-	解り難い
			1	10YR3/3	黒褐色	粘土シルト	10YR3/1(黒褐色砂質ブロック)厚5～10mm)微量, 灰化物(1.5mm), 植生根微細量含む
			2	10YR3/4	黒褐色	シルト	10YR8/2(白色砂質ブロック)厚2～3mm)微量含む
			3	10YR3/4	黒褐色	砂質シルト	10YR6/4(黄褐色土少量, 灰化物(径2mm)微量含む
			4	10YR1/2	灰黄褐色	砂質シルト	灰化物(5mm以下)微量含む
			5	10YR3/1	黒褐色	砂質シルト	にE-1(黄褐色土, 固白土粒(径2mm以下), 灰化物(2～3mm), 地主根微量含む
			6	10YR1/2	灰黄褐色	砂質シルト	10YR6/4(2.5m), 黄褐色ブロック(厚5～10mm), 10YR8/2(白色砂質ブロック)微量含む



1(P5)

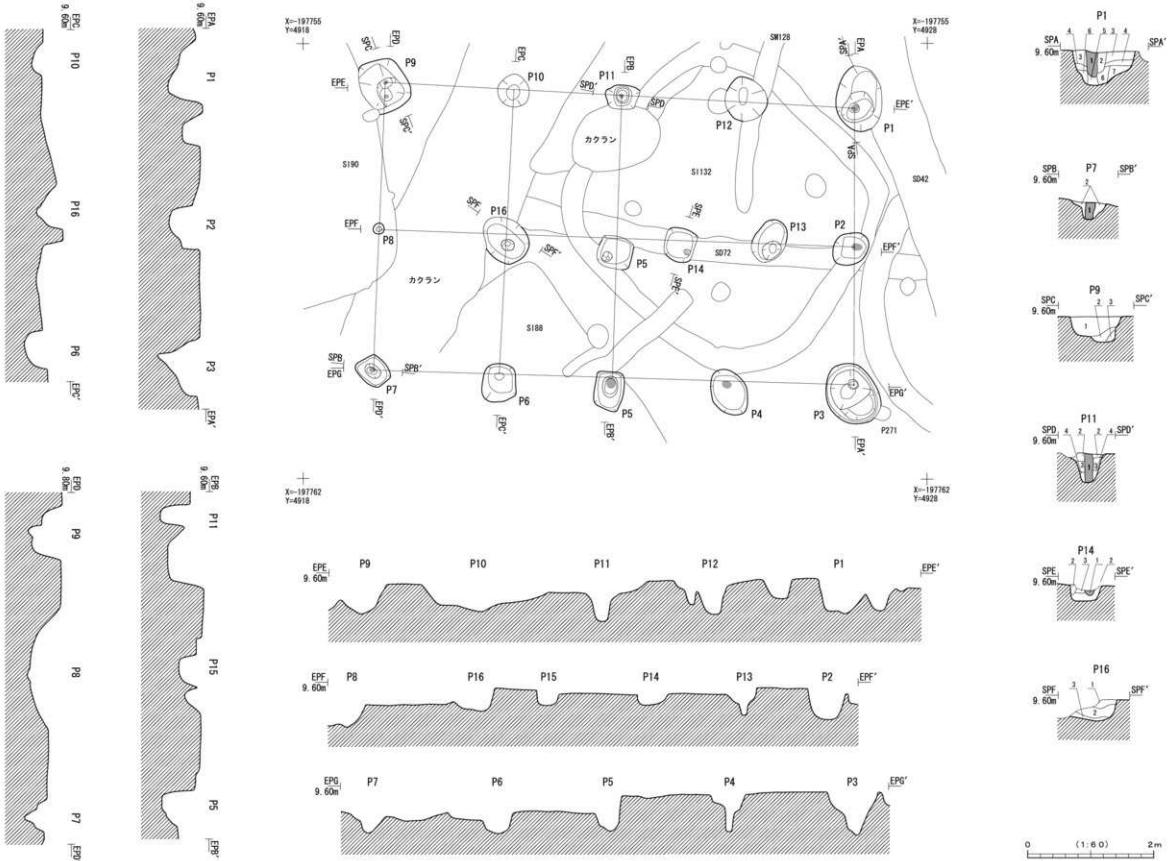
0 (1 : 3) 10cm

回取番号	登録番号	出土遺構	層位	柱 例	器 物	口径×底径×器高(cm)	外 面 調 整	内 面 調 整	備 考	写真 図版
I	E-087	SBB-P5	堆積土	須恵器	高台付环	φ(9.6)×(3.2)	ヨコ調整	ヨコ調整	高台	98

第228図 SB8掘立柱建物跡出土遺物

SB9 振立柱建物跡(第229・230図)

調査区中央付近、20・21・25・26グリッドに位置する。総数16基の柱穴で構成される、東西4間×南北2間の東西棟柱建物跡で、中側の桁のみ5間となる。SI88・90A・B・131・132、SD42・72に切られる。桁行を基準とした軸方位はN-88°-Wである。桁行は総長760cm、柱間寸法は東側から200cm、180cm、180cm、200cmを測り、梁行は総長440cm、柱間寸法は220cmの等間隔を測る。各柱穴の規模は区々で、SI90に削平されるP8を除き、長軸が1mを超えるもの(P1・3)、長軸80cm前後、短軸60cm前後、深さ50cm前後を測るもの(P5・9・12・13・16)、長軸55cm前後、短軸45cm前後、深さ40cm前後を測るもの(P2・5～7・10・11・14・15)に概ね三大別される。平面形状は、楕円形を中心として円形・方形・隅丸方形と様々である。柱痕はP1・2・4・5・7・9・11で確認された。遺物はP9から出土した土師器環1点(第230図-1)を掲載した。



第229図 SB9埋立柱建物跡

SB9掘立柱建物跡 推積土跡記載

遺構名	平面形	規格(cm) 長軸×短軸	層位 深度	土 色		土 性	備 考
				1	2		
P1	楕円形	104×74	60	1	10YR2/3	黒褐色	砂質シルト 10YR5/4に高い黄褐色土粒少量、炭化物(径2mm以下)微量含む
				2	10YR3/2	黒褐色	砂質シルト 10YR5/4に高い黄褐色土粒少量、炭化物(径2mm以下)微量含む
				3	10YR3/4	暗褐色	砂質シルト 10YR5/4に高い黄褐色土粒少量、炭化物、微量微量含む
				4	10YR7/4	に高い青褐色	砂質シルト 10YR8/1高い白色ブロック(径5~10mm)、炭化物(径1mm)微量含む
				5	10YR4/1	褐色	砂質シルト 明黄色土粒微量含む
				6	10YR5/4	に高い青褐色	砂質シルト 10YR4/1褐色土粒微量含む
				7	10YR5/4	に高い黄褐色	砂質シルト 明黄色土粒微量多量、10YR4/1褐色ブロック(径10~30mm)少量含む
P2	楕円形	53×51	38	-	-	-	-
P3	楕円形	105×82	68	-	-	-	-
P4	楕円形	80×58	60	-	-	-	-
P5	方形	63×47	56	-	-	-	-
P6	隅丸方形	63×54	38	-	-	-	-
P7	方形	59×48	36	1	10YR2/2	黒褐色	シルト に高い黄褐色ブロック(径5~10mm)、炭化物(径1~2mm)少量含む
				2	10YR3/2	黒褐色	シルト に高い黄褐色ブロック含む
P8	円形	19×18	36	-	-	-	-
P9	方形	86×74	53	1	10YR3/4	暗褐色	砂質シルト 10YR4/4褐色土粒少量、炭化物(径1~2mm)微量含む
				2	10YR3/4	暗褐色	砂質シルト 10YR6/8明黄色土粒含む
				3	10YR3/4	暗褐色	砂質シルト 10YR8/1高い白色土粒少量、10YR6/8明黄色土粒含む
P10	円形	53×51	16	-	-	-	-
P11	隅丸方形	57×39	48	1	10YR4/2	灰褐色	砂質シルト 炭化物(径2mm)少量、黄褐色土粒含む
				0	10YR3/3	暗褐色	砂質シルト 10YR4/1褐色土粒ブロック少量含む
				3	10YR3/4	暗褐色	砂質シルト 炭化物(径5mm以下)少量、10YR4/4褐色土粒含む
				4	10YR5/4	に高い黄褐色	シルト 黒褐色ブロック(径20mm以上)少量含む
P12	円形	72×68	46	-	-	-	-
P13	楕円形	71×51	44	-	-	-	-
P14	隅丸方形	55×50	28	1	10YR4/2	灰褐色	砂質シルト 10YR4/1褐色土粒ブロック(径10mm)少量含む
				2	10YR5/4	に高い黄褐色	砂質シルト 10YR5/4に高い黄褐色土粒ブロック少量含む
				3	10YR5/2	灰褐色	砂質シルト 10YR5/4に高い黄褐色土粒ブロック少量含む
				4	10YR6/4	に高い黄褐色	砂質シルト 褐色土粒ブロック(径10~30mm)少量含む
P15	方形	56×50	28	-	-	-	-
P16	楕円形	82×66	42	1	10YR5/4	に高い黄褐色	砂質シルト 炭化物(径1mm以下)微量含む
				2	10YR3/4	暗褐色	砂質シルト 10YR4/4褐色土粒少量、炭化物(径5mm以下)微量含む
				3	10YR3/4	暗褐色	砂質シルト 炭化物微量含む

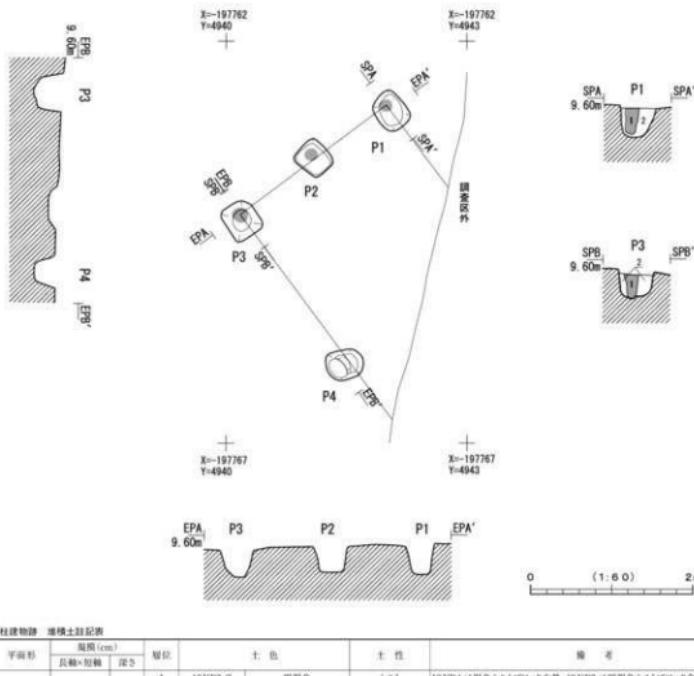


図版 番号	登録番号	出土遺構	層位	種 別	器 様	口徑×底径×高さ(cm)	外面調整	内面調整	備 考	写真 回数
1	C-366	SB9-P9	堆積土・土加器	3号		(19.2)×(16.0)×(3.3)	口縁部・体部コナデ	底部ハラケゼリ		96

第230図 SB9掘立柱建物跡出土遺物

SB10 掘立柱建物跡(第231図)

調査区東中央南寄り、18・23グリッドに位置し、4基の柱穴を検出した。少なくとも東西2間以上×南北1間以上の東西棟建物跡と推定され、東側は調査区外へ延びる可能性がある。重複する遺構はないが、北側には区画施設と考えられるSD66、SA4・5、南側には同じく区画施設と考えられるSA1が近接する。桁行を基準とした軸方位はN-37°Wで、SD66およびSA1とはほぼ同一軸を指す。検出した桁行の総長および柱間寸法は230cmを測る。梁行は総長225cm、柱間寸法は東側から110cm、115cmを測る。各柱穴の規模は長軸43~48cm、短軸38~41cm、深さ26~42cmを測り、底面レベルはほぼ同一である。平面形状はP4が隅丸方形、その他は方形を呈する。柱痕はP1~3で確認された。掲載した遺物は無い。



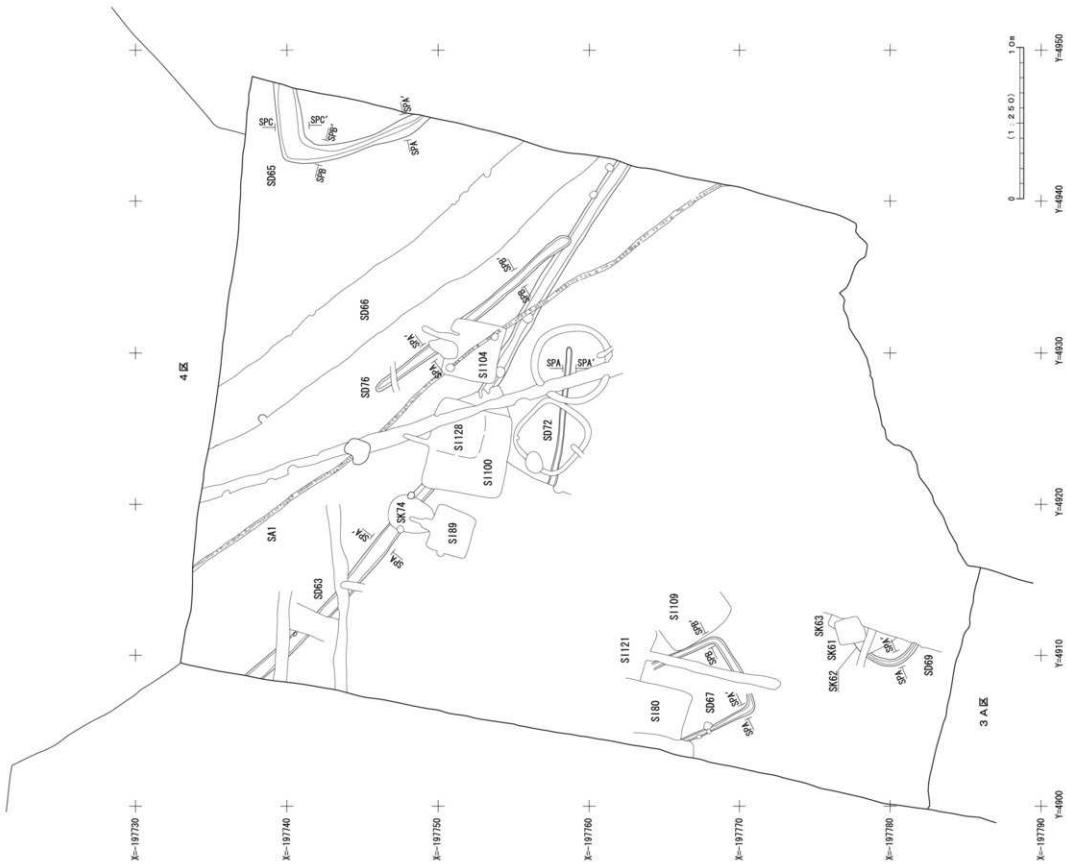
SB 10 据立柱建物跡 地積土柱記録

遺構名	平面形	規模(cm)		層位	土色		土性	備考
		長軸	短軸		1	2		
P1	方形	48×39	42	1	10YR2/3	黒褐色	シルト	10YR1/4褐色シルトブロック少量、10YR3/4褐色シルトブロック含む
				2	10YR3/4	褐褐色	シルト	10YR2/3黒褐色シルトブロック(厚10mm)、 10YR3/4褐色シルトブロック含む
P2	方形	43×38	38	-	-	-	シルト	10YR4/4褐色シルトブロック少量、灰化物微量含む
				1	10YR3/3	褐褐色	シルト	10YR4/4褐色シルトブロック含む
P3	方形	46×41	36	2	10YR3/4	褐褐色	シルト	
P4	扇形	48×38	26	-	-	-	シルト	

第231図 SB 10 据立柱建物跡

(3) 溝跡(第232～238図)

3B区において、遺構の重複関係等から古代に帰属すると考えられる7条の溝跡を検出した。このうち、区画施設と考えられるSD66は次項にて記載することとし、本項ではSD66を除く6条について個別に記載する。なお、遺構の重複関係については観察表に纏めて記載することとし、文章中では主要なものの記載とした。



第232図 古代溝渠遺構配置図

SD63 溝跡(第232～237図)

3B区北半部、22・23・27・31・32・35・36・40・44・45グリッドに位置する。SB8、SA5を切り、SI100・104・122・128、SA1、SD76、SK74に切られる。本溝跡はSA1・SA5と重複関係が認められたことにより、直接の重複関係はない。SA5はSA1に先行するという前後関係が確認された。

溝の規模は、総検出長32.90m、上端幅85～115cm、下端幅40～84cm、深さ35cmを測り、SI100に切られる3B区中央部を境とし、その西側はN・52°・W、東側はN・60°・Wの方向に、それぞれ東西の調査区外へと延びる。

堆積土は6層に分層した。黄褐色ブロックを多量に含む暗褐色シルトを主体とする。溝の断面形状は逆台形状を呈し、壁は僅かに内湾しながら外傾する。底面は丸みを帯び、南西側の一部にはテラス状に高まる箇所が確認された。

溝跡から出土した遺物の内、土師器壺3点の他、土師器瓶、須恵器提瓶、礫石器、砥石を各1点掲載した。すべて堆積土中からの出土である。第235図-1は胴下部が大きく膨らみ、短く外反する口縁部へと至る器形を呈する。3B区西側境界付近で、須恵器提瓶(第236図-5)と近接した状態で出土した(第234図)。

SD65 溝跡(第232～234・238図)

3B区北東端、38・43・48グリッドに位置し、SI119を切る。総検出長は13.6m、上端幅68～203cm、下端幅23～120cm、深さ40～53cmを測り、平面形状は「L」字状を呈し、屈曲部の東側はN・82°・W、南側はN・24°・Eの方向に、それぞれ東側の調査区外へと延びる。

堆積土は最大10層に分層した。地山ブロックを多量に含む暗褐色シルトを主体とし、屈曲部南側では7層以下が確認されなかった。溝の断面形状は逆台形を基調とし、一部には船底状を呈する箇所が認められた。壁は内湾気味にやや外傾するが、一部括れを持つ箇所が認められた。

本溝跡の出土遺物として、土師器壺、ミニチュア各2点、須恵器壺1点、礫石器1点を掲載した。第238図-2は口径約29.6cm、底径16.4cm、器高7.6cmを測る大型の壺とした。溝跡の屈曲部から出土した。

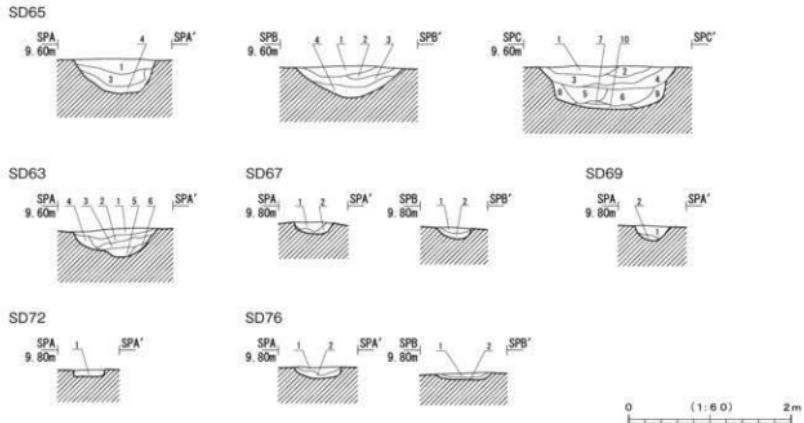
SD67 溝跡(第232・233図)

3B区西側中央、9・14・15・19グリッドに位置する。一見すると周溝のみが残存した竪穴住居跡にも思えるが、周溝内部に配置に規則性を有する柱穴やカマドといった住居に伴う施設が確認できなかったことから、溝跡として調査した。平面形状は北西側が開口する「コ」字状を呈するが、本来は北西側にも溝が回る方形周溝となる可能性がある。SI80に切られ、SI109との新旧関係は不明である。

検出した部分の規模は一辺4.70m前後、上端幅38～63cm、下端幅13～35cm、深さ15cmを測り、溝の軸方位は、南辺がN・82°・E、東西辺がN・24°・Wである。断面形状は底面が丸みを帯びる逆台形状を呈する。堆積土は2層に分層した。堆積土中から土師器が出土したが、掲載した遺物は無い。

SD69 溝跡(第232・233図)

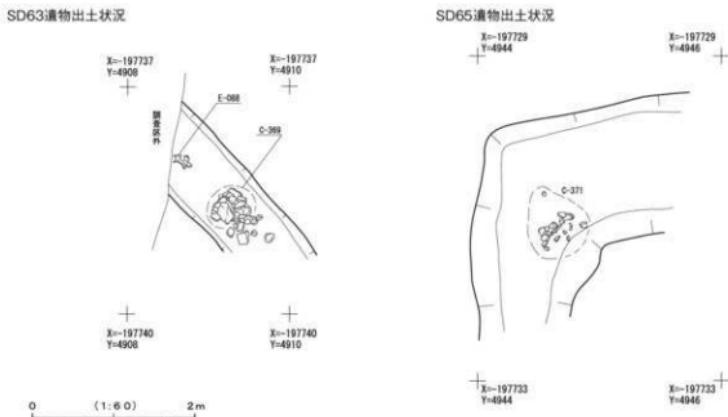
3B区南西端、2・3・5・6グリッドに位置する。SD46、SK62に切られる。北側末端がSK62、東側末端が複雑により失われるが、検出された部分における平面形状は東側に開口するように延びる弧状を呈する。規模は検出長3.75m、上端幅40～48cm、下端幅10～20cm、深さ19cmを測る。断面形状は底面が丸みを帯びる逆台形状を呈する。堆積土は2層に分層した。堆積土中から土師器が出土したが、掲載した遺物は無い。



漢詩·體察表

標名	タリット	方向	規模(cm)			層位	土色	土性	備考	重複		
			後出長	上端幅	下端幅							
SDG3	32-23- 27-31- 32-35- 36-40- 44-45	N 52° E 60° W	3200	65 ~ 115	40 ~ 84	35	1	10YR3 / 3	暗褐色	シルト	黄褐色ブロック(厚1mm)多量、灰化物(厚1mm)少量化含む。	NAS-SB8 P6, PI43, SK35(薄生)を切る SM120-150-182、 P290-296-399-103-1068-1389-1435-1442 SD69-61-62-64-76、 SI199-104-122-128, SK74、 SA124-125-4-5、 P1458-1459-1444-1445-1446-1448との削旧不明
							2	10YR3 / 4	暗褐色	シルト	黄褐色ブロック(厚1mm)少量化含む。	
							3	10YR3 / 3	暗褐色	シルト	黄褐色ブロック(厚10 ~ 30mm)多量、灰化物(厚1mm)少量化含む。	
							4	10YR4 / 3	にこにこ・黃褐色	シルト	黄褐色ブロック(厚1 ~ 3mm)多量、灰化物(厚1 ~ 2mm)少量化含む。	
							5	10YR3 / 2	黑褐色	シルト	黄褐色ブロック(厚2 ~ 5mm)少量、灰化物(厚2 ~ 3mm)少量化含む。	
							6	10YR3 / 3	暗褐色	シルト	黄褐色ブロック(厚2 ~ 5mm)多量含む。	
SDG5	36-43- 48	N 52° E N 24° W	1360	68 ~ 201	23 ~ 120	40 ~ 53	1	10YR3 / 3	暗褐色	砂質 シルト	灰褐色粘土ブロック少量、微分微量含む。	SII19-120を切る SML29-149-141-142、P1068に切られる P983-1092との削旧不明
							2	10YR3 / 4	暗褐色	砂質 シルト	赤山地ブロック多量含む。	
							3	2.5 YR3 / 3	褐オーブ 褐色	砂質 シルト	赤山地ブロック少量含む。	
							4	10YR3 / 3	暗褐色	砂質 シルト	赤山地ブロック多量、灰褐色ブロック少量含む。	
							5	10YR4 / 3	にこにこ・黃褐色	シルト	黄褐色ブロック(厚1 ~ 5mm)含む、 赤褐色ブロック(厚1 ~ 20mm)少量。	
							6	10YR3 / 4	暗褐色	シルト	赤山地ブロック(厚2 ~ 30mm)多量含む、 灰化物(厚2 ~ 3mm)微量含む。	
SDG7	9-14- 15-19	N 42° N 25° W	1166	28 ~ 63	13 ~ 35	15	1	10YR3 / 2	黑褐色	シルト	黄褐色ブロック(厚1 ~ 3mm)多量含む。	SD69, P314-316-4237-1280, SII121に切られる SII119との削旧不明
							2	10YR3 / 3	暗褐色	シルト	10YR4 / 4 黑褐色シルトブロック含む。	
							1	2.5 YR3 / 3	褐オーブ 褐色	シルト	赤山地ブロック(厚1 ~ 3mm)多量含む。	
							2	10YR2 / 3	暗褐色	シルト	赤山地ブロック(厚1 ~ 3mm)少量、灰化物微量含む。	
							1	10YR4 / 3	にこにこ・黃褐色	シルト	10YR4 / 4 黄褐色。	
							10	2.5 V5 / 3	青褐色	シルト	2.5 V5 / 3 黑褐色ブロック(厚10 ~ 20mm)多量含む。	
SD72	26-27- 37-38	N 77 ° 84 ° W	851	38	34	10	1	2.5 V5 / 3	青褐色	シルト	SD42, P489-496-492-1423-1424-1425 SII13-1に切られる	
							1	10YR4 / 3	にこにこ・黃褐色	シルト	10YR4 / 4 黄褐色。	
SD76	27-32- 39-47	N 37 ° 39 ° W	1300	59 ~ 85	20 ~ 58	14	1	10YR4 / 3	にこにこ・黃褐色	シルト	10YR4 / 4 黄褐色シルトブロック含む。	SII8, SD163を切る SII19, P534-537-672-673, SI104に切られる
							2	10YR4 / 4	褐色	シルト	10YR4 / 4 黄褐色シルトブロック含む。	

第233図 溝跡断面図



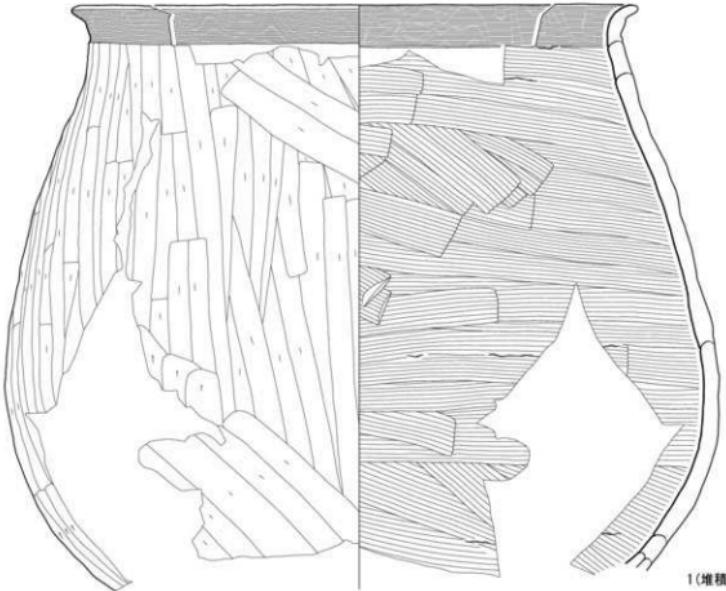
第234図 SD63・65溝跡

SD72 溝跡(第232・233図)

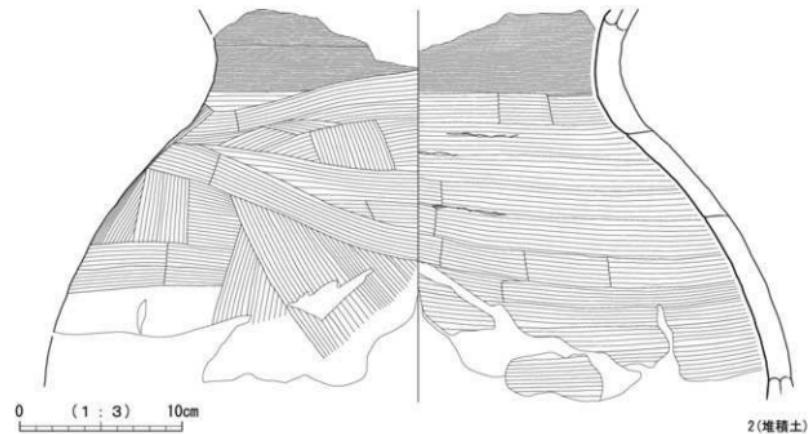
3B区中央部、26・27グリッドに位置する。SB9を切り、SI131・132、SD42に切られ、西側末端は擾乱により失われる。N.74°～84°-Wの方向に延び、規模は検出長8.51m、上端幅38cm、下端幅34cm、深さ10cmを測る。堆積土は黄褐色シルトの單層で、断面形状は箱形を呈し、壁は直に立ち上がる。堆積土中から土師器が出土したが、掲載した遺物は無い。

SD76 溝跡(第232・233図)

3B区北東部、27・32・36・37グリッドに位置する。SB8、SD63を切り、SI104に切られる。N.38°-Wの方向に延び、同一方向に延びるSA5とSA1のはば中間に位置する。規模は検出長13.0m、上端幅59～85cm、下端幅20～58cm、深さ14cmを測る。堆積土は2層に分層した。堆積土中から土師器が出土したが、掲載した遺物は無い。



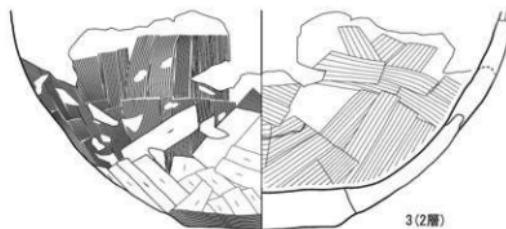
1(堆积土)



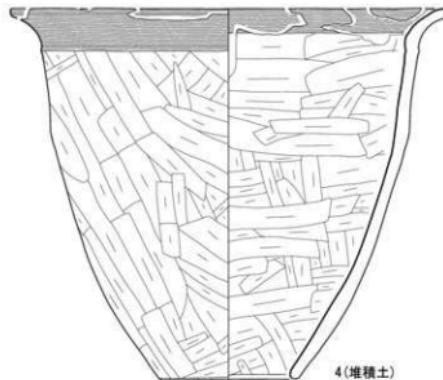
2(堆积土)

図版 番号	登錄番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×高さ(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真 図版
1	C-369	SD63	堆积土	土器器	甕	34.6××(36.0)	口縁部ヨコナデ、胴部ヘラケズリ	口縁部ヨコナデ、胴部ヘラナデ		99
2	C-367	SD63	堆积土	土器器	甕	××(24.1)	口縁部ヨコナデ、胴部ヘラナデ	口縁部ヨコナデ、胴部ヘラナデ		98

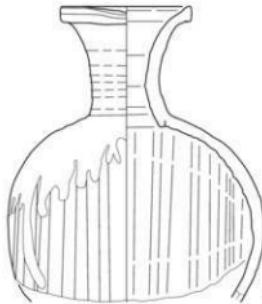
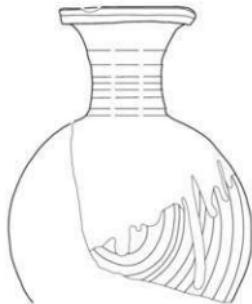
第235図 SD63溝跡出土遺物(1)



3(2層)



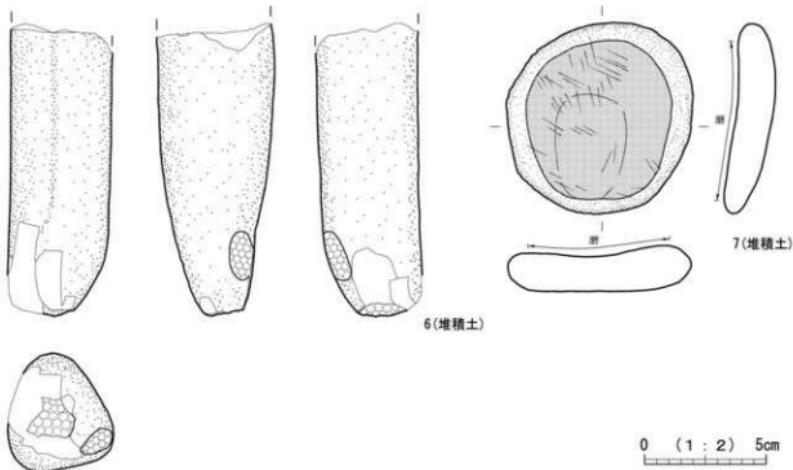
4(堆积土)



0 (1 : 3) 10cm

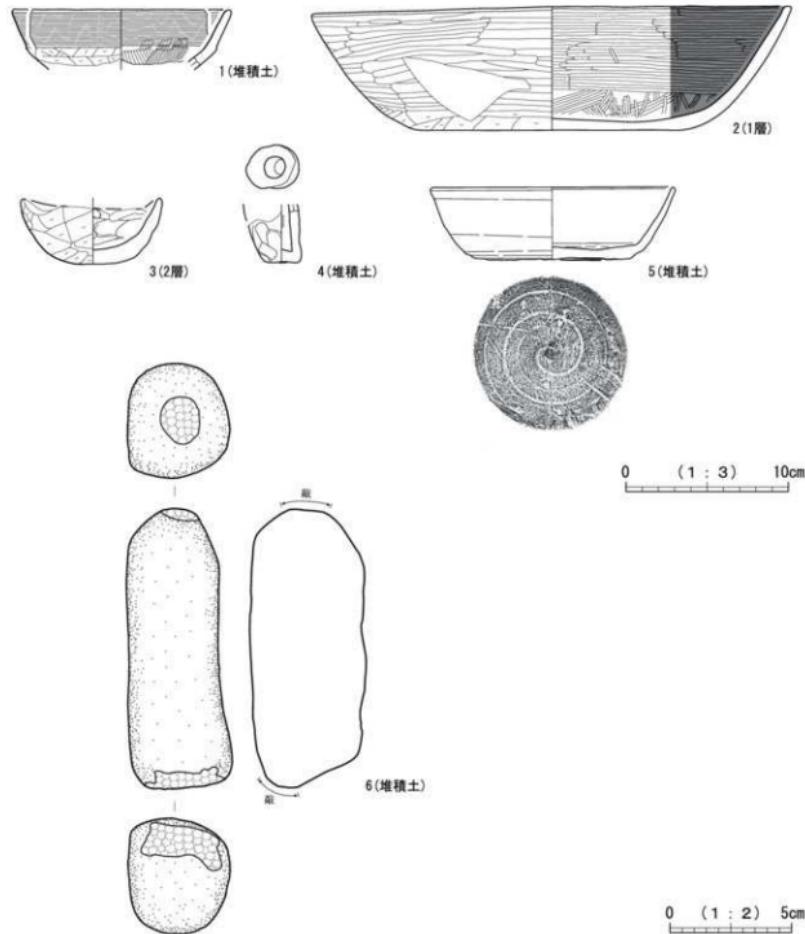
図版 番号	登録番号	出土遺物	層位	種別	器種	口径×底径×高さ(cm)	外観調査	内観調査	指名	写真 図版
3	C-368	SD63	2層	土細器	壺	φ9.0×(3×5)	脚部ハケヌ。 脚下部ココナツ。	脚部～近部ヘラケヌ。 近部付近ココナツ	99	
4	C-370	SD63	堆积土	土細器	瓶	(27.0)×(8.4)×22.8	1周部ココナツ。	脚部～近部ヘラケヌ。	100	
5	E-688	SD63	堆积土	埴生器	瓶	8.1×(18.2)	ロクロ調整。脚部側面ヘラケヌ。	ロクロ調整。	内外面自然釉	100

第236図 SD63溝跡出土遺物(2)



部品 番号	登録番号	出土遺物	層級	種別	器種	分類	長さ×幅×厚さ(cm)	重量(g)	石材	備考	写真 回数
6	Kc-012	SD63	堆积土	砾石器	砾石	-	11.2×4.1×4.5	365.21	砂岩	欠形品、棒状理、縫(先1箇所+後1箇所)程度(擦)	100
7	Kd-007	SD63	堆积土	石器品	砾石	-	8.1×7.5×1.8	78.31	凝灰岩	定形品、自然理、板状、無孔、溝状面あり、自然面あり	100

第237図 SD63溝跡出土遺物(3)



図版 番号	登録番号	出土遺物	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外 形 調 査	内 形 調 査	指 号	写真 回数	
1	C-372	SD65	堆積土	土器器	环	(13.5) × (3.7)	口縁部ヨコナギ、体部へラケズリ	口縁部ヨコナギ、体部ヘラギキ		100	
2	C-371	SD65	1層	土器器	环	29.6 × 16.4 × 7.6	口縁部～体部ヘラカミガキ、底盤付近ヘラケズリ	口縁部～底部ヘラカミガキ	内面黒色處理	100	
3	C-373	SD65	2層	土器器	ヨーチニア	8.5 × 2.0 × 4.2	口縁部～体部ヘラカミガキ	口縁部～底部ユビナゲ		100	
4	C-374	SD65	堆積土	土器器	ヨーチニア	<2.2 × (3.6)	口縁部～底部ユビナゲ	操作工具痕		100	
5	E-089	SD65	堆積土	須恵器	环	14.8 × 9.7 × 4.5	ロクロ調整、底盤側面ヘラケズリ	ロクロ調整		100	
図版 番号	登録番号	出土遺物	層位	種別	器種	分析	直徑×幅×厚さ(cm)	重量(g)	石 材	備 考	写真 回数
6	Kc-017	SD65	堆積土	砾石器	砾石	-	11.5 × 4.2 × 4.7	329.59	珪化燧灰岩 定形品、棒状錐、扁(先2箇所)程度(直)		100

第238図 SD 65溝跡出土遺物

(4) 区画施設(第239～271図)

3B区北東側において、集落を区画すると考えられる溝跡1条(SD66)、材木列1条(SA1)、一本柱列4列(SA2～5)が、ほぼ同一方向に軸を持ち並走する状況で検出された。SD66の北東側に位置するSA2・3は遺構の重複や出土遺物がないため、その帰属時期や性格については不明な点もあるが、SD66と同方向に延びざるに一定の間隔で並ぶように検出されていることからここで報告する。

SA1とSA4・5の関係については、SA1に切られるSD63がSA4・5を切っていることから、SA4・5がSA1に先行して構築されたことが確認された。

こうした遺構の前後関係を踏まえ、本項ではSD66とSA1についての記載とし、一本柱列4列については次項で述べることとした。なお、3B区北側に隣接する4区からSD66の一部を土橋状に掘り残した部分やSA1の開口部が検出され、周辺の住居跡等の配置からこの位置が集落の通路となっていたと考えられる。4区の調査成果については、長町駅東遺跡第4次調査報告書(第315集)として先に刊行されている。

また、3B区東側の事業街区(37街区)については、平成20年度(2008年)に商業施設の建設に伴い発掘調査が実施された。その結果遺構確認面が削平による影響を受けていたものの、SD66については僅かに南傾しながらさらに東側に40m以上延びることや、SA1材木列、SA4・5一本柱列の一部が確認されている。一本柱列のうちSA2・3については確認されず、北側への延長が想定された平成16年の調査時にも確認されていないことから、この柱列については集落全体の区画施設とはならないと考えられる。

SD66 溝跡(第239～271図)

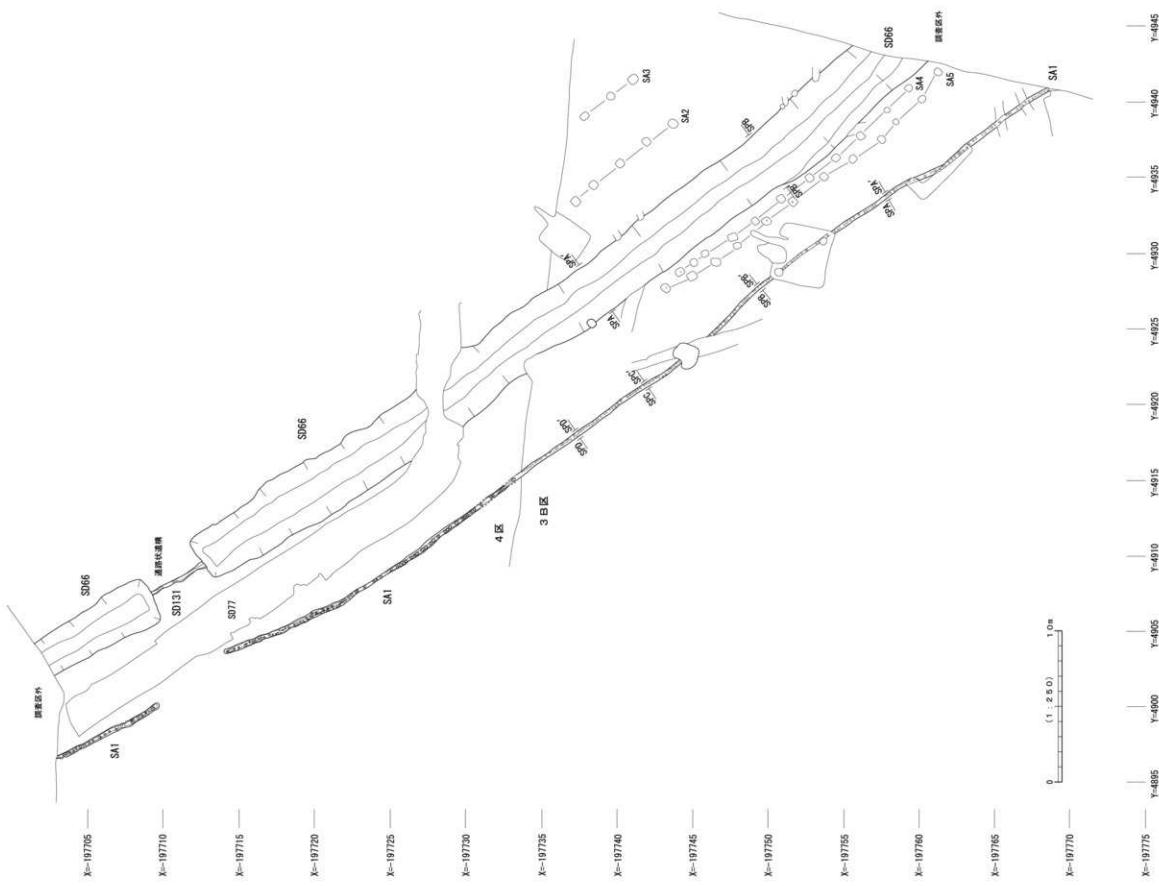
3B区北東部、23・27・28・32・33・37・42・46・47グリッドに位置する。他遺構との重複関係については、SI120・129A・B、SK60・80を切り、SD42・64に切られる。

3B区から検出された規模は、長さ約28.5m(東辺約26.0m、西辺約32.5m)、上端幅約3.5～4.0m、下端幅約1m、検出面からの深さ約90～130cmを測り、N・36°・Wの方向に延びる。上端と下端の幅は、4区から検出された部分とほぼ同一の計測値となる。

堆積土は7層に大別分層した。全体的にレンズ状の堆積状況を示す。2層の細別層位である2c層には10世紀前半に降下したと考えられる十和田a火山灰と目される灰白色火山灰が混入することが確認された。本遺構の廃絶年代を検討する上で鍵層となる。7層は炭化物等を含む暗オリーブ褐色シルトで、層下位にグライ化が認められる。4区における大別層位8層(黒褐色シルト)にも同様の特徴が認められることから、両層位はそれぞれ対応するものと考えられる。

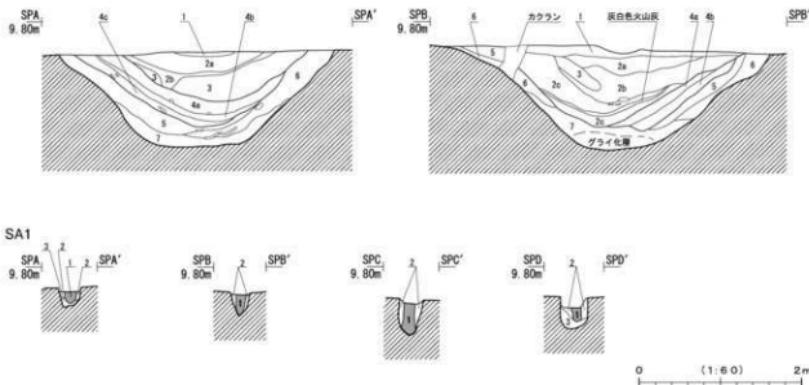
遺物は層厚が最大で35cm程を測る4層からの出土量が圧倒的に多く、4区と同様に一括性が高いと判断された。よって、3B区においても出土遺物を上層(1～3層)・4層・下層(5層以下)、その他(層位不明他)に四大別して出土遺物を掲載し、記載についても同様に大別毎とした。掲載した遺物の総数は249点である。

なお、各層位の掲載遺物は、必ずしも器種組成、ならびに各器種における器形の特徴の割合等が反映されたものではない。



第239图 SD66测线-SA1树木列(1)

SD66



SD66 溝跡堆積土柱記表 (SPA-A')

層位	土色	土 性	備 考
1	10 YR4-2 / 黄褐色	シルト	10 YR5-1 黑褐色砂質シルトブロック含む
2a	10 YS5-1 / 黄褐色	砂質シルト	炭化物軟弱層含む
2b	2.5Y5-1 / 黄褐色	砂質シルト	10 YC1-3 黑褐色堆積土ブロック、炭化物軟弱層含む
3	2.5Y3-3 / 單オーリーブ褐色	-	10 YR5-1にい 黄褐色、10 YS5-1 黄褐色のブロック層
4a	7.5YR1-2 / 黄褐色	砂質シルト	炭化物、微土量含む
4b	2.5Y4-1 / 黄褐色	砂質シルト	炭化物、微土量含む
4c	10 YR4-1 / 黄褐色	砂質シルト	炭化物、微土量含む
5	2.5Y4-2 / 單純褐色	シルト	炭化物、微土量含む
6	2.5Y3-3 / 單オーリーブ褐色	シルト	層下部にシルダ層、炭化鉄塊集積、グライ化層含む
7	2.5Y3-3 / 單オーリーブ褐色	シルト	10 YR5-6 黄褐色塊状ブロック含む、マンゴン層、炭化鉄塊含む

SD66 溝跡堆積土柱記表 (SPB-B')

層位	土 色	土 性	備 考
1	10 YR2-2 / 黑褐色	砂質シルト	炭化物微量、植物片含む
2a	10 YC1-3 / 黑褐色	シルト	炭化物、植物片微量含む
2b	10 YC1-1 / 黑褐色	シルト	炭化物、植物片少量含む
2c	10 YS5-1 / 黑褐色	シルト	灰山灰層 2.5Y5-1 黑褐色火山灰含む
3	10 YS5-6 / 黄褐色	砂質シルト	10 YC1-3 黑褐色シルト、10 YR3-1 黑褐色シルト、10 YR4-4 黄褐色砂質シルトブロック含む
4a	9YR2-2 / 黑褐色	シルト	10 YR3-4 黑褐色シルトブロック、炭化物、9YR5-6 黑褐色堆積土含む
4b	10 YC1-4 / 黑褐色	シルト	炭化物、微土量含む
5	10 YR4-2 / 黑褐色	砂質シルト	炭化物微量含む
6	2.5Y4-4 / オリーブ褐色	砂質シルト	塊状ブロック含む
7	2.5Y3-3 / 單オーリーブ褐色	シルト	炭化物、マンゴン層、炭化鉄塊含む、下部グライ化

SA1 材木列堆積土柱記表 (SPA-A')

層位	土 色	土 性	備 考
1	10 YR2-2 / 黑褐色	シルト	10 YR4-2にい 黄褐色ブロック含む（柱柵）
2	10 YH4-3 / 15Y5-2 黄褐色	シルト	10 YR2-2 黑褐色ブロック含む
3	10 YR4-3 / 15Y5-2 黄褐色	シルト	10 YR3-2 黑褐色ブロック含む

SA1 材木列堆積土柱記表 (SPB-B')

層位	土 色	土 性	備 考
1	10 YR3-2 / 黑褐色	シルト	10 YR4-2 黑褐色ブロック含む（柱柵）
2	10 YR4-2 / 黄褐色	シルト	10 YR3-2 黑褐色土、10 YR4-3にい 黄褐色ブロック含む

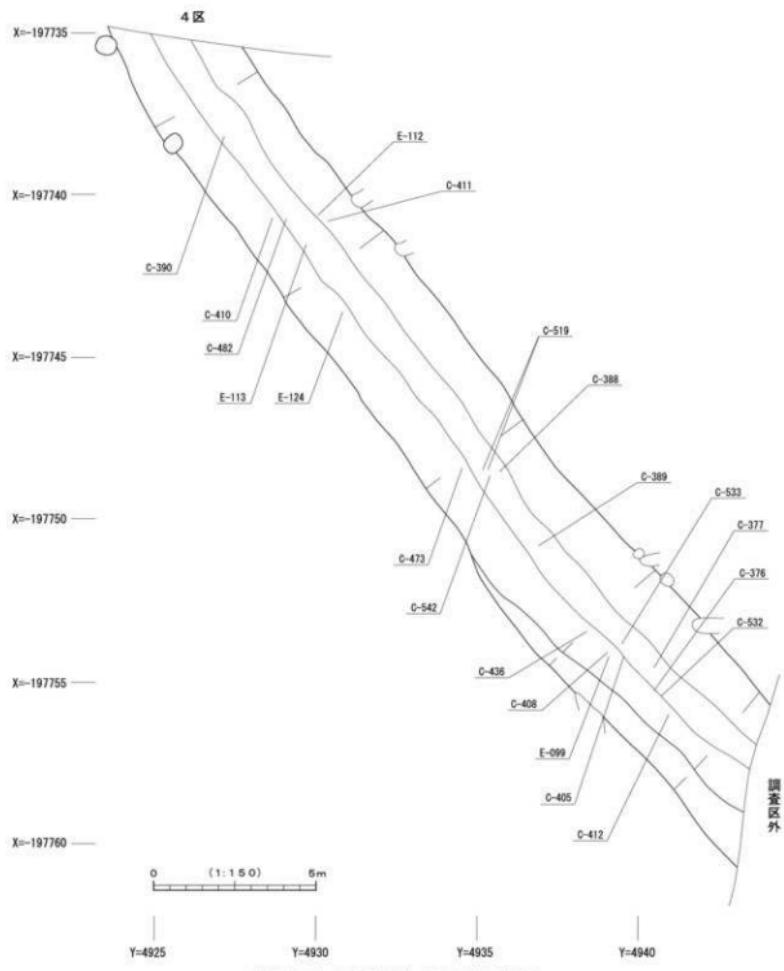
SA1 材木列堆積土柱記表 (SPC-C')

層位	土 色	土 性	備 考
1	-	シルト	10 YR3-2 黑褐色と 10 YR4-2にい 黄褐色のブロック層（柱柵）
2	10 YR4-3 / 15Y5-2 黄褐色	シルト	10 YR4-2 黄褐色ブロック含む

SA1 材木列堆積土柱記表 (SPD-D')

層位	土 色	土 性	備 考
1	10 YR4-2 / 黄褐色	シルト	10 YR4-2にい 黄褐色ブロック含む（柱柵）
2	10 YR4-3 / 15Y5-2 黄褐色	シルト	10 YR4-2 黄褐色ブロック含む
3	10 YR4-2 / 黄褐色	シルト	

第240図 SD66溝跡・SA1材木列(2)



第241図 SD 66溝跡・SA 1材木列(3)

[SD66 上層出土遺物]

土師器壺10点(第242図-1～10)、高壺2点(同図-11・12)、鉢1点(同図-13)、甕17点(第242図-14～第244図-30)、懸1点(第245図-31)、ミニチュア3点(同図-32～34)、須恵器壺2点(同図-35・36)、鉢1点(同図-37)、甕4点(同図-38～41)、壺2点(同図-42・43)、土錐1点(第246図-44)、器種不明の棒状鉄製品1点(同図-45)、礫石器7点(第246図-46～第248図-52)、砥石2点(第249図-53・54)、器種不明石製品1点(同図-55)の計55点を掲載した。

土師器壺(第242図-1～10)のうち、1・2は、いわゆる関東系の特徴を有するものである。底部は丸底で口縁部はS字状に直立する器形を呈する。調整は内面が黒色処理されず、ヘラナデもしくはナデが施される。3～10は、いわゆる在地系の特徴を有するものである。底部は丸底ないし平底気味の丸底を呈する。口縁部と体部の境界には明瞭な段を持つが、9はやや不明瞭である。口縁部は外側に開き、断面形状は、外反するもの(4・7・9)、内湾するもの(5・6)、直線的に開くもの(3・8・10)に三大別される。調整は、内面にヘラミガキが施された後、黒色処理される。

土師器甕(第242図-14～第244図-30)は、いずれも頸部に括れを持ち、口縁部は直線的に外傾するもの(14～16)と外反するもの(17～21)があり、胴部は上位に膨らみを持つもの(14・20)、中位に膨らみを持つもの(16～19・21)、胴部に膨らみを持たず口縁部から直線的に窄まるもの(15)に三大別される。このうち、18のみ胴部外面に横位のヘラナデが施される。底部は僅かに直立し、胴部へいたるもの(14・19・26)、直線的に胴部へと立ち上がるるもの(21～25・27～30)がある。25の外底面には、刺突もと穀類の圧痕とも捉えられる痕跡が観察される。

注目されるものとして、外底面周縁のみに粘土を貼り付け中央に木葉痕を残すものが認められる。上層から7点(最低7個体)出土しており、その全個体を掲載した(22～24・27～30、27～30の底面は図示なし)。

土師器ミニチュア(第245図-32～34)のうち、32・34は口縁部が窄まる壺形を呈する。34の底面には、耕痕が認められる。

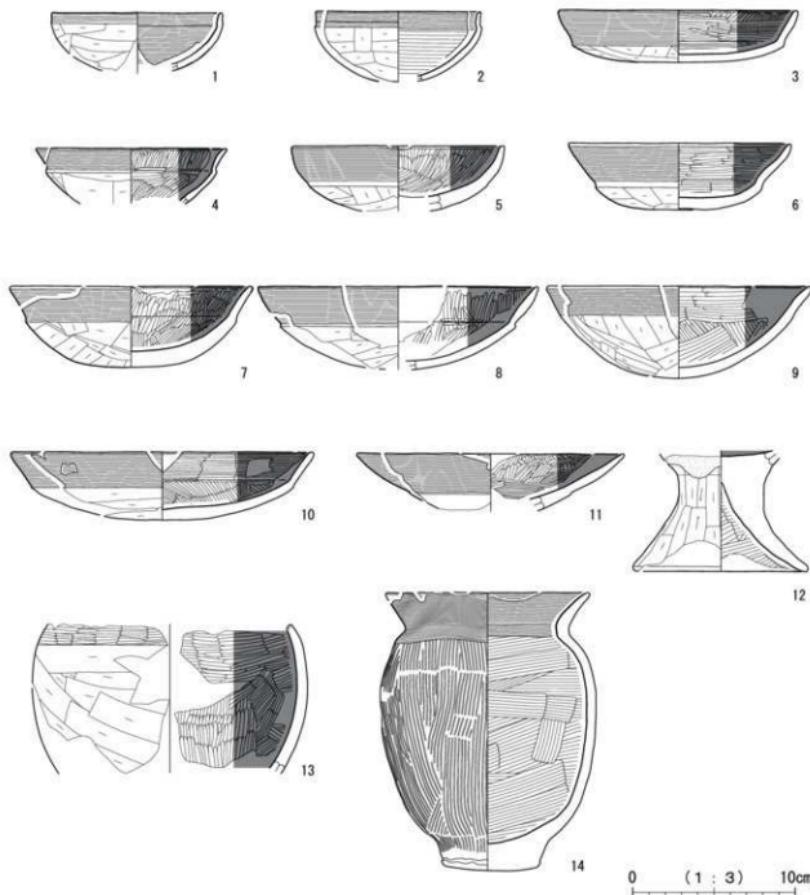
須恵器鉢(第245図-37)は口縁部へと大きく開き、頸部は僅かに括れを持つ。同図-43は須恵器壺の底部破片で、内面が研磨されていることから、硯に転用されたものと考えられる。

第246図-45は器種不明の棒状鉄製品で、一方の末端付近には径1.5mmの貫通孔が認められる。

礫石器(第246図-46～第248図-52)の形状は、棒状礫(46・52)と円ないし梢円礫(47～51)に大別され、いずれも面の中央部が使用されるものが多い。石材は46・47・52が安山岩、その他はすべて凝灰岩である。

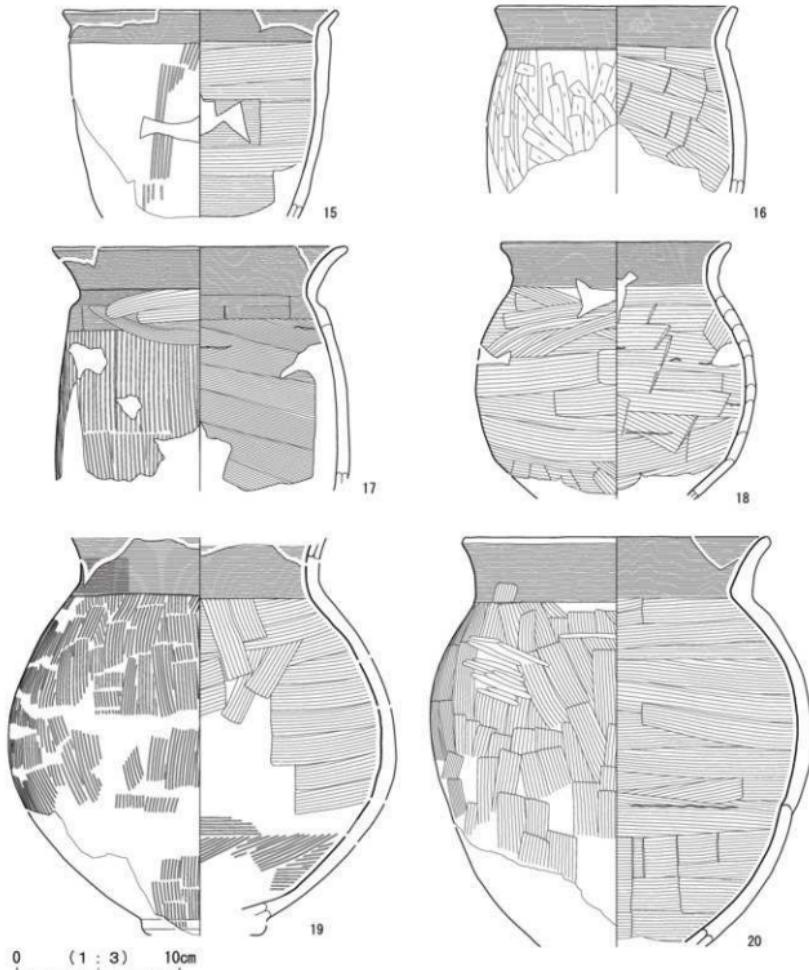
砥石(第249図-53・54)はいずれも梢円形の板状礫で、石材は凝灰岩である。54には溝状痕が観察される。

同図-55は欠損品のため、器種不明の石製品とした。残存する部分で4.5cmの凹みが一面認められるほか、詳細は不明である。石材はディサイトである。



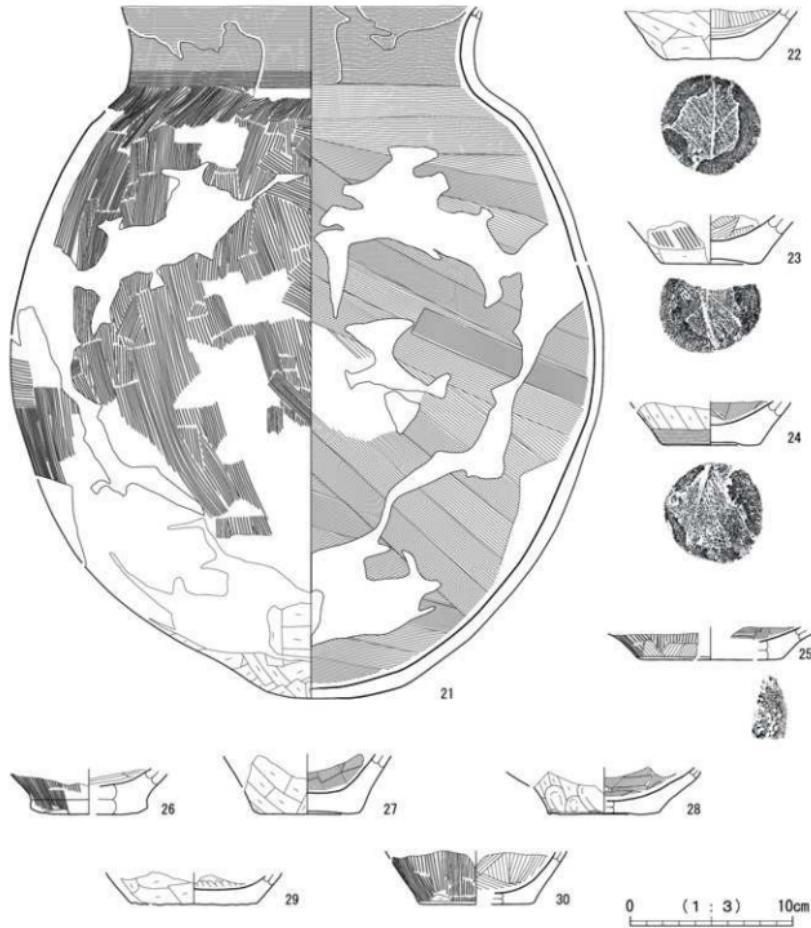
第242図 SD66溝跡出土遺物(上層①)

国版 番号	登録番号	出土遺構	層位	性質	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	参考	写真 図版
1	C-384	SD66	3層	土陶器	环	(10.4)××(3.6)	口縁部コロナデ、体部へラケズリ	口縁部一底部コロナデ		101
2	C-383	SD66	3層	土陶器	环	(10.0)××(4.3)	口縁部コロナデ、底部へ底部ヘラケズリ	口縁部コロナデ、底部一底部十字		101
3	C-376	SD66	2層	土陶器	环	14.6×5.0×3.2	口縁部コロナデ、底部へラケズリ	口縁部一底部ヘラケズリ	内面黒色処理	100
4	C-379	SD66	2b層	土陶器	环	(11.6)××(3.4)	口縁部コロナデ、体部へラケズリ	口縁部一底部ヘラケズリ	内面黒色処理	100
5	C-375	SD66	2c層	土陶器	环	(13.0)××(4.0)	口縁部コロナデ、底部へラケズリ	口縁部一底部ヘラケズリ	内面黒色処理	100
6	C-377	SD66	2c層	土陶器	环	13.6××4.1	口縁部コロナデ体部一底部ヘラケズリ	口縁部一底部ヘラケズリ	内面黒色処理	100
7	C-378	SD66	2a層	土陶器	环	(14.8)××3.0×5.0	口縁部コロナデ、体部一底部へラケズリ	口縁部一底部ヘラケズリ	内面黒色処理	100
8	C-380	SD66	2b層	土陶器	环	17.2××(5.1)	口縁部コロナデ、体部一底部へラケズリ	口縁部一底部ヘラケズリ	内面黒色処理	100
9	C-381	SD66	2層	土陶器	环	16.1××5.7	口縁部コロナデ、体部一底部へラケズリ	口縁部一底部ヘラケズリ	内面黒色処理	100
10	C-381	SD66	2b層	土陶器	环	(18.5)××4.2	口縁部コロナデ、底部へラケズリ	口縁部一底部ヘラケズリ	内面黒色処理	100
11	C-385	SD66	3層	土陶器	高环	(16.4)××(3.5)	口縁部コロナデ、体部黒	口縁部コロナデ、底部へラケズリ	内面黒色処理	101
12	C-387	SD66	3層	土陶器	高环	(10.6)××(7.5)	脚部ヘラケズリ	脚部ヘラケズリ、脚部へラケズリ	环部内面黒色処理	101
13	C-386	SD66	2a層	土陶器	环	(13.0)××(9.2)	口縁部ヘラケズリ、脚部へラケズリ	口縁部ヘラケズリ、脚部へラケズリ	内面黒色処理	101
14	C-390	SD66	2c層	土陶器	盖	12.4×5.8×7.1	口縁部コロナデ、脚部へラケズリ	口縁部コロナデ、脚部へラケズリ	内面黒色処理	101



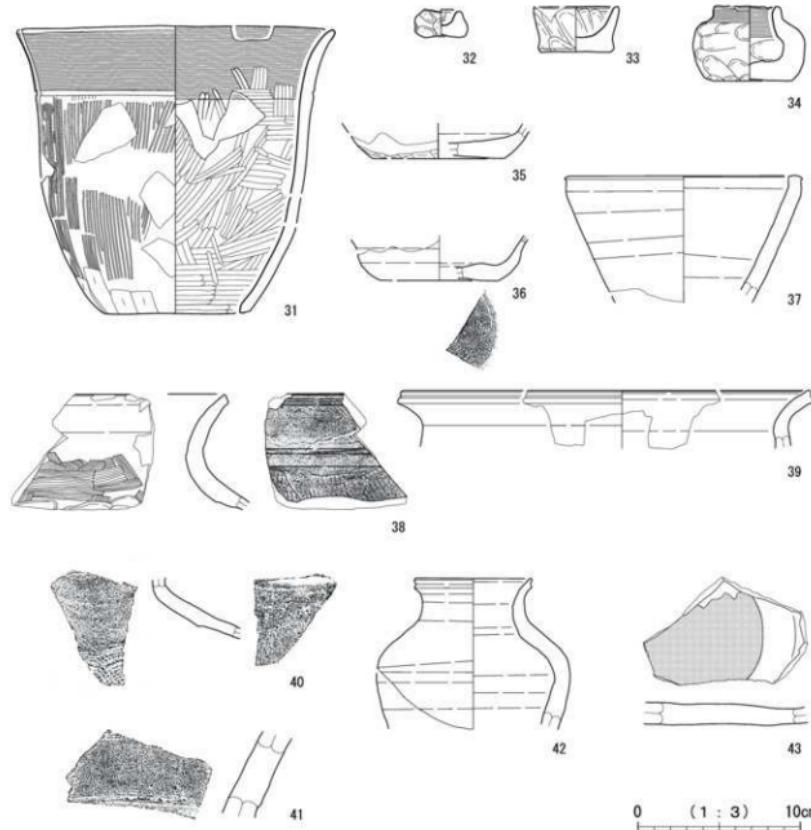
図版 番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真 図版
15	C395	SD66	2b層	土加器	壺	(16.0)××12.8	口縁部ヨコナギ、腹部ハナゲ	口縁部ヨコナギ、腹部ヘラナギ		102
16	C388	SD66	2b層	土加器	壺	(14.6)××(11.6)	口縁部ヨコナギ、腹部ヘラカズリ	口縁部ヨコナギ、腹部ヘナナギ		101
17	C391	SD66	2層	土加器	壺	(18.0)××(15.0)	口縁部ヨコナギ、腹部ヨコナギ→ヘナナギ、側面ハナゲ	口縁部→腹部ヨコナギ、腹部ヘナナギ		101
18	C394	SD66	2b層	土加器	壺	(14.0)××(15.0)	口縁部ヨコナギ、腹部ヘナナギ	口縁部ヨコナギ、腹部ヘナナギ		102
19	C393	SD66	2層	土加器	壺	×(7.6)×(24.0)	口縁部ヨコナギ、腹部ハケメ	口縁部ヨコナギ、腹部上半部ヘナナギ、腹部下半部ハケメ		101
20	C389	SD66	2c層	土加器	壺	18.6××(25.2)	口縁部ヨコナギ、腹部ヘナナギ→ヘラカズリ	口縁部ヨコナギ、腹部ヘナナギ		101

第243図 SD 66溝跡出土遺物(上層②)



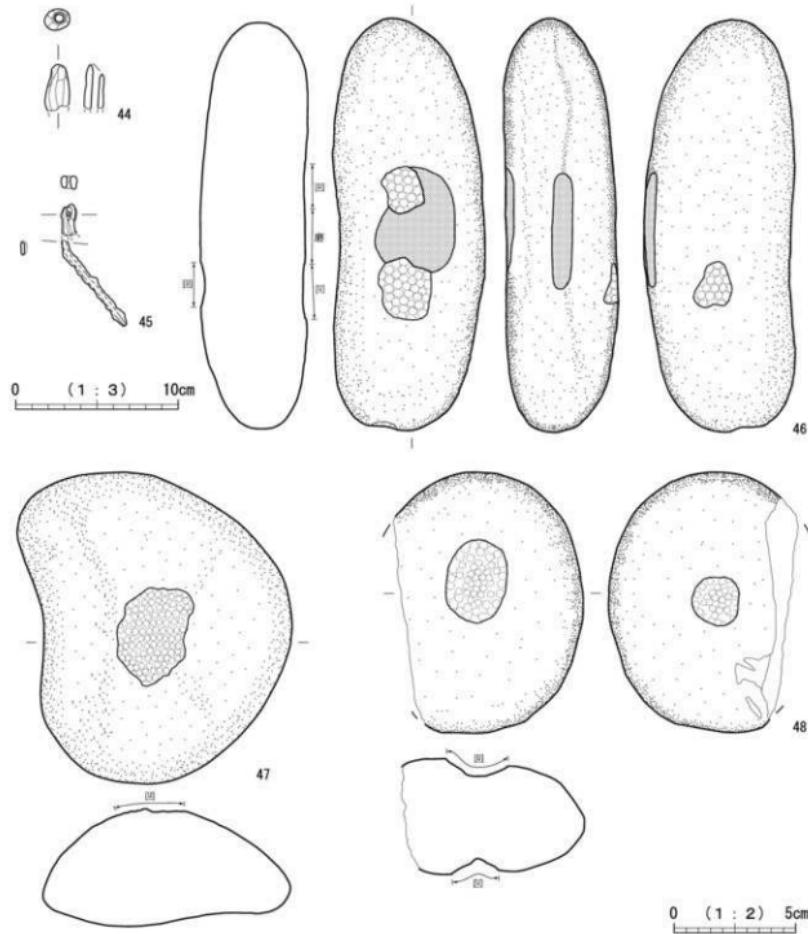
第244図 SD 66溝跡出土遺物(上層③)

回数 番号	登録番号	出土遺物	層位	種	形	寸法×既往×器高(cm)	外面 溝 突	内面 调整	備考	写真 図版
21	C-399	SD66	2b層	土器部	素	(21.6)×(8.4)×(2.5)	1横溝2コマズ、側面ハナメ、胴下部～底部ハラカズリ	1横溝2コマズ、側面～底部ハラカズリ		102
22	C-400	SD66	2b層	土器部	素	>5.8×3.1	側面～底部ハラカズリ→スビオサエ	底部ハナメ	木葉柄	103
23	C-401	SD66	2b層	土器部	素	>6.2×(3.0)	側面～底部ハラカズリ、コビオサエハラカズリ	底部ハナメ	木葉柄	103
24	C-402	SD66	2c層	土器部	素	>5.8×(2.7)	側面～底部ハラカズリ→コロナデ	底部ハナメ	木葉柄	103
25	C-397	SD66	2b層	土器部	素	>(8.0)×(2.0)	側面～底部ハラカズリ	底部ハナメ	底部多孔	102
26	C-396	SD66	2a層	土器部	素	>7.2×(2.8)	側面下端ハラカズリ、スビオサエ	底部ハナメ		102
27	C-398	SD66	2b層	土器部	素	>5.8×(2.7)	側面～底部ハラカズリ	底部ハラカズリ	木葉柄	103
28	C-399	SD66	2b層	土器部	素	>(6.8)×(2.9)	側面下端ハラカズリ→スビオサエ	底部ハラカズリ、ナメ		102
29	C-404	SD66	3層	土器部	素	>(7.8)×(2.0)	側面下端ハラカズリ	底部ハラカズリ	木葉柄	103
30	C-403	SD66	2c層	土器部	素	>7.1×(3.3)	側面～底部ハラカズリ～ハラカズリ	底部ハラカズリ	木葉柄	103



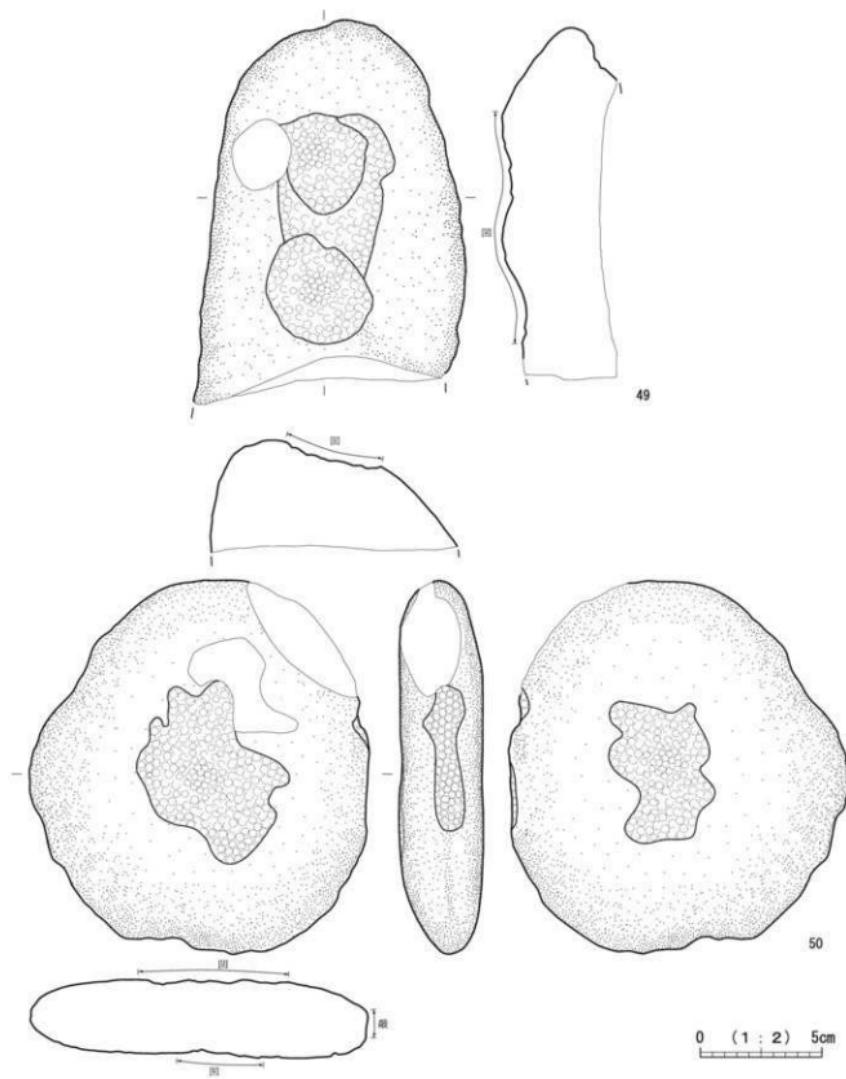
国版 番号	登録番号	出土遺構	切片	種別	器種	口径×底径×高さ(cm)	外面調査	内面調査	備考	写真 図版
31	C-005	SD66	2層	土器器	瓶	19.6×8.2×17.7	口縁部コナデ、 側面ハサメ、斜面下端ハラケズリ	口縁部コナデ、 側面ハサメハラニギキ、 孔周辺ヘラマギキ		103
32	C-008	SD66	3層	土器器	1ニチニア	2.2×2.2×1.8	ユビオサエ	ユビオサエ		103
33	C-007	SD66	2b層	土器器	1ニチニア	5.2×4.4×2.8	ナデ、底部ハナナデ	ナデ		103
34	C-006	SD66	2b層	土器器	1ニチニア	(3.8)×4.8×4.6	口縁部コナデ、体部ユビオサエ	口縁部コナデ、体部ナデ	丸窓に移板	103
35	E-091	SD66	1層	須恵器	环	×(8.2)×(2.2)	ロクロ調整、 底部周縁手取ちハラケズリ、 底足跡・舟切	ロクロ調整		103
36	E-090	SD66	2b層	須恵器	环	×(7.2)×(2.8)	ロクロ調整、底部ハラケズリ	ロクロ調整	側面打ち欠かし	103
37	E-092	SD66	2a層	須恵器	鉢	(11.6)×(7.8)	ロクロ調整	ロクロ調整	内面白熱輪	103
38	E-095	SD66	2b層	須恵器	鉢	(25.2)×(9.6)	ロクロ調整、口沿部丸窓1条	ロクロ調整		103
39	E-094	SD66	2a層	須恵器	鉢	×(7.1)	ロクロ調整、 底面平行印付1~2点ハナナデ	ロクロ調整、 底面ユビオサエハナナデ		103
40	E-096	SD66	2b層	須恵器	鉢	×(3.8)	ロクロ調整、底面平行印付	ロクロ調整、斜面齊海底文	内外面白熱輪	103
41	E-097	SD66	2b層	須恵器	鉢	×(5.0)	ロクロ調整、沈済、輪底底状文	ロクロ調整、ハナナデ		103
42	E-093	SD66	3層	須恵器	鉢	(7.2)×(9.3)	ロクロ調整	ロクロ調整	内外面白熱輪	103
43	E-098	SD66	1層	須恵器	鉢	×(1.4)	ハナナデ	ハナナデ	舟形底	103

第245図 SD66満跡出土遺物(上層④)



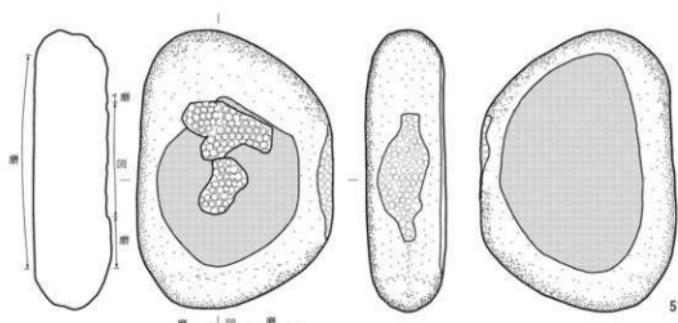
第246図 SD 66溝跡出土遺物(上層⑤)

圖版 番号	登録番号	出土遺物	層位	種 別	器 形	長さ×幅×厚さ(cm)	重量(g)	備 考	写真 図版
44	P-017	SD66	2a層	土製品	土鉢	(2.8)×幅1.5×孔径0.4	4.3g	子?	104
45	N-016	SD66	3層	瓦製品	不明 焼灰	残存長8.4cm,最大幅1.0cm,厚0.8cm			104
圖版 番号	登録番号	出土遺物	層位	種 別	器 形	分類	長さ×幅×厚さ(cm)	重量(g)	備 考
46	Kc-021	SD66	1層	陶石器	前+四+頭	16.8×6.1×4.4	730.40	安山岩 安形品,修復縫,前二面(凸),凹二面(複+單)深さ(微) 縫(邊)開所(程度)頭	104
47	Kc-022	SD66	2b層	陶石器	陶石	12.7×11.1×4.7	949.31	安山岩 安形品,修復縫,凹一面(單)深さ(微)	104
48	Kc-027	SD66	2b層	陶石器	陶石	10.7×(7.5)×4.7	314.21	凝灰岩 欠損品,円錐,凹二面(单+单)深さ(微)	104

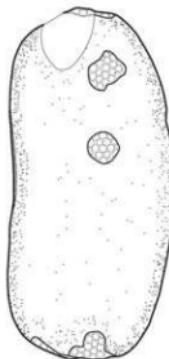
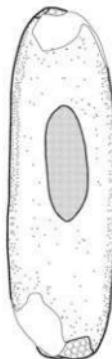
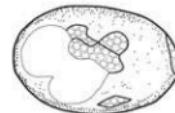


第247図 SD 66溝跡出土遺物(上層⑥)

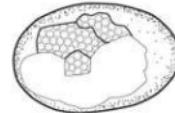
図版 番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	分類	其2×幅×厚さ(cm)	重量(g)	石材	備考	写真 図版
49	Kc-020	SD66	1層	縫石器	西石	-	(14.5×9.9)×4.2	647.80	麻灰岩	欠損品、椎円錐、凹一圓(複)(複合)(複)	103
50	Kc-021	SD66	2a層	縫石器	西石	-	15.3×13.9×3.3	621.44	麻灰岩	欠損品、椎円錐、凹二圓(单+複)(複合)(複)	103



51



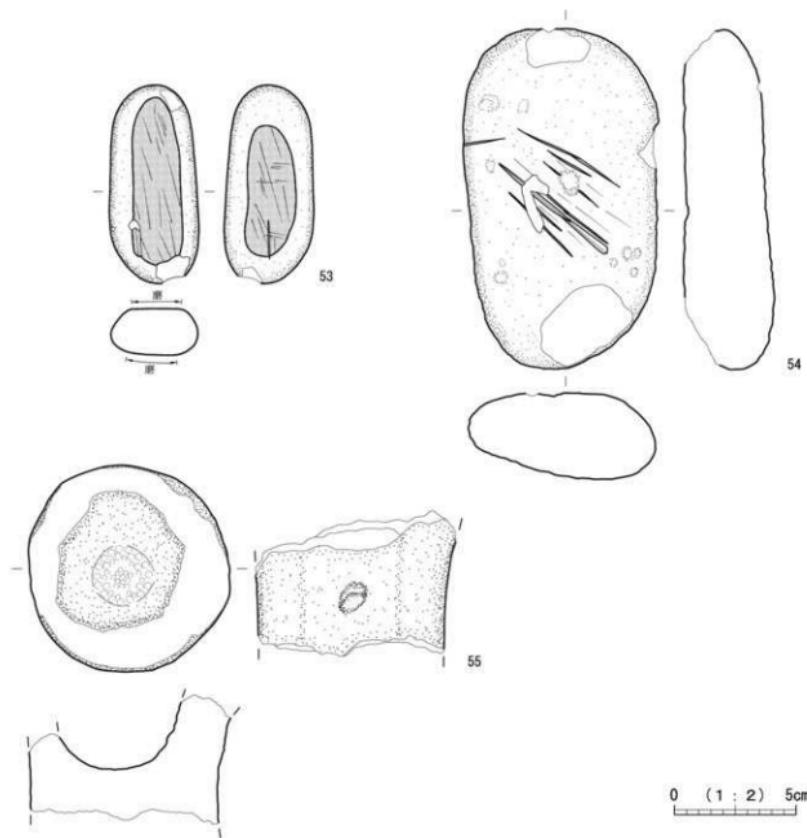
52



0 (1 : 2) 5cm

图版 号	登记号	出土遗物	部位	性 别	器 特	分期	长×宽×厚/高/深(cm)	重/量(g)	石 材	编 号	写名 图例
51	KC-028	SD66	25层	砾石层	磨+凹+圆	-	11.4×8.0×3.2	201.19	凝灰岩	定形品、抛光磨、磨一面(平)、圆一面(圆)深3(微)。 磨(磨1磨所)程度(微)	104
52	KC-049	SD66	25层	砾石层	磨+凹+圆	-	14.4×6.8×4.4	718.35	安山岩	定形品、抛光磨、磨一面(凸)、圆一面(圆)深3(微)。 磨(磨2磨所)程度(微)	104

第248図 SD 66溝跡出土遺物(上層⑦)



図版 番号	登録番号	出土遺物	層位	種別	器種	分類	長×幅×厚さ(cm)	重量(g)	石材	備考	写真 回数
53	Kd011	SD66	3層	石製品	砾石	-	8.1×3.7×1.9	35.51	凝灰岩	定形品、自然縫、板状、無孔、自然面あり	104
54	Kd013	SD66	3層	石製品	砾石	-	13.9×8.0×3.9	359.61	凝灰岩	定形品、自然縫、板状、無孔、溝状痕あり、自然面あり	104
55	Kd017	SD66	2層	石製品	不明石製品	-	8.5×8.2×5.2	359.00	珪化サンド	欠損品、凹面、深さ1/2	104

第249図 SD 66溝跡出土遺物(上層⑧)

[SD66 4層出土遺物]

土師器壺54点(第250図-1～第253図-54)、塊8点(第253図-55～62)、高环6点(第254図-63～68)、鉢1点(第254図-69)、甕39点(第254図-70～第259図-108、台付甕1点を含む)、甑5点(第259図-109～第260図-113)、ミニチュア1点(同図-114)、異形土師器1点(同図-115)、須恵器蓋6点(同図-116～121)、坏4点(第261図-122～125)、塊1点(同図-126)、高台付坏2点(同図-127・128)、鉢1点(同図-129)、甕3点(同図-130～132)、瓶2点(同図-133・134)、器種不明1点(同図-135)、土玉1点(同図-136)、壁材1点(同図-137)、土鍾3点(第262図-138～140)、鉄鍊1点(同図-141)、刀子2点(同図-142・143)、鎌1点(同図-144)、鉤状鉄製品1点(同図-145)、用途不明鉄製品1点(同図-146)、砾石器6点(第262図-147～第264図-152)、砥石1点(第264図-153)の計155点を掲載した。

第250図には、いわゆる関東系の特徴を有する土師器壺を掲載した。いずれも内面は黒色処理されず、口縁部は直立もくしは内傾する。1の器形は底部が平底に近く体部上位から直立したまま口縁部へと至り、口縁部の断面形状はS字状を呈し、内面に段を持つ。2～11の器形は底部が丸底で体部は丸みを帯びて立ち上がり、口縁部との境界に稜を持つ。口縁部は体部より僅かに内側に入り込んで直立し、断面形状はS字状を呈する。5は口縁部内面に段を持つ。12～18の器形は平底と丸底があり、口縁部と体部の境界に稜を持つ。口縁部は直立ないしは僅かに内傾し、直線的な断面形状を呈する。16のみ内面にヘラミガキが施される。

第251図に掲載したのは、いわゆる在地系の特徴を有するもののうち、器形が底部は丸底ないし平底状の丸底で体部と口縁部の境界に明瞭な段を持ち、口縁部が外側に開く土師器壺である。口縁部の断面形状は、内湾するもの(19～22)、直線的なもの(23～28)、外反するもの(29)に三大別される。28を除き内面が黒色処理されるが、28の内面約1/2には黒色化が認められる。内面調整は、すべてヘラミガキが施される。31の外面底部には「×」の刻書が観察される。

第252図-34～第253図-54は、いわゆる在地系の特徴を有するもののうち、口縁部と体部の境界に段を持たない土師器壺である。底部は丸底で、口縁部と体部の境界に明瞭な稜を持つもの(34～39・41・45・46・48・50)、稜が不明瞭、或いは丸みを帯びるもの(40・42～44・47・49・51～54)に大きく分かれる。口縁部は第251図と同様に外側に開くもの他に、直立するもの(38・46・47・54)が含まれる。調整は、口縁部にはヨコナデが施され、外面体部～底部にはヘラケズリが施される。内面にはヘラミガキが施されるものとヘラナデが施されるものがある。また、内面の黒色処理についても、施されるものとされないものがある。54は器形がいわゆる関東系、調整がいわゆる在地系の特徴を有する。

土師器塊(第253図-55～62)の器形もまた、底部は丸底(58・59)ないし平底状(61)を呈し、前者は砲弾状となる。口縁部と体部の境界に明瞭な段を持つもの(55～57)、丸みを帯びるもの(58～60)、稜を持つもの(61・62)があり、口縁部の断面形状は、直立するもの(55・58・61)、直線的に外傾するもの(56・59)、外反するもの(57)、内傾するもの(60・62)がある。口縁部が開く56・57は、鉢の可能性がある。外面調整は、口縁部にヨコナデ、体部にヘラナデが施されるもの(55～57)、全面にヘラミガキが施されるもの(58・59)、口縁部にヨコナデ、体部にヘラケズリが施されるもの(60～62)に分かれる。内面調整は全面にヘラミガキが施された後、黒色処理されるもの(56～59・61)と口縁部にヨコナデ、体部にヘラナデが施されるもの(55・60・62)に分かれる。55は口縁部に沈線を有し、口縁部断面形状がS字状を呈する。56は器高に対して口縁部の割合が長い。62は須恵器模倣の可能性がある。

土師器高环(第254図-63～68)のうち、63・64は括れをもつ口縁部形状を呈する。脚部はいずれも縦位のヘラケズリが施される。68の脚部は3窓の透かしを有し、ヘラケズリにて面取りされる。

第254図-69に掲載した土師器鉢の外面はユビオサエにて調整される。口径が小さく、大型に属するミニチュアの可能性がある。

土師器甕(第254図-70～第259図-108)は90・91を除き頭部が括れ、78・85・89・91～94には段を持つ。球胴の

甕(95・96)については頸部の括れが直角ないし鋭角となる。全体形を知り得る個体では、口縁部に最大径を持つもの(77・87～91・94)、胴部上位に膨らみを持つもの(75・80・83・86・92)、胴部中位に膨らみを持つもの(93・95～97)、胴部下位に膨らみを持つもの(106)が認められ、77・87・90・92・94は寸刷気味である。口縁部の断面形状は、直線的に開くもの(74・76・81・84・87・88・90)、外反するもの(73・75・77～80・82・83・85・86・89・91～97)に分かれる。調整は、外面胴部上半に縫位のハケメもしくはヘラナデ、胴部下半に横位のヘラケズリが施されるものが多い。外底面周縁のみに粘土を貼り付け中央に木葉痕を残すものは4層からも出土しており、出土点数は14点(最低12個体)と最も多い。その中で4個体を掲載した(100・102～104、100の底面は図示なし)。108は短い台が付く甕である。

土師器瓶は5点掲載した(第259図-109～第260図-113)。111は頸部に緩い括れと段を持つ。112は底部上位に径7mmの孔が穿たれる。第260図-115は異形土師器とした。底部は平底状の丸底を呈し木葉痕が観察される。胴部は頸部へと僅かに窄まり、口縁部へと大きく開く器形を呈する。内外面ともユビオサエが施され、胴部中位には径9mmの孔が穿たれる。

須恵器蓋6点(第260図-116～121)のうち、116～118はいずれも天井部にツマミ、内面口縁部にカエリを持つ。118はつまみ部を欠き、天井部から外反する口縁部へといたる。

須恵器坏は4点掲載した(第261図-122～125)。122・124・125は口縁部と体部の境界に段を持つ。124・125は盤の可能性がある。

須恵器壺(第261図-126)は大きめの口径を呈し、体部から内湾して口縁部へと至る。底部切り離し技法は回転ヘラケズリである。須恵器高坏(第261図-127)は体部の上位と下位に沈継が各1条施される。

須恵器鉢は1点掲載した(第261図-129)。体部にやや間隔を空けて平行する沈線2条が施される。

須恵器甕(第261図-131・132)はいずれも口縁部が受け口状を呈し、132には額が付く。

須恵器瓶は2点掲載した(第261図-133・134)。133は内面に自然軸が付着する口縁部破片、134は底部破片である。

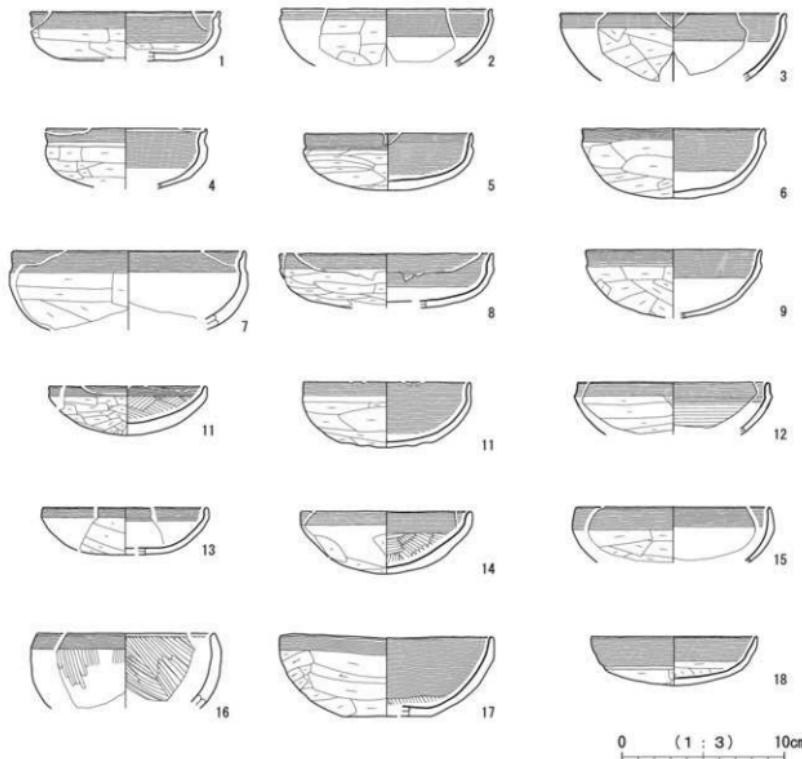
器種不明の須恵器とした第261図-135は、器厚が12mm程度で、脚部とも頸部ともし難い。内面には輪積み痕が明瞭に観察される。

土製品は5点掲載した(第261図-136～第262図-140)。136は径2mmの孔を有する土玉、137は木質痕が観察される壁材である。138～140は土鍤である。

金属製品は6点掲載した(第262図-141～146)。145はY字状を呈する鉤状鉄製品だが、用途は不明である。146は残存する笠状部に径2mmの孔が2箇所穿たれる。用途は不明といわざるを得ないが、建築部材の一種の可能性がある。

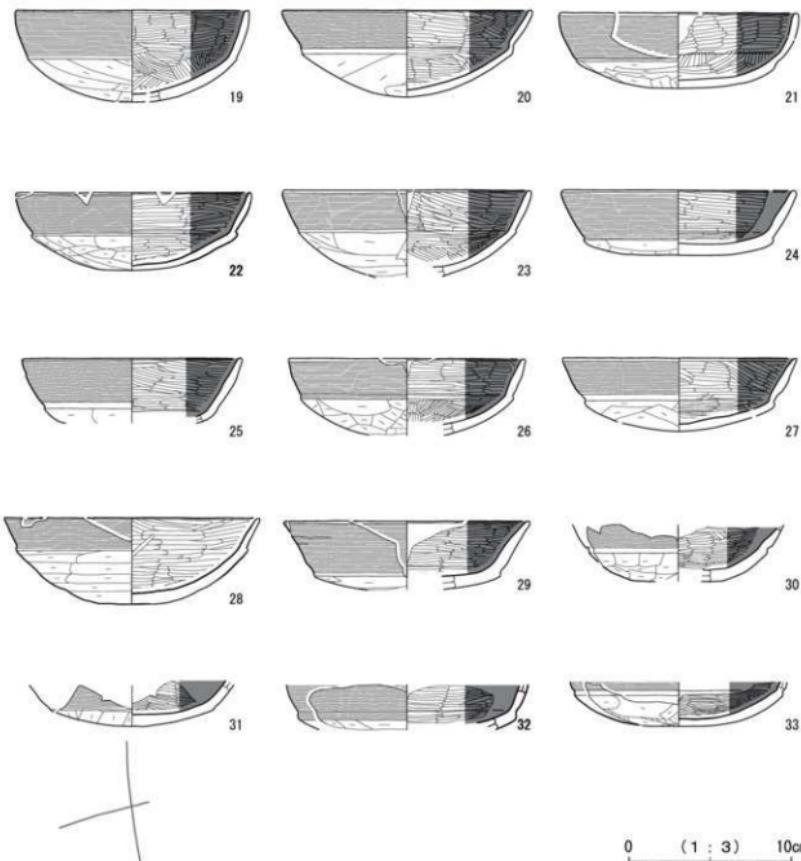
礫石器は6点掲載した(第262図-147～第264図-152)。石材は150が花崗岩、それ以外は凝灰岩である。

石製品は砾石1点を掲載した(第264図-153)。石材は砂岩で、溝状痕が観察される。



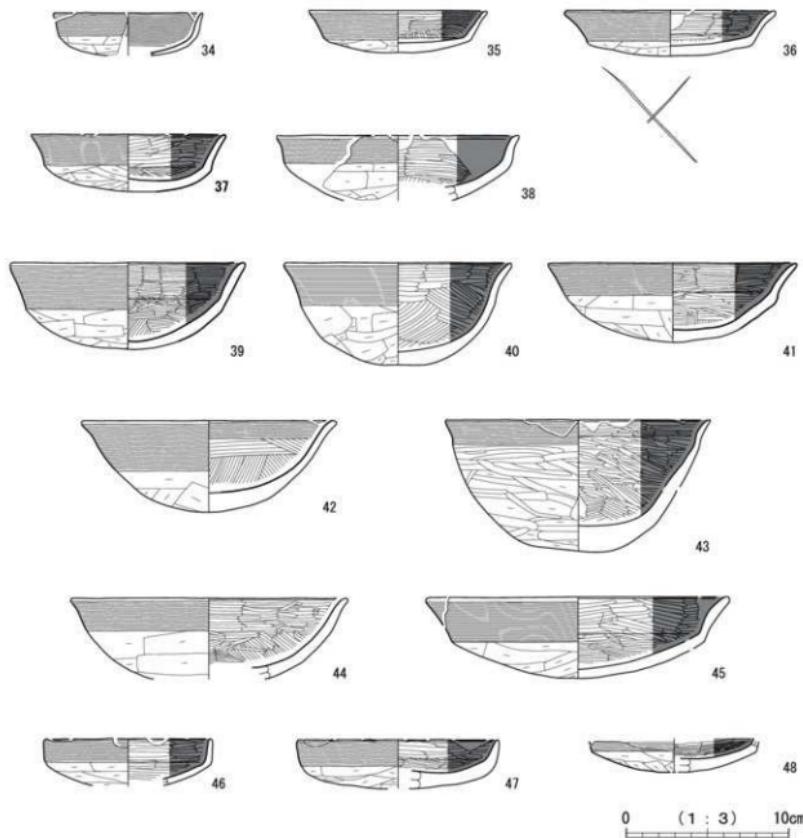
図版 番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×高さ(cm)	外面調整	内面調整	参考	写真 図版
1	C-441	SD66	4b層	土加器	环	(11.6)×(6.5)×(3.0)	口縁部ヨコナデ、体部へ底部ヘラケズリ	口縁部ヨコナデ、 底部ヘラケズリ	106	
2	C-462	SD66	4層	土加器	环	(12.8)×(5.5)×(3.5)	口縁部ヨコナデ、体部ヘラケズリ	口縁部ヨコナデ	106	
3	C-463	SD66	4b層	土加器	环	(12.8)×(4.2)×(3.0)	口縁部ヨコナデ、体部ヘラケズリ	口縁部ヨコナデ	106	
4	C-455	SD66	4層	土加器	环	(9.8)×(3.6)×(3.6)	口縁部ヨコナデ、体部ヘラケズリ	口縁部ヨコナデ	106	
5	C-447	SD66	4a層	土加器	环	(10.2)×(4.0)×(3.0)	口縁部ヨコナデ、体部へ底部ヘラケズリ	口縁部ヨコナデ	106	
6	C-444	SD66	4c層	土加器	环	(11.2)×(4.3)×(3.0)	口縁部ヨコナデ、体部へ底部ヘラケズリ	口縁部ヨコナデ	106	
7	C-456	SD66	4a層	土加器	环	(14.2)×(4.9)×(3.0)	口縁部ヨコナデ、体部ヘラケズリ	口縁部ヨコナデ	106	
8	C-448	SD66	4層	土加器	环	(13.0)×(5.3)×(3.1)	口縁部ヨコナデ、体部ヘラケズリ	口縁部ヨコナデ	106	
9	C-445	SD66	4b層	土加器	环	(10.8)×(4.2)×(3.0)	口縁部ヨコナデ、体部へ底部ヘラケズリ	口縁部ヨコナデ	106	
10	C-460	SD66	4b層	土加器	环	(9.5)×(3.0)×(3.0)	口縁部ヨコナデ、体部へ底部ヘラケズリ	口縁部ヨコナデ、 底部ヘラケズリ	106	
11	C-442	SD66	4a層	土加器	环	(10.2)×(4.0)×(3.0)	口縁部ヨコナデ、体部へ底部ヘラケズリ	口縁部ヨコナデ	106	
12	C-466	SD66	4b層	土加器	环	(11.6)×(3.2)×(3.2)	口縁部ヨコナデ、体部ヘラケズリ	口縁部ヨコナデ、体部ナダ	106	
13	C-458	SD66	4層	土加器	环	(10.0)×(3.9)×(2.9)	口縁部ヨコナデ、体部ヘラケズリ	口縁部ヨコナデ、体部厚減	106	
14	C-449	SD66	4a層	土加器	环	(10.4)×(3.8)×(3.0)	口縁部ヨコナデ、体部へ底部ヘラケズリ	口縁部ヨコナデ、 底部ヘラケズリ	106	
15	C-462	SD66	4b層	土加器	环	(11.8)×(3.4)×(3.0)	口縁部ヨコナデ、体部ヘラケズリ	口縁部ヨコナデ、体部厚減	106	
16	C-457	SD66	4a層	土加器	环	(10.8)×(4.6)×(3.0)	口縁部ヨコナデ、体部ヘラケズリ	口縁部ヘラケズリ	106	
17	C-452	SD66	2b4層	土加器	环	13.0×(5.5)×5.1	口縁部ヨコナデ、体部へ底部ヘラケズリ	口縁部ヨコナデ、 底部ヘラケズリ	106	
18	C-448	SD66	4層	土加器	环	(10.2)×(3.0)×(3.0)	口縁部ヨコナデ、底部ヘラケズリ	口縁部ヨコナデ、 底部ヘラケズリ	106	

第250図 SD66溝跡出土遺物(4層①)



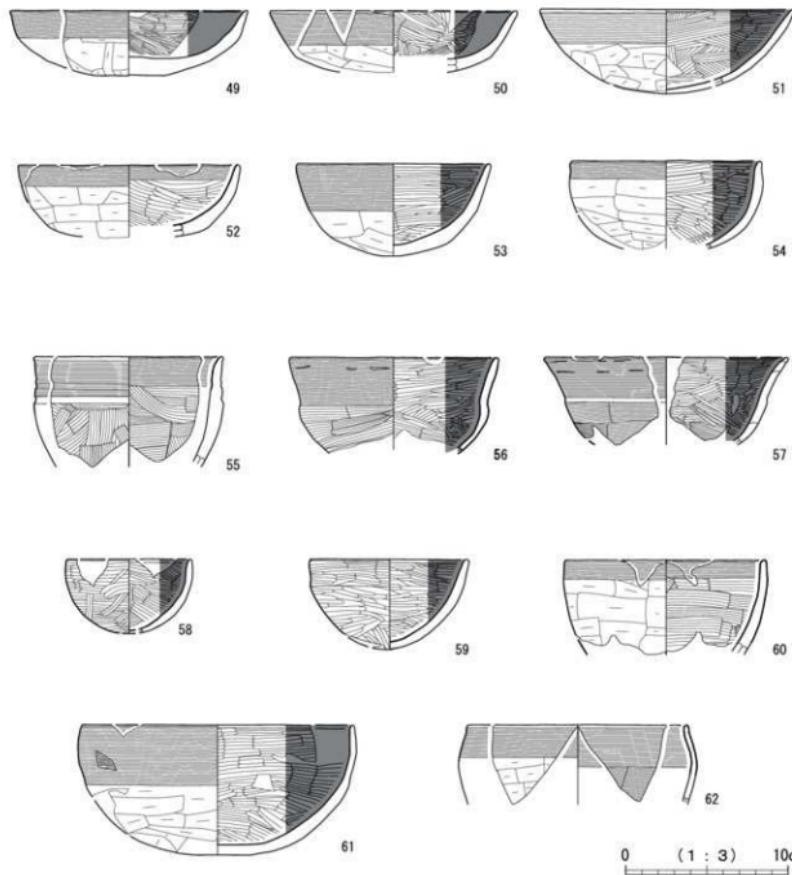
国版 番号	登録番号	出土遺構	層位	種類	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	直角	
19	C-419	SD66	4c層	土器	环	(14.2) × ×(5.7)	口縁部ヨコナギ、底部～底部ヘラモガキ	内面黒色処理	105		
20	C-422	SD66	4a層	土器	环	(15.3) × ×(5.4)	口縁部ヨコナギ、底部～底部ヘラモガキ	内面黒色処理	105		
21	C-427	SD66	4a層	土器	环	(14.5) × ×4.7	口縁部ヨコナギ、底部～底部ヘラモガキ	内面黒色処理	105		
22	C-411	SD66	4b層	土器	环	14.4 × 4.8	口縁部ヨコナギ、底部～底部ヘラモガキ	内面黒色処理	104		
23	C-433	SD66	4層	土器	环	(15.2) × ×(5.3)	口縁部ヨコナギ、底部～底部ヘラモガキ	内面黒色処理	105		
24	C-443	SD66	4a層	土器	环	(14.2) × × 4.0	口縁部ヨコナギ、底部ヘラモガキ	底部～底部ヘラモガキ	内面黒色処理	105	
25	C-428	SD66	4層	土器	环	13.4 × ×(4.0)	口縁部ヨコナギ、底部ヘラモガキ	内面黒色処理	105		
26	C-429	SD66	4a層	土器	环	(14.4) × ×(4.8)	口縁部ヨコナギ、底部ヘラモガキ	内面黒色処理	105		
27	C-430	SD66	2b～4層	土器	环	(14.4) × ×(4.5)	口縁部ヨコナギ、底部ヘラモガキ	内面黒色処理	105		
28	C-416	SD66	4a層	土器	环	15.6 × 3.8 × 5.3	口縁部ヨコナギ、底部～底部ヘラモガキ	内面黒色処理	104		
29	C-436	SD66	4層	土器	环	(15.0) × ×(4.2)	口縁部ヨコナギ、底部ヘラモガキ	内面黒色処理	105		
30	C-423	SD66	4a層	土器	环	× ×(3.5)	口縁部ヨコナギ、底部ヘラモガキ	底部～底部ヘラモガキ	内面黒色処理	105	
31	C-439	SD66	4c層	土器	环	× ×(2.8)	口縁部ヨコナギ、底部ヘラモガキ	底部～底部ヘラモガキ	底部××(2.8)	内面黒色処理	105
32	C-453	SD66	4b層	土器	环	× ×(2.8)	口縁部ヨコナギ、底部ヘラモガキ	底部ヘラモガキ	内面黒色処理	106	
33	C-468	SD66	4a層	土器	环	× ×(2.7)	口縁部ヨコナギ、底部ヘラモガキ	底部～底部ヘラモガキ	内面黒色処理	106	

第251図 SD66溝跡出土遺物(4層②)



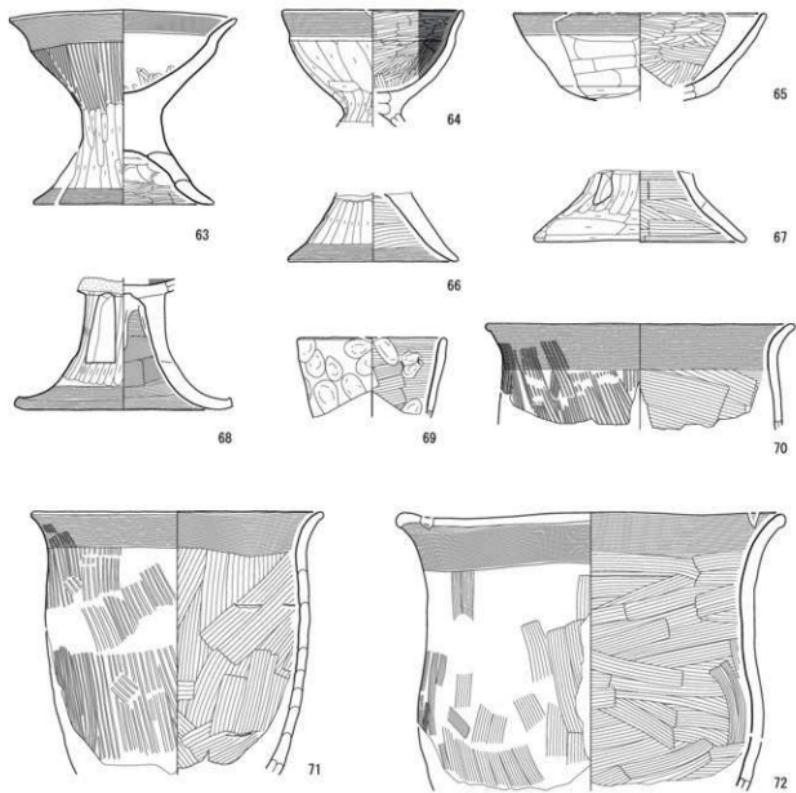
回収番号	登録番号	出土遺物	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真回数
34	C459	SD66	4層	土師器	环	(9.2) × ×(3.6)	口縁部ヨコナギ、体部～底部ヘラケズリ	口縁部～体部ヨコナギ	内面黒色処理	106
35	C436	SD66	4b層	土師器	环	(10.8) × ×(2.6)	口縁部ヨコナギ、底部ヘラケズリ	口縁部～底部ヘラケズリ	内面黒色処理	106
36	C430	SD66	4層	土師器	环	(12.8) × ×2.8	口縁部ヨコナギ、底部ヘラケズリ	口縁部～底部ヘラケズリ	底部「×」削り、内面黒色処理	106
37	C409	SD66	4層	土師器	环	11.9 × 3.5	口縁部ヨコナギ、底部ヘラケズリ	口縁部～底部ヘラケズリ	内面黒色処理	104
38	C434	SD66	4層	土師器	环	(14.6) × ×(4.1)	口縁部ヨコナギ、体部ヘラケズリ	各部～底部ヘラケズリ	内面黒色処理	106
39	C415	SD66	4層	土師器	环	14.4 × 4.0 × 5.3	口縁部ヨコナギ、体部～底部ヘラケズリ	口縁部～底部ヘラケズリ	内面黒色処理	104
40	C424	SD66	4b層	土師器	环	13.9 × 8.3	口縁部ヨコナギ、体部～底部ヘラケズリ	口縁部～底部ヘラケズリ	内面黒色処理	106
41	C414	SD66	4層	土師器	环	15.2 × ×4.9	口縁部ヨコナギ、体部～底部ヘラケズリ	口縁部～底部ヘラケズリ	内面黒色処理	104
42	C416	SD66	4層	土師器	环	(14.6) × ×(5.1)	口縁部ヨコナギ、体部～底部ヘラケズリ	口縁部ヨコナギ、各部～底部ヘラケズリ	内面黒色処理	104
43	C426	SD66	4層	土師器	环	(16.3) × ×(5.2)	口縁部ヨコナギ、体部～底部ヘラケズリ	口縁部～底部ヘラケズリ	内面黒色処理	106
44	C421	SD66	4b層	土師器	环	(17.0) × ×5.0	口縁部ヨコナギ、体部ヘラケズリ	口縁部～体部ヘラケズリ	内面黒色処理	106
45	C425	SD66	4b層	土師器	环	(18.6) × ×5.0	口縁部ヨコナギ、体部～底部ヘラケズリ	口縁部～底部ヘラケズリ	内面黒色処理	106
46	C435	SD66	4b層	土師器	环	(19.2) × ×(2.9)	口縁部ヨコナギ、体部～底部ヘラケズリ	口縁部～底部ヘラケズリ	内面黒色処理	106
47	C427	SD66	4層	土師器	环	(12.4) × ×(3.0)	口縁部ヨコナギ、体部～底部ヘラケズリ	口縁部～底部ヘラケズリ	内面黒色処理	106
48	C467	SD66	4層	土師器	环	× ×(2.1)	口縁部ヨコナギ、底部ヘラケズリ	各部～底部ヘラケズリ	内面黒色処理	106

第252図 SD66溝跡出土遺物(4層③)



図版 番号	登録番号	出土遺構	断面	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真 回数
49	C-431	SD66	4a層	土陶器	环	(14.6) × (4.6) × 4.0	[1]縁部ヨコナギ、体部～底部ヘラケアリ	[1]縁部～底部ヘラミガキ	内面黒色処理	105
50	C-440	SD66	4b層	土陶器	环	(14.1) × (3.8)	[1]縁部ヨコナギ、体部～底部ヘラケアリ	[1]縁部～底部ヘラミガキ	内面黒色処理	105
51	C-418	SD66	4a層	土陶器	环	15.6 × 5.2	[1]縁部ヨコナギ、体部～底部ヘラケアリ	[1]縁部～底部ヘラミガキ	内面黒色処理	105
52	C-450	SD66	4a層	土陶器	环	(13.5) × (4.4)	[1]縁部ヨコナギ、体部～底部ヘラケアリ	体盤～底盤ヘラミガキ		106
53	C-410	SD66	4層	土陶器	环	11.8 × 5.7	[1]縁部ヨコナギ、体部～底部ヘラケアリ	[1]縁部～底部ヘラミガキ	内面黒色処理	104
54	C-438	SD66	4層	土陶器	环	(16.1) × (5.4)	[1]縁部ヨコナギ、体部～底部ヘラケアリ	[1]縁部～底盤ヘラミガキ	内面黒色処理	105
55	C-472	SD66	4c層	土陶器	環	(11.4) × (6.8)	[1]縁部ヨコナギ～底盤、体部ヘラナナ	[1]縁部ヨコナギ、体部ヘラナナ		106
56	C-454	SD66	4b層	土陶器	環	(12.8) × (5.9)	[1]縁部ヨコナギ、体部ヘラナナ	[1]縁部～体部ヘラミガキ	内面黒色処理	106
57	C-464	SD66	4b層	土陶器	環	(14.8) × (5.4)	[1]縁部ヨコナギ、体部ヘラナナ	[1]縁部～体部ヘラミガキ	内面黒色処理	106
58	C-469	SD66	4層	土陶器	環	(7.6) × (3.6)	[1]縁部～底部ヘラミガキ	[1]縁部～底部ヘラミガキ	内面黒色処理	106
59	C-470	SD66	4a層	土陶器	環	(9.7) × (3.6)	[1]縁部ヨコナギ	[1]縁部～底部ヘラミガキ	内面黒色処理	106
60	C-471	SD66	4層	土陶器	環	(12.2) × (5.8)	[1]縁部ヨコナギ、体部ヘラケアリ	[1]縁部ヨコナギ、体部ヘラナナ		106
61	C-417	SD66	4a層	土陶器	環	16.7 × 3.8 × 8.0	[1]縁部ヨコナギ、体部～底部ヘラケアリ	[1]縁部～底部ヘラミガキ	内面黒色処理	105
62	C-465	SD66	4b層	土陶器	環	(13.4) × (4.9)	[1]縁部ヨコナギ、体部ヘラケアリ	[1]縁部ヨコナギ、体部ヘラナナ		106

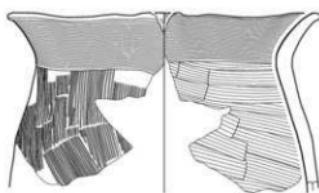
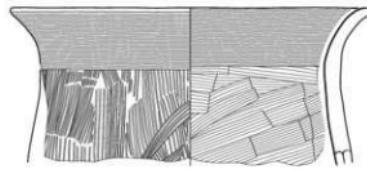
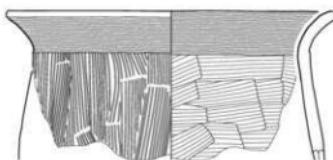
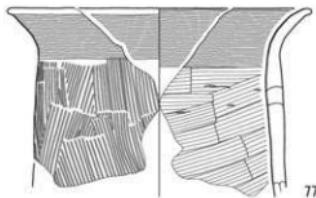
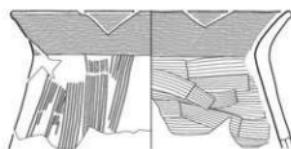
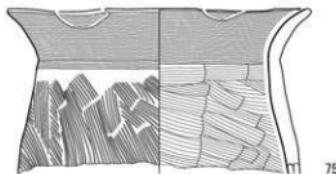
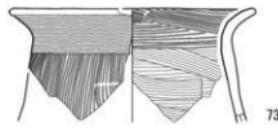
第253図 SD66溝跡出土遺物(4層④)



0 (1 : 3) 10cm

図版 番号	登録番号	出土遺構	層位	性 別	器 形	口径×底径×高さ(cm)	外面調整	内面調整	備 考	写真 図版
63	C-474	SD66	4層	土加器	高环	(14.0) × (11.0) × 12.0	环部口縁部ヨコナデ、体部ハラギキ、脚柱部ヘラケツリ、脚部ヨコナデ	环部口縁部ヨコナデ、 底部ヘラギキ、 脚部ヨコナデ、脚部ヘラギキ		106
64	C-475	SD66	4a層	土加器	高环	(11.0) × (7.2)	口縁部ヨコナデ、体部～脚柱部ヘラケツリ	口縁部ヨコナデ～脚部ヘラギキ、 脚部ヨコナデ	环部内面黒色処理	106
65	C-476	SD66	4b層	土加器	高环	(15.0) × (5.0)	环部口縁部ヨコナデ、体部ヘラギキ、 底部ヘラケツリ	口縁部ヨコナデ		106
66	C-477	SD66	4層	土加器	高环	×10.3(4.2)	脚部ヘラギキ、脚部ヨコナデ	脚部ヘラギキ		106
67	C-478	SD66	4c層	土加器	高环	×12.8(4.4)	脚部ヨコナデ	脚部ヨコナデ		106
68	C-473	SD66	4層	土加器	高环	×12.0(8.1)	脚柱部ヘラケツリ→透かしヨコ、 脚部ヨコナデ	环部ヨコナデ～脚部ヘラケツリ、 脚部ヨコナデ～ヘラケツリ	环部内面黒色処理	106
69	C-480	SD66	4c層	土加器	脚	(8.8) × × 5.0	口縁部～体部ヨコサエ	口縁部ヨコサエ		107
70	C-490	SD66	4a層	土加器	脚	(18.8) × × (6.5)	口縁部ハラメ→ヨコサエ、脚部ハラメ	口縁部ヨコナデ、脚部ヘラナデ		108
71	C-488	SD66	4c層	土加器	脚	(17.6) × × (16.2)	口縁部ヨコサエ、脚部ヘラケツリ	口縁部ヨコナデ、脚部ヘラナデ		106
72	C-493	SD66	4a層	土加器	脚	(23.4) × × (17.1)	口縁部ヨコナデ、脚部ヘラナデ	口縁部ヨコナデ、脚部ヘラナデ		108

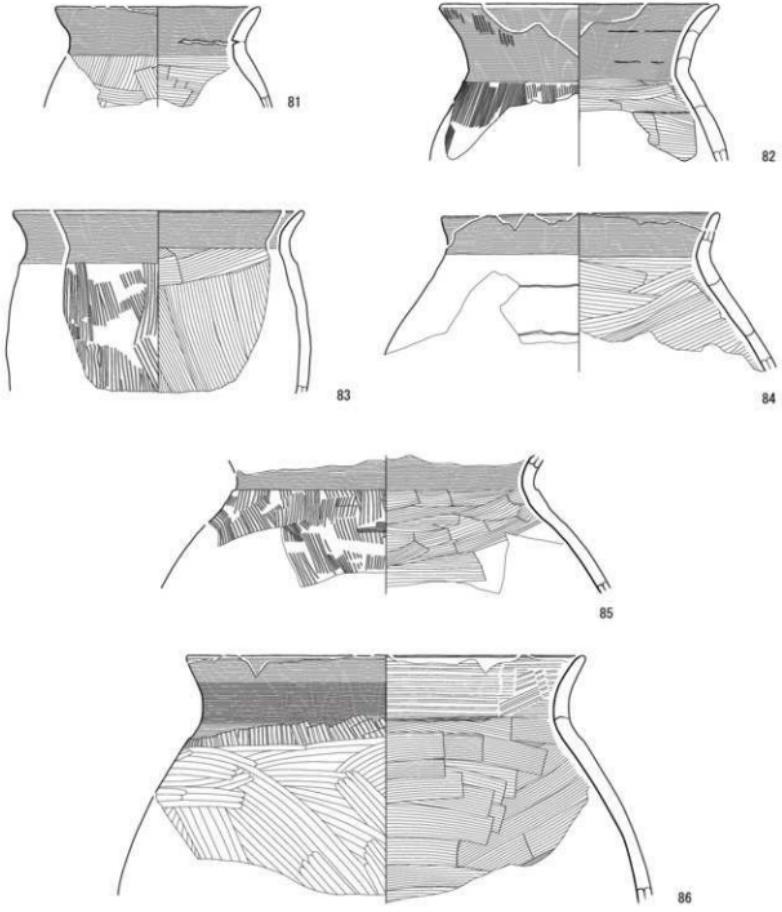
第254図 SD66溝跡出土遺物(4層⑤)



0 (1 : 3) 10cm

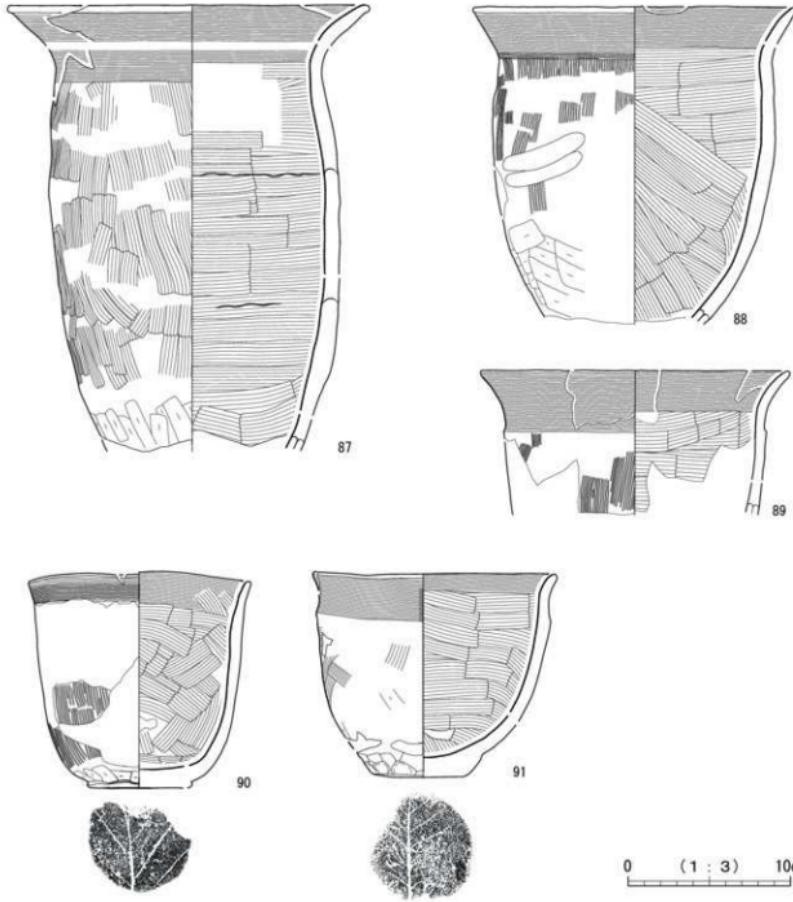
図版 番号	存続層号	出土遺物	層位	種別	形 状	器 種	口径×底径×器高(cm)	外 面 調 査	内 面 調 査	考 考	写真 番号
73	C-499	SD66	4c層	土器器	束	(14.8)×(7.0)	[口縁部ヨコナギ、側面ハラメ]	[縫隙部ヨコナギ、側面ハラメ]	[縫隙部ヨコナギ、側面ハラメ]	[縫隙部ヨコナギ、側面ハラメ]	108
74	C-498	SD66	4c層	土器器	束	(19.2)×(7.9)	[口縁部ヨコナギ、側面ハラメ]	[縫隙部ヨコナギ、側面ハラメ]	[縫隙部ヨコナギ、側面ハラメ]	[縫隙部ヨコナギ、側面ハラメ]	108
75	C-487	SD66	4b層	土器器	束	(18.3)×(10.2)	[口縁部ヨコナギ、側面ハラメ]	[縫隙部ヨコナギ、側面ハラメ]	[縫隙部ヨコナギ、側面ハラメ]	[縫隙部ヨコナギ、側面ハラメ]	107
76	C-495	SD66	4b層	土器器	束	(17.2)×(8.5)	[口縁部ハラメヨコナギ、側面ハラメ]	[縫隙部ヨコナギ、側面ハラメ]	[縫隙部ヨコナギ、側面ハラメ]	[縫隙部ヨコナギ、側面ハラメ]	108
77	C-500	SD66	4層	土器器	束	(18.6)×(11.6)	[口縁部ヨコナギ、側面ハラメ]	[縫隙部ヨコナギ、側面ハラメ]	[縫隙部ヨコナギ、側面ハラメ]	[縫隙部ヨコナギ、側面ハラメ]	108
78	C-504	SD66	4a層	土器器	束	20.0×(9.2)	[口縁部ヨコナギ、側面ハラメ]	[縫隙部ヨコナギ、側面ハラメ]	[縫隙部ヨコナギ、側面ハラメ]	[縫隙部ヨコナギ、側面ハラメ]	109
79	C-501	SD66	4a層	土器器	束	(22.0)×(9.7)	[口縁部ヨコナギ、側面ハラメ]	[縫隙部ヨコナギ、側面ハラメ]	[縫隙部ヨコナギ、側面ハラメ]	[縫隙部ヨコナギ、側面ハラメ]	109
80	C-505	SD66	4a層	土器器	束	(18.8)×(11.3)	[口縁部ヨコナギ、側面ハラメ]	[縫隙部ヨコナギ、側面ハラメ]	[縫隙部ヨコナギ、側面ハラメ]	[縫隙部ヨコナギ、側面ハラメ]	109

第255図 SD66溝跡出土遺物(4層⑥)



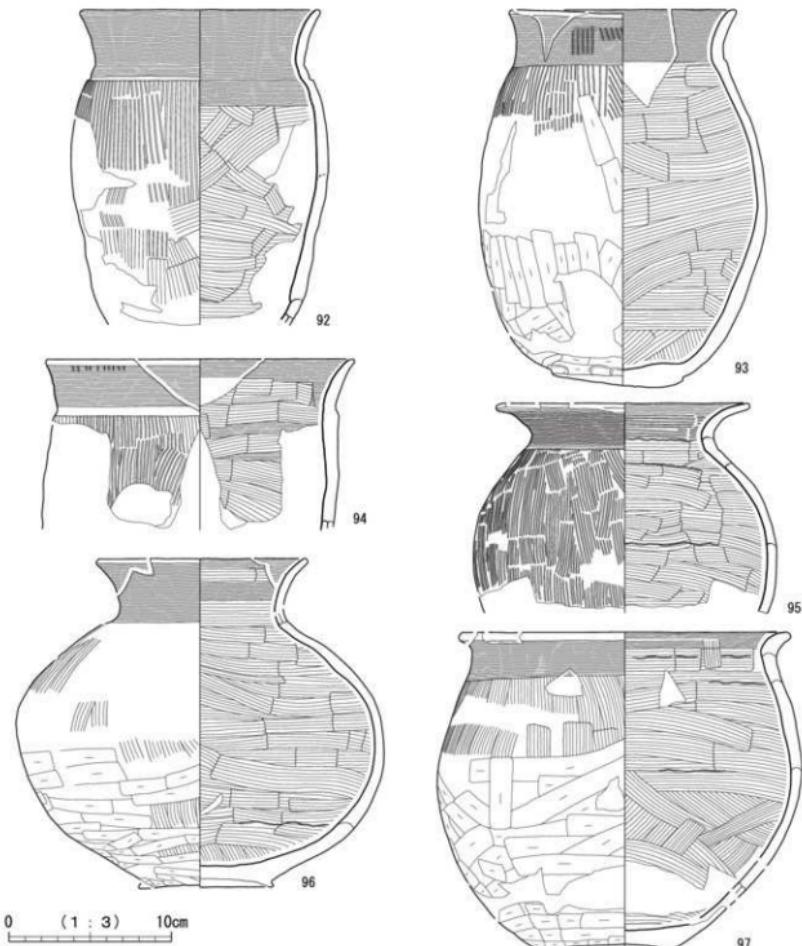
第256図 SD 66溝跡出土遺物(4層⑦)

図版 番号	登録番号	出土遺物	留位	種別	器種	口径×底径×厚さ(cm)	外 面 調 整	内 面 調 整	備 考	写真 回数
81	C-494	SD66	4a層	土加器	甕	(12.6) × ×(6.2)	口縁部ハケメ→ココナチ、腹部ヘナナデ	口縁部ココナチ、腹部ヘラナデ		108
82	C-492	SD66	4a層	土加器	甕	(16.9) × ×(6.7)	口縁部ハケメ→ココナチ、腹部ハメ	口縁部ココナチ、腹部ヘナナデ		108
83	C-496	SD66	4a層	土加器	甕	(17.3) × ×(11.2)	口縁部ココナチ、腹部ヘメ	口縁部ココナチ、腹部ヘナナデ		108
84	C-497	SD66	4a層	土加器	甕	(17.0) × ×(10.8)	口縁部ココナチ、腹部ハメ	口縁部ココナチ、腹部ヘナナデ		108
85	C-509	SD66	4層	土加器	甕	× ×(8.5)	口縁部ココナチ、腹部ヘメ	口縁部ココナチ、腹部ヘナナデ		109
86	C-507	SD66	4a層	土加器	甕	(24.4) × ×(15.2)	口縁部ココナチ、腹部ヘメ、 腹部ヘナナデを伏のナナ	口縁部ハケメ、腹部ヘナナデ		109



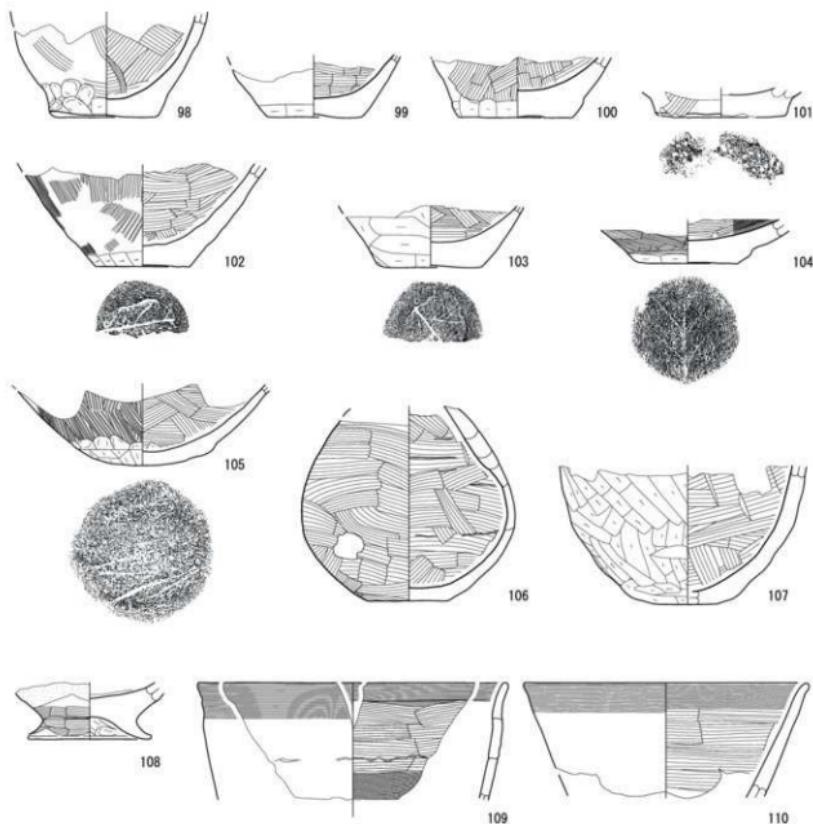
図版 番号	登録番号	出土遺構	層位	様式	器種	口径×底径×高さ(cm)	外面調整	内面調査	備考	写真 回数
87	C-508	SD66	4a層	土陶器	甕	(22.0)×(27.5)	口縁部ヨコナギ、 胴部ヘラカゼリ、 胴下部ヘラカゼリ	口縁部ヨコナギ、 胴部ヘラナギ		110
88	C-503	SD66	4a層	土陶器	甕	(19.0)×(14.5)	口縁部ヨコナギ、 胴部ヘラカゼリ→スピナツ、 胴下部ヘラカゼリ	口縁部ヨコナギ、 胴部ヘラナギ		109
89	C-502	SD66	4a層	土陶器	甕	(18.9)×(8.9)	口縁部ヨコナギ、 胴部ヘラカゼリ	口縁部ヨコナギ、 胴部ヘラナギ		109
90	C-482	SD66	4b層	土陶器	甕	(13.6)×6.0×13.3	口縁部ヨコナギ、 胴部ヘラカゼリ、 底付近スピナツエ	口縁部ヨコナギ→ヘラナギ、 胴部→底付ヘラカゼリ	本量瓶	107
91	C-485	SD66	4a層	土陶器	甕	(14.8)×4.6×12.7	口縁部ヨコナギ、 胴部ヘラカゼリ、 胴下半部ヘラカゼリ、 底付近スピナツエ	口縁部ヨコナギ、 底部→底付ヘラナギ	本量瓶	107

第257図 SD66溝跡出土遺物(4層⑧)



第258図 SD 66溝跡出土遺物(4層⑨)

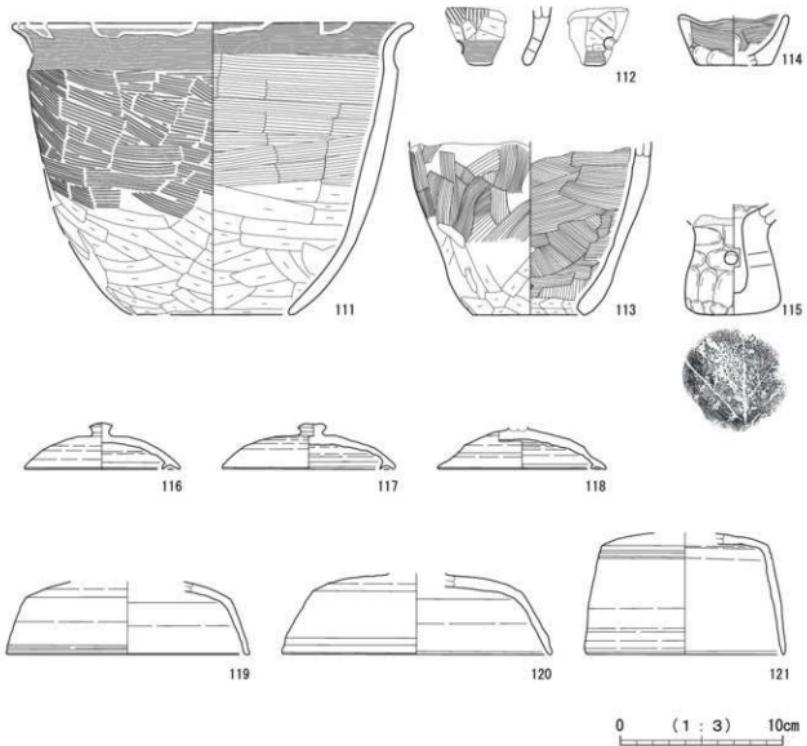
図版 番号	登録番号	出土遺物	層位	種別	器種	口径×底径×高さ(cm)	外面調整	内面調整	参考	写真 図版
92	C-489	SD66	4a層	土陶器	釜	(14.0) × × (19.4)	I)縁部ヨコナデ、側部へラナデ、側部へタグ、側下平底へラナデ	I)縁部ヨコナデ、側部へタナデ	108	
93	C-483	SD66	4b層	土陶器	釜	13.8 × 8.0 × 23.2	I)縁部ヨコナデ、側上平底へタグ、側下平底へラナデ	I)縁部ヨコナデ、側部・底面へナデ	107	
94	C-491	SD66	4a層	土陶器	釜	(19.0) × × (10.5)	I)縁部ヨコナデ、側部ハケメ	I)縁部ヨコナデ・ヘラナデ、側部ハケメ	108	
95	C-506	SD66	4a層	土陶器	釜	15.1 × × 13.0	I)縁部ハケメ・ヨコナデ、側部ハケメ	I)縁部ヨコナデ・ヘナダメ、側部・底面へナデ	109	
96	C-484	SD66	4b層	土陶器	釜	(12.7) × (8.2) × (20.2)	I)縁部ヨコナデ、側上平底ハケメ、側下平底ハクメ→ヘラナデ	I)縁部ヨコナデ・ヘラナデ、側部・底面へナデ	107	
97	C-481	SD66	4層	土陶器	釜	20.0 × 8.1 × (19.5)	I)縁部ヨコナデ・ヘラケズリ、側下平底へラナデ	I)縁部ヨコナデ、側部・底面へナデ	107	



0 (1 : 3) 10cm

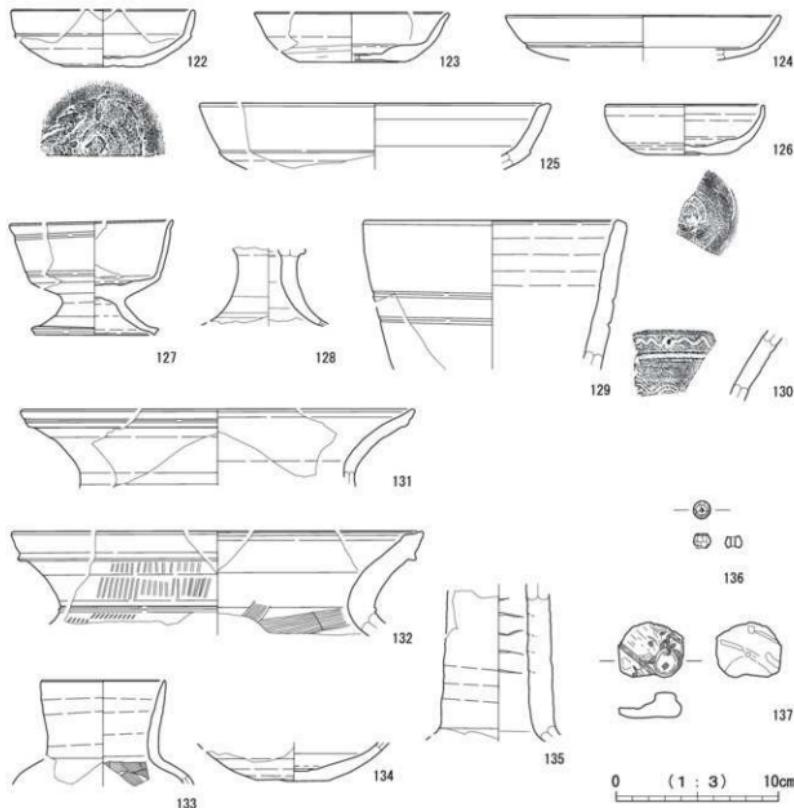
国版 番号	登録番号	出土遺構	切片	種	形	口徑×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真 国版
98	C-513	SD66	4a型	土陶器	瓶	x 6.6 x (6.5)	胴部~ハナダ 底部付近ハナダ→スピオサエ, ハラケズリ	胴部~底部ヘナダ	本垂直	110
99	C-515	SD66	4b型	土陶器	瓶	x 5.7 x (3.9)	胴部底減, 底部付近ヘラケズリ	胴部~底部ヘナダ	本垂直	110
100	C-512	SD66	4型	土陶器	瓶	x (6.8) x (3.7)	胴部ヘナダ, 底部付近ヘラケズリ	胴部~底部ヘナダ	本垂直	110
101	C-518	SD66	2b+4a 型	土陶器	瓶	x (7.8) x (1.8)	底部付近ヘナダ	底部ヘナダ	底部斜交穿孔	110
102	C-516	SD66	4a型	土陶器	瓶	x (5.8) x (6.3)	胴部ハナダ, 底部付近ヘラケズリ	胴部~底部ヘナダ	本垂直	110
103	C-514	SD66	4a型	土陶器	瓶	x 6.0 x (3.8)	体部~底部ヘラケズリ	体部~底部ヘナダ→ヘナダ	本垂直	110
104	C-511	SD66	4b型	土陶器	瓶	x 6.0 x (2.7)	底部付近ヘナダ→ヘラケズリ	胴部~底部ヘナダ: ガキ	本垂直, 内面黒色処理	110
105	C-517	SD66	4b型	土陶器	瓶	x x (5.0)	胴部ハナダ,	胴部~底部ヘナダ		110
106	C-486	SD66	4型	土陶器	瓶	x 4.8 x (12.0)	胴部~底部ヘラケズリ	胴部~底部ヘナダ	本垂直	107
107	C-510	SD66	4c型	土陶器	瓶	x (4.5) x (8.6)	胴部~底部ヘラケズリ	胴部~底部ヘナダ		109
108	C-479	SD66	4型	土陶器	台付瓶	x (7.5) x (2.8)	高台部ヘナダ, ユビナデ, 环部ヘナダ	环部ヘナダ, 高台部ナダ		107
109	C-521	SD66	4a型	土陶器	瓶	(19.0) x x (7.2)	U縫部ヨコナデ, 脱形底減	U縫部ヨコナデ, 脱形底減	本垂直	110
110	C-522	SD66	4a型	土陶器	瓶	(17.4) x x (7.1)	U縫部ヨコナデ, 脱形底減	U縫部ヨコナデ, 脱形ヘナダ		110

第259図 SD66溝跡出土遺物(4層⑩)



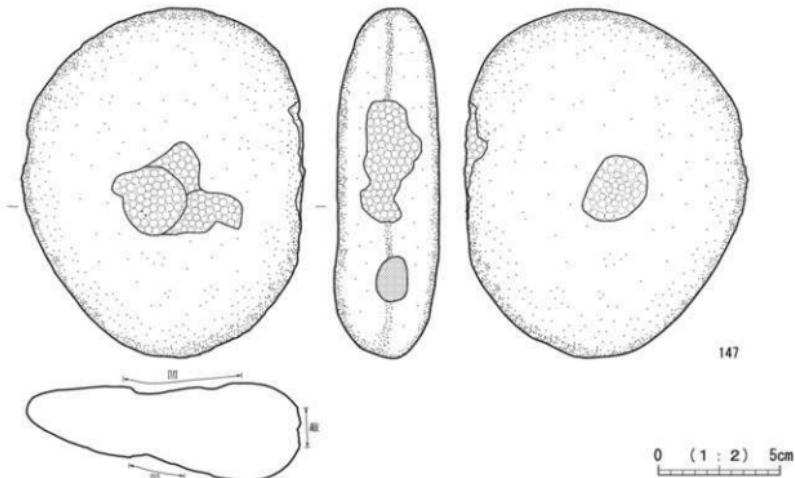
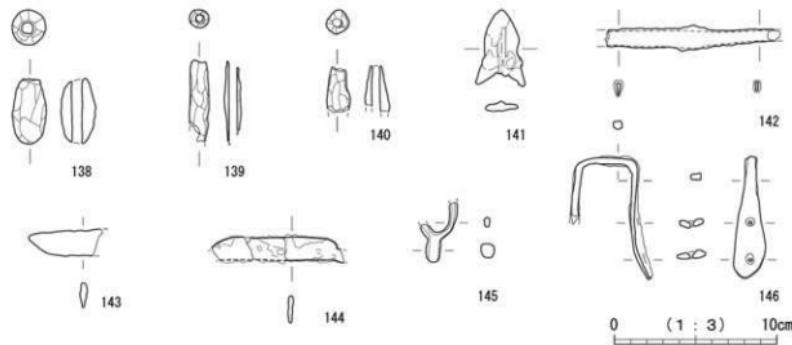
第260図 SD66溝跡出土遺物(4層⑩)

回収番号	登録番号	出土遺物	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	参考	写真 図版
111	C-519	SD66	4層	土陶器	瓶	24.4×10.1×18.0	口縁部ヨコナギ、 胴上半部ハサメ、胴下半部ヘラケズリ	口縁部ヨコナギ、 胴上半部ヘタナギ、 胴下半部ヘラケズリ		110
112	C-523	SD66	4a層	土陶器	瓶	× × (3.6)	底面部付近ハサメ→ヘラケズリ、 孔周辺ヨコナギ→穿孔	底面部付近ヘラケズリ→穿孔、 孔周辺ヨコナギ	穿孔付近ヘラケズリ→穿孔、 穿孔径0.7cm	110
113	C-520	SD66	4層	土陶器	瓶	×(6.8)×(10.7)	胴部ヨコナギ、 胴底部下端ヘラケズリ	胴部ヨコナギ、孔周辺ヘラケズリ		111
114	C-521	SD66	4a層	土陶器	ミニチュア	(6.0)×(4.4)×3.1	口縁部～底面部ヘタナギ→ヨビナサエ	口縁部～底面部ヘタナギ→ヨビナサエ →ヨビナサエ		110
115	C-525	SD66	4b層	土陶器	肩形 土陶器	×5.0×(6.8)	体部ヨビナサエ→穿孔	側部スビナサエ	穿孔径0.9cm、本 器無	110
116	E-112	SD66	4b層	灰窓器	蓋	9.6× ×2.9	ロクロ調整、 天井部斜面ヘラケズリ、ボタン状ツマミ	ロクロ調整、カスリ有		111
117	E-113	SD66	4b層	灰窓器	蓋	10.6× ×2.8	ロクロ調整、 天井部斜面ヘラケズリ、ボタン状ツマミ	ロクロ調整、カスリ有		111
118	E-114	SD66	4層	灰窓器	蓋	10.4× ×(2.6)	ロクロ調整、 天井部斜面ヘラケズリ	ロクロ調整、カスリ有		111
119	E-109	SD66	4a層	灰窓器	蓋	(15.0)× ×(4.5)	ロクロ調整、 天井部斜面ヘタナギ、浅縁1条	ロクロ調整		111
120	E-115	SD66	4c層	灰窓器	蓋	(36.0)× ×(5.0)	ロクロ調整、 天井部斜面ヘラケズリ	ロクロ調整		111
121	E-108	SD66	4a～c層	灰窓器	蓋	(12.3)× ×(7.5)	ロクロ調整、 天井部斜面ヘラケズリ	ロクロ調整		110



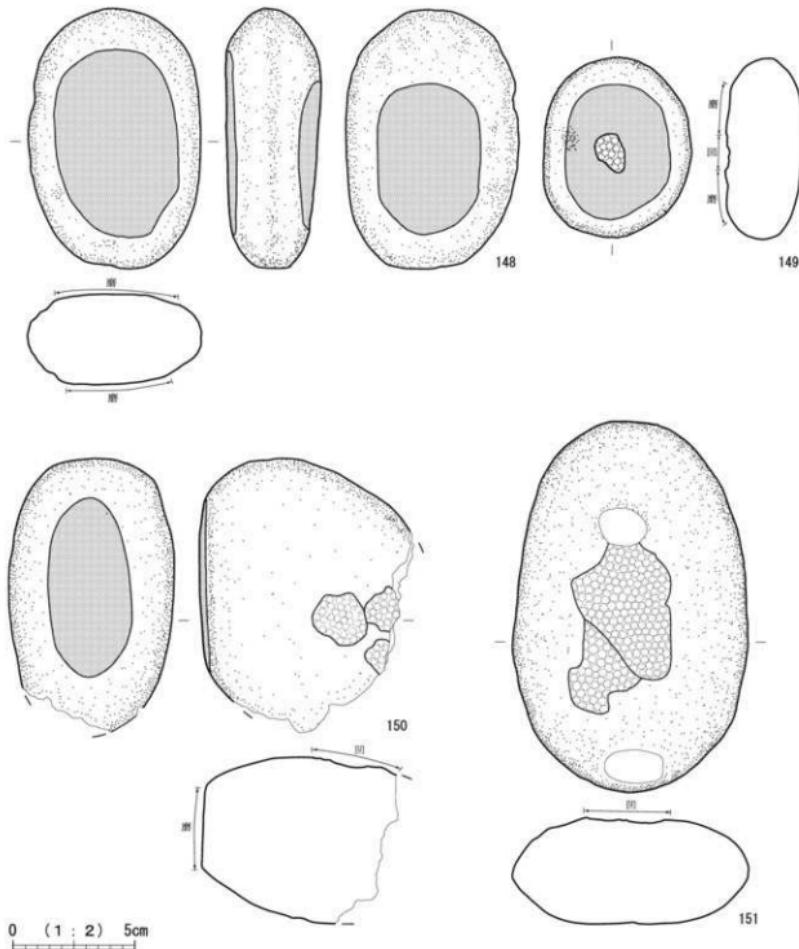
国版号	登録番号	出土遺構	層位	種 別	器 様	口径×底径×高さ(cm)	外面調整	内面調整	備 考	写真 原版
122	E-100	SD66	4a層	須志器	环	(11.2)×(5.0)×3.5	クロロ調整、底部斜面削除へラケズリ	クロロ調整	外底面斜付付着	110
123	E-103	SD66	4a層	須志器	环	(12.0)×(6.5)×3.1	クロロ調整、体部下端削除へラケズリ、底部へラケズリ	クロロ調整		111
124	E-102	SD66	4層	須志器	环	(16.8)×(8.2)	クロロ調整	クロロ調整	盤小	110
125	E-105	SD66	4a~4層	須志器	环	(21.4)×(4.1)	クロロ調整、底部下端削除へラケズリ	クロロ調整	盤小	111
126	E-099	SD66	4層	須志器	碗	(9.8)×(4.8)×3.1	クロロ調整、底部削除へラケズリ	クロロ調整	内外底自然輪	110
127	E-106	SD66	4a層	須志器	高台付环	10.0×7.4×7.1	クロロ調整、底部削除へラケズリ、高台輪付	クロロ調整、高台加削削除へラケズリ	高台	111
128	E-107	SD66	4a層	須志器	高台付环	××(4.8)	クロロ調整	クロロ調整		111
129	E-110	SD66	4層	須志器	环	15.6×(9.2)	クロロ調整、沈縫2条	クロロ調整	外底自然輪	111
130	E-118	SD66	4a層	須志器	束	××(4.6)	クロロ調整、胸腹底状文、沈縫	クロロ調整	内底自然輪	111
131	E-117	SD66	4層	須志器	束	(24.4)×(4.8)	クロロ調整	クロロ調整	内外底自然輪	111
132	E-116	SD66	4層	須志器	束	(25.4)×(4.6)	平行引目→クロロナダ	クロロ調整→ハナダ		111
133	E-108	SD66	4a層	須志器	瓶	(7.7)×(6.5)	クロロ調整	クロロ調整、肩部へナダ	内外底自然輪	111
134	E-109	SD66	4b層	須志器	瓶	××(2.4)	クロロ調整、瓶下端へナダ。	クロロ調整		111
135	E-111	SD66	4層	須志器	不明	××(9.7)	クロロ調整	クロロ調整、輪筋重複着	内外底一部自然輪	111
国版 登録番号	登録番号	出土遺構	層位	種 別	器 様	長さ×幅×厚さ(cm)	重量(g)	備 考	写真 原版	
126	P-018	SD66	4a層	土製品	土玉	径1.0×高さ0.9×幅0.2	0.7 g	ナデ	112	
127	P-022	SD66	4a層	土製品	骨材	残存長(3.3)×幅(4.0)×高さ(1.6)	13.8 g	本質残存	112	

第261図 SD66溝跡出土遺物(4層②)



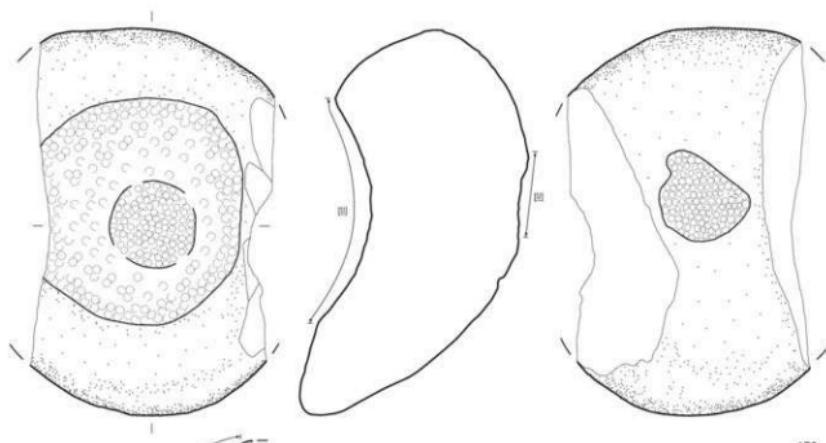
回数 番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	長×幅×厚さ(cm)	重量(g)	備考	写真 図版		
138	P-019	SD66	4a層	土製品	土器	4.0×伴2.1×孔径0.7	15.1g	子母	112		
139	P-020	SD66	4a層	土製品	土器	(5.0)×伴1.2×孔径0.5	5.4g	子母	112		
140	P-021	SD66	4b層	土製品	土器	(2.9)×伴1.5×孔径0.5	3.6g	子母	112		
141	N-016	SD66	4層	鉄製品	鉄器	柄長4.7cm、最大幅3.1、厚0.3cm			112		
142	N-017	SD66	4層	鉄製品	刀子	柄長10.3cm、最大幅1.2cm、厚0.3cm			112		
143	N-018	SD66	4a層	鉄製品	刀子	刃部、柄長4.6cm、最大幅1.6cm、厚0.3cm			112		
144	N-019	SD66	4層	鉄製品	刀子	刃部、柄長8.2cm、最大幅1.8cm、厚0.4cm			112		
145	N-020	SD66	4b層	鉄製品	刀子	柄長3.6cm、最大幅0.9cm、厚0.3cm			112		
146	N-021	SD66	4c層	鉄製品	刀子	柄長5.3cm、幅5.0cm、厚0.6cm、背状部幅2.0cm、厚0.3			112		
回数 番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	分類	長×幅×厚さ(cm)	重量(g)	石材	備考	写真 図版
147	Kc-023	SD66	4b層	理石器	磨+刮+敲	-	14.3×11.6×4.0	553.36	湖底石 定形品、施凹槽、磨一面(凸)、凸一面(单)挫(凹)、 敲(单)面(斜)程度(強)	111	

第262図 SD66溝跡出土遺物(4層⑬)

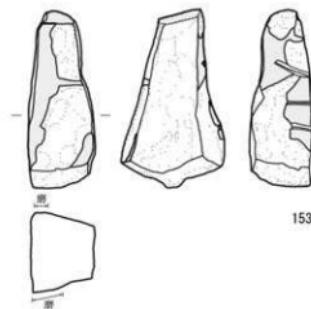
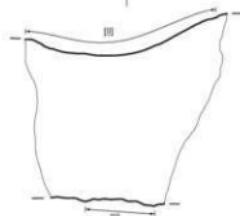


国版 番号	登録番号	出土遺物	層位	性質	器種	分類	大きさ(幅×厚さ)(cm)	重量(g)	石種	備考	写真 図版
148	Kc-061	SD66	4a層	雜石器	磨石器	磨石	-	10.7×7.1×4.0	224.59	磨灰岩 定形品、椎円錐、器二面(平)	111
149	Kc-056	SD66	4a層	雜石器	磨+凹	-	7.6×6.1×3.4	105.78	磨灰岩 定形品、円錐、器一面(凸)、凹一面(鏡)深少(微)	111	
150	Kc-064	SD66	4a層	雜石器	磨+凹	-	11.2×8.8×6.7	854.51	花崗岩 定形品、円錐、器一面(平)、凹一面(鏡)深少(微)	111	
151	Kc-033	SD66	4a層	雜石器	凹石	-	15.2×9.7×4.3	602.37	燧灰岩 定形品、椎円錐、凹一面(鏡)深少(浅)	111	

第263図 SD66溝跡出土遺物(4層④)



152



153

0 (1 : 2) 5cm

図版 番号	登録番号	出土遺物	層位	種 別	器 種	分類	長さ×幅×厚さ(cm)	重量(g)	石 材	備 考	写真 図版
152	Kc-024	SD66	4a層	雜石器	圓石	-	15.8×9.6×8.6	932.25	凝灰岩	欠損品、円錐、凹二面(单+单)溝(1個)	111
153	Kd-010	SD66	4層	石製品	砾石	-	7.2×2.8×4.2	92.13	砂岩	完形品、面取り、台状、無孔、溝状痕あり	112

第264図 SD66満跡出土遺物(4層⑩)

[SD66 下層出土遺物]

土師器壺6点(第265図-1～6)、高杯4点(同図-7～10)、鉢1点(第266図-11)、甕5点(同図-12～第267図-16)、瓶1点(第268図-17)、ミニチュア2点(同図-18・19)、須恵器蓋2点(同図-20・21)、高杯1点(同図-22)、甕1点(同図-23)、長頸甕1点(同図-24)、瓶2点(同図-25・26)、礫石器2点(第269図-28・29)、石製紡錘車1点(同図-30)、紙石2点(同図-31・32)の計32点を掲載した。

土師器壺(第265図-1～6)のうち、底部は1が平底状の丸底、2が平底、4が丸底を呈する。口縁部と体部の境界は、1が明瞭な段、3・5が明瞭な稜を持つ。2・4は不明瞭な稜を持ち、5はいずれも認められない。口縁部の断面形状は、2・4が内湾し、3・5が外反する。6は直線的に外傾する。

第265図-7・9は脚部に3窓の透かしを持つ高杯で、透かしの形状は、7が縦長の台形、9が梢円形状を呈する。

土師器甕(第266図-12～第267図-16)のうち、12は頸部が殆ど括れず、短く直立気味な口縁部へといたる。13は頸部が直線的に立ち上がり、外反する口縁部へといたる。14の胴部は口径の2倍ほどに膨らむ。15は丸底気味の底部から寸胴な胴部へと大きく開く器形を呈する。16は器高約56cmを測る大型の甕で、内外面共に全面にわたり丁寧な調整が施される。なお、外底面周縁に粘土を貼り付けした甕は、下層から8点(最低6個体)出土しているが、掲載したものは無い。

土師器甕(第268図-17)は、口縁部～頸部を1/4欠く他は、略完形である。底面直上から出土し、内部からは底部側から自然螺が1点、口縁部側からウマ下顎骨と目される獸骨片が出土した。その出土状況からみて、螺や獸骨片は甕内部に流れ込んだものとは考え難く、むしろ意図的に甕内部に納められた状態で廃棄、或いは置かれた可能性を考えられる。

須恵器蓋2点(第268図-20・21)のうち、20はツマミを有する天井部が僅かに窪み、口縁部に向かって開く器形を呈するに対し、21はツマミを持たず、口縁部が窄まる器形を呈する。また、20の口縁部は、欠損の状況からみて意図的に打ち欠かれた可能性がある。

須恵器甕(第268図-24)の内面には、漆の付着が認められる。

第269図-30は、断面形状が台形状を呈する石製紡錘車である。中央の穿孔は径9mmを測る。石材は片岩である。

[SD66 その他の出土遺物]

土師器壺2点(第270図-1・2)、土鍤1点(同図-3)、礫石器4点(同図-4～第271図-7)の計7点を掲載した。

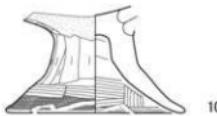
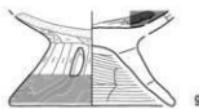
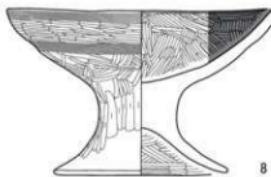
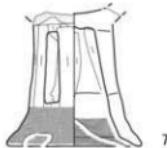
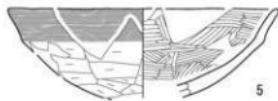
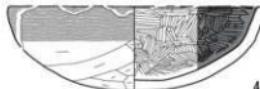
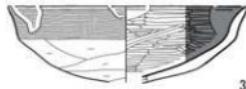
第271図-1は内面が黒色処理されず、口縁部がS字状に直立する器形を呈する。関東系の特徴を有する土師器壺である。

礫石器(第270図-4～第271図-7)はいずれも円ないし梢円礫である。7はほぼ全面に使用痕が観察される。石材は4・5が安山岩、その他はすべて凝灰岩である。

SA1 材木列(第239～241図)

3B区北東部、17・18・22・27・31・32・36・41・45・50グリッドに位置する。SB9、SK81、SD63を切り、SI104、SK67、SD42・59・61・62・64、SM123・125・203・204、P577に切られる。3B区から検出された規模は、長さ約43m、幅約25～40cm、検出面からの深さ約50cmを測る。27・32・36グリッドでやや北東側に影らみを持つものの、SD66と同じN-36°-Wの方向に延び、SD66西邊上端の約5m北西側を並走する。柱痕跡は径20cm前後、深さ10～20cm程を測り、底面のレベルは南東側に向かって低くなることが確認された。また、柱痕の間隔には疎密が認められ、最大で50cm程間隔が空く箇所が認められた。柱の抜き取り痕は確認されなかった。

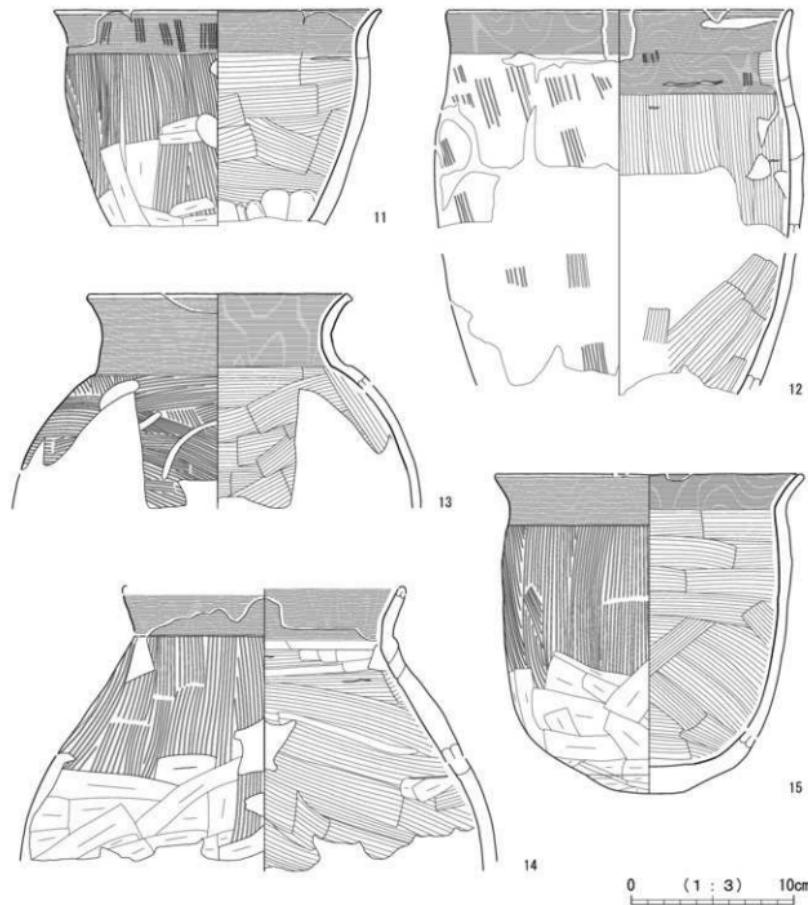
堆積土は一定しないものの、概ねにぶい黄褐色シルトを基調とし、断面形状は逆台形を呈する箇所(SPA-A')もあればV字状を呈する箇所(SPB-B')もあり、一様ではない。土師器の胴部破片が少量出土したが、掲載した遺物は無い。



0 (1 : 3) 10cm

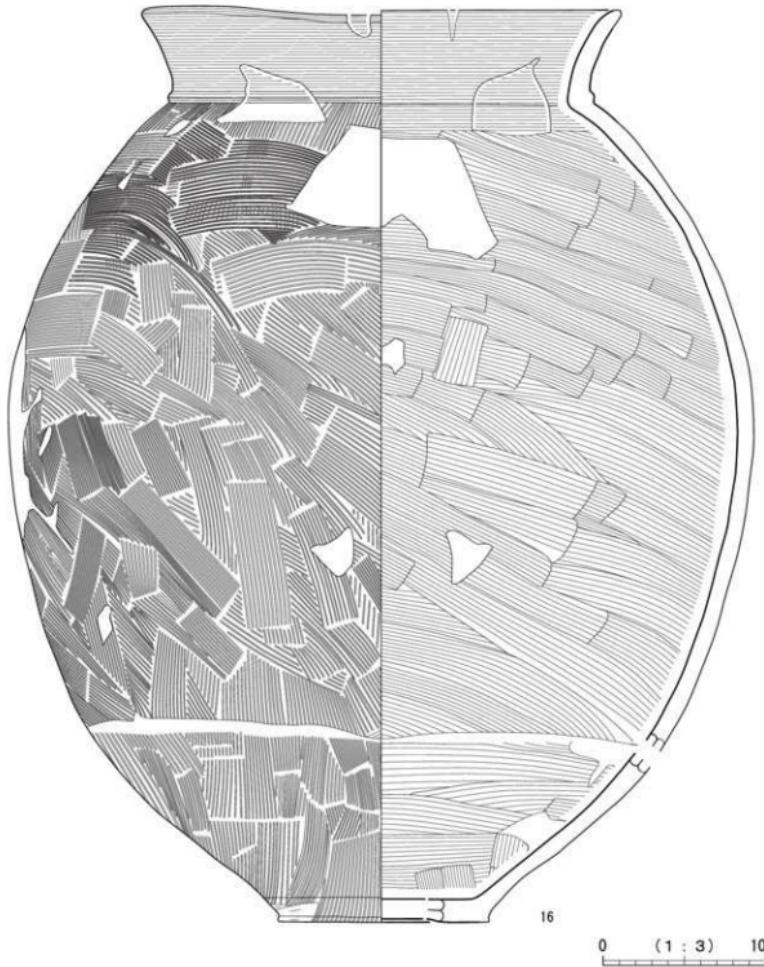
図版 番号	登録番号	出土遺構	層位	種 別	器 様	口徑×底径×器高(cm)	外 面 調 整	内 面 調 整	備 考	写真 図版
1	C-521	SD66	65層	土加器	环	× ×(2.4)	口縁部ヨコナギ、体部～底部ヘラケズリ	各部～底部ヘラミガキ	内面黒色処理	112
2	C-527	SD66	2b-6層	土加器	环	(15.4)×(6.3)×4.9	口縁部ヨコナギ、体部～底部ヘラケズリ	口縁部～底部ヨコナギ		112
3	C-413	SD66	7号化 層	土加器	环	(14.6)×(4.7)	口縁部ヨコナギ、体部～底部ヘラケズリ	口縁部～底部ヘラミガキ	内面黒色処理	104
4	C-526	SD66	65層	土加器	环	(15.6)×(5.2)	口縁部ヨコナギ、体部～底部ヘラケズリ	口縁部～底部ヘラミガキ	内面黒色処理	112
5	C-528	SD66	7層	土加器	环	(16.4)×(5.5)	口縁部ヨコナギ、体部ヘラケズリ	口縁部～体部ヘラミガキ		112
6	C-530	SD66	6層	土加器	环	(19.2)×(4.9)	口縁部ヨコナギ、体部ヘラケズリ	口縁部～体部ヘラミガキ	内面黒色処理	112
7	C-533	SD66	7号化 層	土加器	高环	×8.0×(8.5)	脚柱部ヘラケズリ→透かし、底部ヨコナギ	脚柱部ヘラケズリ、底部ヨコナギ	環部内面黒色 修理?	112
8	C-534	SD66	5層	土加器	高环	16.4×10.2×10.3	环部口縁部ヨコナギ、 脚部ヘラケズリ→体部中口ヨコナギ、 脚部ヘラケズリ	环部口縁部～底部ヘラミガキ、 脚部ヘラミガキ	环部内面黒色 修理	112
9	C-532	SD66	6層	土加器	高环	×(10.0)×(5.9)	环底部ヘラケズリ、 脚部ヘラケズリ→透かし3割、底部ヨコナギ	环底部ヘラミガキ、脚部ヘラミガキ	环部内面黒色 修理	112
10	C-535	SD66	5層	土加器	高环	×10.8×(6.6)	环底部ヨコナギ	环部ヨコナギ→ヘナナデ、 底部ヨコナギ→ヘナナデ	环部内面黒色 修理	112

第265図 SD 66溝跡出土遺物(下層①)



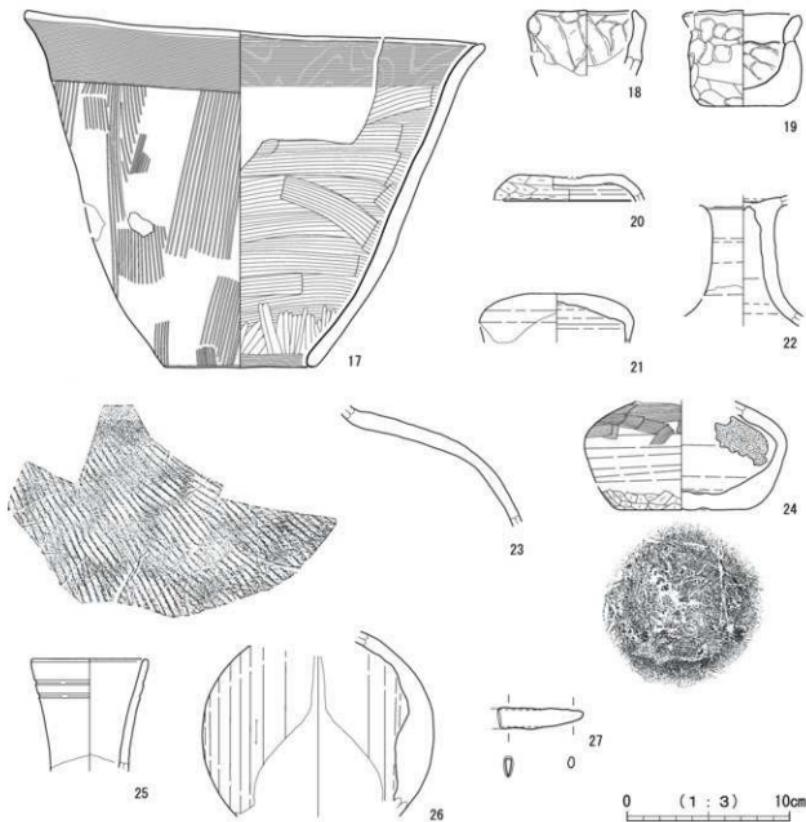
国版 番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真 版面
11	C-540	SD66	7層	土器器	鉢	(20.0)×(13.2)	〔縦部コナード、斜部ハラメ→ハラツリ〕 〔縦部コナード、斜部ハラメ→ハラツリ〕	〔縦部コナード、斜部ハラツリ〕 〔縦部コナード、斜部ハラツリ〕		114
12	C-541	SD66	7層	土器器	鉢	(21.2)×(23.7)	〔縦部コナード、斜部ハラメ、摩滅〕	〔縦部コナード、斜部ハラツリ〕		114
13	C-539	SD66	5層	土器器	鉢	15.8×(13.2)	〔縦部コナード、斜部→腹部ハケメ→ナデ〕	〔縦部コナード、斜部ハラツリ〕		114
14	C-538	SD66	7層	土器器	鉢	×(17.3)	〔縦部コナード、斜部ハラツリ〕 〔縦部コナード、斜部ハラメ→ハラツリ〕	〔縦部コナード、斜部ハラツリ〕 〔縦部コナード、斜部ハラツリ〕		112
15	C-537	SD66	7層	土器器	鉢	(18.8)×(4.1)×19.7	〔縦部コナード、斜上・半底ハケメ〕 〔縦部コナード、斜上・半底ハケメ〕	〔縦部コナード、斜上・半底ハケメ〕 〔縦部コナード、斜上・半底ハケメ〕		112

第266図 SD 66溝跡出土遺物(下層②)



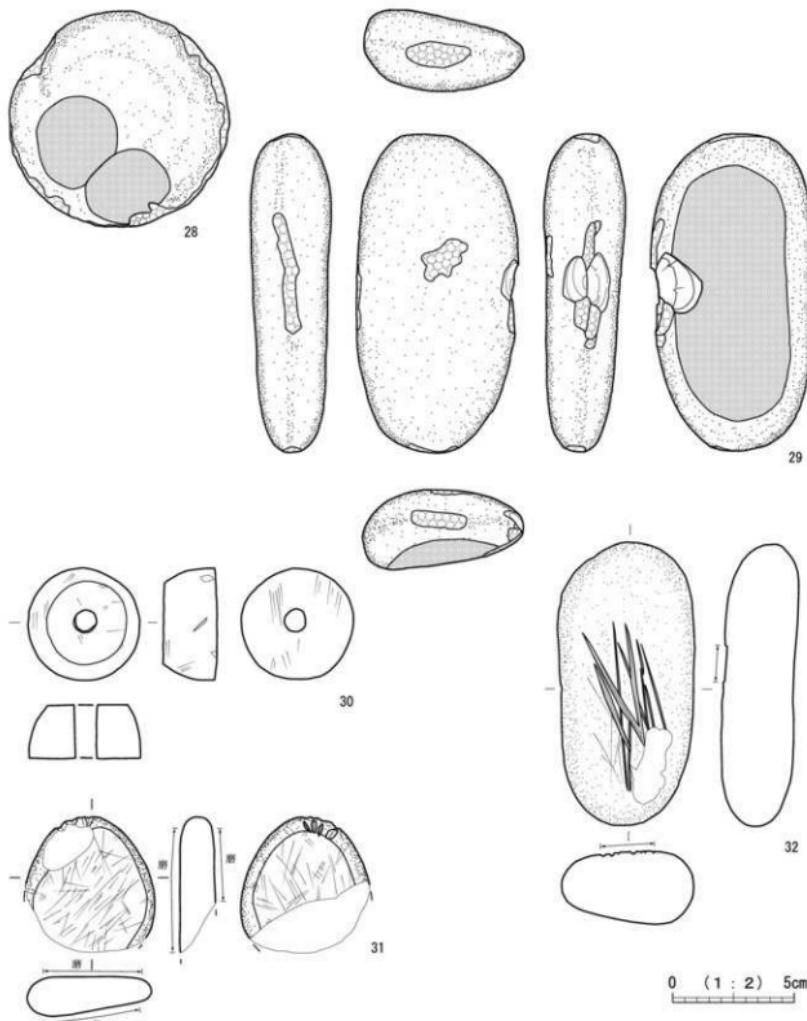
図版 番号	登録番号	出土遺物	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真 図版
16	C-536	SD66	灰陶壺上 土器	美	(29.0) × (13.0) × 36.0	口縁部ヨコナギ、腹底ハケヌメ、 底部付近ハナズリ	口縁部ヨコナギ、 腹底ハナズリ	本葉瓶	113	

第267図 SD 66溝跡出土遺物(下層③)



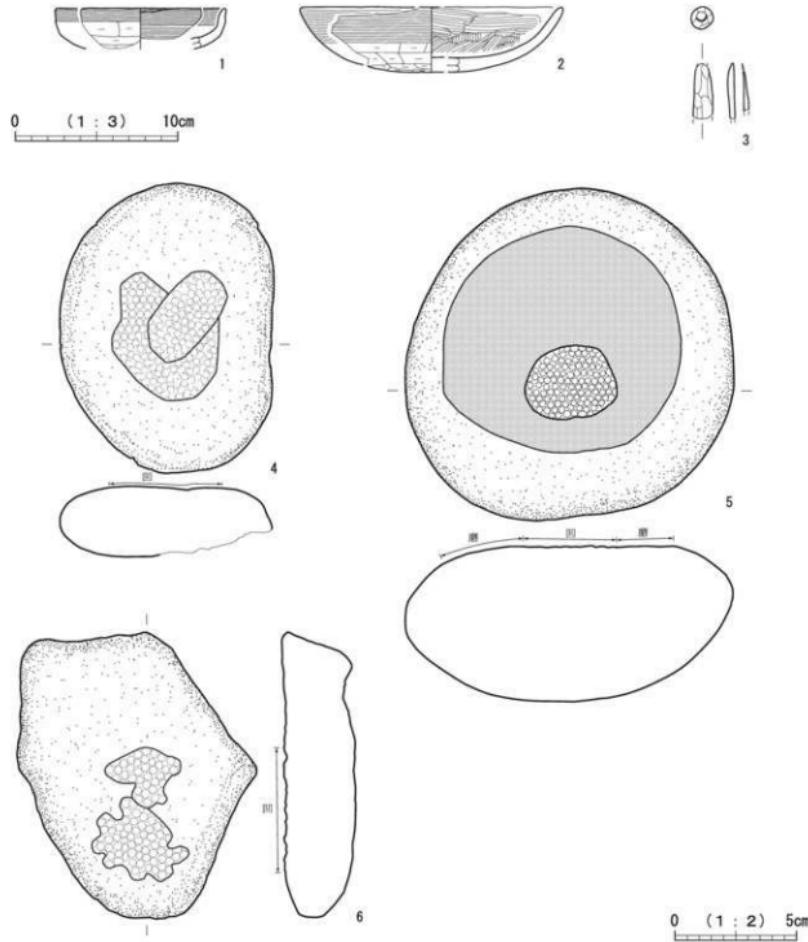
第268図 SD 66溝跡出土遺物(下層④)

国版番号	登録番号	出土遺物	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真 図版
17	C-542	SD66	7層	土器	瓶	22.0×9.4×26.2	口縁部ヨコナラ、腹部ヘラケメ、乳頭付近ヘラケメ→ハラミガキ、孔開近ヨコナラ	口縁部ヨコナラ、腹部ヘラケメ、乳頭付近ヘラケメ→ハラミガキ、孔開近ヨコナラ	114	
18	C-543	SD66	6層	土器	ミニチュア	(6.0)×(3.2)	口縁部～体部ユビオサエ	口縁部～体部ユビオサエ	114	
19	C-544	SD66	7層	土器	ミニチュア	(7.0)×5.0×5.9	口縁部～体部下端ユビオサエ、底部ヘラケメ	口縁部～体部下端ユビオサエ、底部ヘラケメ	114	
20	E-120	SD66	4a-7層	埴造器	蓋	× × (3.6)	ロクロ調整、外縁部打丸ヘラケメ	ロクロ調整、カスリ有	口縁部打丸欠けに よる外縁部可動性有	115
21	E-121	SD66	7層	埴造器	蓋	× × (3.0)	ロクロ調整、外縁部打丸ヘラケメ	ロクロ調整	外縁天井部自然軸	115
22	E-119	SD66	5層	埴造器	高环	× × (8.0)	ロクロ調整	ロクロ調整、接合部ナデ	115	
23	E-125	SD66	5層	埴造器	蓋	× × (7.4)	ロクロ調整、外子母口	当て具筋、ユビオサエ	115	
24	E-124	SD66	6層	埴造器	長指帯	× (8.6)×(6.7)	ロクロ調整、外子母口ヘラケメ、 側面下端ヨコナラヘナダリ、 側面側面輪ヘラケメナダリ	ロクロ調整	内面漆付帯	115
25	E-123	SD66	6層	埴造器	瓶	(7.2)×(6.9)	ロクロ調整、底面2条	ロクロ調整	内外面自然軸	115
26	E-122	SD66	7層	埴造器	瓶	× × (11.6)	ロクロ調整、回転ヘラケメ	ロクロ調整	内外面自然軸	115
国版番号	登録番号	出土遺物	層位	種別	器種		備考			写真 図版
27	N-022	SD66	6層	鉄製品	刀子	刃部、残存長5.3cm、最大幅1.2cm、厚0.6cm				115



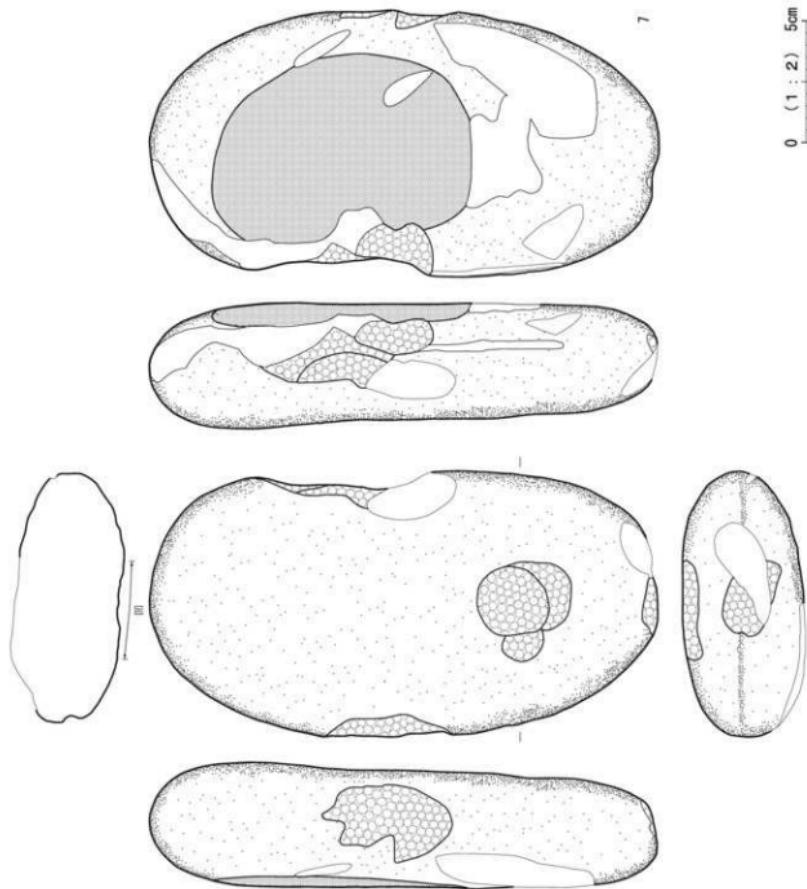
第269図 SD 66溝跡出土遺物(下層⑤)

回収番号	出土地点	層位	種別	器種	分類	長×幅×厚さ(cm)	重量(g)	石材	備考	写真 図版
28	Kc-047	SD66	5層	砾石器	磨+敲	8.8×8.0×5.2	580.90	安山岩	完形品、均齊、薄二面(凸)、厚(端面)、側(側面)、斜(側面)、底(底面)、程度(度)	115
29	Kc-034	SD66	6層	砾石器	磨+擦+敲	13.0×6.5×3.2	600.47	安山岩	完形品、均齊、薄一面(凸)、厚一面(平)、斜(側面)、底(底面)、程度(度)	115
30	Kd-016	SD66	7層	石製品	研磨車	4.6×4.5×2.2	70.65	片岩	完形品、最大径4.6cm、穿孔径0.9cm	115
31	Kd-008	SD66	5層	石製品	砾石	(5.6)×5.3×1.6	32.21	凝灰岩	欠形品、自然縫、板状、無孔、薄(底面あり)、自然面あり	115
32	Kd-015	SD66	6層	石製品	砾石	11.6×5.6×2.9	185.80	凝灰岩	完形品、自然縫、板状、無孔、薄(底面あり)、自然面あり	115



国版 番号	登録番号	出土遺物	層位	種	別	器	種	口径×底径×器高(cm)	外 面 調 整	内 面 調 整	備 考	写真 図版
1	C-451	SD66	堆積土	土器	器	环	(10.4) × (2.5)	口縁部ヨコナギ、底部ヘラケズ	口縁部ヨコナギ、底部ヨコナギ	-	106	
2	C-529	SD66	堆積土	土器	器	环	(16.0) × (4.0)	口縁部ヨコナギ、底部ヘラケズ	口縁部ヨコナギ、底部ヘラケズ	-	112	
国版 番号	登録番号	出土遺物	層位	種	別	器	種	長さ×幅×厚さ(cm)	重さ(g)	備 考	写真 図版	
3	P-023	SD66	堆積土	土製品	土師	(3.4) × (1.2) × (孔径0.6)	4.1g	ナゲ	-	-	115	
国版 番号	登録番号	出土遺物	層位	種	別	器	種	分解 長さ×幅×厚さ(cm)	重さ(g)	石 材	備 考	写真 図版
4	Kc-062	SD66	地盤土	礫石器	石	凹石	-	11.8 × 8.7 × 2.9	484.73	安山岩 完形品、椎円錐、凹一面(深さ2mm)	-	115
5	Kc-060	SD66	地盤土	礫石器	石	白石	-	13.6 × 13.5 × 6.2	1779.28	安山岩 完形品、椎円錐、凹一面(平), 凸一面(单)深さ2mm	-	115
6	Kc-061	SD66	地盤土	礫石器	石	西石	-	11.7 × 9.8 × 2.8	252.64	輝灰岩 完形品、椎円錐、凹一面(深さ2mm)	-	115

第270図 SD66溝跡出土遺物(その他①)



図版 番号	登録番号	出土遺様	層位	種別	器種	分類	具3×幅×厚5(cm)	重量(g)	石材	備考	写真 回数
7	Kc-030	SD66	堆积土	砾石器	磨+凹+碰	-	18.2×9.4×4.3	610.57	湖田岩 泥質灰岩 砂岩	完形品、施凹釋、磨一箇(平)、磨一箇(複)擦き(微)、 磨一箇(平)磨一箇(複)、磨一箇(微)	115

第271図 SD66溝跡出土遺物(その他②)

(5) 一本柱列(第272～273図)

前項で述べたように、3B区北東側において一本柱列4列(SA2～5)が検出された。これらはいずれも集落を区画すると考えられる溝跡1条(SD66)、材木列1列(SA1)とは同一方向の軸を持ち並走する。

SA2・3の帰属時期は不明であるが、SA4・5については他遺構との重複関係からSA1に先行して構築されたことが確認された。よって、報告にあたってはSD66・SA1と一本柱列4列とを区別して記載することとした。



第272图 SA2-3-4-5-本挂列(1)

SA2 一本柱列(第272～273図)

3B区北東部、42・47グリッドに位置する。直線上に並ぶ5基の柱穴を検出した。他遺構との重複は認められない。柱穴列の総長は約8.0mを測り、軸方位はN・39°～40°・Wである。SD66東辺の約3.5m北東側を並行して延びる。

検出された掘り方の平面形状は方形を基調とする。規模は、長軸約50～60cm、短軸約40～60cm、深さ約30～50cmを測り、掘り方の断面形状は箱形ないし逆台形を呈する。底面のレベルはP4がやや深くなるが、ほぼ一定である。各柱間の距離は一定しておらず、最小で約150cm(P4～5)、最大で約230cm(P3～4、P2～3)を測る。遺物は出土していない。

SA3 一本柱列(第272～273図)

3B区北東部、43・47・48グリッドに位置する。直線上に並ぶ3基の柱穴を検出した。他遺構との重複は認められない。

柱穴列の総長は約4.0mを測り、軸方位はN・39°～40°・Wである。SD66東辺の約7.5m北東を並行して延びる。

検出された掘り方の平面形状は隅丸方形を基調とする。規模は、長軸約50～60cm、短軸約40～60cm、深さ約25～30cmを測り、断面形状は箱形ないし逆台形を呈する。底面のレベルはP1がやや深くなるが、ほぼ一定である。各柱間の距離は一定しておらず、P1～2で約190cm、P2～3で約220cmを測る。遺物は出土していない。

SA4 一本柱列(第272～273図)

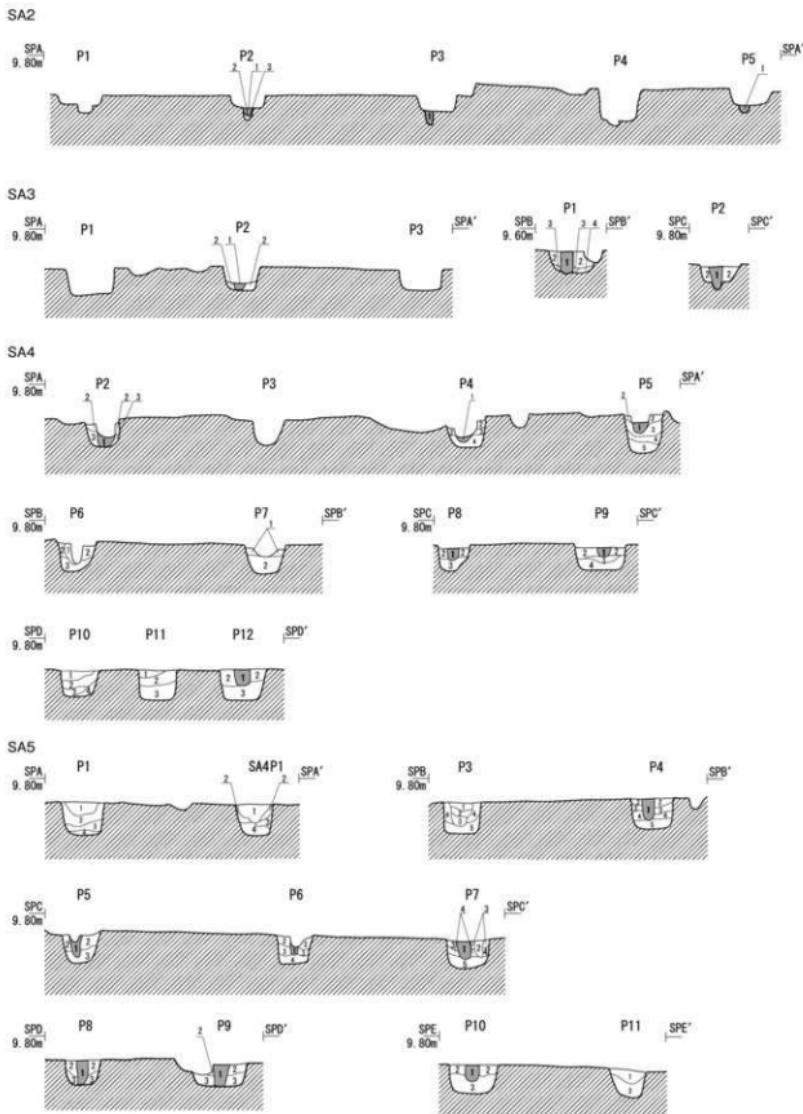
3B区北東部、27・28・32・37・38・41グリッドに位置する。ほぼ直線上に並ぶ12基の柱穴を検出した。他遺構との重複は認められない。

柱穴列の総長は約21.5mを測り、軸方位はN・39°～40°・Wである。SD66西辺の約60cm南西を並行して延びる。掘り方の平面形状は隅丸方形を基調とする。規模は、長軸約50～60cm、短軸約40～60cm、深さ約30～50cmを測り、断面形状は箱形を基調とするが一様ではない。底面のレベルはほぼ一定である。各柱間の距離は概ね200cmだが一定しておらず、最小で約100cm(P11～12)、最大で約250cm(P2～3)を測る。P8から土師器の胴部破片が少量出土したが、掲載していない。

SA5 一本柱列(第272～273図)

3B区北東部、23・27・32・36・37・41グリッドに位置する。ほぼ直線上に並ぶ11基の柱穴を検出した。SD63に切られる。また、P7とP8の間にはSI104煙道が位置するが、他遺構との重複関係から、本遺構が先行することが確認されている。

柱穴列の総長は約21.0mを測り、軸方位はN・39°～40°・Wである。SD66西辺の約1～2m南西を並行して延びる。掘り方の平面形状は方形を基調とする。規模は、長軸約40～60cm、短軸約40～60cm、深さ約20～40cmを測り、断面形状は箱形を基調とする。底面のレベルはほぼ一定である。各柱間の距離は一定しておらず、最小で約175cm(P8～9)、最大で約270cm(P5～6)を測る。P1・4・7から土師器の胴部破片が出土したが、掲載していない。



第273図 SA2・3・4・5一本柱列(2)

SA2 一本柱列槽植土記表

造形名	平面形	規格(cm)		層位	土 色		土 性	備 考
		長軸×短軸	深さ		1	2		
P1	不整円形	59×57	27	-	-	暗褐色	シルト	地山ブロック、暗褐色砂利シルトブロック含む
P2	溝丸方形	50×41	31	1	7.5YR3/2	黒褐色	シルト	炭化物樹脂含む（柱頭）
				2	7.5YR3/1	黒褐色	粘質シルト	白色化した鉱質土含む
				3	7.5YR6/1	褐色	粘質シルト	外側は焼成して5YR4/6赤色に変色（柱底,面）
				4	-	-	-	暗褐色ブロック(径1mm)少箇含む（柱頭）
P3	方形	58×51	37	1	7.5YR3/2	黒褐色	シルト	地山ブロック含む
P4	方形	58×55	46	-	-	黒褐色	シルト	暗褐色ブロック(径1mm)含む
P5	不整方形	58×52	30	1	10YR2/2	暗褐色	シルト	暗褐色ブロック(径1mm)含む

SA3 一本柱列槽植土記表

造形名	平面形	規格(cm)		層位	土 色		土 性	備 考
		長軸×短軸	深さ		1	2		
P1	溝丸方形	61×59	32	1	10YRK3/3	暗褐色	シルト	10YR5/2暗褐色シルトブロック微量、 10YR4/4暗褐色シルトブロック含む（柱頭）
				2	10YR2/3	黒褐色	シルト	10YR3/3黒褐色シルトブロック含む
				3	10YR4/4	褐色	シルト	10YR3/3黒褐色シルトブロック含む
				4	10YRK5/4	10YR4/4暗褐色	シルト	10YR3/2黒褐色シルトブロック少箇含む
P2	溝丸方形	52×47	30	1	7.5YR3/2	黒褐色	シルト	炭化物樹脂含む
P3	不整方形	58×40	24	2	-	-	-	地山(解り過ぎ)
P4	不整方形	58×40	24	-	-	暗褐色	シルト	地山ブロック、暗褐色シルトブロック少箇含む

SA4 一本柱列槽植土記表

造形名	平面形	規格(cm)		層位	土 色		土 性	備 考
		長軸×短軸	深さ		1	2		
P1	方形	64×47	38	1	2.5Y4/2	暗灰褐色	シルト	10YR3/3暗褐色ブロック含む
				2	10YRK4/3	10YR4/3暗褐色	シルト	10YR4/4暗褐色ブロック含む（柱頭）
				3	2.5Y3/3	暗オリーブ褐色	シルト	10YR4/2暗褐色ブロック含む
				4	10YRK4/2	暗褐色	シルト	10YR3/3暗褐色ブロック含む
P2	溝丸方形	47×45	34	1	2.5Y4/2	暗灰褐色	砂質シルト	2.5Y3/2砂質ブロック含む（柱頭）
				2	10YRK4/2	暗褐色	砂質シルト	10YR3/3暗褐色ブロック含む
				3	10YK3/3	暗褐色	砂質シルト	10YR4/2暗褐色ブロック含む
P3	不整円形	41×35	32	-	-	-	-	(目立つ)
P4	不整方形	65×49	38	1	10YH5/3	10YR4/3暗褐色	シルト	10YR3/3暗褐色ブロック、10YR5/1暗灰色土、マンガ貝、酸化物混含（柱頭）
				2	10YRK4/2	从灰褐色	シルト	10YR3/3暗褐色ブロック含む
				3	10YH5/3	10YR4/3暗褐色	シルト	10YR3/3暗褐色ブロック含む
				4	10YK3/3	暗褐色	シルト	10YR5/3砂質ブロック含む
P5	方形	50×47	51	1	10YK3/3	暗褐色	シルト	10YR5/3暗褐色ブロック含む（柱頭）
				2	10YH4/2	从灰褐色	シルト	10YR3/3暗褐色ブロック含む
				3	10YH5/3	10YR4/3暗褐色	シルト	10YR3/3暗褐色ブロック含む
				4	10YK3/3	暗褐色	シルト	10YR5/3砂質ブロック含む
				5	2.5Y3/3	暗オリーブ褐色	シルト	10YR3/3暗褐色ブロック含む（柱頭）
P6	方形	55×50	39	1	10YRK4/4	从灰褐色	シルト	10YR3/3暗褐色ブロック含む（柱頭）
				2	2.5Y3/3	暗オリーブ褐色	シルト	10YR5/3暗褐色ブロック含む
				3	10YK3/3	暗褐色	シルト	10YR5/3暗褐色ブロック含む
P7	溝丸方形	51×50	37	1	2.5Y3/3	暗オリーブ褐色	シルト	10YR5/3暗褐色ブロック含む（柱頭）
				2	10YRK3/3	暗褐色	シルト	10YR5/3暗褐色ブロック含む
P8	方形	45×46	33	1	2.5Y3/3	暗オリーブ褐色	シルト	10YR3/3暗褐色ブロック含む（柱頭）
				2	10YRK4/4	从灰褐色	シルト	10YR3/3暗褐色ブロック含む
				3	10YK3/3	暗褐色	シルト	10YR5/2暗褐色ブロック含む
P9	長方形	60×48	32	1	10VH4/2	从灰褐色	シルト	10YR3/3暗褐色ブロック含む（柱頭）
				2	10VH4/2	从灰褐色	シルト	10YR3/3暗褐色ブロック含む
				3	2.5Y4/2	暗灰褐色	シルト	10YR5/3暗褐色ブロック含む
				4	10VH3/3	暗褐色	シルト	10YR5/2暗褐色ブロック含む
P10	方形	46×42	33	1	10YH5/3	10YR4/3暗褐色	シルト	10YR5/3暗褐色ブロック含む（柱頭）
				2	2.5Y4/3	ギリーブ褐色	シルト	10YR5/3暗褐色ブロック含む
				3	10YH4/2	从灰褐色	シルト	10YR5/2暗褐色ブロック含む
				4	10YRK4/3	暗褐色	シルト	2.5Y4/3ギリーブ褐色ブロック含む
P11	方形	52×47	39	1	10YK5/3	10YR4/3暗褐色	シルト	10YR4/2暗褐色ブロック含む
				2	10YH4/2	从灰褐色	シルト	10YR5/3暗褐色ブロック含む
				3	10YRK4/2	暗褐色	シルト	10YR5/3暗褐色ブロック含む（柱頭）
P12	方形	57×50	39	1	10YK5/3	10YR4/3暗褐色	シルト	10YR4/2暗褐色ブロック含む
				2	10YH4/2	从灰褐色	シルト	10YR5/3暗褐色ブロック含む
				3	10YRK4/2	暗褐色	シルト	10YR5/3暗褐色ブロック含む

SA5 一本柱列槽植土記表(1)

造形名	平面形	規格(cm)		層位	土 色		土 性	備 考
		長軸×短軸	深さ		1	2		
P1	溝丸方形	54×44	41	1	10YRK4/3	10YR4/3暗褐色	シルト	10YR5/3暗褐色ブロック含む（柱頭）
				2	10YR3/3	暗褐色	シルト	10YR5/3暗褐色ブロック含む
				3	10YK3/2	暗褐色	砂質シルト	10YR5/3暗褐色ブロック含む
				4	10YRK4/2	暗褐色	砂質シルト	10YR5/3暗褐色ブロック含む
P2	円形	40×38	20	-	-	-	-	(追記なし)
				1	10YRK4/2	从灰褐色	シルト	10YR5/3暗褐色ブロック含む
				2	-	-	-	10YR5/3暗褐色ブロックと10YR4/2暗褐色のブロック層
				3	10YRK4/2	从灰褐色	シルト	10YR5/3暗褐色ブロック含む
				4	10YRK4/2	从灰褐色	シルト	10YR4/2暗褐色ブロック含む
P3	方形	49×42	39	1	10YRK4/2	10YR4/2暗褐色	シルト	10YR5/3暗褐色ブロック含む
				2	-	-	-	10YR5/3暗褐色ブロック含む
				3	10YRK4/2	暗褐色	シルト	10YR5/3暗褐色ブロック含む
				4	10YRK4/2	从灰褐色	シルト	10YR5/3暗褐色ブロック含む
				5	10YK3/3	暗褐色	シルト	10YR5/3暗褐色ブロック含む

SAS-一本材列堆積土記載(2)

堆積名	平面形	規模(cm) 長軸×短軸	層位 津さ	土色		土性	備考
				1	2		
P4	方形	53×51	39	10YR4-/3	にじみ・黄褐色	シルト	10YR3-/3にじみ・黄褐色ブロック含む(柱痕)
				2	10YR5-/3	にじみ・黄褐色	シルト
				3	10YR4-/2	にじみ・黄褐色	シルト
				4	10YR4-/2	灰黄褐色	シルト
				5	10YR3-/3	暗褐色	シルト
P5	長方形	53×49	41	1	10YR4-/2	灰黄褐色	シルト
				2	10YR4-/3	にじみ・黄褐色	シルト
				3	10YR3-/3	暗褐色	シルト
P6	隅丸方形	55×46	36	1	2.5Y4-/2	暗褐色	シルト
				2	10YR4-/3	にじみ・黄褐色	シルト
				3	10YR4-/2	灰黄褐色	シルト
				4	10YR3-/3	暗褐色	シルト
P7	不整形	54×51	37	1	2.5Y4-/2	暗褐色	シルト
				2	2.5Y4-/2	暗褐色	シルト
				3	10YR4-/3	にじみ・黄褐色	シルト
				4	10YR4-/2	灰黄褐色	シルト
				5	10YR3-/3	暗褐色	シルト
P8	方形	45×43	30	1	10YR4-/3	にじみ・黄褐色	シルト
				2	10YR4-/4	褐色	シルト
				3	10YR3-/4	暗褐色	砂質シルト
P9	方形	62×52	29	1	10YR4-/3	にじみ・黄褐色	シルト
				2	10YR4-/4	褐色	シルト
				3	10YR4-/3	にじみ・黄褐色	砂質シルト
P10	方形	62×57	35	1	10YR5-/3	にじみ・黄褐色	シルト
				2	10YR5-/2	にじみ・黄褐色	シルト
				3	10YR4-/2	灰黄褐色	シルト
P11	長方形	61×45	37	1	10YR5-/3	にじみ・黄褐色	シルト
				2	10YR4-/2	灰黄褐色	シルト

(6) 土坑(第274～280図)

3B区において、SI89と一連の遺構と考えられるSK74を除き、遺構重複関係等から古代に帰属すると考えられる土坑18基を検出した。これらの規模や形状は区々で、配置においても何らかの傾向は認められない。本節(1)にてSI89と併記したSK74を除き、遺物を掲載したものについては以下に記載し、その他は一覧表に纏めて記載した。

SK61 土坑(第274・278図)

3B区南部西側、6グリッドに位置する。SK62・63を切る。検出された規模は、長軸1.72m、短軸1.70m、深さ22cmを測り、平面形状は方形を呈すると考えられる。堆積土は2層に分層した。断面形状は底面に緩い起伏がみられる堅穴状を呈し、南側は内湾気味にやや外傾して立ち上がる。

本土坑からの出土遺物として、須恵器蓋、环、甕、壺、土製支脚を各1点掲載した(第278図-1～5)。須恵器蓋(第278図-4)は破片のため判然としないが、ミニチュアの壺の可能性がある。

SK62 土坑(第274・278図)

3B区南部西側、6グリッドに位置し、SK61、SD46に切られる。残存する規模は長軸2.30m、短軸1.87m、深さ13cmを測り、平面形状は不明であるが、隅丸方形ないし隅丸長方形を呈するものと思われる。堆積土は2層に分層した。断面形状は底面に緩い起伏がみられる堅穴状を呈し、壁はやや外反して立ち上がる。

本土坑からの出土遺物として、土師器环1点(第278図-6)を掲載した。

SK65 土坑(第275・278図)

3B区南西部、10グリッドに位置し、SI81・93を切る。規模は長軸59cm、短軸55cm、深さ26cmを測り、平面形状は円形を呈する。堆積土は3層に分層した。炭化物や焼土を含む黒褐色ないし暗褐色シルトを主体とする。最下層の3層は炭化物層であることから、本土坑で火が焚かれた可能性が考えられる。断面形状は底面に起伏がみられ

るU字状を呈する。

本土坑からの出土遺物として、3層上面からほぼ正立の状態で出土した土師器壺1点(第278図-7)を掲載した。底面には木葉痕と周縁のみに施された粘土紐の貼り付けが認められる。木葉痕には新旧が認められ、それぞれ粘土紐が貼り付けられる前後のものである。

SK67 土坑(第275・279図)

3B区中央部東側、22・27グリッドに位置し、SA1を切る。平面形状はL字状を呈し、長軸4.73m、短軸は最大1.70m、深さ30cmを測る。L字状に屈曲する箇所の底面から、径約20cmを測る柱痕を検出した。

本土坑からの出土遺物として、礫石器2点(第279図-8・9)を掲載した。

SK69 土坑(第276・280図)

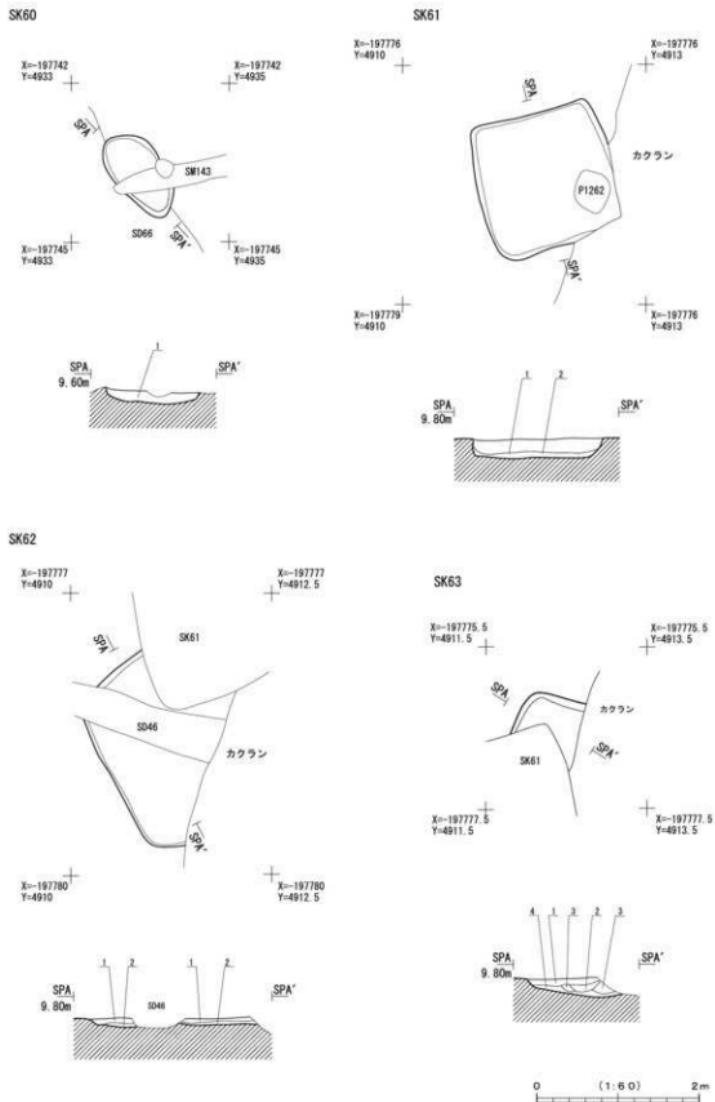
3B区南東部北側、17・22グリッドに位置し、SI103、SD42、SM136に切られる。検出した規模は、長軸2.35m、短軸1.38m、深さ26cmを測り、平面形状は北東・南西に長い不整形を呈する。堆積土は炭化物を含む暗褐色シルトを主体とし、3層に分層した。断面形状は底面に丸みを帯びる竪穴状を呈し、壁は内湾気味に直立する。

本土坑からの出土遺物として、土師器壺2点を掲載した(第280図-10・11)。いずれも口縁部と体部の境界に段を持つ器形を呈する。

SK79 土坑(第277・280図)

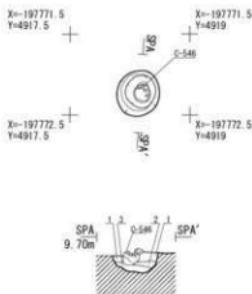
3B区中央部南端、7グリッドに位置し、SI102に切られる。規模は長軸1.05m、短軸80cm、深さ13cmを測り、平面形状は不整形を呈する。堆積土は褐色シルトの単層である。壁が殆ど残存しておらず、断面形状は不明である。

本土坑からの出土遺物として、土師器壺、甕、瓶を各1点掲載した(第280図-12～14)。

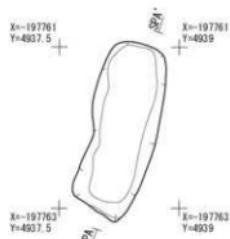


第274図 土坑(1)

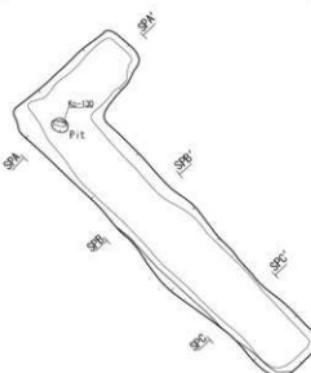
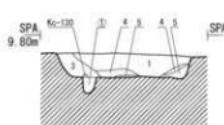
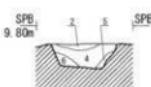
SK65



SK66

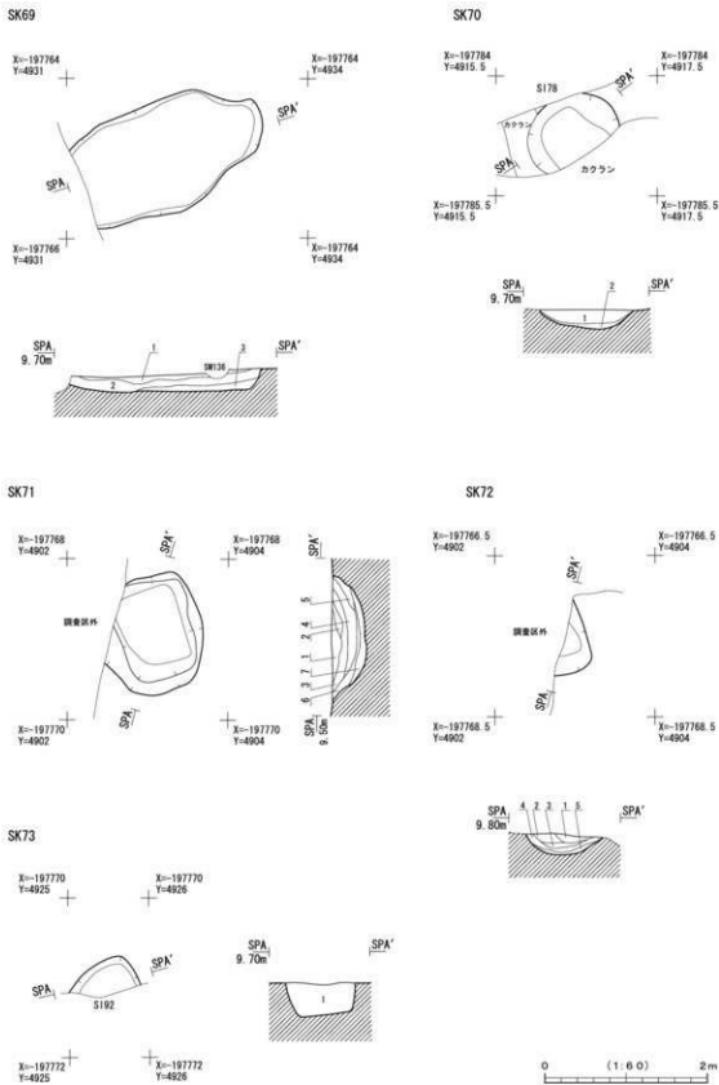


SK67

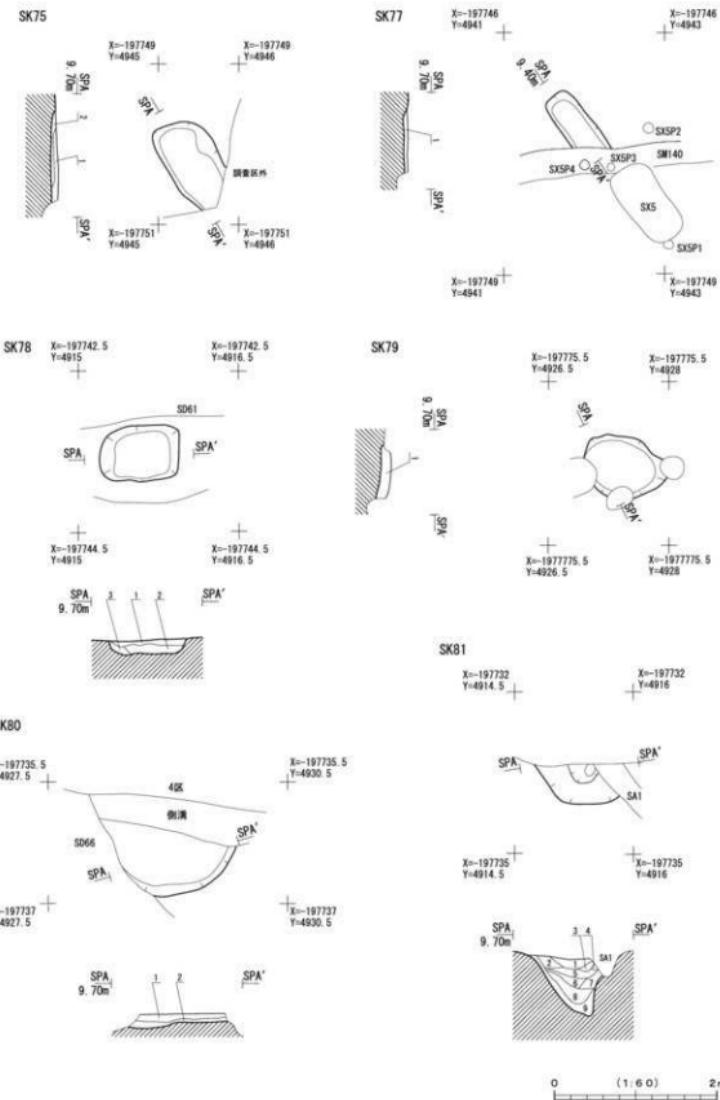
X=197759
Y=4934X=197759
Y=4936X=197764
Y=4934X=197764
Y=4938

0 (1:60) 2m

第275図 土坑(2)



第276図 土坑(3)



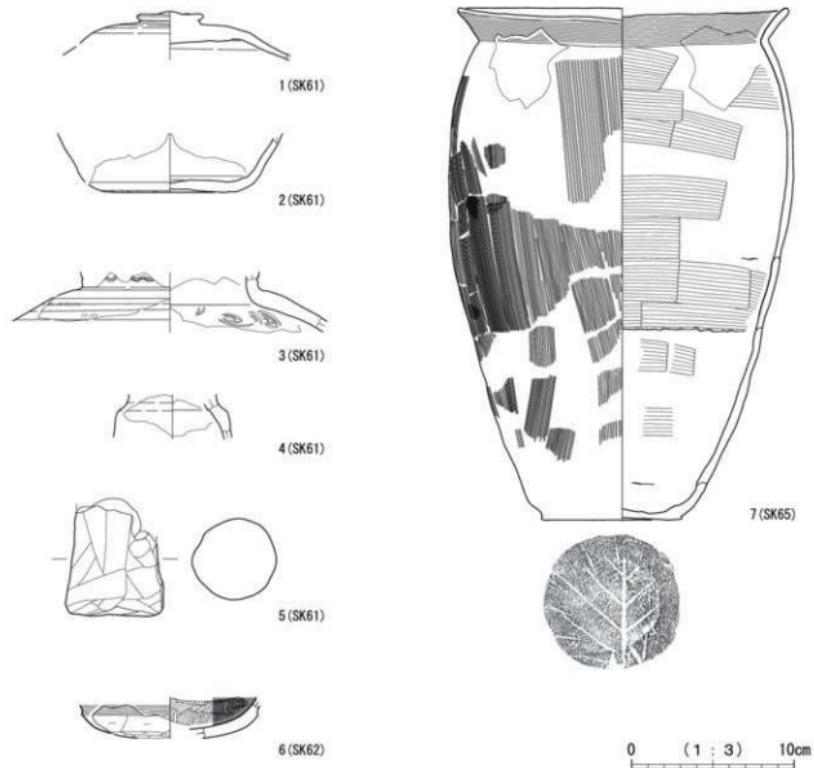
第277図 土坑(4)

土店 鋼管表(1)

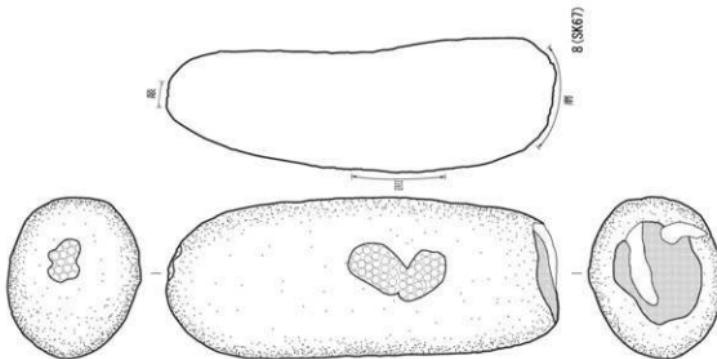
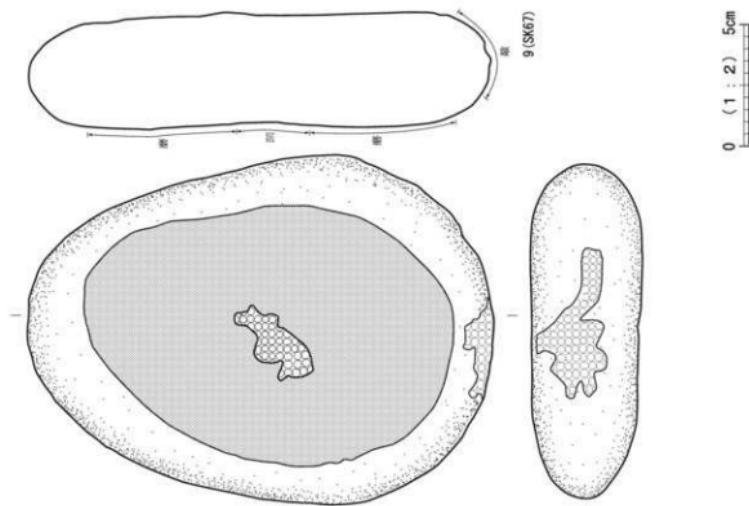
造様名	アリード	平面形	寸法(mm)	層級	土 色		土 性	面 砂	直 棱
					長軸×短軸	深さ			
SK60	42	橢円形	115×63	15	1 10YR3-/3	暗褐色	シルト	10YR4-/4褐色シルトブロック多量、10YR2-/3黒褐色ブロック少量含む	SD66, SM143, P73に切られる
SK61	6	方形	172×170	22	1 7.5YR3-/2	黒褐色	シルト	地山ブロック(厚3~5mm)多量、炭化物少量含む	SK62-63に切る PL262に切られる
					2 10YR4-/4	褐色	シルト	地山ブロック(厚3~5mm, 幅20~30mm)多量含む	
SK62	6	不明	230×(187)	13	1 10YR3-/3	暗褐色	-	地山ブロック(厚3~5mm)多量、炭化物(幅5~10mm)、地山ブロック(厚2~3mm)少量含む	SD46, SK61に切られる
					2 10YR5-/6	黄褐色	-	地山ブロック(厚3~5mm)少量含む	
					1 10YR4-/3	にい黄褐色	-	地山ブロック(厚3~5mm)多量、炭化物(幅2~5mm)少量含む	SK61に切られる
SK63	6	不明	(85)×(80)	25	2 10YR2-/1	黑色	-	地山ブロック(厚5~10mm)少量、地山ブロック(幅10mm)含む	
					3 10YR5-/6	-	-	地山ブロック(厚3~5mm)少量含む	
					4 10YR4-/6	褐色	-	地山ブロック、暗褐色土含む	
					1 10YR3-/2	黒褐色	シルト	10YR4-/4ブロック、炭化物。	SIRI-93を切る
SK65	10	円形	59×55	26	2 10YR2-/3	暗褐色	シルト	10YR5-/4, 炭化物少、鐵土粒含む	
					3 -	-	-	炭化物、鐵土集積物	
SK66	22	不整長方形	220×88	30	1 10YR3-/3	暗褐色	シルト	砂質、炭化物、礫石片微量含む	
					2 10YR4-/4	褐色	シルト	砂質、10YR3-/3暗褐色シルト含む	
					3 10YR5-/6	黃褐色	シルト	10YR3-/3暗褐色シルト含む	
SK67	22-27	L字状	473×170	30	1 7.5YR4-/4	暗褐色	シルト	地山ブロック、炭化物微量含む	SA1を切る
					2 10YR4-/4	褐色	シルト		
					3 10YR3-/3	暗褐色	シルト	遺物片少量、10YR3-/1黒褐色土含む	
					4 7.5YR4-/4	暗褐色	シルト		
					5 10YR4-/4	褐色	シルト	10YR2-/1黒褐色土含む	
					6 7.5YR4-/4	暗褐色	シルト	7.5YR2-/2黒褐色土、鐵土ブロック含む	
					① 10YR4-/4	褐色	シルト	(柱面)	
SK68	17-22	不整形	(235)×138	26	1 10YR2-/3	暗褐色	シルト	炭化物、遺物片微量 10YR5-/4にい黄褐色色、砂含む	SD60A, SD42, SM136に切られる
					2 10YR3-/3	暗褐色	シルト	2.5Y7-/3黒褐色シルトブロック多量 炭化物、遺物片、商標	
					3 10YR2-/3	暗褐色	シルト	10YR5-/4にい黄褐色色、砂含む 2.5Y7-/3黒褐色シルトブロック少量、炭化物含む	
SK70	3	不明	118×(79)	24	1 10YR2-/1	黒褐色	シルト	炭化物(幅1~2mm) 炭化物(幅1~2mm)微量含む	SD26に切られる
SK71	14	不整長方形	146×(130)	45	1 10YR3-/2	黒褐色	粘土質シルト	10YR2-/3暗褐色粘土質シルト(幅10mm以下) 10YR4-/4褐色シルトブロック多量含む	SD91を切る
					2 10YR3-/2	黒褐色	粘土質シルト	10YR4-/4褐色シルトブロック多量含む	
					3 10YR3-/2	黒褐色	粘土質シルト	10YR2-/3黒褐色粘土質シルト(幅10mm以下) 多量含む	
					4 10YR3-/3	暗褐色	粘土質シルト	10YR1-/2暗褐色粘土質シルトブロック(幅20mm以下)、マダガ科粒含む	
					5 10YR3-/2	黒褐色	粘土質シルト	10YR2-/3黒褐色粘土質シルトブロック(幅20mm以上)少量含む	
					6 10YR3-/2	黒褐色	粘土質シルト	10YR4-/3にい黄褐色シルトブロック、 10YR4-/4褐色シルトブロック微量含む	
					7 10YR3-/2	黒褐色	粘土質シルト	10YR4-/4褐色シルトブロック微量含む 10YR2-/3黒褐色シルトブロック少量、 炭化物微量含む	
SK72	14	不明	(77)×(48)	36	1 10YR3-/3	暗褐色	シルト	地山ブロック少量、炭化物微量含む	
					2 10YR4-/4	褐色	シルト	10YR3-/3暗褐色ブロック含む	
					3 10YR3-/2	黒褐色	粘土質シルト	10YR4-/2灰黄色シルトブロック少量含む	
					4 10YR3-/2	黒褐色	シルト	10YR4-/4褐色シルトブロック含む	
					5 10YR3-/2	暗褐色	シルト	10YR4-/4褐色シルトブロック微量含む	
SK73	11	不整方形	(80)×(45)	42	1 10YR3-/3	暗褐色	シルト	地山ブロック少量、炭化物微量含む	SD113を切る SD92 A-I間に切られる
SK75	39-38	不整長方形	(112)×67	10	1 10YR3-/1	黒褐色	シルト	炭化物少量、5YR5-/8明るい褐色土粒含む	なし
					2 7.5YR3-/1	黒褐色	灰層	5YR5-/8明るい褐色土粒含む	
SK77	39-38	長方形	(98)×62	6	1 -	-	-	2.5Y7-/3(4)黄褐色土と5Y1-/1黄褐色の混合層	SM140に切られる
SK78	40	溝入り長方形	98×70	18	1 10YR3-/3	暗褐色	シルト	黄褐色ブロック(幅5~10mm)多量、 炭化物含む	SD61に切られる
					2 10YR3-/2	黒褐色	シルト	黄褐色ブロック(幅2~3mm)多量、 炭化物含む	
					3 10YR3-/3	暗褐色	シルト	黄褐色ブロック(幅1~2mm)少量、 地山ブロック含む	
SK79	7	不整円形	105×80	13	1 10YR4-/4	褐色	シルト	10YR3-/3にい黄褐色シルトブロック含む 10YR4-/6褐色色シルトブロック、 10YR4-/3にい黄褐色シルトブロック含む	SD102に切られる

土坑 順序表(2)

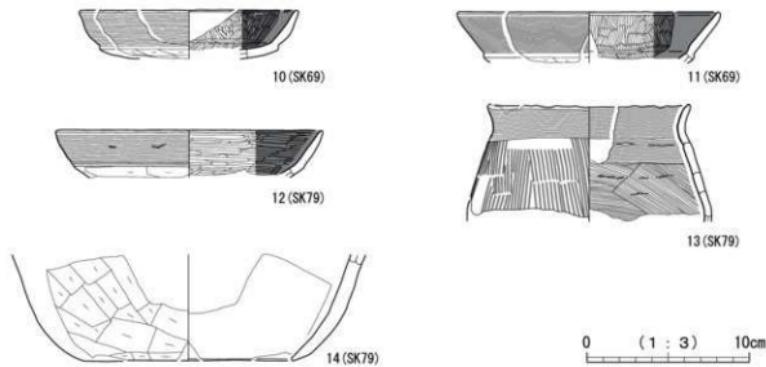
遺物名	グリッド	平面形	範囲(cm) 真輪×厚輪 (縦×横)	層位 17	土 色		土 性	備 考	重 稲
					深さ	層位			
SK60	46	円形	(174)×(84)	17	1	10YR3/5	暗褐色	シルト	黄褐色ブロック(径5~10mm)多量、炭化物、燒土粒混含む SD66に認られる
					2	10YR4/4	褐色	シルト	
					1	10YR4/3	にぶい黄褐色	シルト	地山ブロック、遺物石微混含む SAIに認られる
					2	10YR5/4	にぶい黄褐色	シルト	焼化灰粒(径1mm)微量含む
					3	10YR4/2	灰黃褐色	シルト	地山ブロック、炭化物、燒土粒混含む 炭化灰粒(径1~8mm)多量、 地山ブロック、 地山ブロック、燒土粒混含む 地山ブロック(径5mm)微量含む
					4	10YR3/2	黒褐色	シルト	
SK61	30	不整円形?	(75)×(50)	72	5	10YR4/2	灰黃褐色	シルト	地山ブロック・基盤、炭化物、 焼化灰粒(径1~8mm)多量、 地山ブロック、 地山ブロック、燒土粒混含む 地山ブロック(径5mm)微量含む
					6	10YR4/2	灰黃褐色	シルト	地山ブロック(径5~10mm)微量、 炭化物含む
					7	2.5Y5/3	黃褐色	シルト	地山ブロック、炭化物微混含む
					8	10YR3/1	黒褐色	シルト	2.5Y3/3(黄褐色シルト)、炭化物多量、焼化灰含む
					9	2.5Y6/4	にぶい黄色	シルト	地山ブロック、炭化物微量含む



第278図 土坑出土遺物(1)



第279図 土坑出土遺物(2)

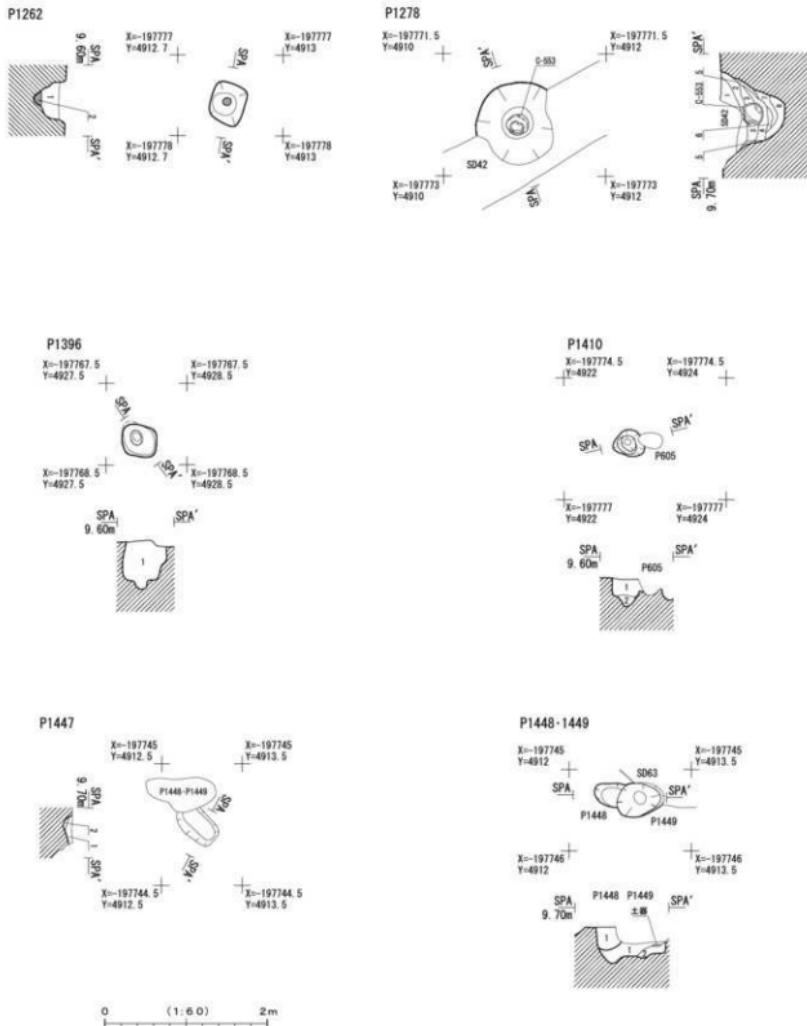


図版番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外因調整	内因調整	備考	写真頁数
1	E-127	SK61	堆積土	須恵器	壺	× ×(3.0)	ロクロ調整 天端削除ヘラケツリ、ボタン状ツヅリ	ロクロ調整、ハナナデ		115
2	E-126	SK61	堆積土	須恵器	壺	×(8.2) ×(3.6)	休造一足脚ロクロ調整 底削除ヘラケツリ・手替ヘラケツリ	ロクロ調整		115
3	E-129	SK61	堆積土	須恵器	壺	× ×(3.7)	ロクロ調整、面削除底支文、 肩部平行切削→ロクロナデ	ロクロ調整、肩部青海波文		115
4	E-128	SK61	堆積土	須恵器	壺	× ×(2.8)	強削一脚脚ロクロ調整	ロクロ調整		115
6	C-545	SK62	堆積土	土師器	壺	×(2.6) ×(2.5)	U縫部ヨコナナ、底部ヘラケツリ	体部一兆ヘラキダニ	内面黒色処理	116
7	C-546	SK65	堆積土	土師器	壺	(28.1) × 8 × 31.5	U縫部ヨコナナ、肩部ヘタメ	U縫部ヨコナナ、肩部ヘナナデ	本垂頭	116
10	C-547	SK69	堆積土	土師器	壺	(12.2) × ×(3.0)	U縫部ヨコナナ、底部ヘラケツリ	U縫部一底部ヘラキダニ	内面黒色処理	116
11	C-548	SK69	堆積土	土師器	壺	(16.0) × ×(3.1)	U縫部ヨコナナ、体部ヘラケツリ	U縫部一體部ヘラキダニ	内面黒色処理	116
12	C-550	SK79	堆積土	土師器	壺	(16.0) × ×(2.9)	U縫部ヨコナナ、底部ヘラケツリ	U縫部ヨコナナ	内面黒色処理	116
13	C-551	SK79	堆積土	土師器	壺	(12.2) × ×(7.2)	U縫部ヨコナナ、脚部ヘタメ	U縫部ヨコナナ、脚部ヘナナデ		116
14	C-552	SK79	堆積土	土師器	壺	×(12.8) ×(6.4)	側面一底部ヘラケツリ	側面		116
図版番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	長さ×幅×厚さ(cm)	重量(g)	備考	写真頁数	
5	P-024	SK61	堆積土	土製品	灰陶	(7.2) ×(5.6)	219.5g	脚柱部ナナ、底面ヘナナデ		115
図版番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	分類	長さ×幅×厚さ(cm)	重量(g)	石材	写真頁数
8	Kc-130	SK67	須恵器	繩石器	西+最	-	16.0×6.5×5.3	888.34	安山岩 実物品、棒状鍬、四一面(平)深さ(微)、最(端2箇所)程度 (斜)	116
9	Kc-131	SK67	堆積土	繩石器	台石	-	19.1×14.3×4.4	1109.87	凝灰岩 実物品、塊状磧、費一側(平)、四一面(平)深さ(微)、最(端2箇所)程度 (斜)	116

第280図 土坑出土遺物(3)

(7) ピット(第281・282図)

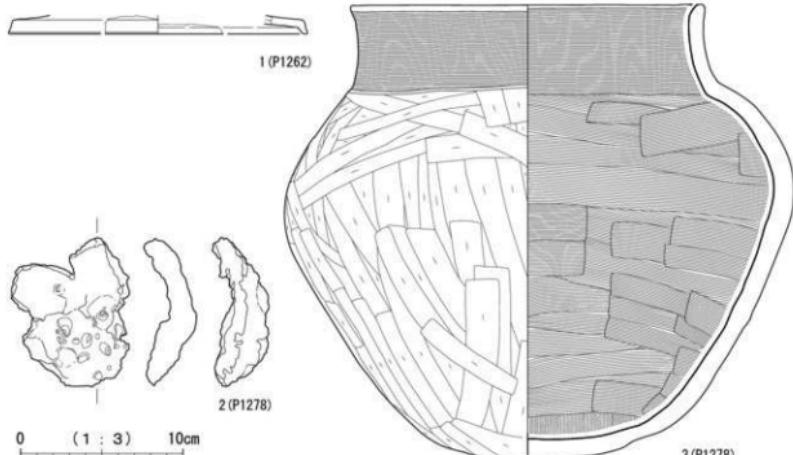
3B区西北部を中心に、遺構重複関係等から古代に帰属すると考えられるピットを17基検出した。そのうち、柱痕が確認されたものや特徴的な遺物出土状況が認められたもの6基について図示し、残る11基については表に纏めて記載した。図示したピットの中でも、P1278は残存する上端径1.02m、深さ80cmを測る大型のピットで、堆積土中から出土した焼形滓(第282図-2)と略完形の土師器壺1点(同図-3)が出土した。



第281図 ピット

ピット 遺物表

遺物名	グリード	平面形	規模(cm) 長軸×短軸 深さ	層位	土 色		土 性	備 考	重 観
					長軸	短軸			
P126	47	円形	45×(43)	38	-	-	黒褐色	シルト	地山プロック少量含む(表面固なし) SAI1, P73に切られる
P1262	6	方形	50×43	29	1	10YR3/4	暗褐色	シルト	地山プロック(径1~5mm), 淡黄褐色(径5mm)含む
					2	10YR2/3	黒褐色	シルト	地山プロック(径3mm), 少量含む(柱状)
				80	1	10YR2/3	暗褐色	シルト	地山プロック(径1mm), 白砂粒(0.5~1mm)微量含む SD42に切られる
					2	10YR3/3	黒褐色	シルト	地山プロック(径2~3mm)含む
					3	10YR3/2	黒褐色	シルト	地山プロック(径1mm), 淡黄褐色(径2~5mm)含む
					4	10YR2/2	黒褐色	シルト	地山プロック(径2~3mm)含む
					5	10YR	10YR3/4 黄褐色	シルト 砂質	地山プロック, 黄褐色含む
					6	7.5Y4/4	褐色	シルト	灰化物(径2~5mm)微量含む
					7	10YR2/3	黒褐色	シルト	灰化物(径2~5mm)少量, 黄褐色ブロック(径1mm)含む
					8	10YR2/2	黒褐色	シルト	灰化物(径2~5mm)微量含む
P1266	21	円形	35×22	20	-	-	黒色	シルト	地山プロック含む(表面固なし) SD8を切る
P1295	31	方形	25×21	24	-	-	黒褐色	シルト	地山プロック少量含む(表面固なし) SD42(55), P62に切られる
P1296	16	円形	43×38	60	1	-	黒褐色	シルト	灰化物(径1mm)少量含む SD9に切られる
P1410	7	椭円形	39×33	34	1	10YR3/2	暗褐色	シルト	灰化物(径2~5mm)少量, 黄褐色(径5mm)含む SD9 A-Hに切る
P1438	35	円形	22×19	7	-	-	黒褐色	シルト	地山プロック(径1~3mm)多量含む(表面固なし) SD63との新田不明
P1439	40	方形	35×22	29	-	-	暗褐色	シルト	地山プロック(径2~5mm)少量, (表面固なし) SD11に切れる SD63との新田不明
P1442	35	円形	28×24	9	-	-	暗褐色	シルト	地山プロック少量含む(表面固なし) SD63を切る
P1444	40	方形	41×35	14	-	-	暗褐色	シルト	地山プロック少量, 灰化物含む(表面固なし) SD63との新田不明
P1445	40	方形	47×41	27	-	-	暗褐色	シルト	地山プロック少量, 黄褐色含む(表面固なし) SD63との新田不明
P1446	40	方形	35×19	22	-	-	黒褐色	シルト	地山プロック少量含む(表面固なし)
P1447	40	長方形	(56)×(35)	11	1	10YR3/2	黒褐色	シルト 燒土: ブロック(径1~5mm)多量, 燒土: ブロック(径1~2mm)少量, 灰化物(径1~2mm)少量含む	SD41, SD100-1に切られる SD63との新田不明
					2	2.5Y4/4	オリーブ褐色	シルト	褐色: ブロック(径3~5mm)少量含む
P1448	40	方形	(31)×30	28	1	10YR3/4	暗褐色	シルト	青褐色: ブロック(径30~50mm)含む, 燒土: ブロック(径2~3mm)微量含む SD61に切れる SD63との新田不明
P1449	40	長方形	(56)×42	19	1	10YR3/2	黒褐色	シルト	青褐色: ブロック(径30~50mm)含む, 灰化物: 燒土(径1~2mm)微量含む
					2	10YR5/4	において: 黄褐色	シルト	PI448に切られる
P1458	11	椭円形	36×31	25	-	-	黒褐色	シルト	地山プロック微量含む(表面固なし)



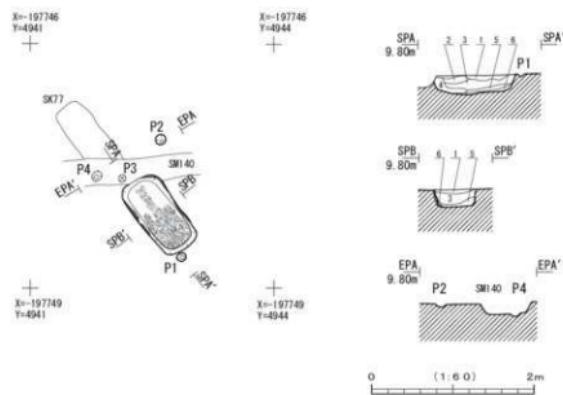
第282図 ピット出土遺物

図数 番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×高さ(cm)	外観調査	内観調査	備考	写真 回数
1	E-131	P1262	埴生土	須恵器	壺	(18.4)×(1.1)	口クロ調整	クロ調整		116
3	C-553	P1278	3層	土師器	壺	21.6×3.6×28.1	口縁部コナギ、瓶部～底部ハラケアリ	口縁部コナギ、瓶部～底部ハラケアリ		117
回収 番号	出土地点	層位	種別	器種			備考			写真 回数
2	N-023	P1278	埴生土	瓦製品	陶形瓦	長9.1cm、最大幅7.3cm、厚3.5cm				116

(8) 性格不明遺構(第283・284図)

3B区北東部において、小規模なピット4基を伴う可能性のある土坑状の遺構を1基検出した。この土坑状の遺構とピットの関連性については判然としないものの、3B区内からは同様の検出状況を示す遺構が認められないこと等から、これらを一連の施設と捉え、性格不明遺構として本項にて併せて報告する。なお、遺構番号は1・2次調査からの通し番号SX5を付した。

このSX5は3B区東端北部、38グリッドに位置し、長軸北西側および周辺に位置するP3・4がSM140に切られる。検出した規模は、土坑状の遺構が長軸83～112cm、短軸42～53cm、深さ23cmを測り、平面形状は隅丸長方形を呈する。ピットは遺構南東側から1基、北西側から3基検出され、周辺に構築される4基のピットの規模は、いずれも上端径約15cm、深さ5cmを測り、平面形状は円形ないし梢円形を呈する。配置に規則性は認められない。長軸方向はN・36°・Wである。長軸の約50cm延長線上には本遺構とほぼ同じ長軸をもち南東部をSM140に切られるSK77、さらにその約5m延長線上には本遺構とほぼ同じ軸方向を持つ一本柱列SA2が位置する。また、本遺構の長軸は約2.3m北東に位置するSI119西辺とほぼ平行する。



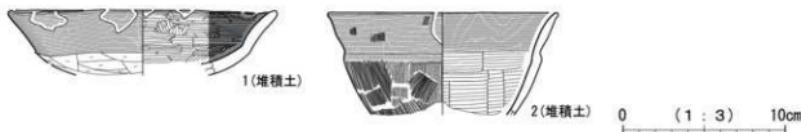
SX5 地盤土質記表

遺構名	層位	土色		土性	備考
		1	2		
SX5	25Y3/1	黒褐色	シルト	2.5Y6/6明黄褐色シルト、炭化物微量含む（埴生土）	
	25Y6/6	明黄褐色	シルト	2.5Y4/1黄灰褐色シルトブロック状含む（埴生土）	
	25Y4/1	黄褐色	シルト	2.5Y7/4浅黄褐色シルト、炭化物、5YR5/8明赤褐色粘土粒微量含む（埴生土）	
	25Y5/2	暗灰褐色	シルト	炭化物少量、2.5Y7/4浅黄色シルト粒微量含む	
	25Y3/1	黒褐色	-	炭化物、5YR5/6明赤褐色粘土ブロック含む、灰層	
	-	-	-	2.5Y5-8灰土粒少量含む、灰層	

第283図 SX5性格不明遺構

堆積土は6層に分層した。1～3層は壁の崩落土と考えられ、炭化物や焼土を含む。5層は焼土ブロックを含む黒褐色の灰層、6層は焼土粒を少量含む炭層で、この炭化物は底面南東側で平面凸状に拡がる。断面形状は逆台形を呈し、北西側半分の壁には約3cmの被熱痕跡が認められた。

上記の調査結果を併せると、本遺構は焼成に関連する施設の可能性が考えられるが、それを示すような遺物は出土していない。本遺構からの遺物として、堆積土中から出土した土器器坏、鉢を各1点掲載した(第284図-1・2)。



図版番号	登録番号	出土遺物	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外観調整	内面調整	備考	写真回数
1	C-554	SX5	堆積土	土器器	坏	(16.6) × (4.0)	口縁部コナデ、体部→底部ヘラケズリ	口縁部ヘラミガキ	内面黒色処理	117
2	C-556	SX5	堆積土	土器器	鉢	(14.0) × (6.2)	口縁部コナデ、体部ハケメ	口縁部コナデ、体部ヘラナダ		117

第284図 SX5性格不明遺構出土遺物

(9) 遺構外出土遺物(第285～289図)

本項に遺構外出土として掲載した遺物の大部分は、遺構同士の重複や搅乱の影響が激しい3B区での遺構検出作業時に出土したもので、遺構に帰属し得なかつたものである。

土器器は坏18点(第285図-1～第286図-18)、高坏1点(同図-19)、盤1点(同図-20)、鉢1点(同図-21)、甕3点(同図-22～24)、壺1点(第287図-25)、ミニチュア6点(同図-26～31)を掲載した。

坏の口縁部は1～4が直立し、5～17は外側に開く。18の外表面底部に「×」の刻書が観察される。20の口唇部は外側に面取りされる。21は肩部から口縁部にかけて窄まる器形を呈する。22～24はいずれも口縁部は短く、23・24は肩部下半がやや膨らむ器形を呈する。25の底部は単孔で、底部から口縁部にいたるまで緩やかに湾曲しながら開く器形を呈する。ミニチュア土器の底部は26・31が丸底、その他は平底を呈する。すべての個体にユビオサエが観察される。

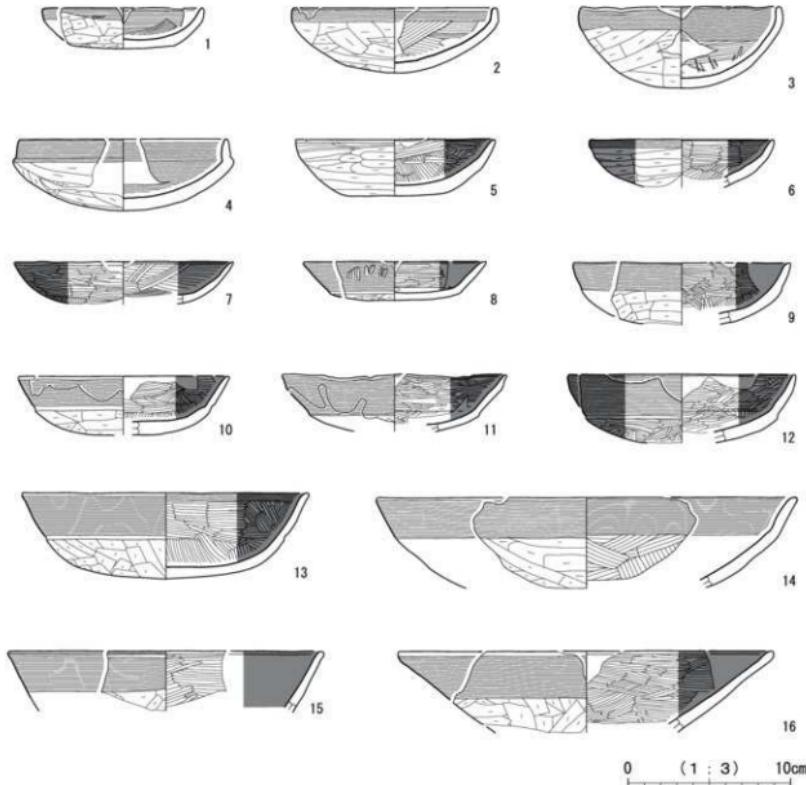
ロクロ土器器は坏2点を掲載した(第287図-32・33)。32内面はヘラミガキ後に黒色処理される。33底部は手持ちヘラケズリが施される。

須恵器は蓋1点、坏1点、高台付坏1点、鉢?1点、甕6点、壺2点を掲載した(第287図-34～第288図-45)。

34は口縁部と天井部の境界に最大径を持つ。35の底部は回転ヘラケズリ後に高台が貼り付けされる。36の底部は回転ヘラ切りが施される。37は鉢の口縁部として図示したが、脚部の可能性がある。38の外表面肩部は格子状タキ目、内面はヘラナダおよびユビオサエが施される。41の外表面口縁部には隆帯がめぐる。45の外表面肩下部には回転ヘラケズリが施される。

土製品は紡輪、土鍤2点、羽口1点を掲載した(第288図-46～49)。49の上部は被熱により溶解する。

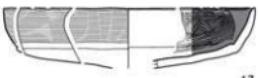
石製品は紡錘車未成品、砥石、用途不明の石製品を各1点掲載した(同図-50～52)。石材は前二者が凝灰岩、後者が滑石である。3は下部を欠損し、4面が面取りされ、断面形状は正方形を呈する。



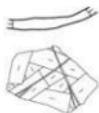
0 (1 : 3) 10cm

図版 番号	出土地點	層位	種別	器種	口径×底径×高さ(cm)	外面 製作	内面 製作	備考	写真 回数
1 C.538	-	検出面	土器部	环	(9.6) × 6.0 × 2.5	口縁部ヨコナデ、体部へクラゼリ	口縁部ヨコナデ、体部へラナナデ		117
2 C.560	-	検出面	土器部	环	12.4 × 8 × 4.0	口縁部ヨコナデ、体部へ底部ヘクラゼリ	口縁部ヨコナデ、体部へラナナデ 底部ヨコナデ		117
3 C.568	-	カクシ	土器部	环	(12.2) × 8 × 5.0	口縁部ヨコナデ、体部へ底部ヘクラゼリ	口縁部ヨコナデ、体部へラナナデ		118
4 C.559	-	検出面	土器部	环	(12.0) × 8 × 4.4	口縁部ヨコナデ、体部へ底部ヘクラゼリ	口縁部ヨコナデ、体部へラナナデ	内外面漆塗布	117
5 C.567	-	検出面	土器部	环	12.2 × 8 × 3.5	口縁部ヨコナデ、体部へラナナデ 底部ヨコナデ	口縁部ヨコナデ、体部へラナナデ	内面黒色処理	118
6 C.564	-	検出面	土器部	环	(11.2) × 8 × 2.9	口縁部ヨコナデ、体部ヘクラゼリ	口縁部ヨコナデ、体部ヘラナナデ	内外面黒色処理	118
7 C.565	-	検出面	土器部	环	(13.4) × 8 × 2.6	口縁部ヨコナデ、体部ヘラナナデ	口縁部ヨコナデ、体部ヘラナナデ	内外面黒色処理	117
8 C.552	-	検出面	土器部	环	(10.8) × 8 × 2.4	口縁部ヨコナデ、体部ヘラナナデ 底部ヘクラゼリ	口縁部ヨコナデ、体部ヘラナナデ	内面黒色処理	117
9 C.572	-	検出面	土器部	环	(12.4) × 8 × 3.0	口縁部ヨコナデ、体部ヘラナナデ	口縁部ヨコナデ、体部ヘラナナデ	内面黒色処理	118
10 C.569	-	カクシ	土器部	环	(12.8) × 8 × 3.6	口縁部ヨコナデ、体部ヘラナナデ	口縁部ヨコナデ、体部ヘラナナデ	内面黒色処理	118
11 C.562	-	検出面	土器部	环	(13.8) × 8 × 3.5	口縁部ヨコナデ、体部ヘラナナデ	口縁部ヨコナデ、体部ヘラナナデ	内面黒色処理	117
12 C.563	-	検出面	土器部	环	(13.9) × 8 × 4.2	口縁部ヨコナデ、体部ヘラナナデ	口縁部ヨコナデ、体部ヘラナナデ	内外面黒色処理	117
13 C.561	-	検出面	土器部	环	(17.6) × 8 × 5.3	口縁部ヨコナデ、体部へ底部ヘクラゼリ	口縁部ヨコナデ、体部へラナナデ 底部ヨコナデ	内面黒色処理	117
14 C.571	-	検出面	土器部	环	(15.8) × 8 × 5.5	口縁部ヨコナデ、体部ヘラナナデ	口縁部ヨコナデ、体部へラナナデ		118
15 C.573	-	検出面	土器部	环	(19.4) × 8 × 5.7	口縁部ヨコナデ、体部ヘラナナデ	口縁部ヨコナデ、体部ヘラナナデ	内面黒色処理	118
16 C.570	-	検出面	土器部	环	(23.0) × 8 × 5.0	口縁部ヨコナデ、体部ヘラナナデ	口縁部ヨコナデ、体部ヘラナナデ	内面黒色処理	118

第285図 遺構外出土遺物(1)



17



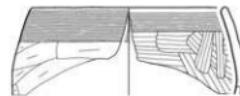
18



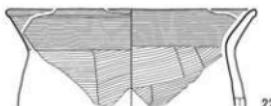
19



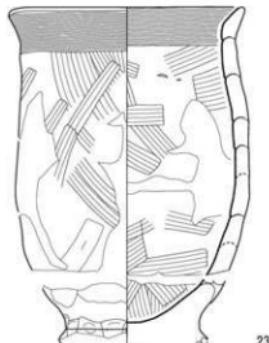
20



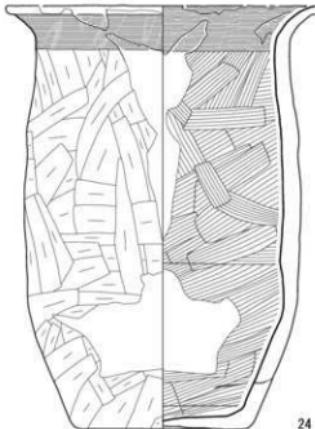
21



22



23

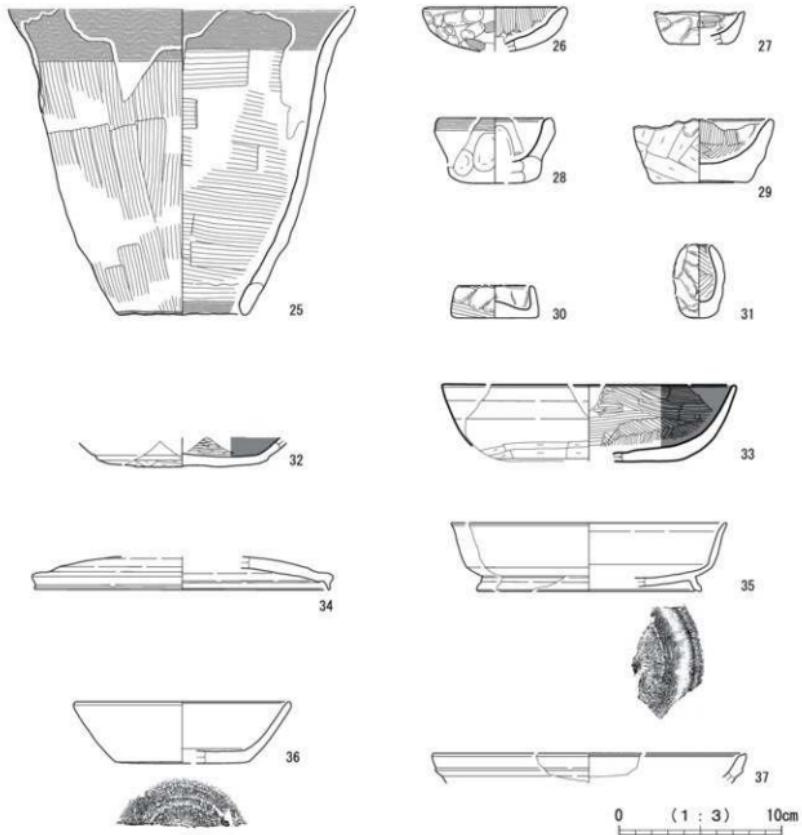


24

0 (1 : 3) 10cm

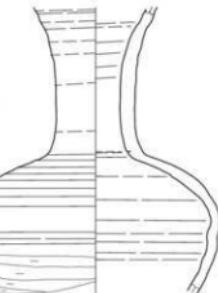
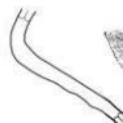
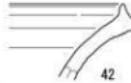
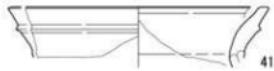
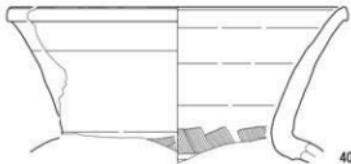
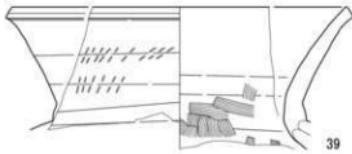
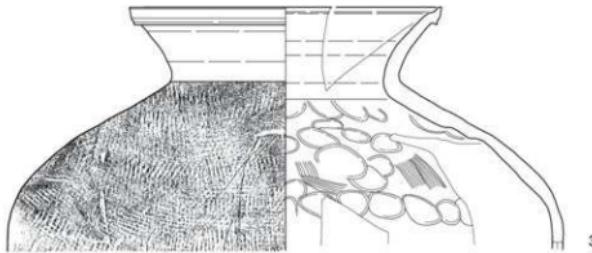
国版 番号	登録番号	出土遺構	規範	柱 列	器 様	口径×底径×器高(cm)	外 壁 調 整	内 壁 調 整	備 考	写 真 図 版
17	C-566	-	椚出面	土器器	环	(15.4)×(3.7)	口縁部ヨコナデ、底部摩滅	口縁部～底部ヘラガキ	内面黒色処理	117
18	C-574	-	椚出面	土器器	环	× ×(1.4)	底部ヘラケズリ	内面ナダ	内面底部×ノ削去	118
19	C-535	-	椚出面	土器器	高環	× ×(4.7)	脚柱部ヘラケズリ	付属1枚。	脚部ヘラナダ、ナダ	117
20	C-575	-	椚出面	土器器	盤	(22.8)×(2.35)	口縁部ヨコナデ、体部ヘラナダ	口縁部～体部ヨコナダ		118
21	C-576	-	椚出面	土器器	盆	(12.0)×(5.4)	口縁部ヨコナデ、体部ヘラケズリ	口縁部ヨコナデ、体部ヘラナダ		118
22	C-579	-	椚出面	土器器	甕	(15.4)×(6.0)	口縁部ヨコナデ、脚部ヘラナダ	口縁部ヨコナデ、脚部ヘラナダ		118
23	C-577	-	椚出面	土器器	甕	14.2×(8.2)×(20.9)	口縁部ヨコナデ、脚上半部ヘラケキ、脚下半部ヘラケキ、ヘラケズリ、脚部行瓦スビササギ	口縁部ヨコナダ、脚部ヘラナダ	本葉痕	118
24	C-578	-	椚出面	土器器	甕	(19.1)×(10.2)×26.1	口縁部ヨコナデ、脚部～底部ヘラケズリ	口縁部ヨコナダ、脚部～底部ヘラナダ	本葉痕	118

第286図 遺構外出土遺物(2)



第287図 遺構外出土遺物(3)

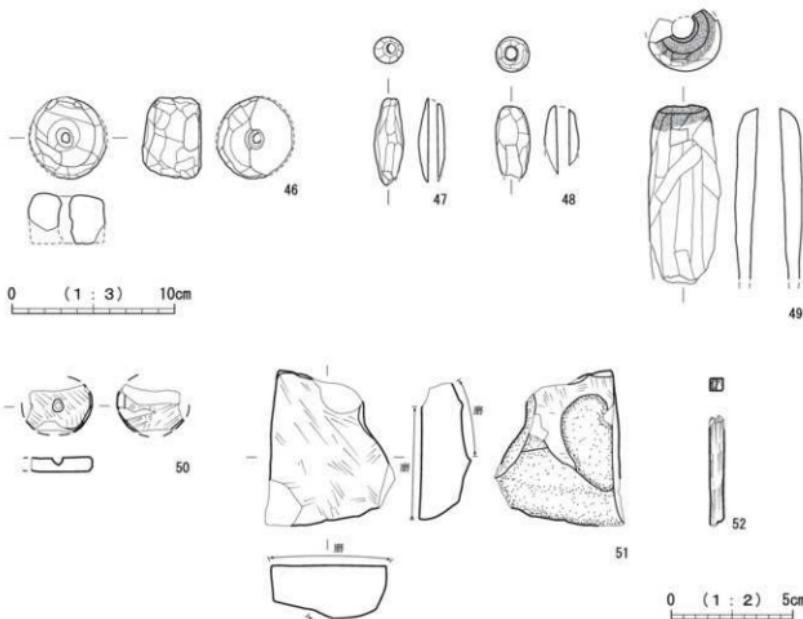
図版番号	登録番号	出土遺物	層位	縦 横 厚	器 形	口径×底径×高さ(cm)	外面調整	内面調整	考	写真
25	C-580	-	検出面	土師器	瓶	>7.6×(18.0)	口縁部コリナ、脚部ハラチジ、底部付近コリナ	口縁部コリナ、脚部ハラチジ、底部付近コリナ	118	
26	C-583	-	検出面	土師器	ミニチャウ	(8.4)×(2.7)	口縁部～底部ユビオサエ→ユビナフ	口縁部ユビナフ、底部ユビオサエ	118	
27	C-586	-	検出面	土師器	ミニチャウ	(5.0)×(3.0)×(2.0)	脚部～底部ユビオサエ	口縁部～脚部ユビオサエ、ユビナフ、底部ユビオサエ	118	
28	C-585	-	検出面	土師器	ミニチャウ	(6.0)×(4.0)×4.0	口縁部コリナ、底部ユビオサエ	口縁部コリナ、底部ユビオサエ	118	
29	C-584	-	検出面	土師器	ミニチャウ	(8.3)×(5.8)×3.9	口縁部～底部ハラチジ、口縁部～底ユビオサエ	口縁部～底部ハラチジ、口縁部～底ユビオサエ	118	
30	C-582	-	検出面	土師器	ミニチャウ	(4.6)×5.0×2.0	口縁部～底部ユビナフ→ユビオサエ、底部ハラチジ	口縁部～底部ユビオサエ	118	
31	C-581	-	検出面	土師器	ミニチャウ	(1.6)×(1.2)×4.5	口縁部～底部ユビオサエ	口縁部～底部ユビナフ	118	
32	D-012	-	検出面	口沿部	环	×(5.6)×(1.8)	ロクロ調整、底部ハラチジ	移部～底部ハラチジ	内面黒色処理	118
33	D-011	-	検出面	口沿部	环	(18.0)×(12.5)×4.7	ロクロ調整、底部ハラチジ	口縁部～底部ハラチジ	内面黒色処理	118
34	E-134	-	検出面	須毛器	盖	(18.0)×(12.0)	ロクロ調整	ロクロ調整	119	
35	E-133	-	検出面	須毛器	高台付环	(17.0)×(13.0)×4.2	ロクロ調整、底部側板ハラチジ	ロクロ調整	高台	119
36	E-132	-	検出面	須毛器	环	(13.2)×(8.0)×3.8	ロクロ調整、底部側板ハラチジ	ロクロ調整	119	
37	E-137	-	検出面	須毛器	路?	(19.4)×(11.8)	ロクロ調整	ロクロ調整	119	



0 (1 : 3) 10cm

国版 番号	登録番号	出土遺物	層位	種 別	器 形	口径×底径×高さ(cm)	外面調整	内面調整	備 考	写真 図版
38	E-138	-	検出面	須恵器	壺	(19.2)×(15.8)	ロクロ調整、肩部～胴部格子状叩打目	ロクロ調整、 口沿～腹部ユビサエ、ヘナナデ		119
39	E-140	-	検出面	須恵器	壺	(20.6)×(8.7)	口縁部平行叩打目→ロクロ調整	ロクロ調整～瓶部ヘナナデ	内外面自然釉	119
40	E-129	-	検出面	須恵器	壺	(20.9)×(9.6)	ロクロ調整、肩部叩打目→ヘナナデ	ロクロ調整、 瓶部ヘナナデ、胫部青海波文	内外面自然釉	119
41	E-142	-	検出面	須恵器	壺	(16.0)×(3.7)	ロクロ調整	ロクロ調整	内外面自然釉	119
42	E-141	-	検出面	須恵器	壺	× ×(5.3)	ロクロ調整～胎体波状文	ロクロ調整→ヘナナデ		119
43	E-143	-	検出面	須恵器	壺	× ×(6.6)	胎体波状文	胎体ロクロ調整、 肩部平行叩打目→ロクロナデ	胎体ロクロ調整、 胫部青海波文	119
44	E-136	-	検出面	須恵器	壺	(9.8)×(3.3)	ハナナデ～ロクロ調整	ロクロ調整	内外面自然釉	119
45	E-135	-	検出面	須恵器	長颈壺	× ×(17.6)	ロクロ調整、瓶部～肩部斜削輪ヘカズリ	ロクロ調整	内外外面自然釉	119

第288図 遺構出土外付遺物(4)



図版 番号	登録番号	出土遺物	層位	種別	器種	長さ×幅×厚さ(cm)	重量(g)	備考	写真 図版
46	P-028	—	検出面	土製品	磨輪	径5.0×厚3.6×孔径0.6	73.3g	ナフ	119
47	P-027	—	検出面	土製品	土鍤	(5.4)×径1.3×孔径0.6	11.7g	ナフ	119
48	P-029	—	検出面	土製品	土鍤	(4.4)×径2.1×孔径0.8	15.9g	ナフ	119
49	P-026	—	検出面	土製品	臼	(11.0)×径4.5×孔径1.6	112.4g	ナフ, 上部被熱焼痕	119

図版 番号	登録番号	出土遺物	層位	種別	器種	分類	長さ×幅×厚さ(cm)	重量(g)	石材	備考	写真 図版
50	Kd-033	—	検出面	石製品	磨輪車	—	1.9×2.7×0.6	2.21	湖灰岩	未完成品, 孔孔径0.5cm	119
51	Kd-035	—	検出面	石製品	砥石	—	6.3×5.3×2.0	49.51	湖灰岩	欠損品, 自然破, 扁状, 無孔, 自然面丸	119
52	Kd-034	—	検出面	石製品	不明石製品	—	1.6×0.5×0.5	3.53	滑石	欠損品, 面取, 扁状	119

第289図 遺構外出土遺物(5)

仙台市文化財調査報告書第340集

長町駅東遺跡第3次調査

—仙台市あすと長町土地区画整理事業関係道路発掘調査報告書Ⅲ—

〔第1分冊〕

2009年3月

発行 仙台市教育委員会

宮城県仙台市青葉区国分町三丁目7-1

文化財課 022(214)8894

印刷 八幡印刷株式会社

福島県いわき市平字田町82-13
